

# 2025(令和7)年度 高齢者実態調査報告書

《介護保険サービス利用者・未利用者調査・介護者調査》

素案

大阪市



# 目次

<b>1 調査概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査目的 .....	1
(2) 調査設計 .....	1
(3) 調査項目 .....	1
(4) 回収状況 .....	4
(5) 報告書の見方 .....	6
<b>2 介護保険サービス利用者調査結果</b> .....	<b>7</b>
(1) 調査回答者の基本属性 .....	7
問1 記入者 .....	7
問2 (1) 本人の性別 .....	8
問2 (2) 本人の年齢 .....	9
問2 (3) 本人の居住区 .....	10
問3 要介護度 .....	11
問4 傷病状況 .....	12
(2) 世帯の状況、介護の状況 .....	14
問5 世帯状況 .....	14
問6 介護者の有無 .....	16
問6-1 家族や親族からの介護日数.....	18
問7 介護・介助が必要になった原因.....	20
問7-1 介護・介助が必要になった主な原因.....	22
(3) 要介護認定 .....	24
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的.....	24
問9 直近の要介護認定で不満の有無.....	26
問9-1 要介護認定に不満がある理由.....	27
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え.....	29
問10 現在の住まい .....	29
問10-1 施設等の入所（入居）の検討状況.....	31
問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス.....	33
問10-3 リハビリテーションサービスの利用意向.....	35
問10-4 リハビリテーションサービスを利用したくない理由.....	36
問10-5 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無.....	37
問10-6 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況.....	38
問10-7 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由.....	39
問11 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス.....	40
問12 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス.....	42
問13 入所（入居）している施設.....	44
問13-1 入所（入居）を希望した理由.....	46

問13-2 入所施設での定住意向.....	48
問14 医療従事者などの訪問有無.....	49
問14-1 訪問されている医療従事者.....	51
問15 介護支援専門員の満足度.....	53
問15-1 担当の介護支援専門員についての意見・要望（自由記述）.....	54
問16 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度.....	55
問16-1 介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望（自由記述）.....	56
問17 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向.....	57
問17-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向.....	59
問17-2 現在利用していない施設サービスの利用意向.....	61
(5) 外出の状況.....	64
問18 外出頻度.....	64
問19 昨年と比べた外出の回数.....	65
問20 外出を控えること.....	66
問20-1 外出を控えている理由.....	67
(6) 介護予防・重度化防止の取組.....	69
問21 介護予防に対する意識の程度.....	69
問22 介護予防の取組状況.....	71
問22-1 介護予防の取組に意向がない理由.....	83
(7) 健康状態.....	86
問23 歯の数と入れ歯の利用状況.....	86
問23-1 かみ合わせ.....	87
問23-2 入れ歯の手入れ.....	88
問24 かんで食べることの可否.....	89
問25 お茶や汁物等でむせること.....	90
問26 健康状態.....	91
(8) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師.....	92
問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無.....	92
問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無.....	93
問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無.....	94
(9) 地域活動.....	95
問30 地域の会・グループ等への参加頻度.....	95
問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向.....	96
問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向.....	97
(10) 認知症.....	98
問31 認知症状の有無.....	98
問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度.....	101
問31-2 知っている認知症に関する相談窓口.....	104
問31-3 認知症についての相談先.....	105
(11) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度.....	106
問32 高齢者向けサービスの情報源.....	106
問33 現在の生活の満足度.....	108

(12) 介護保険制度についての意見・要望等.....	109
問34 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）.....	109

### 3 介護保険サービス未利用者調査結果 ..... 111

(1) 調査回答者の基本属性 .....	111
問1 記入者 .....	111
問2 (1) 本人の性別 .....	112
問2 (2) 本人の年齢 .....	113
問2 (3) 本人の居住区 .....	114
問3 要介護認定の有無 .....	115
問3-1 要介護度 .....	116
問4 傷病状況 .....	117
(2) 世帯の状況、介護の状況 .....	119
問5 世帯状況 .....	119
問6 介護者の有無 .....	122
問6-1 家族や親族からの介護日数.....	124
問7 介護・介助が必要になった原因.....	126
問7-1 介護・介助が必要になった主な原因.....	128
(3) 要介護認定 .....	130
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的.....	130
問9 直近の要介護認定で不満の有無.....	132
問9-1 要介護認定に不満がある理由.....	133
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え.....	135
問10 介護保険サービスの利用状況.....	135
問10-1 以前利用していた介護保険サービス.....	137
問11 介護保険サービスを利用していない理由.....	139
問12 リハビリテーションサービスの利用意向.....	142
問12-1 リハビリテーションサービスを利用したくない理由.....	143
問13 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス.....	144
問14 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス.....	146
問15 医療従事者などの訪問有無.....	148
問15-1 訪問されている医療従事者.....	149
問16 介護保険サービスの利用意向.....	151
問16-1 利用したい居宅サービス.....	153
問16-2 入所（入居）したい施設等.....	155
問16-3 施設等の入所（入居）の検討状況.....	157
(5) 外出の状況 .....	158
問17 外出頻度 .....	158
問18 昨年と比べた外出の回数.....	159
問19 外出を控えること .....	160
問19-1 外出を控えている理由.....	161

(6) 介護予防・重度化防止の取組.....	163
問20 介護予防に対する意識の程度.....	163
問21 介護予防の取組状況.....	164
問21-1 介護予防の取組に意向がない理由.....	174
(7) 健康状態.....	176
問22 歯の数と入れ歯の利用状況.....	176
問22-1 かみ合わせ.....	177
問22-2 入れ歯の手入れ.....	178
問23 かんで食べることの可否.....	179
問24 お茶や汁物等でむせること.....	180
問25 健康状態.....	181
(8) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師.....	182
問26 かかりつけの医師の訪問診療の有無.....	182
問27 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無.....	183
問28 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無.....	184
(9) 地域活動.....	185
問29 地域の会・グループ等への参加頻度.....	185
問29-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向.....	186
問29-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向.....	187
(10) 認知症.....	188
問30 認知症状の有無.....	188
問30-1 認知症に関する相談窓口の認知度.....	191
問30-2 知っている認知症に関する相談窓口.....	193
問30-3 認知症についての相談先.....	194
(11) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度.....	195
問31 高齢者向けサービスの情報源.....	195
問32 現在の生活の満足度.....	197
(12) 介護保険制度についての意見・要望等.....	198
問33 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）.....	198

#### 4 介護者調査結果..... 199

(1) 介護者の基本属性.....	199
問35[34] 本人との関係.....	199
問36[35] (1) 介護者の性別.....	203
問36[35] (2) 介護者の年齢.....	207
問36[35] (3) 本人との同居の有無.....	213
問37[36] 介護者の健康状態.....	219
(2) 介護の状況.....	221
問38[37] 介護者がよく話をする相手.....	221
問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無.....	223
問40[39] 本人の認知症の程度.....	225

問41[40]	本人に行っている介護内容.....	231
問42[41]	自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの.....	239
(3)	介護上の問題.....	241
問43[42]	自宅での介護で困っていること.....	241
問44[43]	自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと.....	245
問44-1[43-1]	虐待的行為が緩和される支援（自由記述）.....	257
問45[44]	高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度.....	258
問46	本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化.....	262
問47	本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度.....	263
問47-1	本人利用の介護保険サービスに対する介護者の満足度の理由（自由記述）.....	264
問[45]	本人に対する介護保険サービスの利用意向.....	265
問[46]	介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態.....	266
問[47]	介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態.....	267
問48[48]	自宅での介護で重要なこと.....	268
(4)	介護離職に関する問題.....	270
問49[49]	介護者の就業状況.....	270
問49-1[49-1]	介護をするにあたって行っている働き方の調整.....	282
問49-2[49-2]	働きながら介護を続けることの意向.....	284
問50[50]	介護を理由に仕事を辞めた人の有無.....	287
問51[51]	仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援.....	289
問52[52]	現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護等.....	291
(5)	介護保険制度についての意見・要望等.....	293
問53[53]	介護保険制度について、介護者としてのご意見・ご要望等（自由記述）.....	293

資料編.....	295
----------	-----



# 1 調査概要

## (1) 調査目的

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者及びその介護者を対象に、介護保険サービスの利用状況と利用意向、介護の状況などを把握し、大阪市における今後の高齢者施策及び介護保険事業の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

## (2) 調査設計

① 調査地域：大阪市内全域

② 調査対象：

I 介護保険サービス利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、令和7年1月から3月の間に介護サービスを1度でも利用した方から無作為抽出した7,000人

II 介護保険サービス未利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、令和7年1月から3月の間に介護サービスの利用実績がなかった方から無作為抽出した9,300人

III 介護者

上記I・IIの対象者を介護している者（介護サービス事業者を除く）

③ 調査方法：郵送配布、郵送及びWEB（インターネット）による回答

④ 調査期間：令和7年7月11日（金）から令和7年8月8日（金）

## (3) 調査項目

### 〔1〕介護保険サービス利用者

① 調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度、傷病状況

② 世帯の状況、介護の状況

世帯状況、介護者の有無、家族や親族からの介護日数、介護・介助が必要になった原因

③ 要介護認定

要介護認定の目的、要介護認定の不満点・不満理由

④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

現在の住まい、施設等の入所（入居）の検討状況、利用している介護保険サービス及び介護予防サービス、リハビリテーションサービスの利用意向、リハビリテーションサービスを利用したくない理由、令和7年6月1か月間における介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況、介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由、現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス、在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス、入所（入居）している施設、入所（入居）を希望した理由、入所施設での定住意向、医療従事者などの訪問有無、訪問されている医療従事者、介護支援専門員に対する満足度、現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスに対する満足度、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向・利用したいサービス、1年以内に入所（入居）したい施設等

⑤ 外出の状況

外出頻度、昨年と比べた外出の回数、外出を控えること・外出を控えている理由

⑥ 介護予防・重度化防止の取組

介護予防に対する意識の程度、介護予防の取組状況、介護予防の取組に意向がない理由

⑦ 健康状態

歯の数と入れ歯の利用状況、かみ合わせ、入れ歯の手入れ、咀嚼状態、誤嚥、現在の健康状態

⑧ かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

かかりつけ医・歯科医師・薬剤師（薬局）の訪問（診療）の有無

⑨ 地域活動

地域活動の参加状況、地域づくりの参加意向

⑩ 認知症

認知症状の有無、認知症に関する相談窓口の認知度、知っている認知症に関する相談窓口、認知症についての相談先

⑪ 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

高齢者向けサービスの情報源、現在の生活の満足度

⑫ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

〔2〕 介護保険サービス未利用者

① 調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護（要支援）認定の有無・要介護度、傷病状況

② 世帯の状況、介護の状況

世帯状況、介護者の有無、家族や親族からの介護日数、介護・介助が必要になった原因

③ 要介護認定

要介護認定の目的、要介護認定の不満点・不満理由

④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

介護保険サービスの利用状況・以前利用していたサービス、介護保険サービスの未利用理由、リハビリテーションサービスの利用意向、リハビリテーションサービスを利用したくない理由、介護保険サービス以外で利用している支援・サービス、在宅生活継続に必要なと感じる支援・サービス、医療従事者の訪問有無、訪問されている医療従事者、1年以内の介護保険サービスの利用意向・利用したいサービス、1年以内に入所（入居）したい施設等、施設等の入所（入居）の検討状況

⑤ 外出の状況

外出頻度、昨年と比べた外出の回数、外出を控えること・外出を控えている理由

⑥ 介護予防・重度化防止の取り組み

介護予防に対する意識の程度、介護予防の取組状況、介護予防の取組に意向がない理由

⑦ 健康状態

歯の数と入れ歯の利用状況、かみ合わせ、入れ歯の手入れ、咀嚼状態、誤嚥、現在の健康状態

⑧ かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

かかりつけ医・歯科医師・薬剤師（薬局）の訪問（診療）の有無

⑨ 地域活動

地域活動の参加状況、地域づくりの参加意向

⑩ 認知症

認知症状の有無、認知症に関する相談窓口の認知度、知っている認知症に関する相談窓口、認知症についての相談先

⑪ 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

高齢者向けサービスの情報源、現在の生活の満足度

⑫ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

[3] 介護者

① 介護者の基本属性

本人との関係、介護者の性別・年齢、同居有無、介護者の健康状態

② 介護の状況

介護者の話し相手、介護を手助けしてくれる人の有無、本人の認知症の程度、本人に行っている介護内容、自宅での介護で毎月必要とするもの

③ 介護上の問題

自宅での介護で困っていること、虐待と思われる行為の有無、高齢者虐待の通報・相談先の認知状況、介護保険サービス利用による介護者の変化・満足度【利用者調査のみ】、介護者が考える介護保険サービスの利用意向【未利用者調査のみ】、自宅での介護で重要なこと

④ 介護離職に関する問題

介護者の就業状況、介護と働き方の調整、働きながら介護を続けることの意向、介護を理由に離職した家族・親族の有無、仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援、現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護

⑤ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

## (4) 回収状況

### 〔1〕 介護保険サービス利用者調査

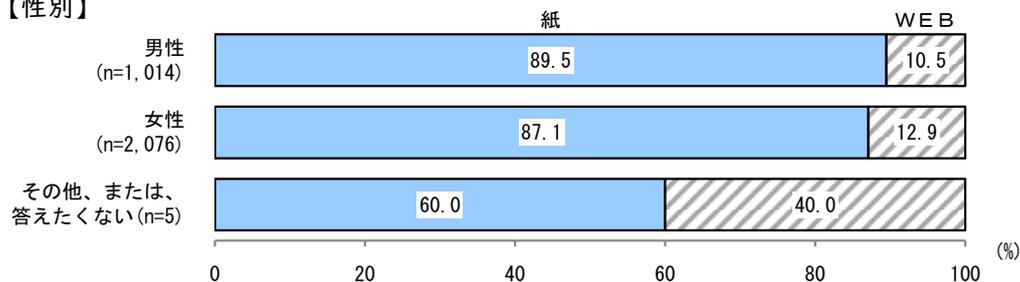
調査対象者 (a)	回収数 (b)	集計対象外数 (c)	有効回答数 (d)=(b)-(c)	有効回答率 (e)=(d)/(a)
7,000	3,504	358	3,146	44.9%

※有効回答数／紙調査票・WEB回答の内訳

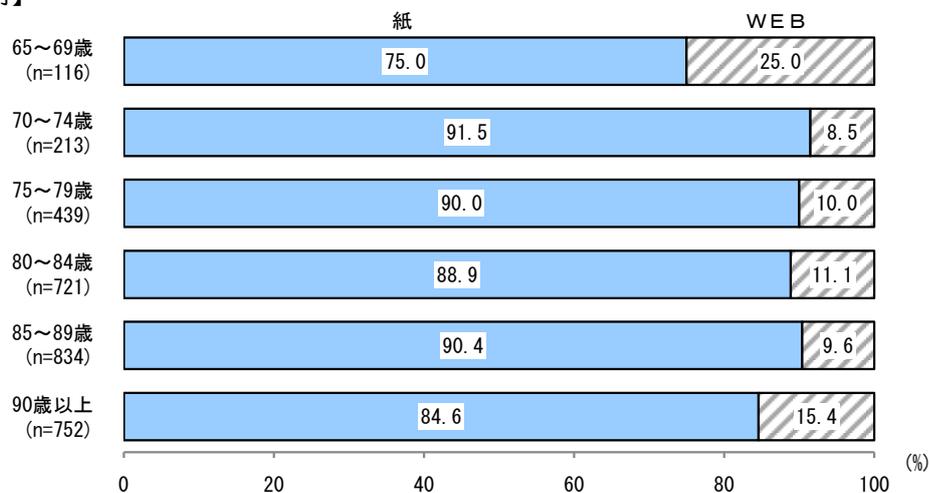
紙調査票	WEB	計
2,771 88.1%	375 11.9%	3,146 100.0%

#### ◇回答方法の内訳

##### 【性別】



##### 【年齢別】



※【年齢別】の本人回答率は、P9の【問2(2) 本人の年齢】のとおり。  
性別不明、年齢不明を除く

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したのもの）

現在介護保険サービス を利用して いない	病院に 入院中	本人の意 思が確認 できない	転居	死亡	その他	白票 回答不備	計
52	80	145	-	26	39	16	358

【要支援・要介護認定状況】有効回答数を全体とした各回答者の人数（上段）と割合（下段）

要支援・要介護認定者							事業対象者	わからない・無回答	計
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
608	542	373	463	383	323	282	1	171	3,146
19.3%	17.2%	11.9%	14.7%	12.2%	10.3%	9.0%	0.0%	5.4%	100.0%

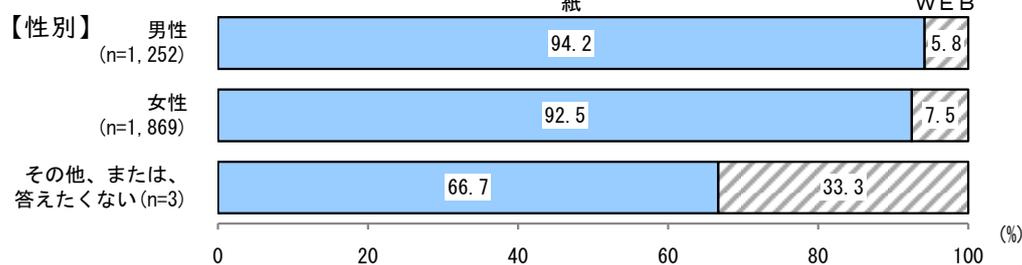
## 〔2〕介護保険サービス未利用者調査

調査対象者 (a)	回収数 (b)	集計対象外数 (c)	有効回答数 (d)=(b)-(c)	有効回答率 (e)=(d)/(a)
9,300	4,632	1,472	3,160	34.0%

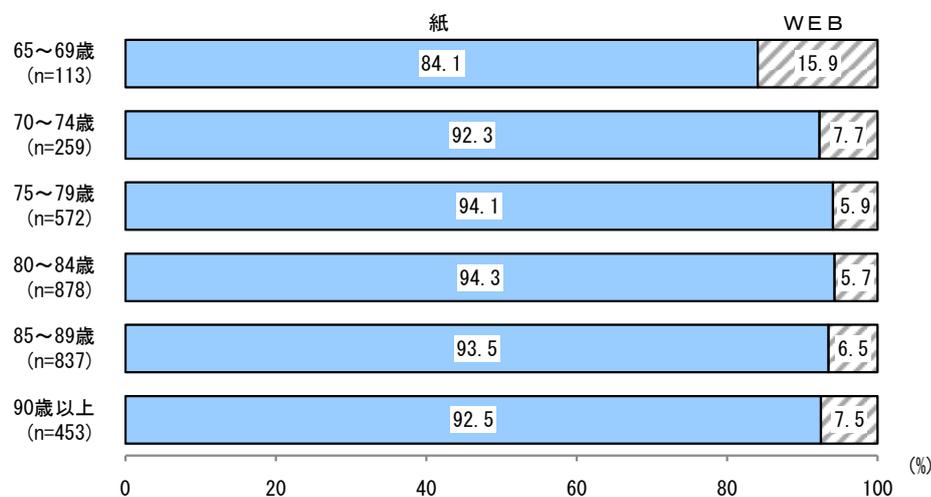
※紙調査票・WEB回答の内訳（有効回答数）

紙調査票	WEB	計
2,946 93.2%	214 6.7%	3,160 (100.0%)

### ◇回答方法の内訳



### 【年齢別】



※【年齢別】の本人回答率は、P113【問2（2） 本人の年齢】のとおり。  
性別不明、年齢不明を除く

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したものの）

現在介護保険サービスを利用して いる	病院に 入院中	本人の意 思が確認 できない	転居	死亡	その他	白票 回答不備	計
757	562	28	5	52	15	53	1,472

【要支援・要介護認定状況】有効回答数を全体とした各回答者の人数（上段）と割合（下段）

要支援・要介護認定者							事業 対象者	未 申請	無 回 答 わ か ら な い ・	計
要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5				
783	526	352	363	132	121	91	1	620	171	3,160
24.8%	16.6%	11.1%	11.5%	4.2%	3.8%	2.9%	0.0%	19.6%	5.4%	100.0%

### 〔3〕 介護者調査

	回答数
介護保険サービス利用者調査	1,399
介護保険サービス未利用者調査	1,676

### (5) 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② 図表上の「MA％」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA％」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ④ 報告書記載の「前回調査」とは、令和4年度実施の高齢者実態調査の結果を示している。
- ⑤ 介護者調査結果の[ ]内の数字は、介護保険サービス未利用者調査の問番号を示す。

# 介護保険サービス利用者調査 編



## 2 介護保険サービス利用者調査結果

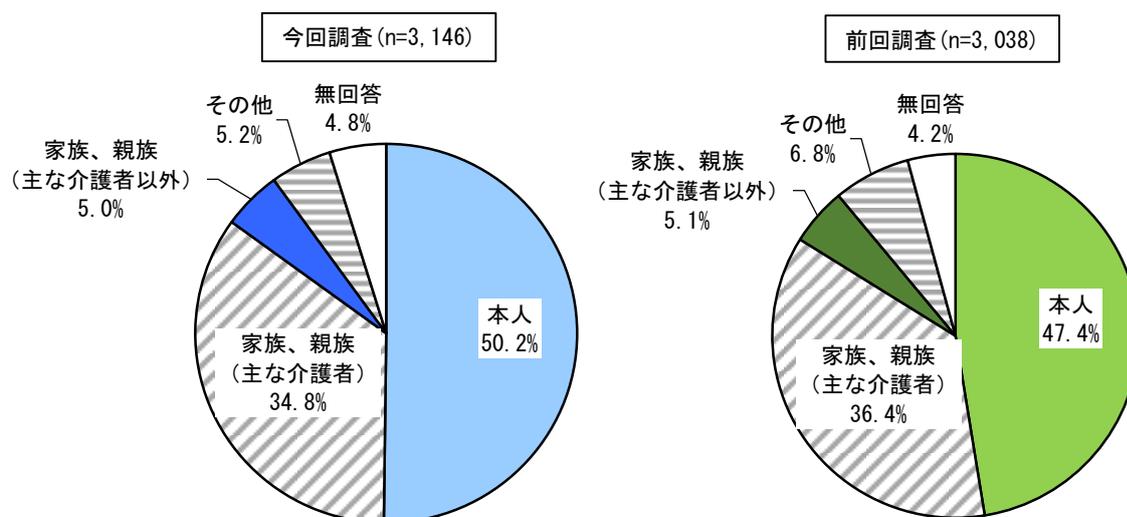
### (1) 調査回答者の基本属性

#### 問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(○はひとつ)

記入者は、「本人」が50.2%、「家族、親族（主な介護者）」が34.8%となっている。  
前回調査の結果に比べ、「本人」の割合が2.8ポイント増加している。(問1)

【問1 記入者（経年比較）】



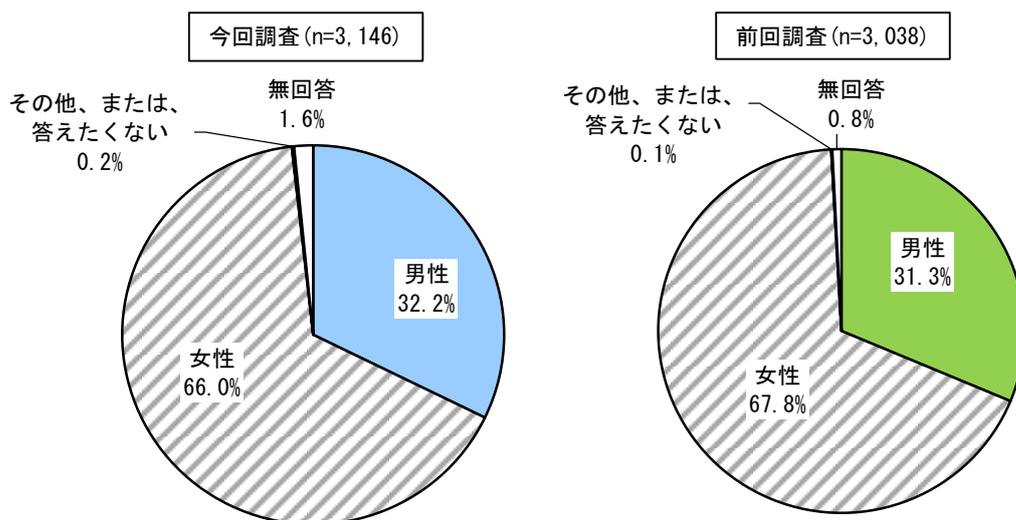
## 問2(1) 本人の性別

あなた（あて名ご本人：以降の質問も同じ）の性別、年齢、居住区についておうかがいします。（それぞれ○はひとつ）

本人の性別は、「男性」が32.2%、「女性」が66.0%となっている。

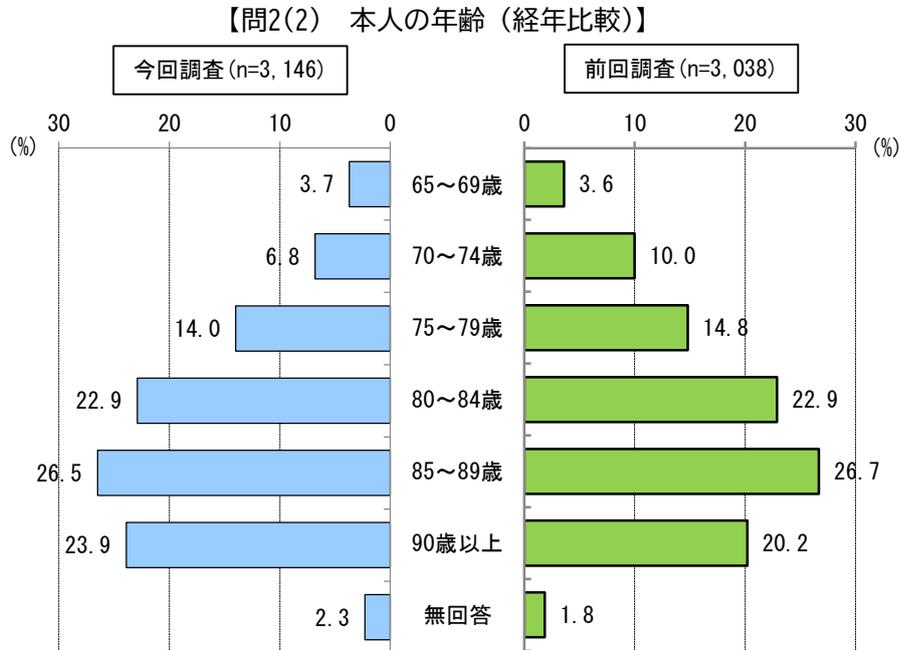
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問2(1)）

【問2(1) 本人の性別（経年比較）】

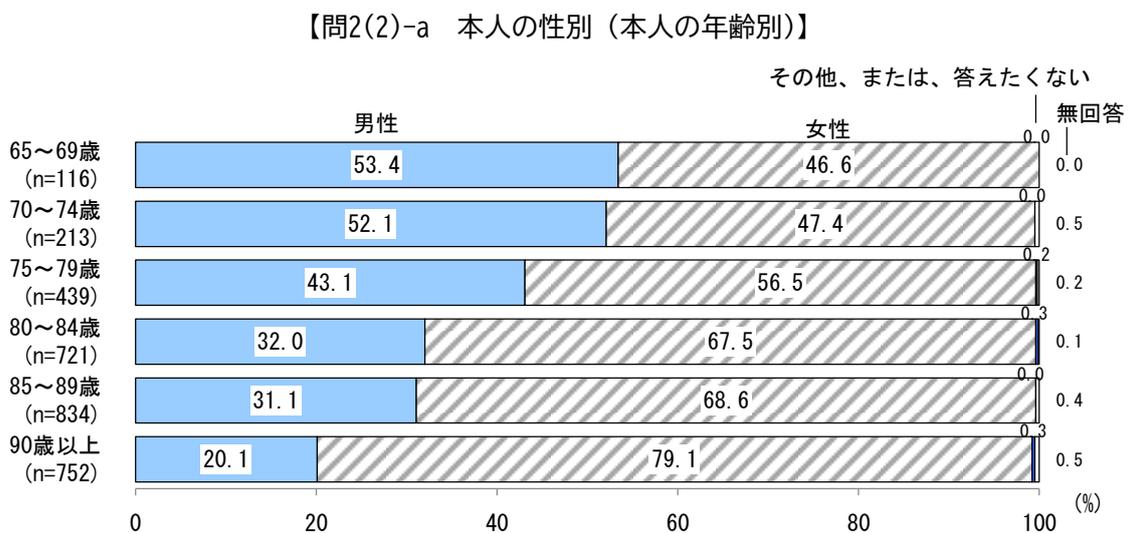


問2(2) 本人の年齢

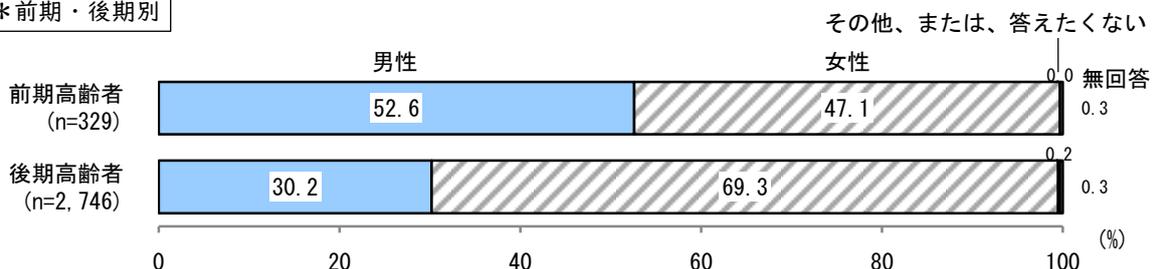
本人の年齢は、「85～89歳」の割合が26.5%で最も高く、次いで「90歳以上」が23.9%、「80～84歳」が22.9%となっている。  
 前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問2(2))



本人の性別と年齢との関係では、65～69歳と70～74歳の回答者は「男性」の割合の方が高く、それ以外の各年代の回答者は「女性」の方が高くなっている。(問2(2)-a)

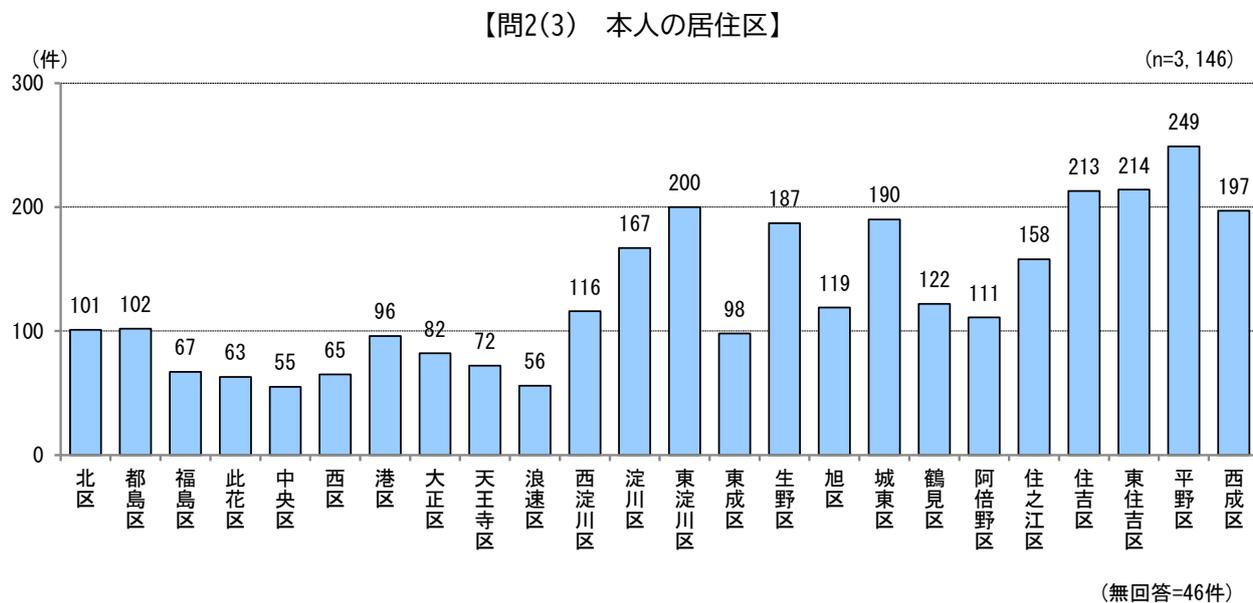


\* 前期・後期別



### 問2(3) 本人の居住区

本人の居住区は、「平野区」が249件で最も多く、次いで「東住吉区」が214件、「住吉区」が213件となっている。(問2(3))



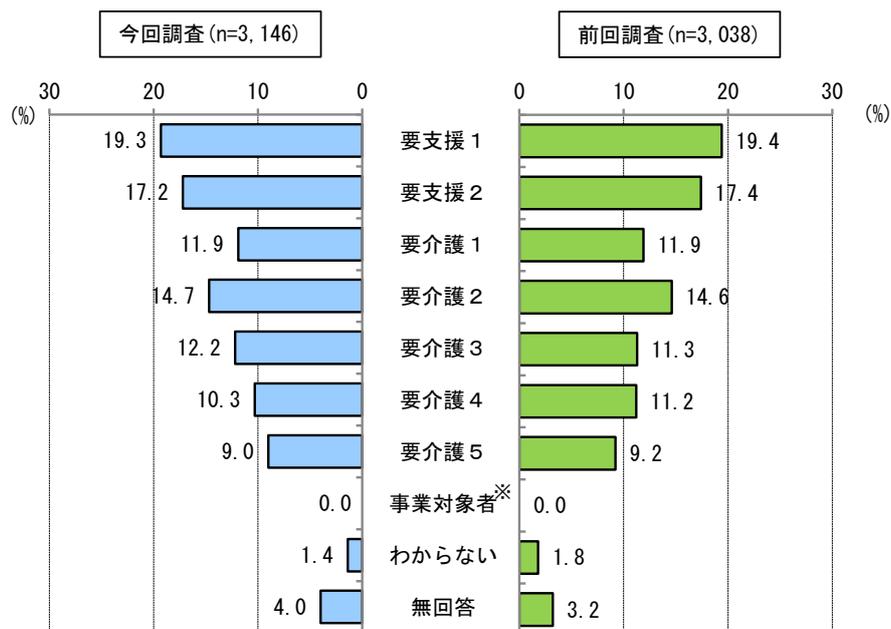
### 問3 要介護度

あなたの要介護度についておうかがいします。(○はひとつ)

要介護度は、「要支援1」の割合が19.3%で最も高く、次いで「要支援2」が17.2%、「要介護2」が14.7%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問3)

【問3 要介護度（経年比較）】



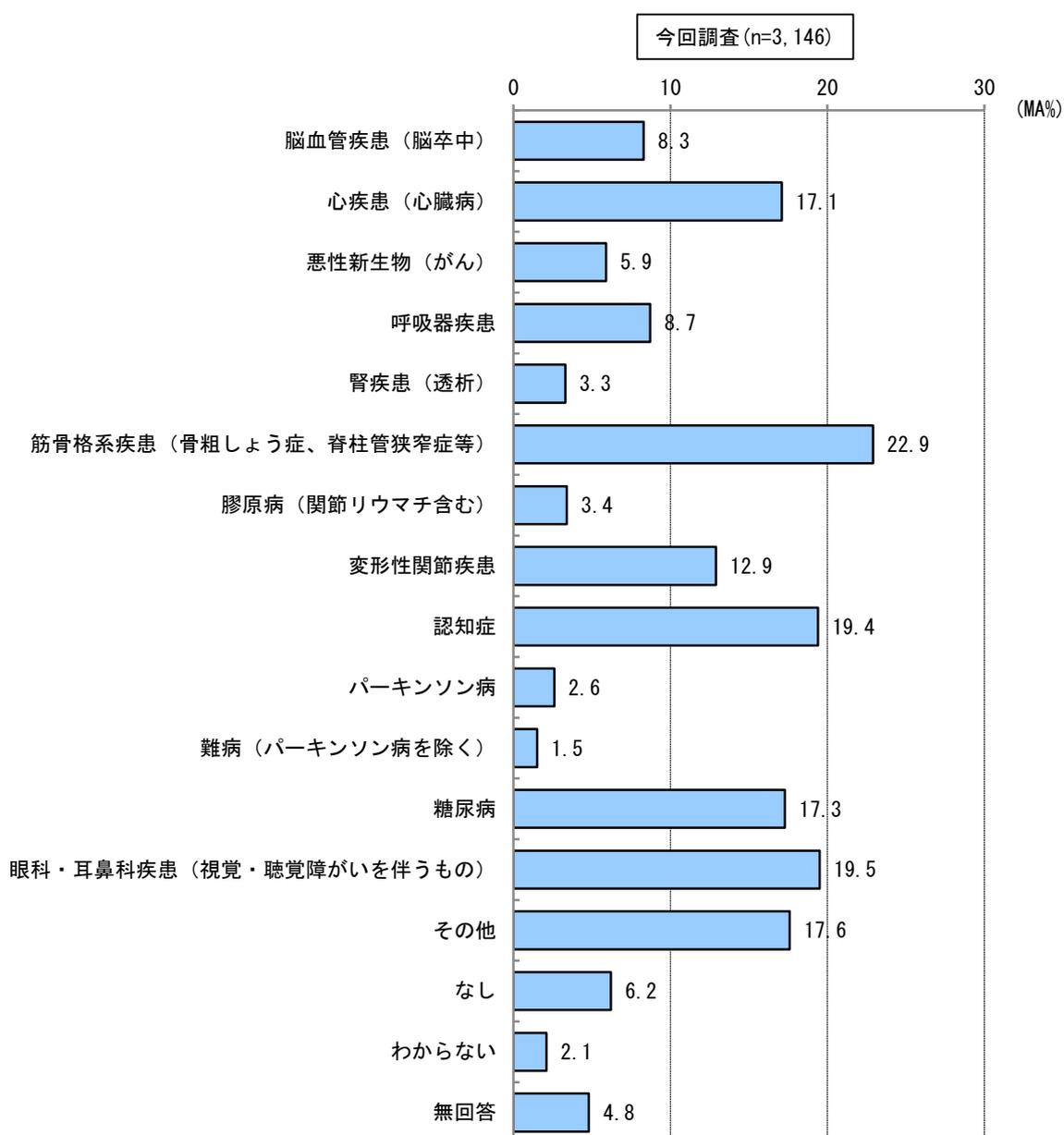
※「事業対象者」とは、地域包括支援センターまたは各区役所保健福祉課で基本チェックリストを実施し、市が実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」の対象となった方をいう。

## 問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む。）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が22.9%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が19.5%、「認知症」が19.4%となっている。（問4）

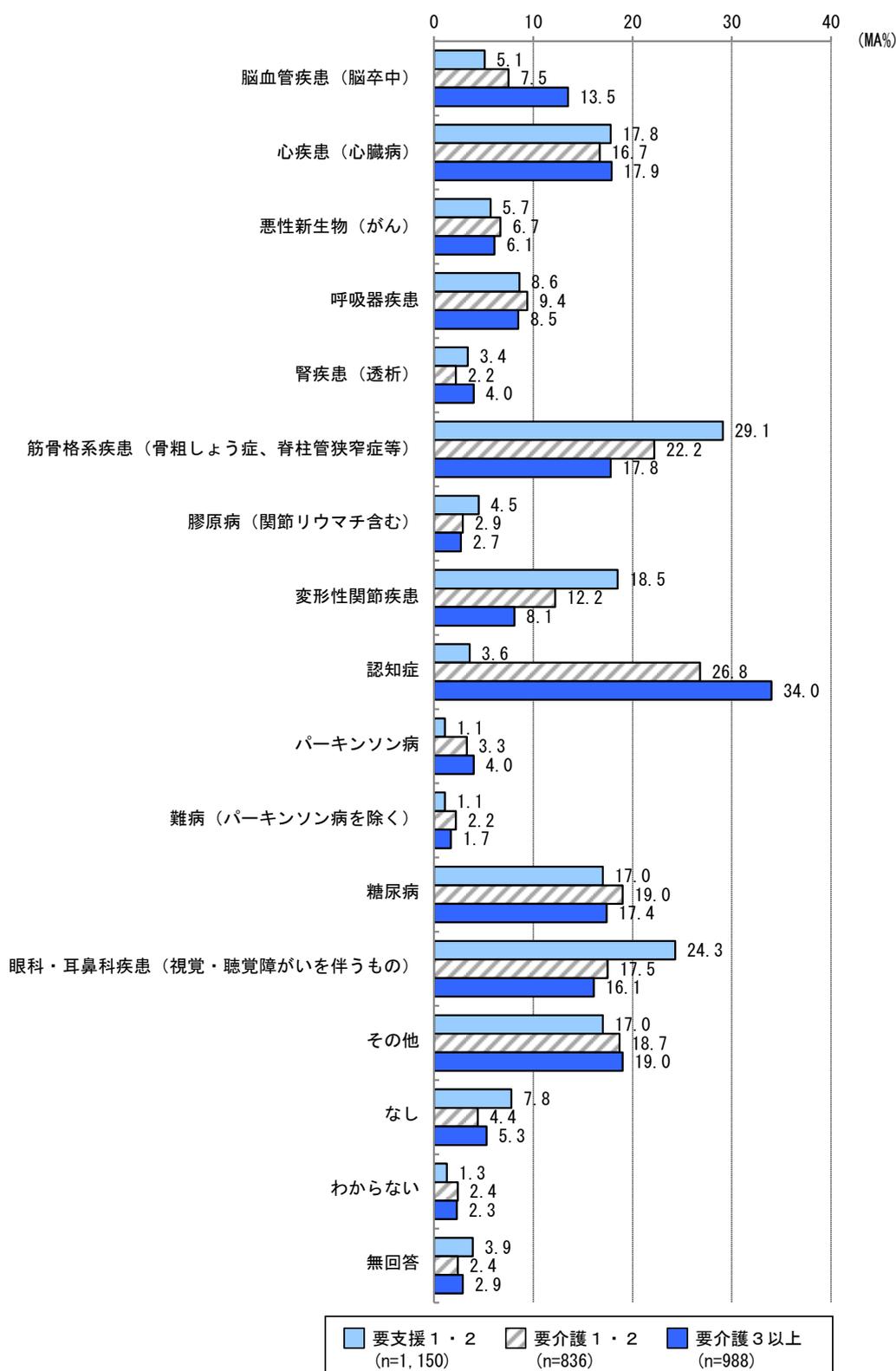
【問4 傷病状況】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」となっている。要介護1・2、要介護3以上では「認知症」の割合が最も高く、「認知症」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問4-a）

【問4-a 傷病状況（要介護度別）】



## (2) 世帯の状況、介護の状況

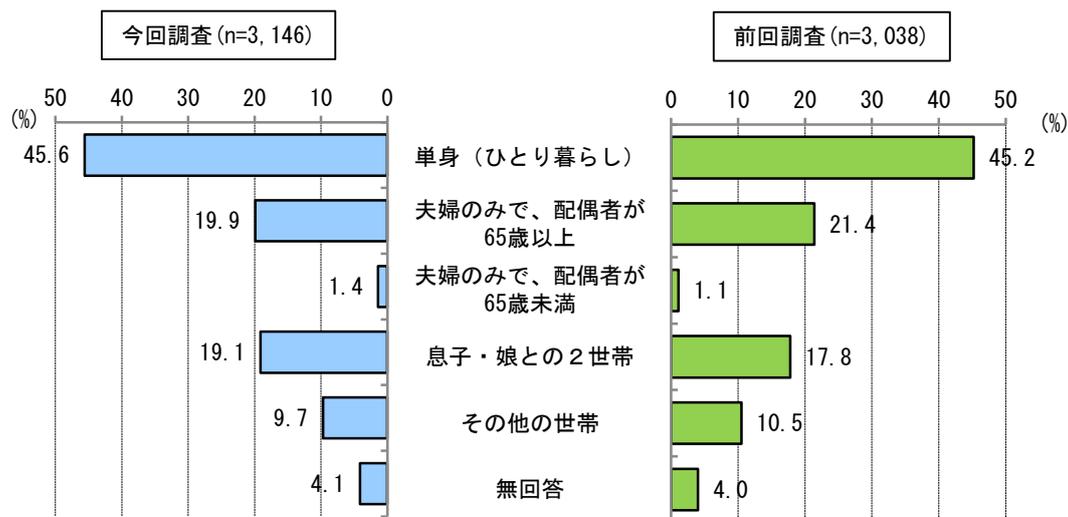
### 問5 世帯状況

あなたと同居されている家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

世帯状況は、「単身（ひとり暮らし）」の割合が45.6%で最も高く、次いで「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が19.9%、「息子・娘との2世帯」が19.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問5)

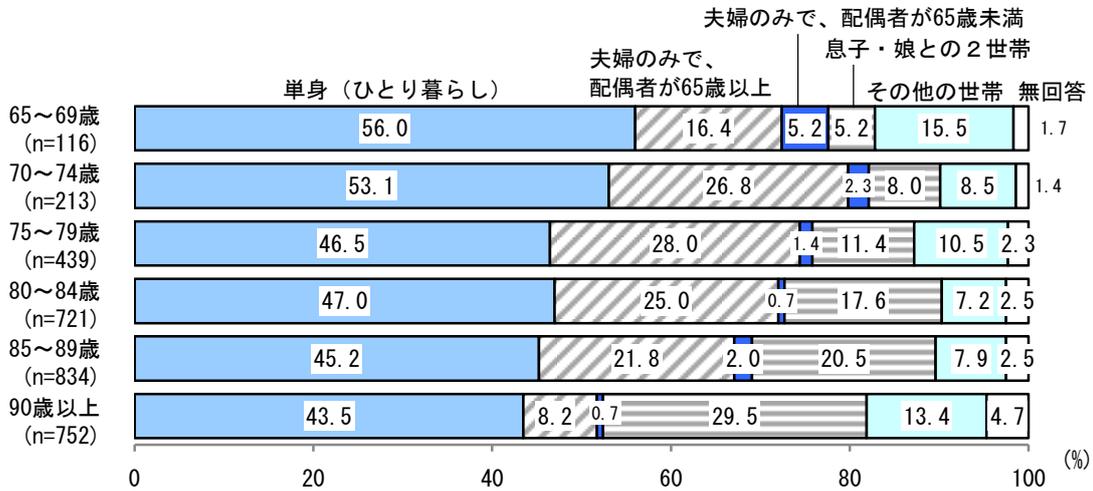
【問5 世帯状況（経年比較）】



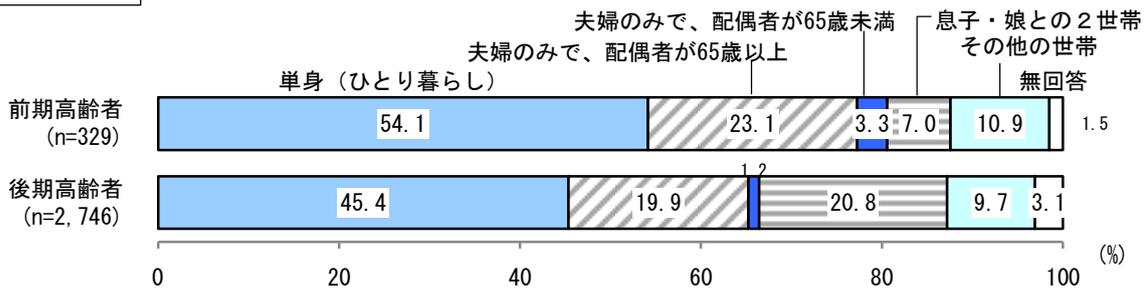
【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別では、いずれの年代も「単身（ひとり暮らし）」の割合が最も高くなっている。70～89歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が2割台となっている。（問5-a）

【問5-a 世帯状況（本人の年齢別）】

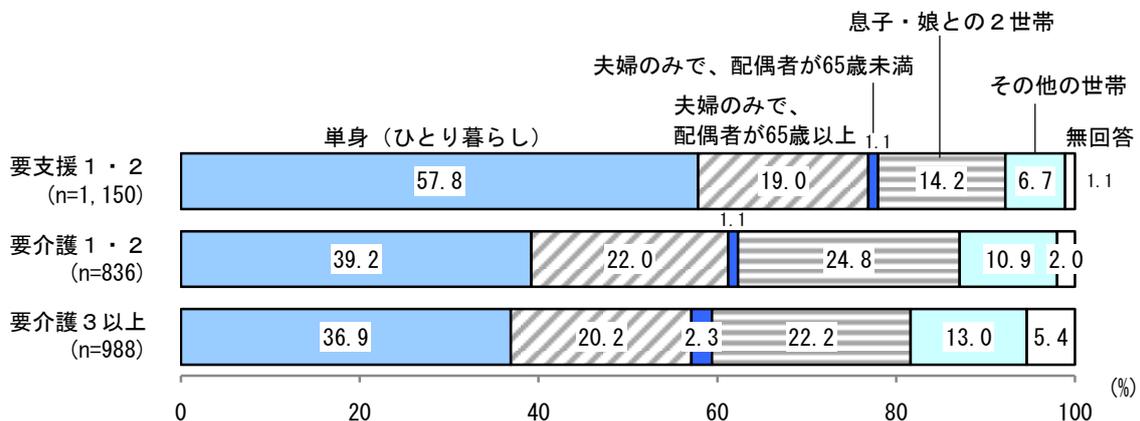


\* 前期・後期別



要介護度別では、要支援1・2は「単身（ひとり暮らし）」が57.8%となっている。要介護1以上も「単身（ひとり暮らし）」の割合が最も高い一方、同居者のいる世帯が5割以上を占めている。また、「息子・娘との2世帯」は要介護1以上で2割台となっている。（問5-b）

【問5-b 世帯状況（要介護度別）】



## 問6 介護者の有無

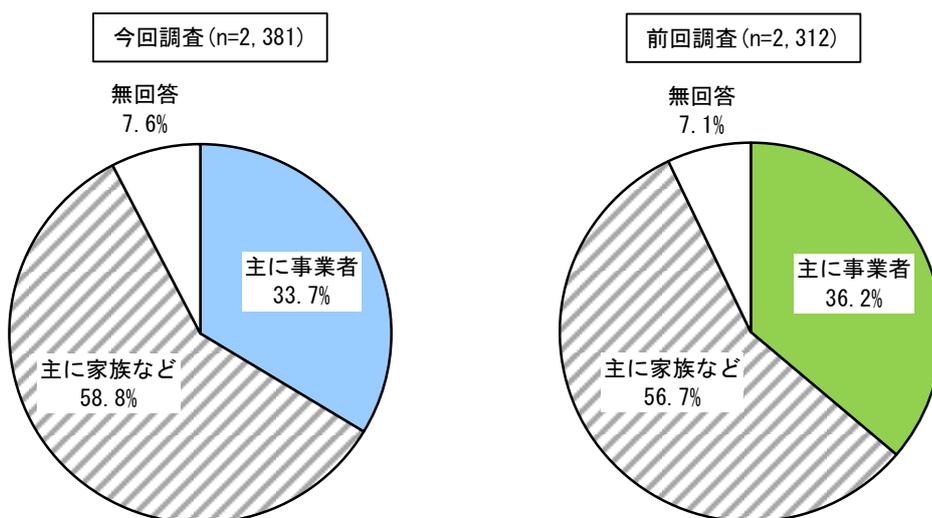
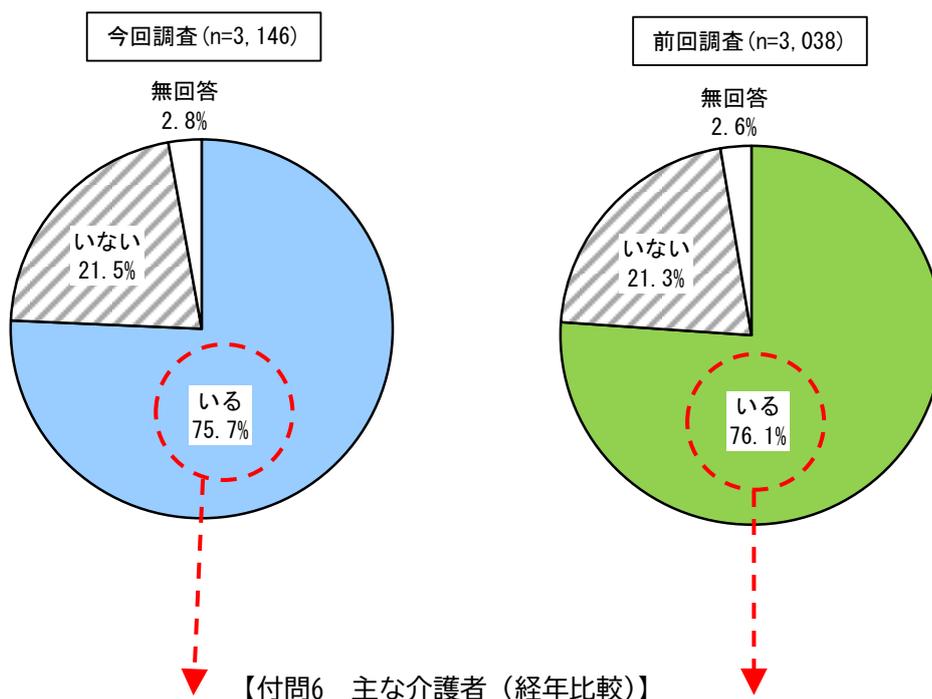
あなたの介護をする方はいますか。(○はひとつ)

介護者が「いる」は75.7%に対し、「いない」が21.5%となっている。(問6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が33.7%、「主に家族など」が58.8%となっている。(付問6)

介護者の有無及び主な介護者とも、前回調査の結果から大きな変化はみられない。

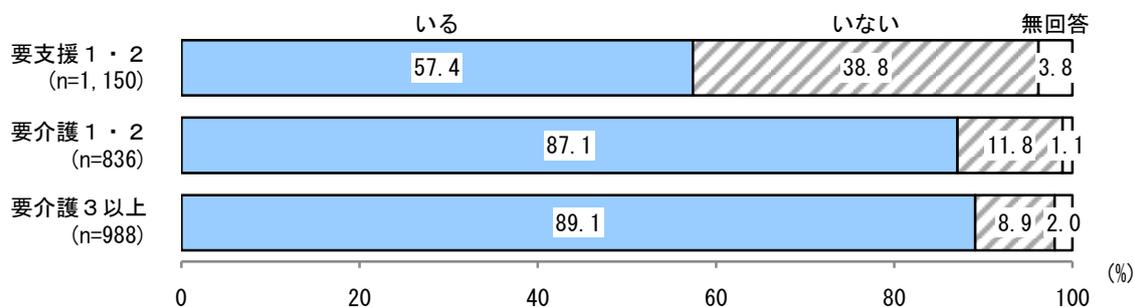
### 【問6 介護者の有無（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

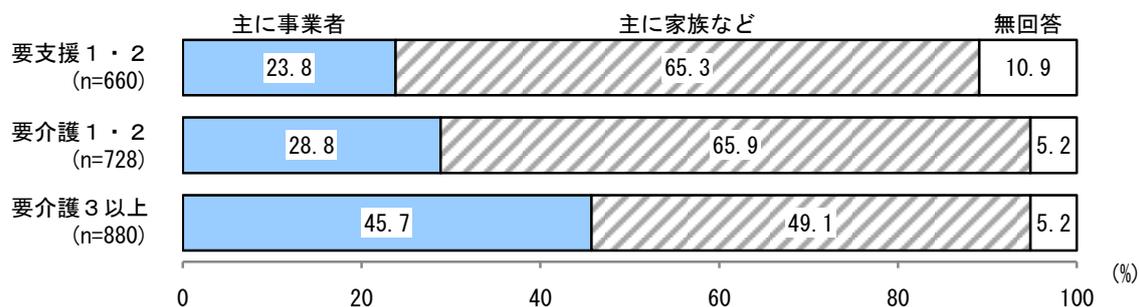
要介護度別では、介護者が「いる」の割合は重度になるほど高くなり、要介護1以上では約9割を占めている。(問6-a)

【問6-a 介護者の有無（要介護度別）】



要介護度別の主な介護者は、「主に事業者」の割合が重度になるほど高くなっている。(付問6-a)

【付問6-a 主な介護者（要介護度別）】



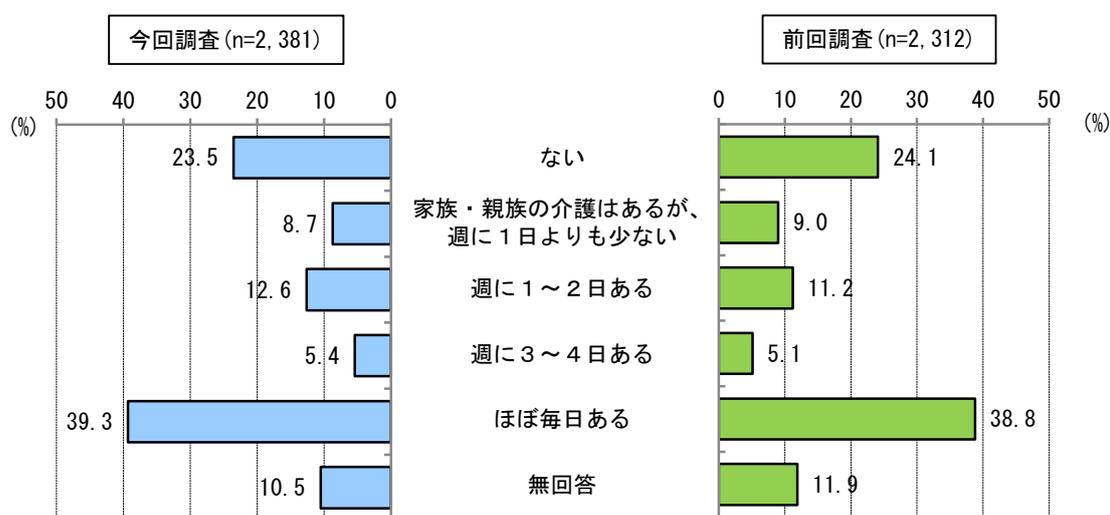
### 問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」（介護をする方がいる）と回答された方におうかがいします。  
 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○はひとつ）

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」の割合が39.3%で最も高く、次いで「ない」が23.5%、「週に1～2日ある」が12.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問6-1）

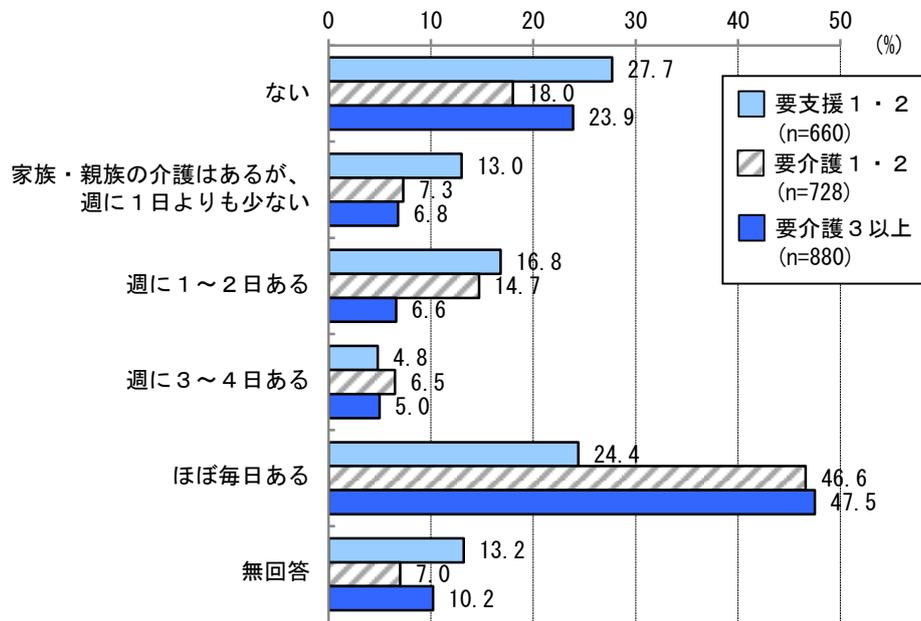
【問6-1 家族や親族からの介護日数（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「ほぼ毎日ある」の割合は重度になるほど高くなり、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」の割合は軽度ほど高くなっている。  
 (問6-1-a)

【問6-1-a 家族や親族からの介護日数（要介護度別）】

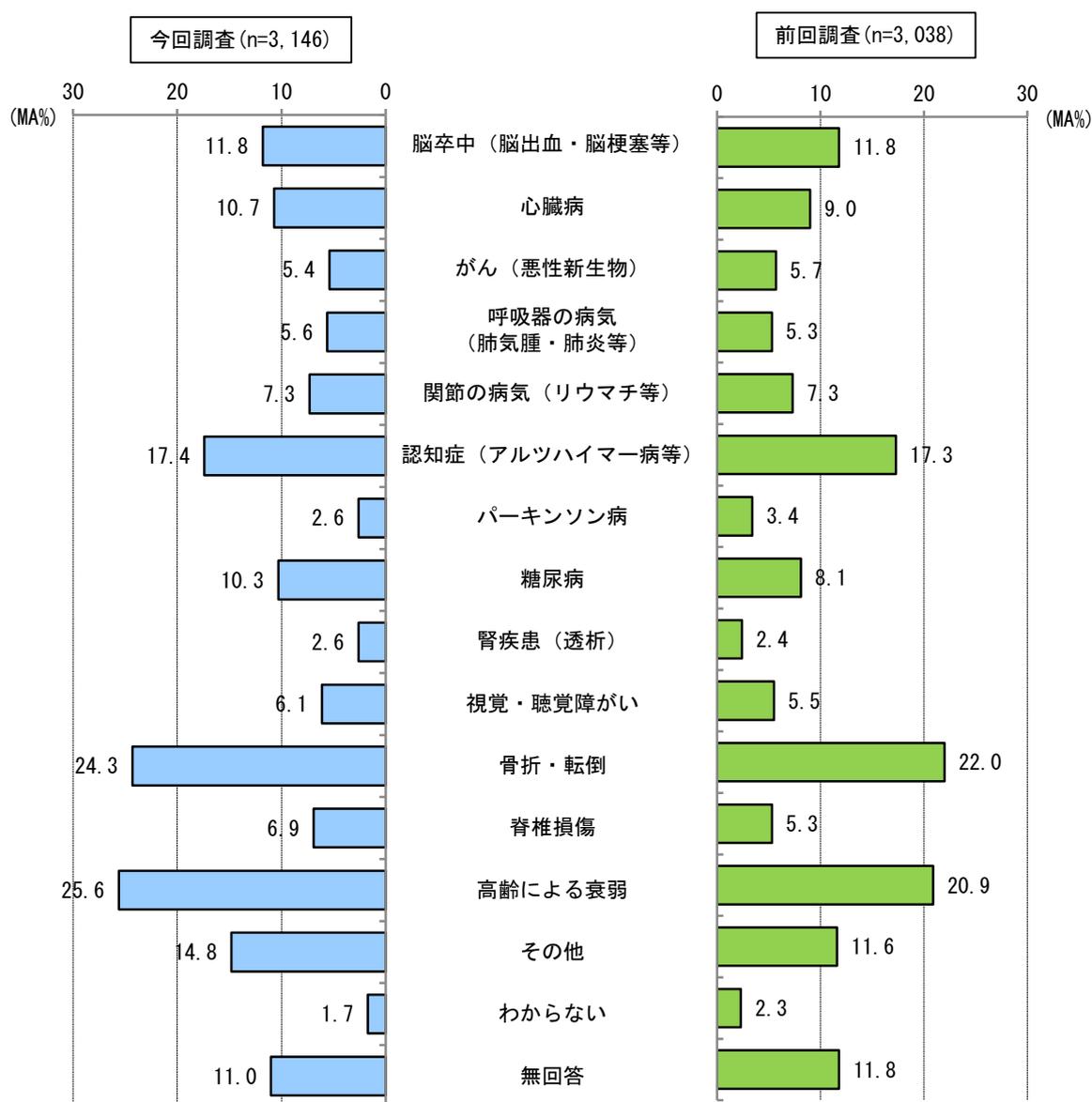


## 問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった原因は何ですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」の割合が25.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が24.3%、「認知症（アルツハイマー病等）」が17.4%となっている。前回調査の結果に比べ、「高齢による衰弱」は4.7ポイント増加している。(問7)

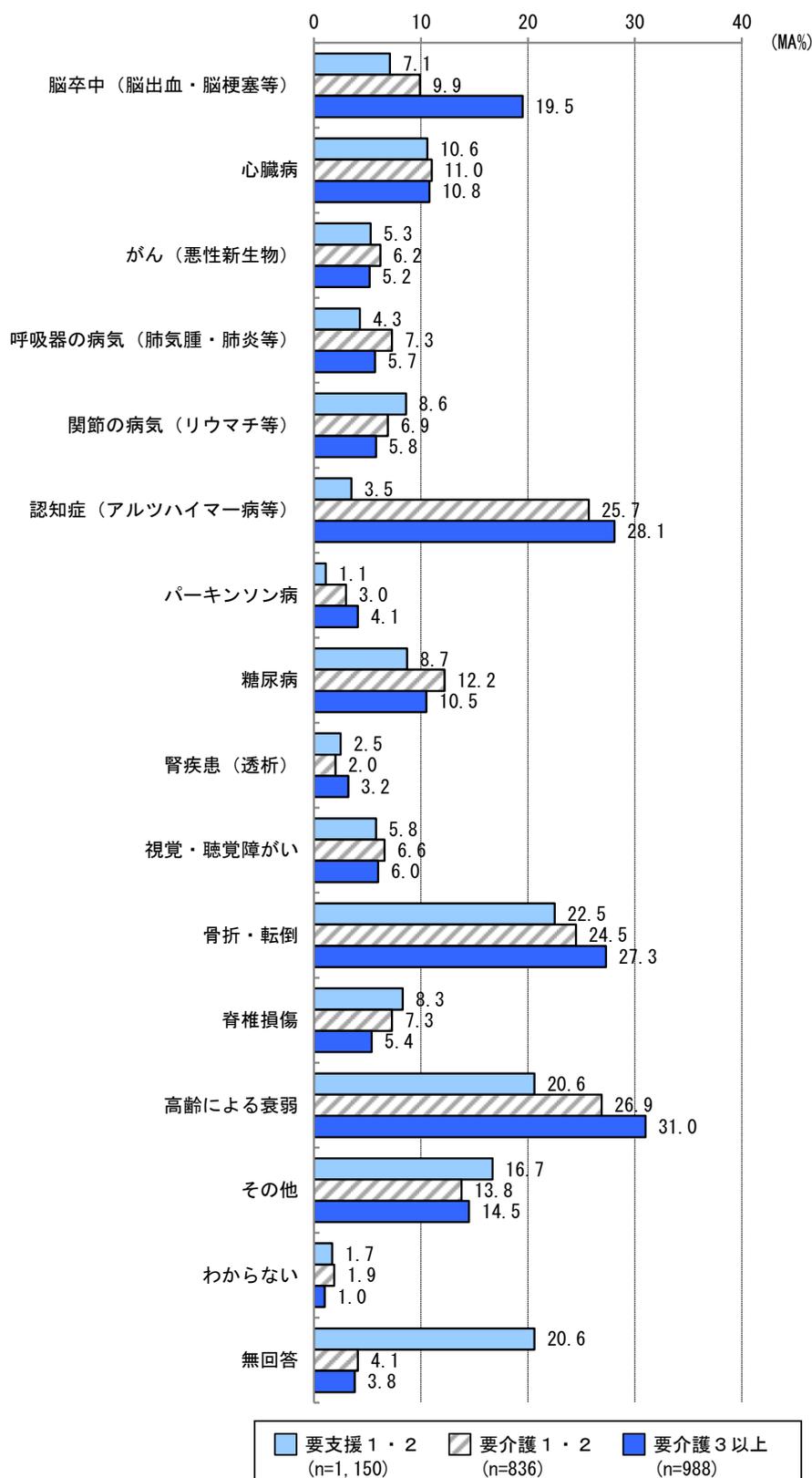
【問7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「骨折・転倒」、要介護1以上は「高齢による衰弱」の割合がそれぞれ最も高くなっている。「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「認知症（アルツハイマー病等）」「パーキンソン病」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合は重度になるほど高くなっている。（問7-a）

【問7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】

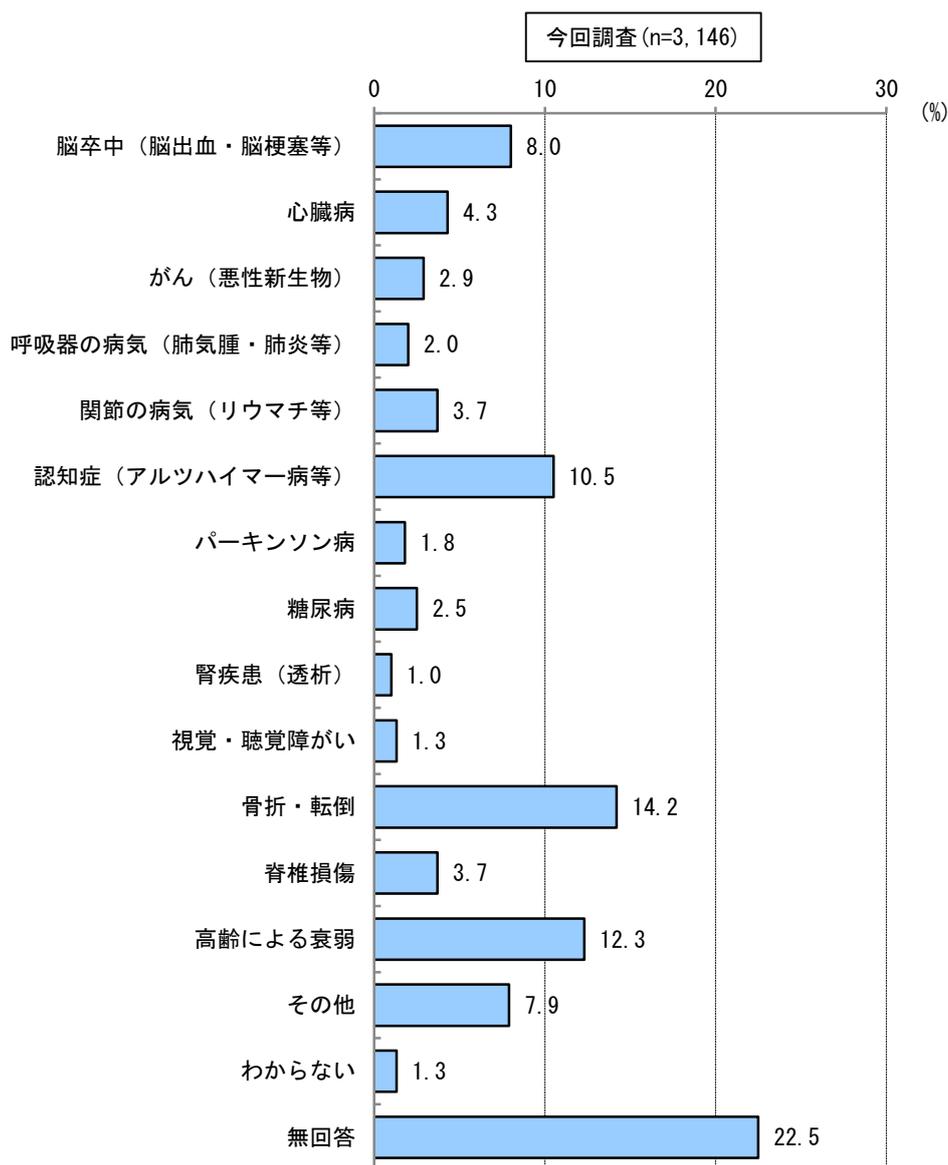


### 問7-1 介護・介助が必要になった主な原因

問7で○をつけた原因の中で、主な原因である番号を1つ記入してください。

介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」の割合が14.2%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が12.3%、「認知症（アルツハイマー病等）」が10.5%となっている。（問7-1）

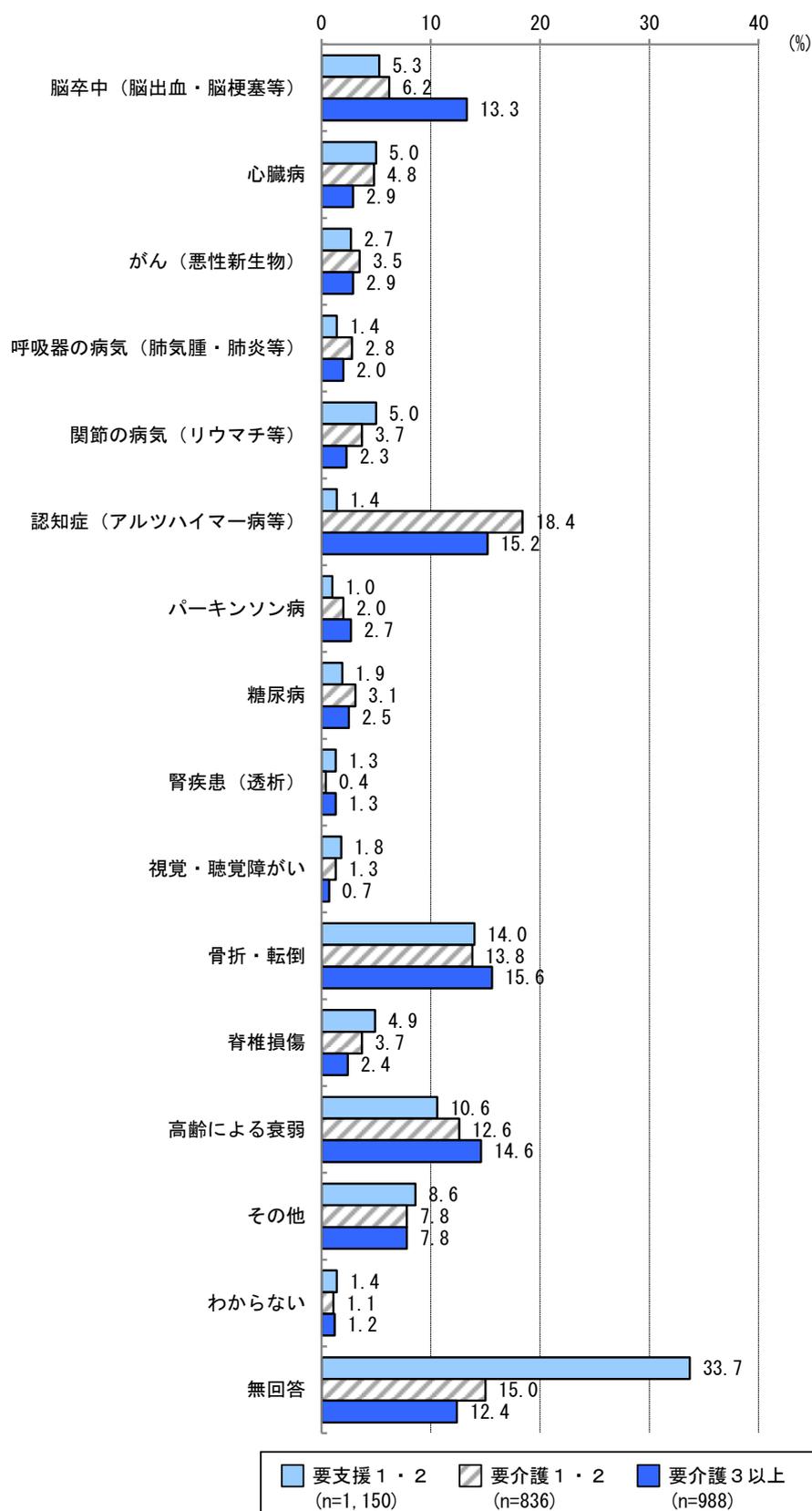
【問7-1 介護・介助が必要になった主な原因】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護3以上は「骨折・転倒」、要介護1・2は「認知症（アルツハイマー病等）」の割合がそれぞれ最も高くなっている。（問7-1-a）

【問7-1-a 介護・介助が必要になった主な原因（要介護度別）】



### (3) 要介護認定

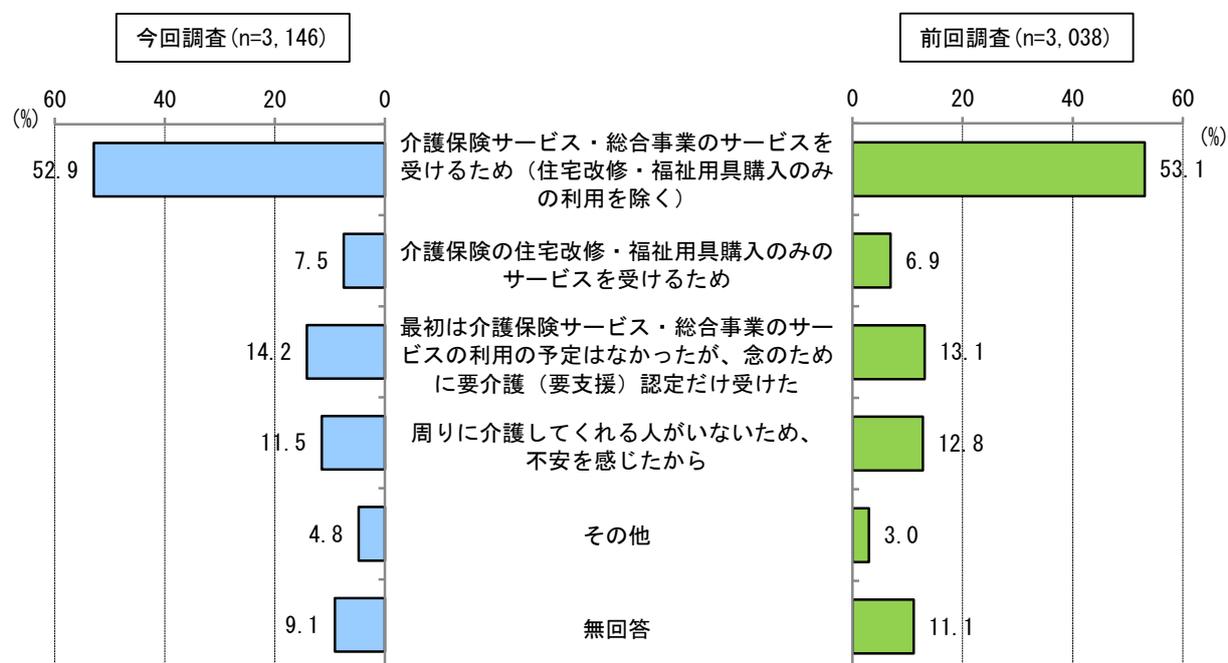
#### 問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的は、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」の割合が52.9%で最も高く、次いで「最初は介護保険サービス・総合事業のサービスの利用の予定はなかったが、念のために要介護（要支援）認定だけを受けた」が14.2%、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が11.5%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問8)

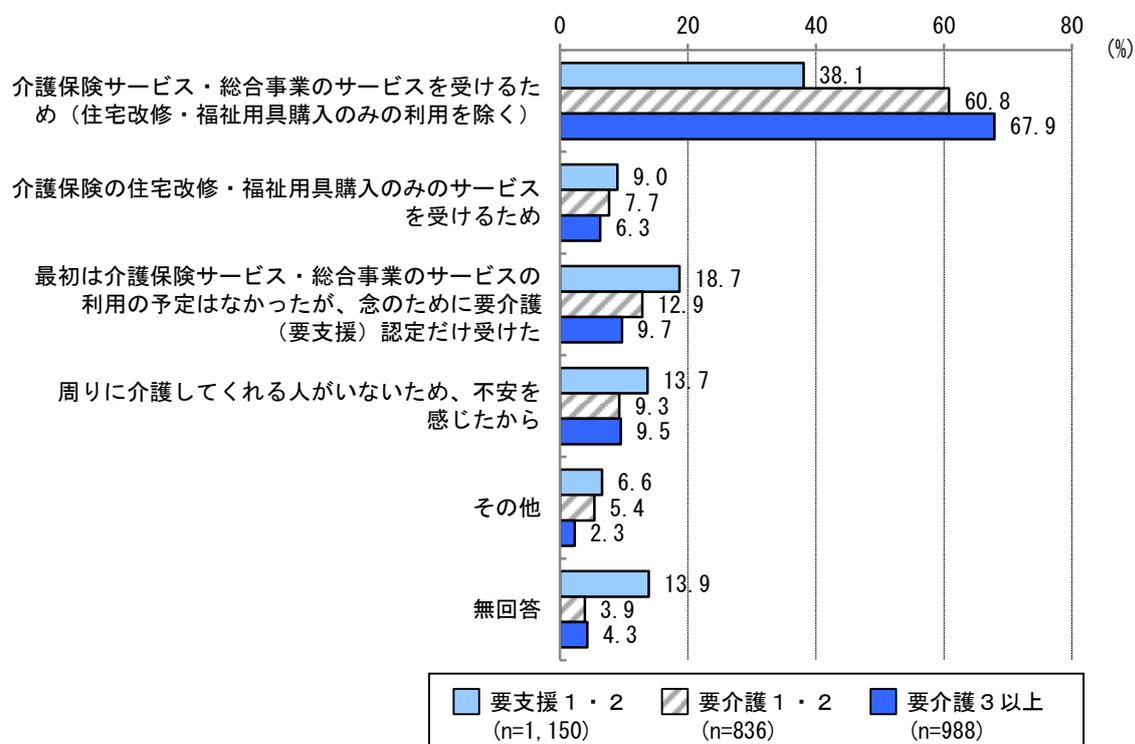
【問8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」の割合は重度になるほど高くなっている。それ以外の項目は要支援1・2の割合が最も高くなっている。（問8-a）

【問8-a 初めて要介護認定を受けた時の目的（要介護度別）】



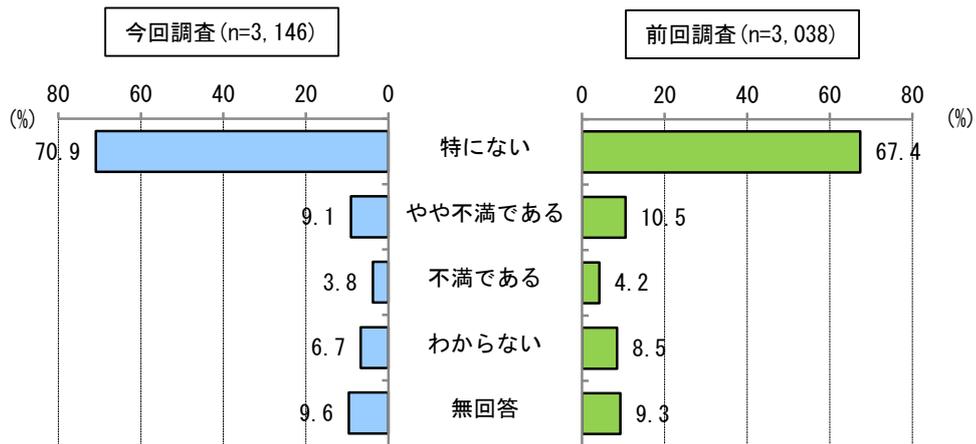
### 問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点はありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定での不満は、「特にない」の割合が70.9%で最も高く、次いで「やや不満である」が9.1%となっている。

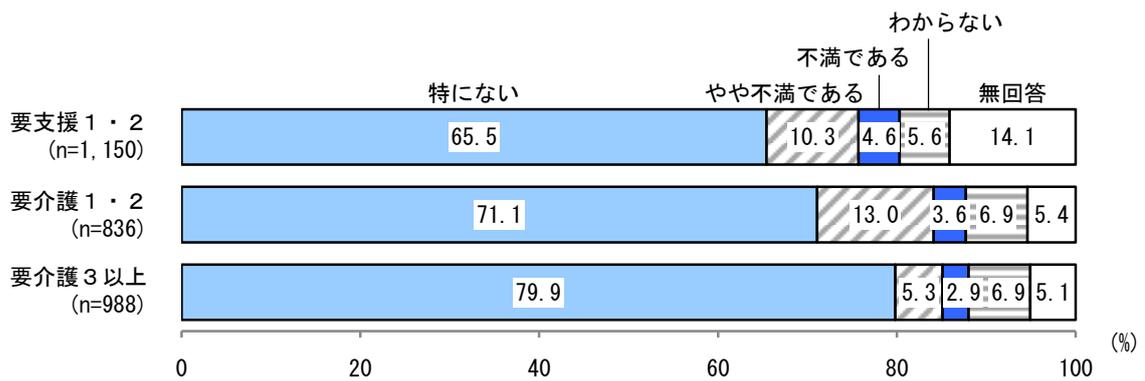
前回調査の結果に比べ、「特にない」の割合は3.5ポイント増加している。(問9)

【問9 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



要介護度別では、「特にない」の割合は重度になるほど高くなっている。「不満である」の割合は軽度ほど高くなっている。(問9-a)

【問9-a 直近の要介護認定で不満の有無（要介護度別）】



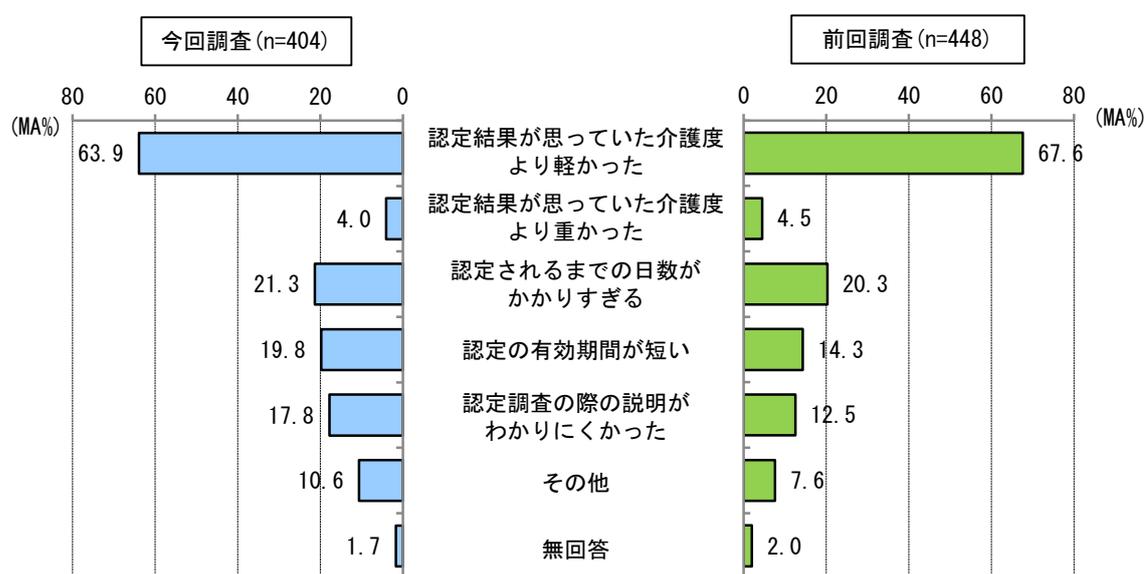
### 問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。  
その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合が63.9%で最も高く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が21.3%、「認定の有効期間が短い」が19.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「認定の有効期間が短い」の割合が5.5ポイント、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」の割合が5.3ポイント、それぞれ増加している。(問9-1)

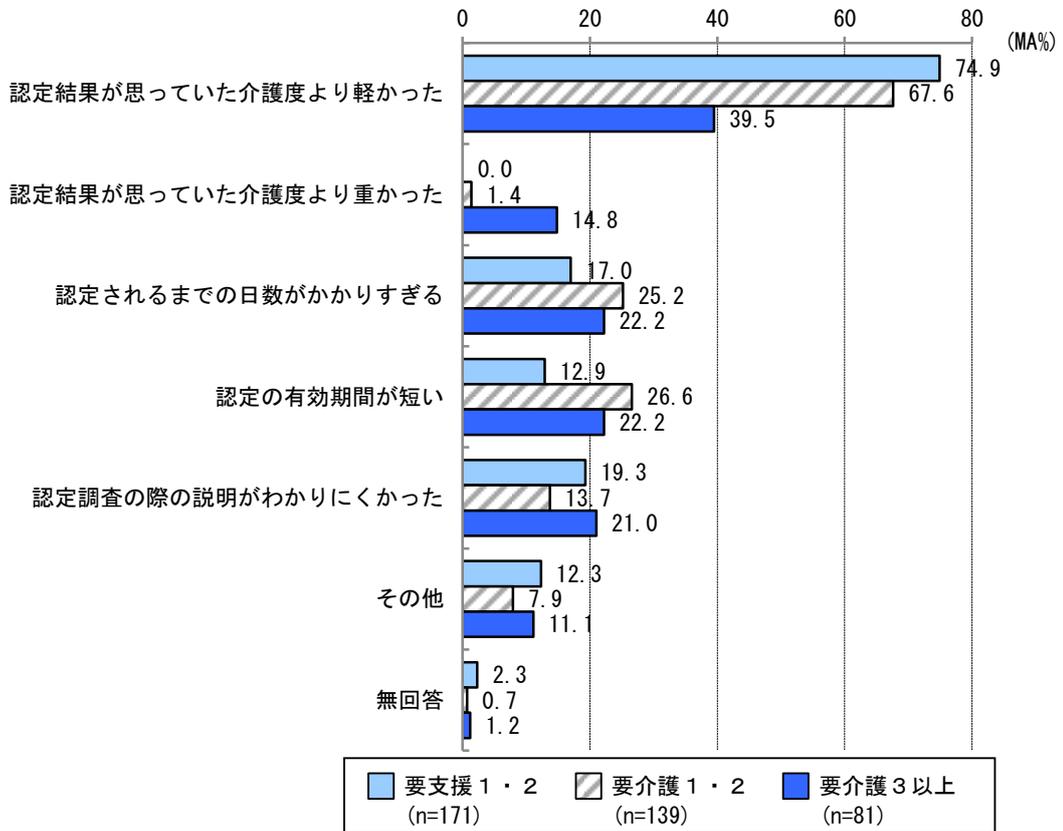
【問9-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合は重度になるほど減少し、「認定されるまでの日数がかかりすぎる」「認定の有効期間が短い」の割合は要介護1・2が最も高くなっている。(問9-1-a)

【問9-1-a 要介護認定に不満がある理由（要介護度別）】



(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

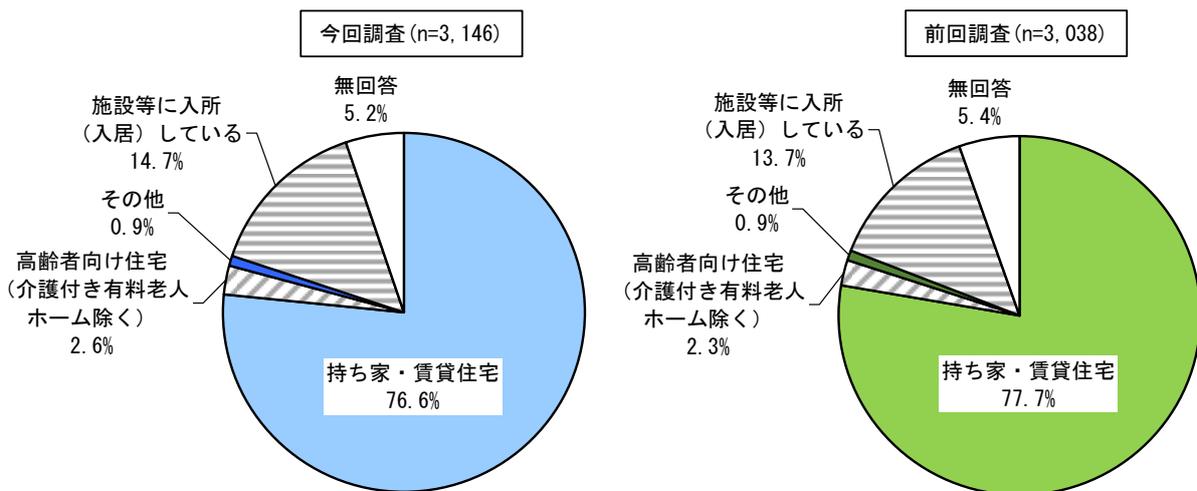
問10 現在の住まい

あなたの現在のお住まいについて、お答えください。(○はひとつ)

現在の住まいは、「持ち家・賃貸住宅」の割合が76.6%で最も高く、次いで「施設等に入所(入居)している」が14.7%となっている。

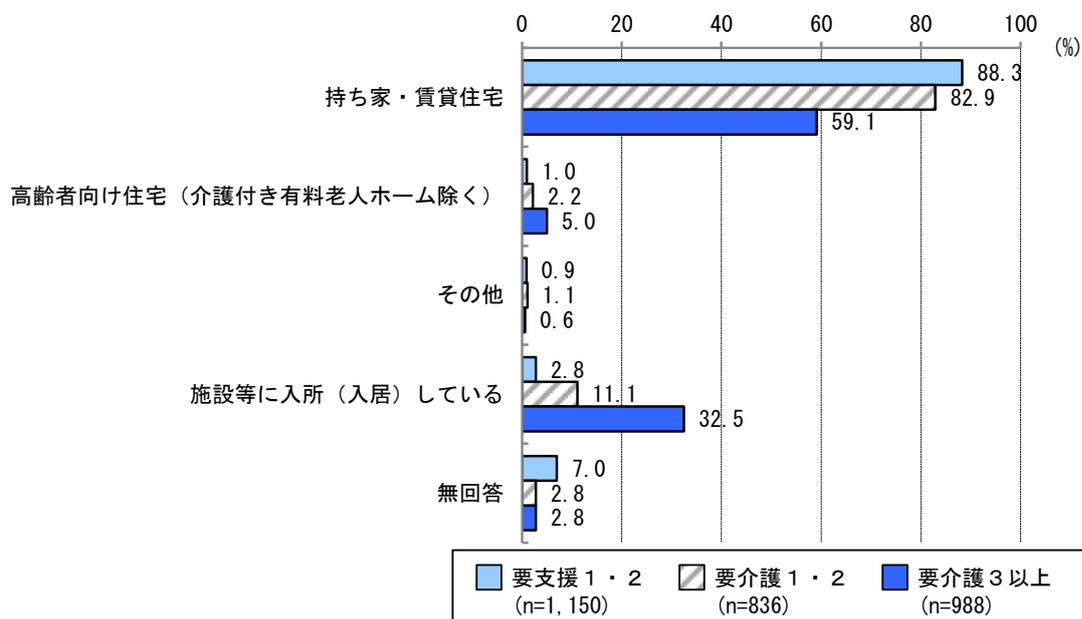
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問10)

【問10 現在の住まい(経年比較)】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「持ち家・賃貸住宅」の割合が最も高く、要支援1・2、要介護1・2は8割台となっている。「施設等に入所(入居)している」の割合は、要介護3以上が32.5%で最も高くなっている。(問10-a)

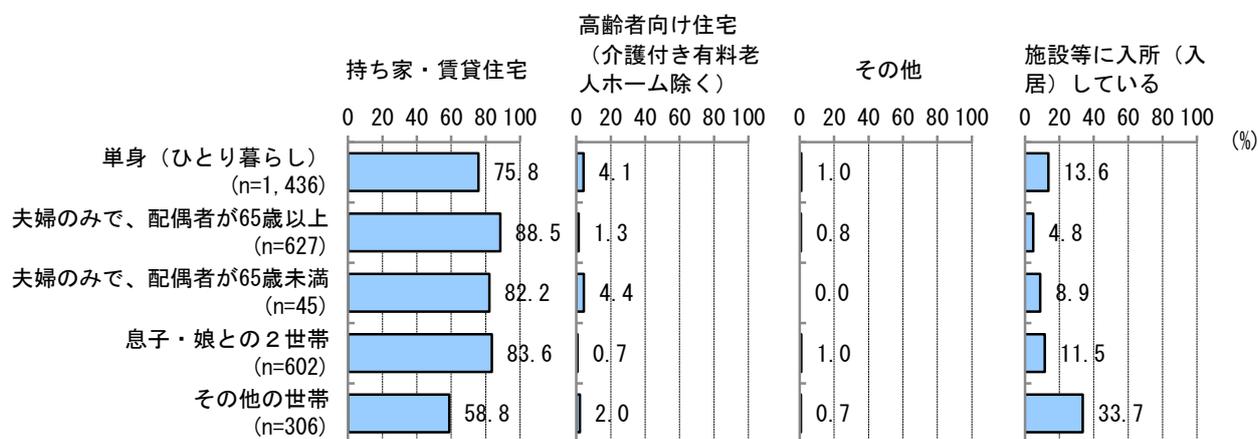
【問10-a 現在の住まい(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、いずれも「持ち家・賃貸住宅」の割合が最も高く、夫婦のみで配偶者が65歳以上の世帯、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯、息子・娘との2世帯の世帯は8割台となっている。(問10-b)

【問10-b 現在の住まい（世帯状況別）】



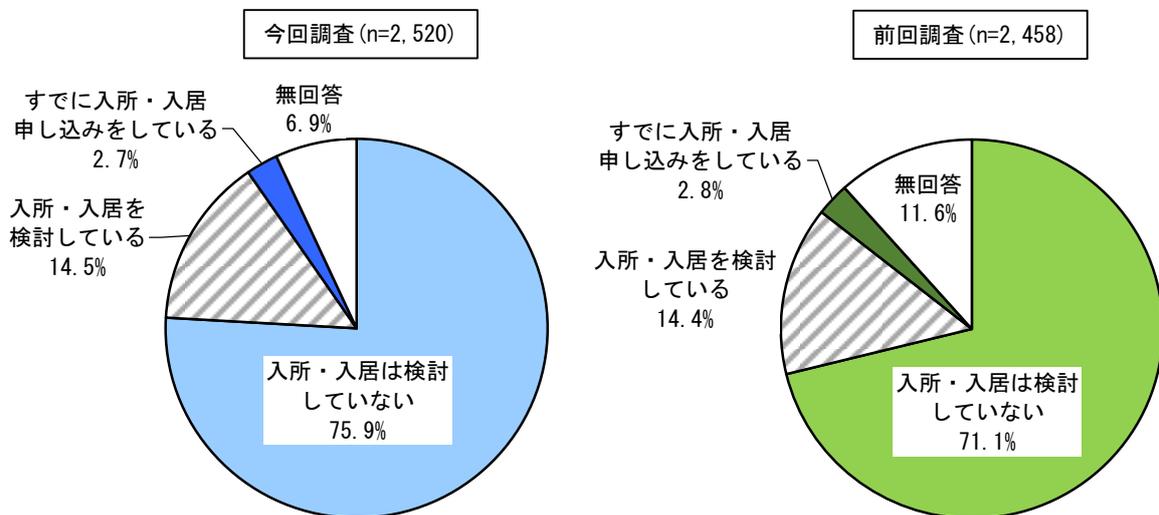
問10-1 施設等の入所(入居)の検討状況

問10で「1 持ち家・賃貸住宅」、「2 高齢者向け住宅」、「3 その他」と回答された方におうかがいします。  
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(〇はひとつ)

現在の住まいが施設以外と回答した人の施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」の割合が75.9%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.7%となっている。

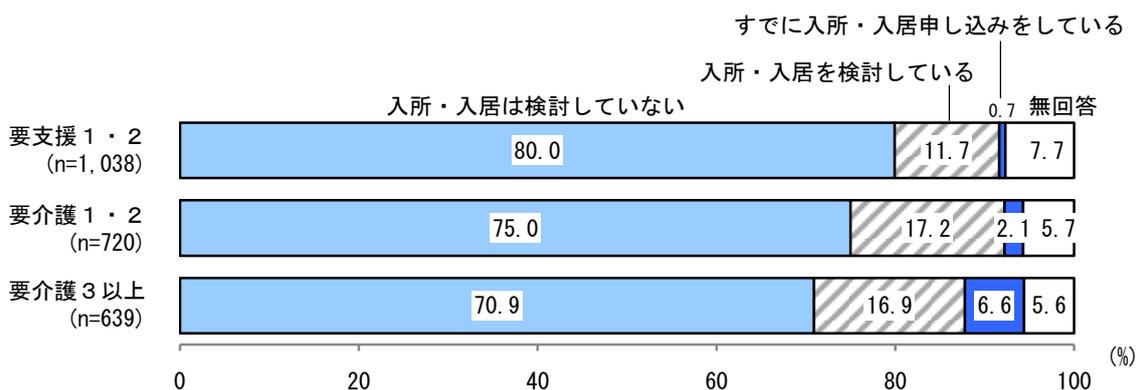
前回調査の結果に比べ、「入所・入居は検討していない」の割合は4.8ポイント増加している。(問10-1)

【問10-1 施設等の入所(入居)の検討状況(経年比較)】



要介護度別では、いずれも「入所・入居は検討していない」の割合が最も高く、重度になるほど、その割合は低くなっている。「入所・入居を検討している」の割合は、要介護1・2では17.2%、要介護3以上では16.9%となっており、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、要介護3以上が6.6%で最も高くなっている。(問10-1-a)

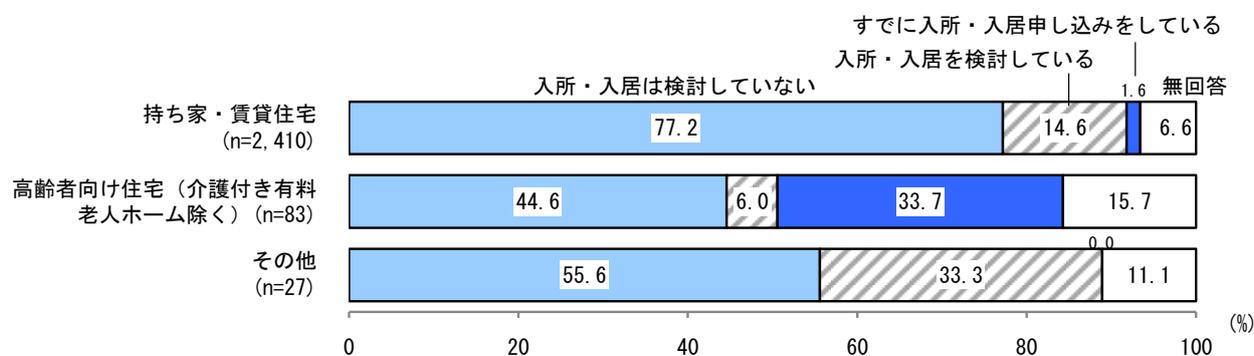
【問10-1-a 施設等の入所(入居)の検討状況(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

現在の住まい別では、「入所・入居は検討していない」の割合は、持ち家・賃貸住宅が77.2%で最も高くなっている。「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、高齢者向け住宅（介護付き有料老人ホーム除く）が33.7%で最も高くなっている。（問10-1-b）

【問10-1-b 施設等の入所（入居）の検討状況（現在の住まい別）】



【介護保険サービス利用者調査】

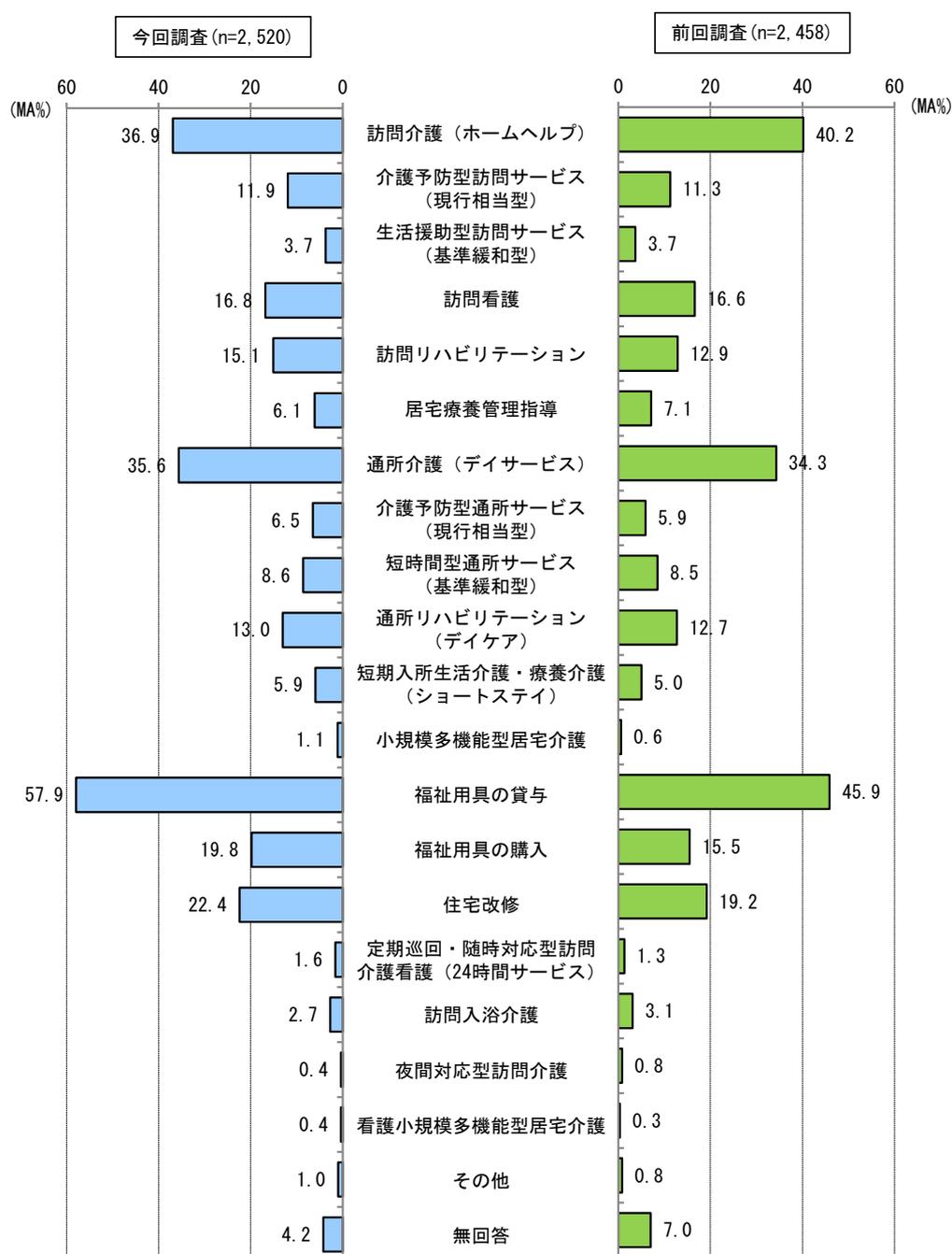
問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについてあてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスは、「福祉用具の貸与」の割合が57.9%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が36.9%、「通所介護（デイサービス）」が35.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合は12.0ポイント増加している。(問10-2)

【問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（経年比較）】

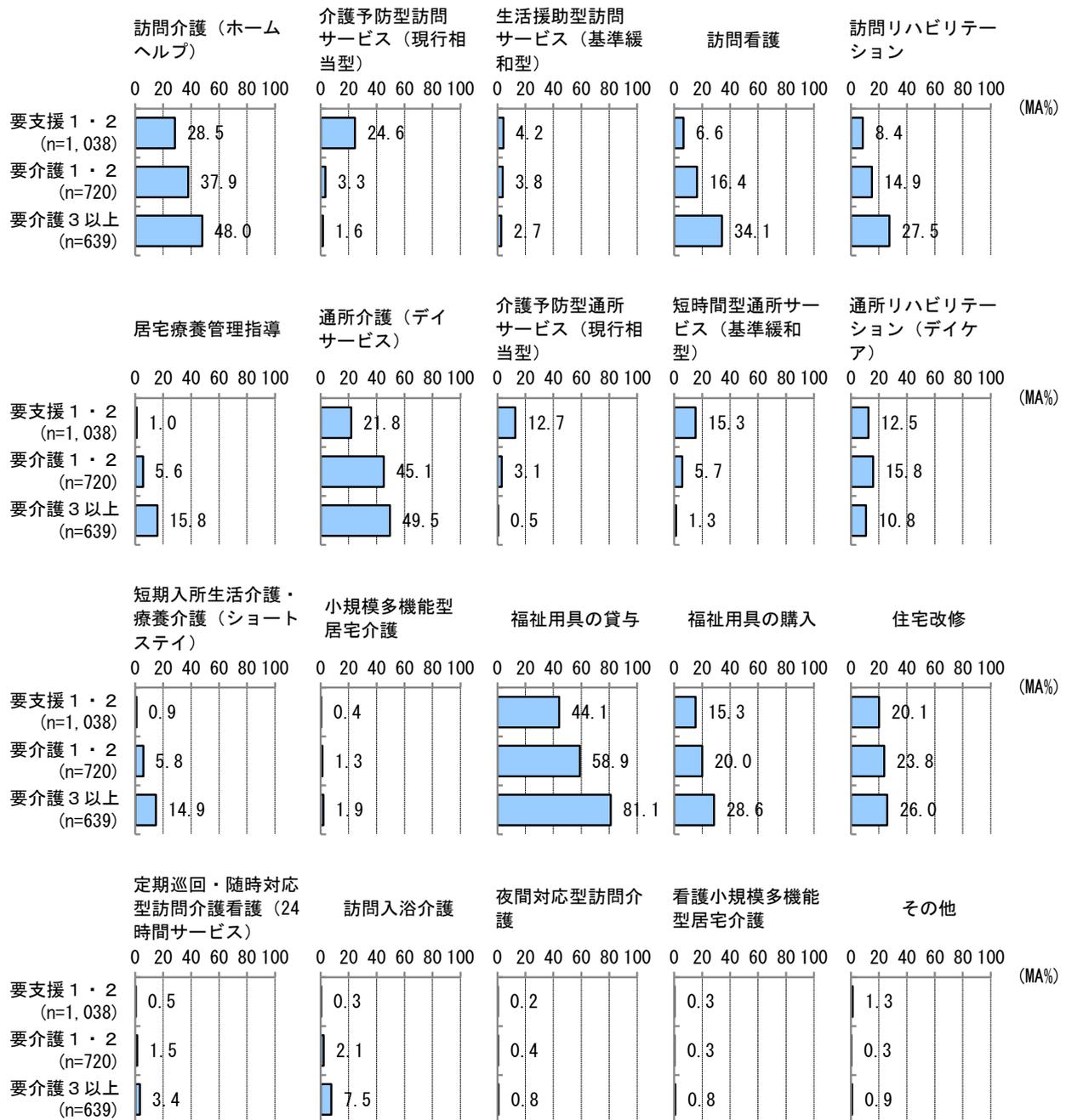


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、いずれの要介護度も「福祉用具の貸与」の割合が最も高くなっている。

また、「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」「通所介護（デイサービス）」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「小規模多機能型居宅介護」「福祉用具の貸与」「福祉用具の購入」「住宅改修」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」の各割合は重度になるほど高くなっている。（問10-2-a）

【問10-2-a 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（要介護度別）】

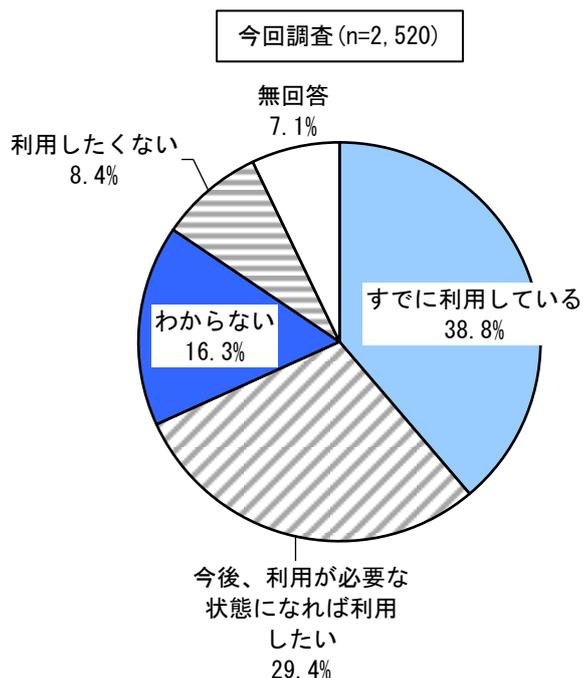


### 問10-3 リハビリテーションサービスの利用意向

いつまでも地域でいきいきと生活を続けるために、リハビリテーションサービスを利用してみたいですか。(〇はひとつ)

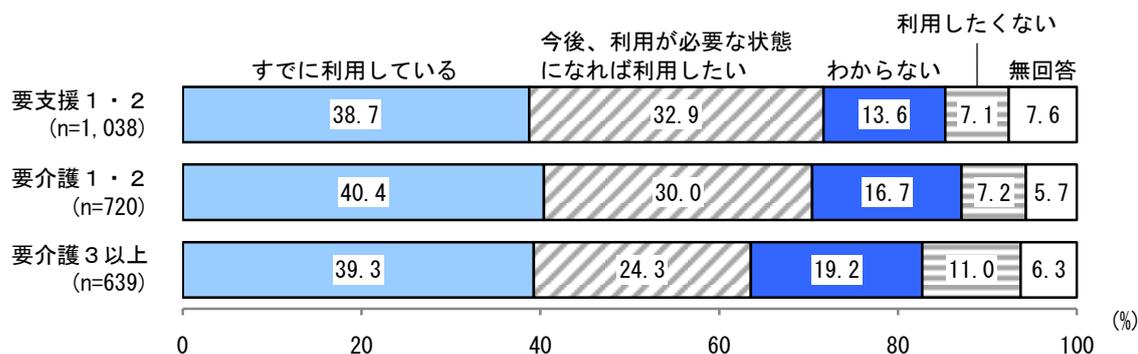
リハビリテーションサービスの利用意向は、「すでに利用している」の割合が38.8%で最も高く、次いで「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」が29.4%となっている。(問10-3)

【問10-3 リハビリテーションサービスの利用意向】



要介護度別では、いずれも「すでに利用している」の割合が最も高い。「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」の割合は軽度ほど高くなっている。(問10-3-a)

【問10-3-a リハビリテーションサービスの利用意向 (要介護度別)】

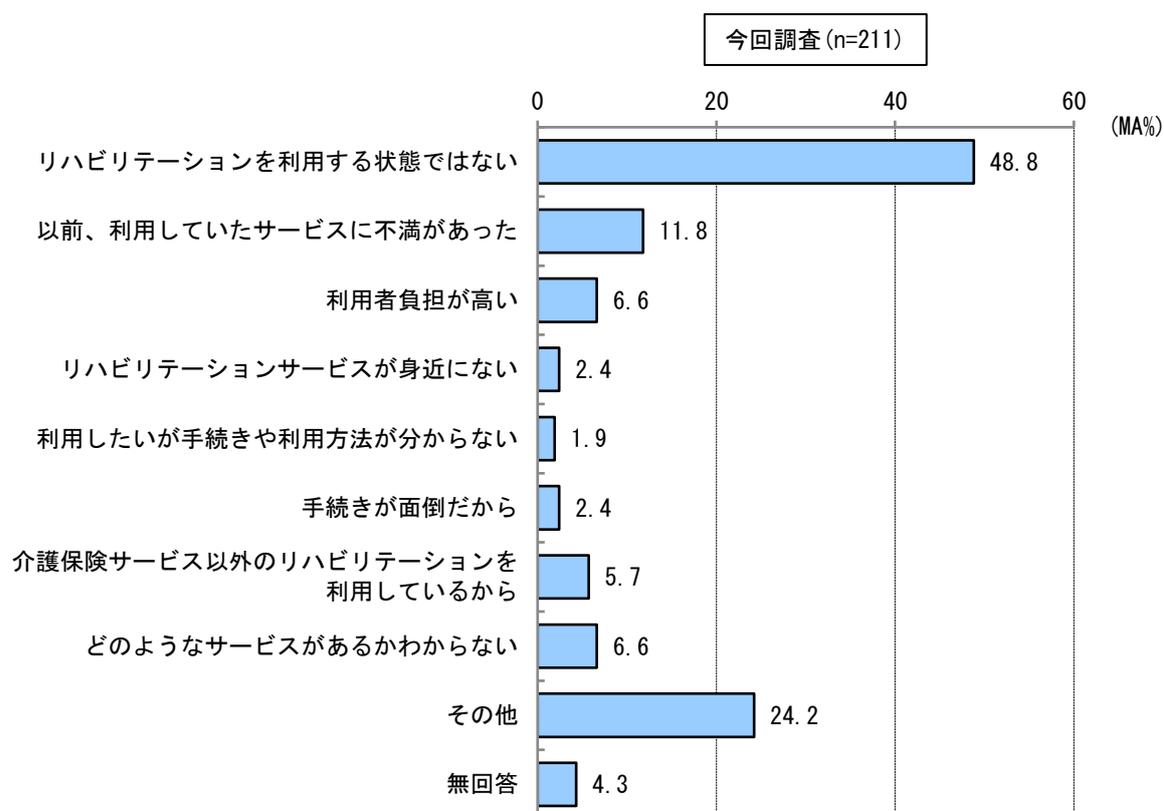


### 問10-4 リハビリテーションサービスを利用したくない理由

問10-3で「4 利用したくない」と回答された方におうかがいします。  
 利用したくない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

リハビリテーションサービスを利用したくない理由は、「リハビリテーションを利用する状態ではない」の割合が48.8%で最も高く、次いで「以前、利用していたサービスに不満があった」が11.8%、「利用者負担が高い」と「どのようなサービスがあるかわからない」がそれぞれ6.6%となっている。(問10-4)

【問10-4 リハビリテーションサービスを利用したくない理由】

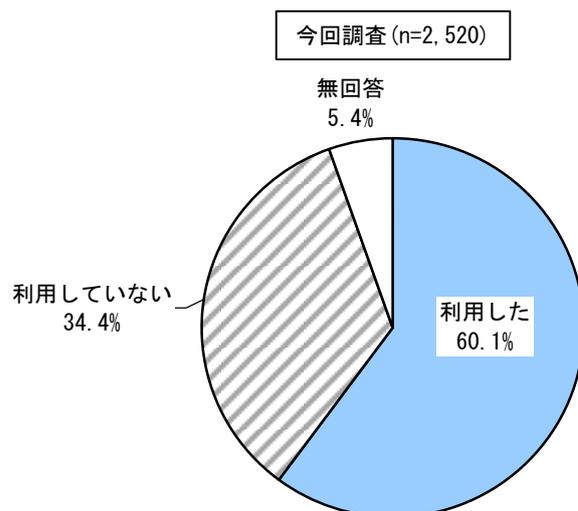


問10-5 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無

令和7年6月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービス及び介護予防サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

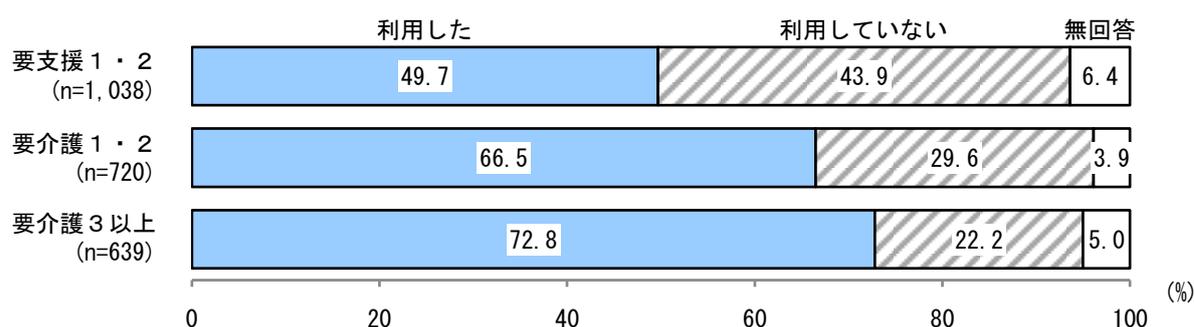
令和7年6月の1か月の間の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無は、「利用した」が60.1%に対し、「利用していない」が34.4%となっている。(問10-5)

【問10-5 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無】



要介護度別では、「利用した」の割合は重度になるほど高くなっている。(問10-5-a)

【問10-5-a 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無 (要介護度別)】



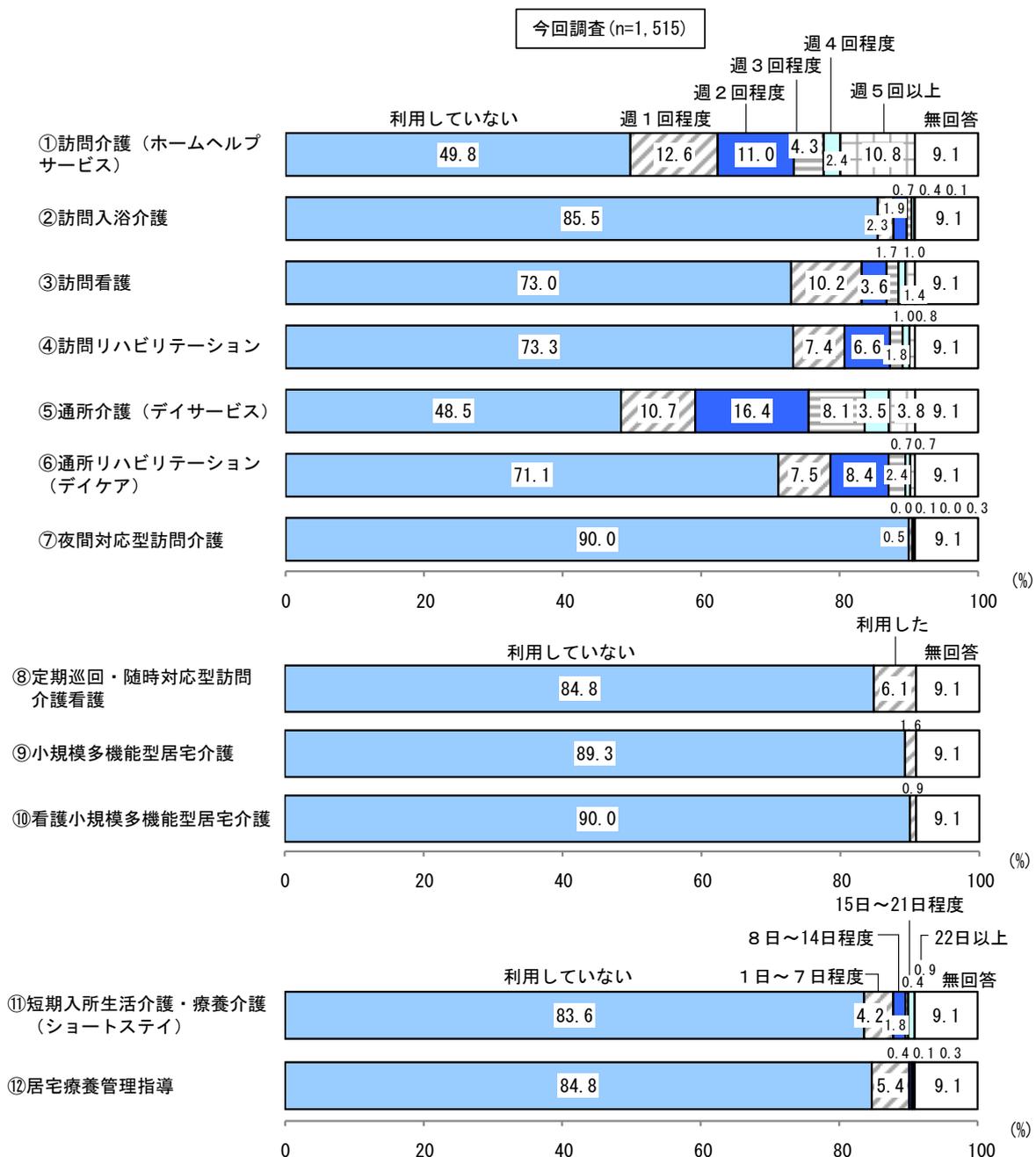
問10-6 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

問10-5で「1 利用した」と回答された方におうかがいします。  
 以下の介護保険サービス及び介護予防サービスについて、令和7年6月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービス及び介護予防サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回）」および「1 利用していない」を選択してください。（それぞれ○はひとつ）

令和7年6月の1か月の間に介護保険サービス及び介護予防サービスを利用したと回答した人に、そのサービスの利用状況についてたずねた。

週1回以上利用しているサービスでは“⑤通所介護（デイサービス）”の割合が42.5%で最も高く、次いで“①訪問介護（ホームヘルプサービス）”が41.1%となっている。（問10-6）

【問10-6 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況】



### 問10-7 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由

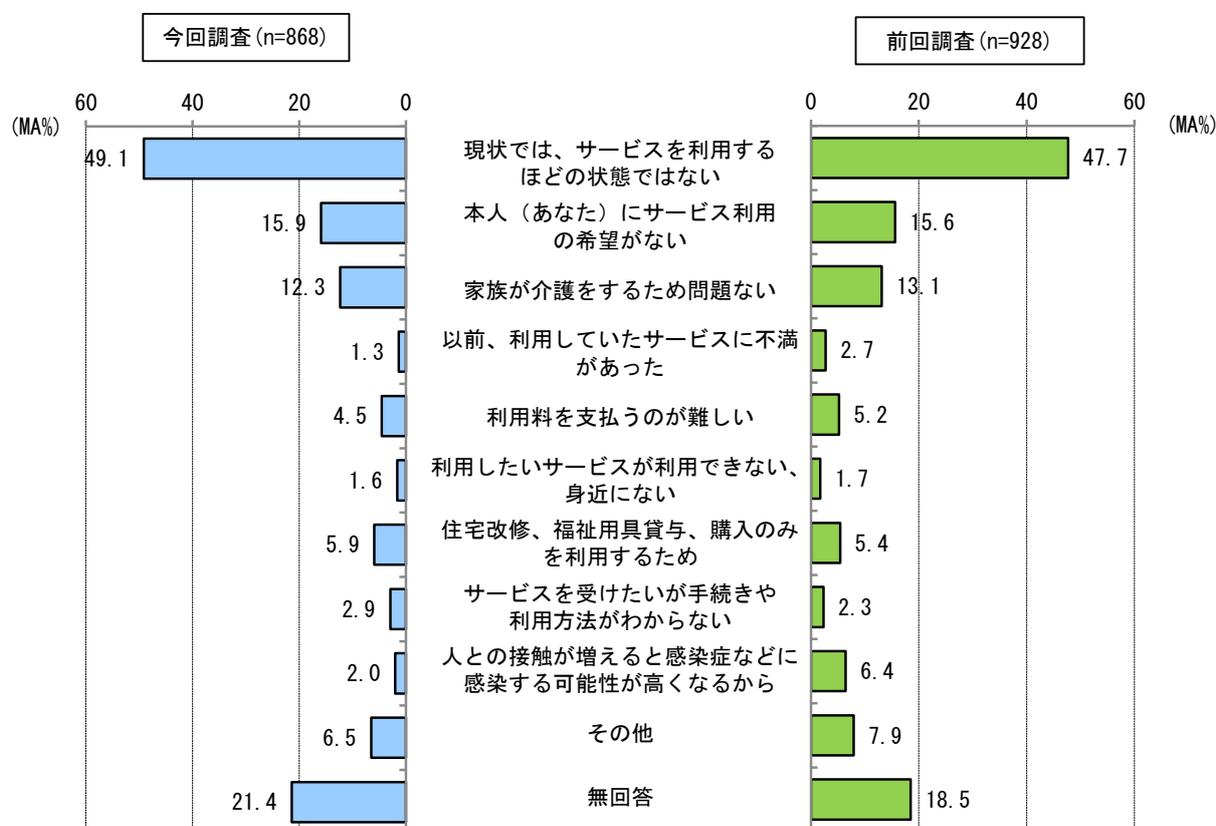
問10-5で「2 利用していない」と回答された方におうかがいします。

あなたが（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が49.1%で最も高く、次いで「本人（あなた）にサービス利用の希望がない」が15.9%、「家族が介護をするため問題ない」が12.3%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問10-7）

【問10-7 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由（経年比較）】



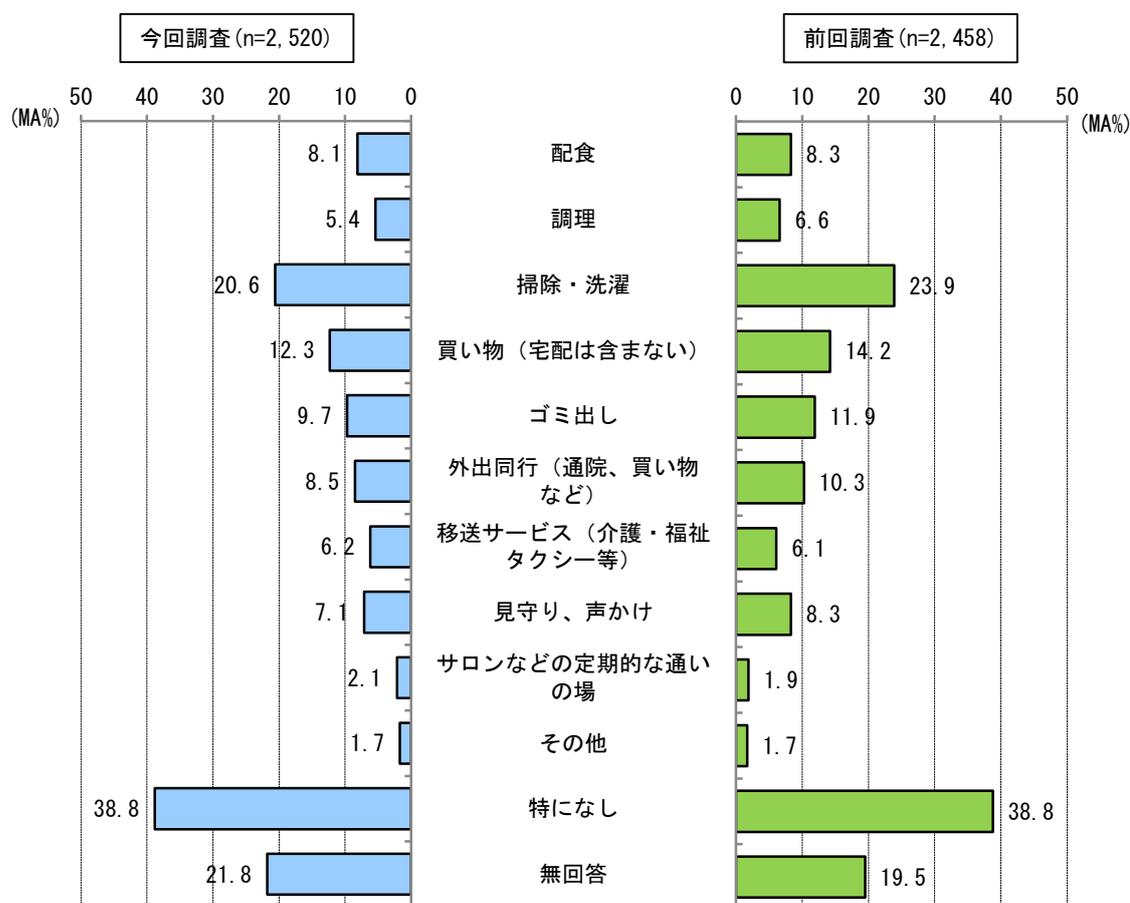
問11 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス及び介護予防サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービスは、「掃除・洗濯」の割合が20.6%で最も高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が12.3%、「ゴミ出し」が9.7%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問11)

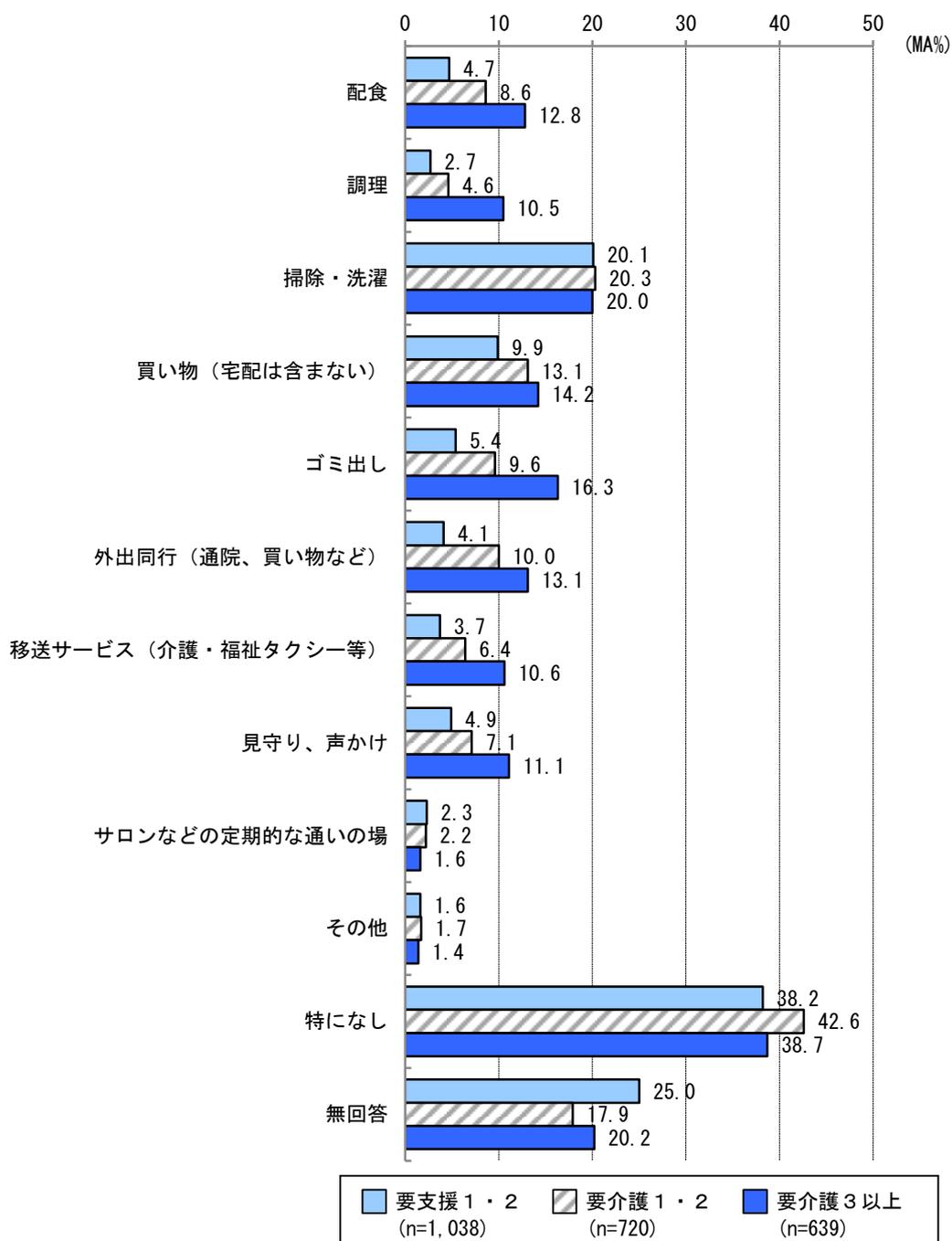
【問11 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「掃除・洗濯」「サロンなどの定期的な通いの場」以外の割合は重度になるほど高くなっている。(問11-a)

【問11-a 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス（要介護度別）】



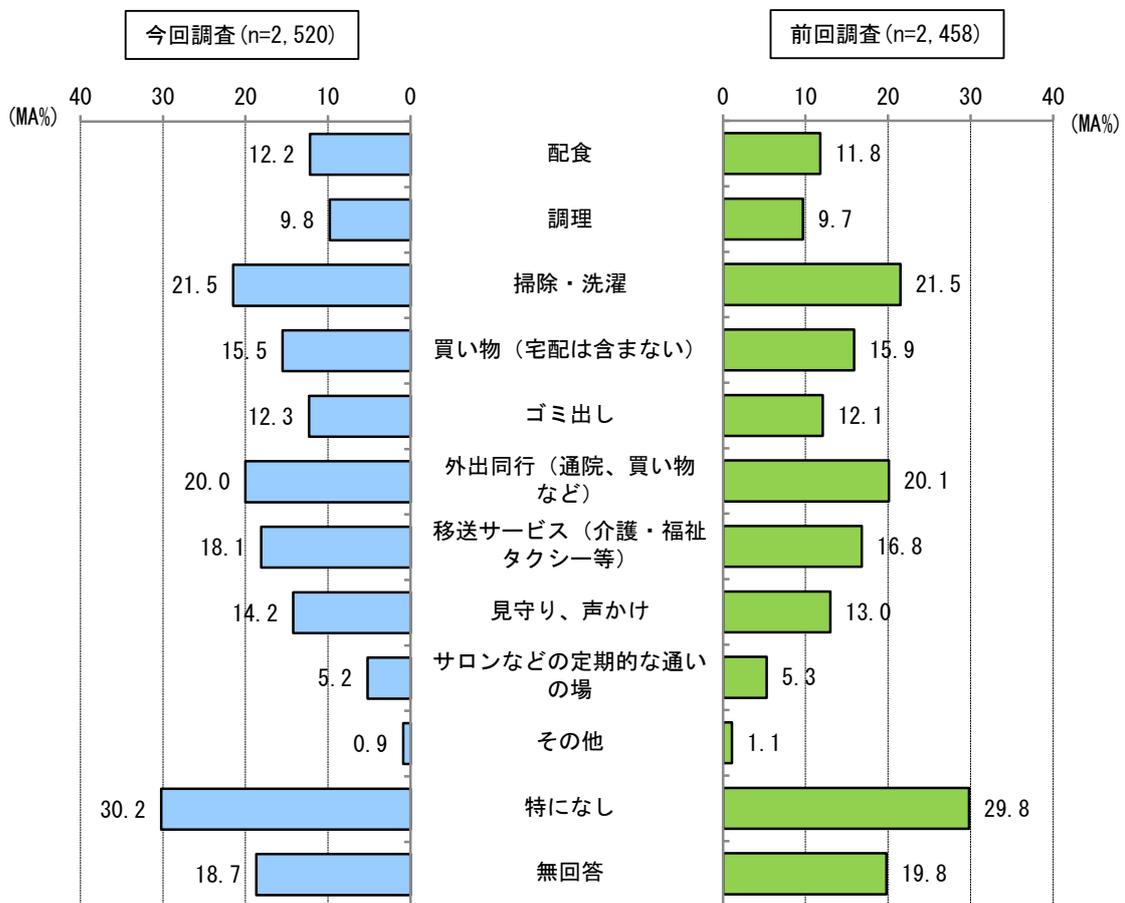
## 問12 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」の割合が30.2%で最も高くなっている。必要と感じる支援・サービスは「掃除・洗濯」の割合が21.5%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が20.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問12）

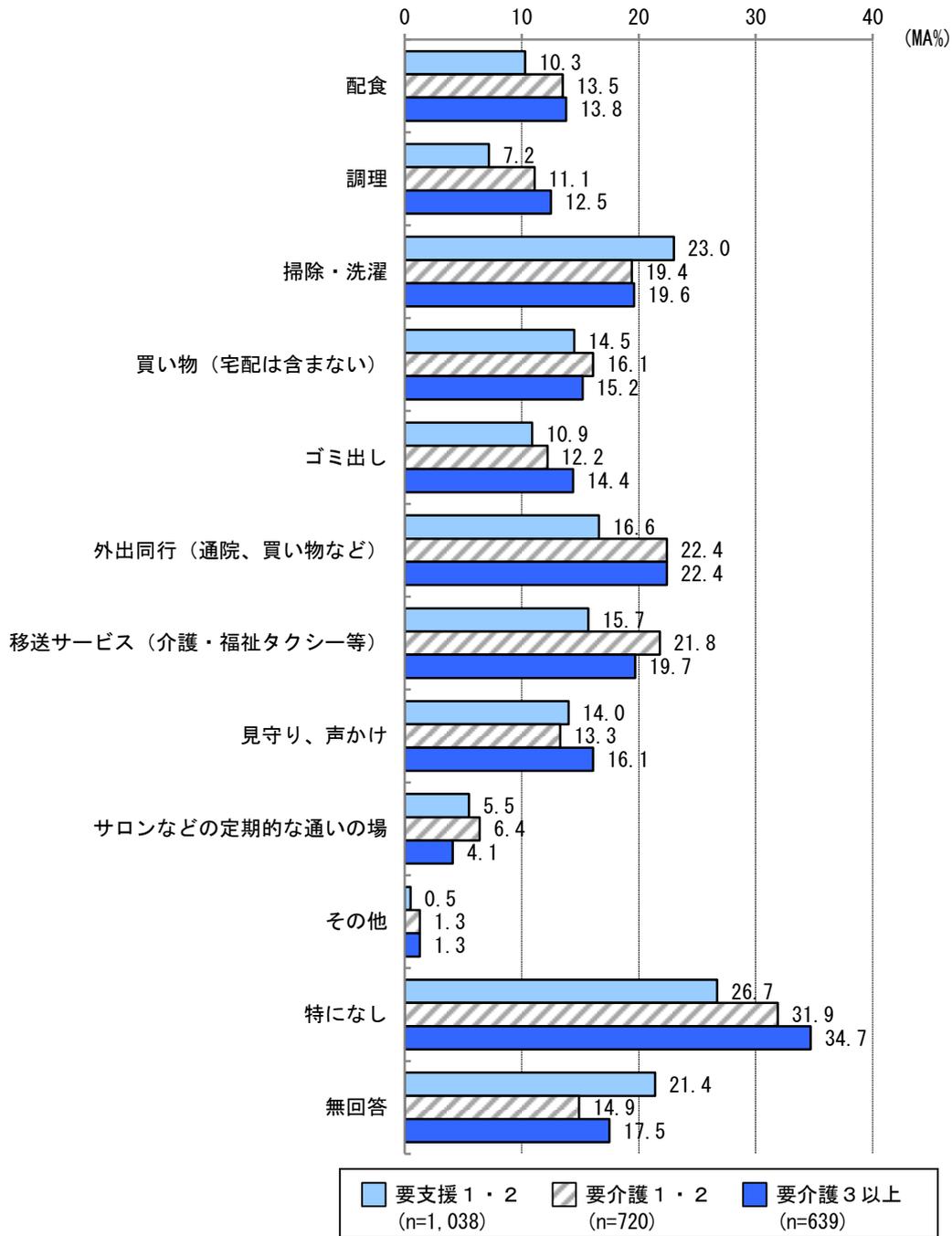
【問12 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「掃除・洗濯」の割合は要支援1・2が最も高く、「配食」「調理」「ゴミ出し」の割合は重度になるほど高くなっている。(問12-a)

【問12-a 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス(要介護度別)】



### 問13 入所(入居)している施設

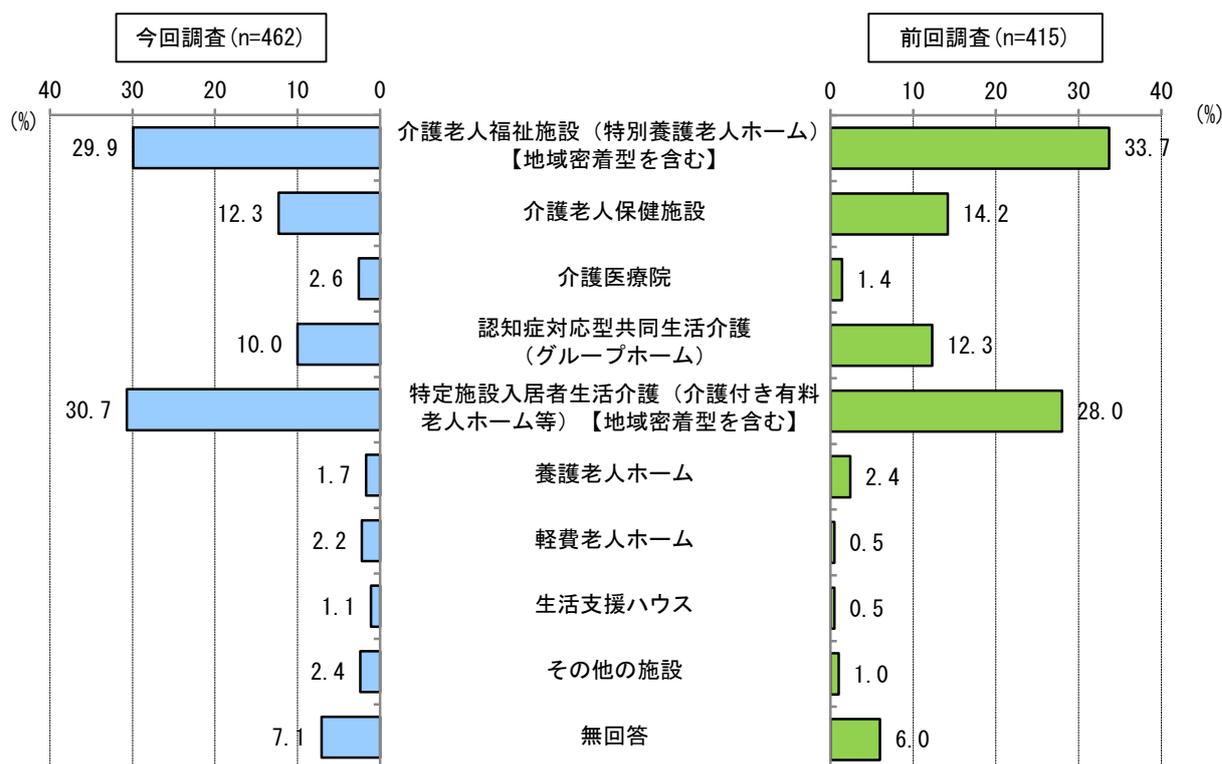
問13～問13-2は、問10で「4 施設等に入所(入居)している」と回答された方のみお答えください。

あなたが現在入所(入居)している施設について、あてはまる番号に○をつけてください。  
(○はひとつ)

施設等に入所(入居)していると回答した人に、その施設をたずねると、「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型を含む】」の割合が30.7%で最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」が29.9%、「介護老人保健施設」が12.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」と「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型を含む】」の順位が入れ替わっている。(問13)

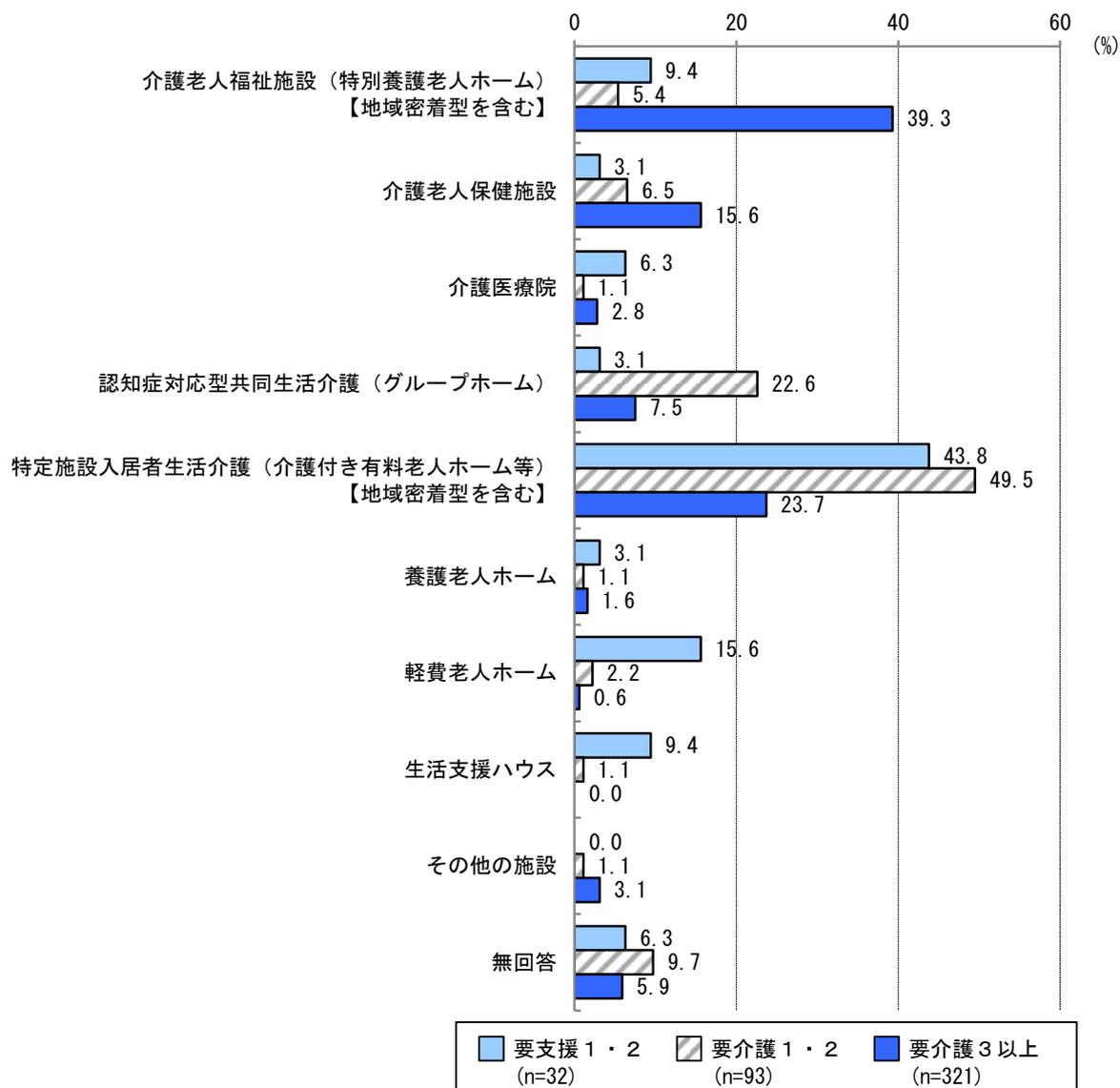
【問13 入所(入居)している施設(経年比較)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2では「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）【地域密着型を含む】」が最も多く、要介護3以上では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」が最も多くなっている。（問13-a）

【問13-a 入所（入居）している施設（要介護度別）】



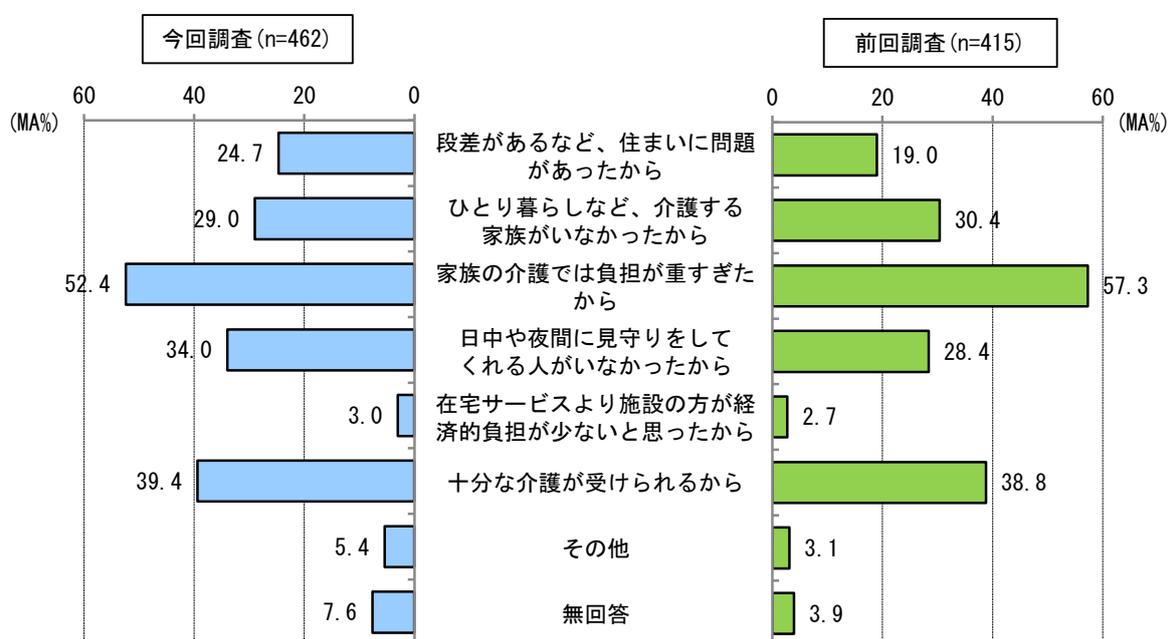
### 問13-1 入所(入居)を希望した理由

あなたが、施設等の入所(入居)を希望した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

施設等に入所(入居)していると回答した人に、入所(入居)を希望した理由をたずねると、「家族の介護では負担が重すぎたから」が52.4%で最も多く、次いで「十分な介護が受けられるから」が39.4%、「日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから」が34.0%となっている。

前回調査と比較すると、「段差があるなど、住まいに問題があったから」の割合が5.7ポイント、「日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから」の割合が5.6ポイント、前回より高くなっている。(問13-1)

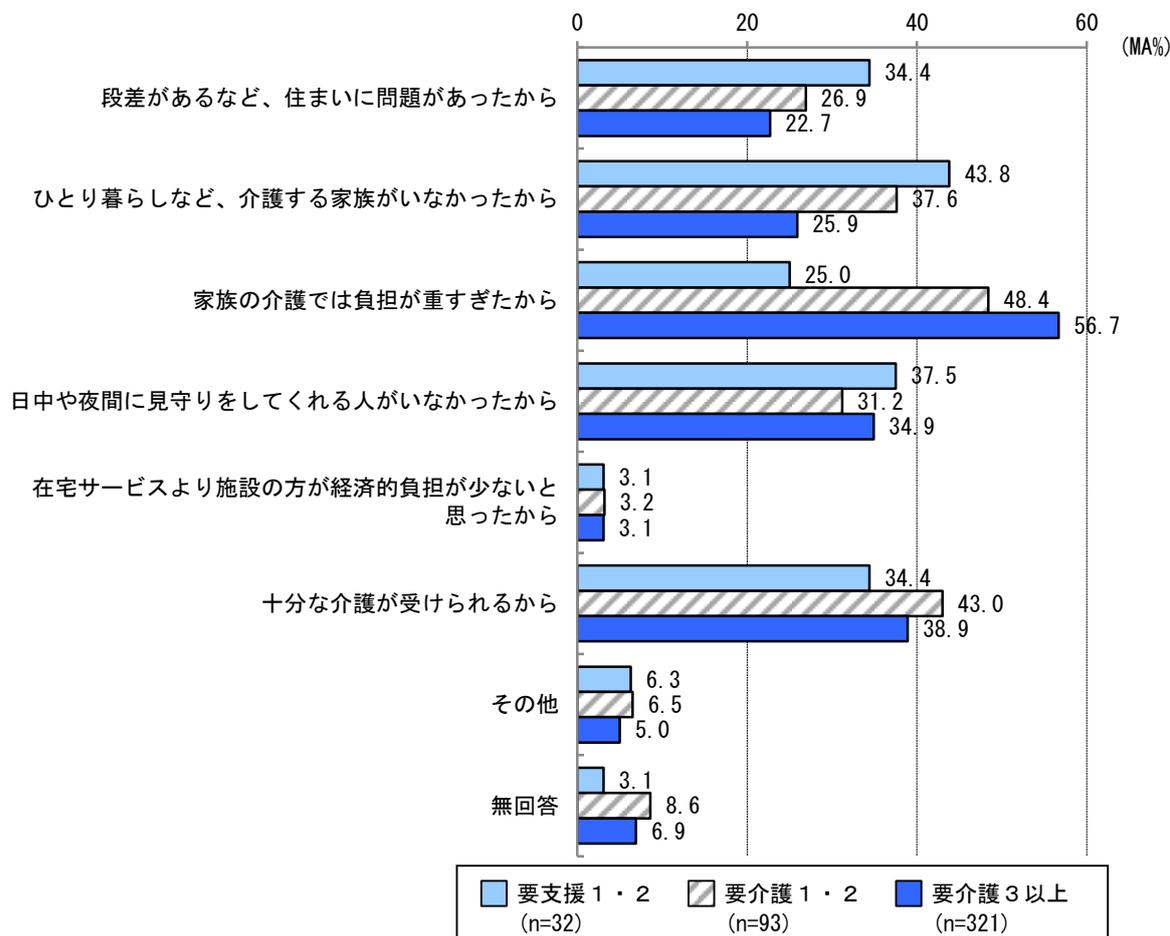
【問13-1 入所(入居)を希望した理由(経年比較)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「家族の介護では負担が重すぎたから」の割合は重度になるほど高い。「段差があるなど、住まいに問題があったから」「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」の割合は軽度になるほど高くなっている。(問13-1-a)

【問13-1-a 入所（入居）を希望した理由（要介護度別）】



### 問13-2 入所施設での定住意向

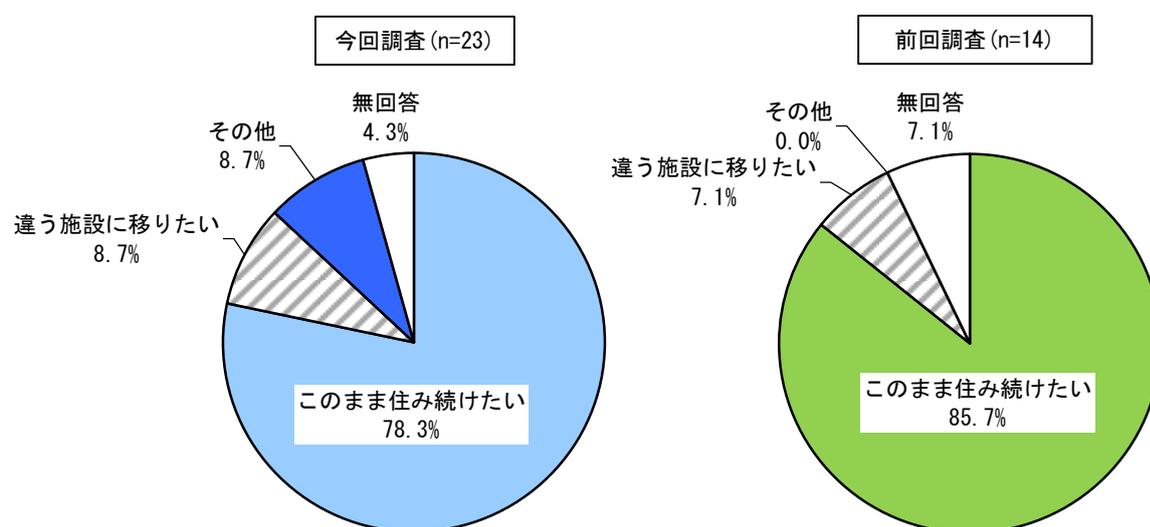
問13で「6 養護老人ホーム」、「7 軽費老人ホーム」、「8 生活支援ハウス」と回答された方におうかがいします。

あなたが入所されている施設にこのまま住み続けたいと思いますか。(○はひとつ)

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、現在、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウスに入居（入所）していると回答した人（23人）に、このまま住み続けたいかをたずねると、「このまま住み続けたい」が78.3%（18人）、「違う施設に移りたい」が8.7%（2人）となっている。

前回調査の結果に比べ、「このまま住み続けたい」の割合は7.4ポイント減少している。（問13-2）

【問13-2 入所施設での定住意向（経年比較）】



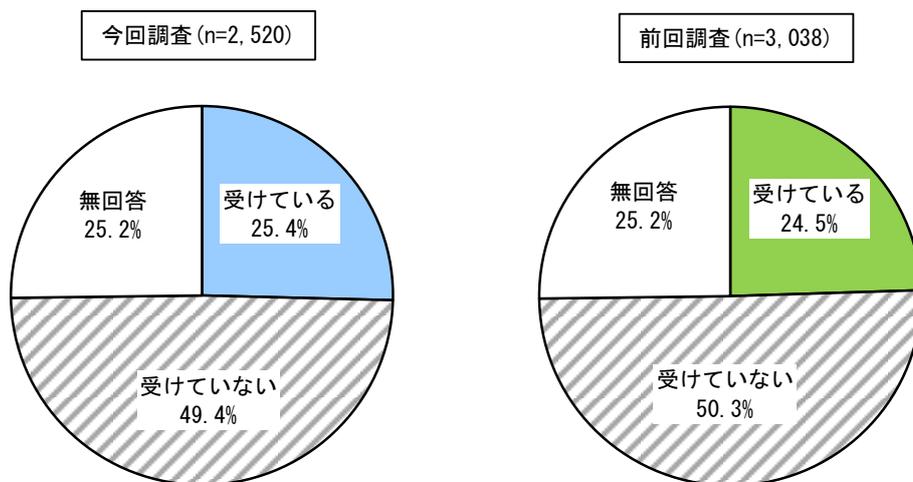
## 問14 医療従事者などの訪問有無

問14は、ご自宅で介護保険サービスをご利用されている方のみお答えください。  
あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「受けている」が25.4%に対し、「受けていない」が49.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問14)

【問14 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】

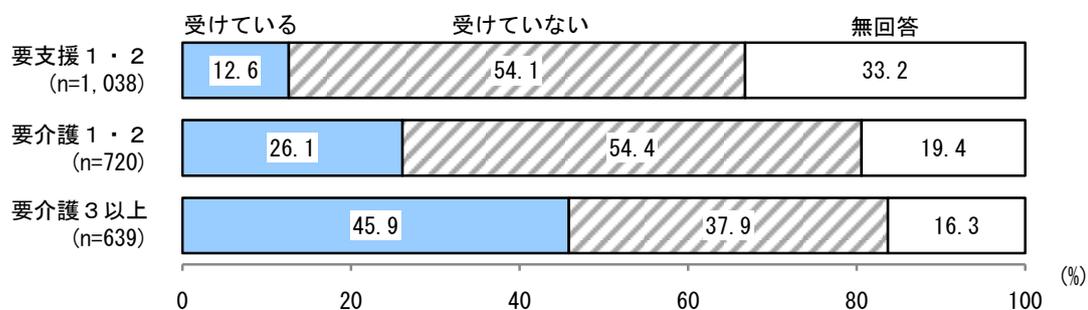


※選択肢の変換：「はい」→「受けている」、「いいえ」→「受けていない」

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「受けていない」の割合が高くなっている。要介護度が重度になるほど「受けている」の割合が高くなっており、要介護3以上では45.9%となっている。(問14-a)

【問14-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



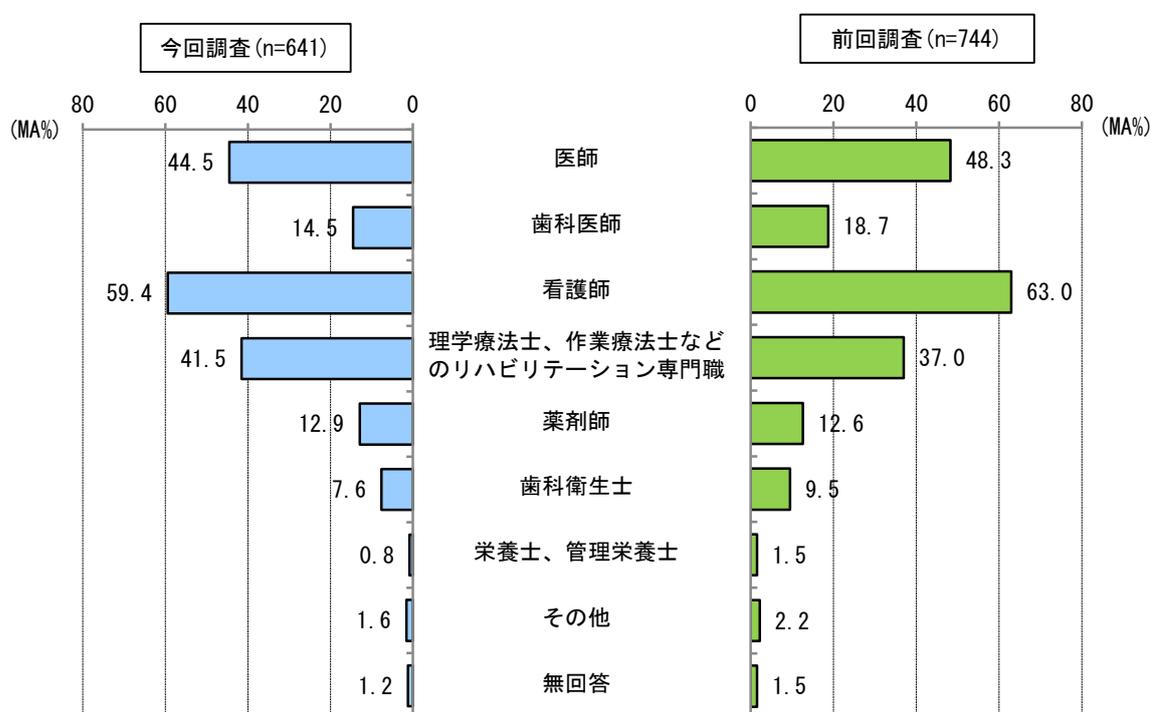
### 問14-1 訪問されている医療従事者

問14で「1 はい」と回答された方におうかがいします。  
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「看護師」の割合が59.4%で最も高く、次いで「医師」が44.5%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が41.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」の割合が4.5ポイント増加し、「歯科医師」の割合が4.2ポイント減少している。(問14-1)

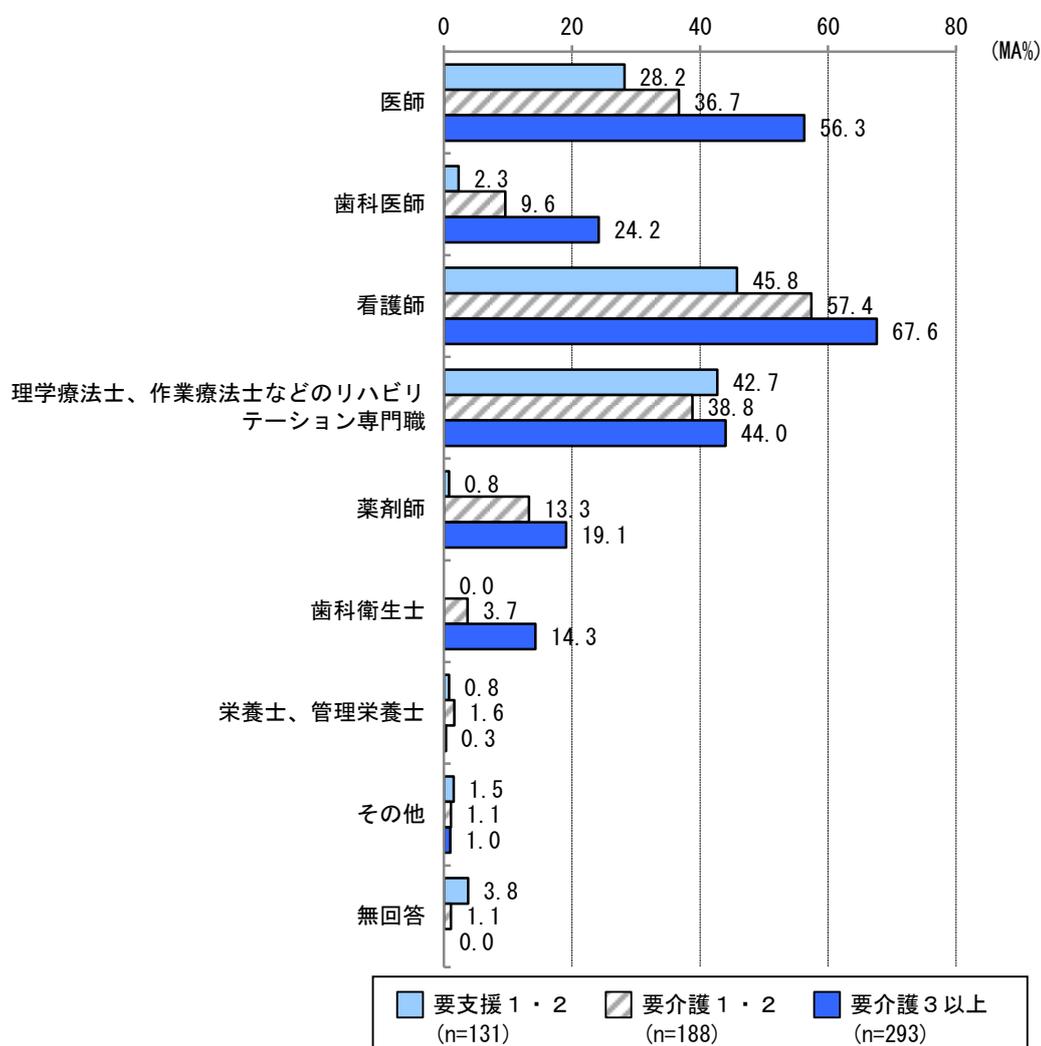
【問14-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」と「栄養士、管理栄養士」以外の項目では、いずれも重度になるほど割合が高くなっている。(問14-1-a)

【問14-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



### 問15 介護支援専門員の満足度

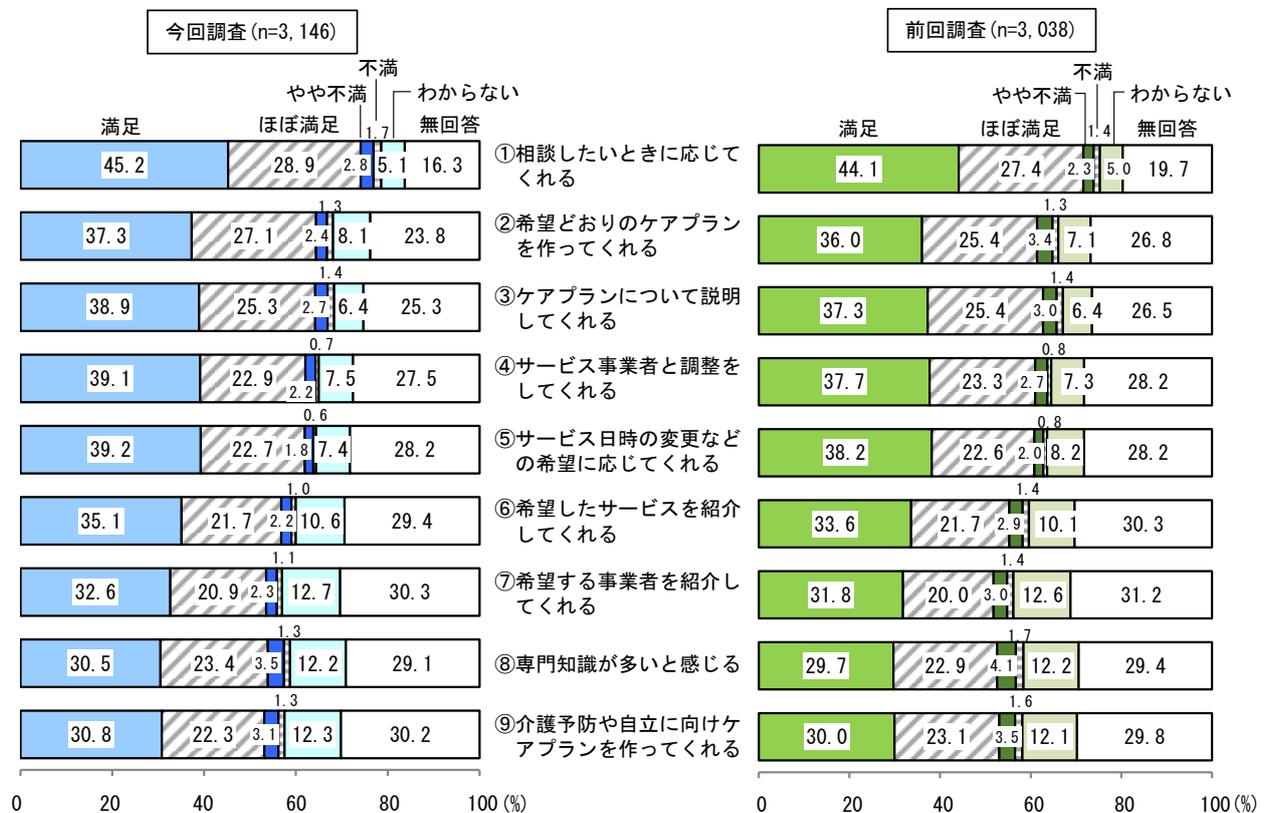
現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の(1)～(9)の項目ごとの満足度をお答えください。（それぞれ○はひとつ）

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度は、いずれの項目も「満足」の割合が最も高く、特に“①相談したいときに応じてくれる”が45.2%で最も高くなっている。

また「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』割合は、“①相談したいときに応じてくれる”が74.1%、“②希望どおりのケアプランを作ってくれる”が64.4%となっている。

前回調査の結果に比べ、いずれの項目も『満足』割合が増加している。（問15）

【問15 介護支援専門員の満足度（経年比較）】



**問15-1 担当の介護支援専門員についての意見・要望(自由記述)**

担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

361人から延べ365件の意見が挙がっている。

**【主な意見】**

- ・良くしてくれている、感謝している、満足している。
- ・いつも忙しそうである。説明・情報提供・対応が不十分。気がきかない。不満がある。
- ・あまり連絡がない、もっと訪問してほしい。あまり会う機会がなく、よくわからない。
- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・適切なサービス・事業者を紹介してもらえない。きちんと要望を聞いてほしい。サービスの押し付けが多い。サービス内容を改善してほしい。
- ・担当者がよく変わる。担当者が変わったばかりでわからない。

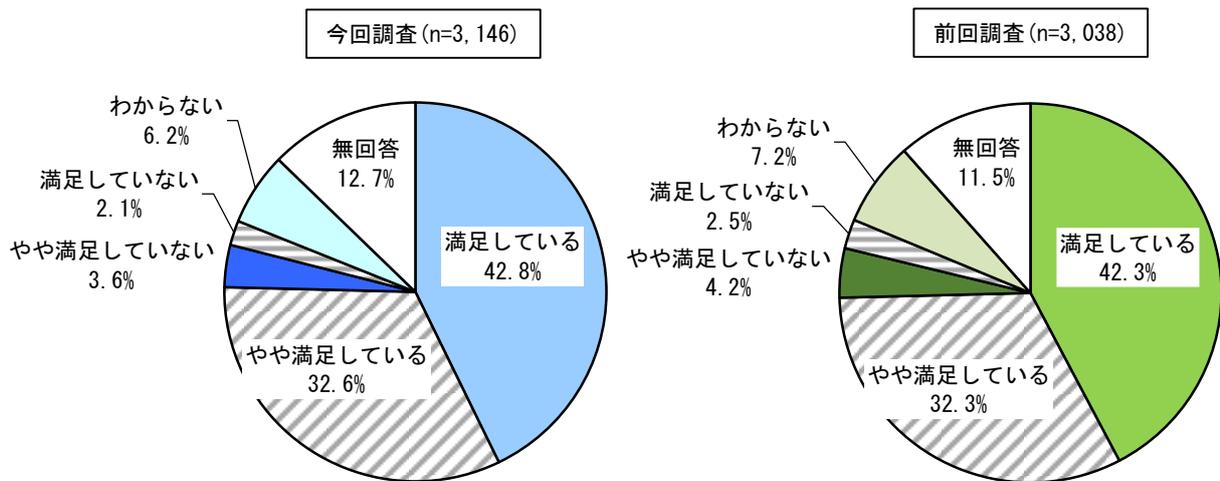
### 問16 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度についてお答えください。(○はひとつ)

介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度は、「満足している」の割合が42.8%で最も高く、次いで「やや満足している」が32.6%となっており、両者をあわせた『満足』の割合は75.4%を占めている。

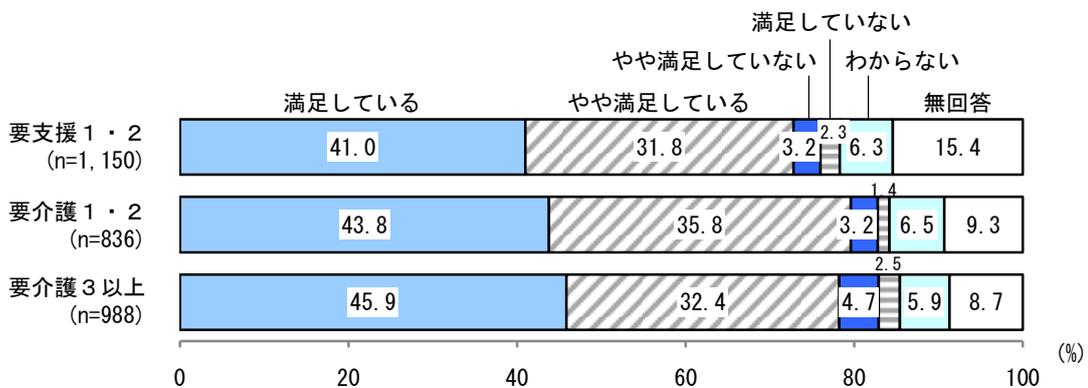
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問16)

【問16 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「満足している」の割合が最も高く、『満足』の割合は要介護1・2が79.6%で最も高くなっている。(問16-a)

【問16-a 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（要介護度別）】



**問16-1 介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望(自由記述)**

介護保険サービス及び介護予防サービスについて、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

---

222人から延べ236件の意見が挙がっている。

**【主な意見】**

- ・個々の希望に応じたサービスを充実させてほしい。利用できるサービスの幅を増やしてほしい。サービスの利用時間・日数が短い。
  - ・満足している。感謝している。家族の負担が軽減している。
  - ・経済的負担が大きい。自己負担が困難である。
  - ・サービス内容についてよくわからない。サービス内容・申請方法等の情報提供を充実させてほしい。
  - ・スタッフの個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
  - ・スタッフの待遇を改善、人材不足を解消してほしい。
-

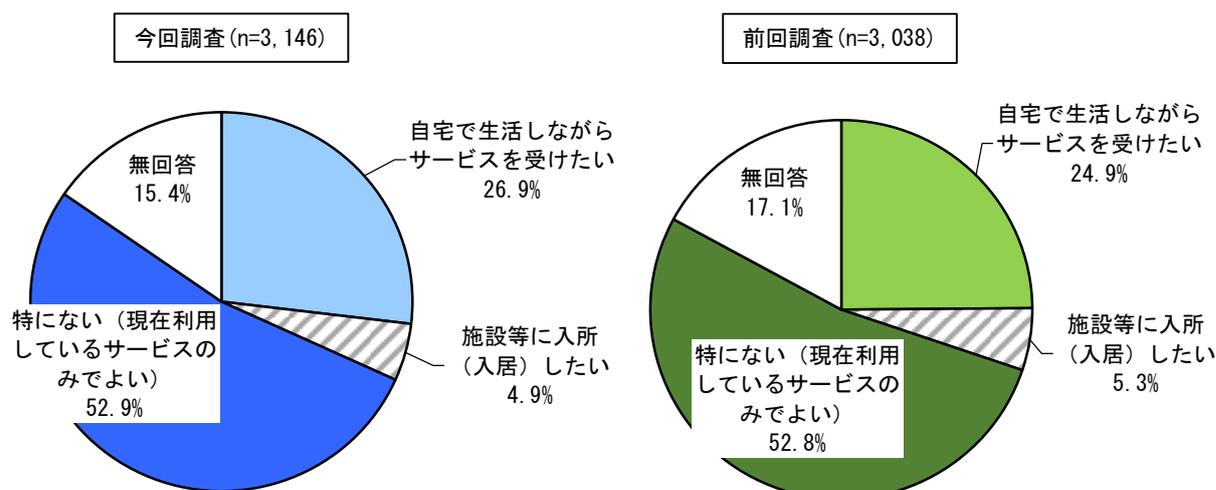
### 問17 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

ここ1年以内に利用したい介護サービスは、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」の割合が52.9%で最も高く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が26.9%、「施設等に入所（入居）したい」が4.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問17)

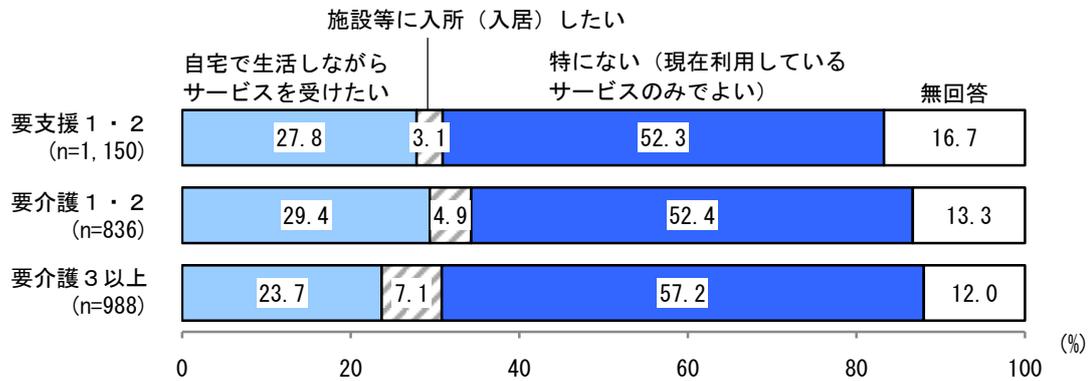
#### 【問17 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」の割合が最も高くなっている。「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は要介護1・2が29.4%で最も高く、「施設等に入所（入居）したい」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問17-a）

【問17-a 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（要介護度別）】



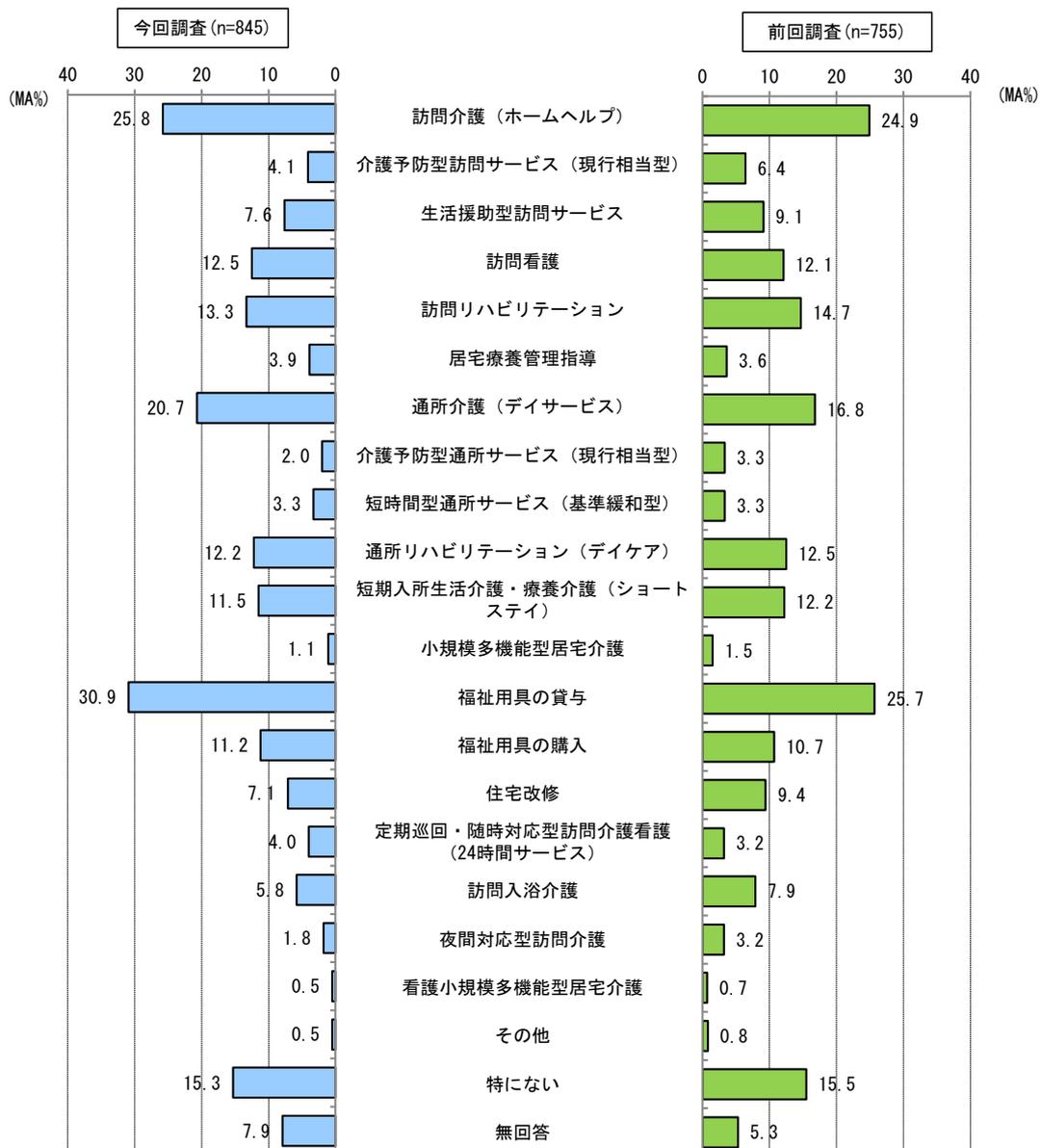
問17-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向

この質問は、問17で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。  
 あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、現在利用していない居宅サービスで利用したいサービスをたずねると、「福祉用具の貸与」の割合が30.9%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が25.8%、「通所介護（デイサービス）」が20.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合は5.2ポイント増加している。(問17-1)

【問17-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向（経年比較）】

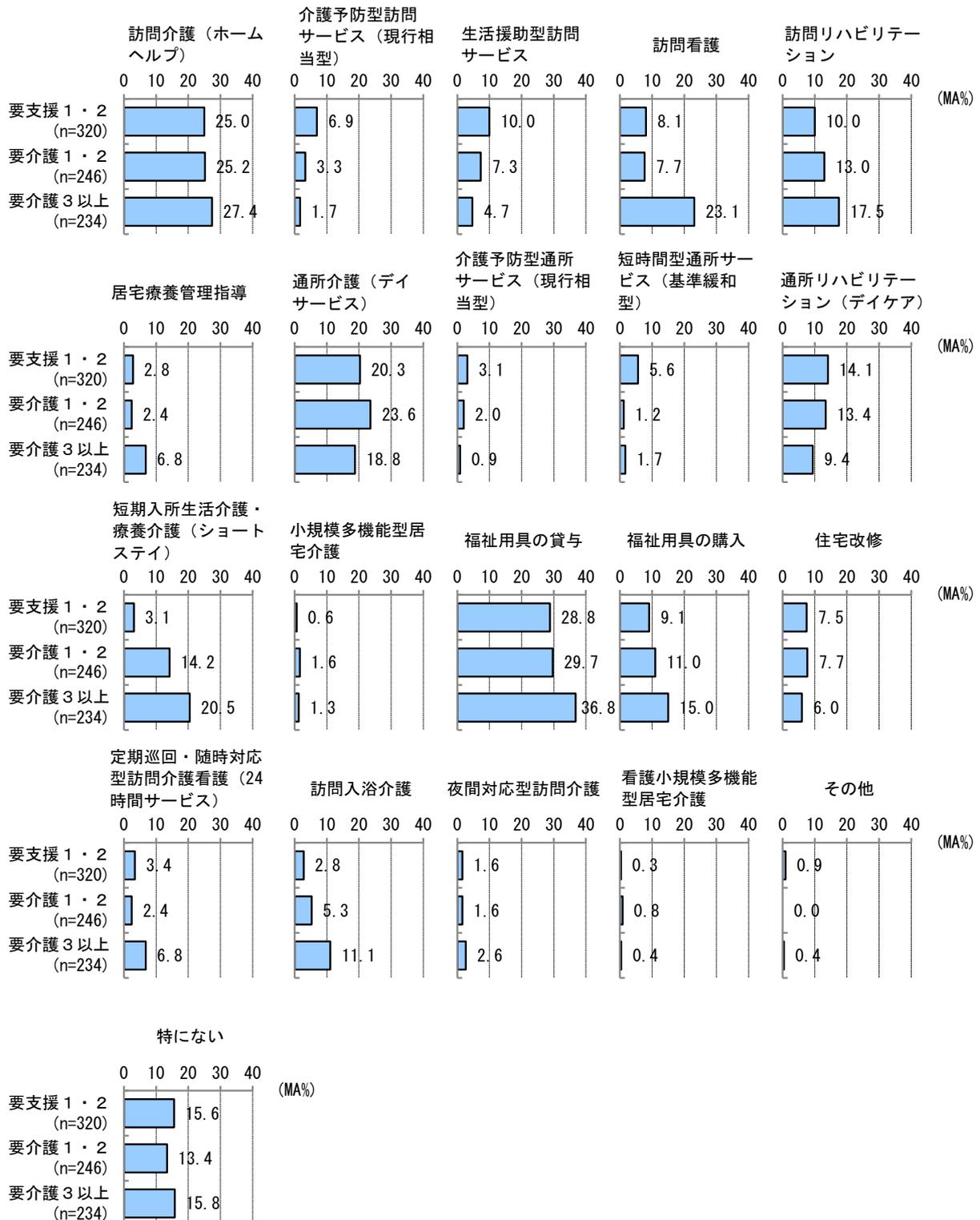


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「福祉用具の貸与」の割合が最も高くなっている。

また、「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「福祉用具の貸与」「福祉用具の購入」「訪問入浴介護」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。要介護3以上では、「訪問看護」の割合が23.1%と、要支援1・2、要介護1・2に比べ高い。（問17-1-a）

【問17-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）】



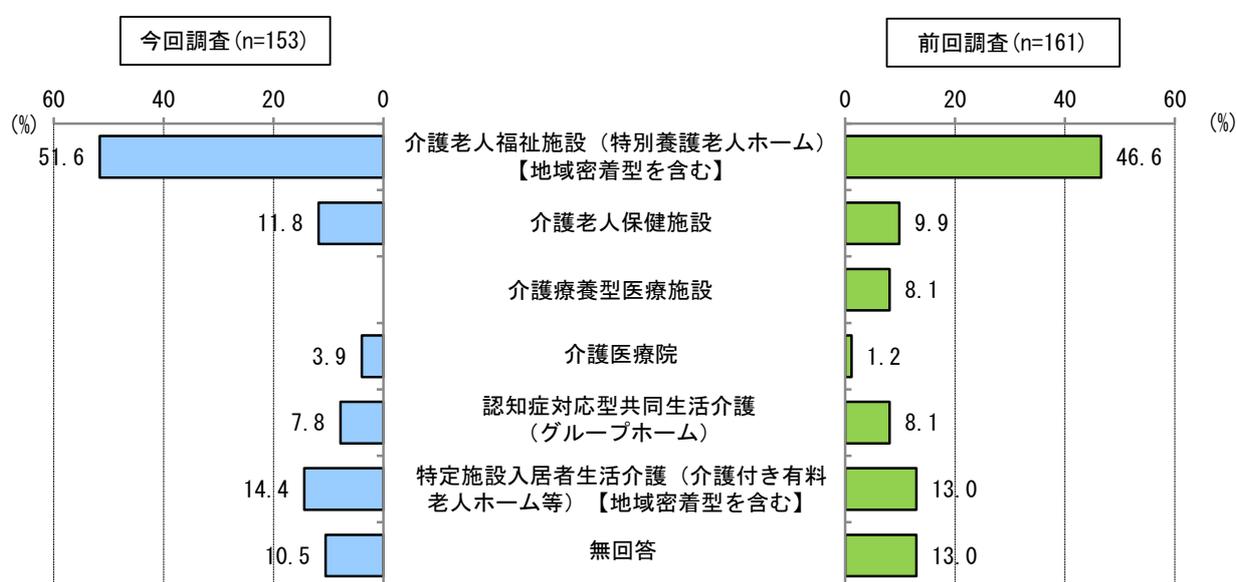
### 問17-2 現在利用していない施設サービスの利用意向

この質問は、問17で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。あなたが1年以内に入所（入居）したい施設等について、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現在利用していない施設サービスで利用したいサービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が51.6%で最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）【地域密着型を含む】」が14.4%、「介護老人保健施設」が11.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合は5.0ポイント増加している。（問17-2）

【問17-2 現在利用していない施設サービスの利用意向（経年比較）】

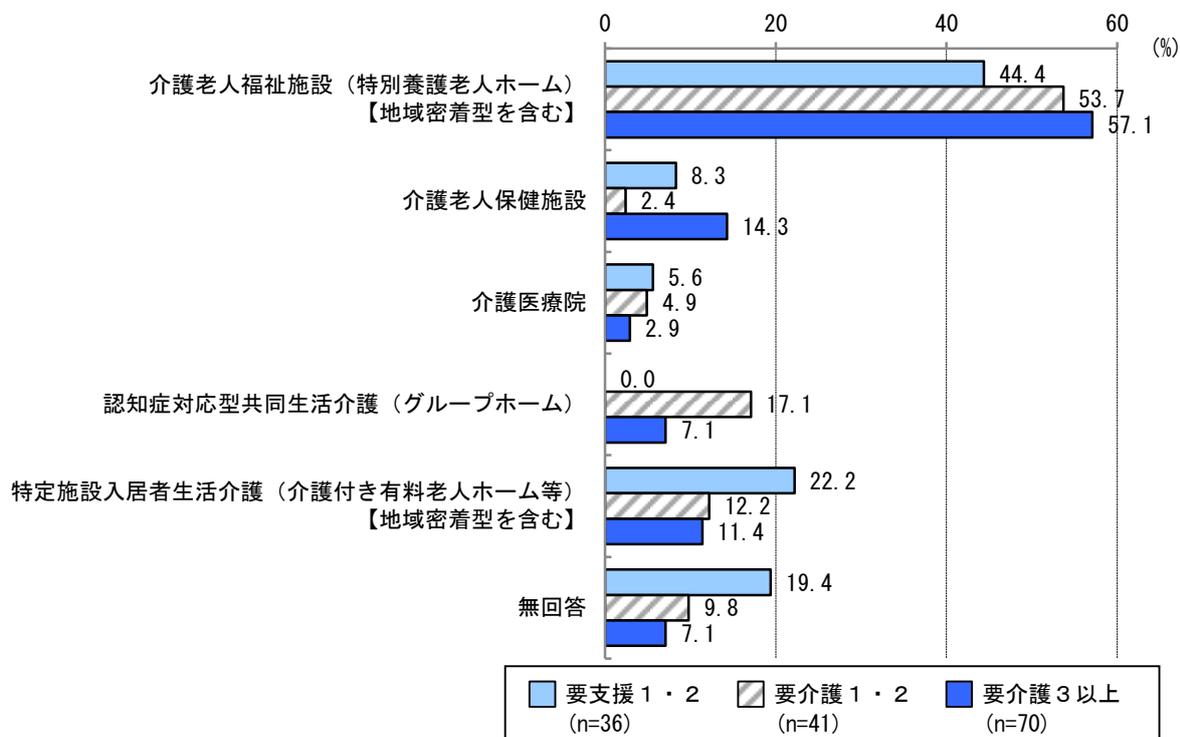


※前回調査の「介護療養型医療施設」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、要介護度にかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が最も高く、特に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所基準となる要介護3以上が57.1%で最も高くなっている。（問17-2-a）

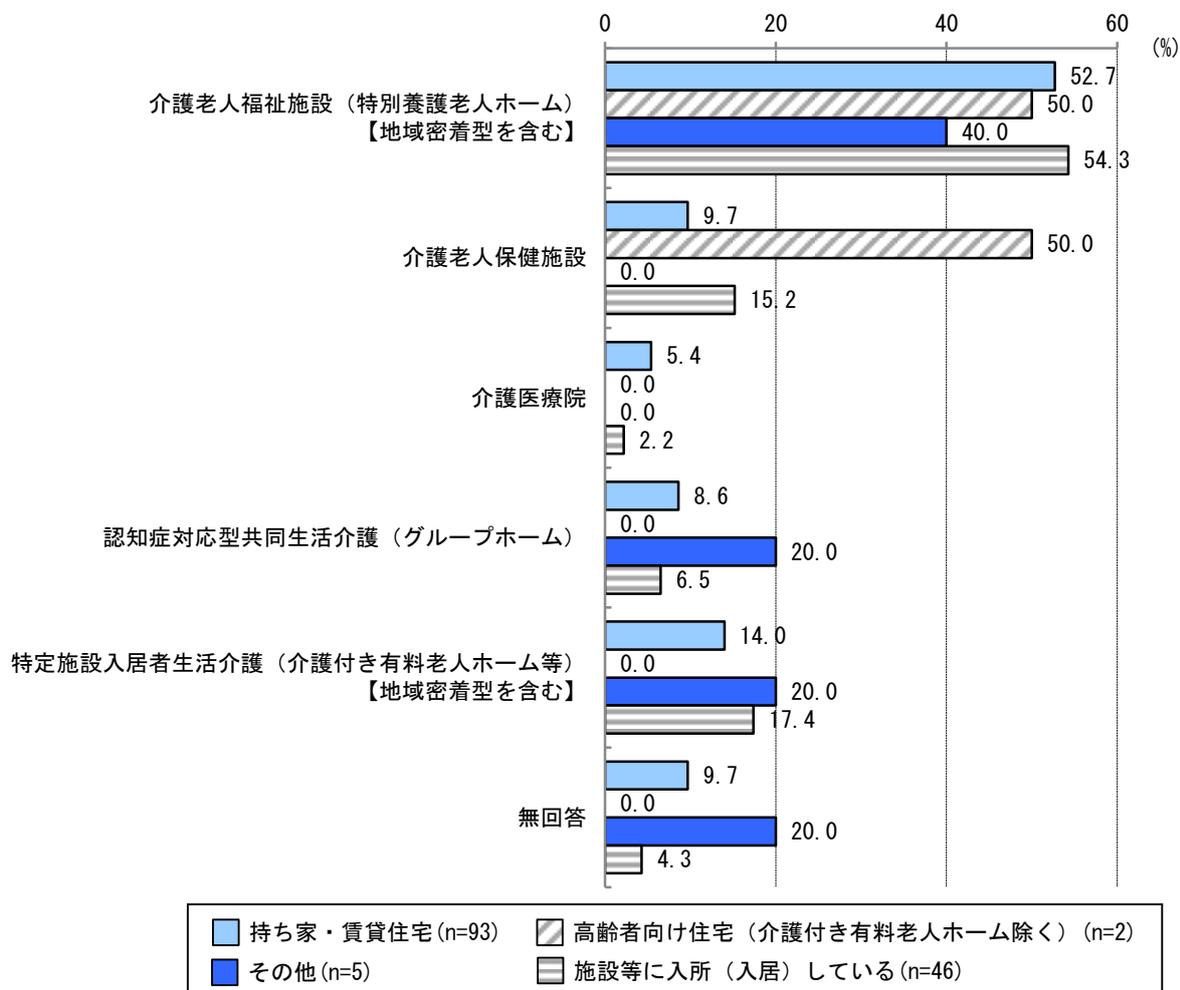
【問17-2-a 現在利用していない施設サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、現在の住まい別では、住まいにかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が最も高くなっており、その割合は、持ち家・賃貸住宅が52.7%、施設等に入所（入居）している人が54.3%となっている。（問17-2-b）

【問17-2-b 現在利用していない施設サービスの利用意向（現在の住まい別）】



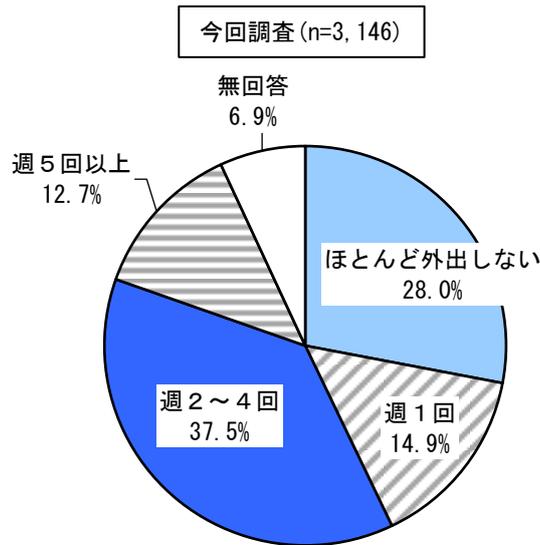
(5) 外出の状況

問18 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

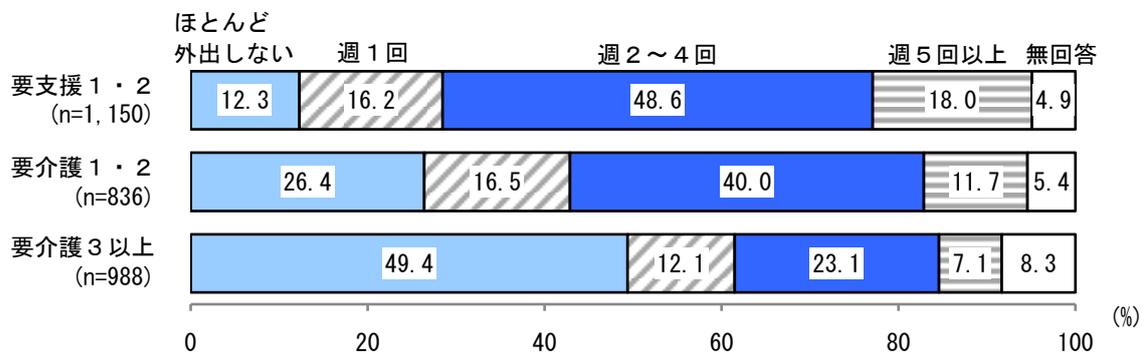
外出頻度は、「週2～4回」の割合が37.5%で最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が28.0%、「週1回」が14.9%となっている。(問18)

【問18 外出頻度】



要介護度別では、「ほとんど外出しない」の割合は重度になるほど高くなり、要介護3以上では49.4%となっている。「週2～4回」「週5回以上」の割合は、いずれも要支援1・2が最も高くなっている。(問18-a)

【問18-a 外出頻度 (要介護度別)】

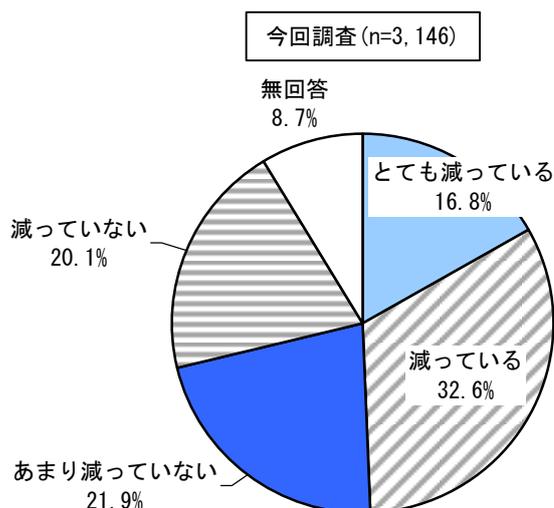


## 問19 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

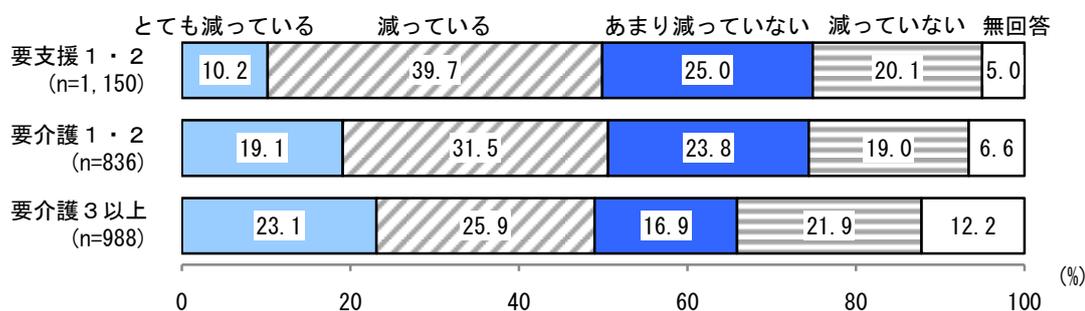
昨年と比べた外出の回数は、「減っている」の割合が32.6%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が21.9%となっている。「とても減っている」と「減っている」をあわせた『減っている』割合は49.4%となっている。(問19)

【問19 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別では、「とても減っている」の割合は重度になるほど高く、『減っている』割合は要介護1・2が50.6%で最も高くなっている。(問19-a)

【問19-a 昨年と比べた外出の回数 (要介護度別)】

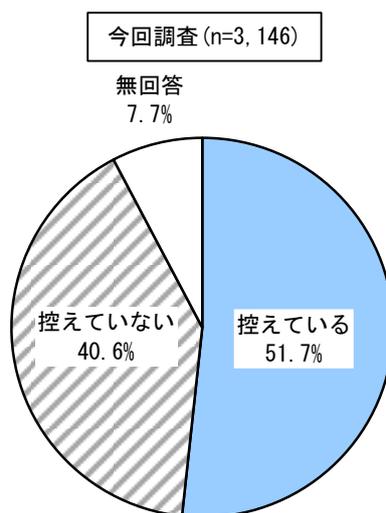


## 問20 外出を控えること

外出を控えていますか。(○はひとつ)

外出を「控えている」割合が51.7%に対し、「控えていない」は40.6%となっている。(問20)

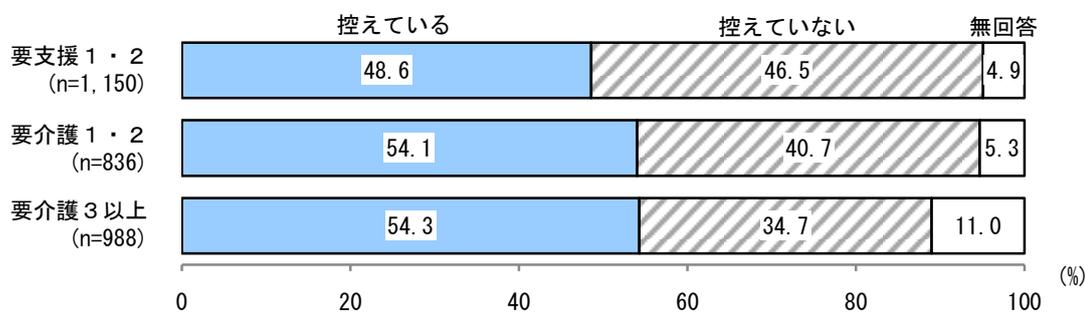
【問20 外出を控えること】



※「はい」→「控えている」、「いいえ」→「控えていない」

要介護度別では、要介護1以上で「控えている」の割合が5割を超えている。(問20-a)

【問20-a 外出を控えること (要介護度別)】

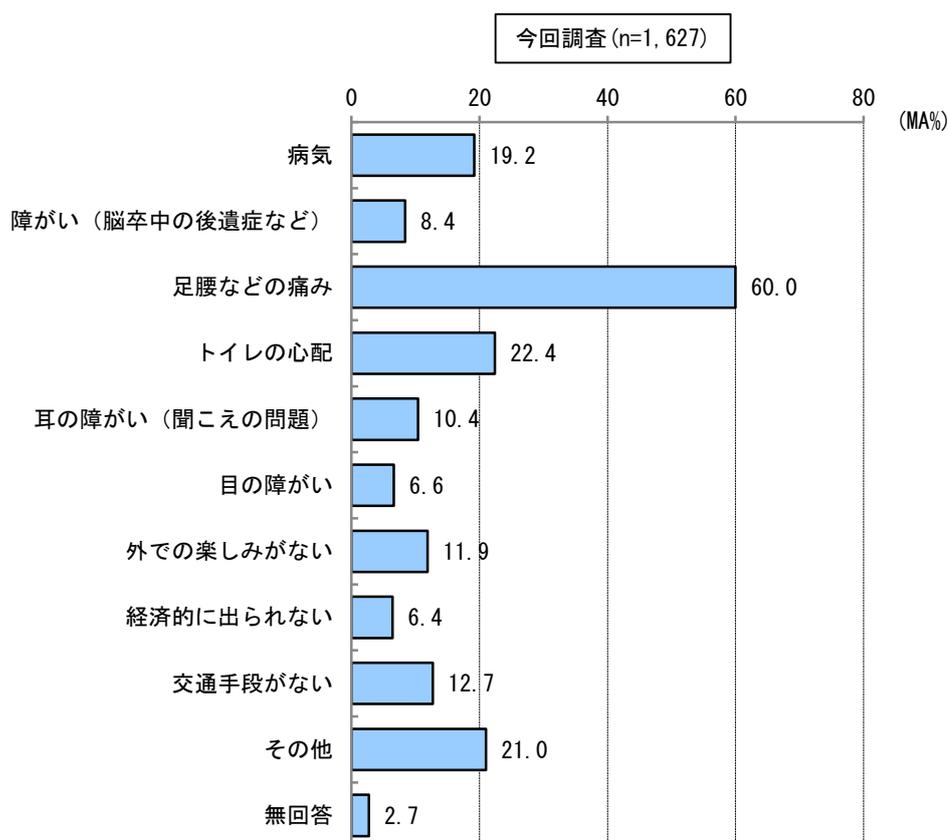


## 問20-1 外出を控えている理由

問20で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。  
外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」の割合が60.0%で最も高く、次いで「トイレの心配」が22.4%、「病気」が19.2%となっている。(問20-1)

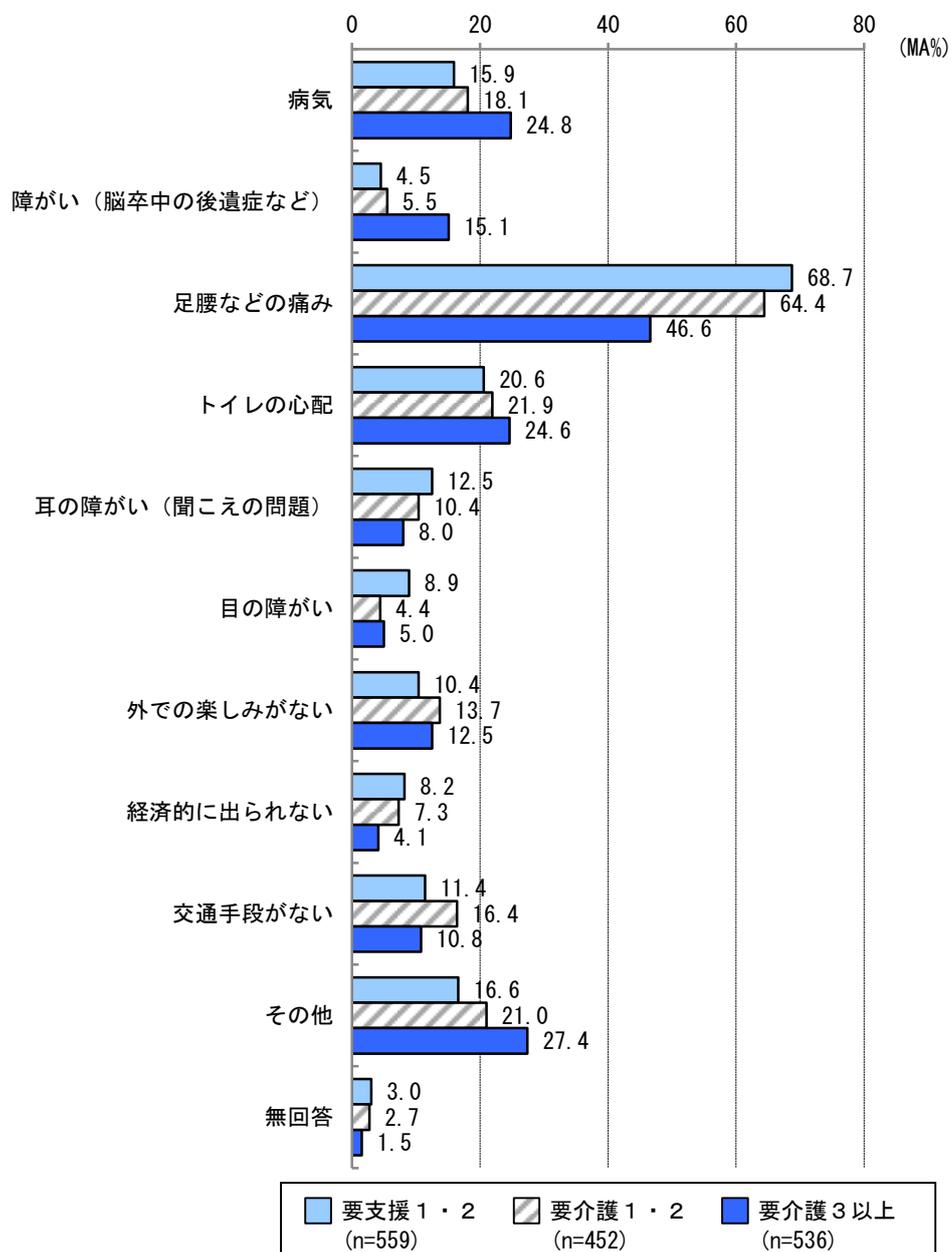
【問20-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「足腰などの痛み」の割合が最も高く、「病気」「障がい（脳卒中の後遺症など）」「トイレの心配」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問20-1-a）

【問20-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



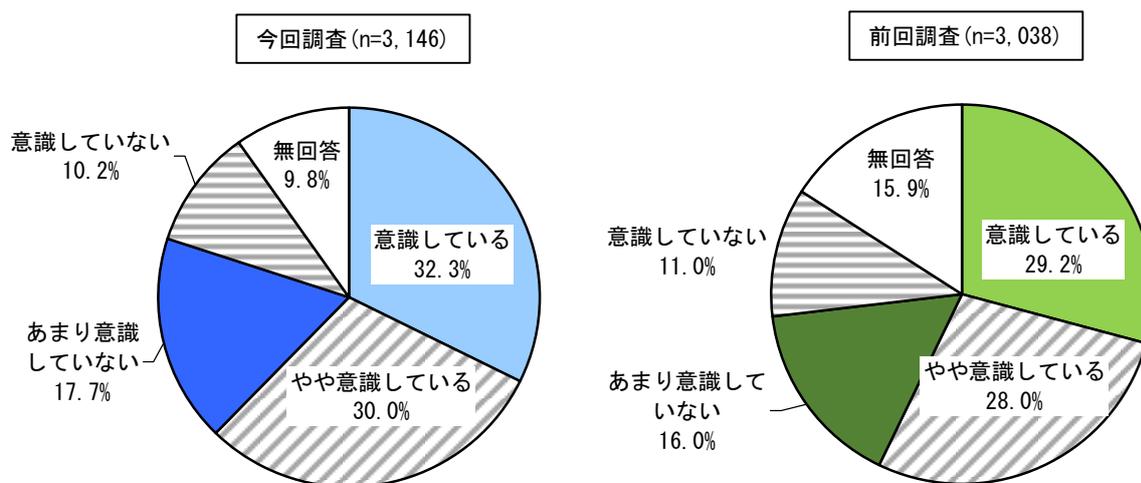
(6) 介護予防・重度化防止の取組

問21 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(○はひとつ)

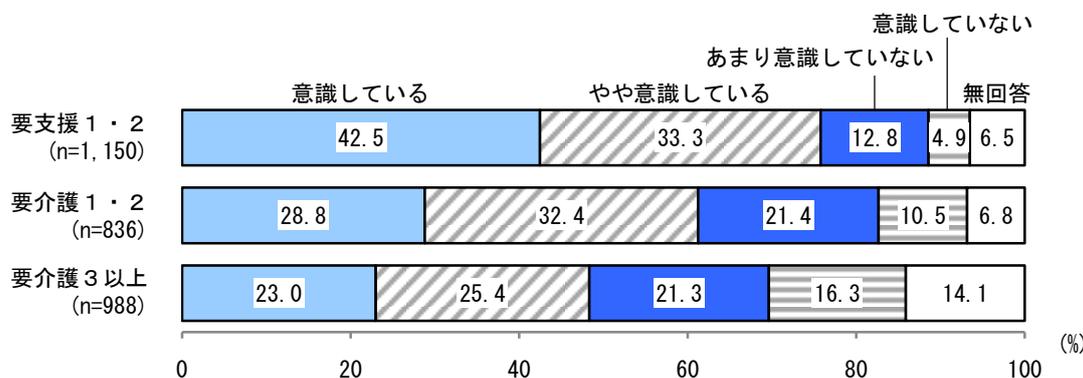
介護予防について、「意識している」の割合が32.3%で最も高く、次いで「やや意識している」が30.0%となっており、両者を合わせた『意識している』割合は62.3%となっている。前回調査の結果に比べ、介護予防を『意識している』割合は5.1ポイント増加している。(問21)

【問21 介護予防に対する意識の程度 (経年比較)】



要介護度別では、介護予防について『意識している』割合は要支援1・2が75.8%で最も高くなっている。これに対し、介護予防について『意識していない』(「意識していない」と「あまり意識していない」の合計)割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。(問21-a)

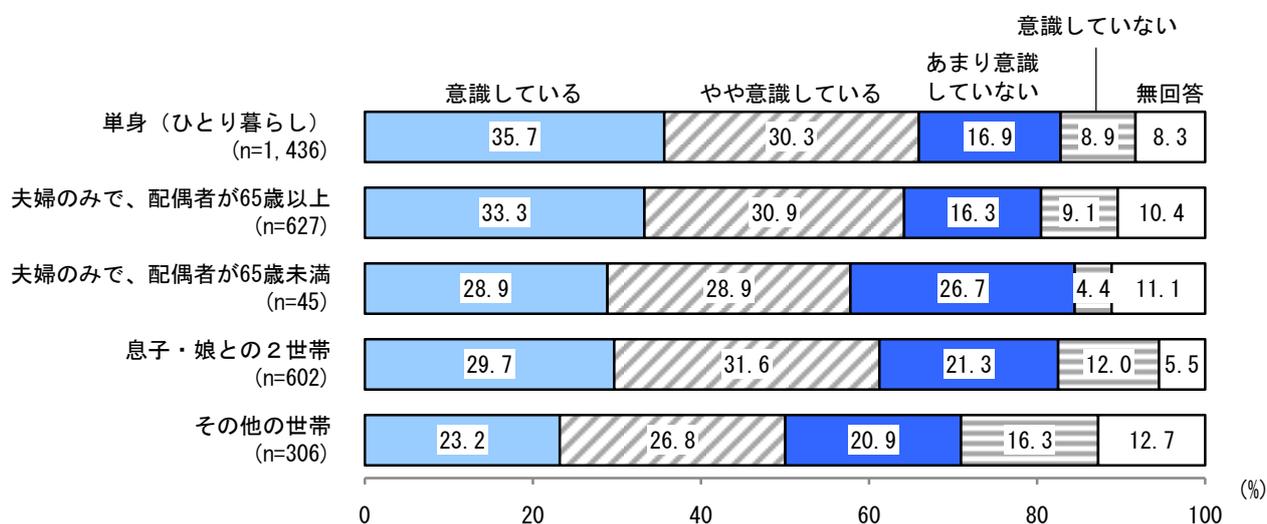
【問21-a 介護予防に対する意識の程度 (要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、世帯状況にかかわらず介護予防について『意識している』割合は5割以上となっている。特に『意識している』割合は、単身（ひとり暮らし）の世帯が最も高く、次いで夫婦のみで配偶者が65歳以上の世帯となっている。（問21-b）

【問21-b 介護予防に対する意識の程度（世帯状況別）】



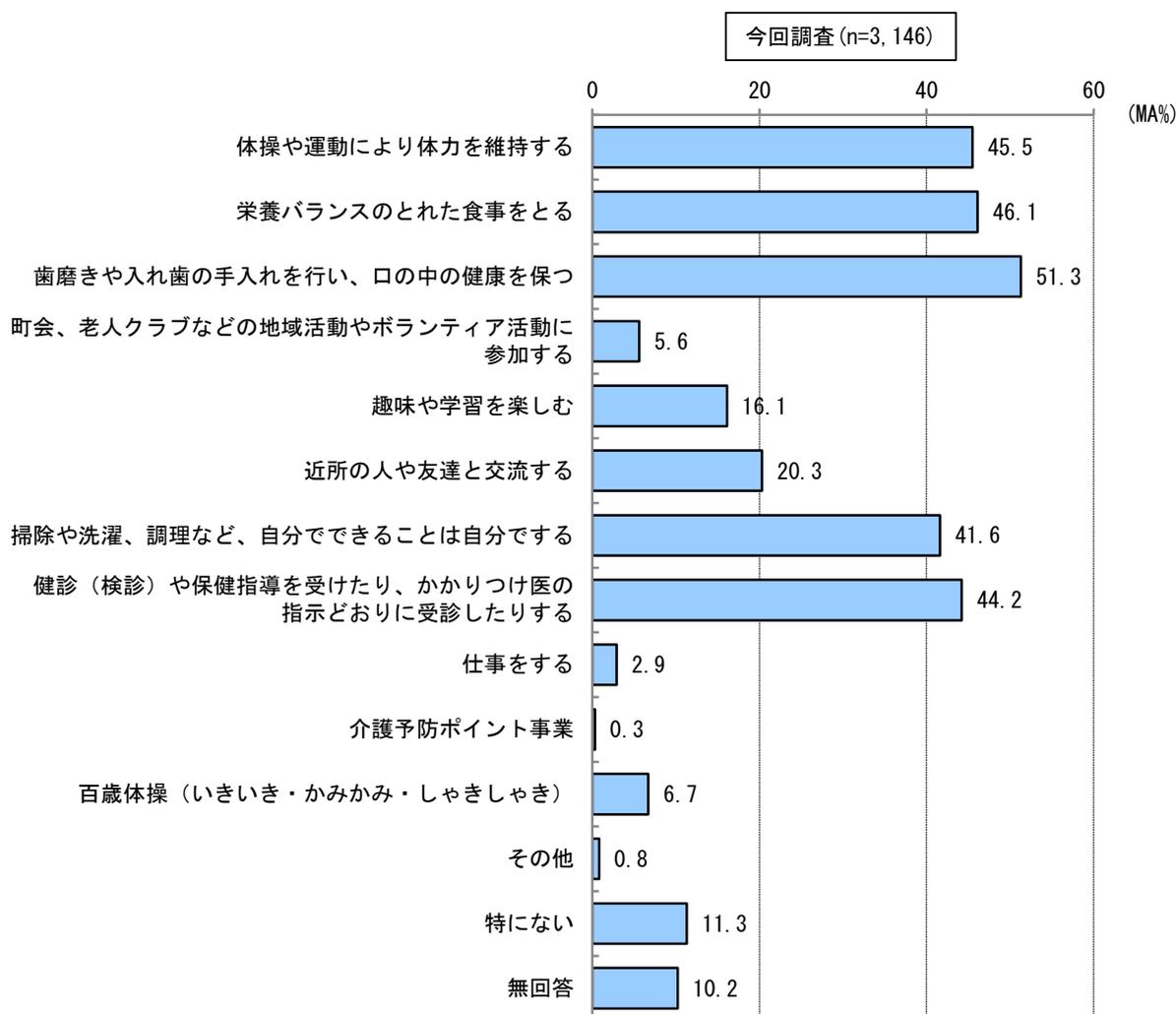
## 問22 介護予防の取組状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。(○はいくつでも)

### ① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることは、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の割合が51.3%で最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が46.1%、「体操や運動により体力を維持する」が45.5%となっている。(問22①)

【問22① 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること】

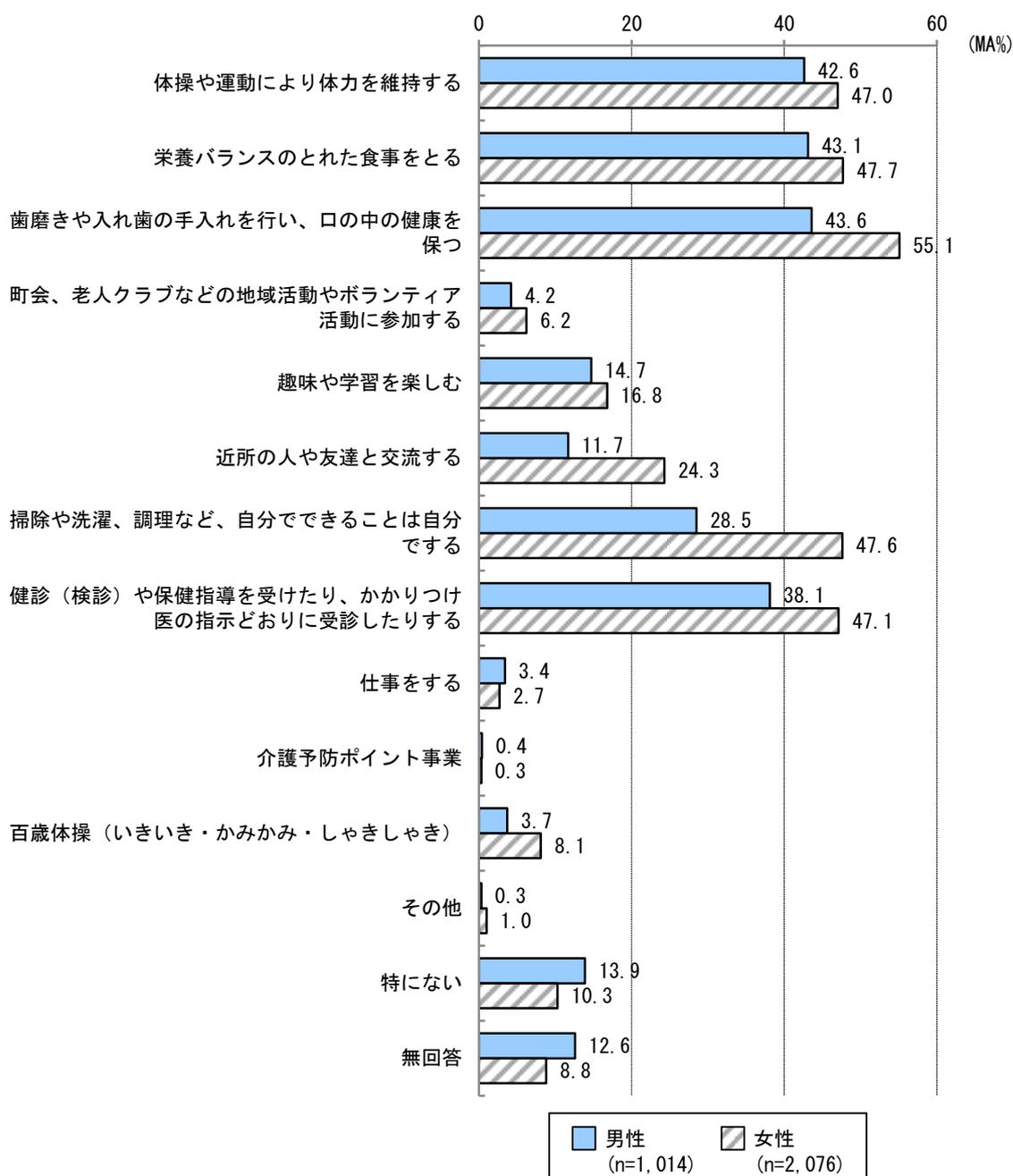


【介護保険サービス利用者調査】

本人の性別では、男女とも「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の割合が最も高く、男性（43.6%）より女性（55.1%）の方が11.5ポイント高くなっている。

また、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」や「近所の人や友達と交流する」の割合は、男性より女性の方が10ポイント以上高くなっている。（問22①-a）

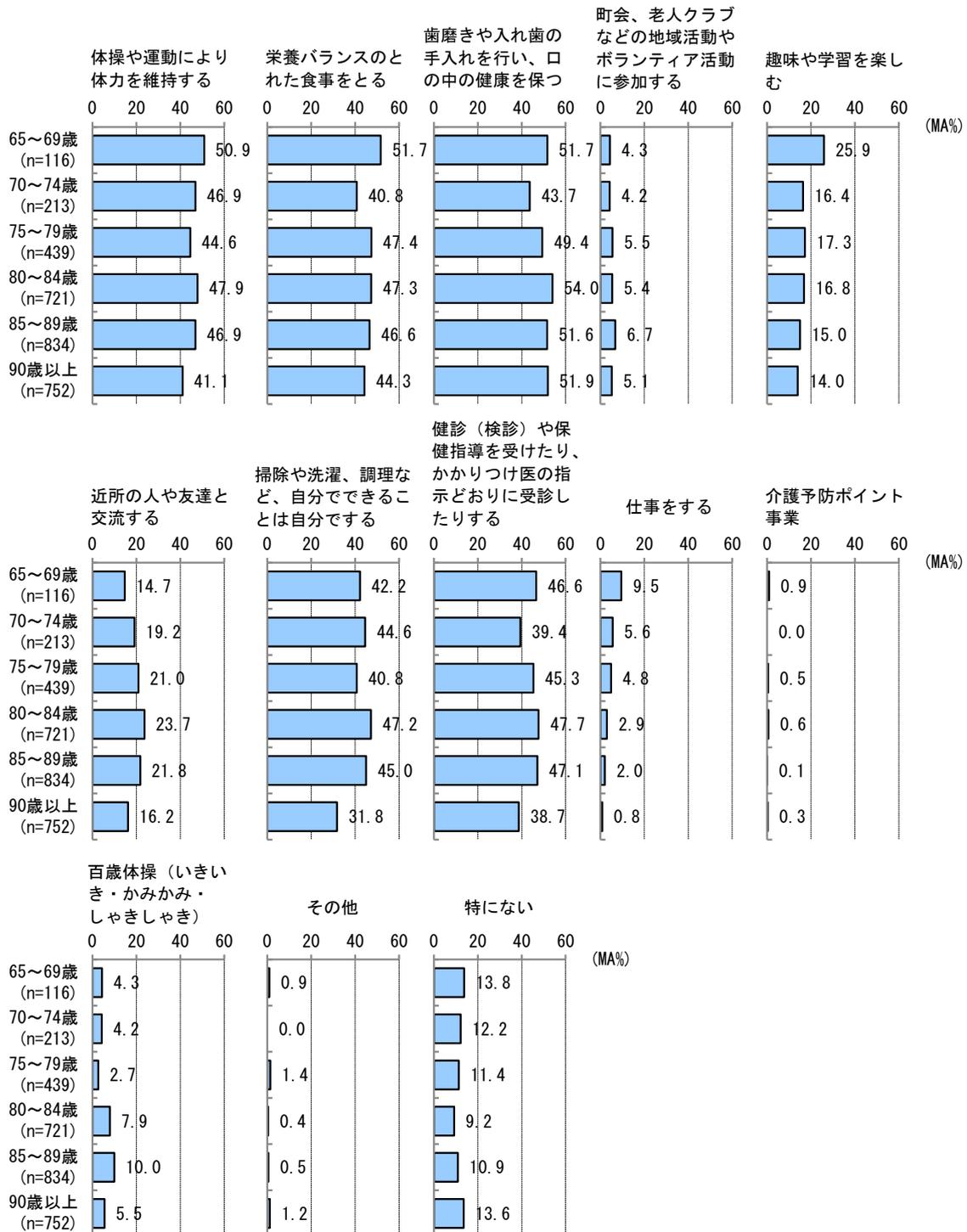
【問22①-a 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の性別）】



【介護保険サービス利用者調査】

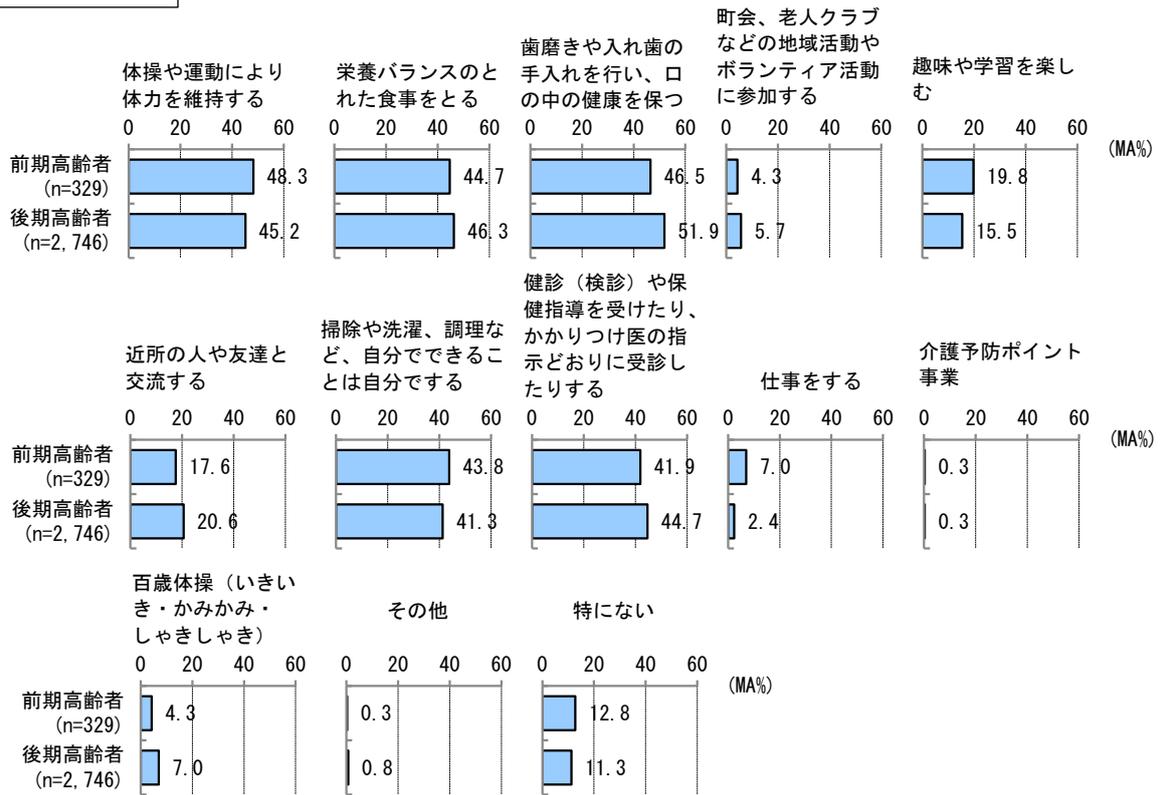
本人の年齢別では、65～69歳は「栄養バランスのとれた食事をとる」と「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が同率で最も高く、70～74歳は「体操や運動により体力を維持する」が最も高くなっている。これら以外の年代は「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の割合が最も高くなっている。（問22①-b）

【問22①-b 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

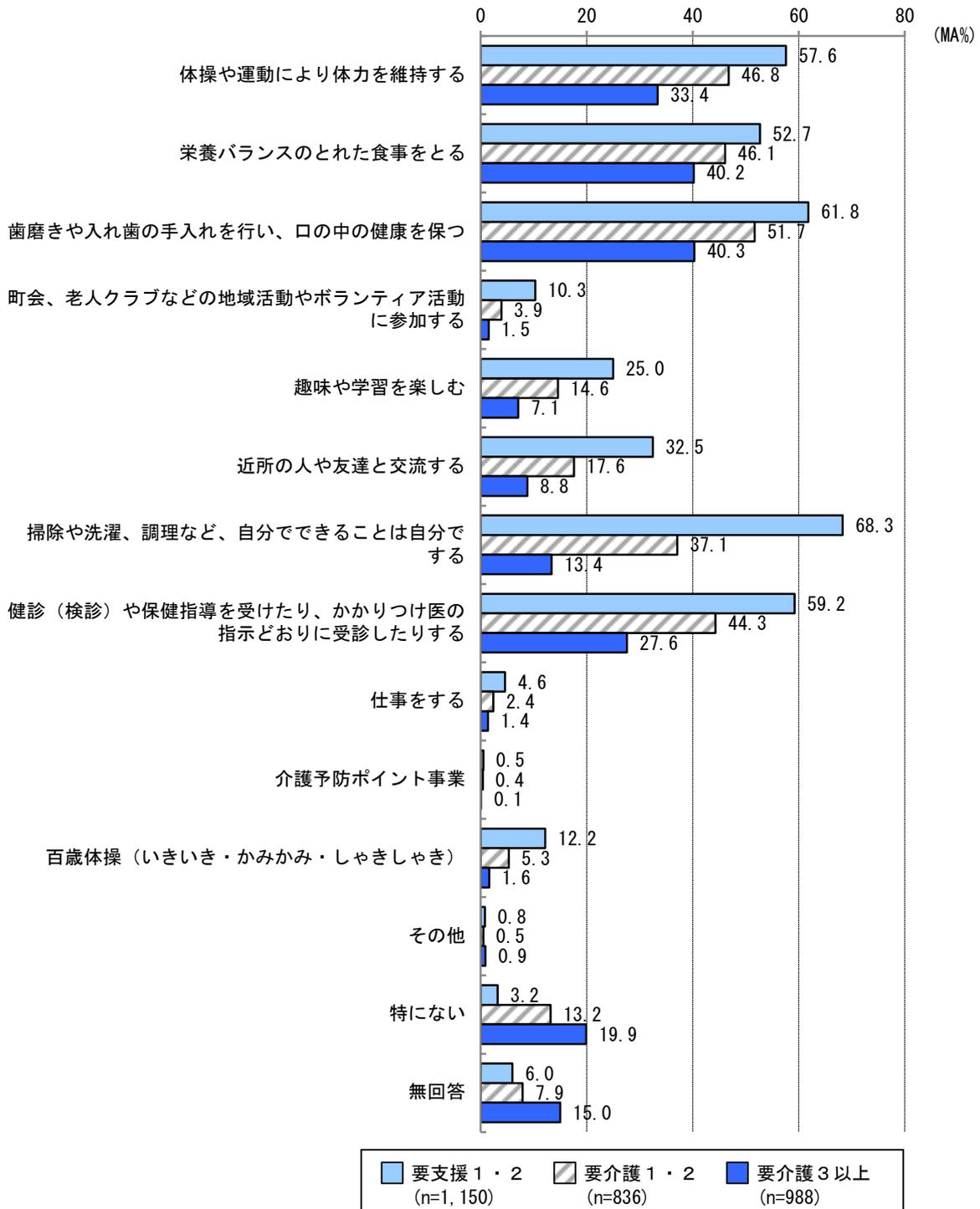
\* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「特にない」を除く各項目の割合は重度になるほど低くなっている。(問22①-c)

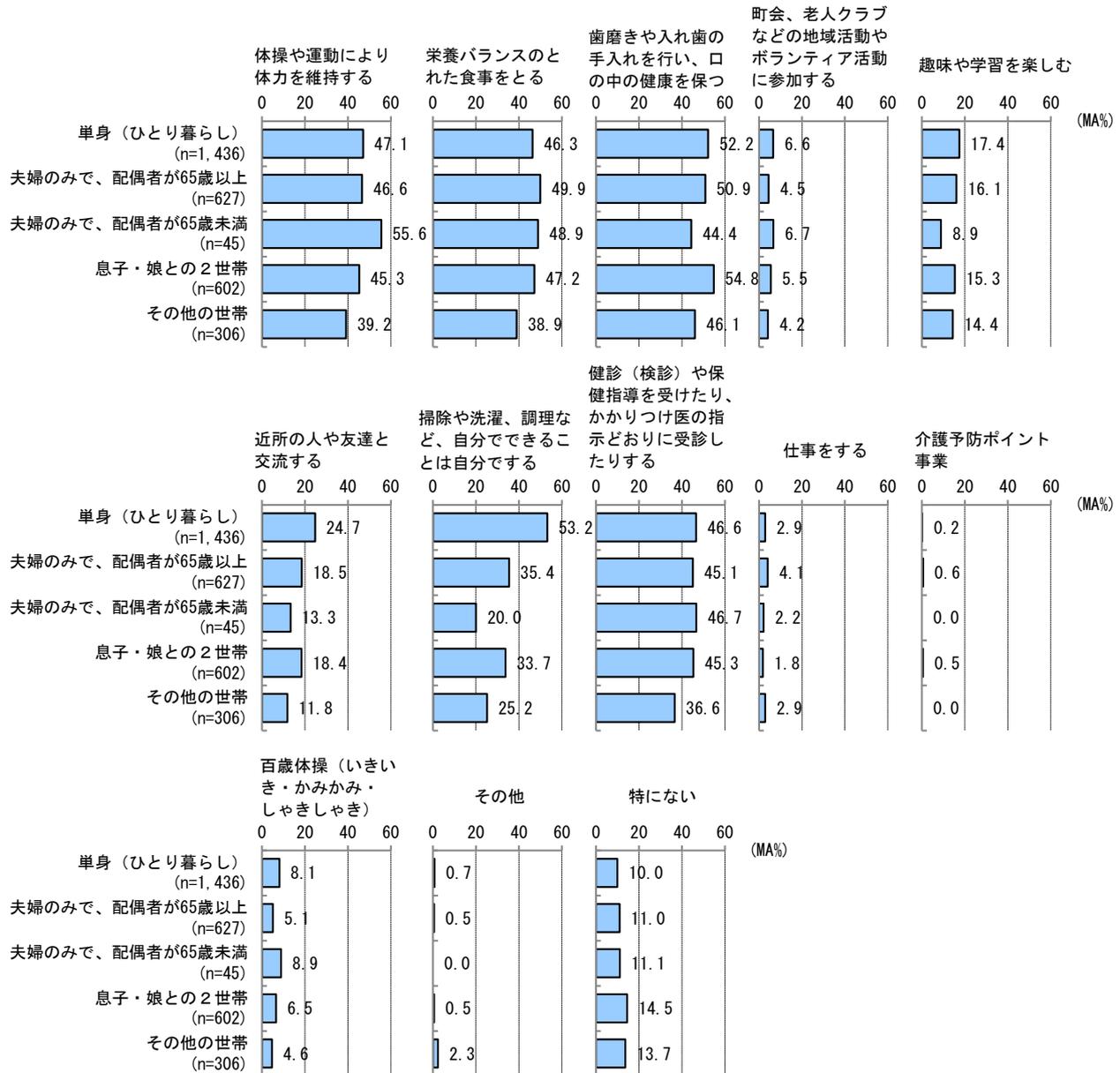
【問22①-c 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、単身（ひとり暮らし）の世帯は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が最も高く、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯は「体操や運動により体力を維持する」が、それ以外の世帯では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」がそれぞれ最も高くなっている。（問22①-d）

【問22①-d 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（世帯状況別）】

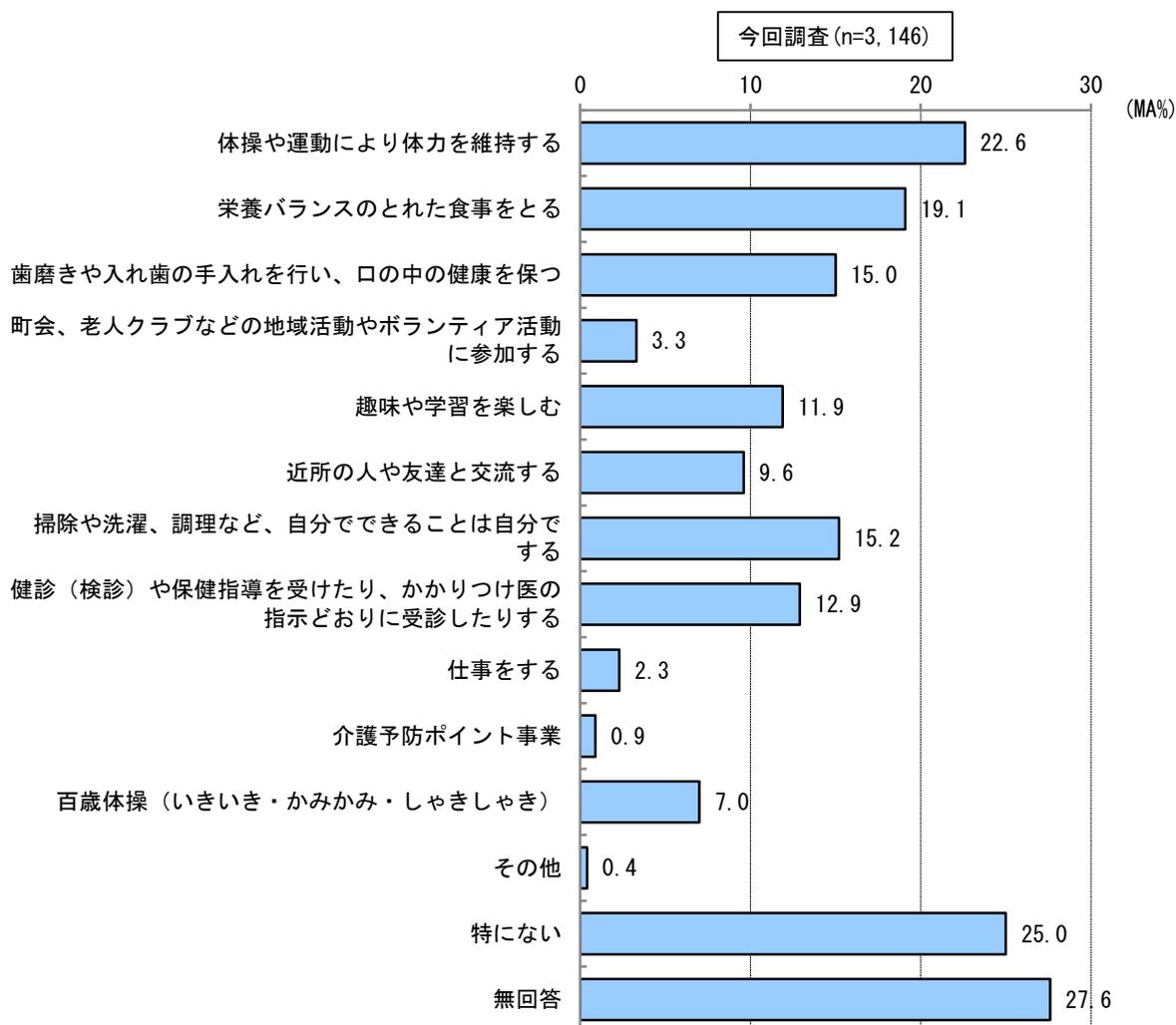


【介護保険サービス利用者調査】

② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことは、「体操や運動により体力を維持する」の割合が22.6%で最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が19.1%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が15.2%となっている。(問22②)

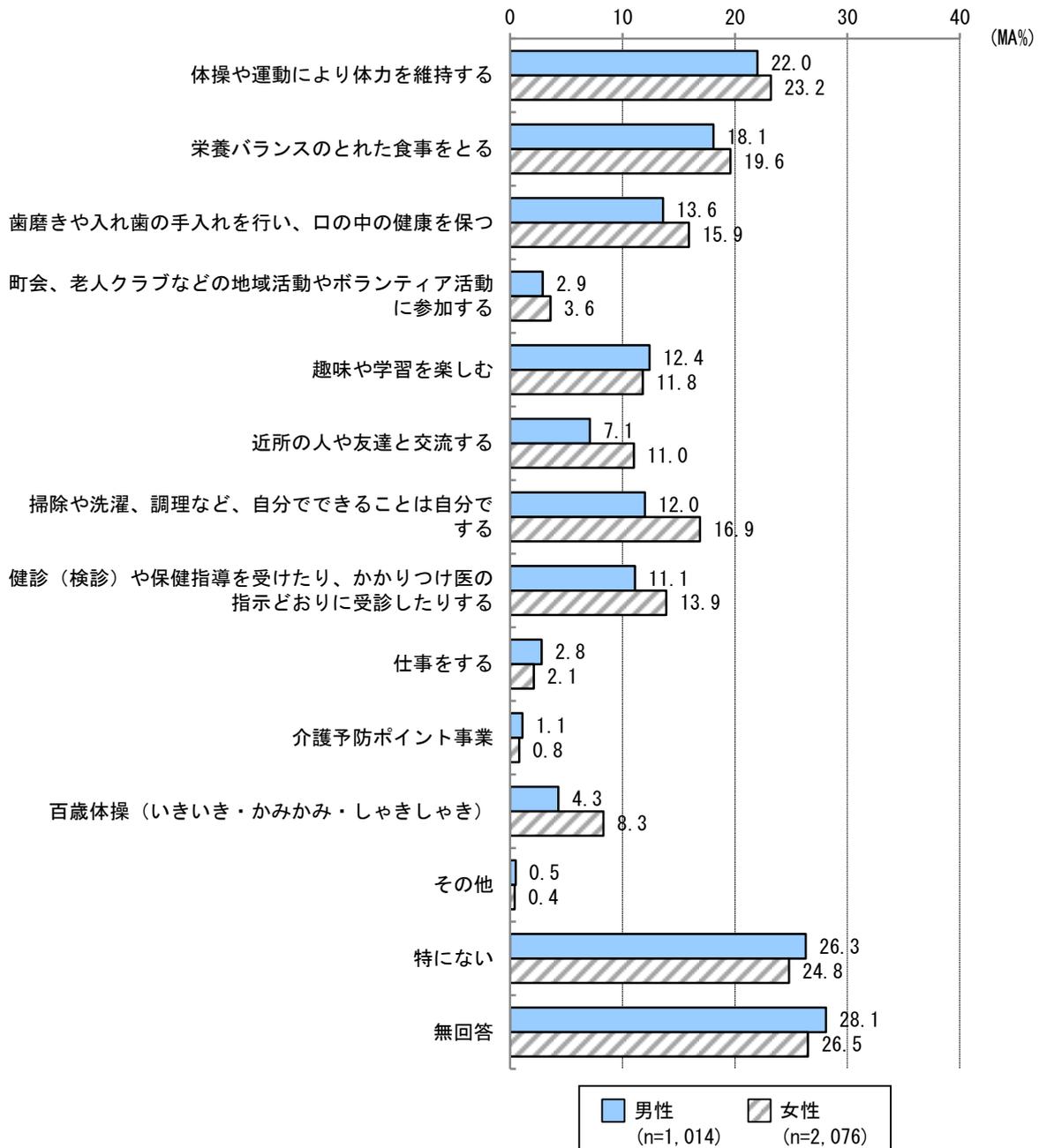
【問22② 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス利用者調査】

本人の性別では、男女とも「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。また、「趣味や学習を楽しむ」「仕事をする」「介護予防ポイント事業」を除く取組の割合は、男性より女性の方が高くなっている。（問22②-a）

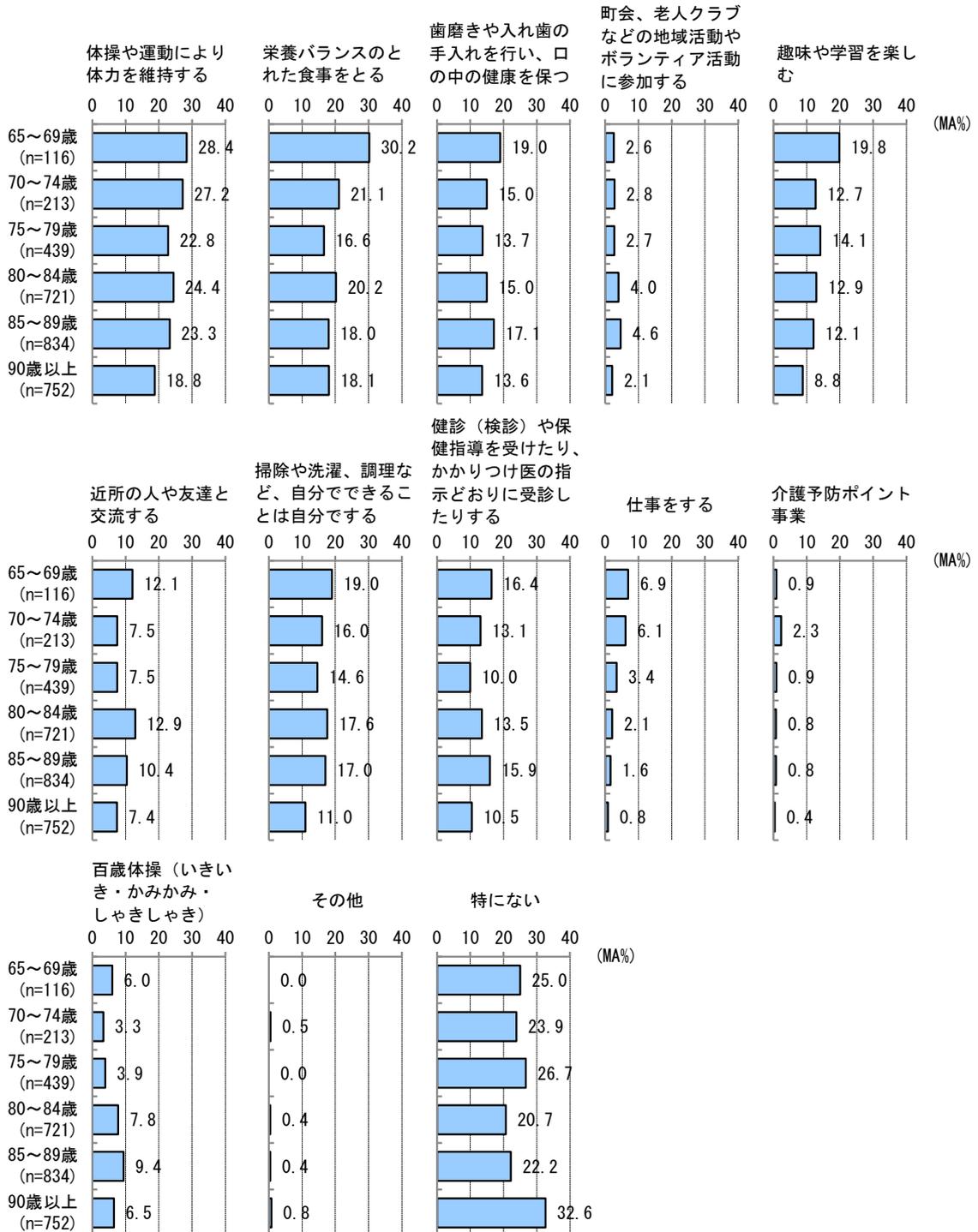
【問22②-a 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（本人の性別）】



【介護保険サービス利用者調査】

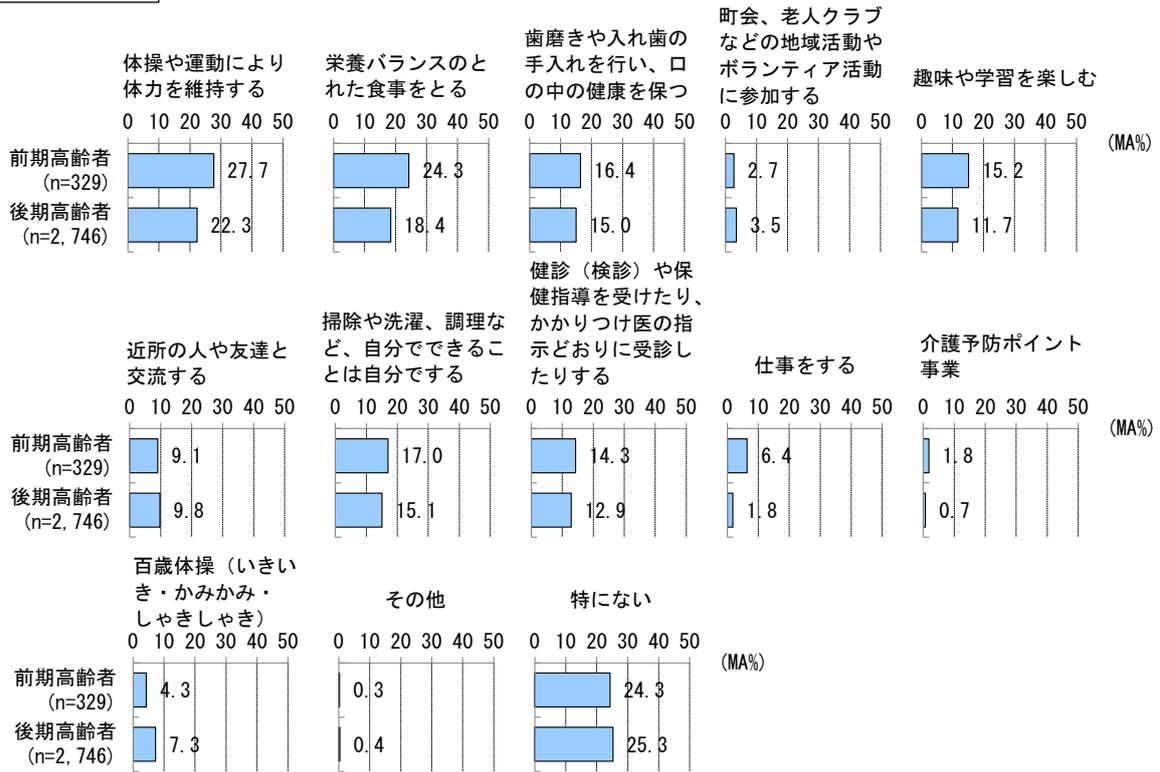
本人の年齢別では、65～69歳は「栄養バランスのとれた食事をとる」の割合が最も高く、70歳以上の年代では「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。(問22②-b)

【問22②-b 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

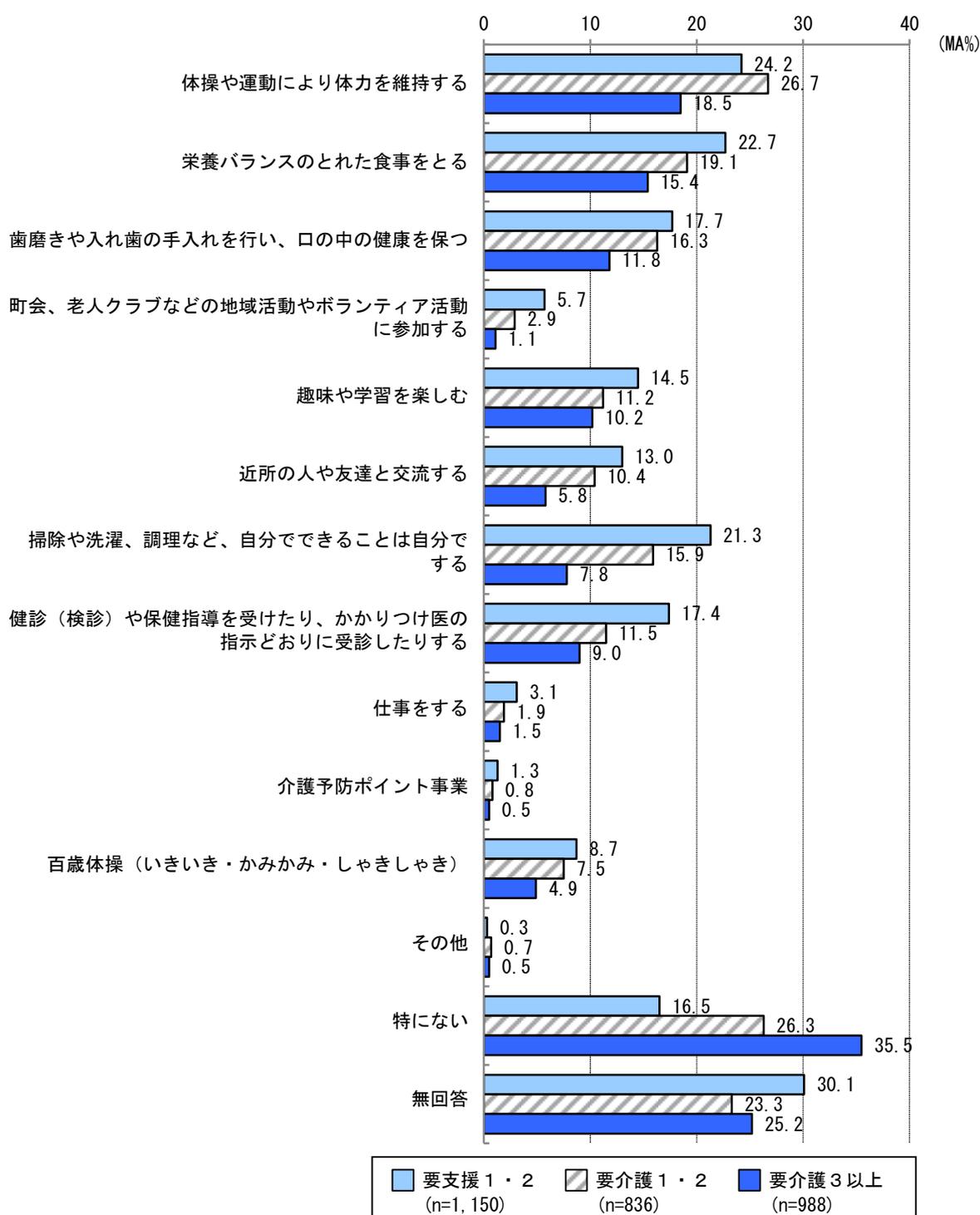
\* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。「特にない」の割合は重度になるほど増加し、要介護3以上では35.5%となっている。(問22②-c)

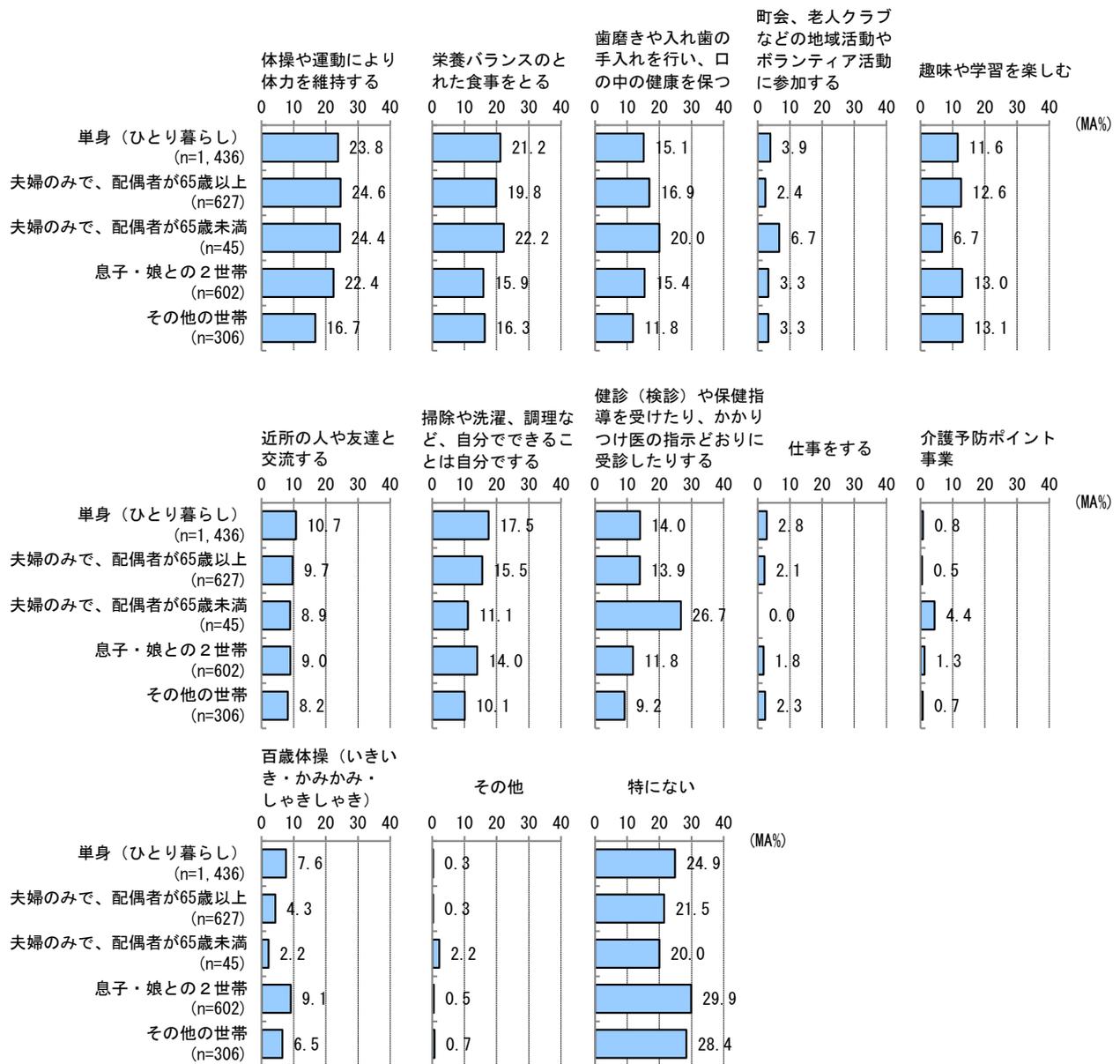
【問22②-c 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯は「健診（検診）や保健指導を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診したりする」の割合が最も高い。それ以外の世帯では「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。（問22②-d）

【問22②-d 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（世帯状況別）】



## 問22-1 介護予防の取組に意向がない理由

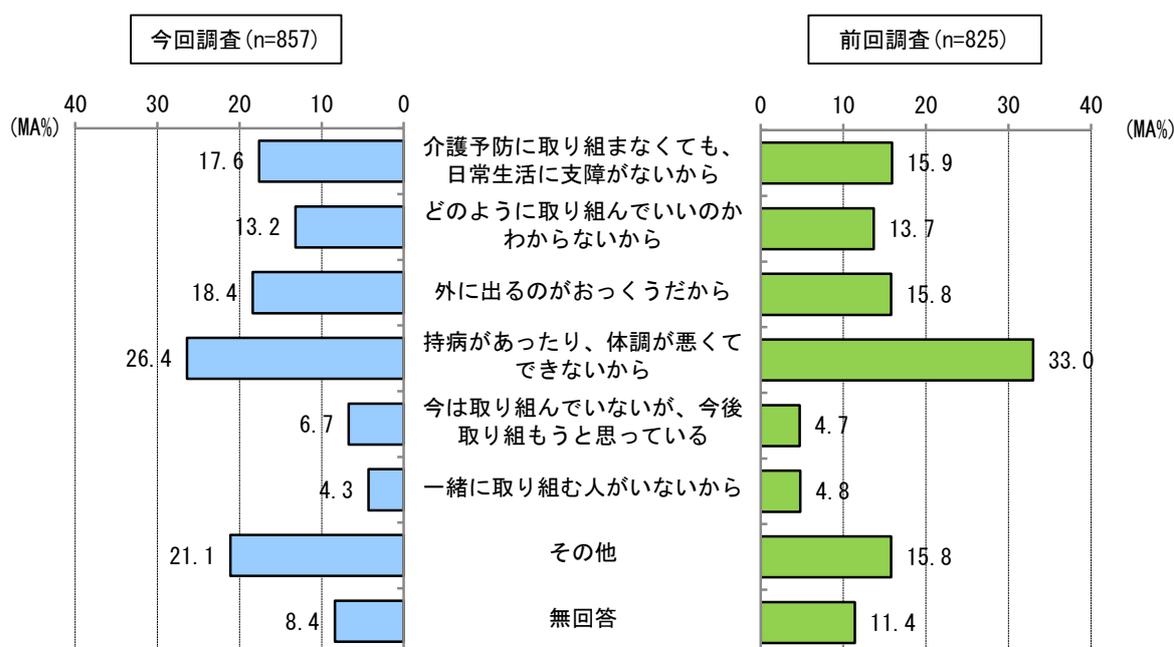
問22の①または②で「13 特にない」と回答された方におうかがいします。

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護予防に取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が26.4%で最も高く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が18.4%、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が17.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合は6.6ポイント減少している。(問22-1)

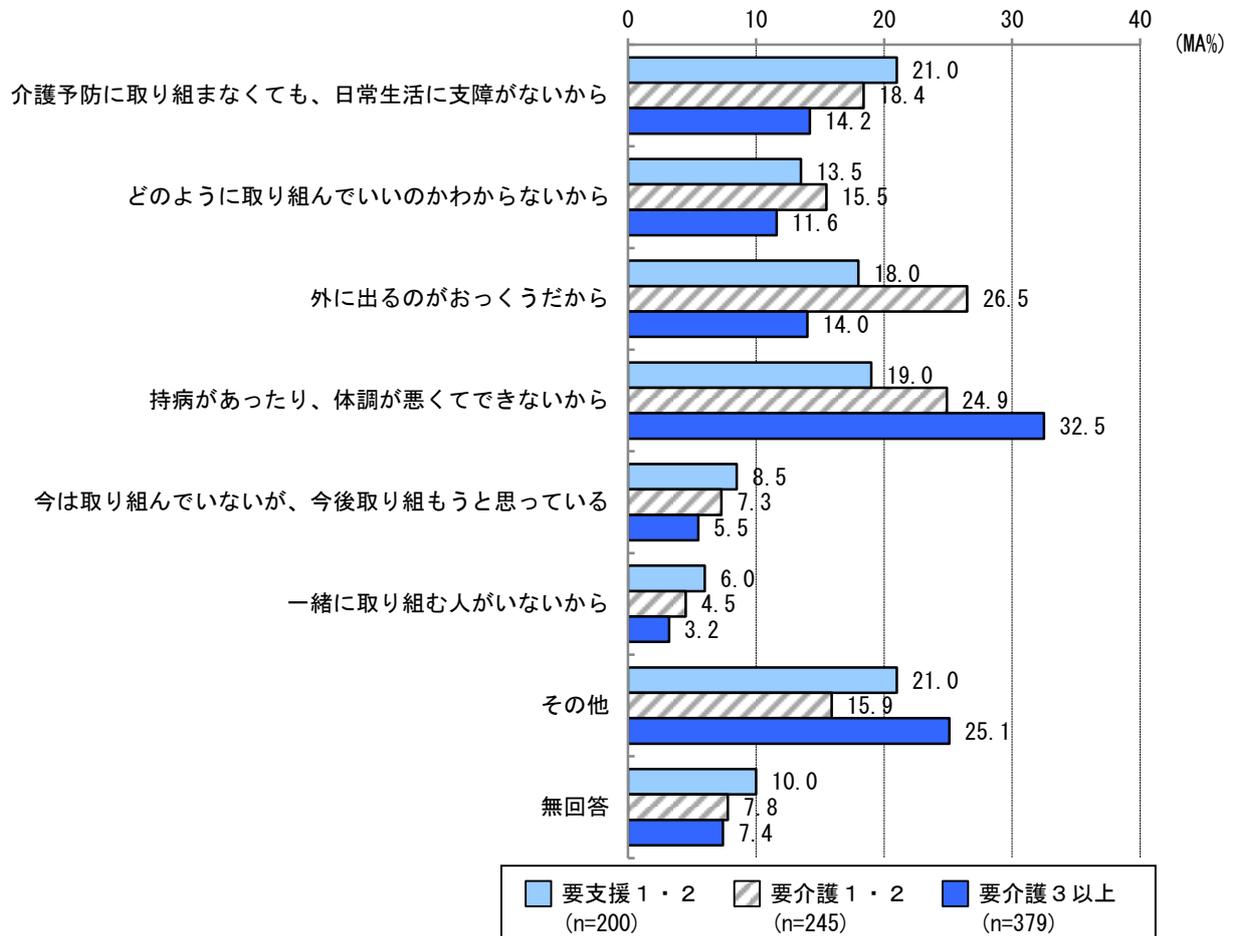
【問22-1 介護予防の取組に意向がない理由（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が最も高い。要介護1・2は「外に出るのがおっくうだから」、要介護3以上は「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も高くなっている。(問22-1-a)

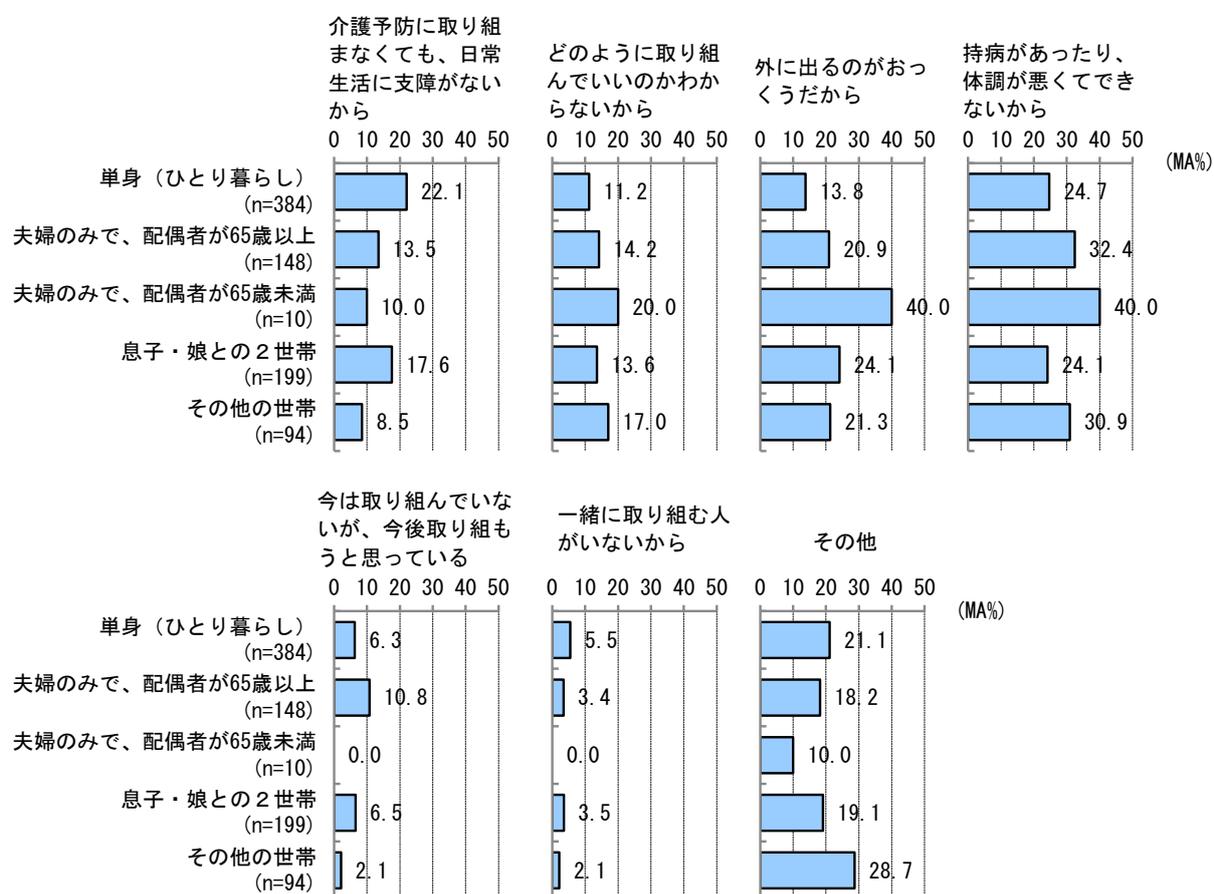
【問22-1-a 介護予防の取組に意向がない理由（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、世帯状況にかかわらず「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が最も高く、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯と息子・娘との2世帯の世帯では「外に出るのがおっくうだから」も同率で高くなっている。(問22-1-b)

【問22-1-b 介護予防の取組に意向がない理由（世帯状況別）】



(7) 健康状態

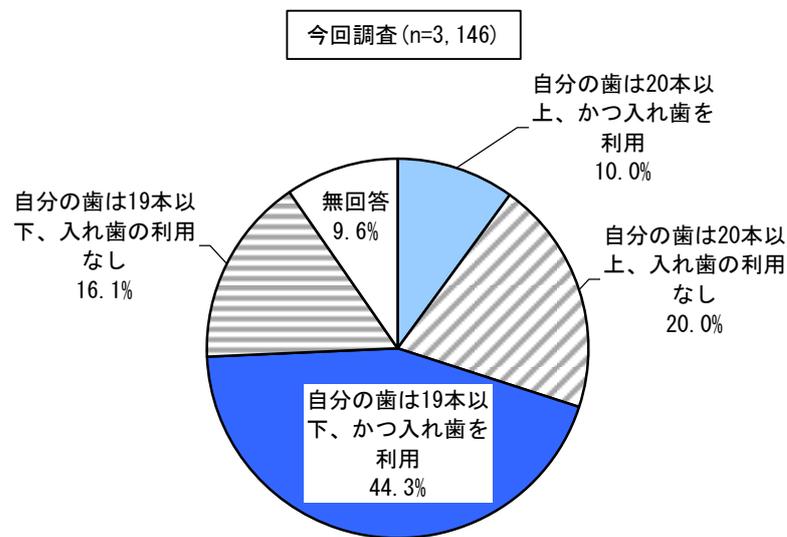
問23 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が44.3%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が20.0%となっている。

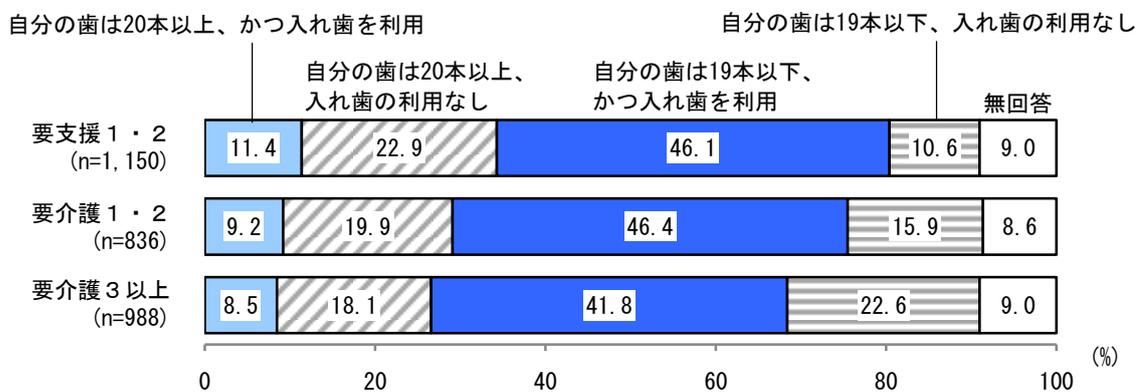
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(10.0%)をあわせた『入れ歯を利用』の割合は54.3%となっている。(問23)

【問23 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別では、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合は、いずれも要支援1・2の割合が最も高くなっている。(問23-a)

【問23-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】



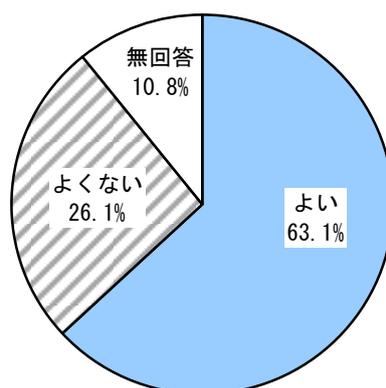
### 問23-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(○はひとつ)

かみ合わせについて、「よい」が63.1%に対し、「よくない」は26.1%となっている。(問23-1)

【問23-1 かみ合わせ】

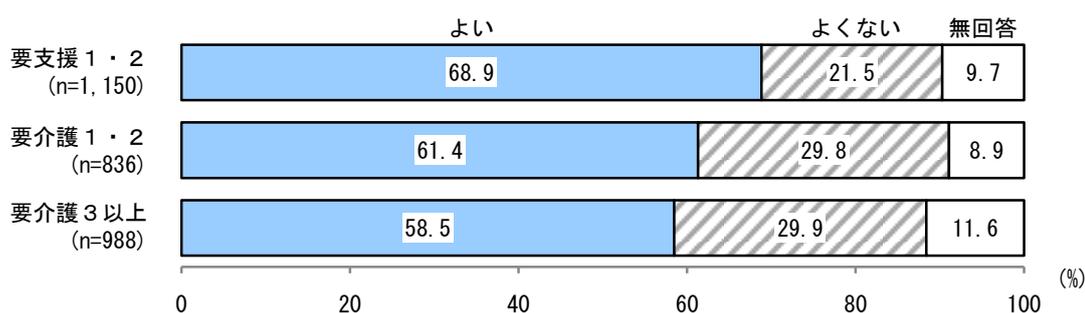
今回調査 (n=3, 146)



※「はい」→「よい」、「いいえ」→「よくない」に変更

要介護度別では、かみ合わせが「よい」の割合は、要介護度が重度になるほど減少し、要介護3以上では58.5%と最も低くなっている。(問23-1-a)

【問23-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

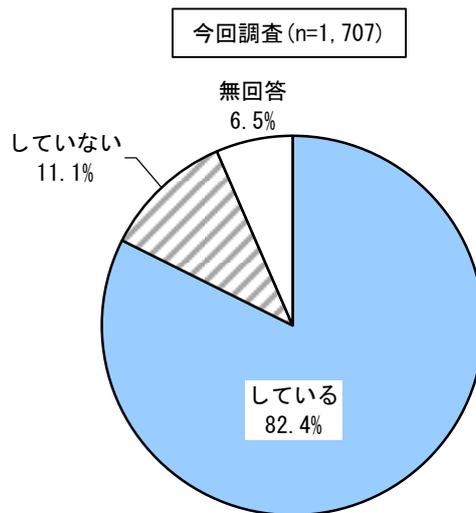


### 問23-2 入れ歯の手入れ

問23で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。  
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れの有無をたずねると、「している」が82.4%に対し、「していない」が11.1%となっている。(問23-2)

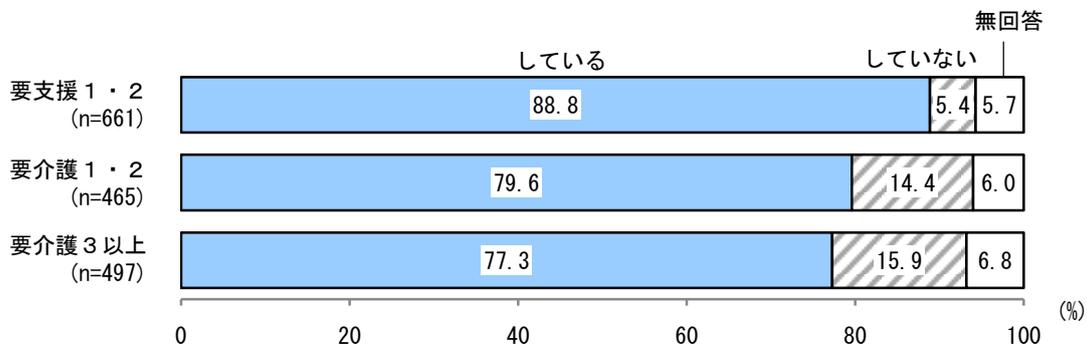
【問23-2 入れ歯の手入れ】



※ 「はい」 → 「している」、「いいえ」 → 「していない」に変更

要介護度別では、入れ歯の手入れを「している」の割合は、要支援1・2が88.8%で最も高く、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問23-2-a)

【問23-2-a 入れ歯の手入れ (要介護度別)】

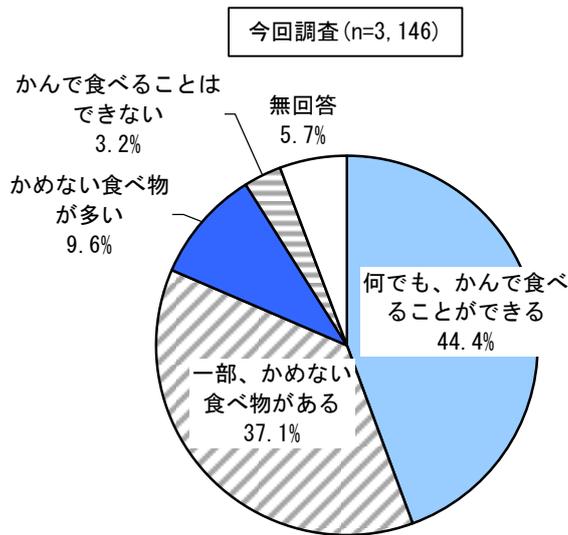


問24 かねで食べることの可否

あなたがかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

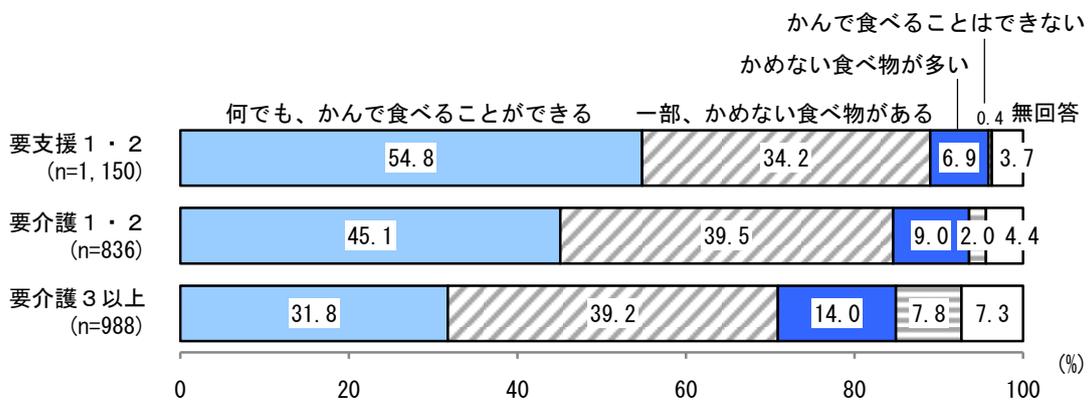
かねで食べる時の状態は、「何でも、かねで食べることができる」が44.4%、「一部、かめない食べ物がある」が37.1%、「かめない食べ物が多い」が9.6%となっている。(問24)

【問24 かねで食べることの可否】



要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「何でも、かねで食べることができる」の割合が最も高く、要介護3以上では「一部、かめない食べ物がある」の割合が最も高くなっている。(問24-a)

【問24-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

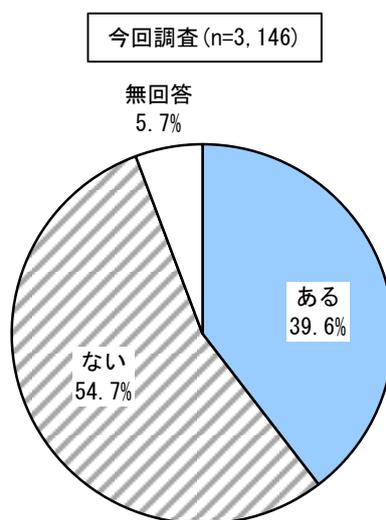


## 問25 お茶や汁物等でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

お茶や汁物等でむせることが「ある」は39.6%に対し、「ない」は54.7%となっている。  
(問25)

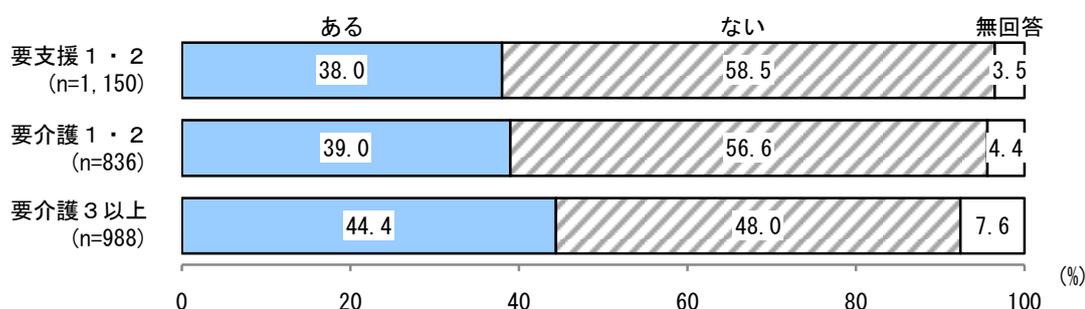
### 【問25 お茶や汁物でむせること】



※「はい」→「ある」、「いいえ」→「ない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「ない」の割合が高く、「ある」の割合は要介護3以上で高くなっている。(問25-a)

### 【問25-a お茶や汁物でむせること (要介護度別)】

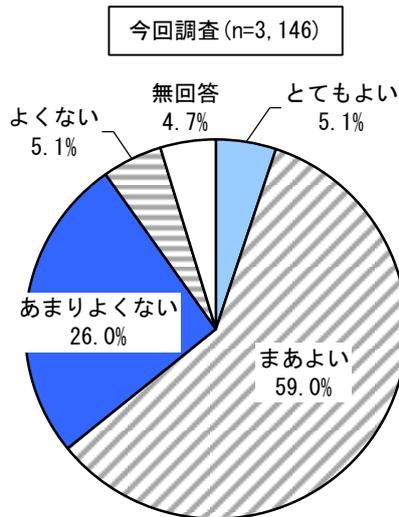


問26 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

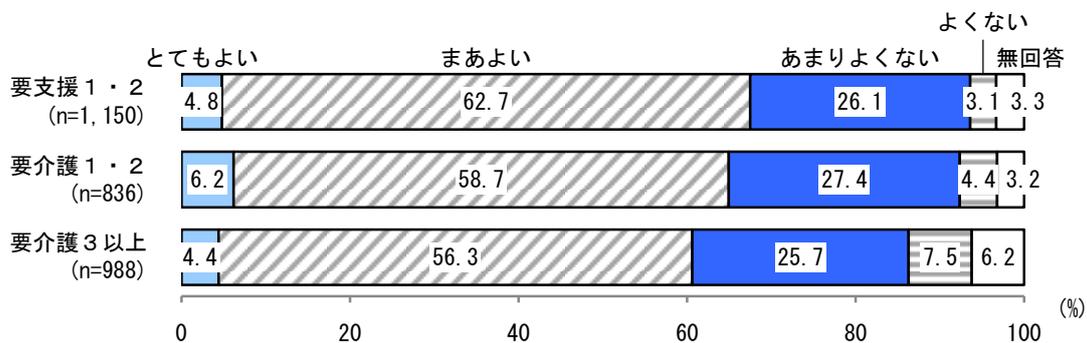
現在の健康状態は、「まあよい」の割合が59.0%で最も高く、次いで「あまりよくない」が26.0%となっている。「とてもよい」(5.1%)と「まあよい」をあわせた『よい』の割合は64.1%となっている。(問26)

【問26 健康状態】



要介護度別では、『よい』の割合は、要支援1・2が67.5%で最も高く、要介護度が重度になるほどその割合が低くなっている(問26-a)

【問26-a 健康状態(要介護度別)】



(8) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

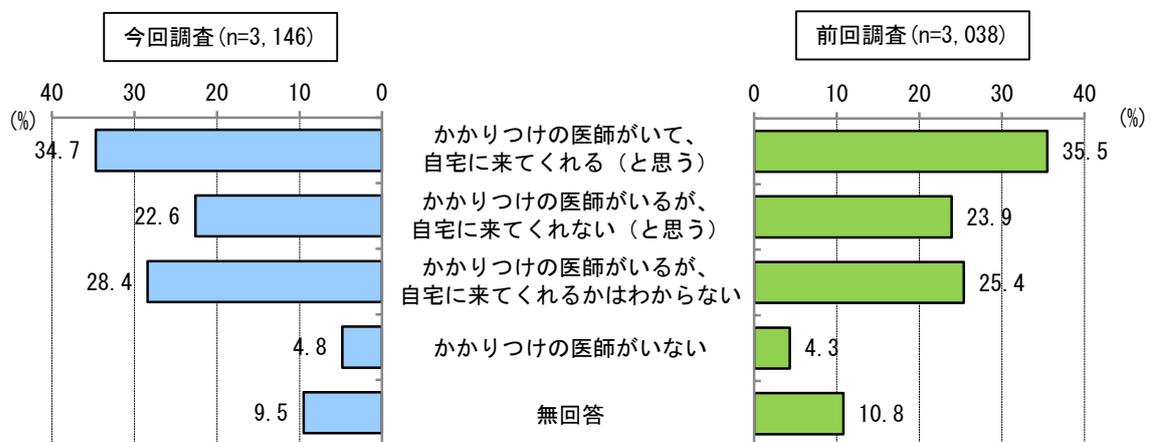
問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療について、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合が34.7%で最も高く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が28.4%、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が22.6%となっている。

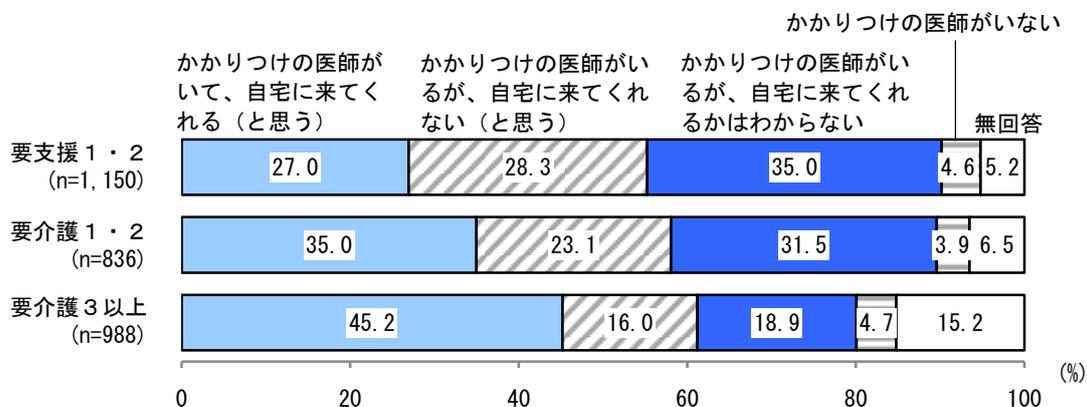
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問27)

【問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無(経年比較)】



要介護度別では、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなり、要介護3以上では45.2%となっている。(問27-a)

【問27-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】



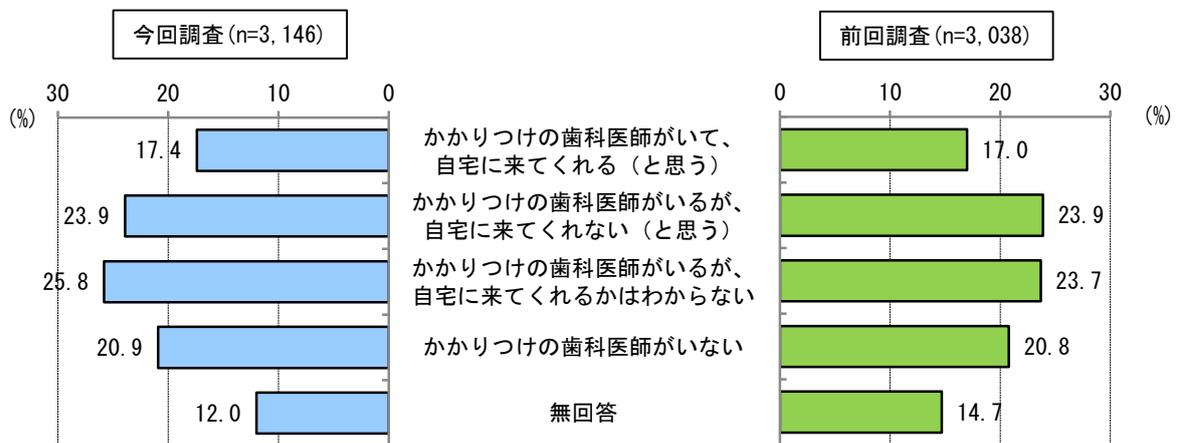
問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療について、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が25.8%で最も高く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.9%、「かかりつけの歯科医師がいない」が20.9%となっている。

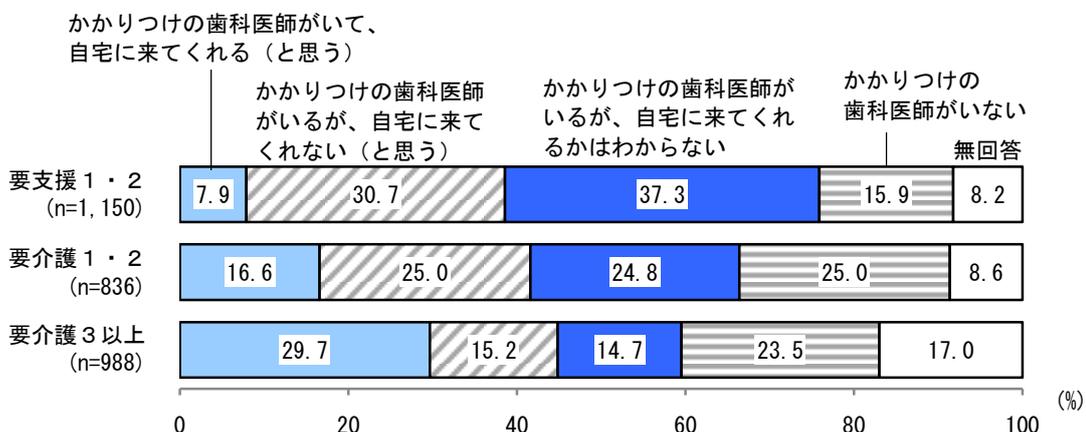
前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」と「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の順位が入れ替わっている。(問28)

【問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無 (経年比較)】



要介護度別では、「かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなり、要介護3以上では29.7%となっている。(問28-a)

【問28-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無 (要介護度別)】



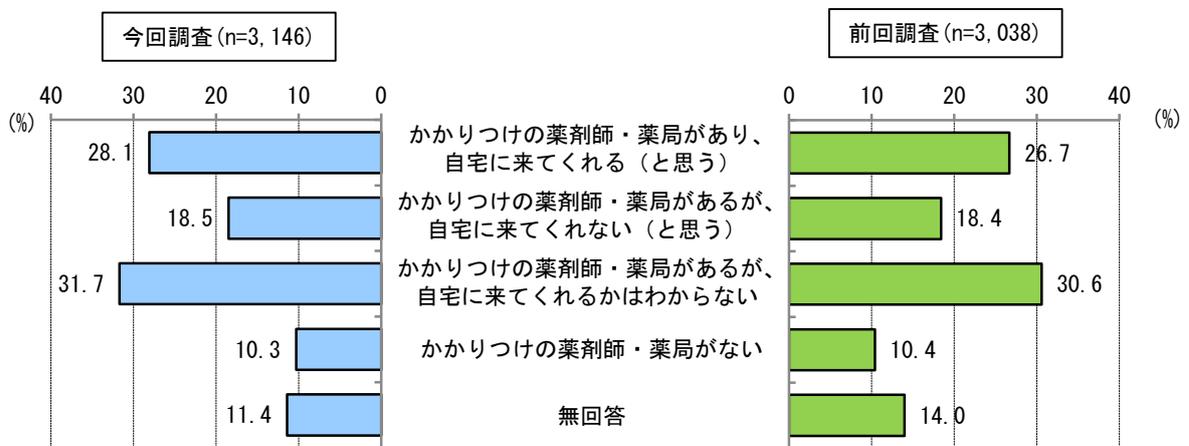
問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問について、「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が31.7%で最も高く、次いで「かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる（と思う）」が28.1%、「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）」が18.5%となっている。

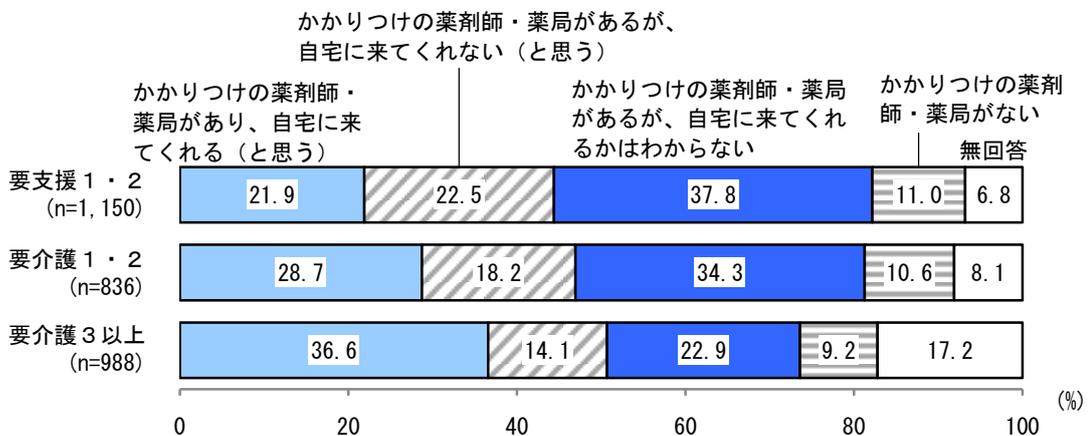
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問29）

【問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（経年比較）】



要介護度別では、「かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる（と思う）」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなり、要介護3以上では36.6%となっている。（問29-a）

【問29-a かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（要介護度別）】



(9) 地域活動

問30 地域の会・グループ等への参加頻度

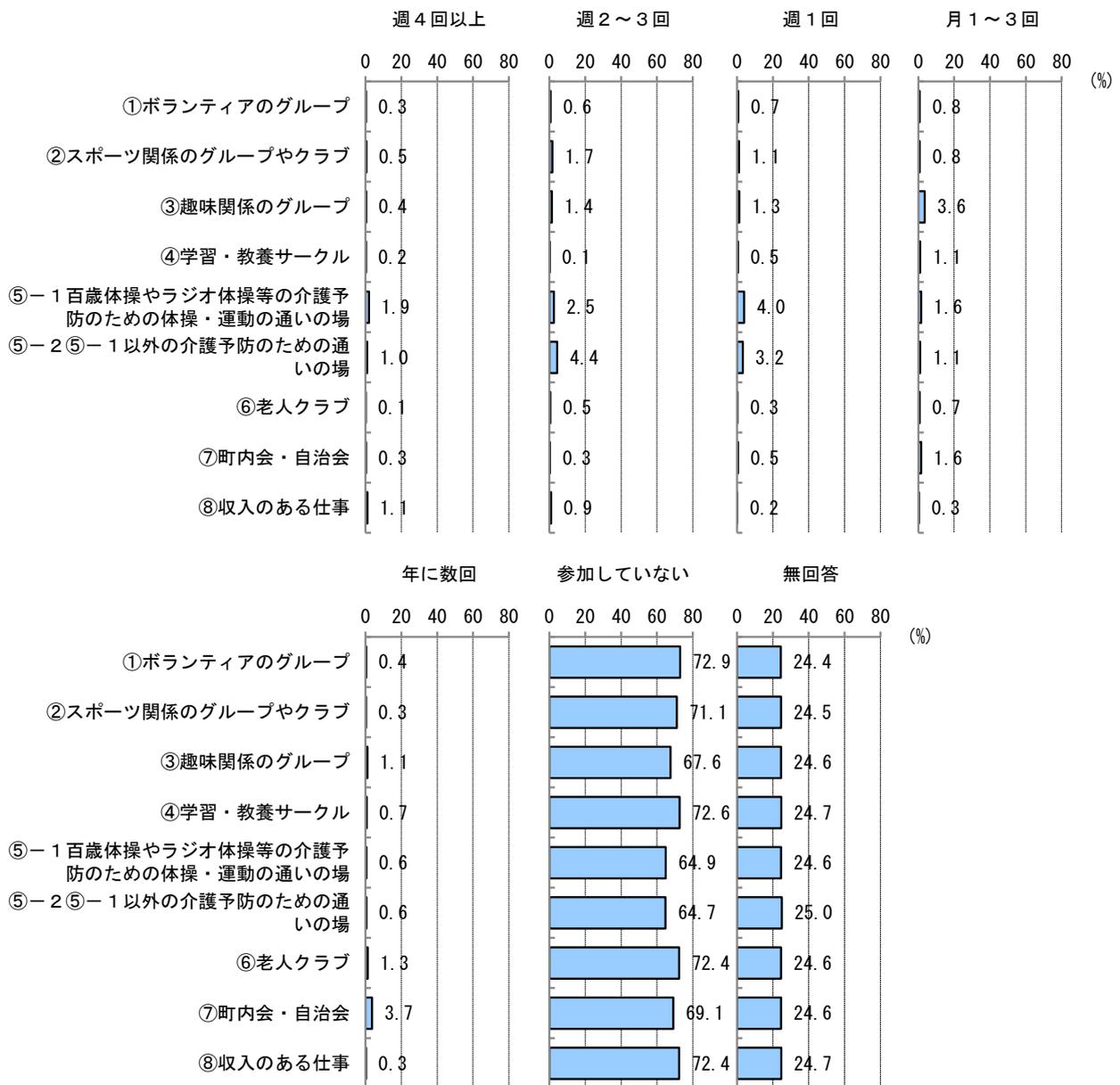
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)  
 ①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。

参加している会・グループ等では、「週1回」の割合は、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”が4.0%で最も高く、「週2～3回」の割合は、“⑤-2 ⑤-1以外の介護予防のための通いの場”が4.4%で最も高くなっている。(問30)

【問30 地域の会・グループ等への参加頻度】



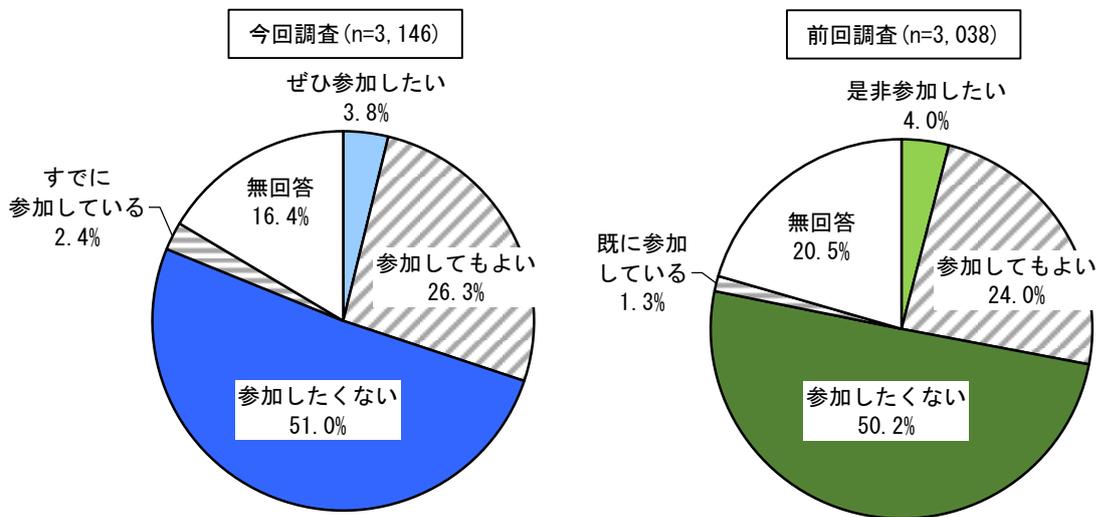
### 問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

地域づくり活動に参加者としての参加意向について、「参加したくない」の割合が51.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が26.3%、「ぜひ参加したい」が3.8%、「すでに参加している」が2.4%となっている。

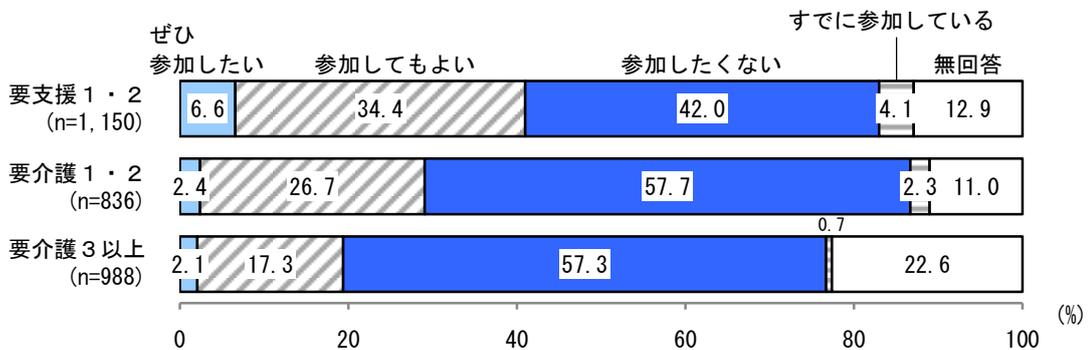
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問30-1)

【問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (経年比較)】



要介護度別では、「参加したくない」の割合は要介護1・2が57.7%で最も高く、次いで要介護3以上の57.3%となっている。「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」の各割合は要支援1・2が最も高くなっている。(問30-1-a)

【問30-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】



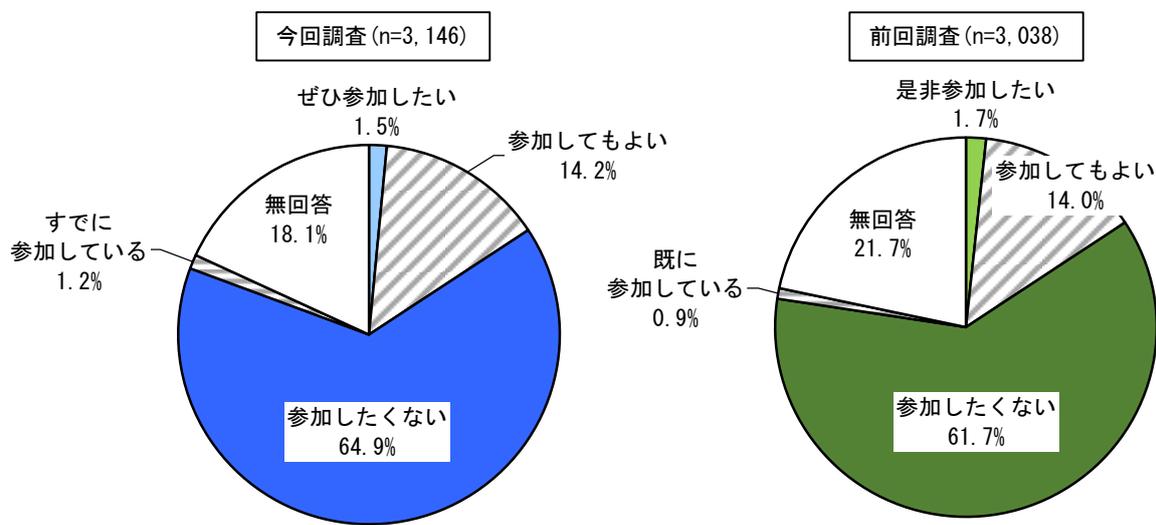
問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向について、「参加したくない」の割合が64.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」が14.2%、「ぜひ参加したい」が1.5%となっている。

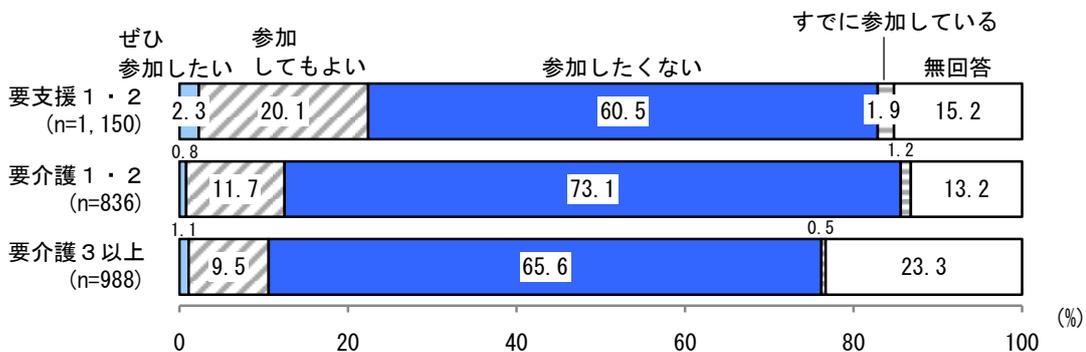
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問30-2）

【問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（経年比較）】



要介護度別では、「参加したくない」の割合は、要介護1・2が73.1%で最も高くなっている。「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」はいずれも要支援1・2の割合が最も高くなっている。（問30-2-a）

【問30-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



## (10) 認知症

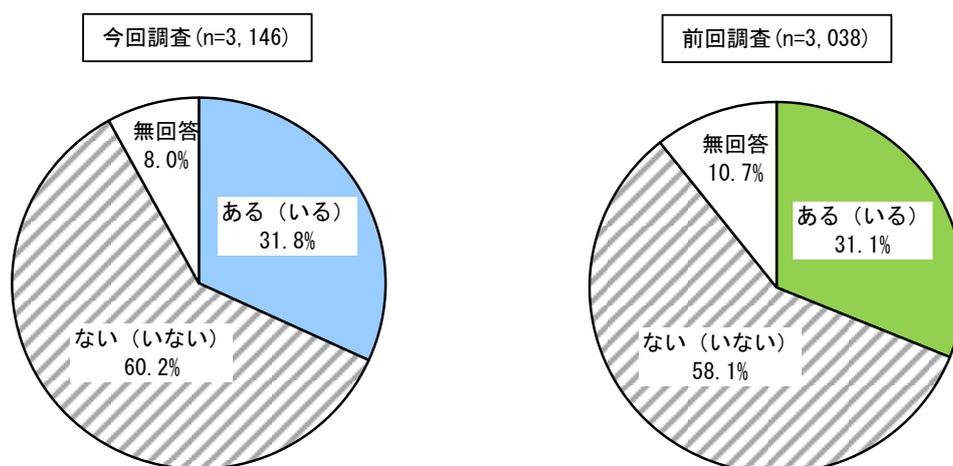
### 問31 認知症状の有無

認知症の症状（もの忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人について、「ある（いる）」が31.8%に対し、「ない（いない）」は60.2%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問31）

【問31 認知症状の有無（経年比較）】

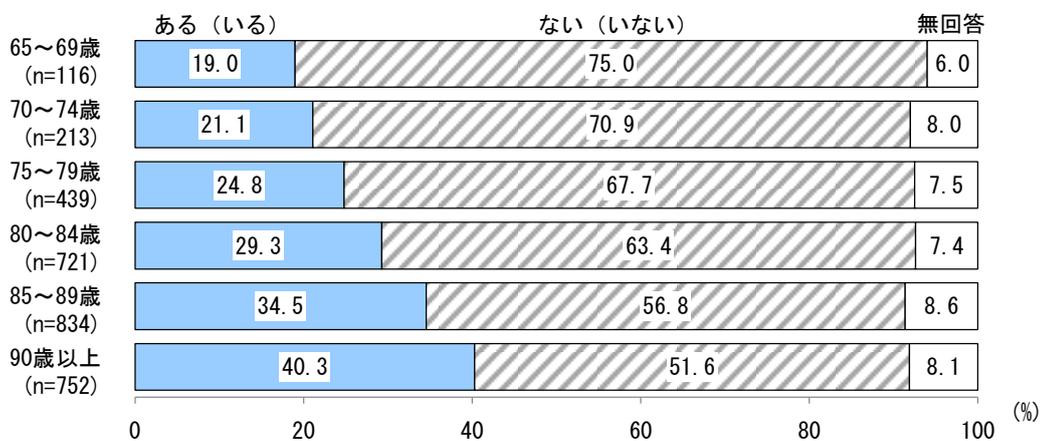


※ 「はい」 → 「ある（いる）」、「いいえ」 → 「ない（いない）」に変更

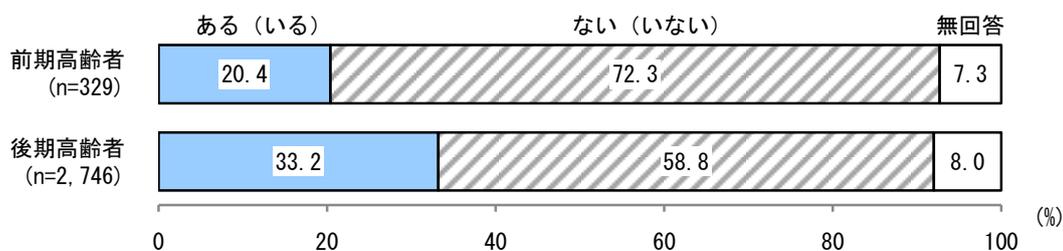
【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別では、「ある（いる）」の割合は高齢になるほど高くなり、90歳以上では40.3%となっている。（問31-a）

【問31-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



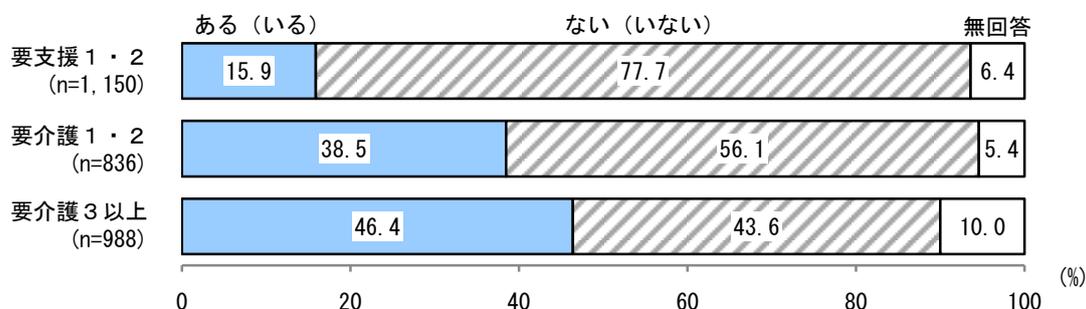
\* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

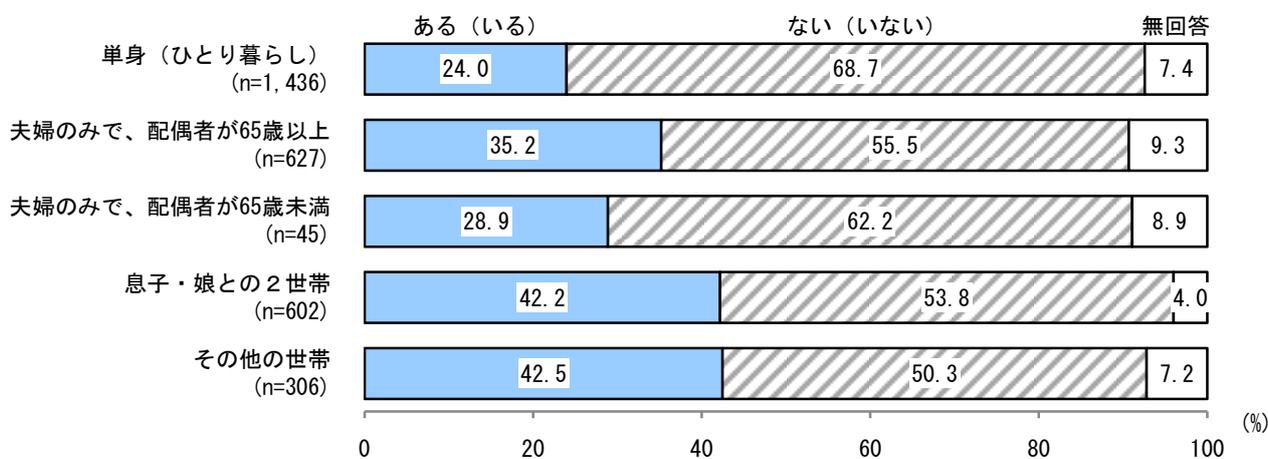
要介護度別では、「ある（いる）」の割合は、重度になるほど高くなり、要介護3以上では46.4%となっている。（問31-b）

【問31-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別では、「ある（いる）」の割合は、その他の世帯が42.5%で最も高く、次いで息子・娘との2世帯の世帯が42.2%となっている。（問31-c）

【問31-c 認知症状の有無（世帯状況別）】



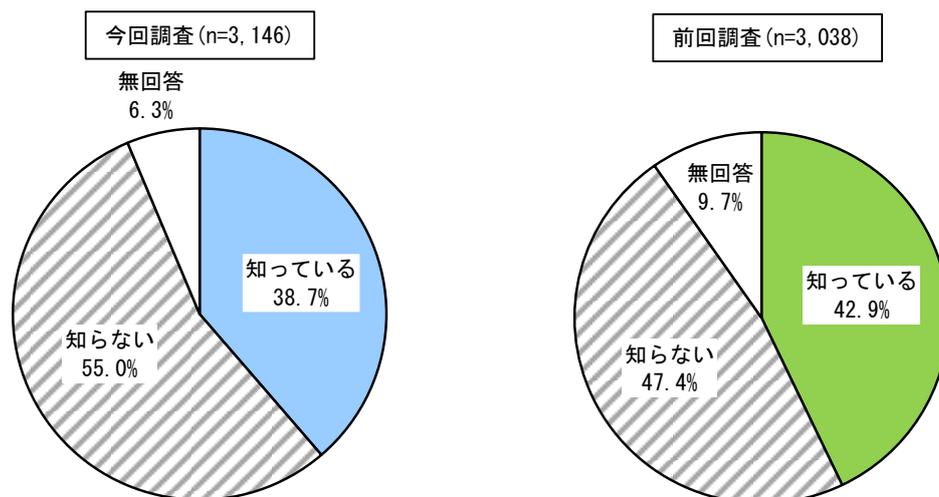
### 問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

認知症に関する相談窓口を「知っている」が38.7%に対し、「知らない」は55.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合は4.2ポイント減少し、「知らない」の割合が7.6ポイント増加している。(問31-1)

【問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度（経年比較）】

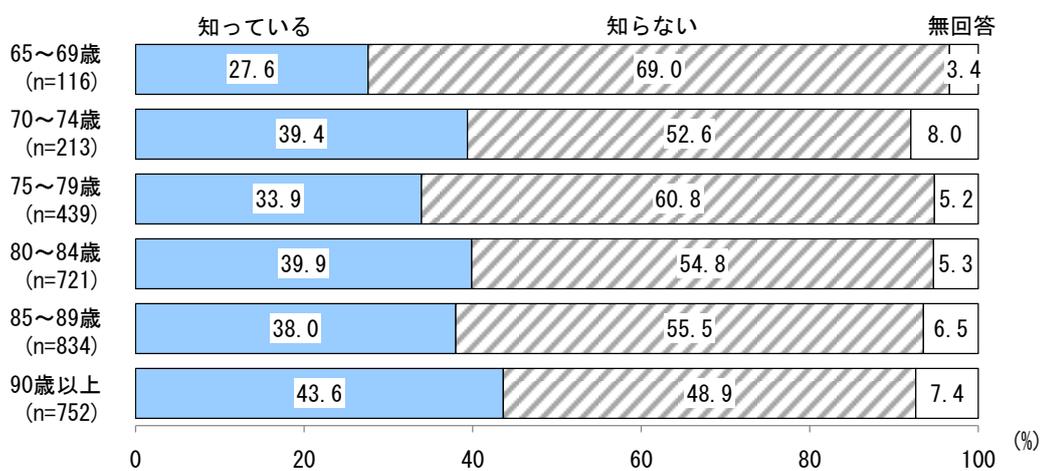


※ 「はい」 → 「知っている」、「いいえ」 → 「知らない」に変更

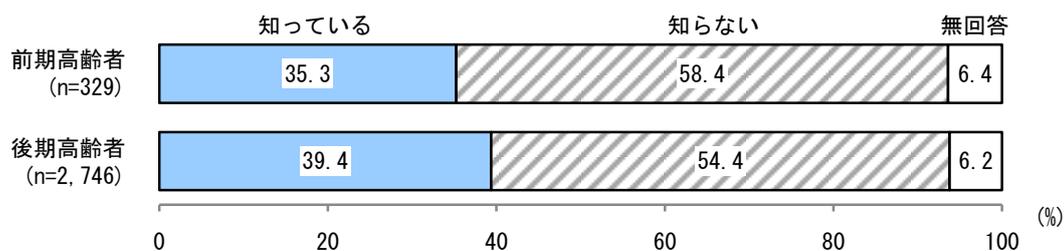
【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別では、「知っている」の割合は90歳以上が43.6%で最も高いのに対し、65～69歳が27.6%で最も低くなっている。(問31-1-a)

【問31-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】



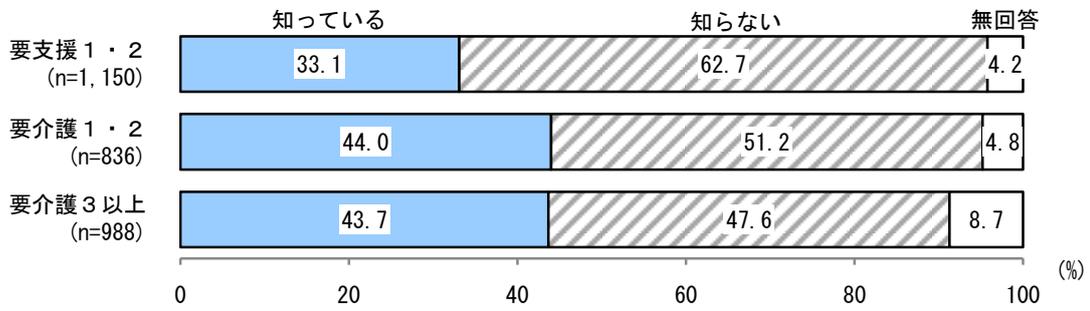
\* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「知っている」の割合は要介護1・2が44.0%で最も高く、次いで要介護3以上が43.7%となっている。(問31-1-b)

【問31-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



### 問31-2 知っている認知症に関する相談窓口

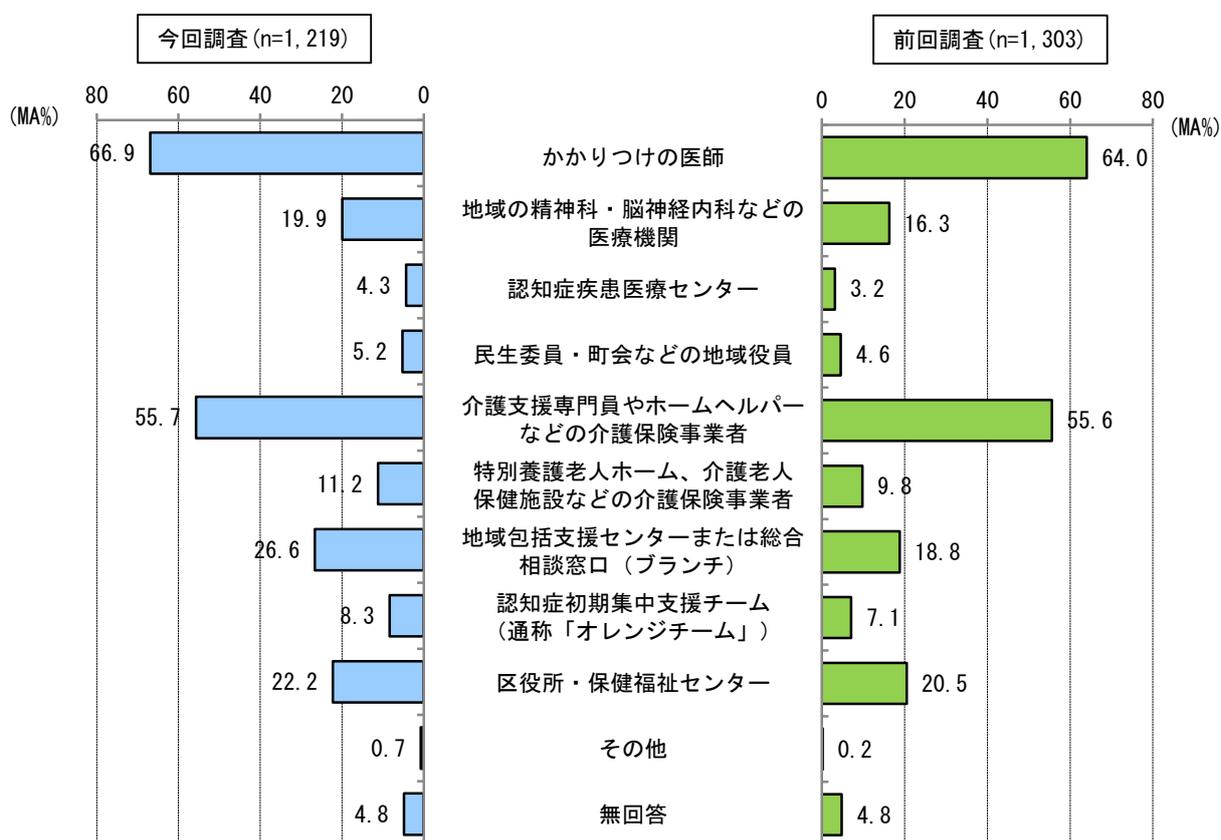
問31-2と問31-3は、問31-1で「1 はい」（認知症に関する相談窓口を知っている）と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。（〇はいくつでも）

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」の割合が66.9%で最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が55.7%、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が26.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」の割合が7.8ポイント増加し、また「かかりつけ医師」や「地域の精神科・脳神経内科などの医療機関」の医療機関の割合も増加している。（問31-2）

【問31-2 知っている認知症に関する相談窓口（経年比較）】



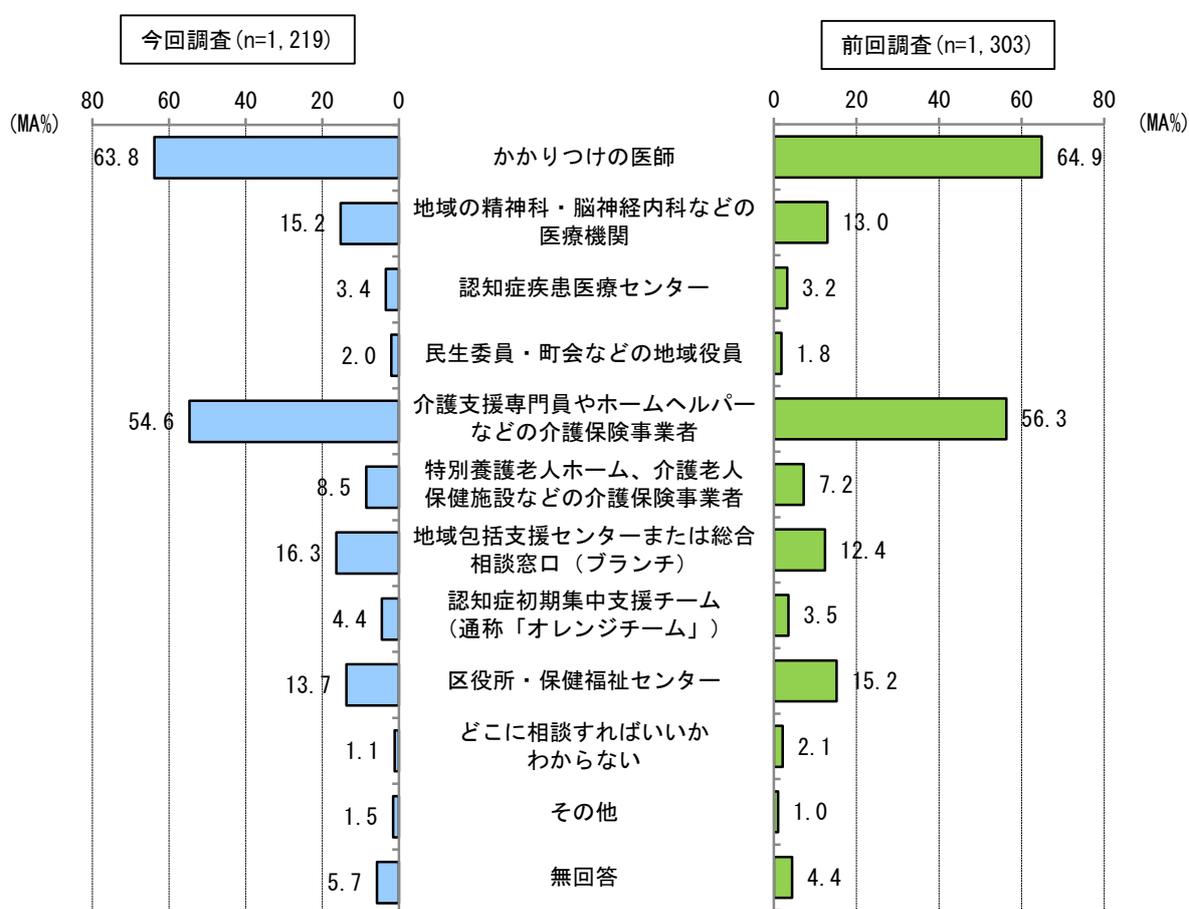
### 問31-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じるときは、どちらに相談されますか。(〇はいくつでも)

認知症の不安に対する相談先は、「かかりつけの医師」の割合が63.8%で最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が54.6%、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が16.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」の割合が3.9ポイント増加している。(問31-3)

【問31-3 認知症についての相談先（経年比較）】



(11) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

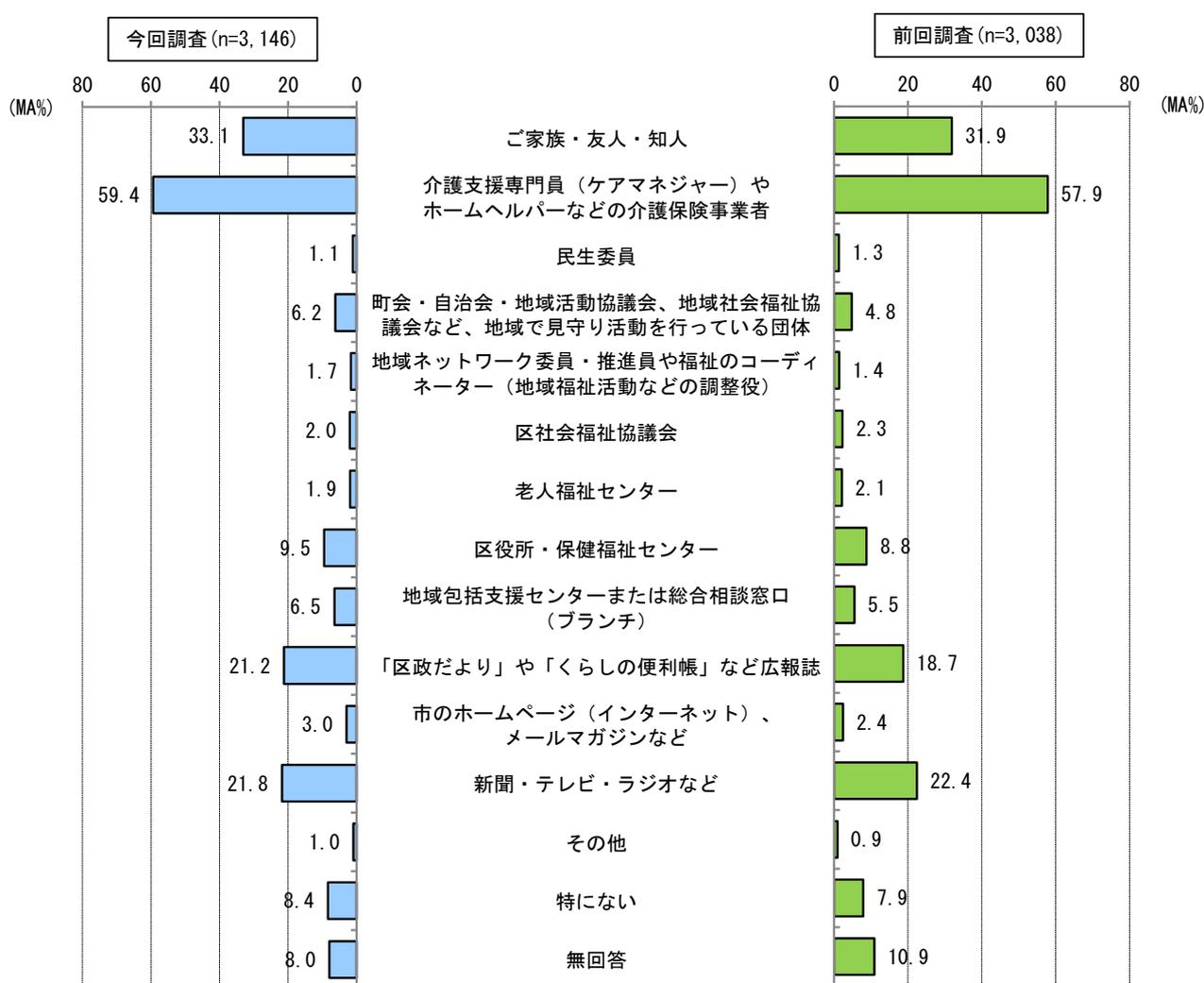
問32 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源は、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が59.4%で最も高く、次いで「ご家族・友人・知人」が33.1%、「新聞・テレビ・ラジオなど」が21.8%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問32）

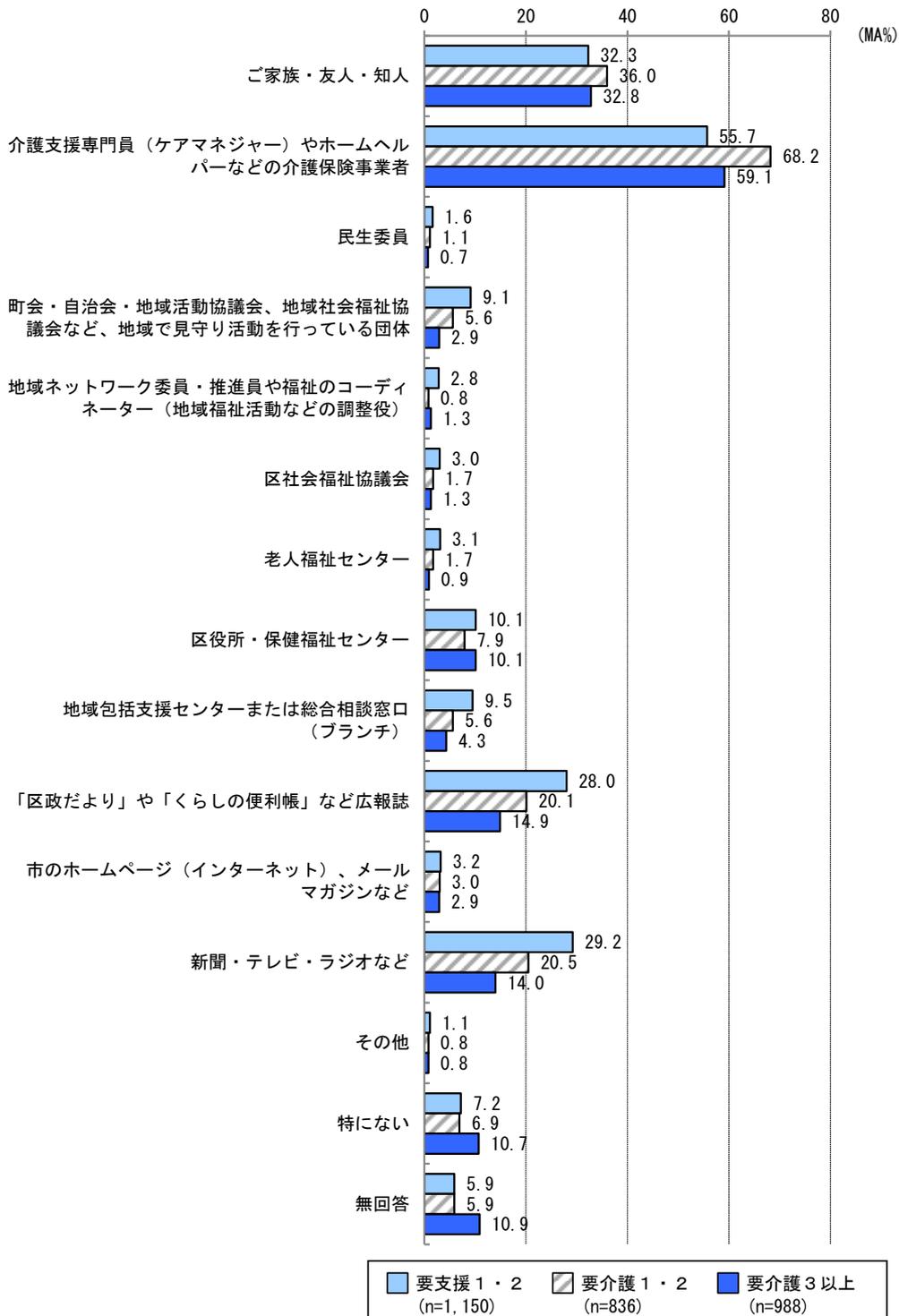
【問32 高齢者向けサービスの情報源（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が最も高くなっている。「民生委員」や「町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体」「区社会福祉協議会」「老人福祉センター」「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌、「市のホームページ（インターネット）、メールマガジンなど」、「新聞・テレビ・ラジオなど」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。（問32-a）

【問32-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】



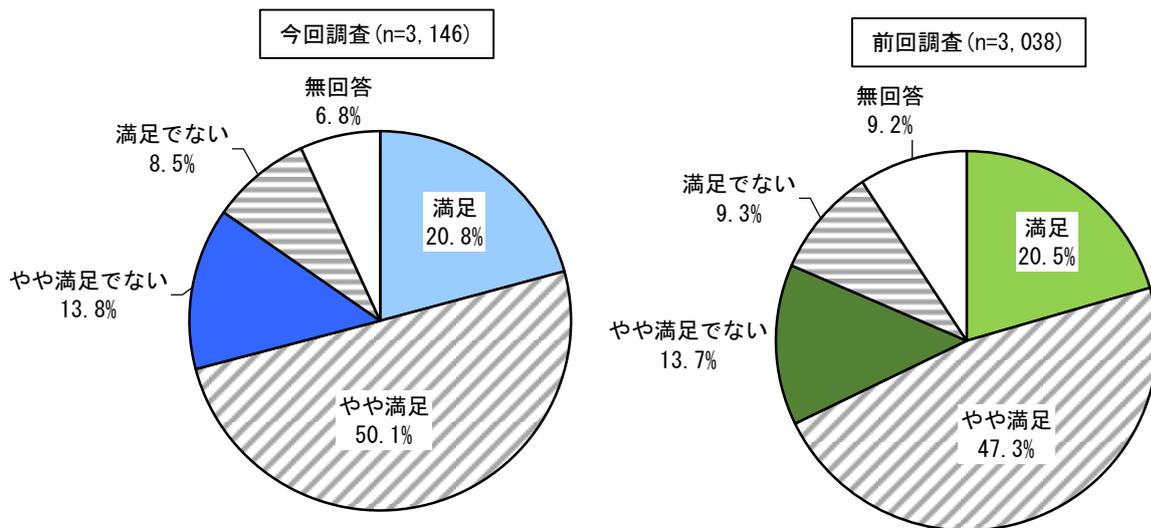
### 問33 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

現在の生活について、「やや満足」の割合が50.1%で最も高く、次いで「満足」が20.8%となっており、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」をあわせた割合）は70.9%となっている。

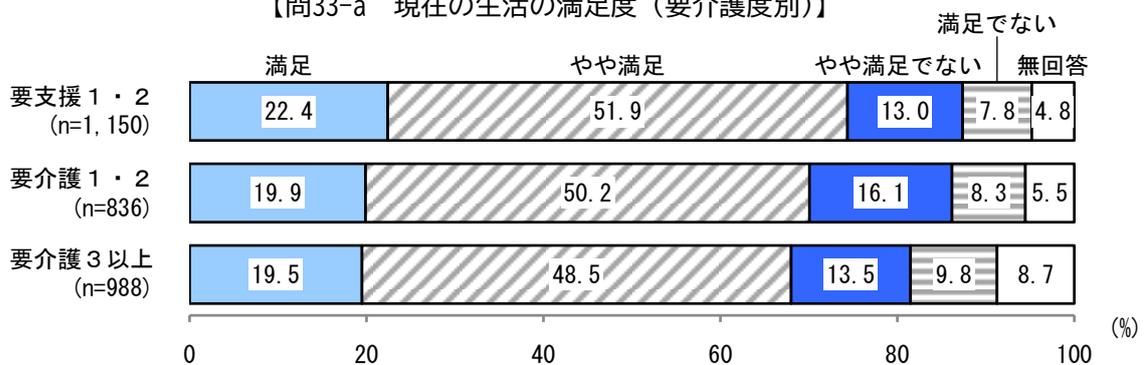
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問33)

【問33 現在の生活の満足度（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず『満足』の割合が7割前後で、そのうち要支援1・2が74.3%で最も高くなっている。『満足』の割合は、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問33-a)

【問33-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



## (12) 介護保険制度についての意見・要望等

### 問34 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述)

介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

297人から意見があり、延べ323件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《介護保険制度に関する意見》(77件)

- ・制度は有難い。感謝している。今のままで良い。
- ・制度の仕組みや利用方法がわかりにくい。もっと説明・周知してほしい。
- ・制度の継続・サービス内容・相談体制の充実を図ってほしい。

##### 《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(75件)

- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満である。サービスの充実を図ってほしい。
- ・施設・サービスを利用できて助かっている、満足である。

##### 《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(59件)

- ・介護保険料や利用料が高い。収入(年金)が少なく、希望するサービスが利用できない。
- ・利用料金について納得がいかない。よくわからない。

##### 《訪問介護(ヘルパー)、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(44件)

- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・感謝している、安心できる。
- ・待遇改善、人材確保してほしい。

##### 《自身の現状についての意見》(30件)

- ・自分・家族の現状や将来に不安がある、心配がある。
- ・できる限り自力で生活したい。現状に満足している。

##### 《要介護認定に関する意見》(19件)

- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。
- ・要介護認定は平等に判断してほしい。個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい。
- ・判定に時間がかかりすぎる。

##### 《その他の意見》(19件)

- ・精神科医の往診してくれないところが多い
- ・周りの人と話が合わない



# 介護保険サービス未利用者調査 編



### 3 介護保険サービス未利用者調査結果

#### (1) 調査回答者の基本属性

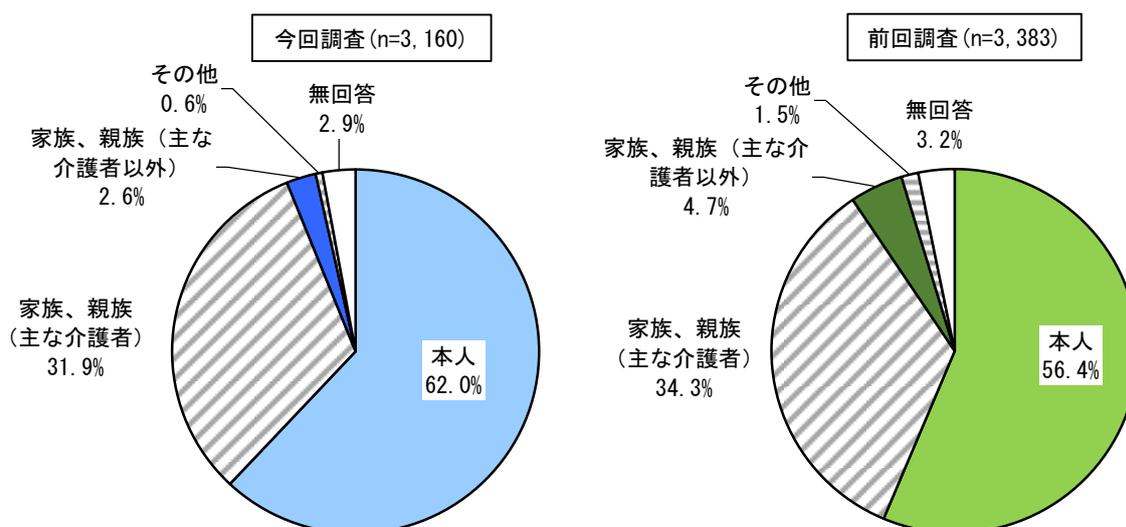
##### 問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(○はひとつ)

記入者は、「本人」が62.0%で最も高く、次いで「家族、親族（主な介護者）」が31.9%、「家族、親族（主な介護者以外）」が2.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「本人」の割合が5.6ポイント増加している。(問1)

【問1 記入者（経年比較）】



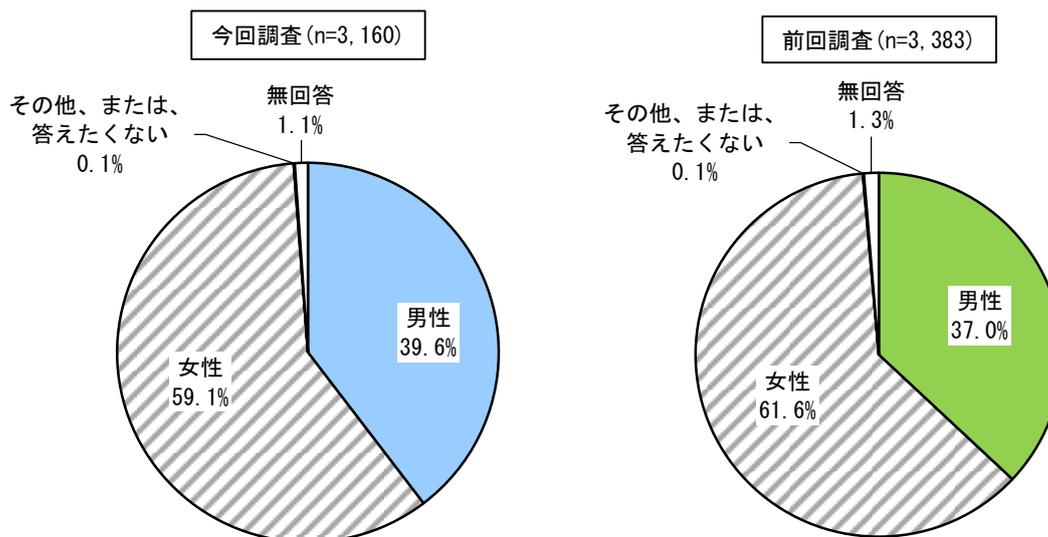
## 問2(1) 本人の性別

あなた（あて名ご本人：以降の質問も同じ）の性別、年齢、居住区についておうかがいします。（それぞれ○はひとつ）

本人の性別では、「男性」が39.6%、「女性」が59.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問2(1)）

【問2(1) 本人の性別（経年比較）】

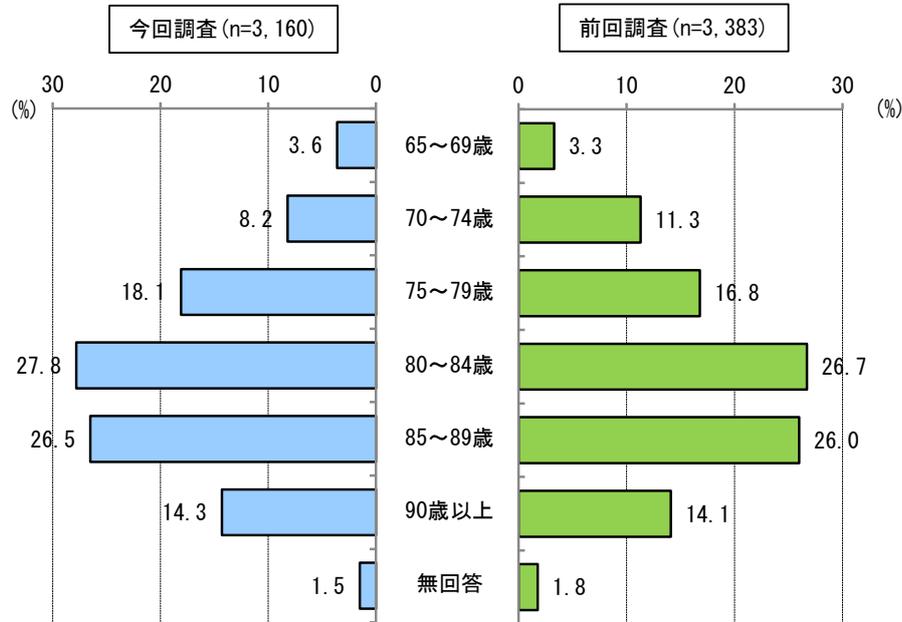


問2(2) 本人の年齢

本人の年齢は、「80～84歳」の割合が27.8%で最も高く、次いで「85～89歳」が26.5%、「75～79歳」が18.1%、「90歳以上」が14.3%となっている。

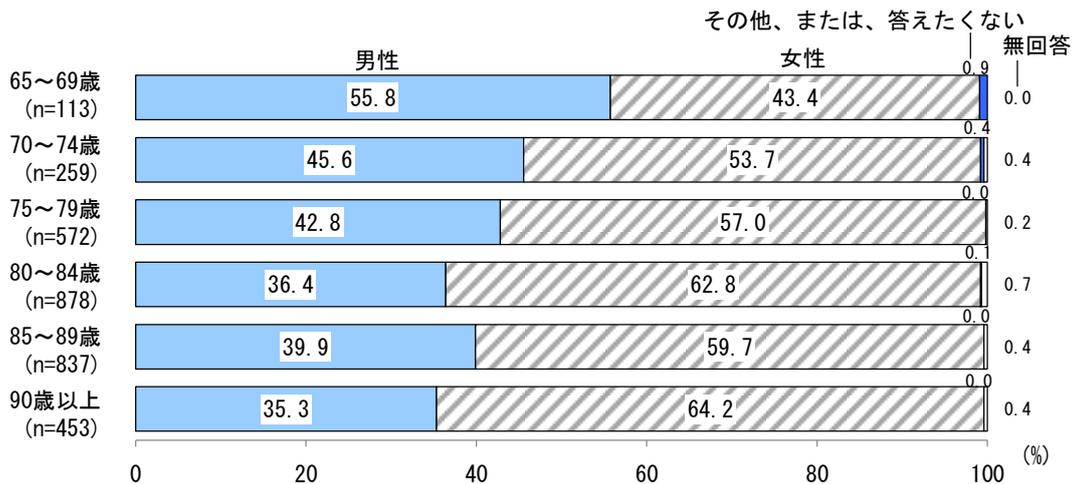
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問2(2))

【問2(2) 本人の年齢 (経年比較)】

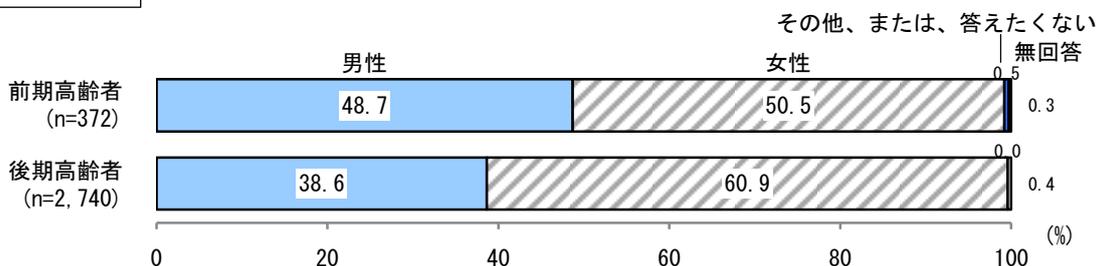


本人の性別と年齢との関係では、65～69歳の回答者は「男性」の割合の方が高く、70歳以上の各年代の回答者は「女性」の方が高くなっている。(問2(2)-a)

【問2(2)-a 本人の性別 (本人の年齢別)】



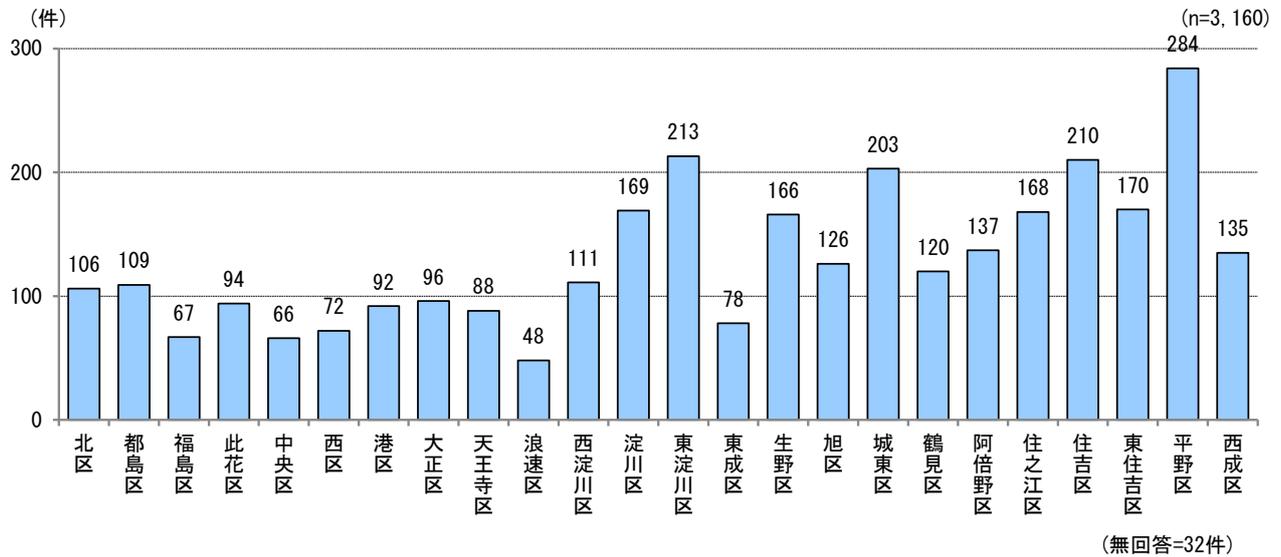
\* 前期・後期別



## 問2(3) 本人の居住区

本人の居住区では、「平野区」が284件で最も多く、次いで「東淀川区」が213件、「住吉区」が210件、「城東区」が203件となっている。(問2(3))

【問2(3) 本人の居住区】



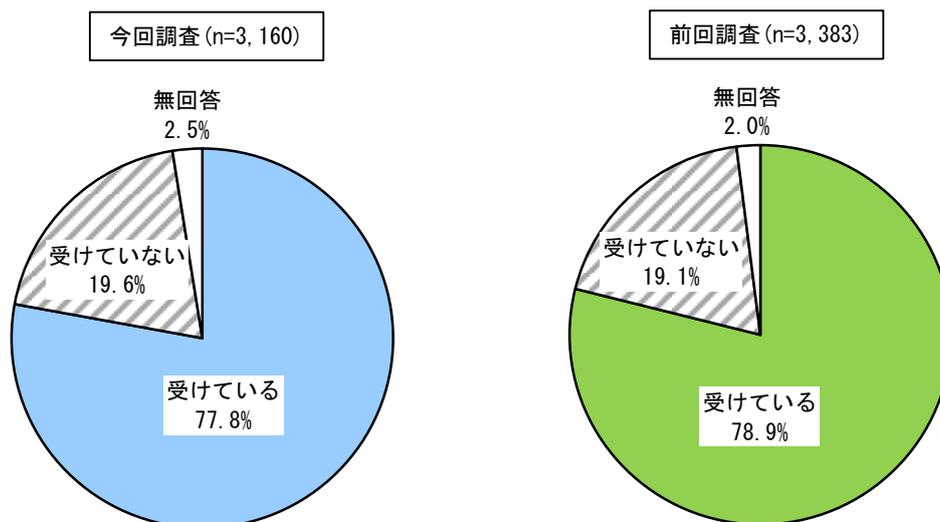
### 問3 要介護認定の有無

あなたは要介護（要支援）認定を受けていますか。（○はひとつ）

要介護認定を「受けている」割合は77.8%に対し、「受けていない」が19.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問3）

#### 【問3 要介護認定の有無（経年比較）】



### 問3-1 要介護度

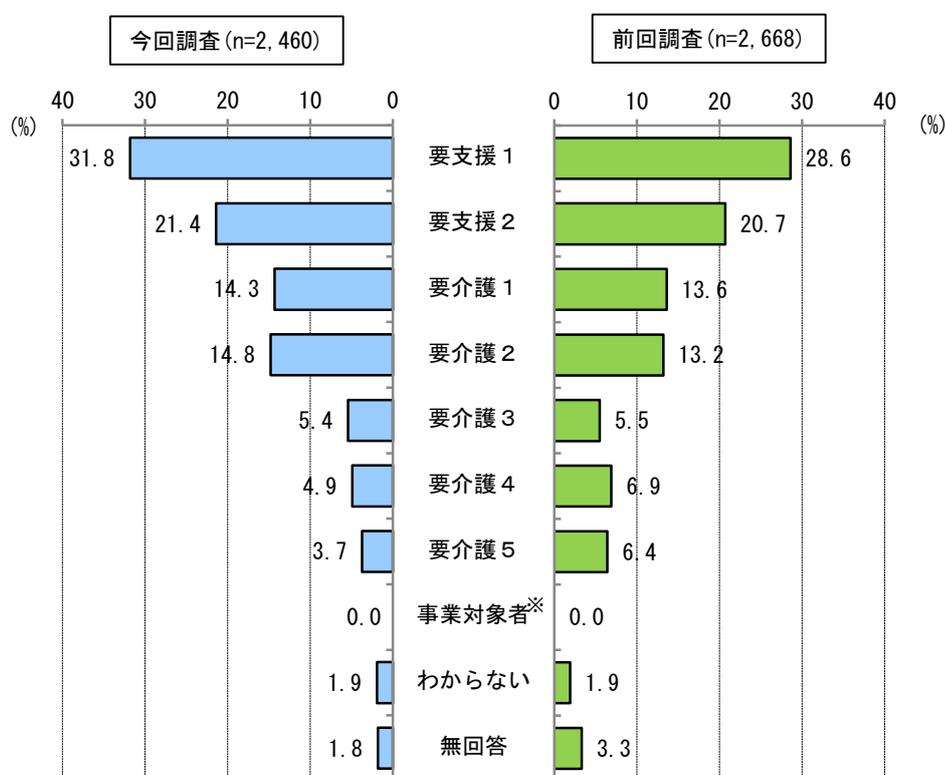
問3で「1 受けている」(要介護(要支援)認定を受けている)と回答された方におうかがいします。

要介護度に○をつけてください。(○はひとつ)

要介護認定を受けていると回答した人に、要介護度をたずねると、「要支援1」の割合が31.8%で最も高く、次いで「要支援2」が21.4%、「要介護2」が14.8%、「要介護1」が14.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、要介護1と要介護2の順位に変化があるものの、要支援1から要介護2は微増、要介護3以上は微減となっている。(問3-1)

【問3-1 要介護度 (経年比較)】



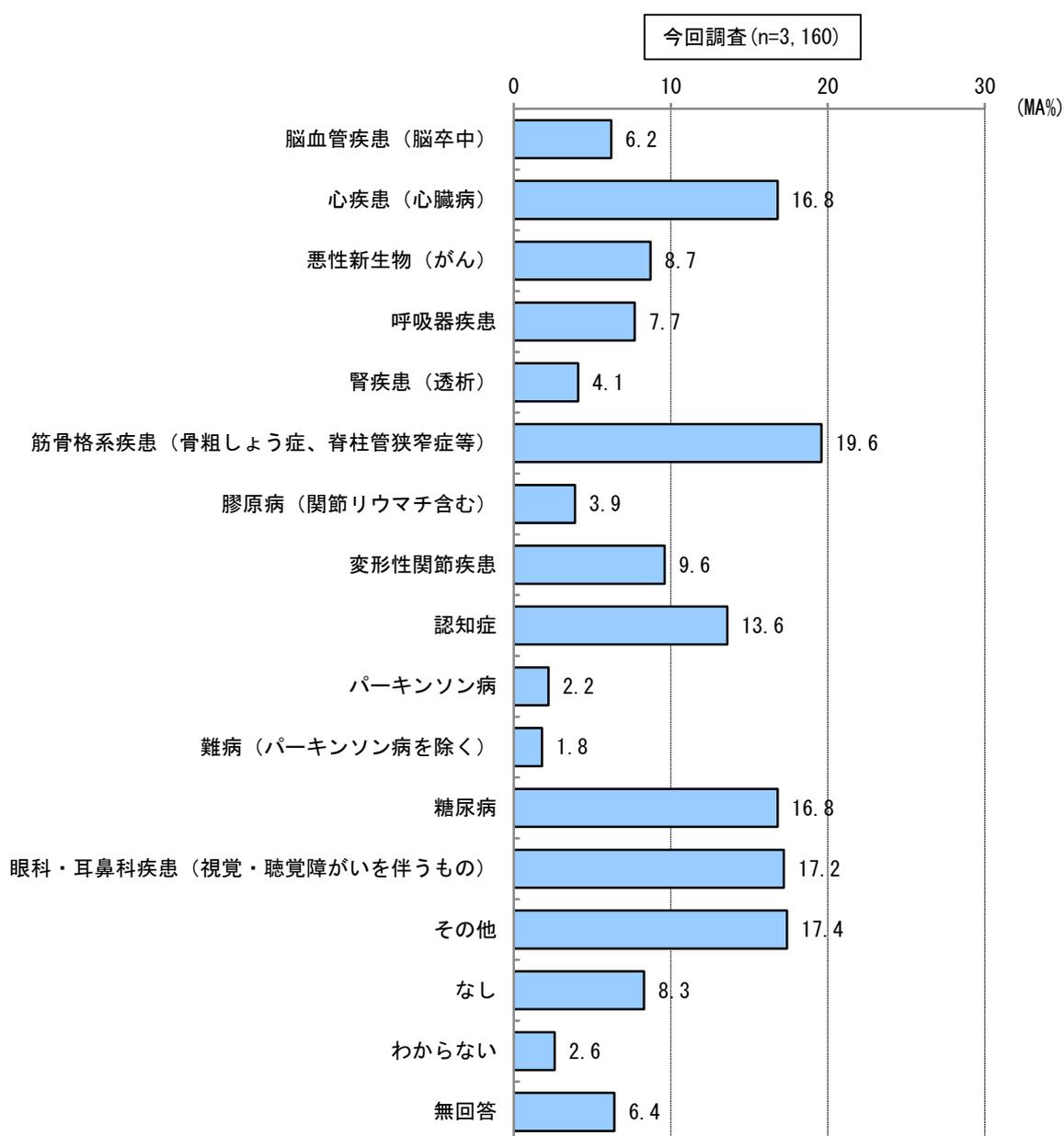
※「事業対象者」とは、地域包括支援センターまたは各区役所保健福祉課で基本チェックリストを実施し、市が実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」の対象となった方をいう。

## 問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が19.6%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が17.2%、「心疾患（心臓病）」と「糖尿病」がそれぞれ16.8%となっている。（問4）

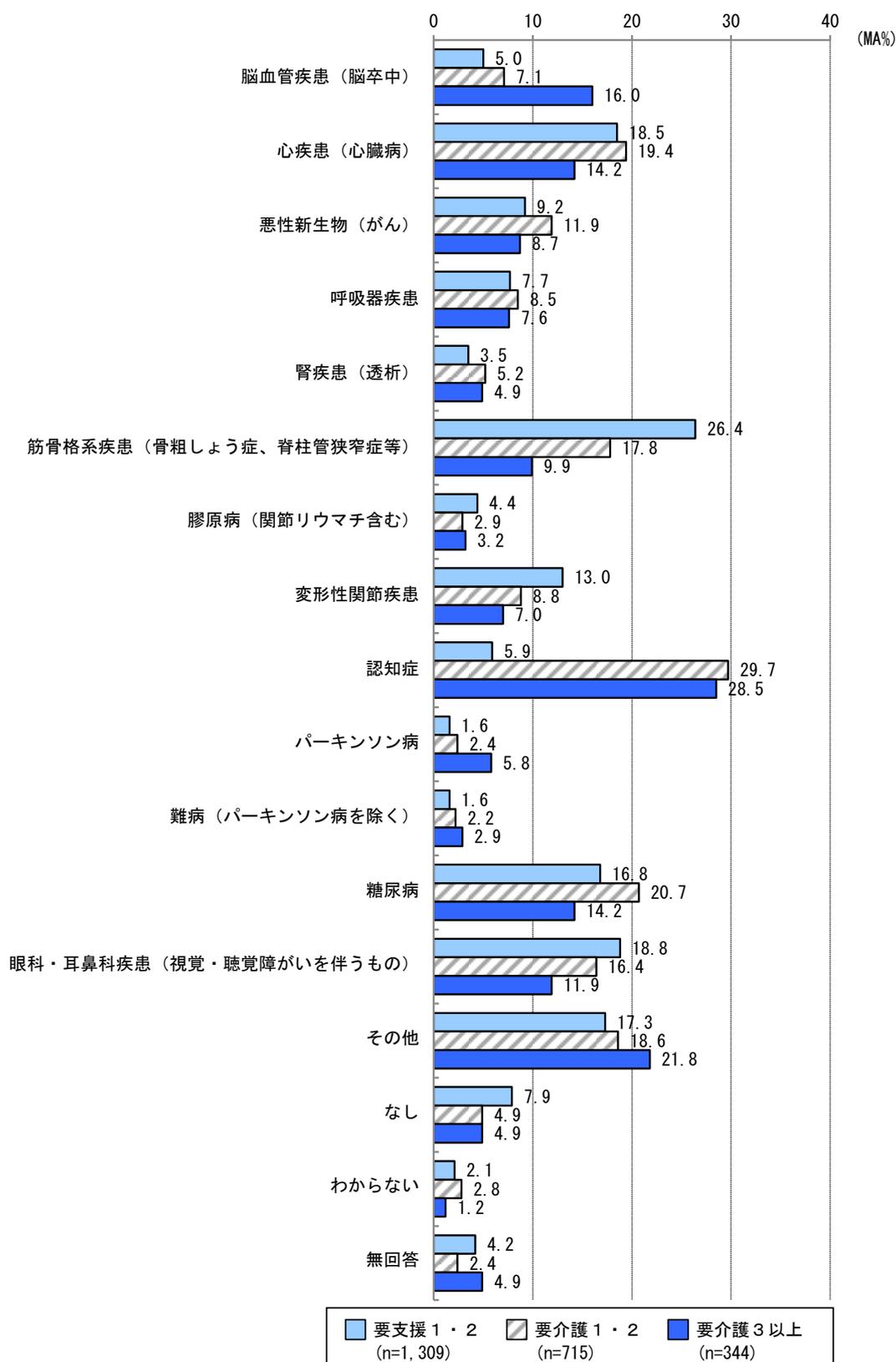
【問4 傷病状況】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が最も高く、要介護1以上は「認知症」が最も高くなっている。（問4-a）

【問4-a 傷病状況（要介護度別）】



## (2) 世帯の状況、介護の状況

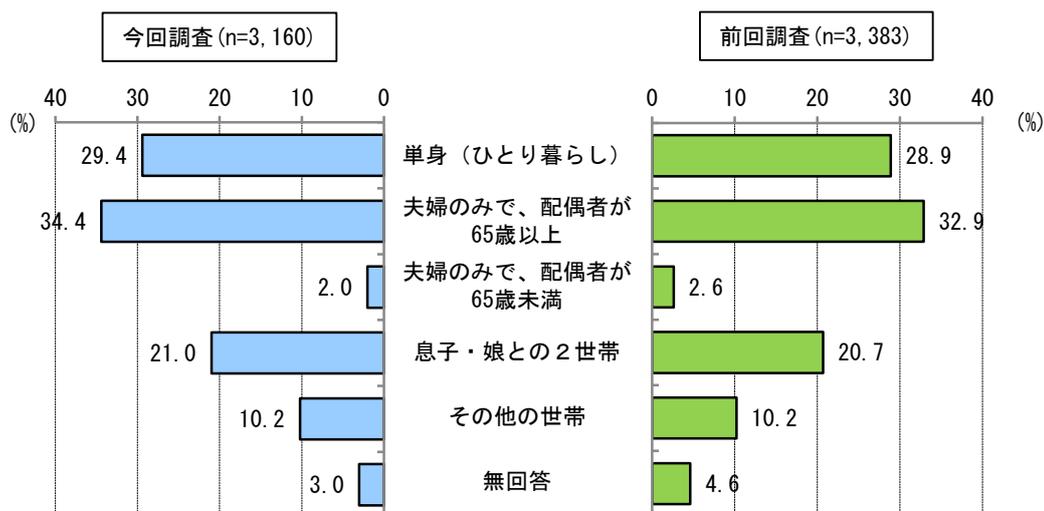
### 問5 世帯状況

あなたと同居されているご家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

世帯状況は、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が34.4%で最も高く、次いで「単身（ひとり暮らし）」が29.4%、「息子・娘との2世帯」が21.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問5)

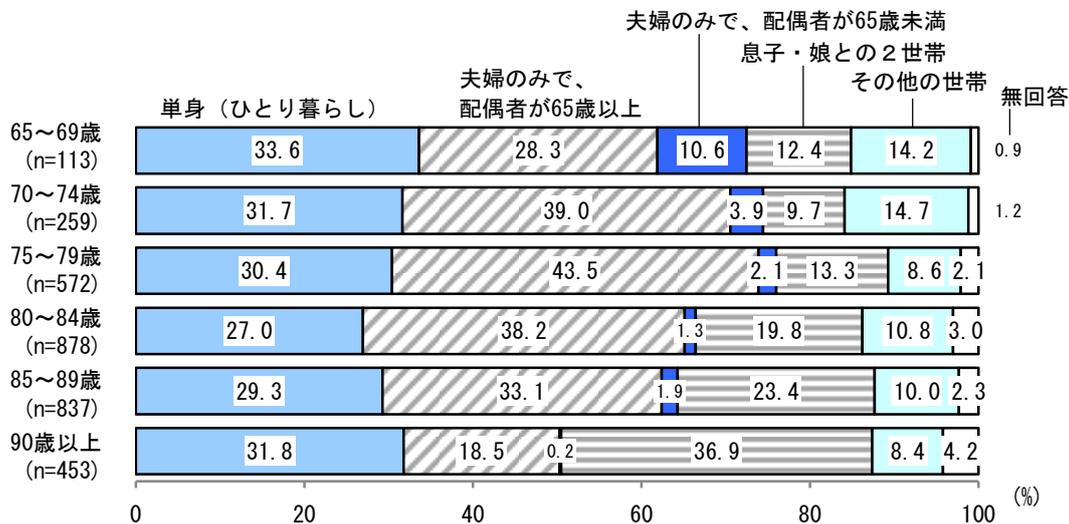
【問5 世帯状況（経年比較）】



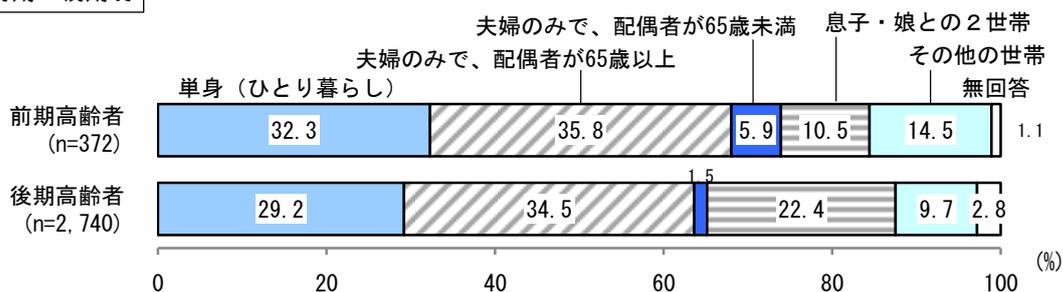
【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別では、65～69歳は「単身（ひとり暮らし）」の割合が33.6%で最も高く、70～89歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も高い。90歳以上は「息子・娘との2世帯」の割合が36.9%と他の年代に比べ高くなっている。（問5-a）

【問5-a 世帯状況（本人の年齢別）】



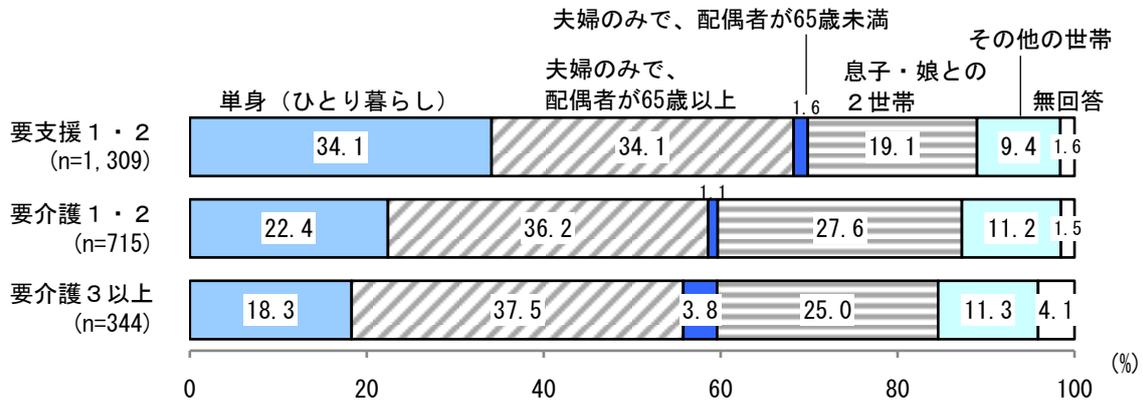
\* 前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

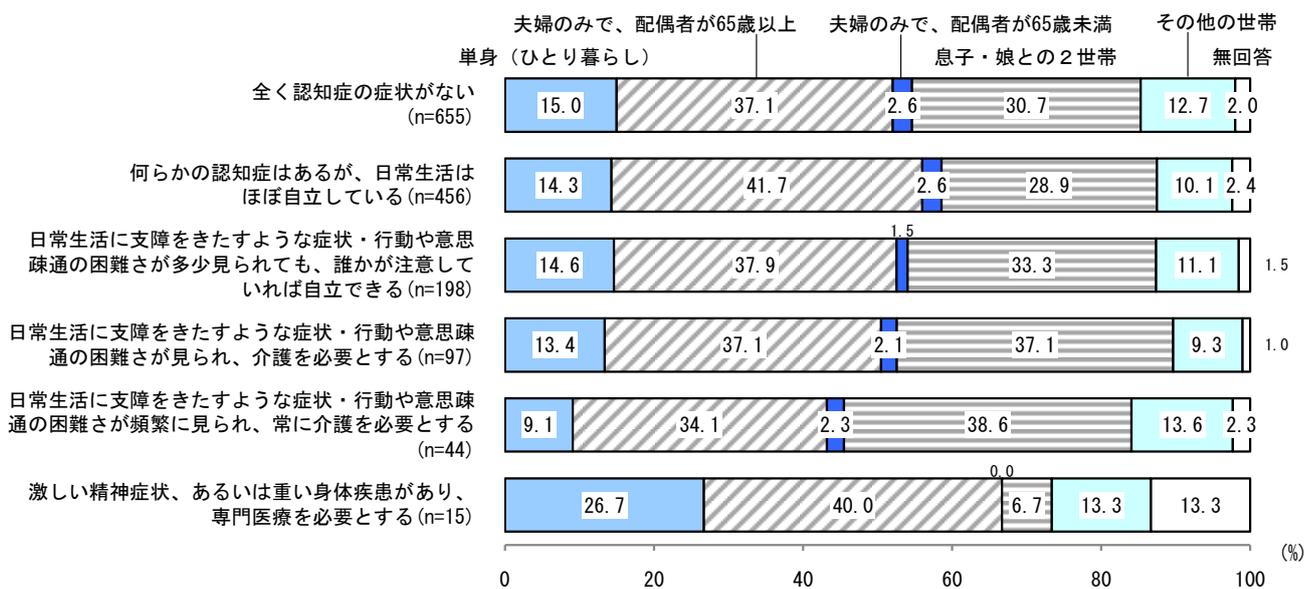
要介護度別では、要支援1・2は「単身（ひとり暮らし）」と「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合がともに34.1%で最も高くなっている。要介護1以上は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が最も高く、「単身（ひとり暮らし）」の割合は、要介護度が軽度なほど高くなっている。（問5-b）

【問5-b 世帯状況（要介護度別）】



本人の認知症の程度別では、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする高齢者は、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」と「息子・娘との2世帯」の割合がともに37.1%で最も高い。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする高齢者は、「息子・娘との2世帯」の割合が38.6%で最も高くなっている。それ以外の症状の高齢者は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が最も高くなっている。（問5-c）

【問5-c 世帯状況（本人の認知症の程度別）】



## 問6 介護者の有無

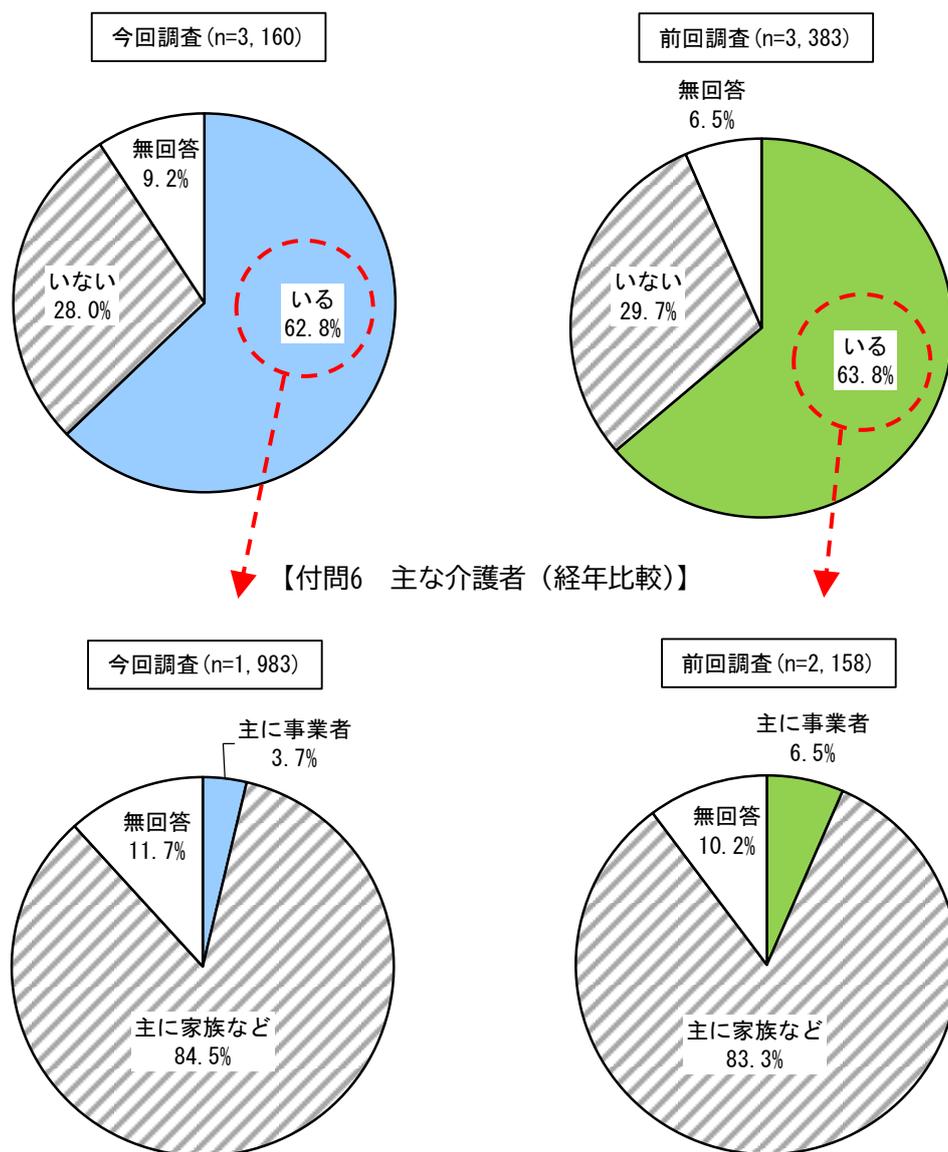
あなたの介護をする方はいますか。(○はひとつ)

介護者が「いる」は62.8%に対し、「いない」が28.0%となっている。(問6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が3.7%、「主に家族など」が84.5%となっている。(付問6)

介護者の有無及び主な介護者とも、前回調査の結果から大きな変化はみられない。

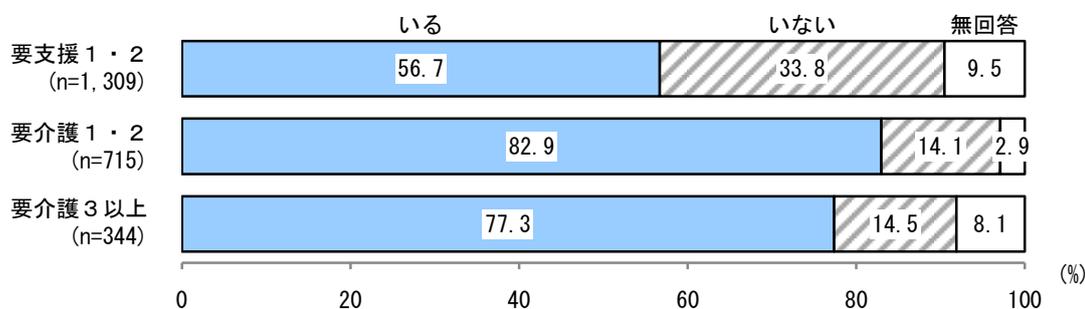
【問6 介護者の有無（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

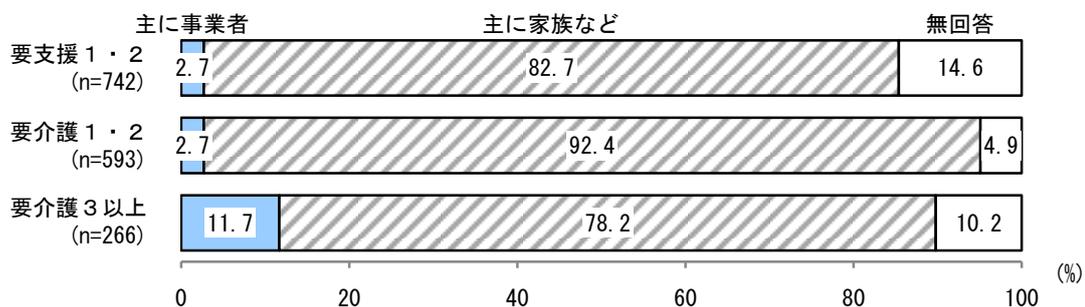
要介護度別では、介護者が「いる」の割合は要介護1・2が82.9%で最も高く、次いで要介護3以上が77.3%となっている。(問6-a)

【問6-a 介護者の有無（要介護度別）】



要介護度別の主な介護者では、「主に事業者」は要介護3以上が11.7%で最も高くなっている。(付問6-a)

【付問6-a 主な介護者（要介護度別）】



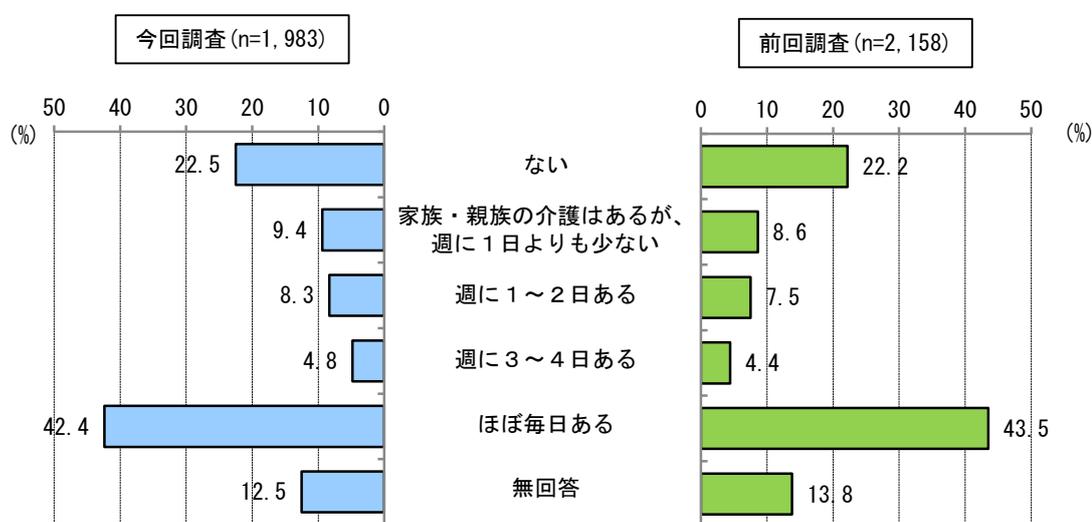
### 問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」と回答された方におうかがいします。  
 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (〇はひとつ)

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」の割合が42.4%で最も高く、次いで「ない」が22.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が9.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問6-1)

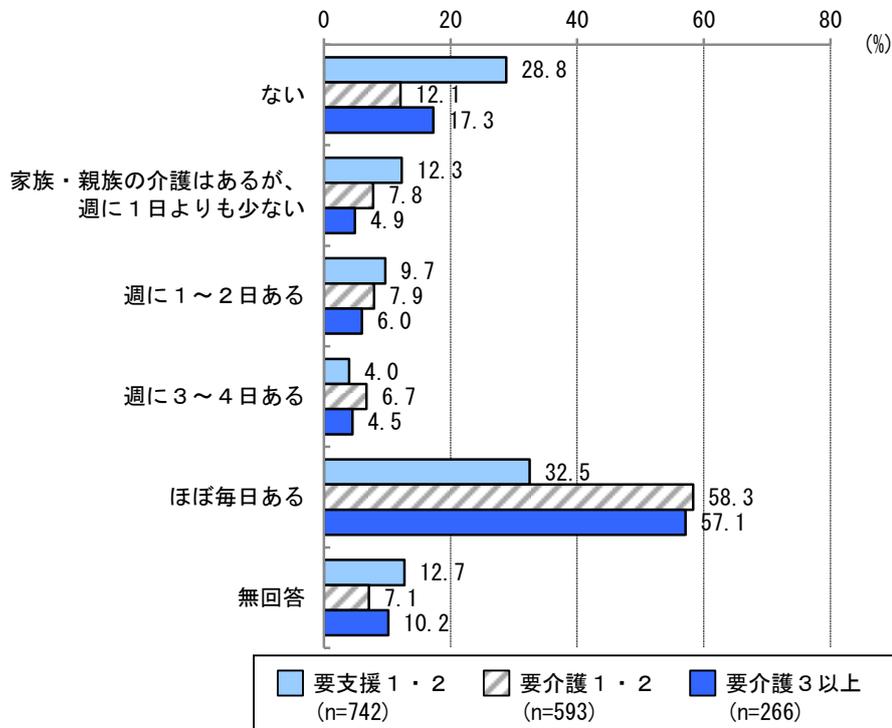
【問6-1 家族や親族からの介護日数 (経年比較)】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、「ほぼ毎日ある」の割合は要介護1・2が58.3%で最も高く、次いで要介護3以上が57.1%となっている。(問6-1-a)

【問6-1-a 家族や親族からの介護日数（要介護度別）】

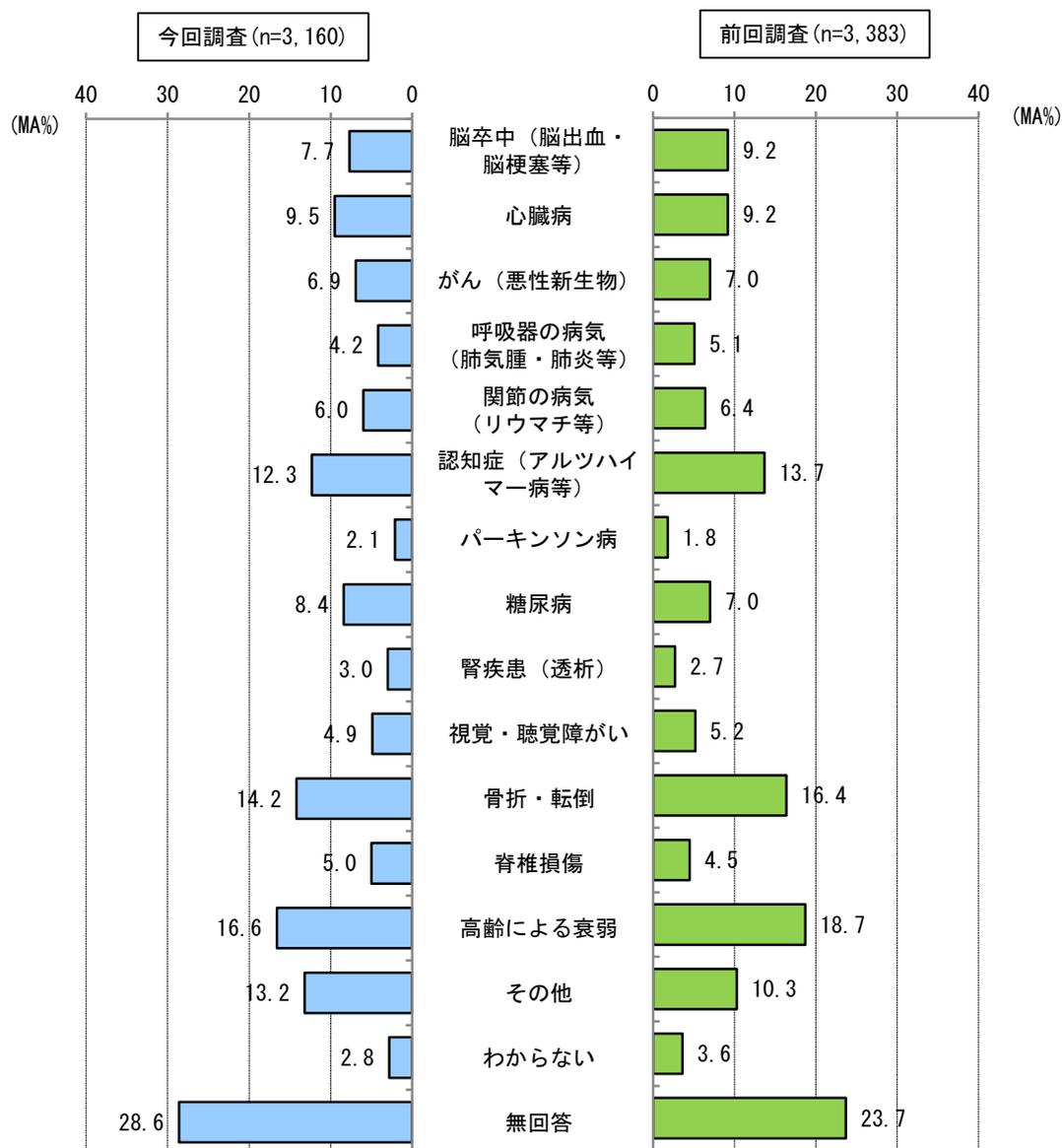


## 問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」の割合が16.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が14.2%、「認知症（アルツハイマー病等）」が12.3%となっている。  
 前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問7)

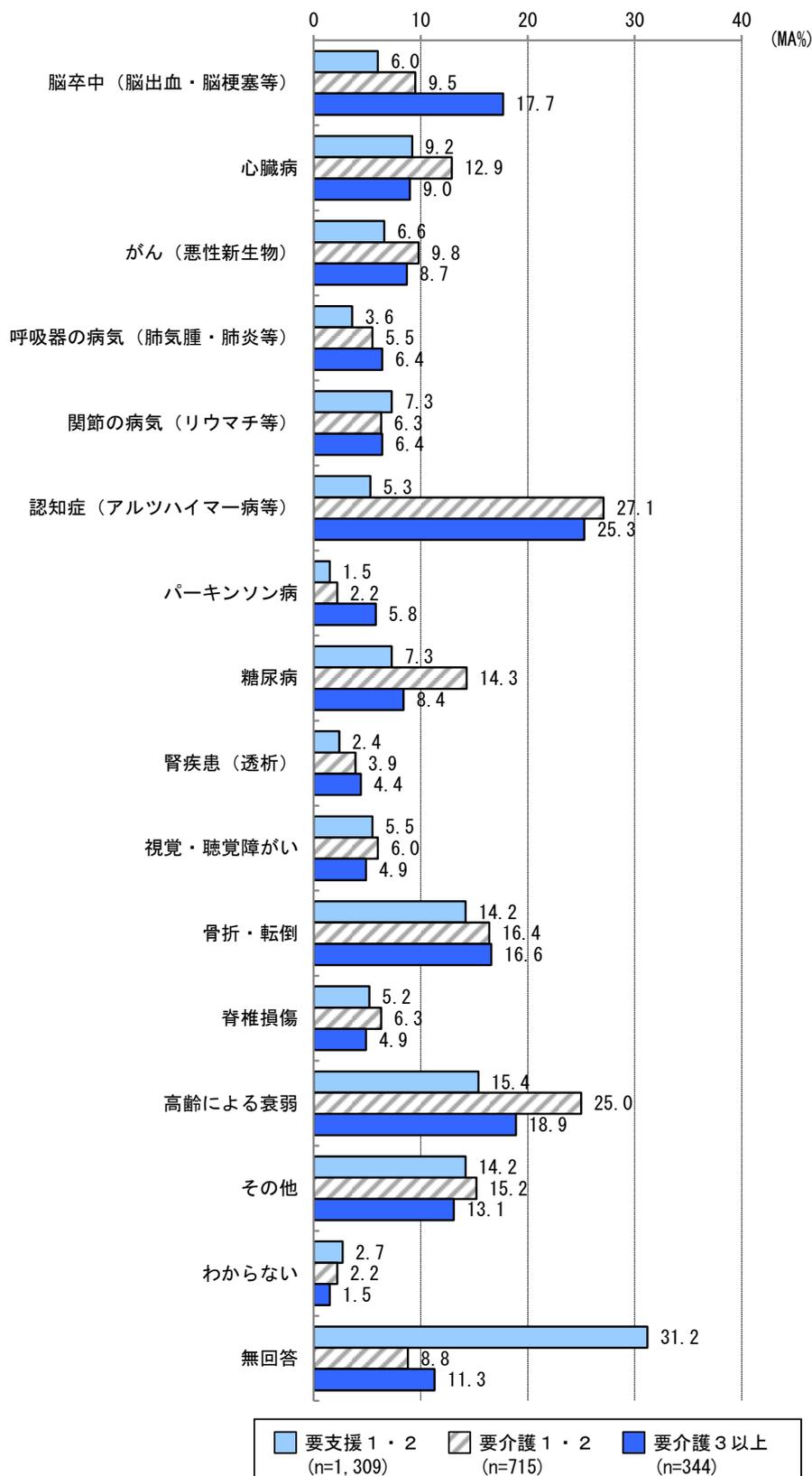
【問7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「高齢による衰弱」の割合が最も高い。要介護1以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高く、次いで「高齢による衰弱」となっている。（問7-a）

【問7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】

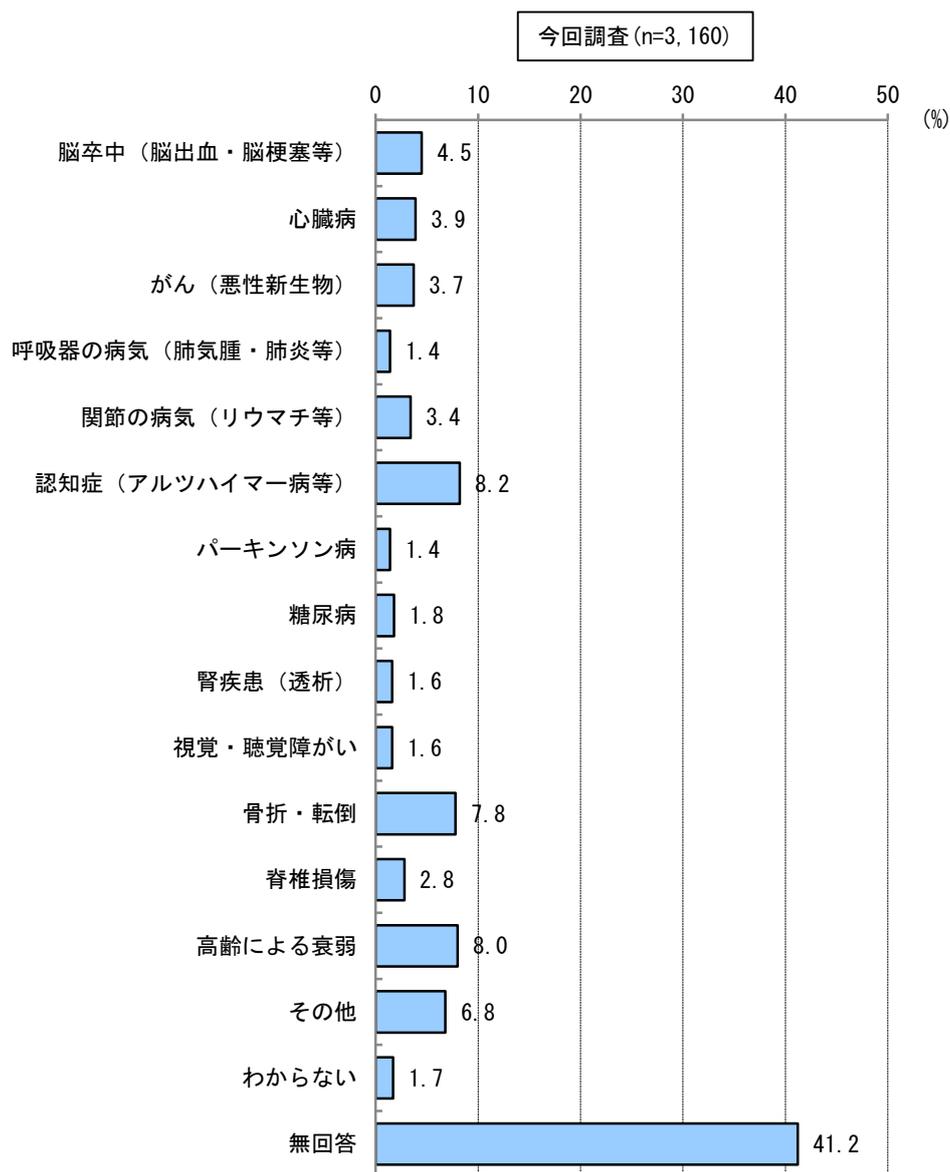


### 問7-1 介護・介助が必要になった主な原因

問7で○をつけた原因の中で、主な原因である番号を1つ記入してください。

介護・介助が必要になった主な原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が8.2%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が8.0%、「骨折・転倒」が7.8%となっている。（問7-1）

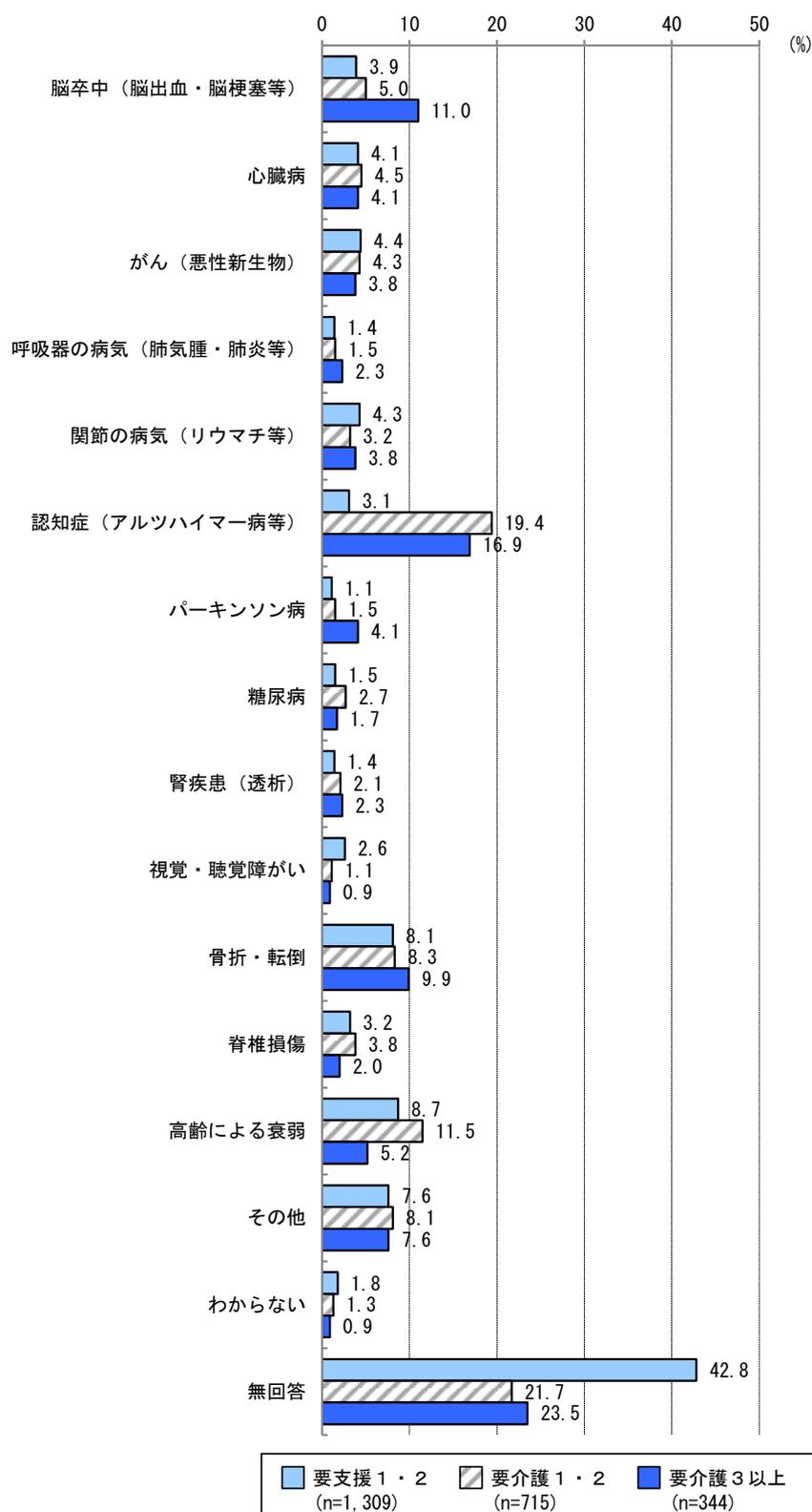
【問7-1 介護・介助が必要になった主な原因】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「高齢による衰弱」の割合が最も高く、次いで「骨折・転倒」となっている。要介護1以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高く、次いで要介護1・2は「高齢による衰弱」、要介護3以上では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」となっている。（問7-1-a）

【問7-1-a 介護・介助が必要になった主な原因（要介護度別）】



### (3) 要介護認定

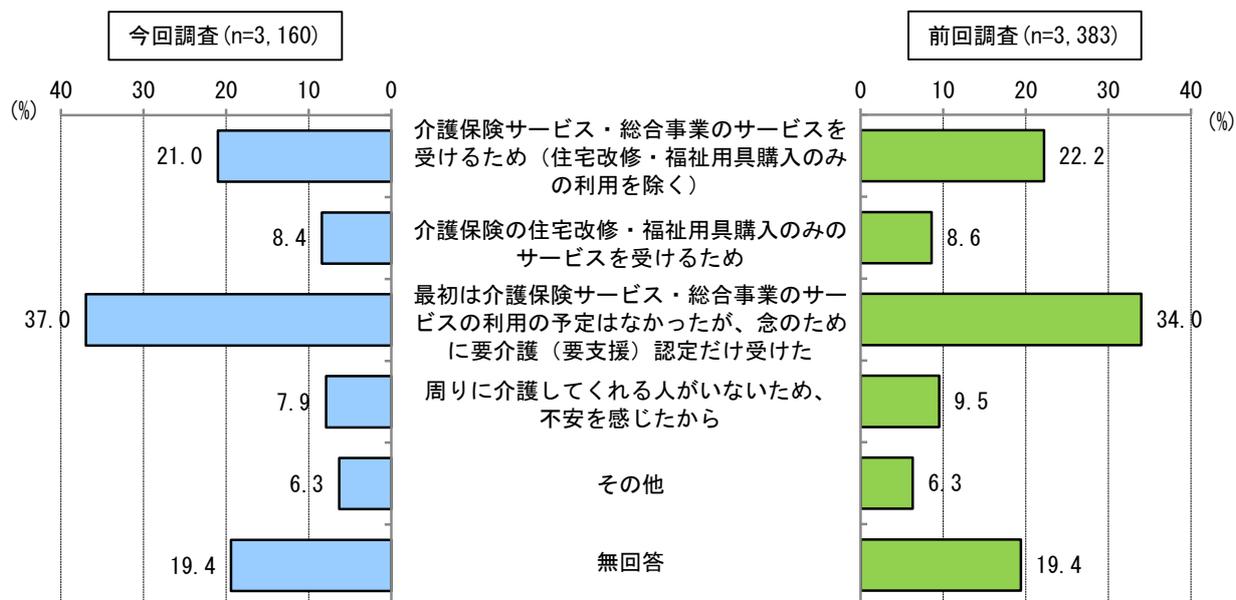
#### 問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(○はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的は、「最初は介護保険サービス・総合事業のサービスの利用の予定はなかったが、念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」の割合が37.0%で最も高く、次いで「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」が21.0%、「介護保険の住宅改修・福祉用具購入のみのサービスを受けるため」が8.4%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「介護保険の住宅改修・福祉用具購入のみのサービスを受けるため」と「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」の順位が入れ替わっている。(問8)

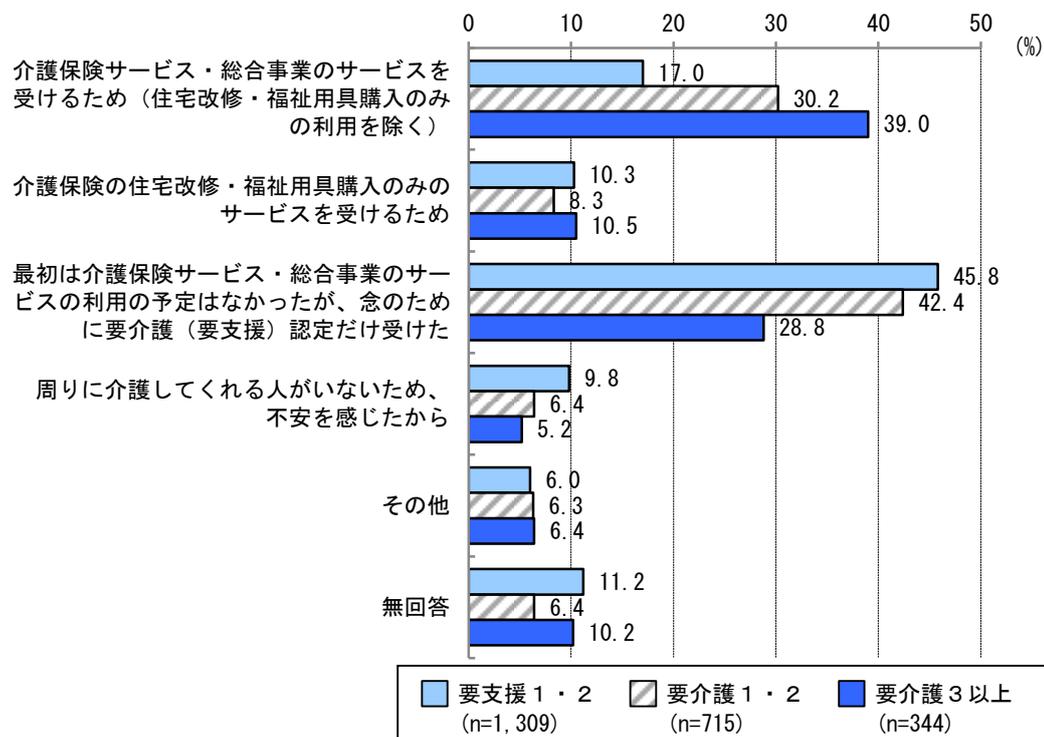
【問8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「最初は介護保険サービス・総合事業のサービスの利用の予定はなかったが、念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」の割合が最も高くなっている。「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」の割合は要介護3以上で高く、重度になるほど割合が増加している。（問8-a）

【問8-a 初めて要介護認定を受けた時の目的（要介護度別）】



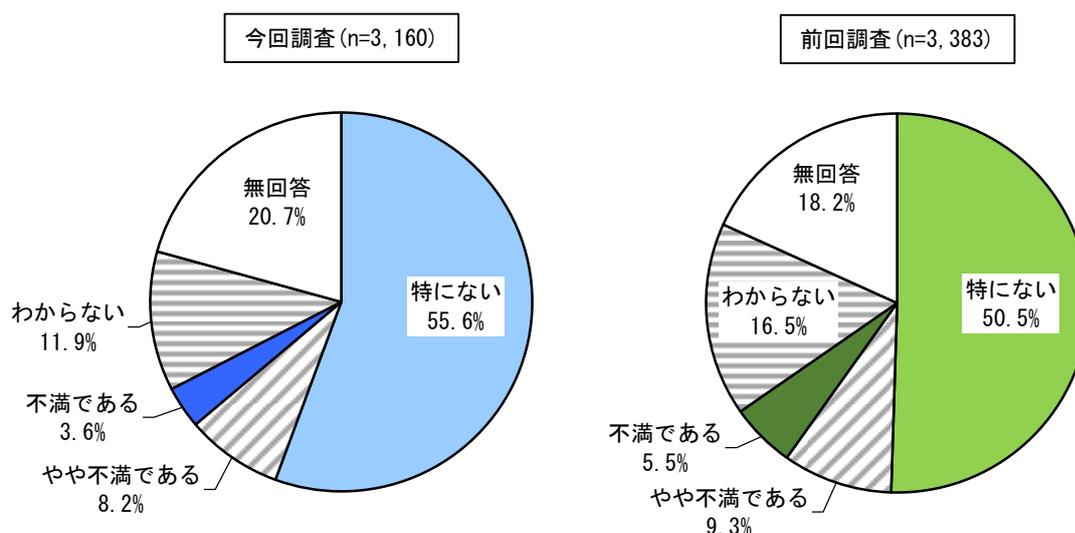
### 問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定での不満は、「特にない」の割合が55.6%で最も高く、次いで「やや不満である」が8.2%、「不満である」が3.6%となっている。

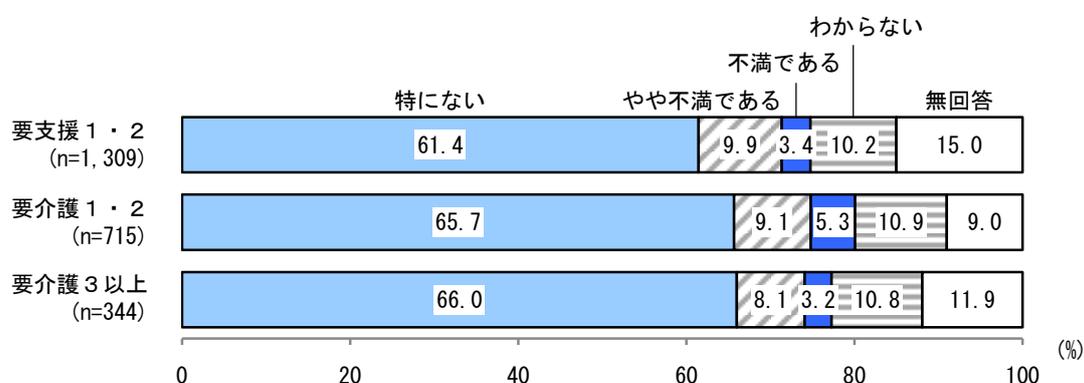
前回調査の結果に比べ、「特にない」の割合が5.1ポイント増加し、「不満である」「やや不満である」を合わせた割合は3.0ポイント減少している。(問9)

【問9 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「特にない」の割合が6割を超えている。「やや不満である」の割合は要支援1・2が9.9%で最も高くなっている。(問9-a)

【問9-a 直近の要介護認定で不満の有無（要介護度別）】



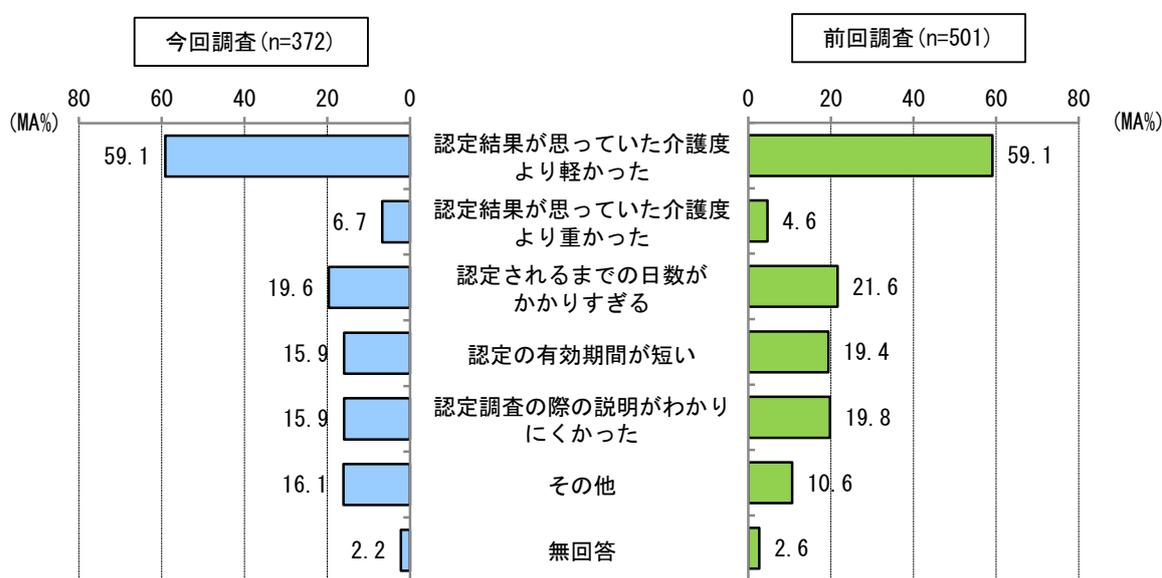
### 問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」、「3 不満である」と回答された方におうかがいします。その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合が59.1%で最も高く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が19.6%、「認定の有効期間が短い」と「認定調査の際の説明がわかりにくかった」がそれぞれ15.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」の割合が3.9ポイント、「認定の有効期間が短い」が3.5ポイント、それぞれ減少している。(問9-1)

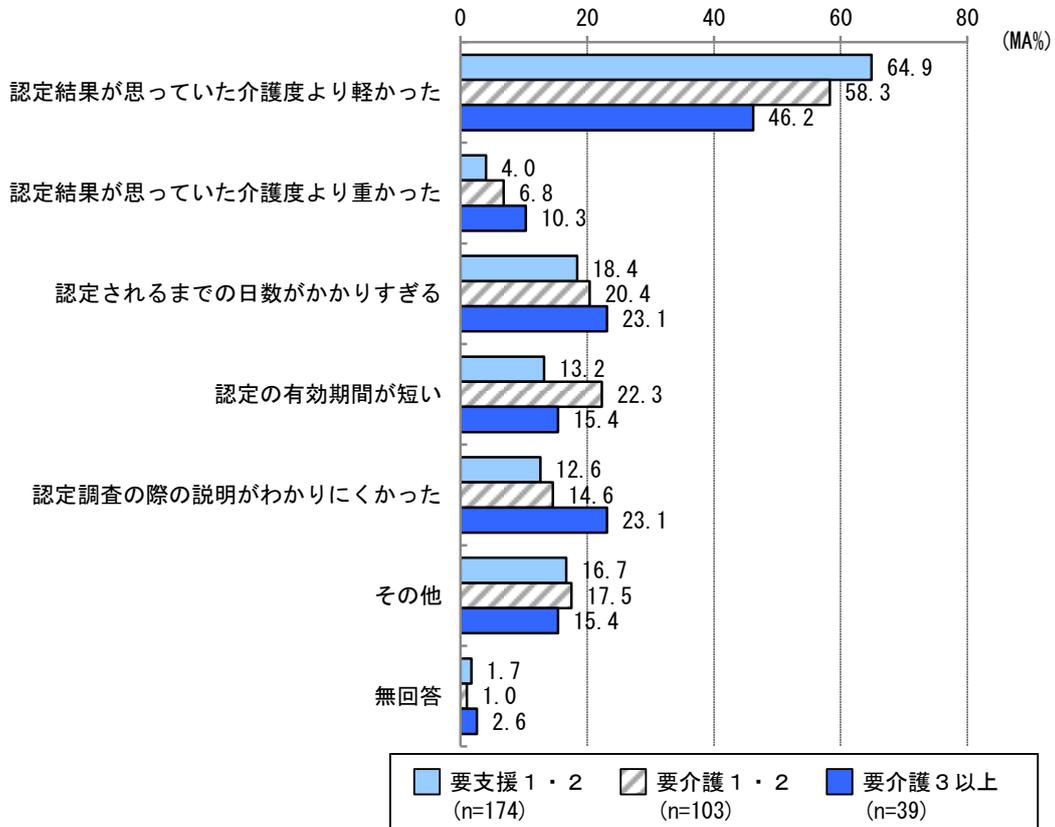
【問9-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合が最も高く、要介護度が重度になるほどその割合は低くなっている。（問9-1-a）

【問9-1-a 要介護認定に不満がある理由（要介護度別）】



(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

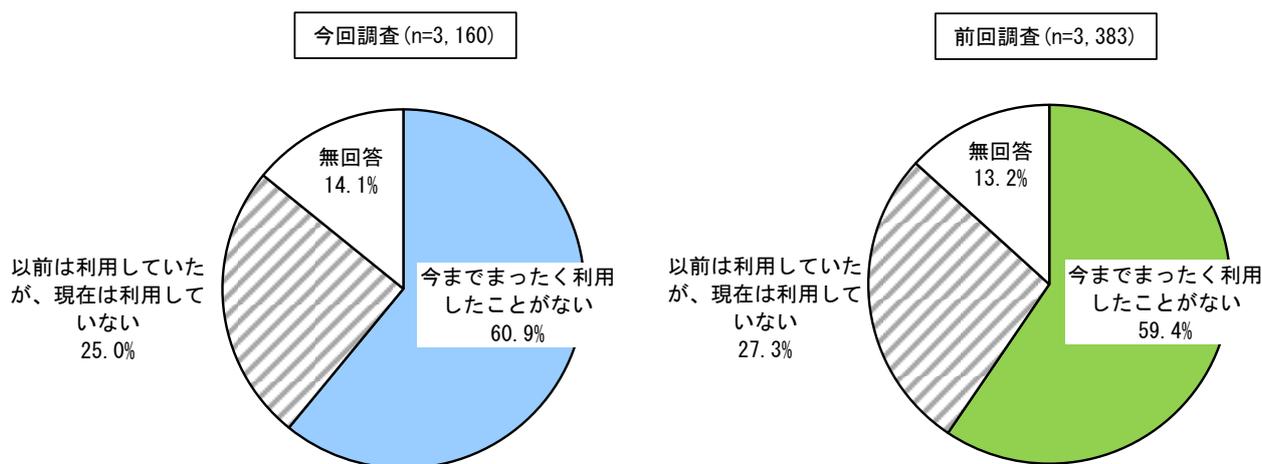
問10 介護保険サービスの利用状況

あなたの介護保険サービスの利用状況について、おうかがいします。(○はひとつ)

介護サービスの利用状況は、「今までまったく利用したことがない」が60.9%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が25.0%となっている。

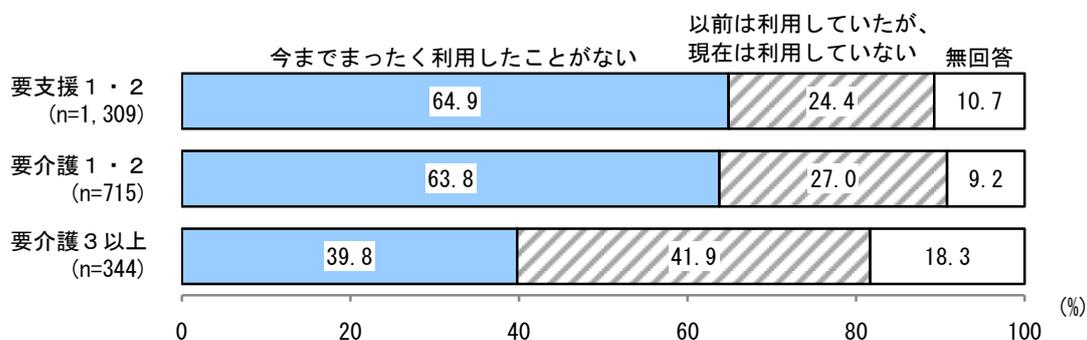
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問10)

【問10 介護保険サービスの利用状況（経年比較）】



要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「今までまったく利用したことがない」の割合が6割を超えている。要介護3以上は「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合の方が高くなっている。(問10-a)

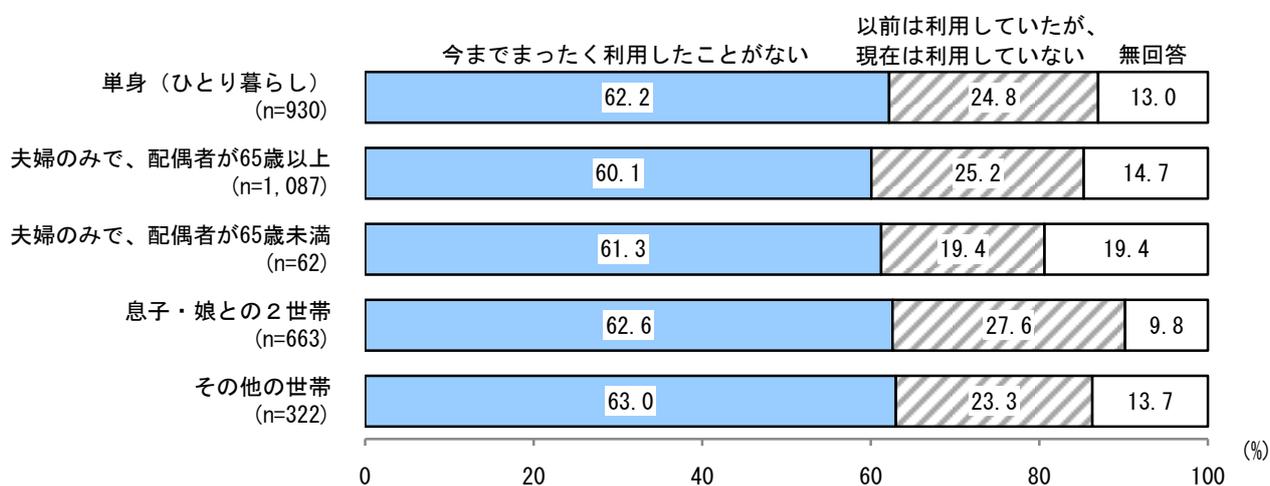
【問10-a 介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別では、いずれの世帯も「今までまったく利用したことがない」の割合が6割を占めている。「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合は、息子・娘との2世帯の世帯が27.6%で最も高くなっている。(問10-b)

【問10-b 介護保険サービスの利用状況（世帯状況別）】



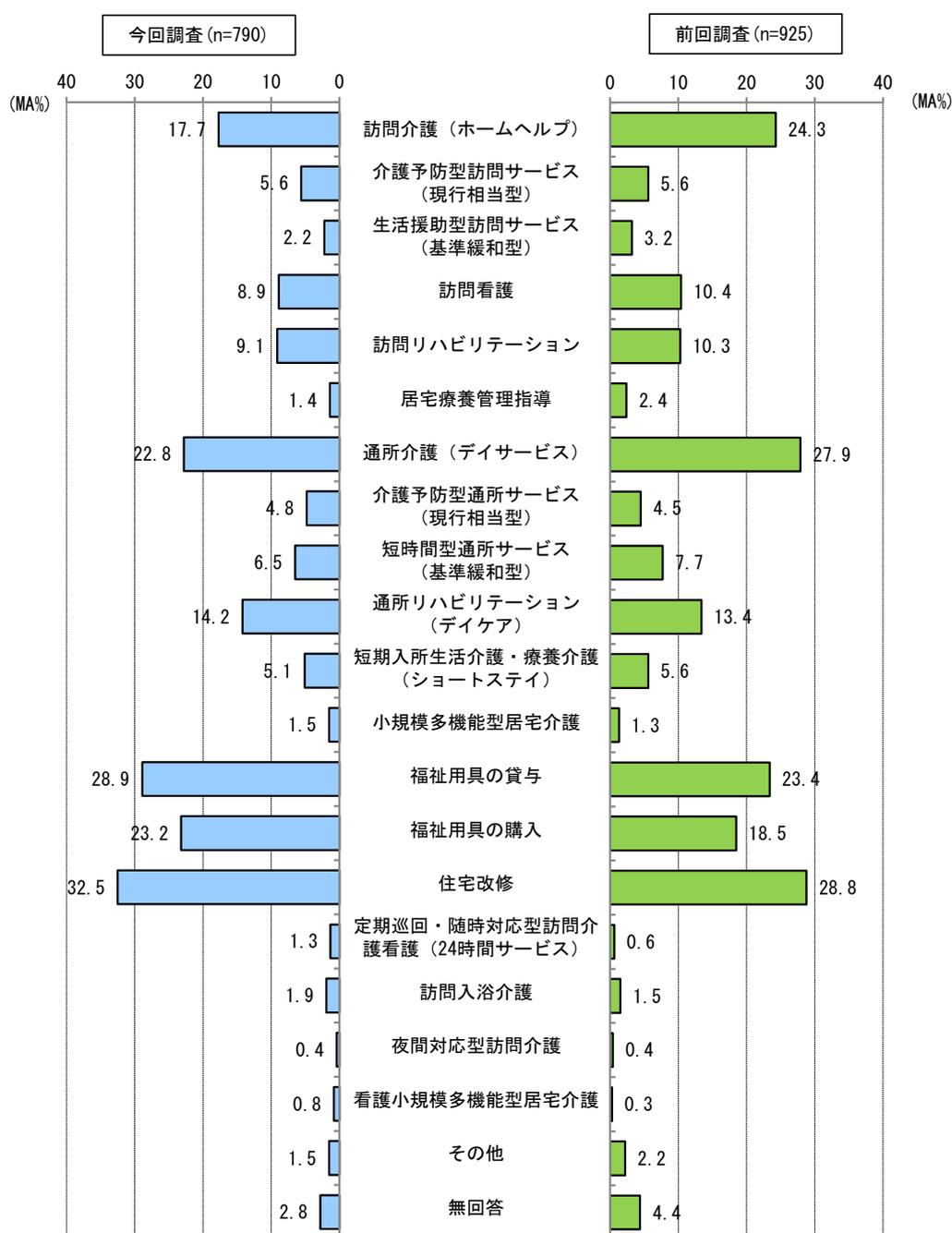
### 問10-1 以前利用していた介護保険サービス

問10で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答された方におうかがいします。以前はどのようなサービスを利用していましたか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを以前利用していたが、現在は利用していないと回答した人に、以前利用していた介護サービスについてたずねると、「住宅改修」の割合が32.5%で最も高く、次いで「福祉用具の貸与」が28.9%、「福祉用具の購入」が23.2%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合は5.5ポイント、「福祉用具の購入」の割合は4.7ポイント、それぞれ増加している。(問10-1)

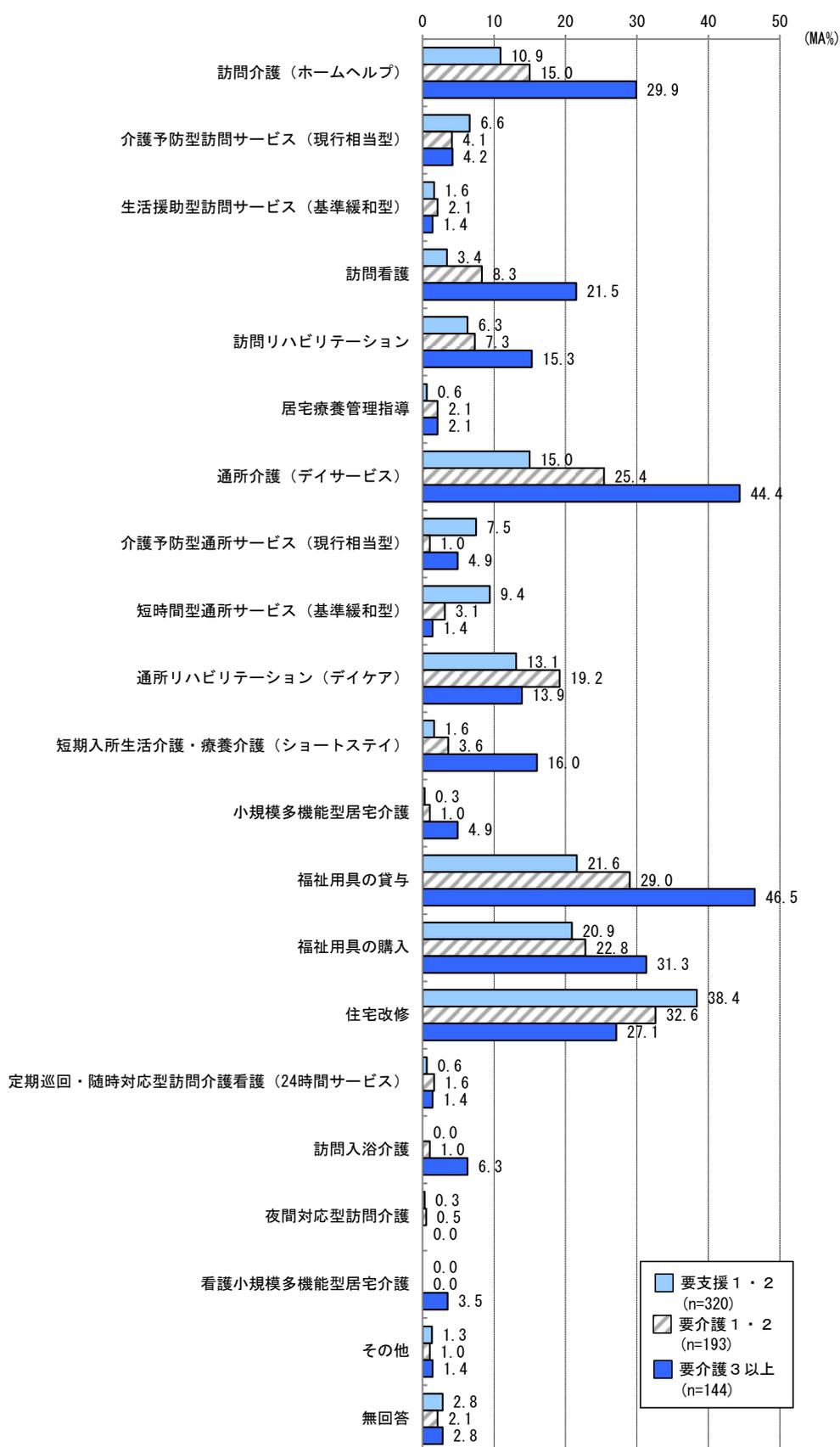
【問10-1 以前利用していた介護保険サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「住宅改修」の割合が最も高く、要介護3以上は「福祉用具の貸与」が最も高くなっている。(問10-1-a)

【問10-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）】



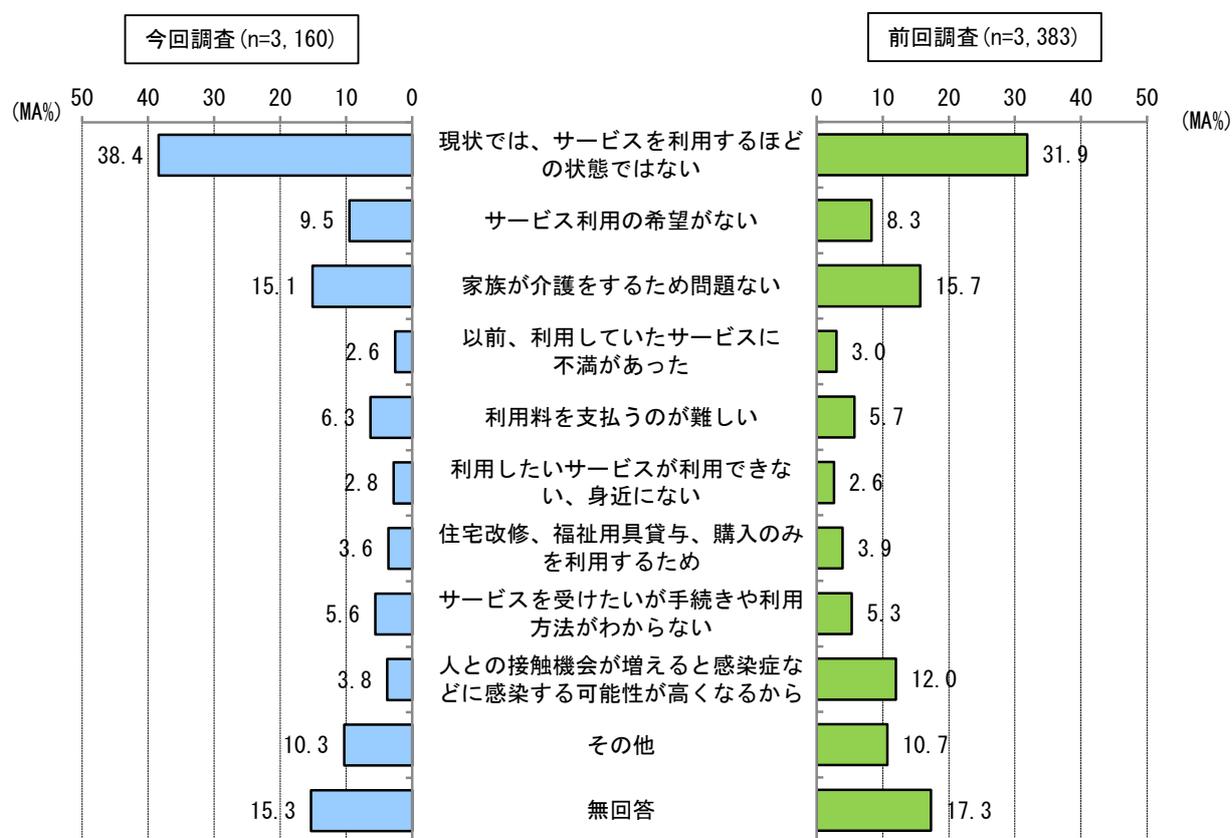
## 問11 介護保険サービスを利用していない理由

あなたが介護保険サービスを、現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護サービスを現在利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が38.4%で最も高く、次いで「家族が介護をするため問題ない」が15.1%、「サービス利用の希望がない」が9.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合は6.5ポイント増加している。(問11)

【問11 介護保険サービスを利用していない理由（経年比較）】

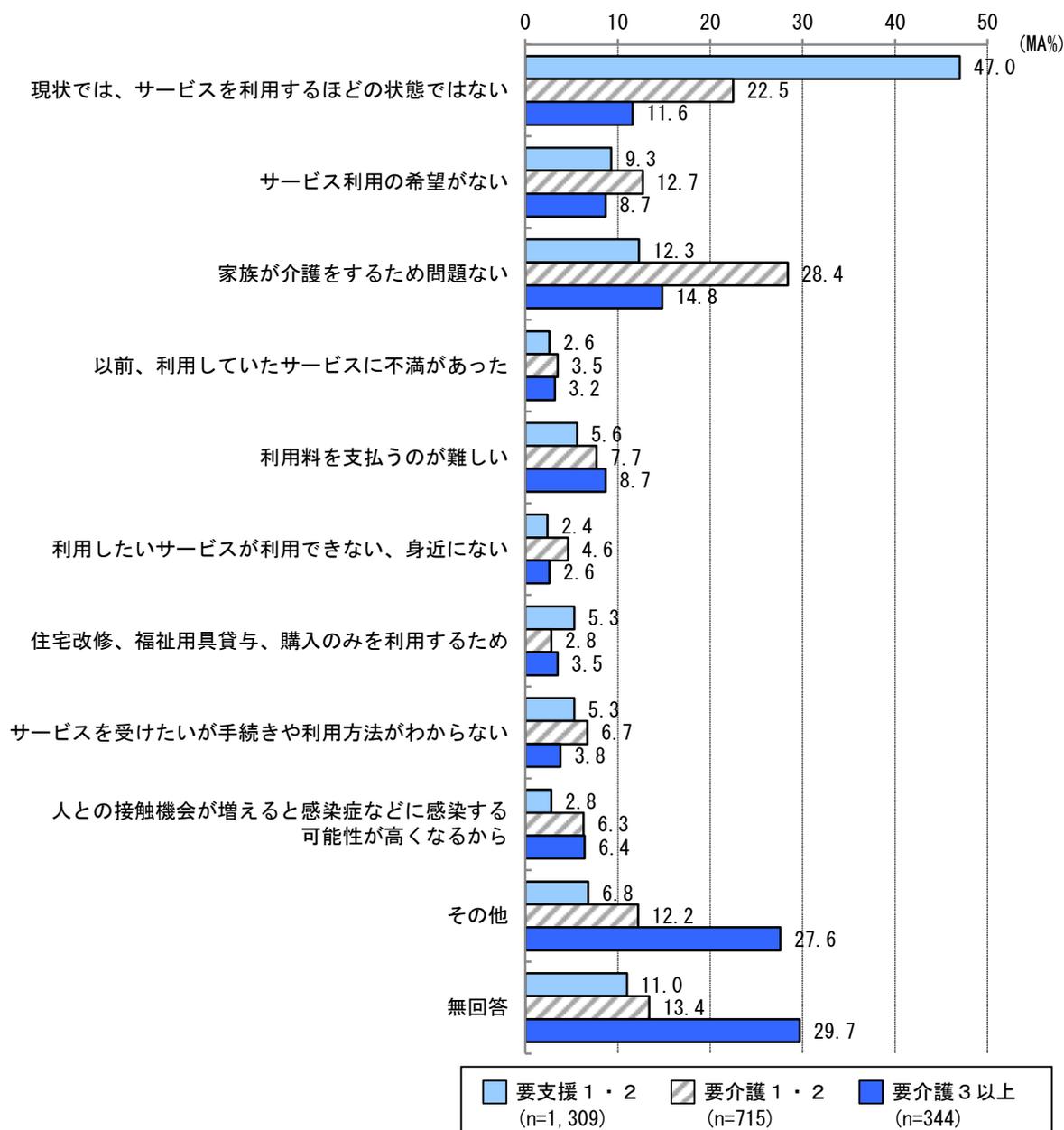


※前回調査の「人との接触機会が増えて新型コロナウイルス感染の可能性が高くなるから」は「人との接触機会が増えると感染症などに感染する可能性が高くなるから」に変更

【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く、要介護1以上は「家族が介護をするため問題ない」が最も高くなっている。(問11-a)

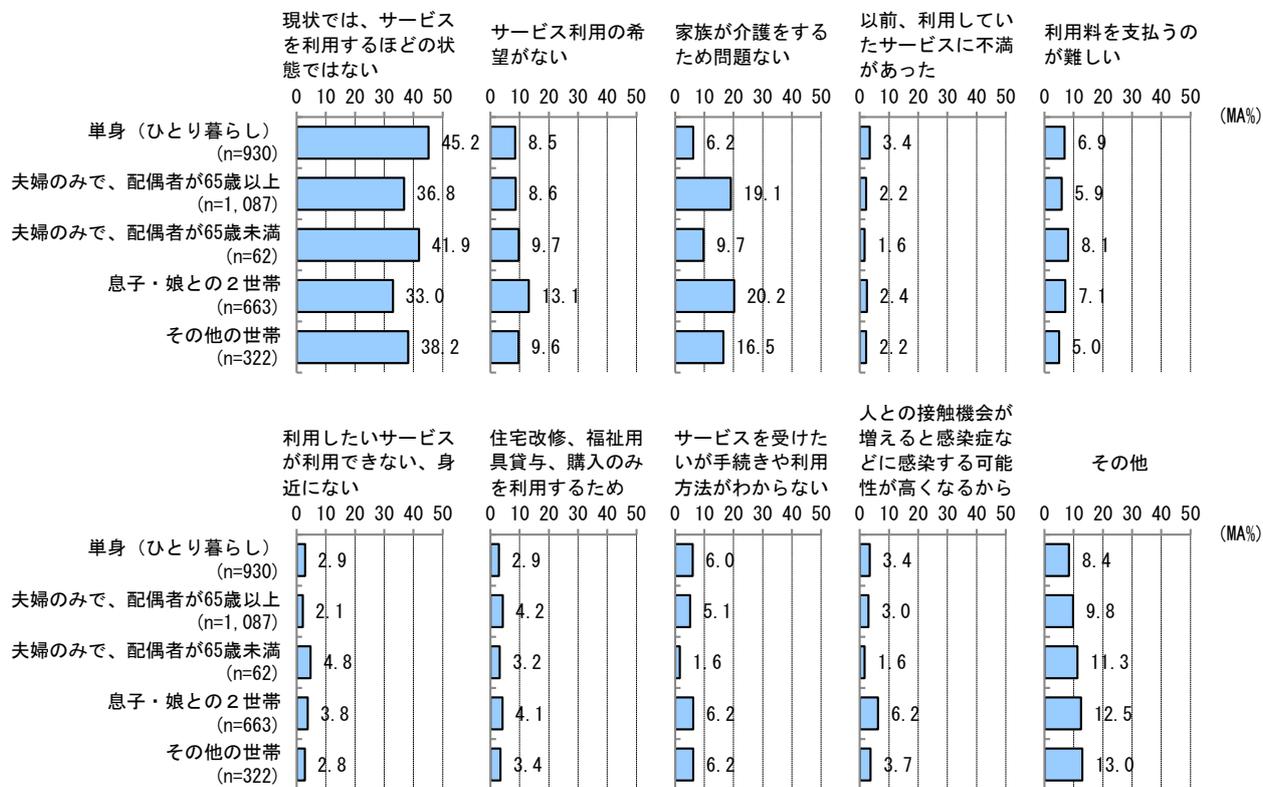
【問11-a 介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別では、いずれの世帯も「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く、特に、単身（ひとり暮らし）の世帯の割合が45.2%で最も高くなっている。（問11-b）

【問11-b 介護保険サービスを利用していない理由（世帯状況別）】

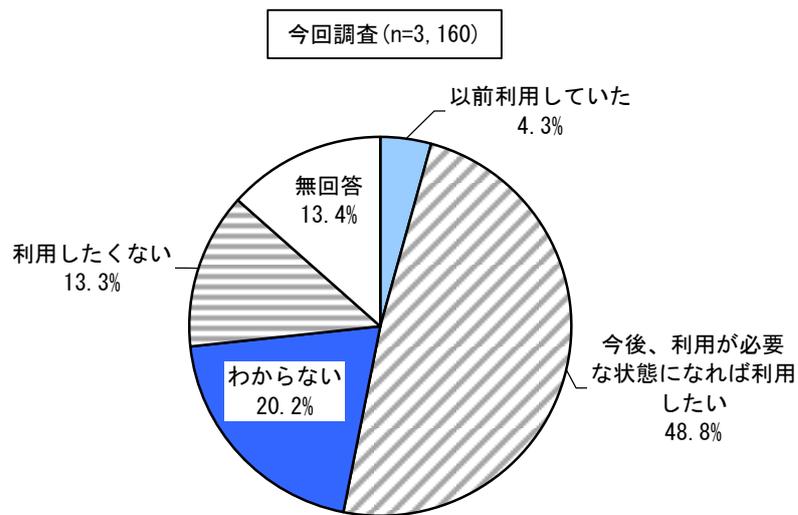


## 問12 リハビリテーションサービスの利用意向

いつまでも地域でいきいきと生活を続けるために、リハビリテーションサービスを利用してみたいですか。(○はひとつ)

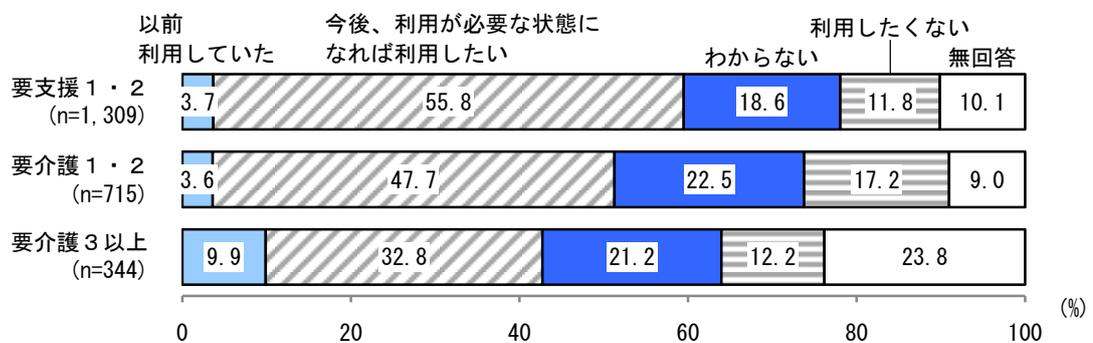
リハビリテーションサービスの利用意向は、「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」の割合が48.8%で最も高く、次いで「わからない」が20.2%、「利用したくない」が13.3%となっている。(問12)

【問12 リハビリテーションサービスの利用意向】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」の割合が最も高く、要介護度が軽度ほどその割合が高くなっている。(問12-a)

【問12-a リハビリテーションサービスの利用意向 (要介護度別)】

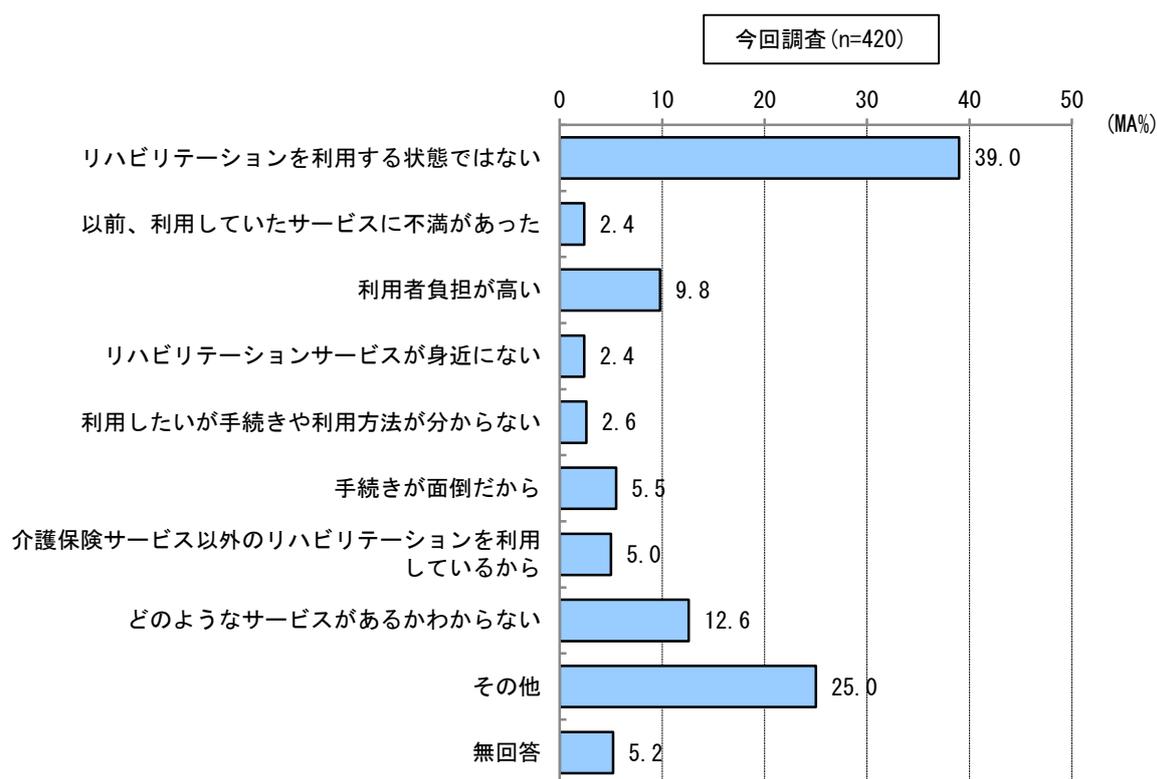


### 問12-1 リハビリテーションサービスを利用したくない理由

問12で「4 利用したくない」と回答された方におうかがいします。  
 利用したくない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

リハビリテーションサービスを利用したくない理由は、「リハビリテーションを利用する状態ではない」の割合が39.0%で最も高く、次いで「どのようなサービスがあるかわからない」が12.6%、「利用者負担が高い」が9.8%となっている。(問12-1)

【問12-1 リハビリテーションサービスを利用したくない理由】



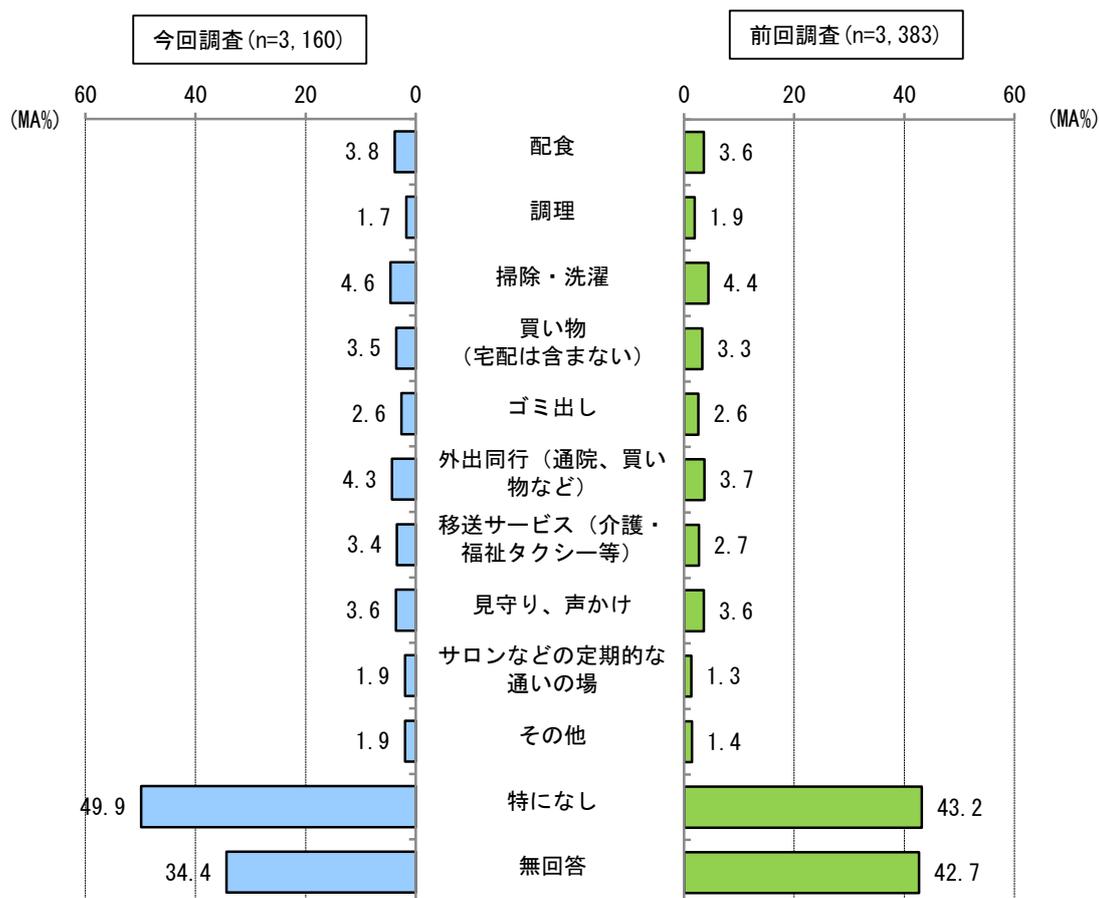
### 問13 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください  
(〇はいくつでも)

現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービスは、「特になし」の割合が49.9%で最も高い。利用している支援・サービスは、「掃除・洗濯」の割合が4.6%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が4.3%、「配食」が3.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「特になし」の割合が6.7ポイント増加している。（問13）

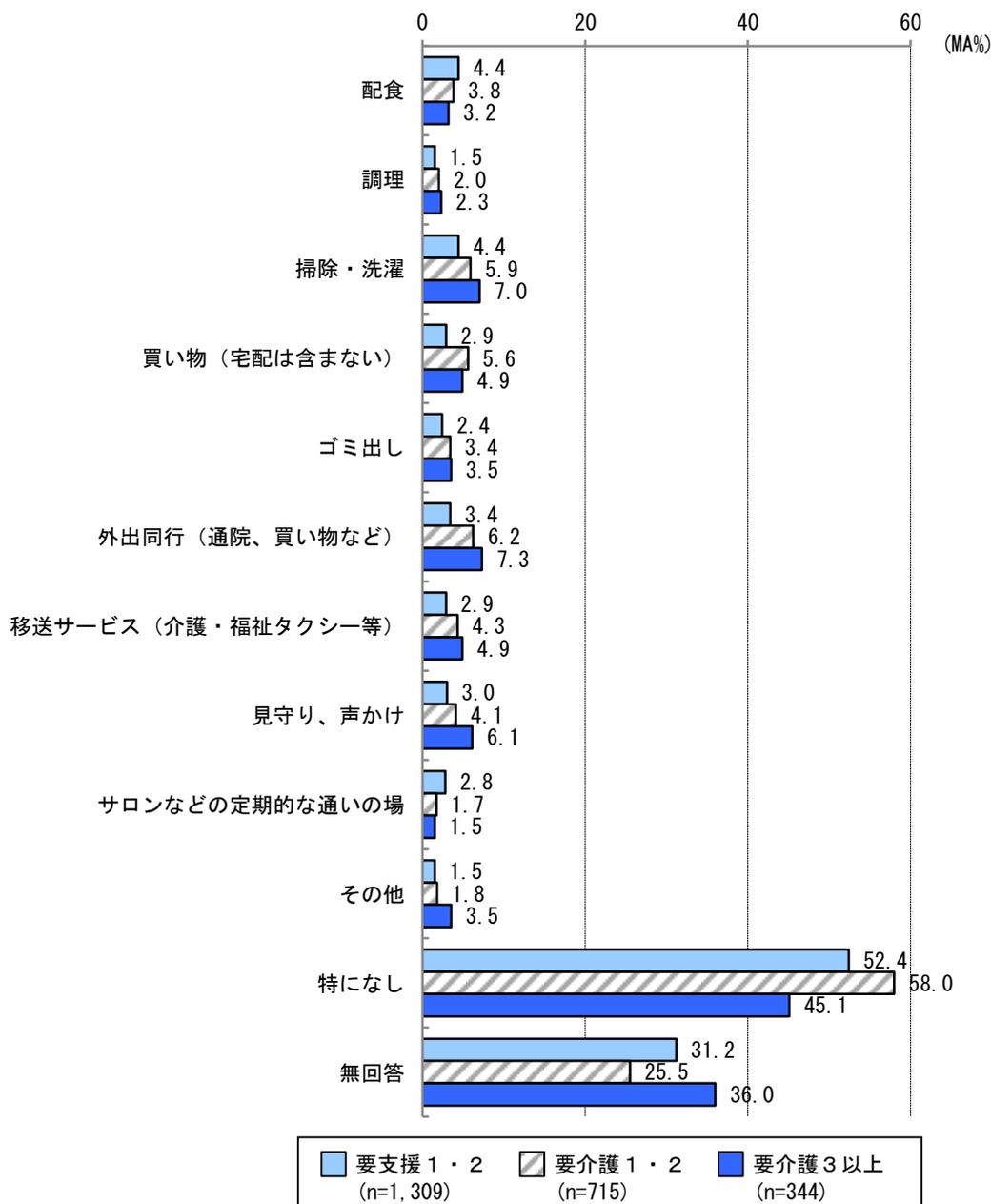
【問13 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「特になし」の割合が最も高く、要支援1・2、要介護1・2では5割以上を占めている。利用している支援・サービスは、要支援1・2は「配食」と「掃除・洗濯」がともに4.4%で最も高く、要介護1以上では「外出同行（通院、買い物など）」が最も高くなっている。（問13-a）

【問13-a 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス（要介護度別）】

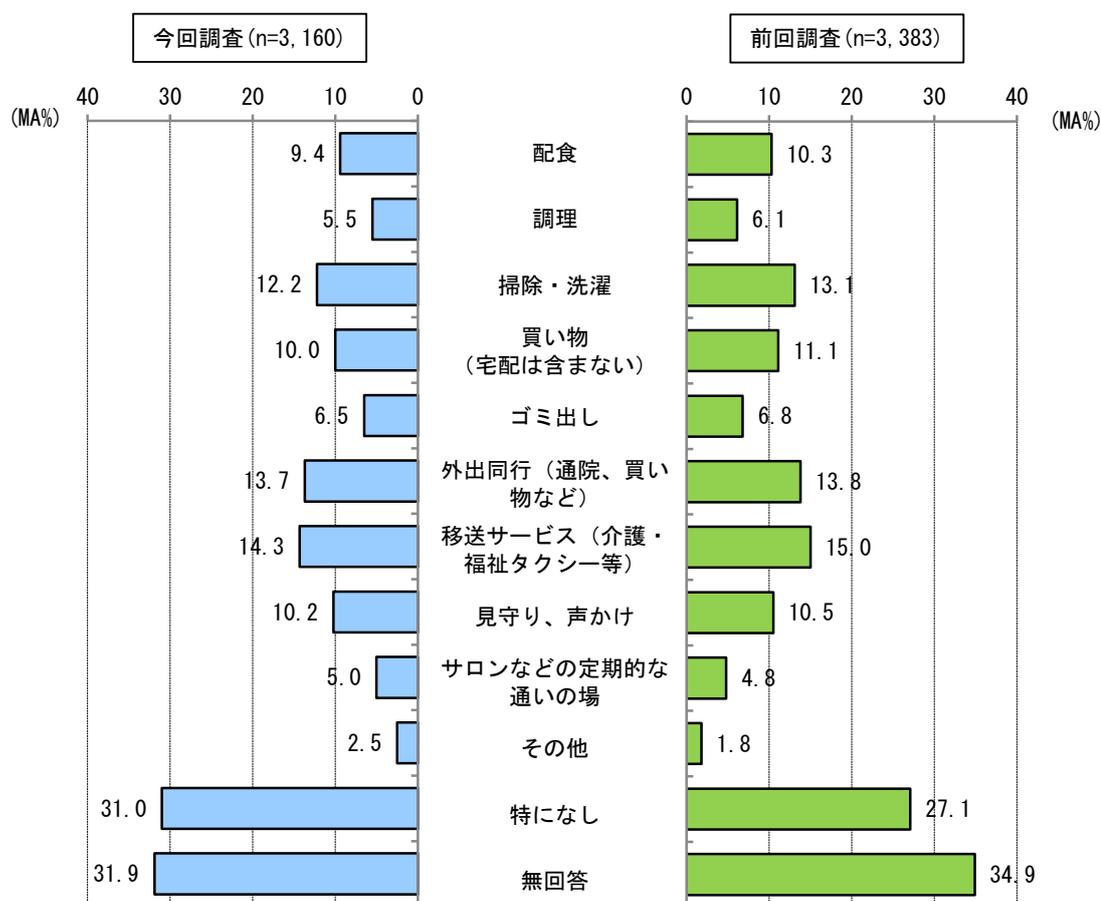


### 問14 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要な支援・サービスは、「特になし」の割合が31.0%で最も高くなっている。必要な支援・サービスは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が14.3%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が13.7%、「掃除・洗濯」が12.2%となっている。（問14）

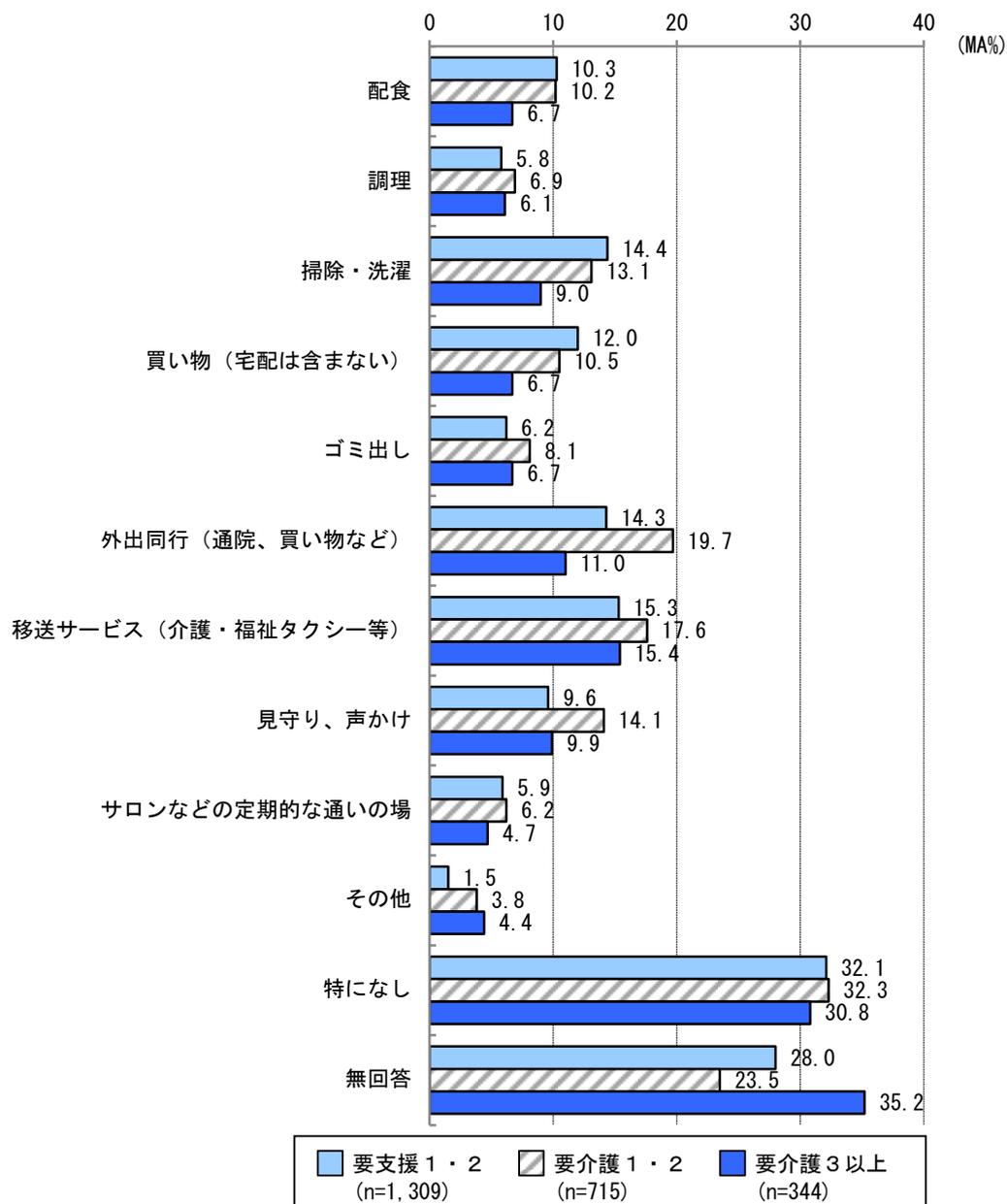
【問14 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」の各割合は要支援1・2が最も高く、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」の各割合は要介護1・2が最も高くなっている。要介護3以上は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」の各割合が高い。（問14-a）

【問14-a 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）】



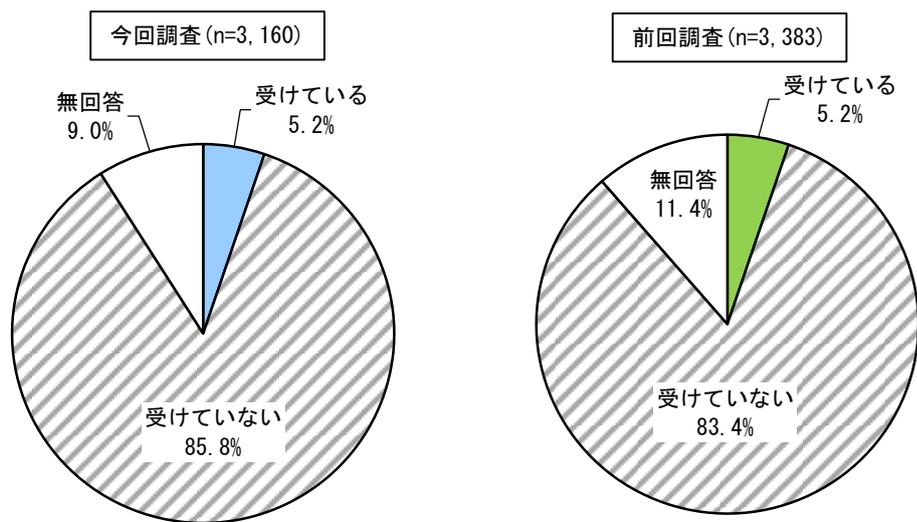
### 問15 医療従事者などの訪問有無

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「受けている」が5.2%に対し、「受けていない」が85.8%となっている。

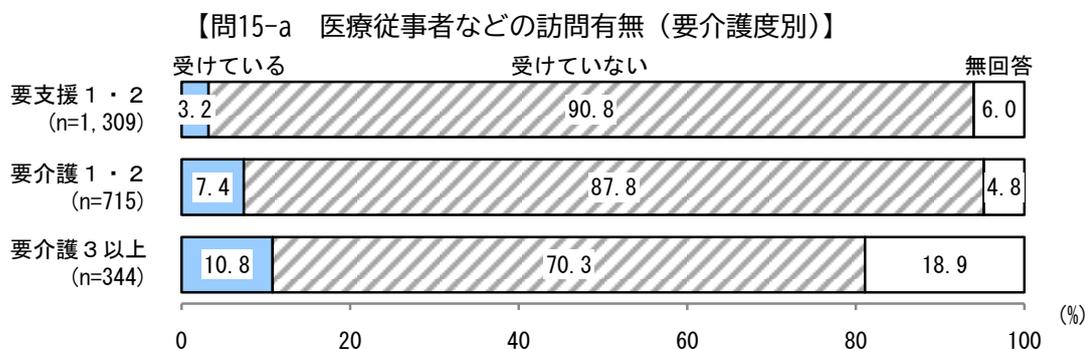
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問15)

【問15 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】



※「はい」→「受けている」、「いいえ」→「受けていない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「受けていない」の割合が7～9割と大部分を占めている。これに対し、「受けている」の割合は、要介護度が重度になるほどが高くなっている。(問15-a)



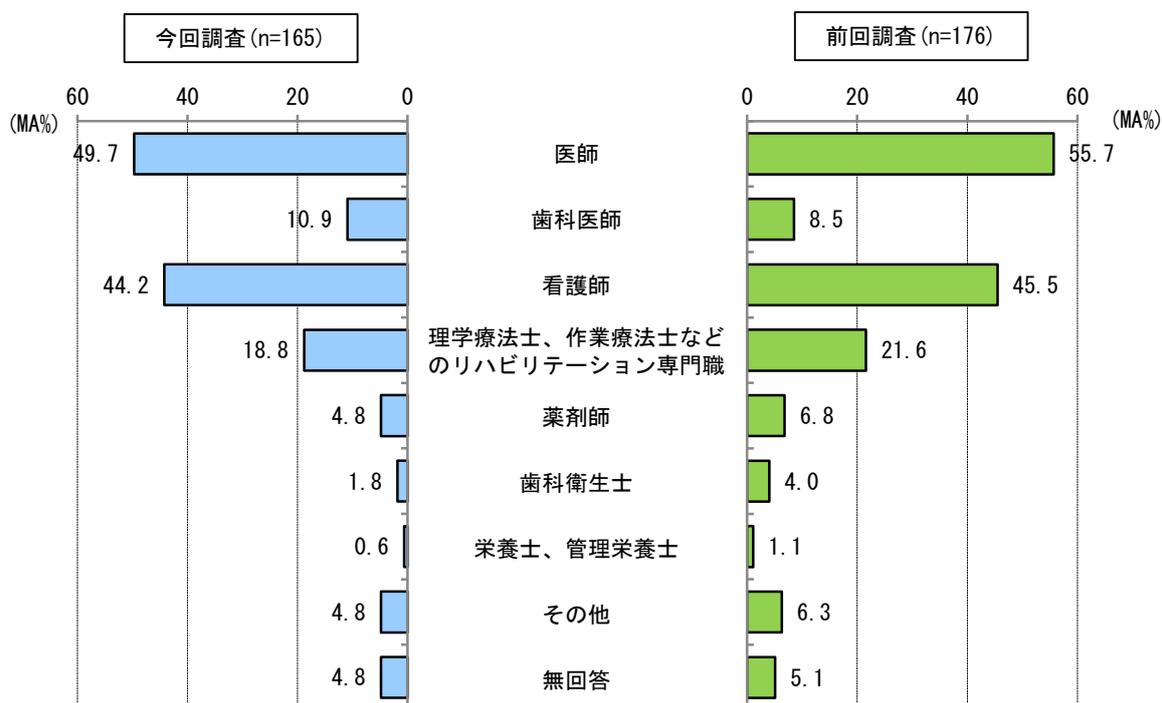
### 問15-1 訪問されている医療従事者

問15で「1 はい」と回答された方におうかがいします。  
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「医師」の割合が49.7%で最も高く、次いで「看護師」が44.2%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が18.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「医師」の割合は6.0ポイント減少している。(問15-1)

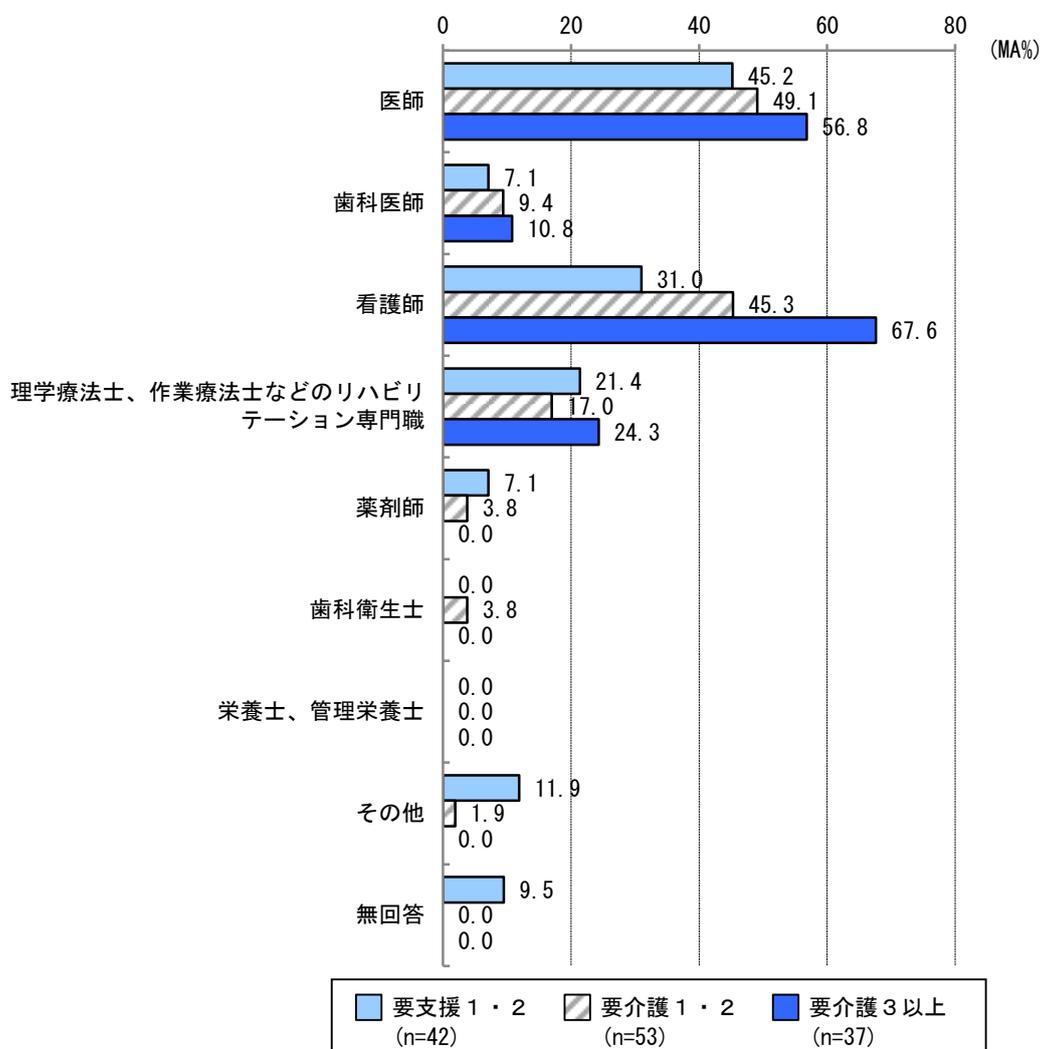
【問15-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「医師」の割合が最も高くなっている。要介護3以上では「看護師」の割合が67.6%で最も高く、要介護度が重度になるほど高くなっている。(問15-1-a)

【問15-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



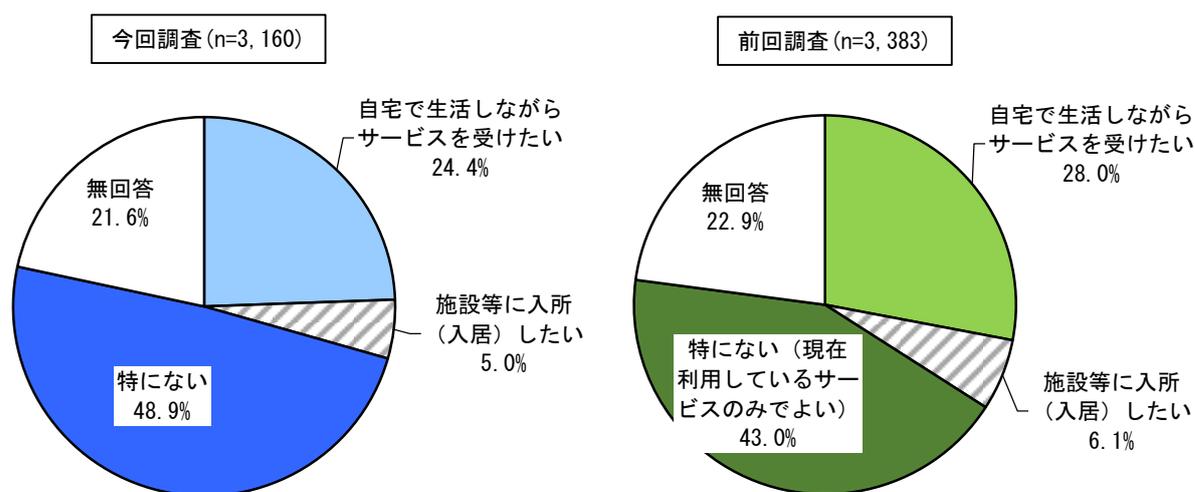
## 問16 介護保険サービスの利用意向

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについてお答えください。(○はひとつ)

今後、利用したい介護保険サービスは、「特にない」の割合が48.9%で最も高い。これに次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が24.4%、「施設等に入所（入居）したい」が5.0%となっている。

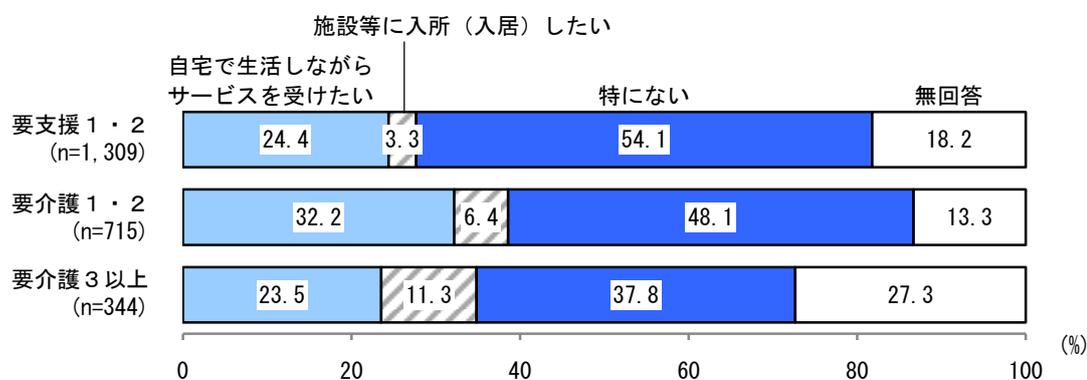
前回調査の結果に比べ、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合が3.6ポイント減少し、「特にない」が5.9ポイント増加している。(問16)

【問16 介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「特にない」の割合が最も高い。「施設等に入所（入居）したい」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。(問16-a)

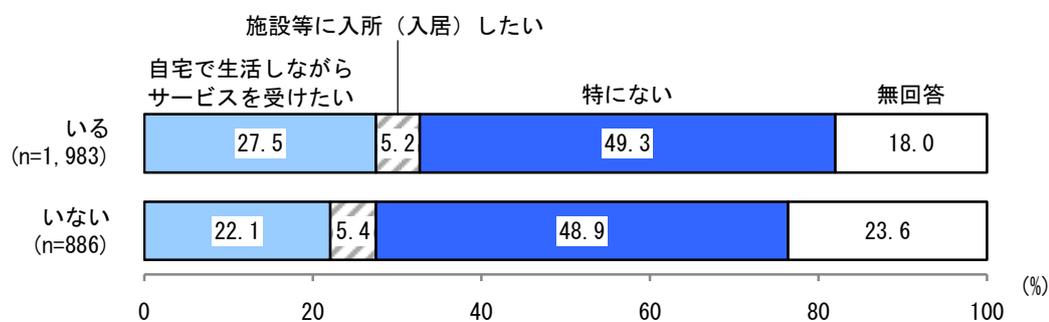
【問16-a 介護保険サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

介護者の有無別では、介護者がいる、いないにかかわらず「特にない」の割合が5割弱となっている。「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は、介護者がいる人の方が高くなっている。(問16-b)

【問16-b 介護保険サービスの利用意向（介護者の有無別）】



### 問16-1 利用したい居宅サービス

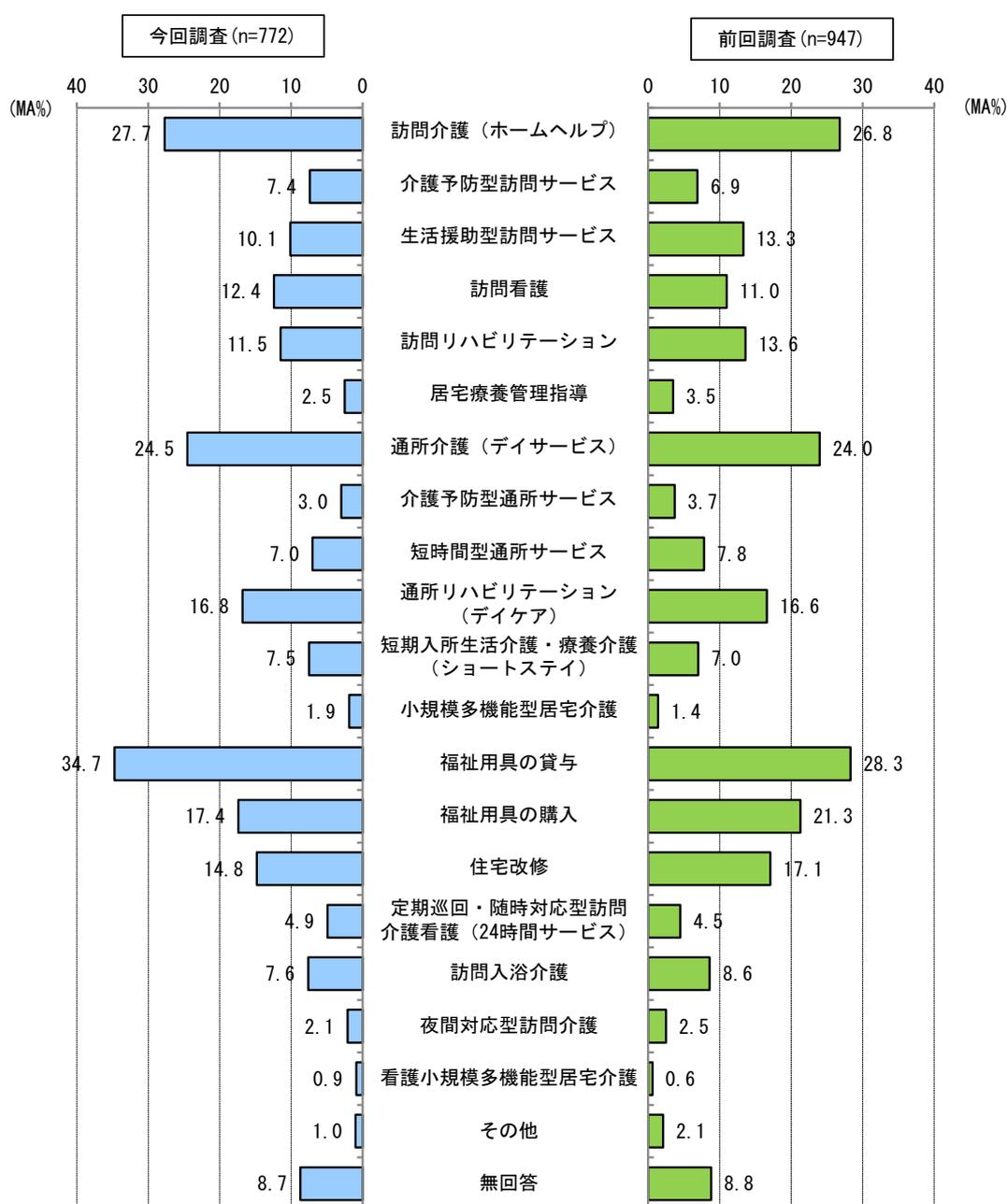
この質問は、問16で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、今後、利用したい居宅サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」の割合が34.7%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が27.7%、「通所介護（デイサービス）」が24.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合が6.4ポイント増加している。(問16-1)

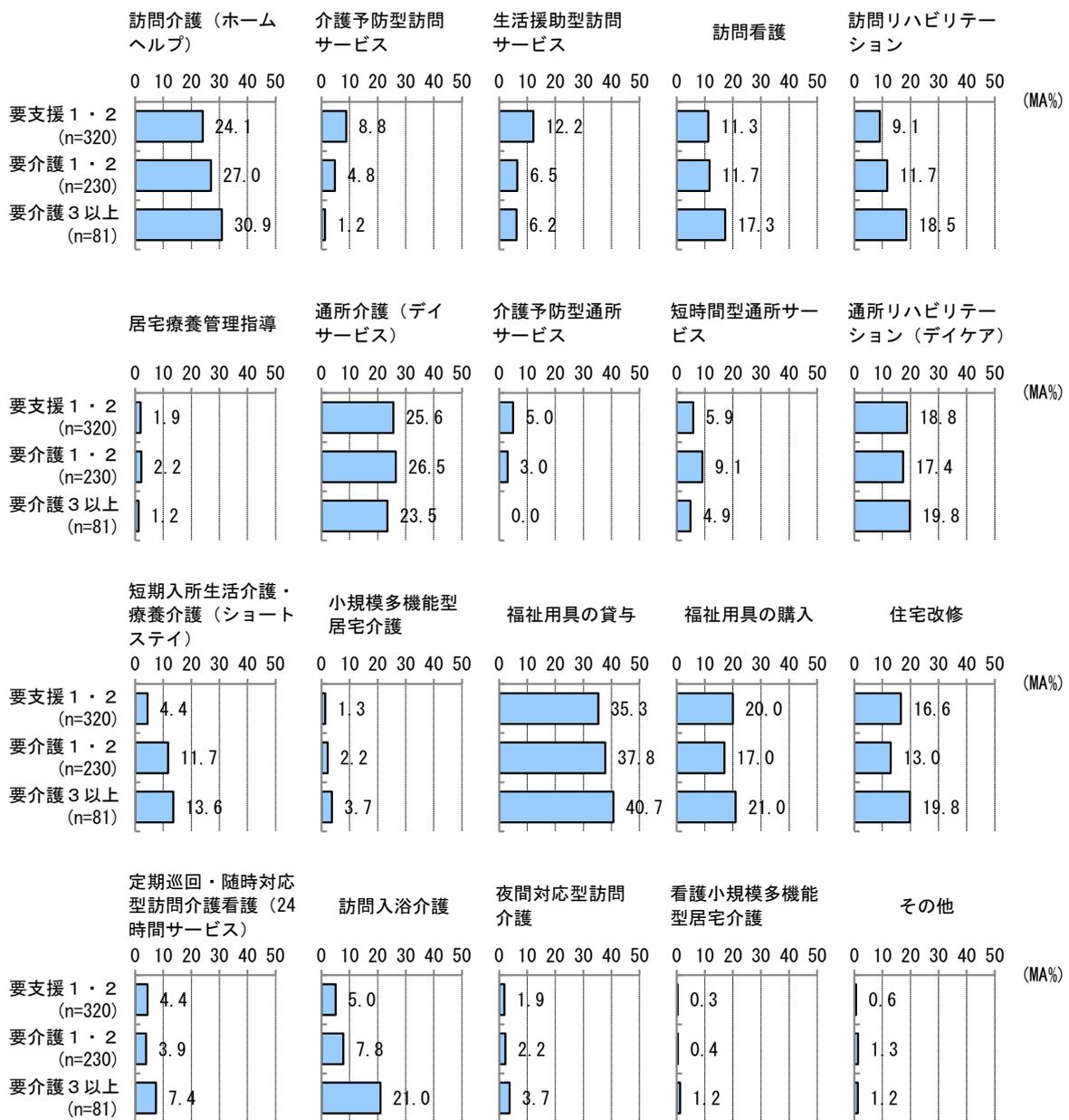
【問16-1 利用したい居宅サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「福祉用具の貸与」の割合が最も高く、要介護度が重度になるほど割合は高くなっている。また、「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「小規模多機能型居宅介護」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」の各割合も、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問16-1-a）

【問16-1-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）】



## 問16-2 入所(入居)したい施設等

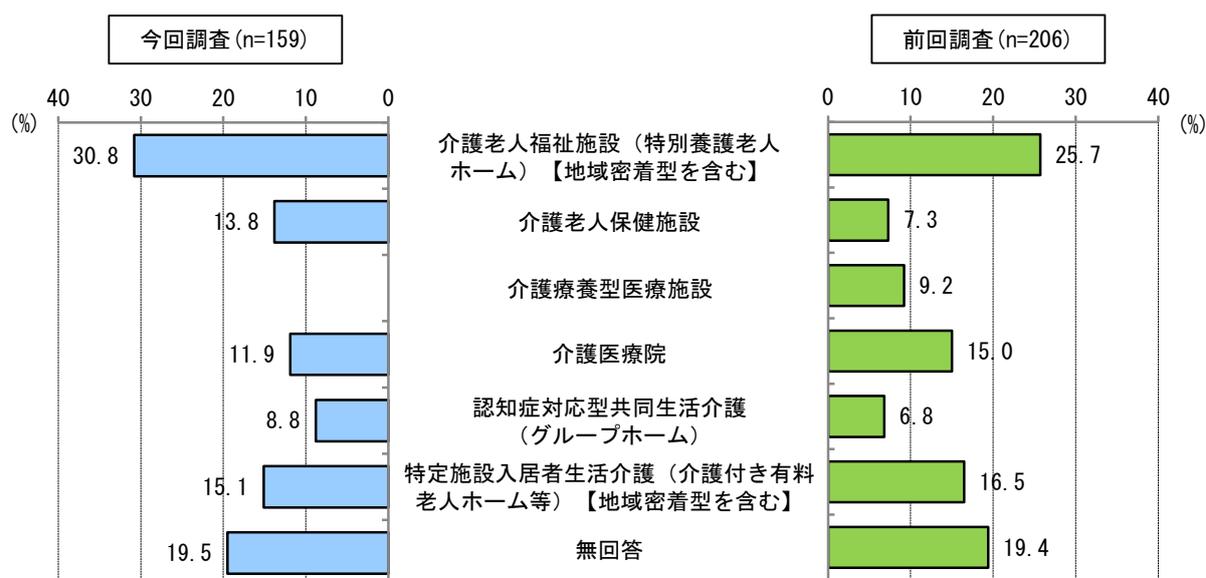
問16-2、問16-3は、問16で「2 施設等に入所(入居)したい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に入所(入居)したい施設等について、あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

施設等に入所(入居)したいと回答した人に、今後、利用したい施設サービスをたずねると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」の割合が30.8%で最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型を含む】」が15.1%、「介護老人保健施設」が13.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護老人保健施設」の割合が6.5ポイント、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」の割合が5.1ポイント、それぞれ増加している。(問16-2)

【問16-2 利用したい施設サービス(経年比較)】

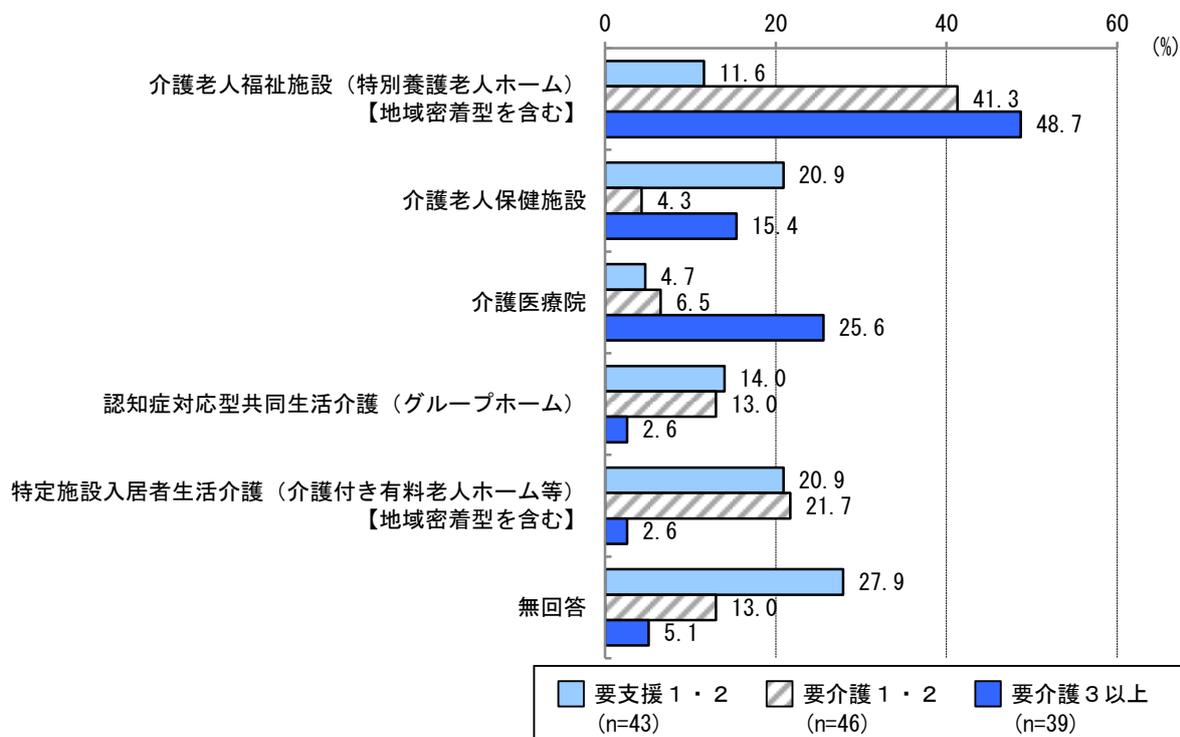


※前回調査の「介護療養型医療施設」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス未利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、要支援1・2は「介護老人保健施設」と「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）【地域密着型を含む】」がともに20.9%で最も高く、要介護1以上では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が最も高くなっている。（問16-2-a）

【問16-2-a 利用したい施設サービス（要介護度別）】



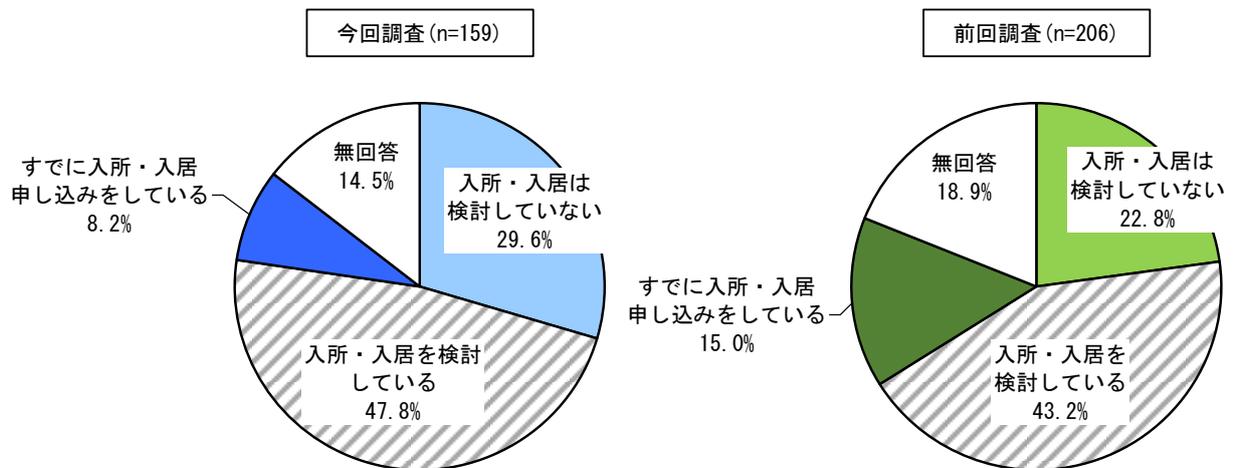
### 問16-3 施設等の入所(入居)の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。(○はひとつ)

施設等に入所(入居)したいと回答した人に、現時点での検討状況をたずねると、「入所・入居を検討している」の割合が47.8%で最も高く、次いで「入所・入居は検討していない」が29.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.2%となっている。

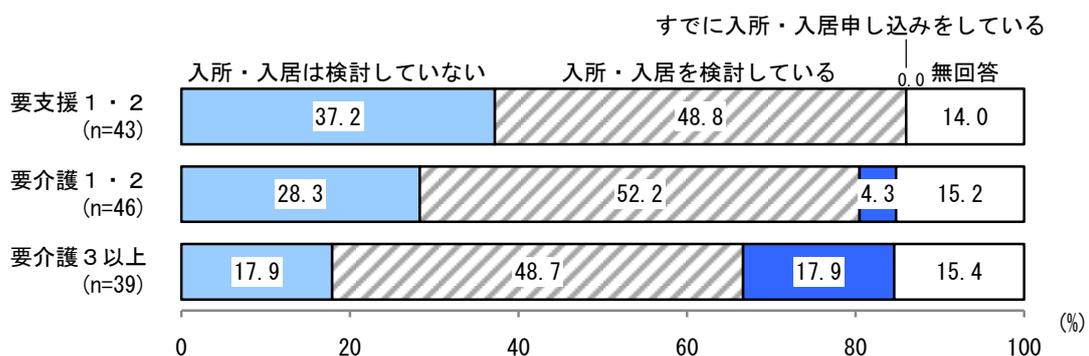
前回調査の結果に比べ、「入所・入居は検討していない」の割合は6.8ポイント、「入所・入居を検討している」の割合は4.6ポイント、それぞれ増加している。(問16-3)

【問16-3 施設等の入所(入居)の検討状況(経年比較)】



n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、「入所・入居を検討している」の割合は、要介護度に関係なく5割前後を占めている。また、「入所・入居は検討していない」の割合は、要介護度が重度になるほど低くなっているのに対し、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は重度になるほど高くなっている。(問16-3-a)

【問16-3-a 施設等の入所(入居)の検討状況(要介護度別)】



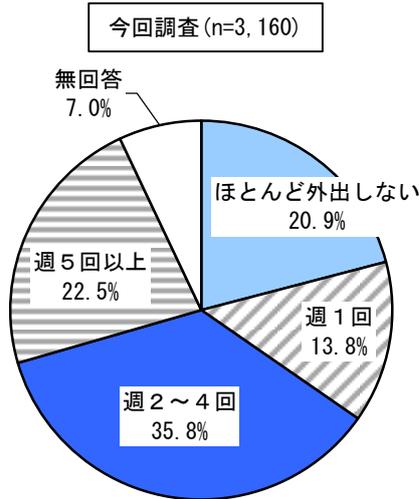
(5) 外出の状況

問17 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

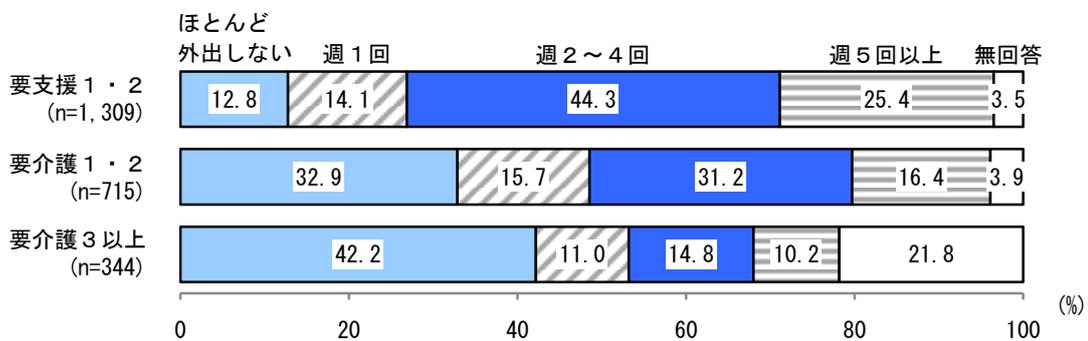
外出頻度は、「週2～4回」の割合が35.8%で最も高く、次いで「週5回以上」が22.5%、「ほとんど外出しない」が20.9%、「週1回」が13.8%となっている。(問17)

【問17 外出頻度】



要介護度別では、「ほとんど外出しない」の割合は重度になるほど高くなっている。(問17-a)

【問17-a 外出頻度 (要介護度別)】

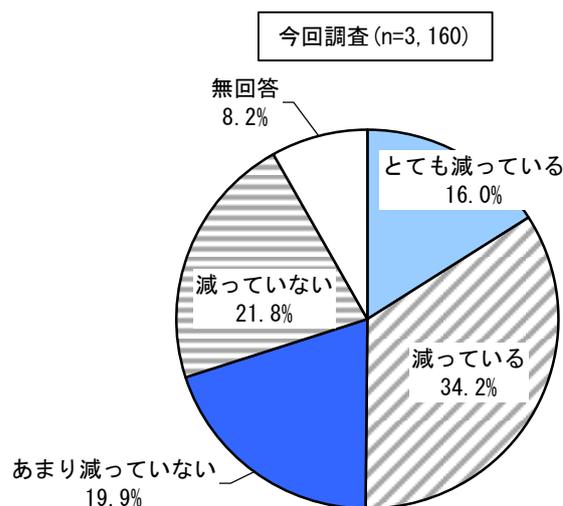


### 問18 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

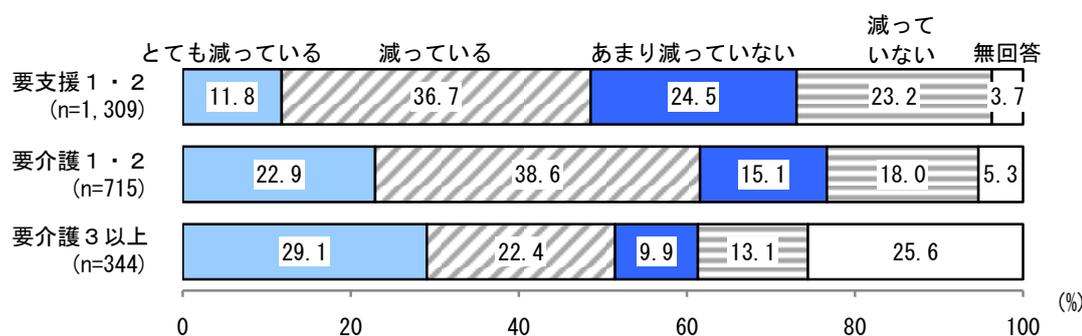
昨年と比べた外出の回数は、「減っている」の割合が34.2%で最も高く、次いで「減っていない」が21.8%、「あまり減っていない」が19.9%で、「とても減っている」(16.0%)と「減っている」をあわせた『減っている』割合は50.2%となっている。(問18)

【問18 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別では、『減っている』割合は要介護1・2が61.5%で最も高く、次いで要介護3以上が51.5%となっている。(問18-a)

【問18-a 昨年と比べた外出の回数(要介護度別)】

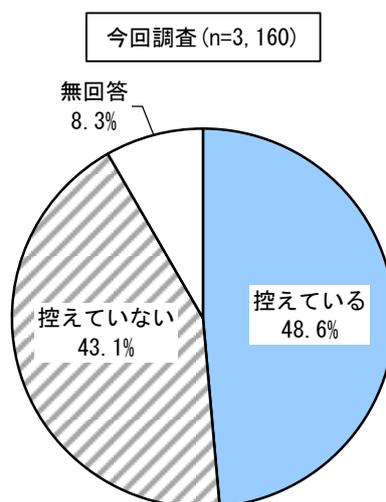


## 問19 外出を控えること

外出を控えていますか。(○はひとつ)

外出を「控えている」割合が48.6%に対し、「控えていない」は43.1%となっている。(問19)

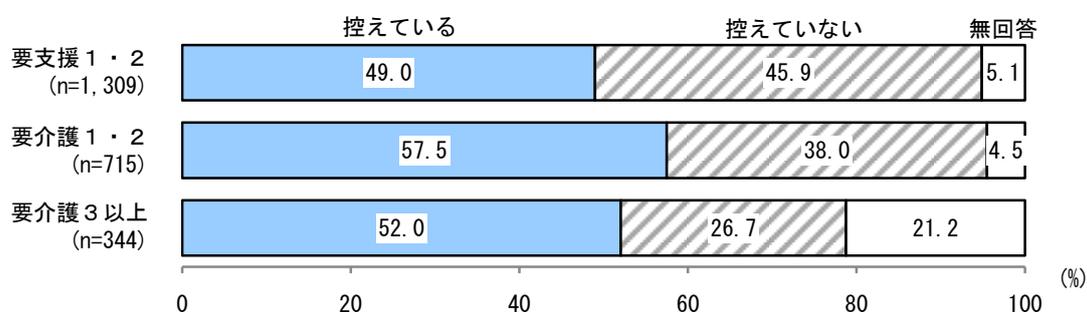
【問19 外出を控えること】



※「はい」→「控えている」、「いいえ」→「控えていない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「控えていない」の割合より「控えている」の割合の方が高くなっている。「控えている」の割合は要介護1・2が57.5%で最も高くなっている。(問19-a)

【問19-a 外出を控えること (要介護度別)】

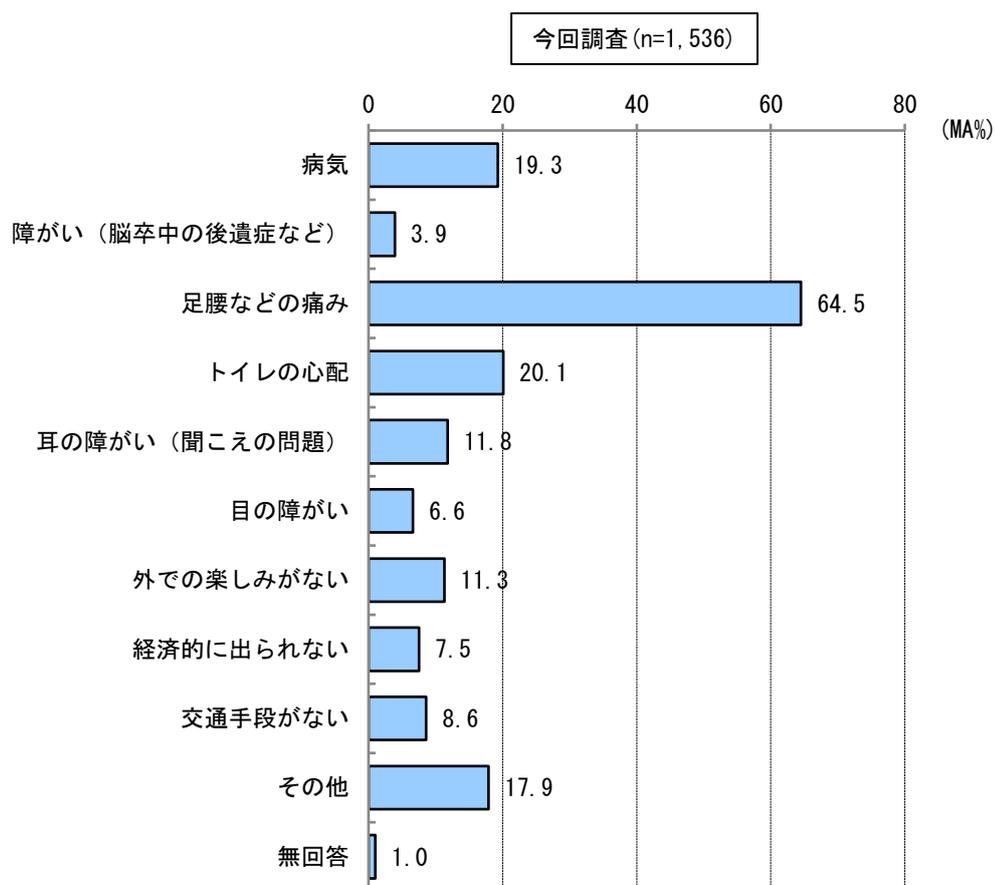


### 問19-1 外出を控えている理由

問19で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。  
外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」の割合が64.5%で最も高く、次いで「トイレの心配」が20.1%、「病気」が19.3%となっている。(問19-1)

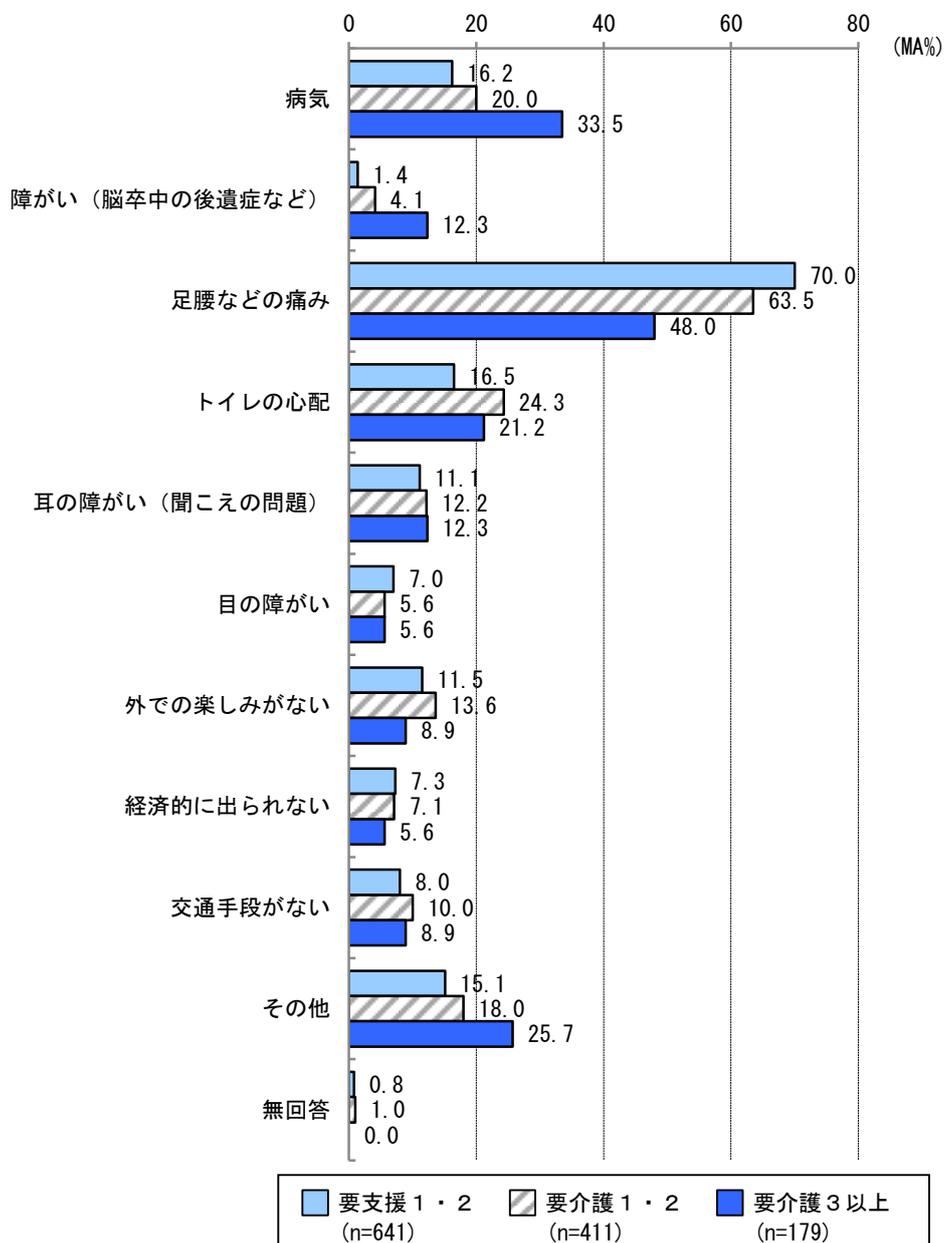
【問19-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「足腰などの痛み」の割合が最も高く、軽度ほど高くなっている。「病気」「障がい（脳卒中の後遺症など）」「耳の障がい（聞こえの問題）」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問19-1-a）

【問19-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



(6) 介護予防・重度化防止の取組

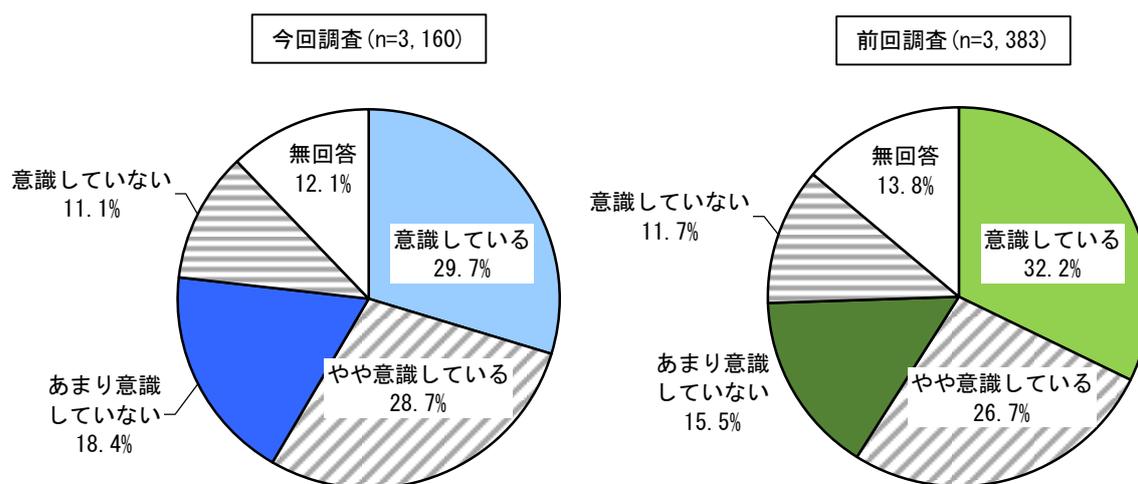
問20 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(○はひとつ)

介護予防について、「意識している」の割合が29.7%で最も高く、次いで「やや意識している」が28.7%で、両者をあわせた『意識している』割合は58.4%となっている。

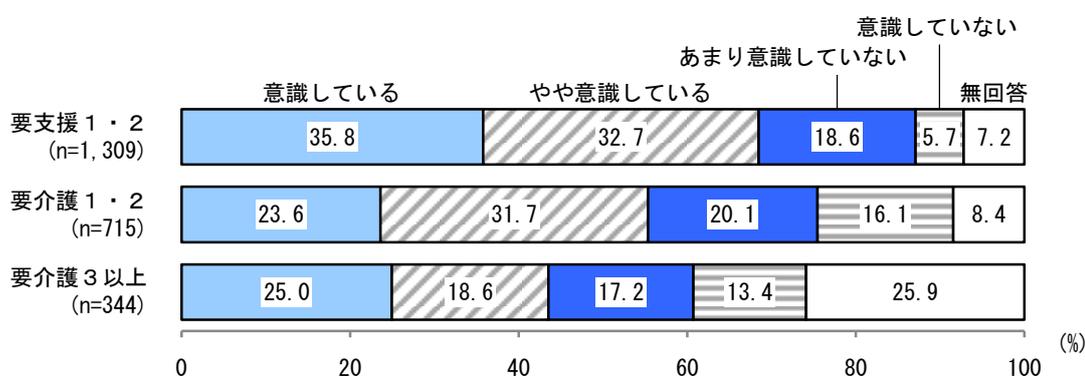
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問20)

【問20 介護予防に対する意識の程度（経年比較）】



要介護度別では、介護予防について意識している割合は要支援1・2が68.5%で最も高くなっている。意識している割合は、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問20-a)

【問20-a 介護予防に対する意識の程度（要介護度別）】



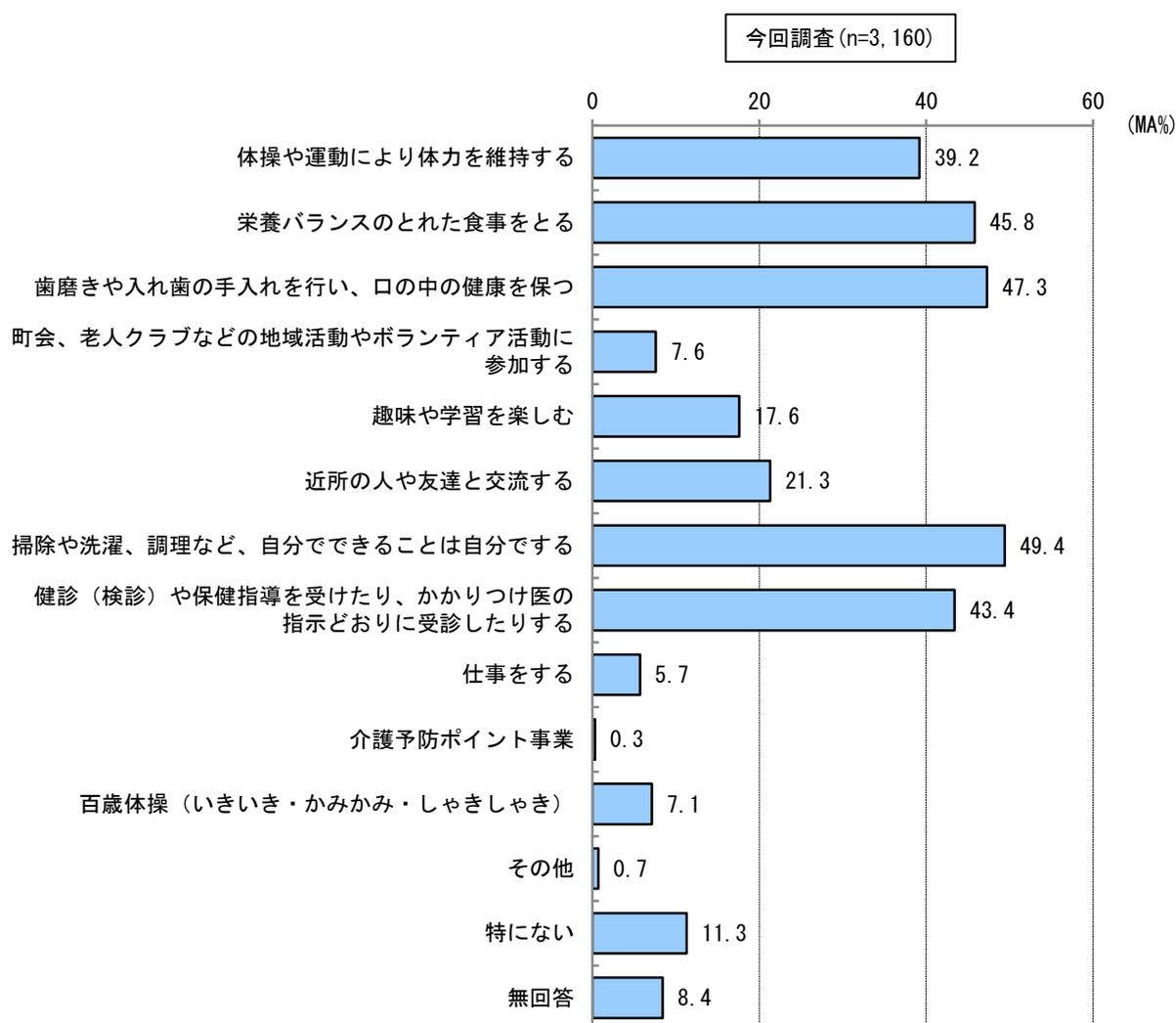
## 問21 介護予防の取組状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。(○はいくつでも)

### ① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることは、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が49.4%で最も高く、次いで「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が47.3%、「栄養バランスのとれた食事をとる」が45.8%となっている。(問21①)

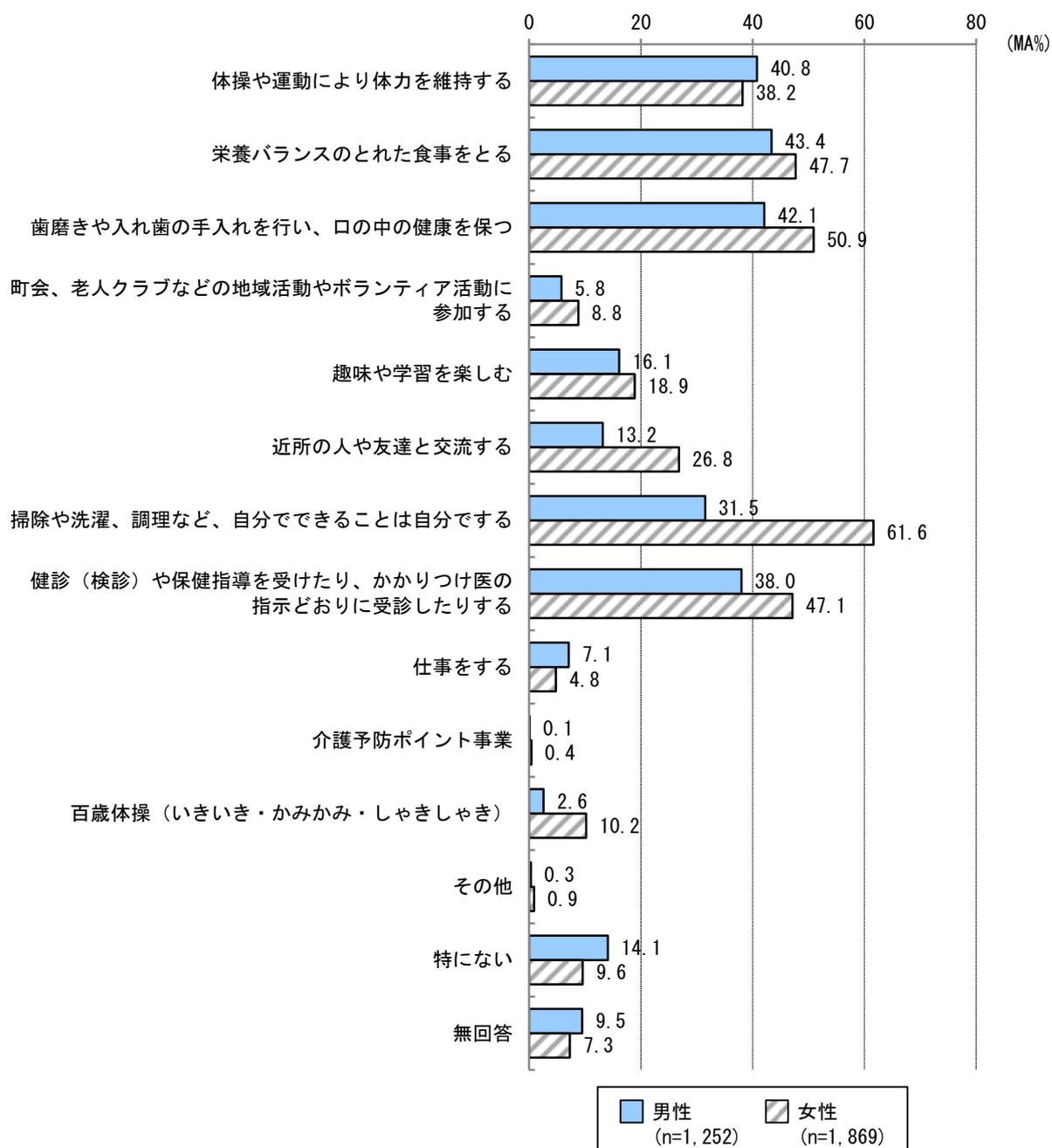
【問21① 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の性別では、男性は「栄養バランスのとれた食事をとる」の割合が43.4%で最も高く、女性は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が61.6%で最も高くなっている。(問21①-a)

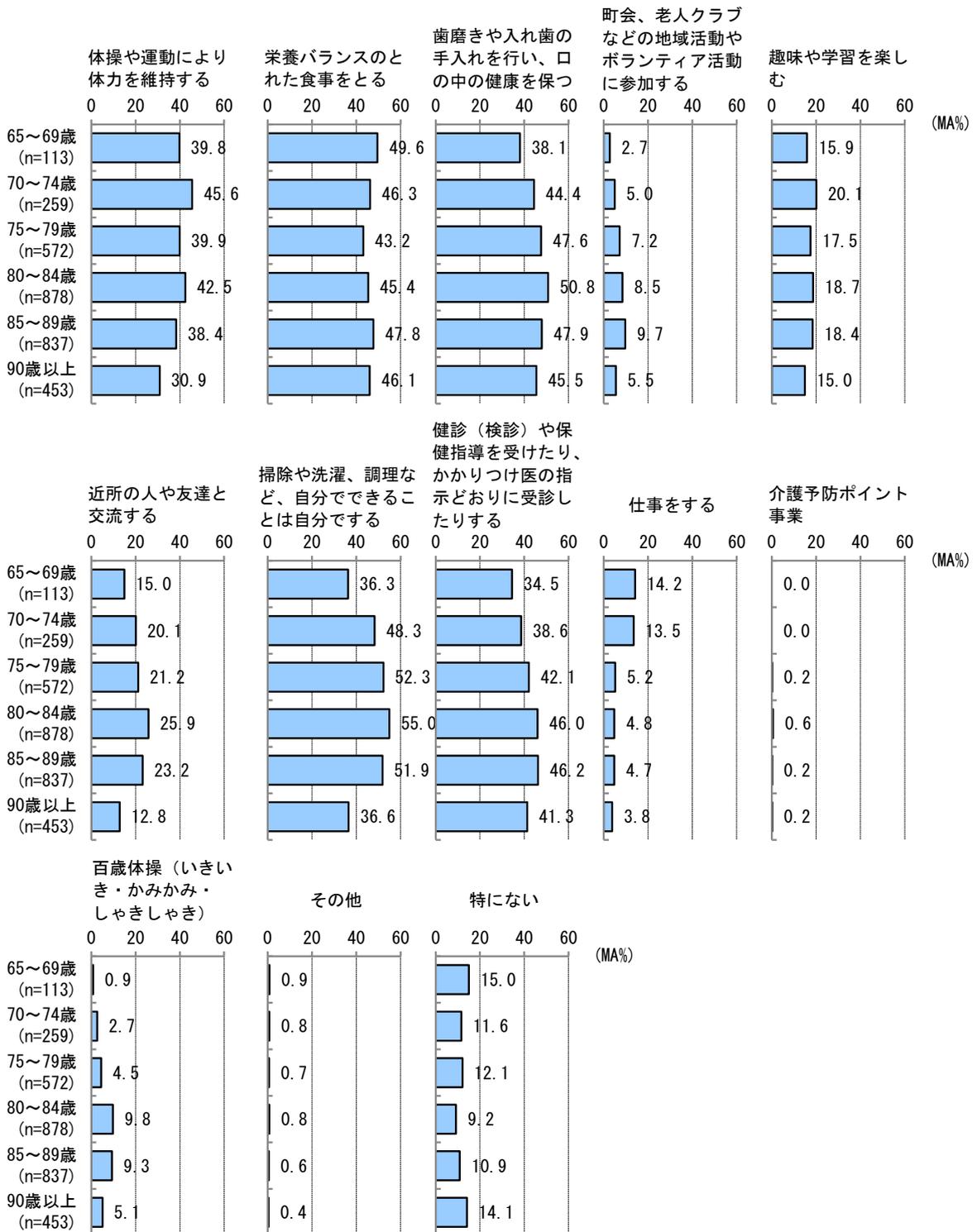
【問21①-a 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の性別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

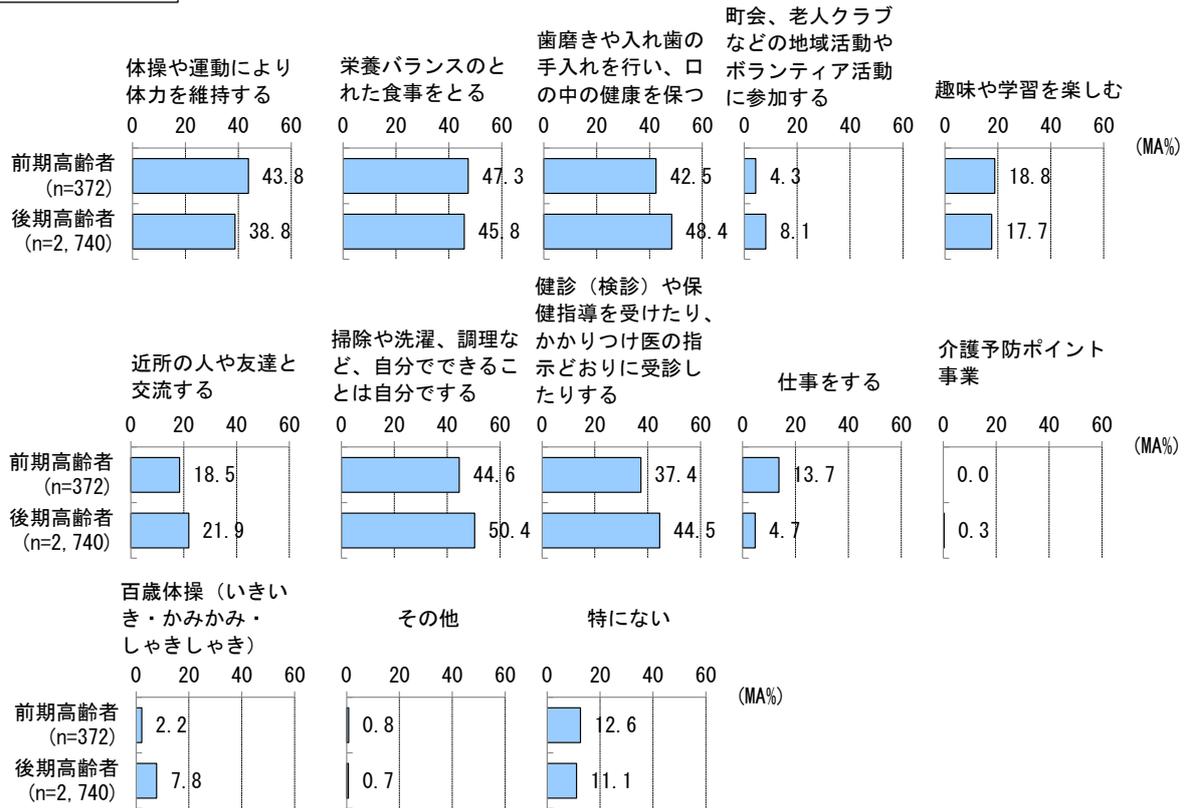
本人の年齢別では、65～69歳、90歳以上の年代は「栄養バランスのとれた食事をとる」の割合が最も高くなっている。70～89歳の年代は、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が最も高くなっている。（問21①-b）

【問21①-b 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

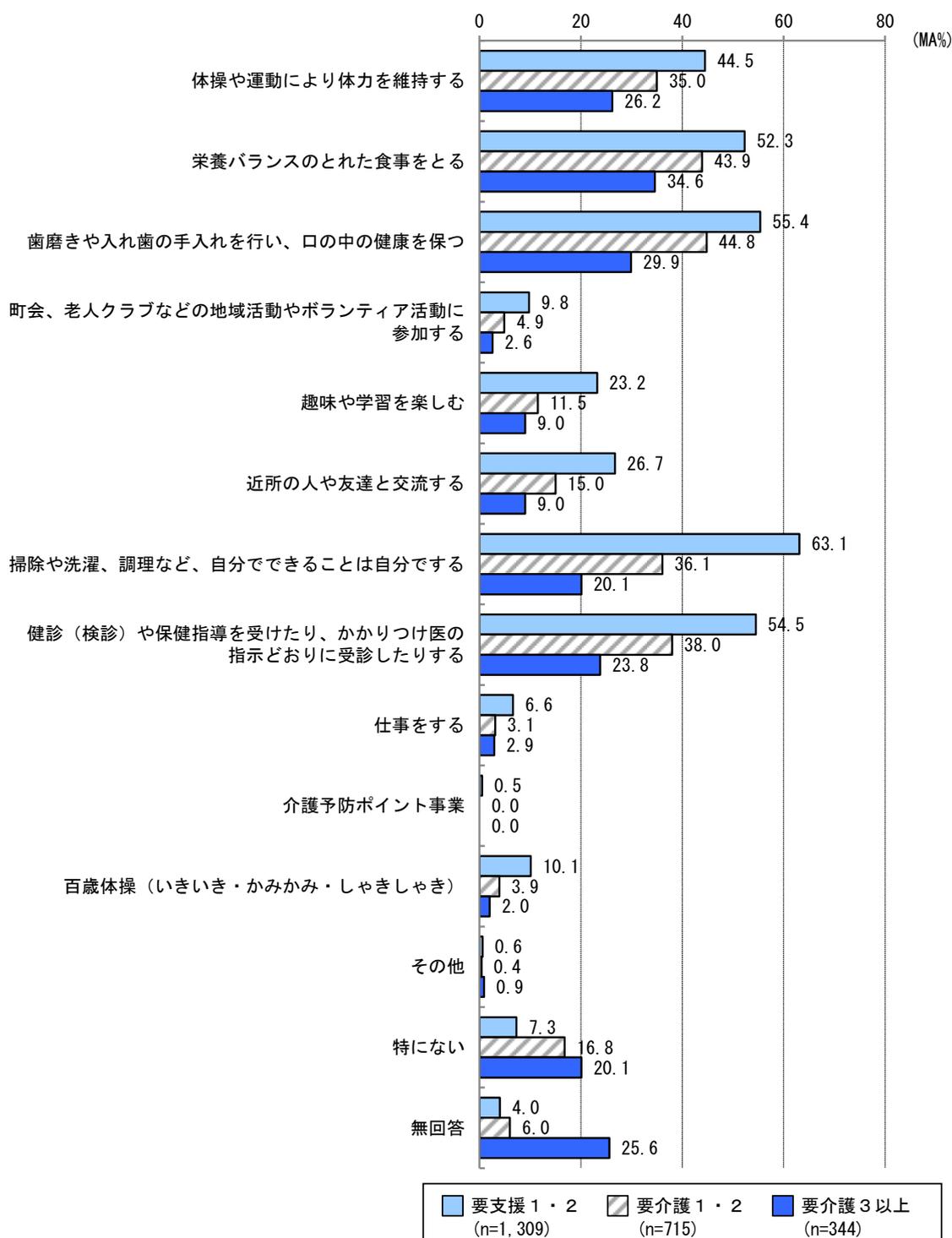
\* 前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、いずれの項目の割合は、重度になるほど概ね低くなっている。(問21①-c)

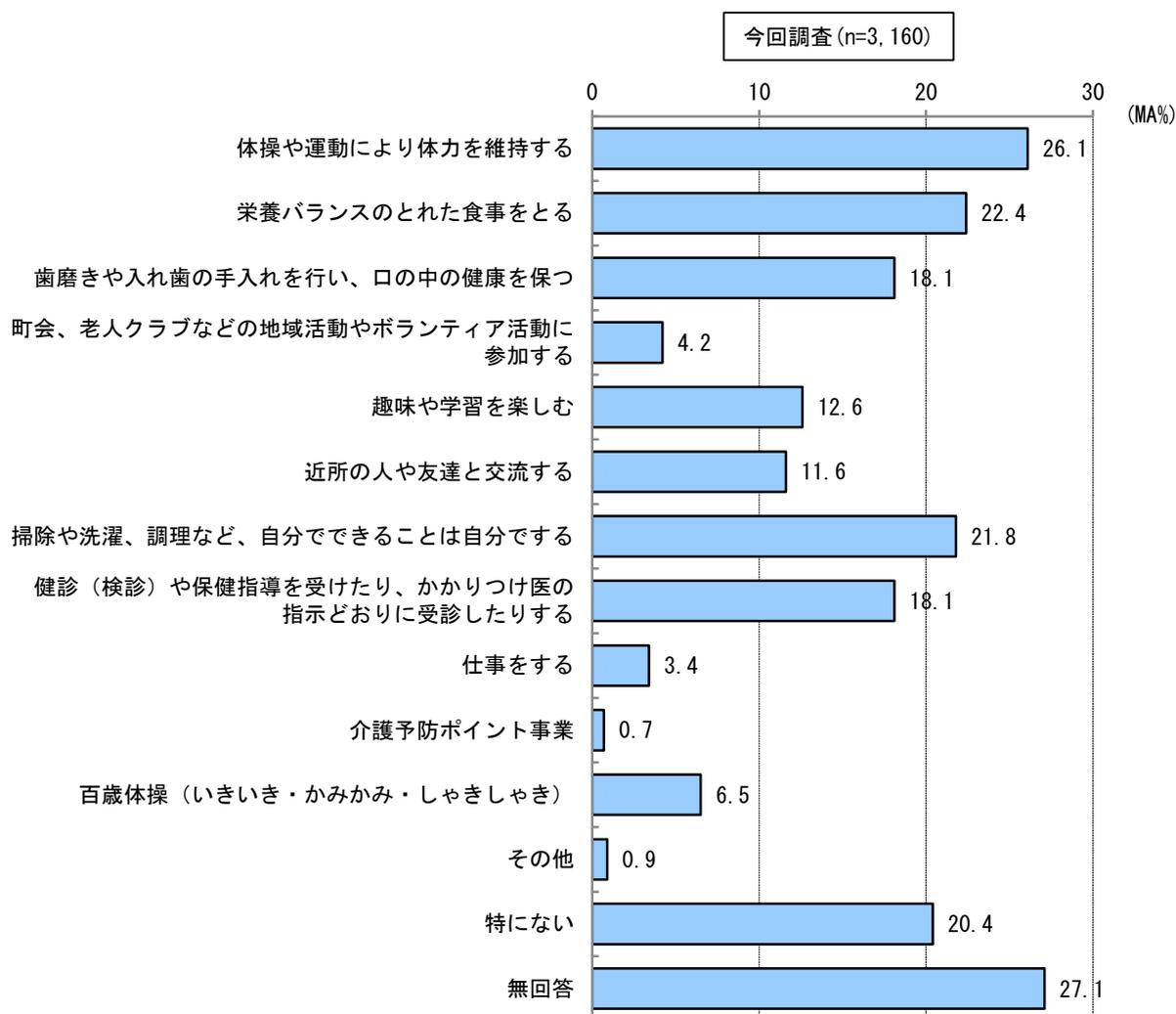
【問21①-c 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること (要介護度別)】



② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことは、「体操や運動により体力を維持する」の割合が26.1%で最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が22.4%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が21.8%となっている。(問21②)

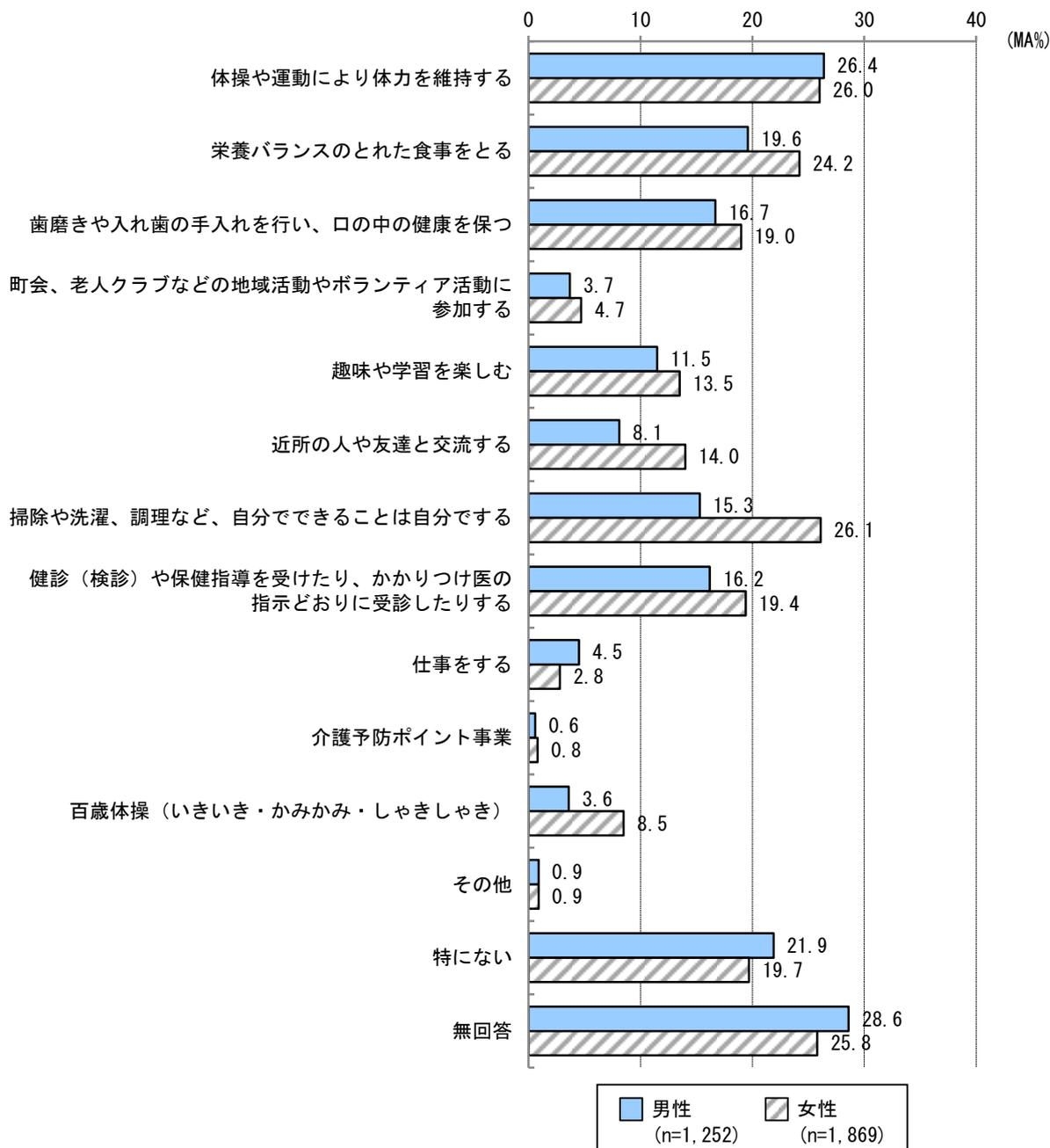
【問21② 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の性別では、男性は「体操や運動により体力を維持する」の割合が26.4%で最も高くなっている。女性は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が26.1%で最も高く、男性より10.8ポイント上回っている。(問21②-a)

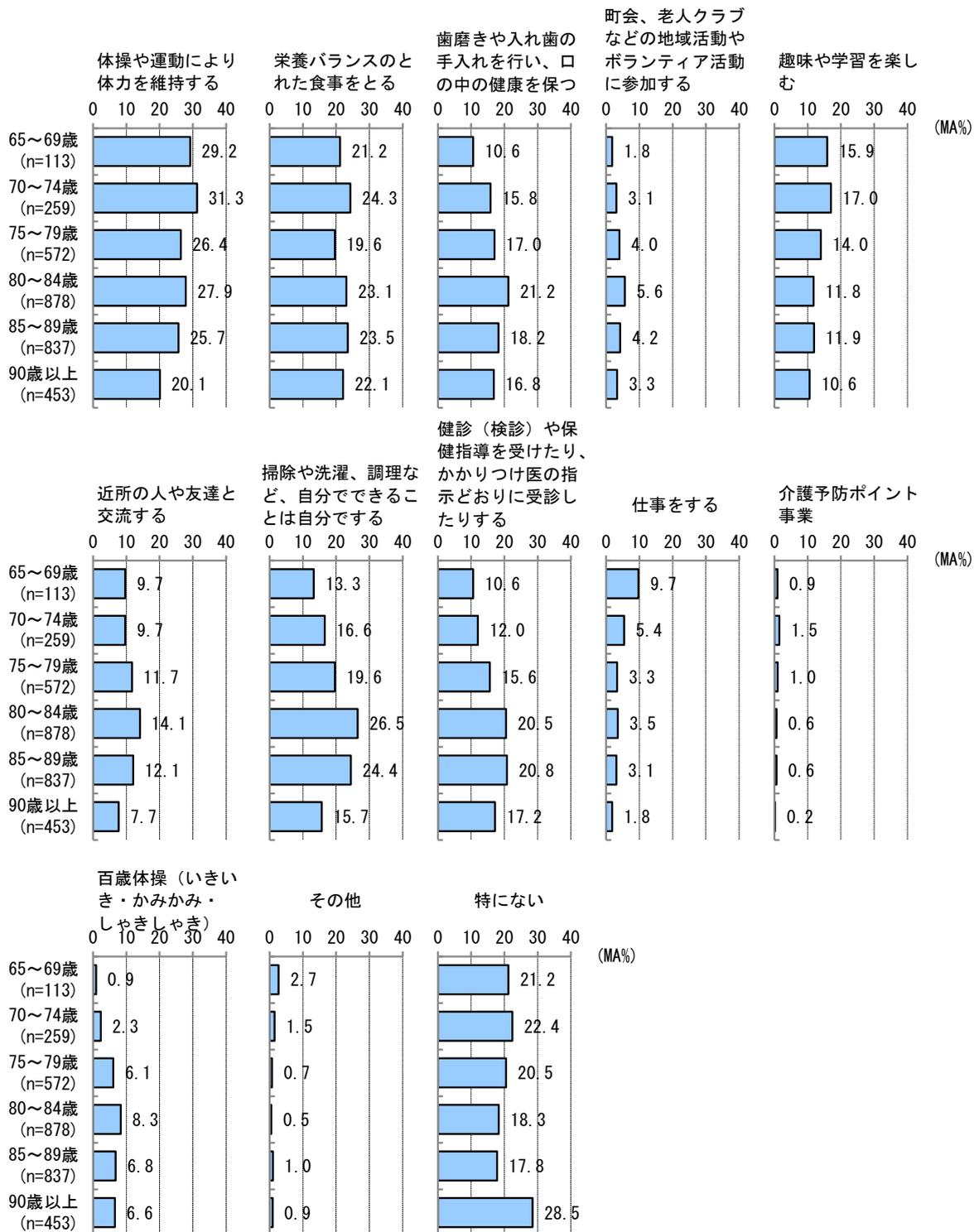
【問21②-a 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと(本人の性別)】



【介護保険サービス未利用者調査】

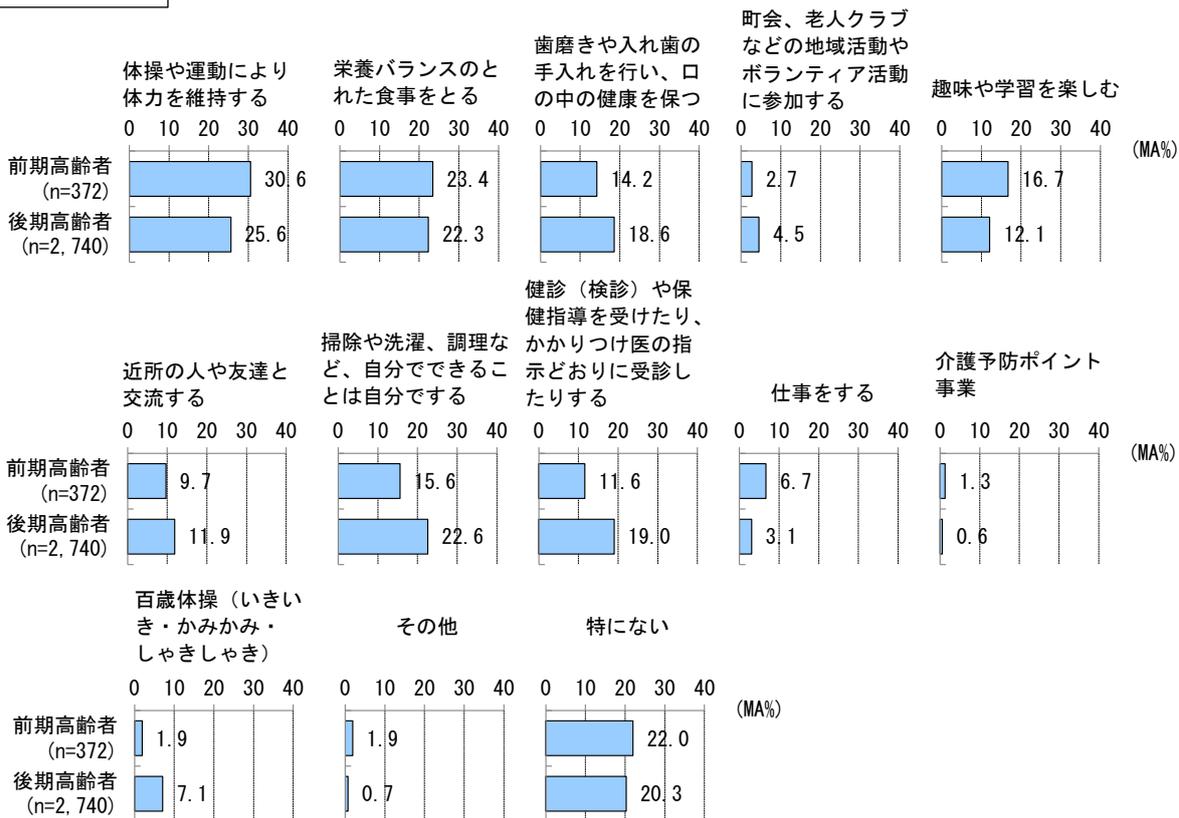
本人の年齢別では、65～89歳の年代は「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高く、90歳以上は「栄養バランスのとれた食事をする」の割合が最も高くなっている。(問21②-b)

【問21②-b 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



# 【介護保険サービス未利用者調査】

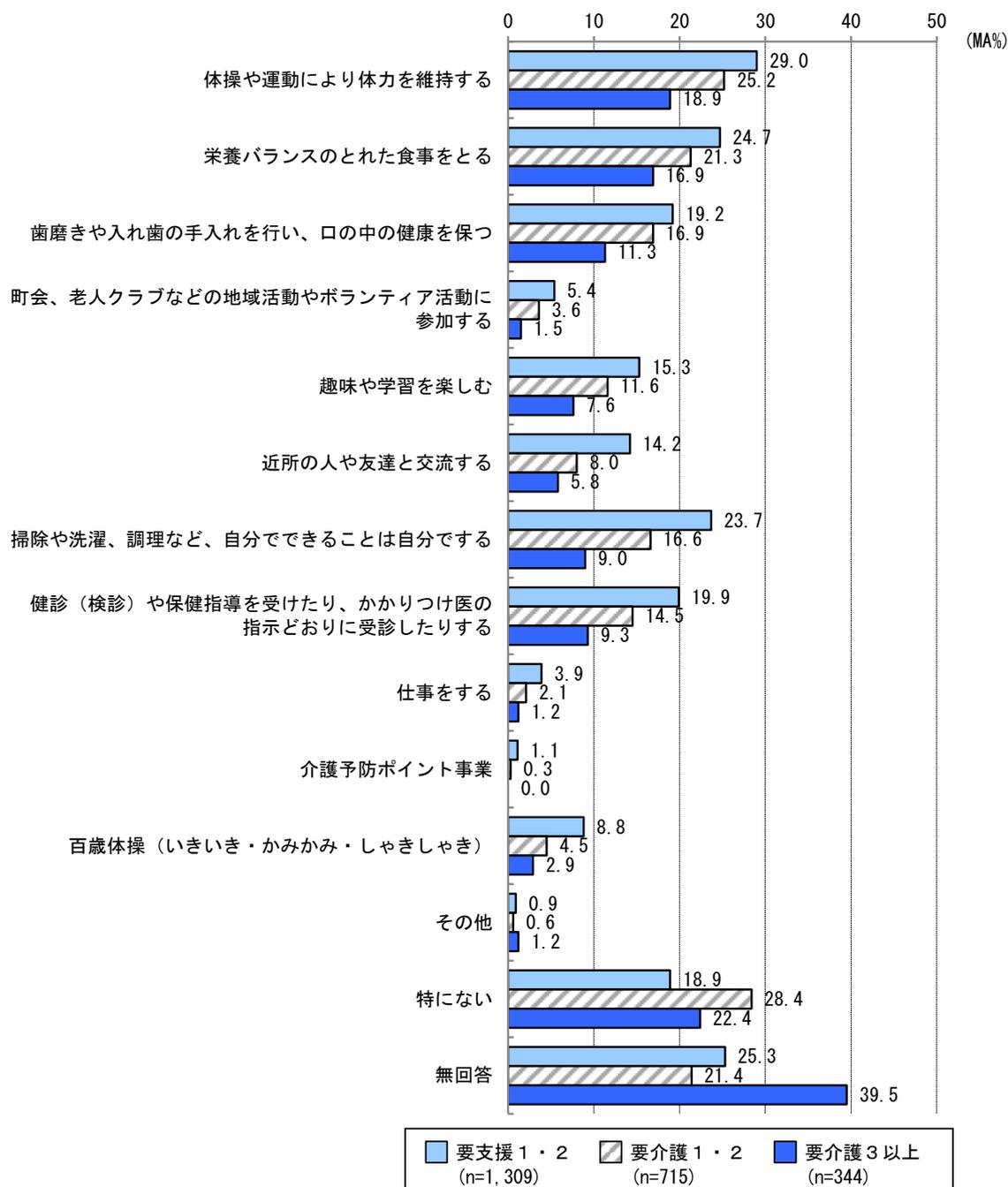
\* 前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。「特にない」の割合は、要介護1・2が28.4%で最も高くなっている。(問21②-c)

【問21②-c 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと (要介護度別)】



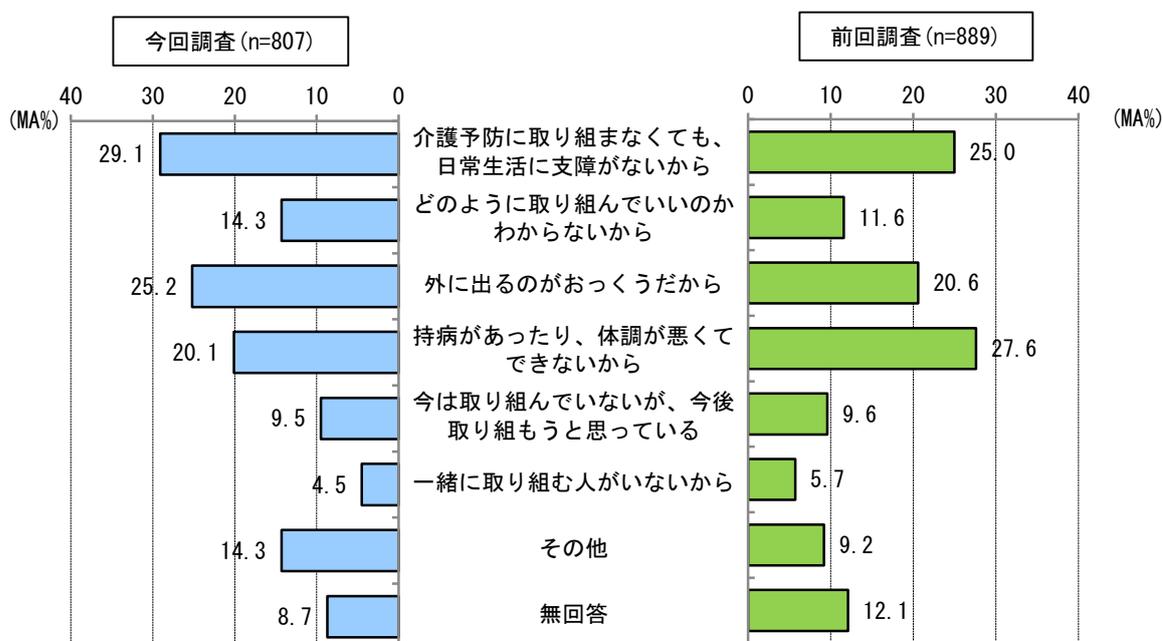
### 問21-1 介護予防の取組に意向がない理由

問21の①または②で「13 特にない」と回答された方におうかがいします。  
 あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が29.1%で最も高く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が25.2%、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が20.1%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が4.1ポイント、「外に出るのがおっくうだから」の割合が4.6ポイント、それぞれ増加し、「持病があったり、体調が悪くてできないから」は7.5ポイント減少している。(問21-1)

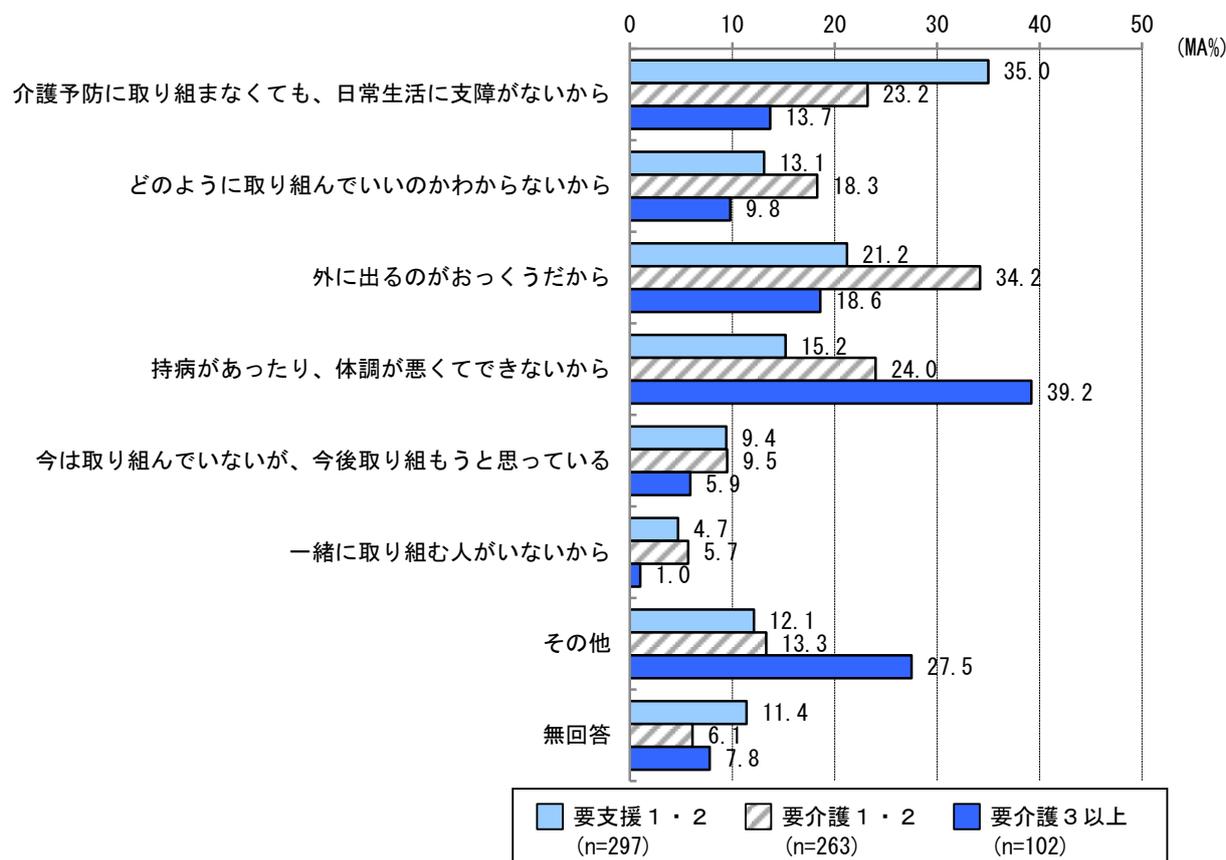
【問21-1 介護予防の取組に意向がない理由（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、要介護1・2は「外に出るのがおっくうだから」の各割合が最も高い。要介護3以上は「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が最も高くなっている。(問21-1-a)

【問21-1-a 介護予防の取組に意向がない理由（要介護度別）】



(7) 健康状態

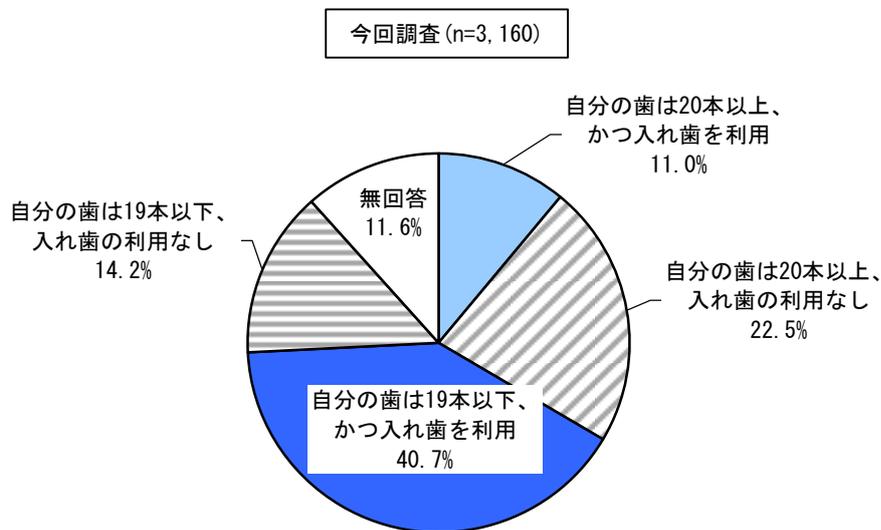
問22 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が40.7%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が22.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が14.2%となっている。

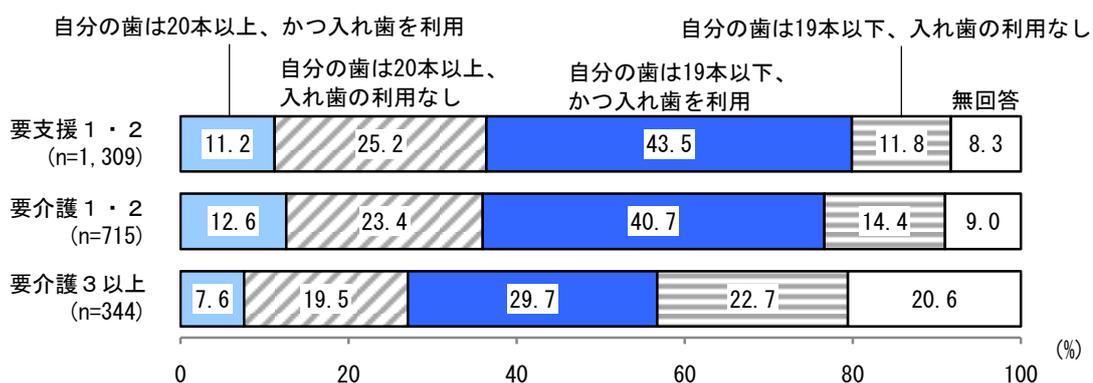
「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(11.0%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」をあわせた『入れ歯を利用』の割合は51.7%となっている。(問22)

【問22 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別では、『入れ歯を利用』の割合は要支援1・2が最も高く、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問22-a)

【問22-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】

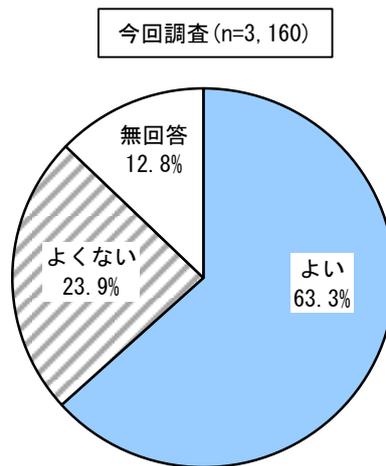


問22-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(○はひとつ)

かみ合わせについて、「よい」が63.3%に対し、「よくない」は23.9%となっている。(問22-1)

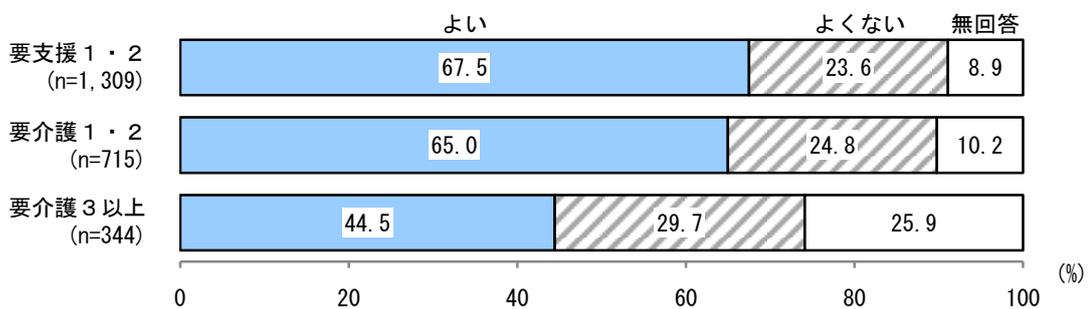
【問22-1 かみ合わせ】



※「はい」→「よい」、「いいえ」→「よくない」に変更

要介護度別では、かみ合わせが「よい」の割合は要支援1・2が67.5%で最も高く、要介護度が重度になるほど減少している。(問22-1-a)

【問22-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

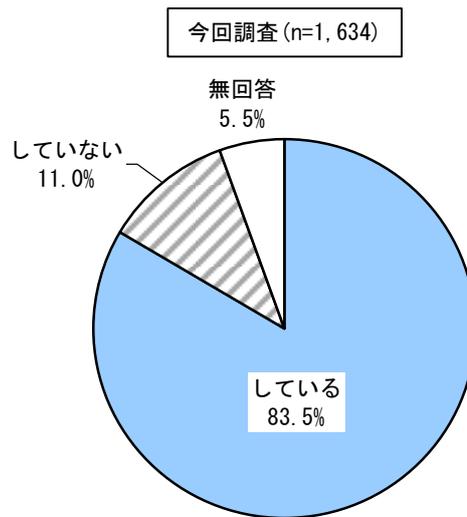


## 問22-2 入れ歯の手入れ

問22で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。  
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れの有無をたずねると、「している」が83.5%に対し、「していない」が11.0%となっている。(問22-2)

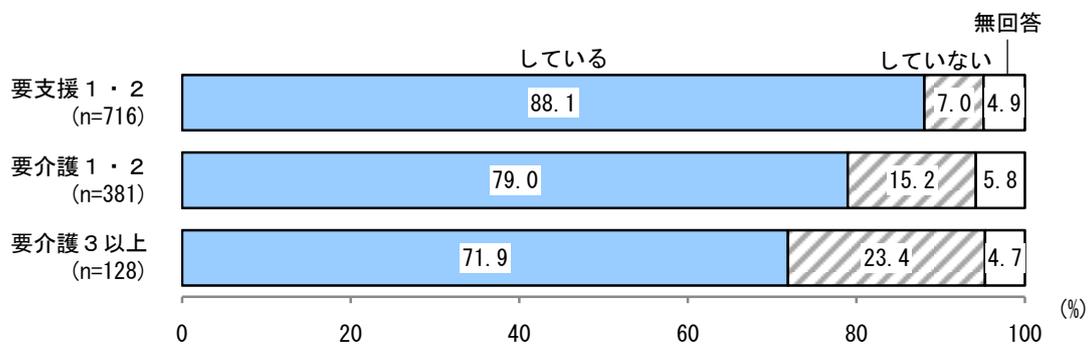
【問22-2 入れ歯の手入れ】



※「はい」→「している」、「いいえ」→「していない」に変更

要介護度別では、入れ歯の手入れを「している」の割合は、要支援1・2が88.1%で最も高く、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問22-2-a)

【問22-2-a 入れ歯の手入れ (要介護度別)】

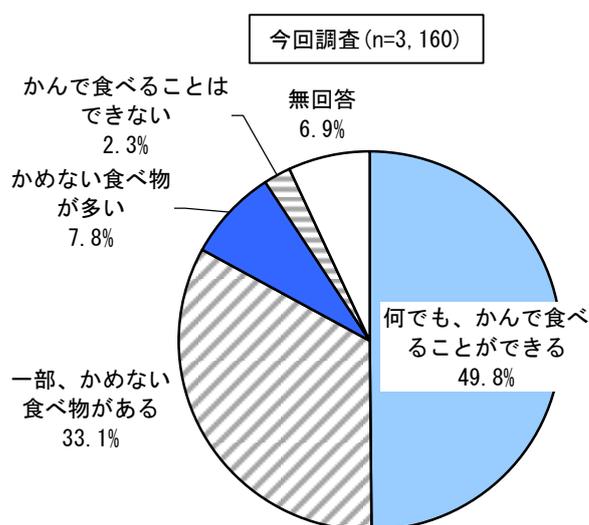


## 問23 かねで食べることの可否

あなたがかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

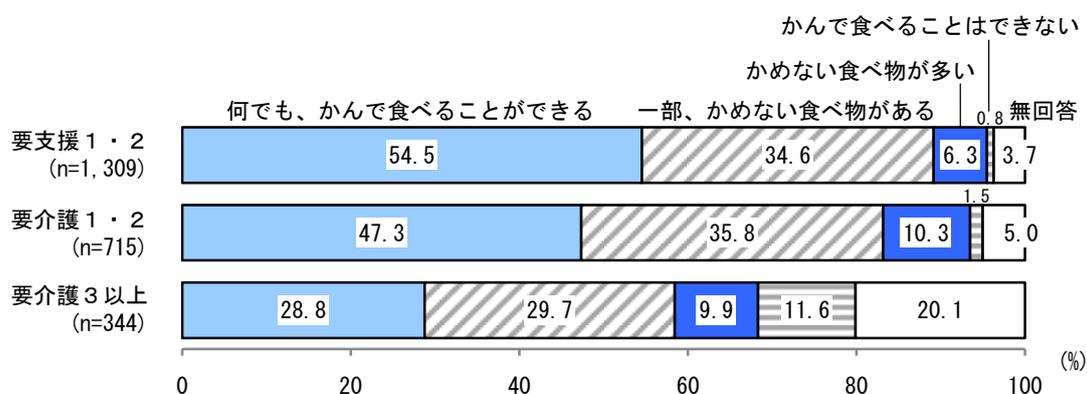
かねで食べる時の状態は、「何でも、かねで食べることができる」が49.8%、「一部、かめない食べ物がある」が33.1%、「かめない食べ物が多い」が7.8%となっている。(問23)

【問23 かねで食べることの可否】



要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「何でも、かねで食べることができる」の割合が最も高くなっている。要介護3以上では「一部、かめない食べ物がある」の割合が最も高くなっている。(問23-a)

【問23-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

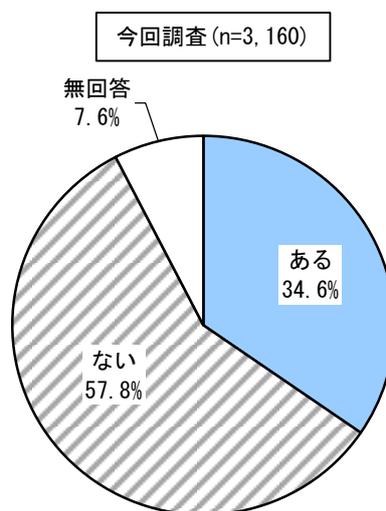


## 問24 お茶や汁物等でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

お茶や汁物等でむせることが「ある」は34.6%に対し、「ない」は57.8%となっている。  
(問24)

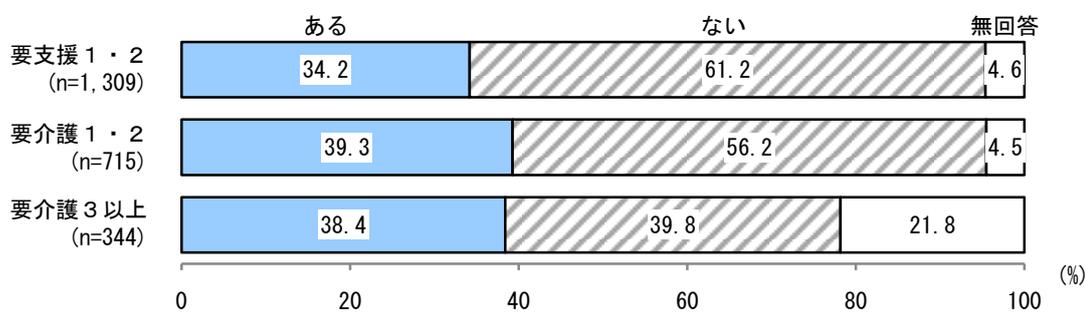
【問24 お茶や汁物でむせること】



※「はい」→「ある」、「いいえ」→「ない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「ない」の割合が高く、「ある」の割合は要介護1・2が39.3%で最も高くなっている。(問24-a)

【問24-a お茶や汁物でむせること (要介護度別)】

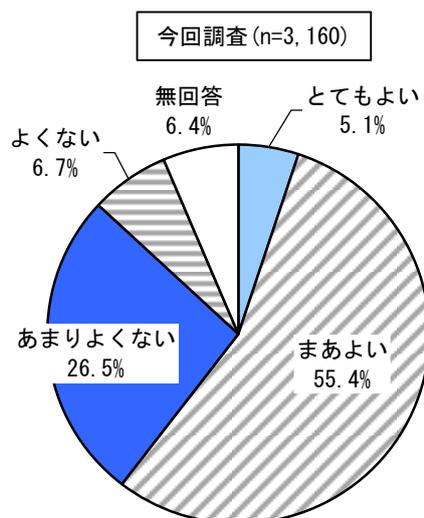


## 問25 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

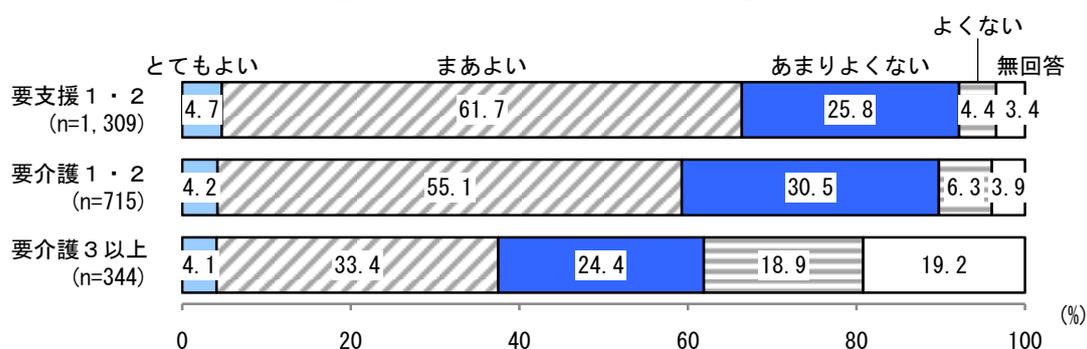
現在の健康状態は、「まあよい」の割合が55.4%で最も高く、次いで「あまりよくない」が26.5%、「よくない」が6.7%となっている。「とてもよい」(5.1%)と「まあよい」を合わせた『よい』割合は60.5%となっている。(問25)

【問25 健康状態】



要介護度別では、『よい』の割合は要介護1・2が66.4%で最も高く、要介護度が重度になるほどその割合が低くなっている。(問25-a)

【問25-a 健康状態 (要介護度別)】



(8) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

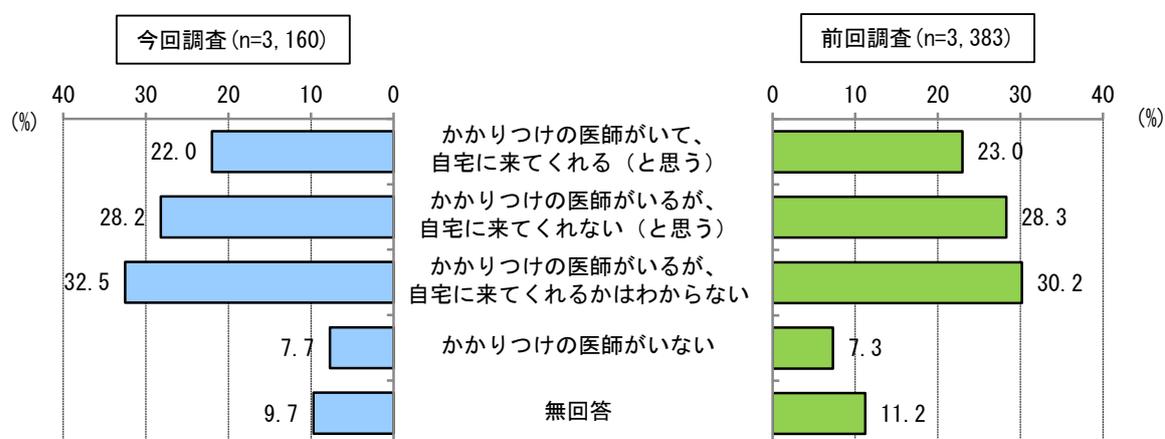
問26 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療について、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が32.5%で最も高く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が28.2%、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」が22.0%となっている。

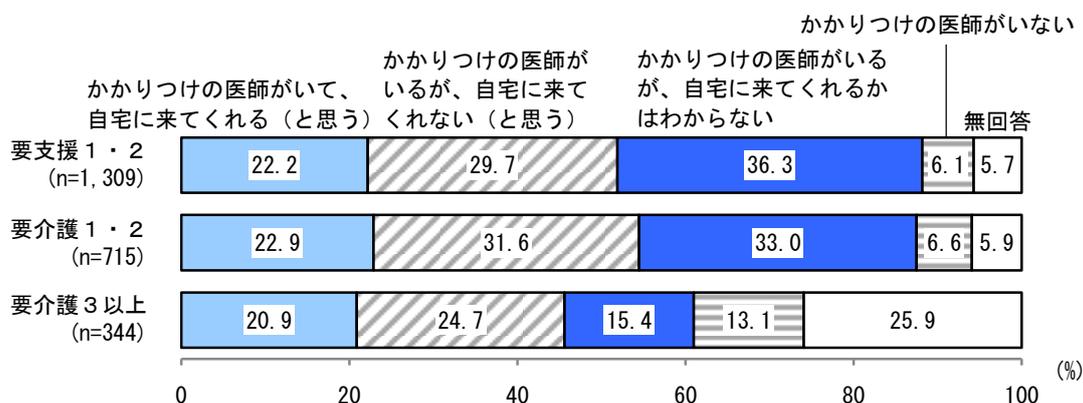
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問26)

【問26 かかりつけの医師の訪問診療の有無(経年比較)】



要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が最も高い。要介護3以上は「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」の割合が最も高くなっている。(問26-a)

【問26-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】



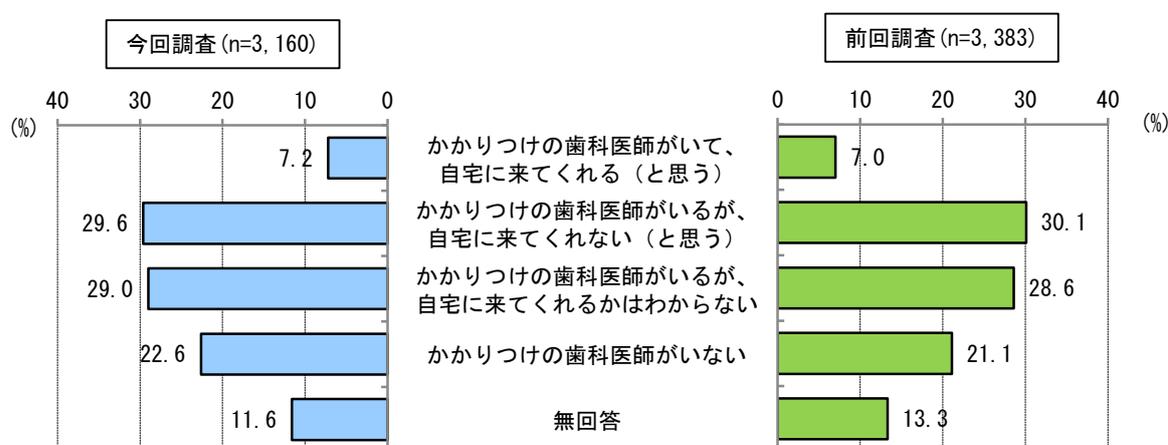
## 問27 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療について、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」の割合が29.6%で最も高く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が29.0%、「かかりつけの歯科医師がいない」が22.6%となっている。

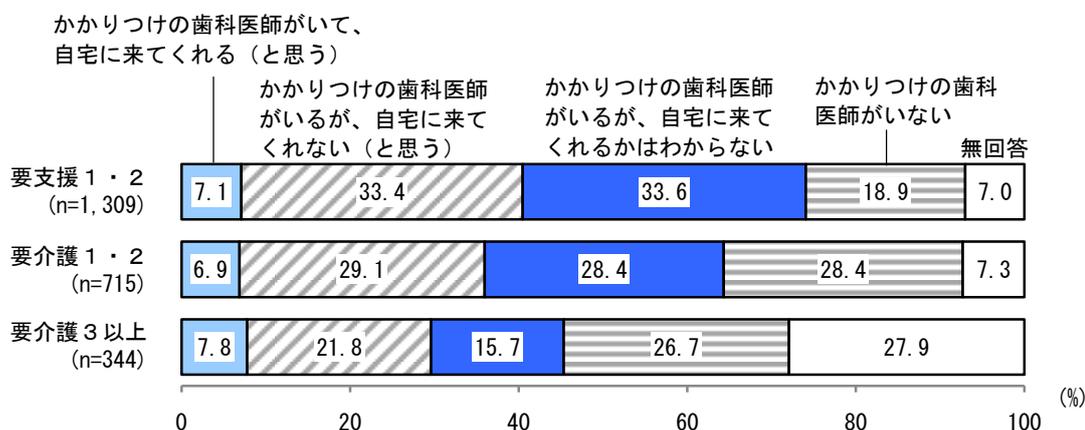
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問27)

【問27 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無 (経年比較)】



要介護度別では、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」と「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の各割合は要支援1・2で最も高く、重度になるほど低くなっている。(問27-a)

【問27-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無 (要介護度別)】



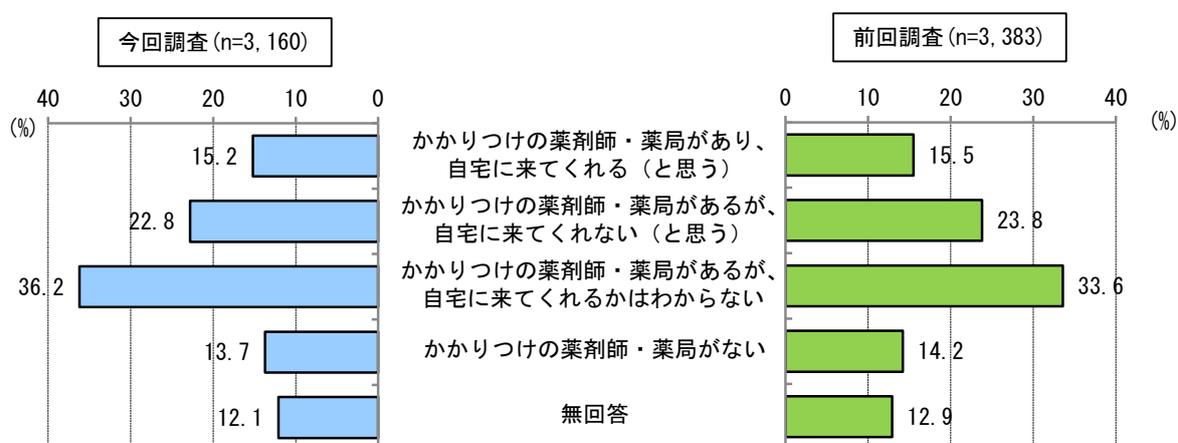
## 問28 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問について、「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が36.2%で最も高く、次いで「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）」が22.8%、「かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる（と思う）」が15.2%となっている。

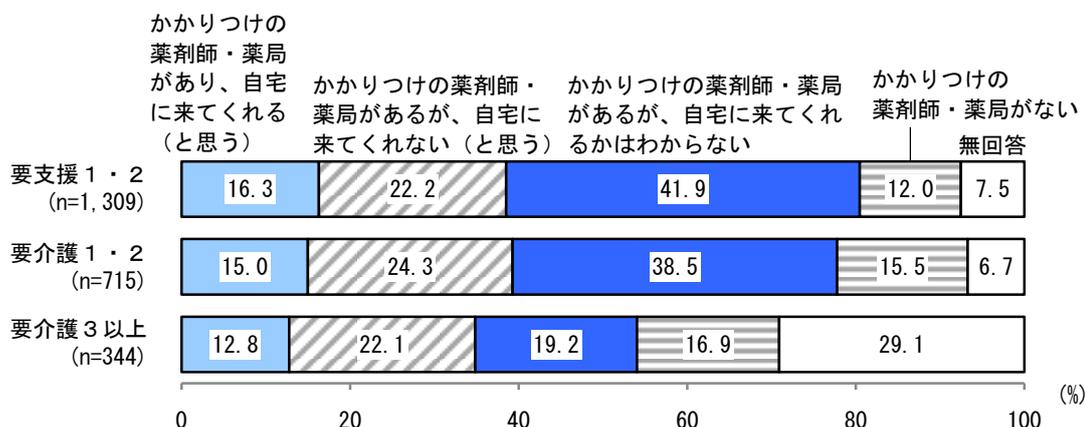
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問28）

【問28 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（経年比較）】



要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が最も高い。要介護3以上では「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）」の割合が最も高くなっている。（問28-a）

【問28-a かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（要介護度別）】



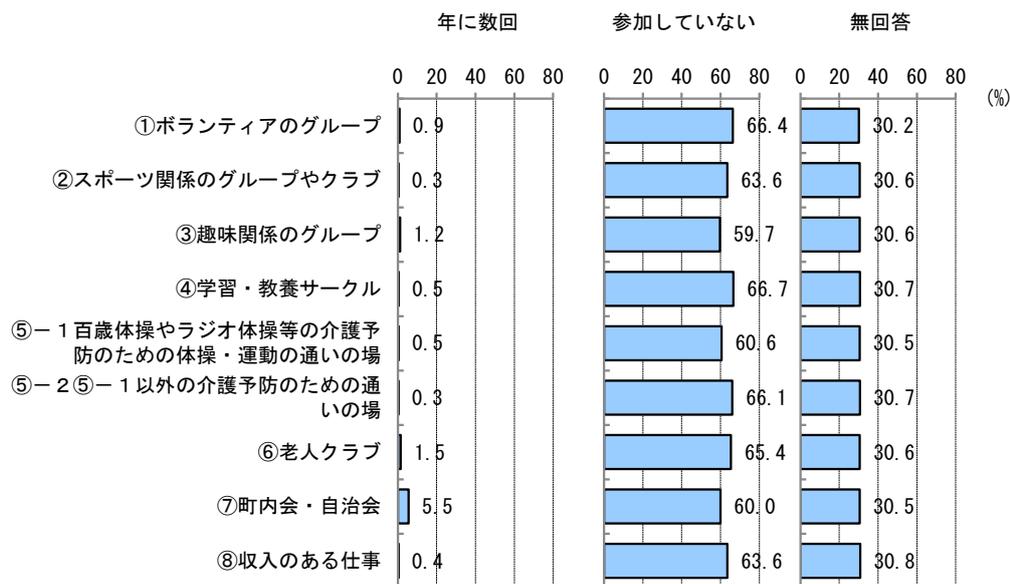
(9) 地域活動

問29 地域の会・グループ等への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)  
 ①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。  
 いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。  
 参加している会・グループ等では、「週1回」の割合は、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”が3.4%で最も高く、「月1～3回」の割合は、“③趣味関係のグループ”が4.3%で最も高くなっている。(問29)

【問29 地域の会・グループ等への参加頻度】

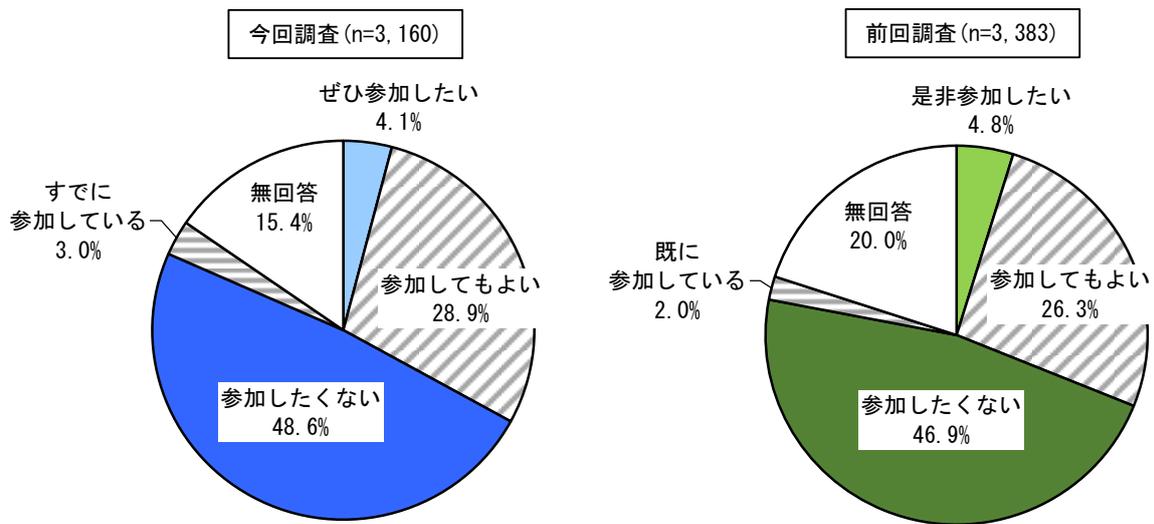


問29-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

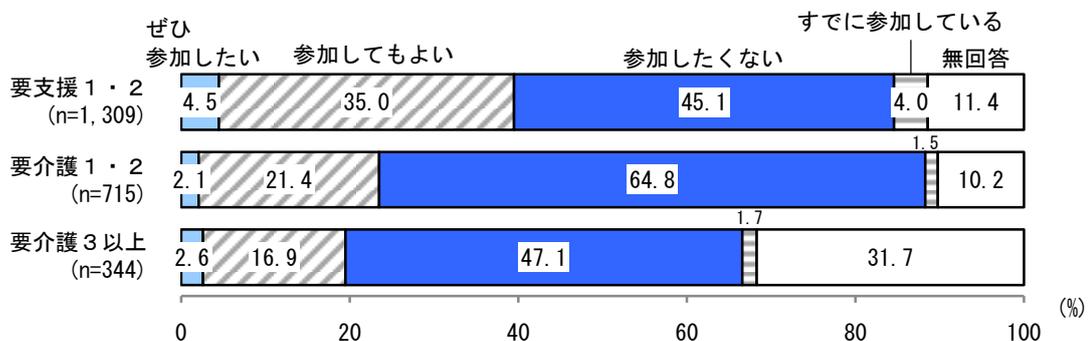
地域づくり活動に参加者としての参加意向について、「参加したくない」の割合が48.6%で最も高く、次いで「参加してもよい」が28.9%、「ぜひ参加したい」が4.1%となっている。前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問29-1)

【問29-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (経年比較)】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「参加したくない」の割合が最も高く、その中でも要介護1・2が64.8%で最も高くなっている。(問29-1-a)

【問29-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】



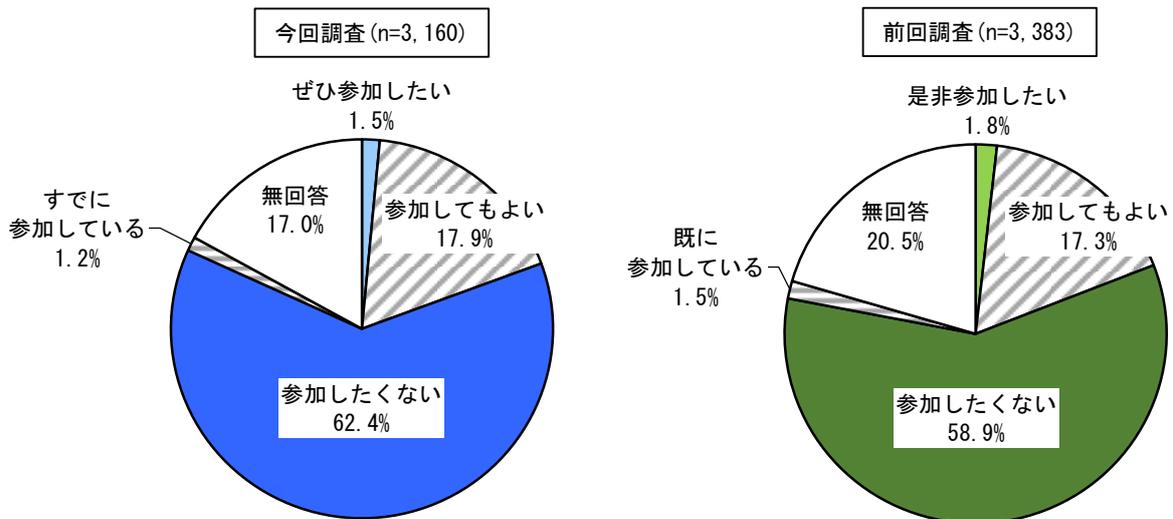
問29-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向について、「参加したくない」の割合が62.4%で最も高く、次いで「参加してもよい」が17.9%となっている。

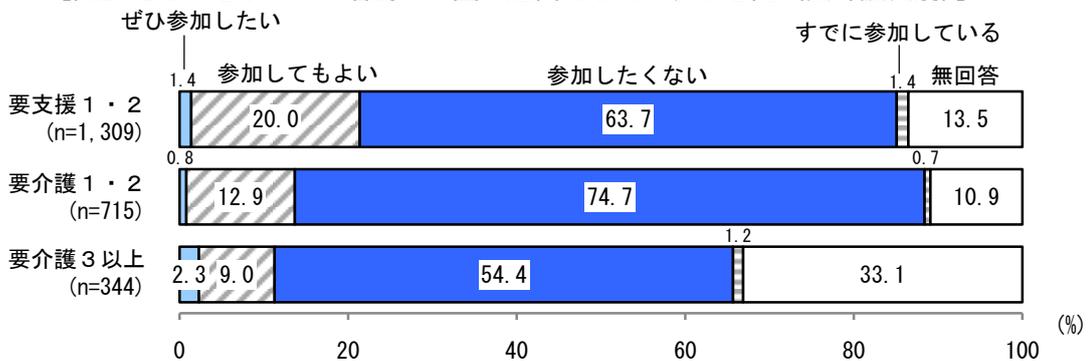
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問29-2）

【問29-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「参加したくない」の割合が5割以上を占めている。これに対し、「参加してもよい」の割合は要支援1・2で最も高くなっている。（問29-2-a）

【問29-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



## (10) 認知症

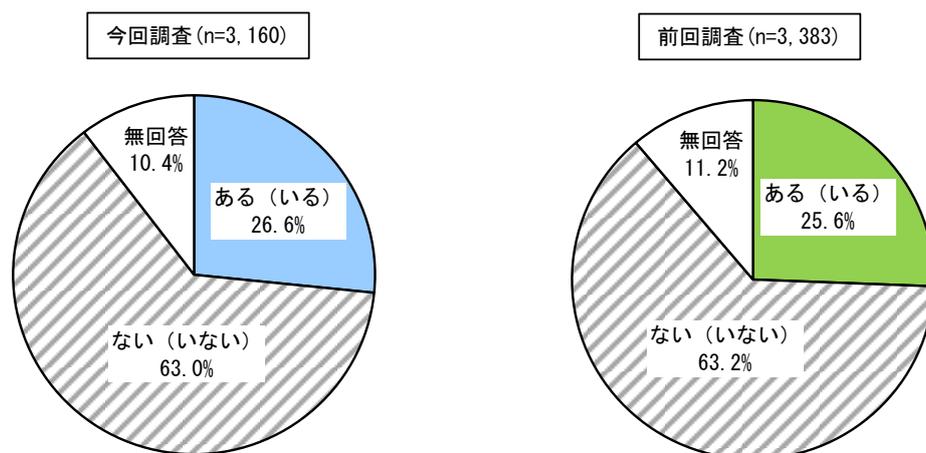
### 問30 認知症状の有無

認知症の症状（もの忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人について、「ある（いる）」が26.6%に対し、「ない（いない）」は63.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問30）

【問30 認知症状の有無（経年比較）】

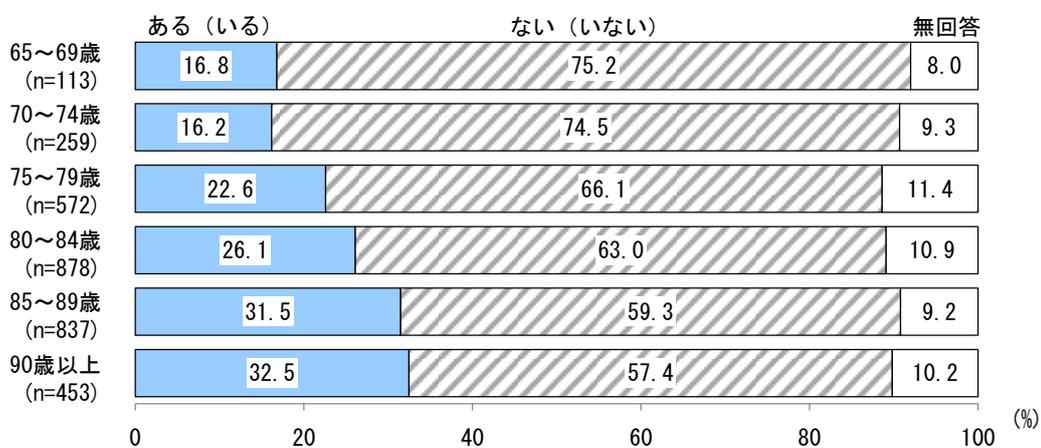


※ 「はい」 → 「ある（いる）」、「いいえ」 → 「ない（いない）」に変更

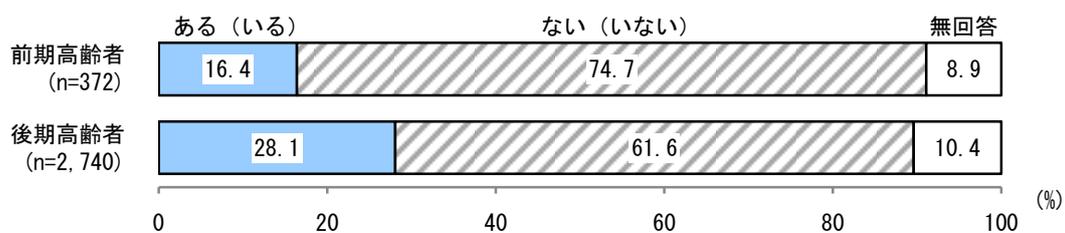
【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別では、「ある（いる）」の割合は90歳以上が32.5%で最も高く、次いで85～89歳の31.5%となっている。（問30-a）

【問30-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



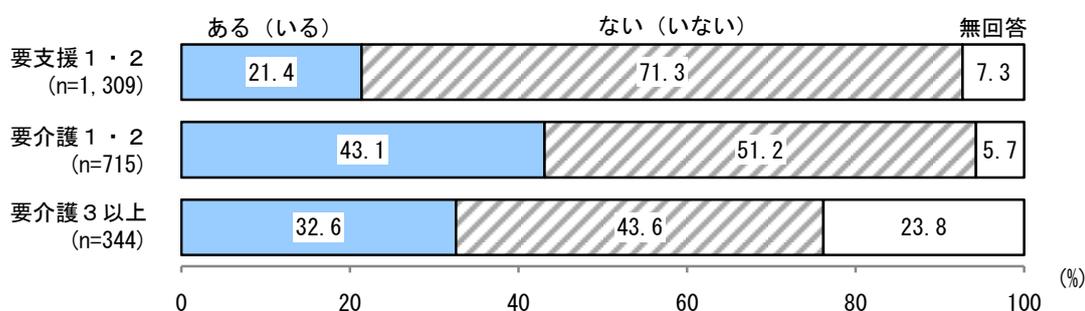
\*前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

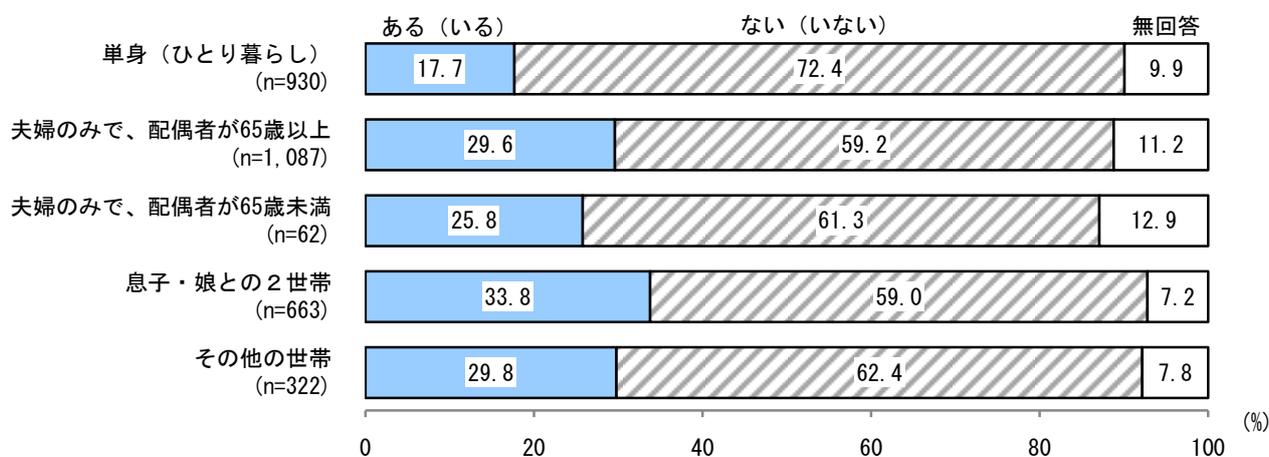
要介護度別では、「ある（いる）」の割合は要介護1・2が43.1%で最も高く、次いで要介護3以上が32.6%となっている。（問30-b）

【問30-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別では、「ある（いる）」の割合は息子・娘との2世帯の世帯が33.8%で最も高く、次いでその他の世帯が29.8%となっている。（問30-c）

【問30-c 認知症状の有無（世帯状況別）】



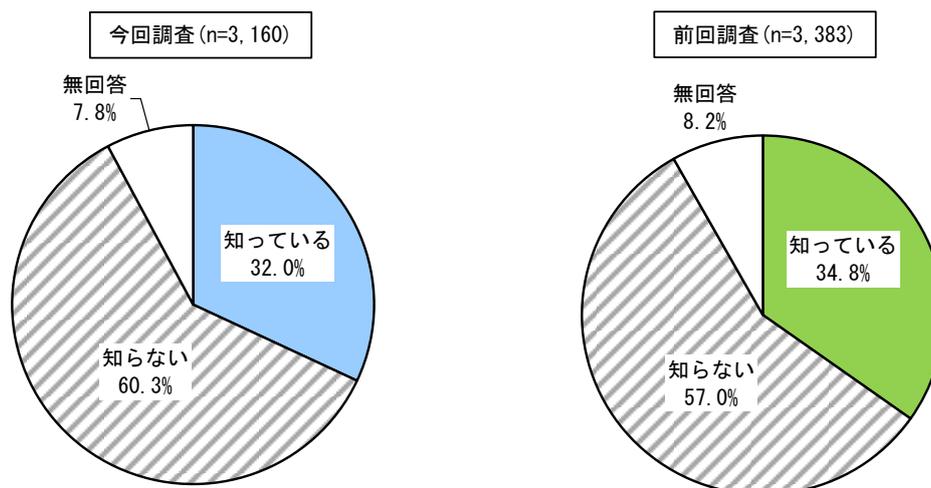
### 問30-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

認知症に関する相談窓口を「知っている」が32.0%に対し、「知らない」は60.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合が2.8ポイント減少し、「知らない」の割合が3.3ポイント増加している。(問30-1)

【問30-1 認知症に関する相談窓口の認知度（経年比較）】

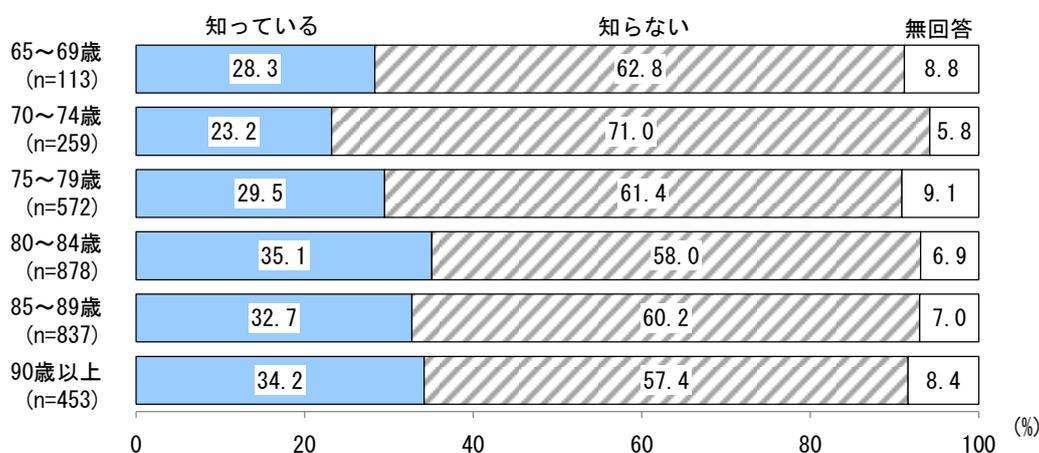


※ 「はい」 → 「知っている」、「いいえ」 → 「知らない」に変更

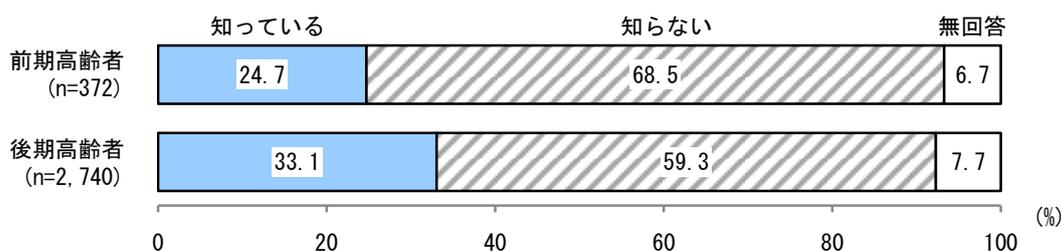
【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別では、「知っている」の割合は80～84歳が35.1%で最も高く、次いで90歳以上が34.2%、85～89歳が32.7%となっている。（問30-1-a）

【問30-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】

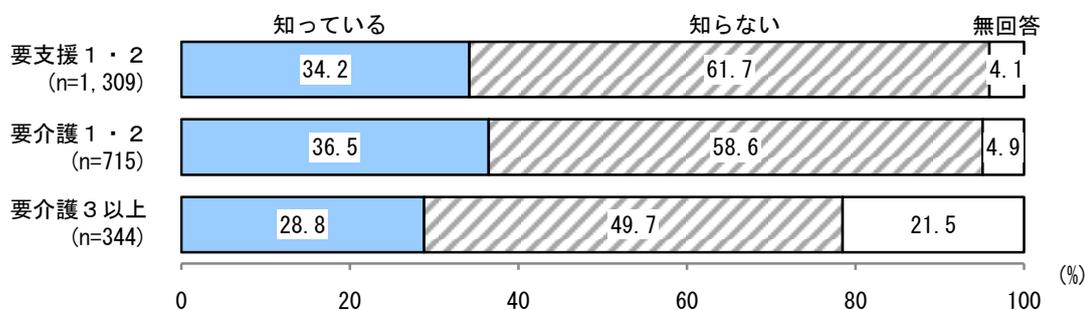


\*前期・後期別



要介護度別では、「知っている」の割合は要介護1・2が36.5%で最も高く、次いで要支援1・2が34.2%となっている。（問30-1-b）

【問30-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



## 問30-2 知っている認知症に関する相談窓口

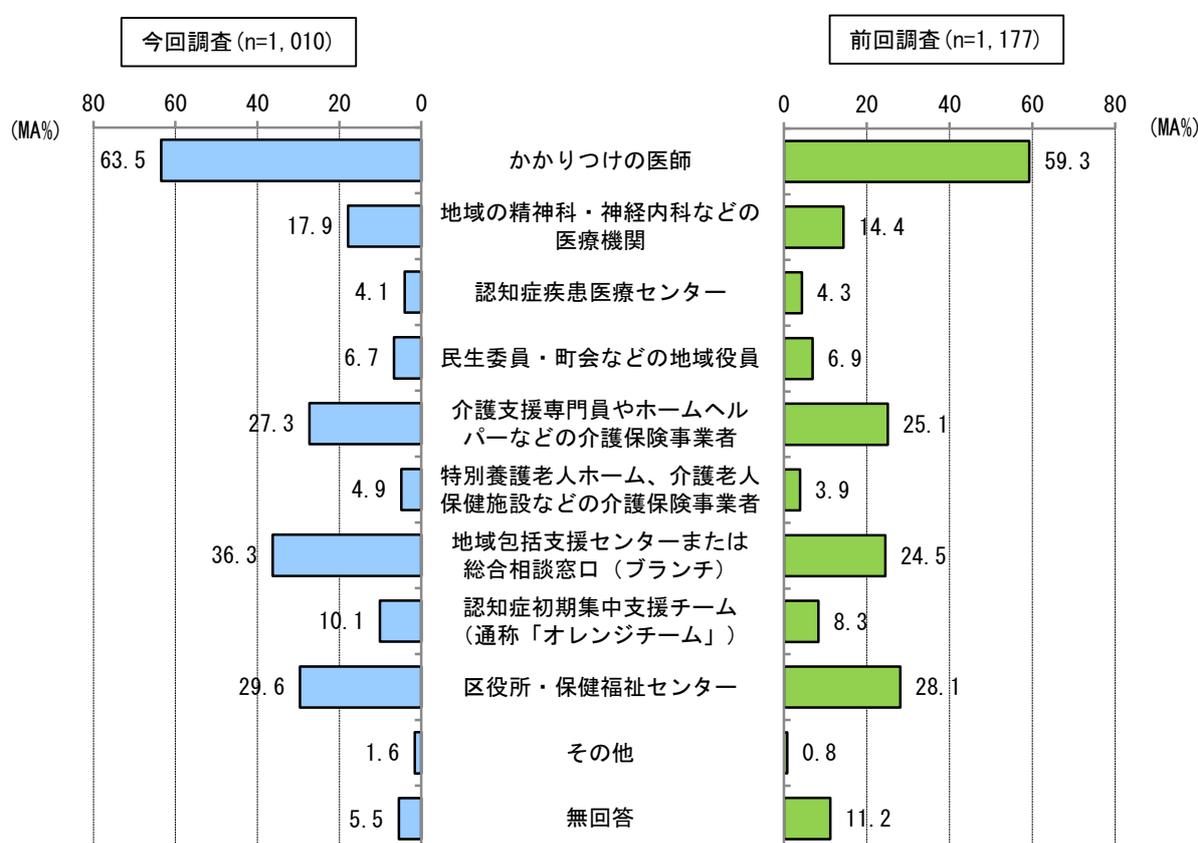
問30-2と問30-3は、問30-1で「1 はい」（認知症に関する相談窓口を知っている）と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。（〇はいくつでも）

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」の割合が63.5%で最も高く、次いで「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が36.3%、「区役所・保健福祉センター」が29.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位5項目の各割合は増加し、特に「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」は11.8ポイントと他に比べ大きく増加している。（問30-2）

【問30-2 知っている認知症に関する相談窓口（経年比較）】



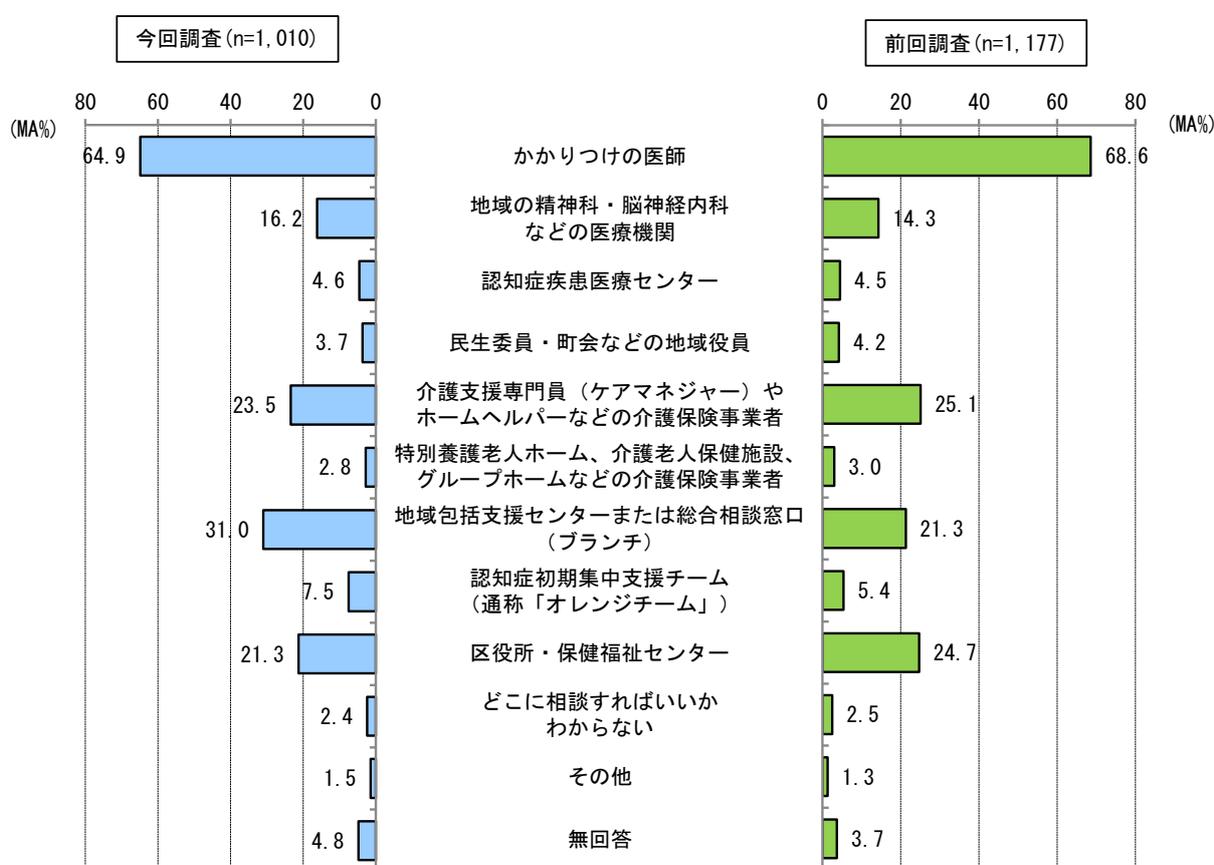
### 問30-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じる時は、どちらに相談されますか。(〇はいくつでも)

認知症についての相談先は、「かかりつけの医師」の割合が64.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が31.0%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が23.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」の割合が9.7ポイント増加している。(問30-3)

【問30-3 認知症についての相談先（経年比較）】



(11) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

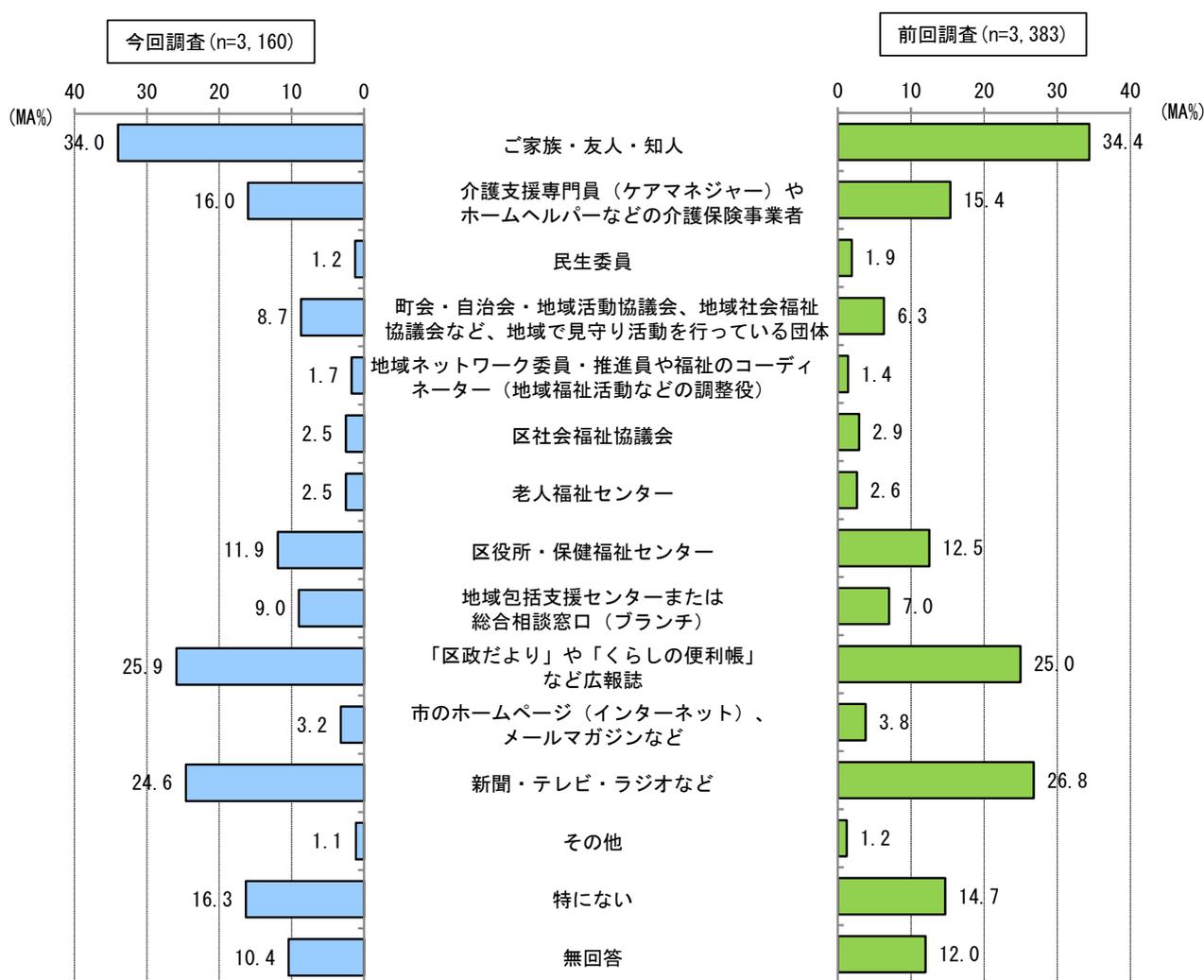
問31 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源は、「ご家族・友人・知人」の割合が34.0%で最も高く、次いで「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌が25.9%、「新聞・テレビ・ラジオなど」が24.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問31)

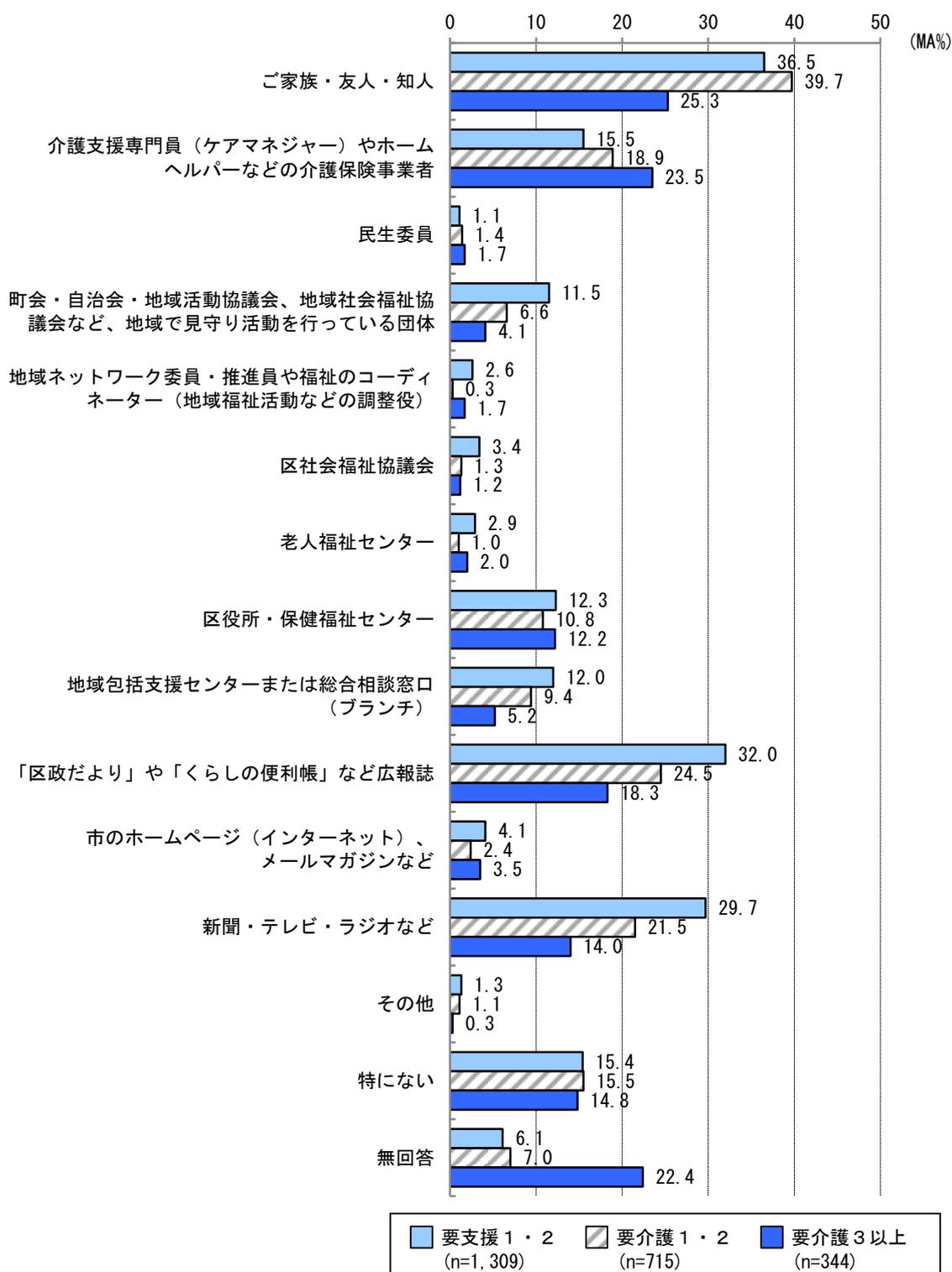
【問31 高齢者向けサービスの情報源（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「ご家族・友人・知人」の割合が最も高く、特に要介護1・2が39.7%で最も高くなっている。また、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」と「民生委員」の各割合は重度になるほど高くなっている。（問31-a）

【問31-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】



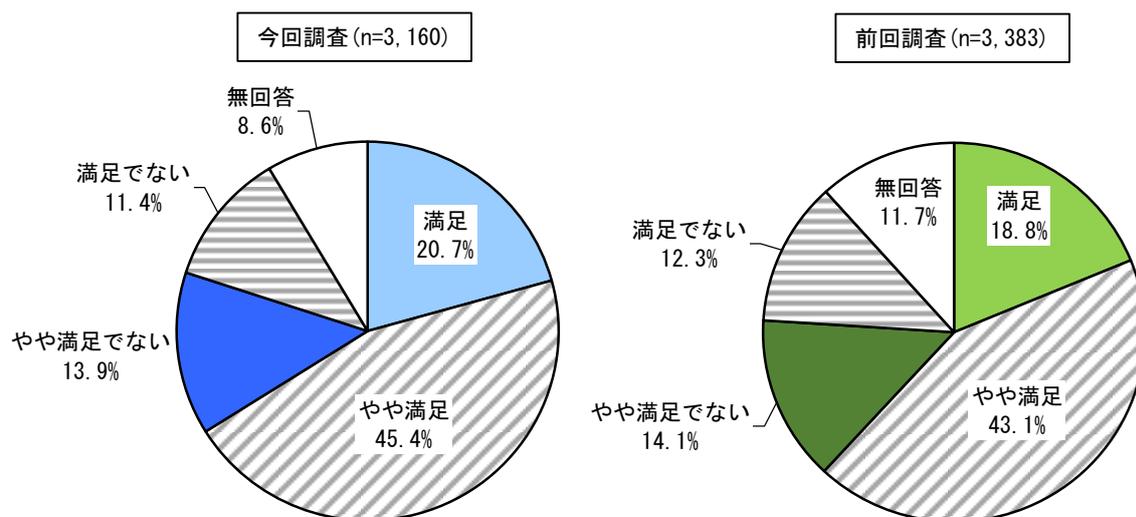
### 問32 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

現在の生活について、「やや満足」の割合が45.4%で最も高く、次いで「満足」が20.7%、「やや満足でない」が13.9%となっており、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）は66.1%となっている。

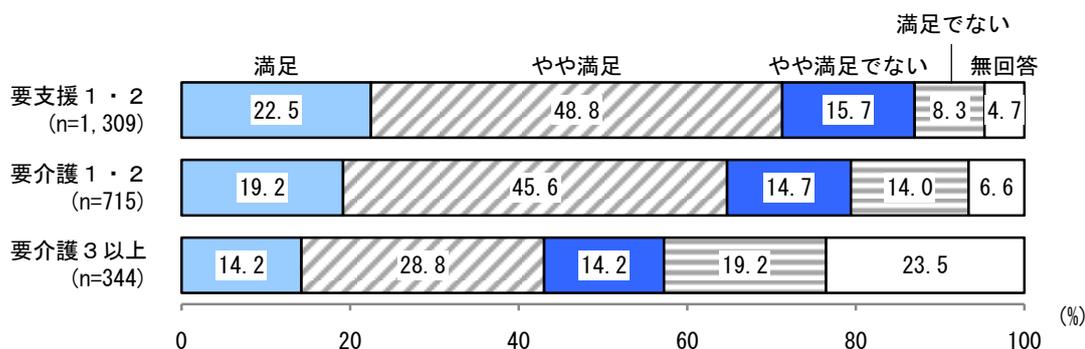
前回調査の結果に比べ、『満足』の割合は4.2ポイント増加している。(問32)

【問32 現在の生活の満足度（経年比較）】



要介護度別では、『満足』の割合は要支援1・2、要介護1・2で6～7割を占めており、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問32-a)

【問32-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



## (12) 介護保険制度についての意見・要望等

### 問33 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述)

介護保険制度について、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

331人から意見があり、延べ358件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《自身の現状についての意見》(86件)

- ・自分・家族の現状や将来に不安がある、心配がある。
- ・老々介護をしている。
- ・現状必要ない・利用していないのでわからない、知識がない。
- ・今後介護保険制度を利用すると思う。

##### 《介護保険制度に関する意見》(75件)

- ・制度の仕組みや利用方法を理解できていない。
- ・もっと説明・情報提供してほしい。
- ・制度は有難い。感謝している。今のままで良い。
- ・適正な利用を促してほしい。
- ・家族介護の支援を充実させてほしい。

##### 《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(74件)

- ・介護保険料や利用料が高い。収入(年金)が少なく、希望するサービスが利用できない。
- ・利用料金について納得がいかない。よくわからない。
- ・介護保険料に見合ったサービスが受けられるようにしてほしい。

##### 《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(52件)

- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満である。
- ・要支援でも利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・入院中・退院後に状況に応じた介護保険サービスを利用したい。
- ・希望する施設にすぐ入所できるようにしてほしい。安価で入所できる施設を増やしてほしい。
- ・施設・包括支援センターが遠い。施設までの交通が不便である。施設の場所がわからない。

##### 《訪問介護(ヘルパー)、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(30件)

- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・待遇改善、人材確保してほしい。
- ・きちんと話を聞いてほしい。コミュニケーションを充実させてほしい。
- ・度々様子を見に来てほしい。

##### 《要介護認定に関する意見》(23件)

- ・要介護認定は平等に判断してほしい。個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい。
- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。

##### 《その他の意見》(18件)

# 介護者調査 編



## 4 介護者調査結果

### (1) 介護者の基本属性

#### 問35[34] 本人との関係

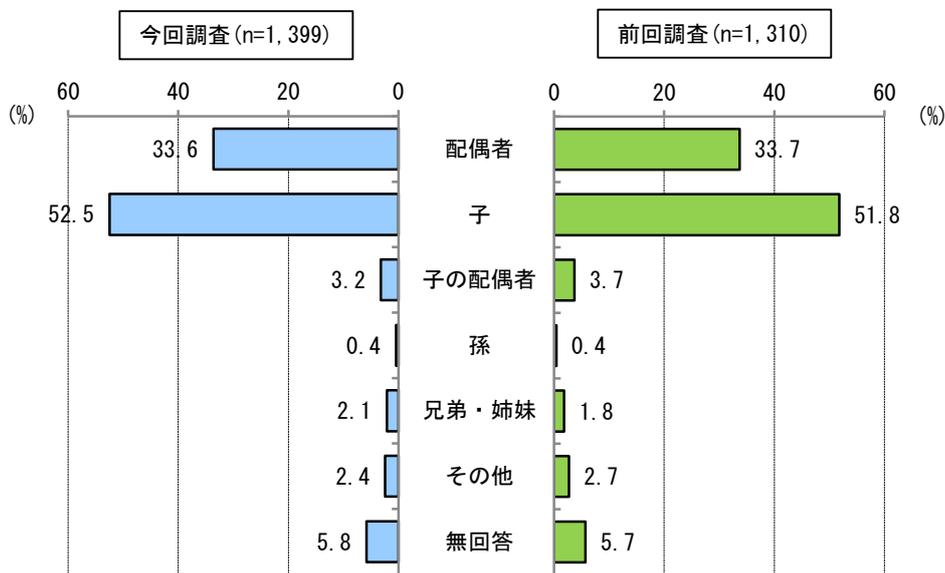
あなたは、ご本人とはどのような関係ですか。(〇はひとつ)

サービス利用者本人との関係は、「子」の割合が52.5%で最も高く、次いで「配偶者」が33.6%、「子の配偶者」が3.2%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問35[34])

#### <A. サービス利用者>

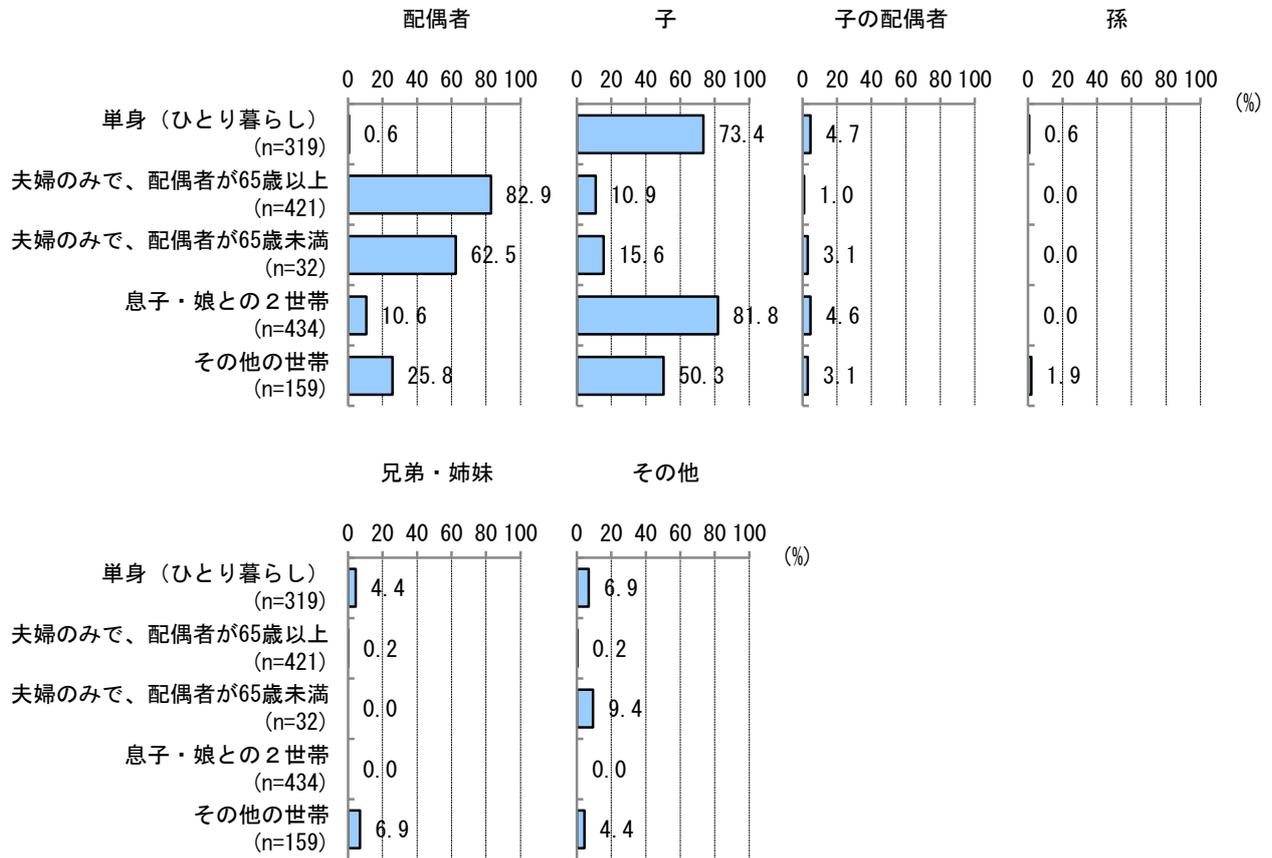
【A問35[34] 本人との関係（経年比較）】



【介護者調査】

世帯状況別では、単身（ひとり暮らし）世帯、息子・娘との2世帯の世帯、その他の世帯の世帯では「子」の割合が最も高く、夫婦のみ世帯では「配偶者」の割合が最も高くなっている。  
 (A問35[34]-a)

【A問35[34]-a 本人との関係（世帯状況別）】



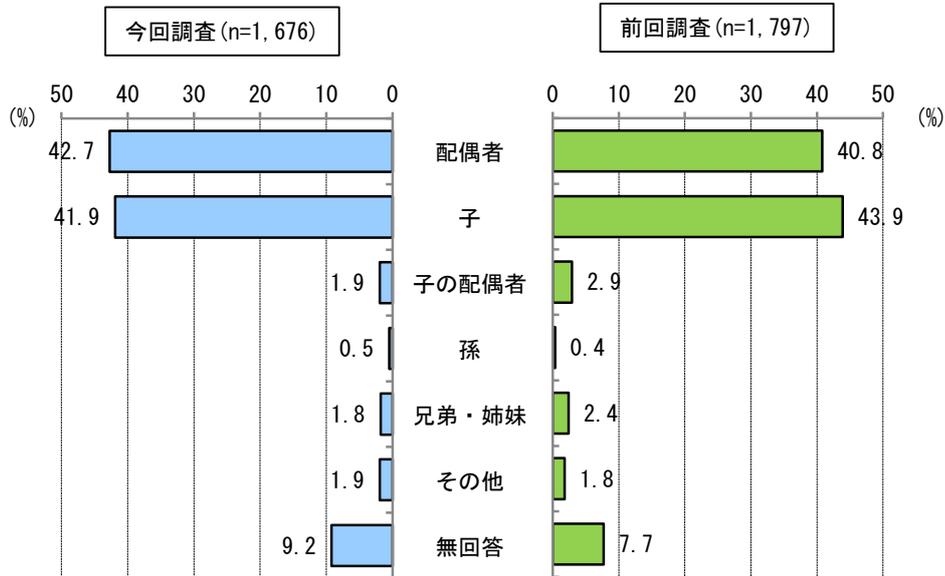
【介護者調査】

サービス未利用者本人との関係は、「配偶者」の割合が42.7%で最も高く、次いで「子」が41.9%、「子の配偶者」が1.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「配偶者」と「子」の順位が入れ替わっている。  
(B問35[34])

< B. サービス未利用者 >

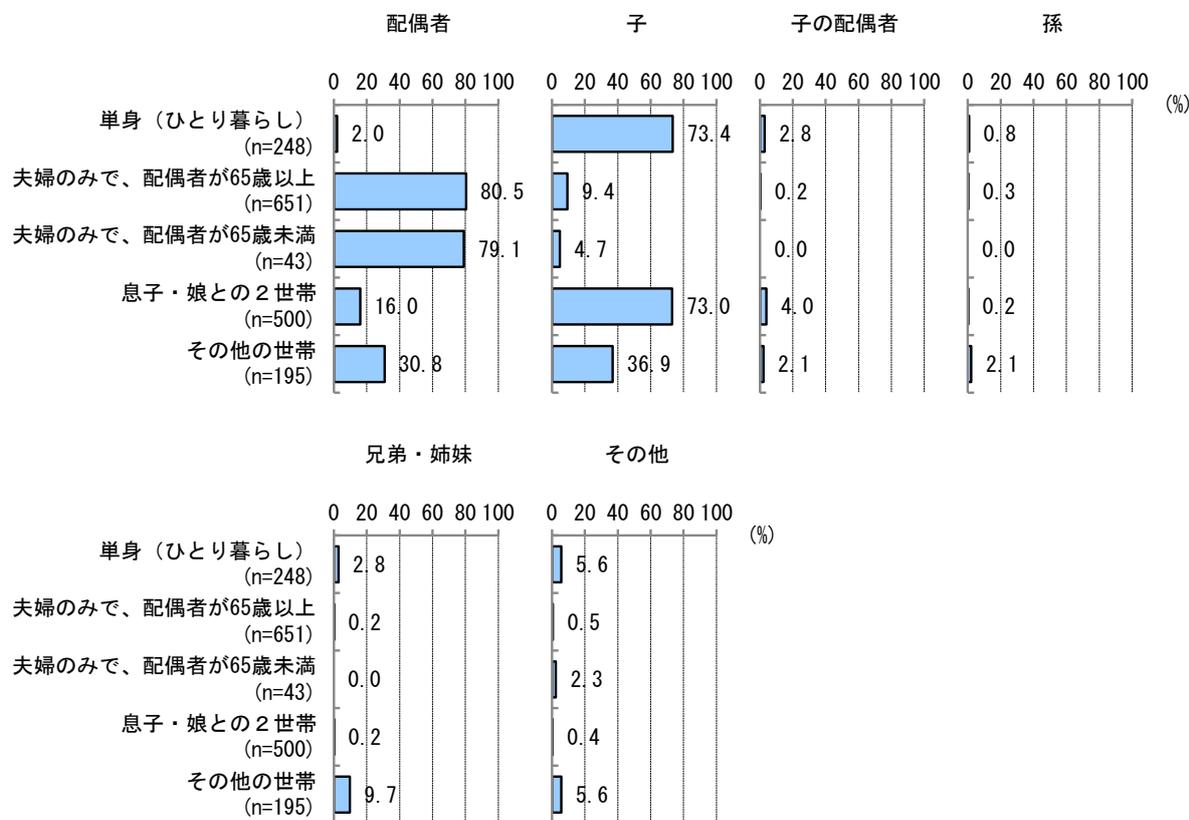
【B問35[34] 本人との関係（経年比較）】



【介護者調査】

世帯状況別では、単身（ひとり暮らし）世帯、息子・娘との2世帯の世帯、その他の世帯の世帯は「子」の割合が最も高く、夫婦のみ世帯では「配偶者」の割合が最も高くなっている。  
 (B問35[34]-a)

【B問35[34]-a 本人との関係（世帯状況別）】



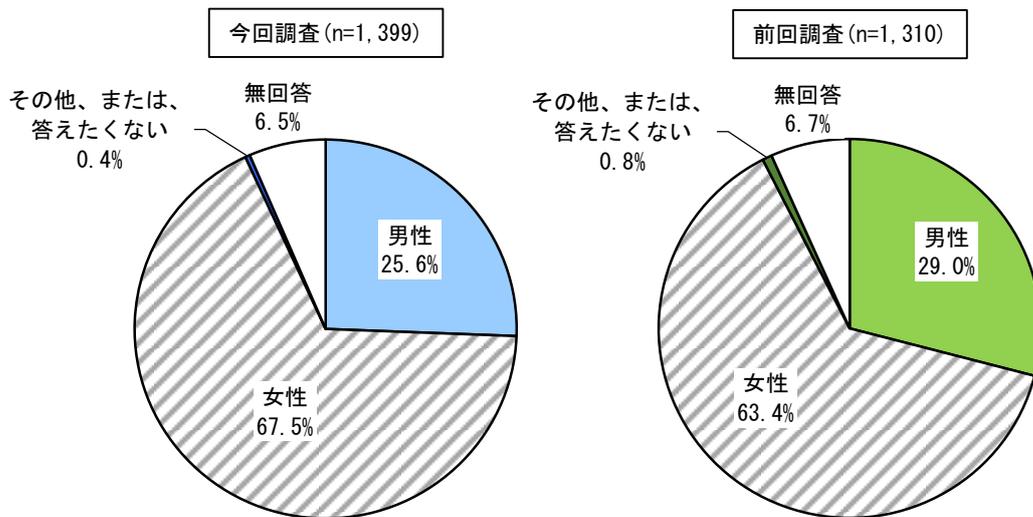
### 問36[35](1) 介護者の性別

あなたの性別、年齢、ご本人との同居の有無についておうかがいします。  
(それぞれ○はひとつ)

サービス利用者の介護者の性別は、「男性」が25.6%、「女性」が67.5%となっている。  
前回調査の結果同様、「男性」より「女性」の割合が高い状況は変わらない。(A問36[35]  
(1))

#### <A. サービス利用者>

【A問36[35](1) 介護者の性別（経年比較）】

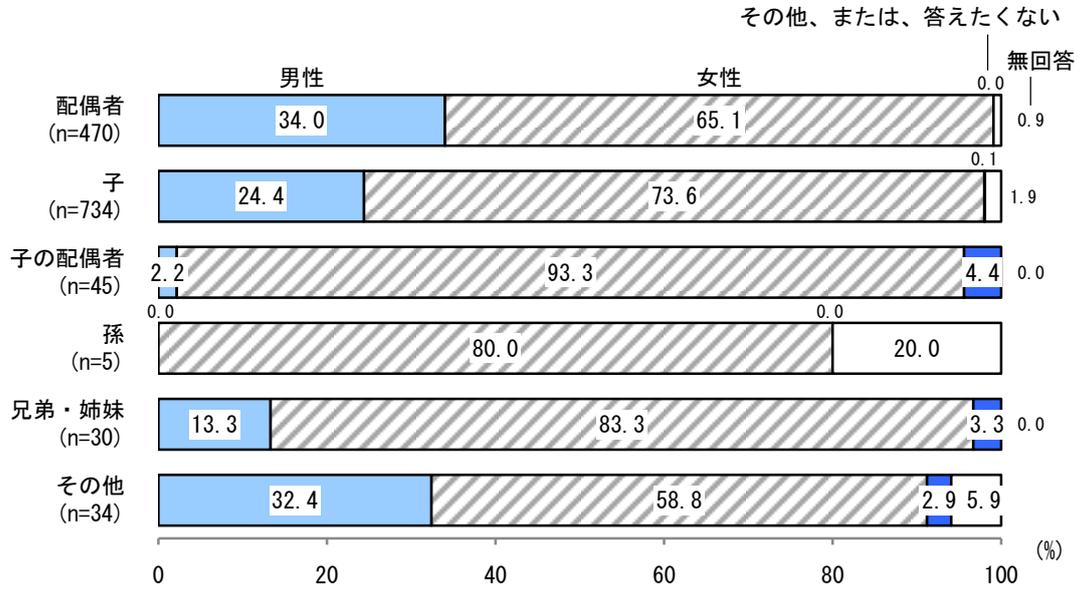


【介護者調査】

本人との関係別では、関係性にかかわらず「女性」の割合が高くなっている。

「男性」の割合は、介護者が配偶者では34.0%、子では24.4%となっている。(A問36[35] (1)-a)

【A問36[35](1)-a 介護者の性別（本人との関係別）】

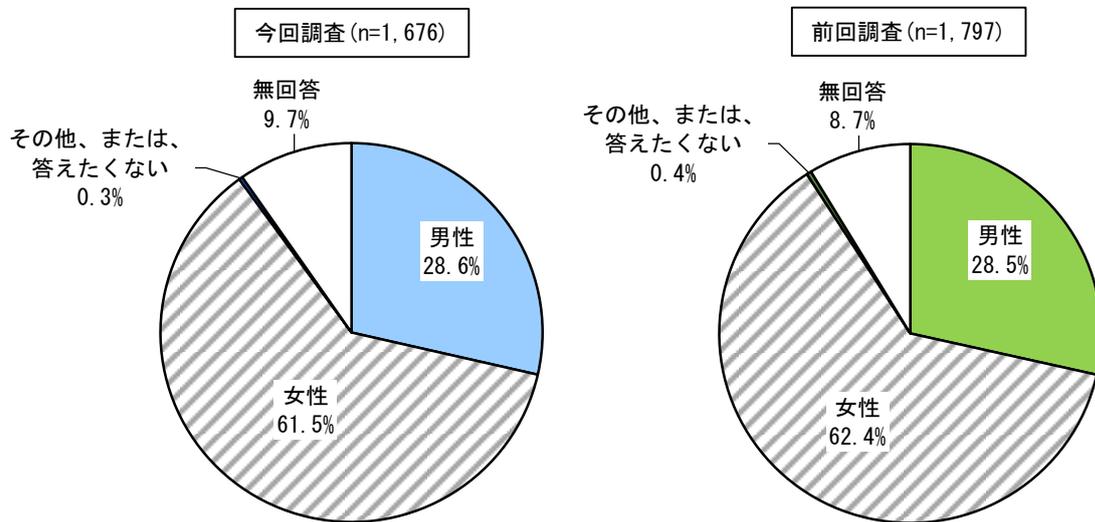


【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の性別は、「男性」が28.6%、「女性」が61.5%となっている。  
前回調査の結果同様、「男性」より「女性」の割合が高い状況は変わらない。(B問36[35](1))

< B. サービス未利用者 >

【B問36[35](1) 介護者の性別（経年比較）】

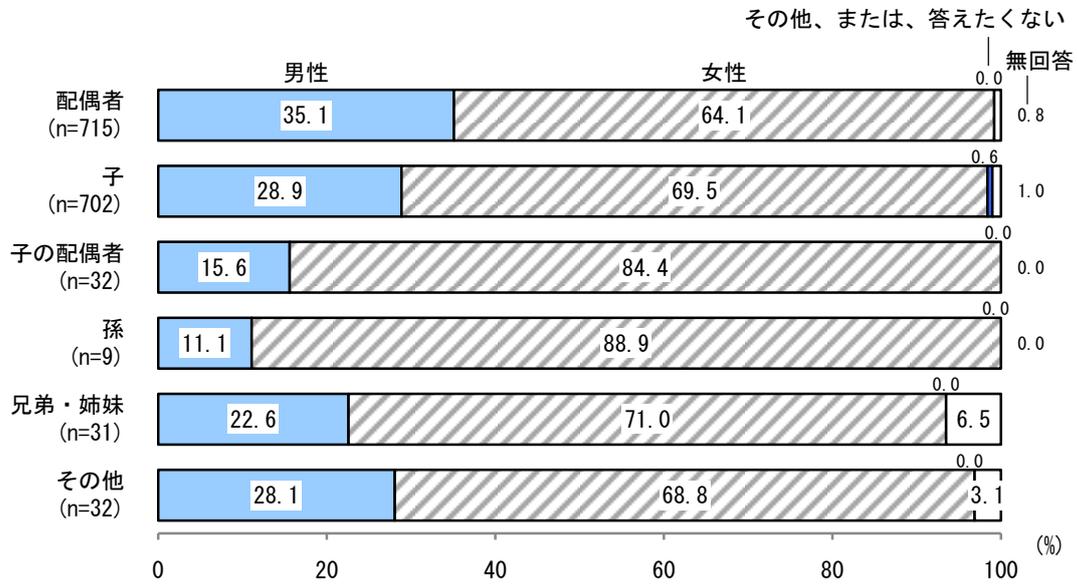


【介護者調査】

本人との関係別では、関係性にかかわらず「女性」の割合が高くなっている。

「男性」の割合は、介護者が配偶者では35.1%、子では28.9%となっている。(B問36[35](1)-a)

【B問36[35](1)-a 介護者の性別（本人との関係別）】



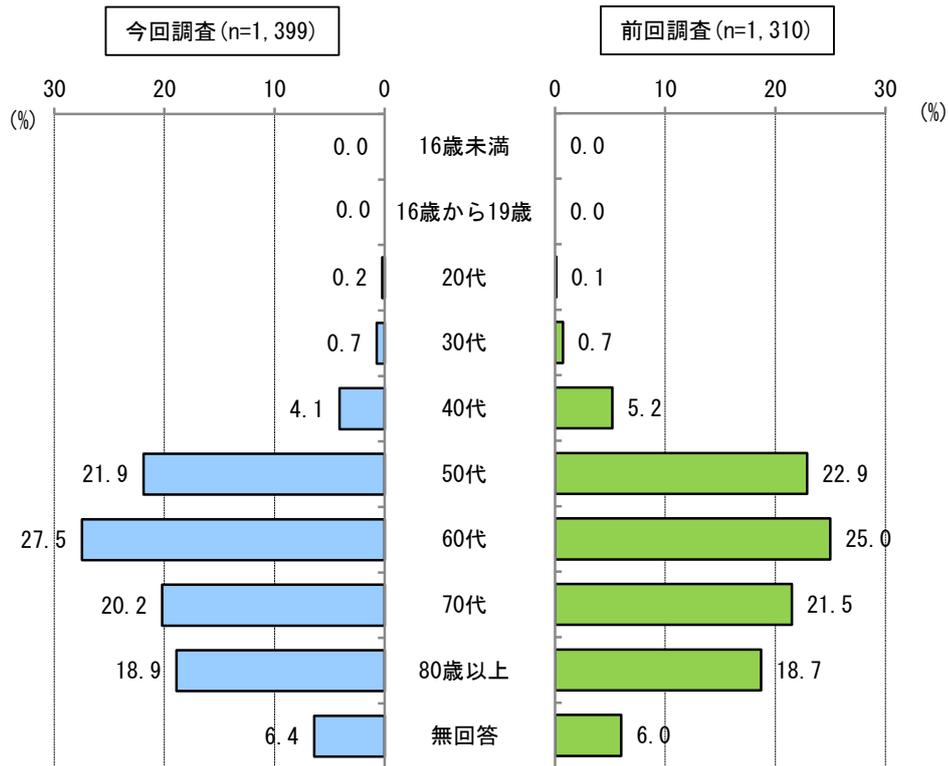
### 問36[35](2) 介護者の年齢

サービス利用者の介護者の年齢は、「60代」の割合が27.5%で最も高く、次いで「50代」が21.9%、「70代」が20.2%となっている。

前回調査の結果同様、「60代」の割合が最も高く、介護者の年代の分布には大きな変化はみられない。(A問36[35](2))

#### < A. サービス利用者 >

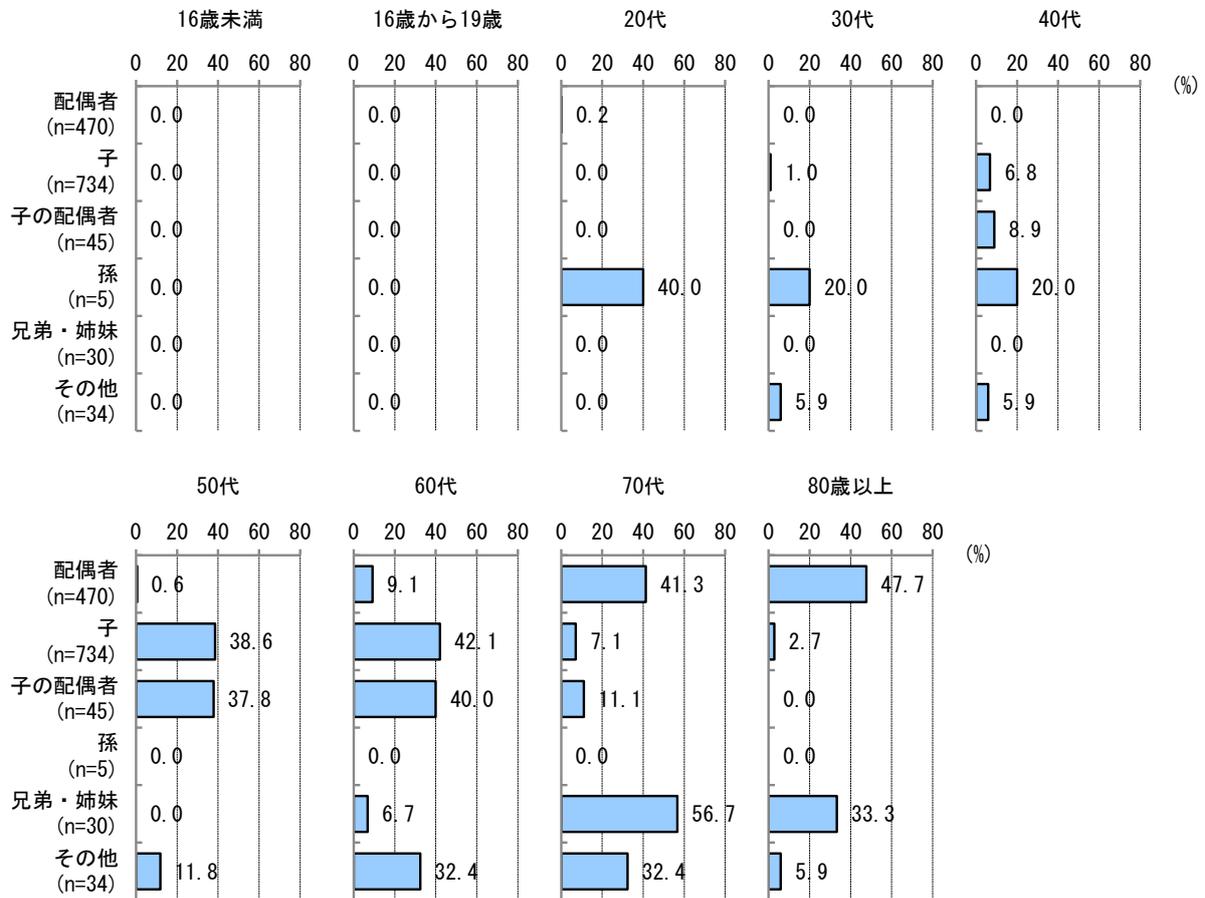
【A問36[35](2) 介護者の年齢（経年比較）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者では「80歳以上」、兄弟・姉妹では「70代」、子及び子の配偶者では「60代」の各割合が、それぞれ最も高くなっている。(A問36[35](2)-a)

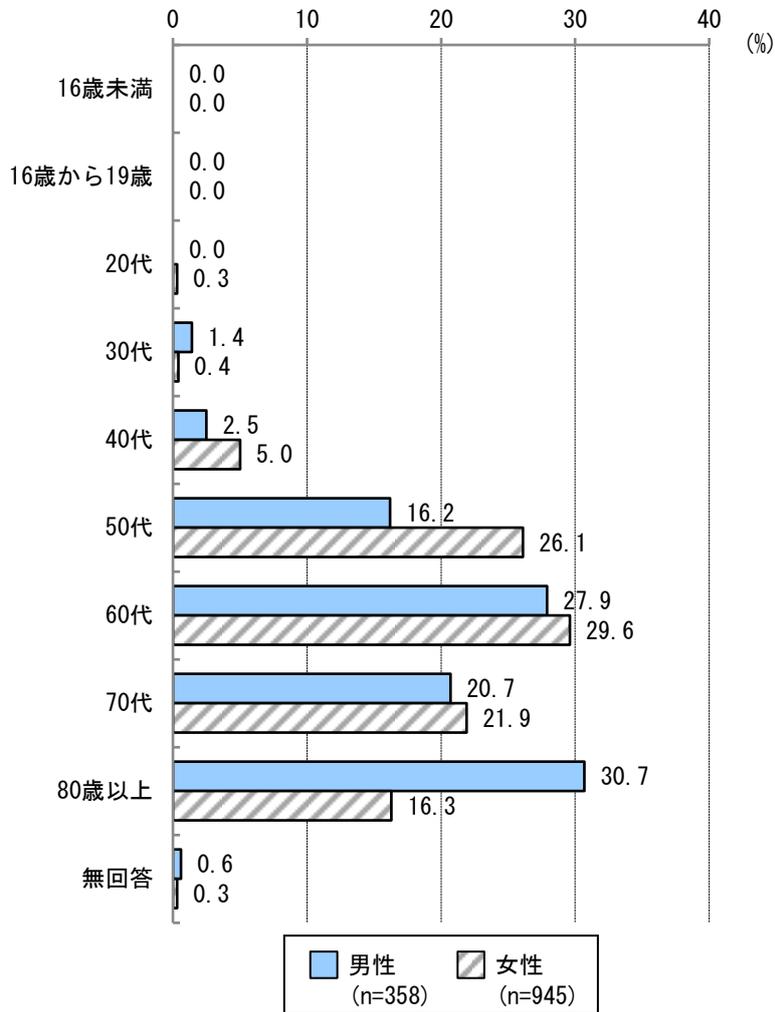
【A問36[35](2)-a 介護者の年齢（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男性の介護者は「80歳以上」の割合が30.7%で最も高くなっている。女性の介護者は「60代」が29.6%で最も高くなっている。(A問36[35](2)-b)

【A問36[35](2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】



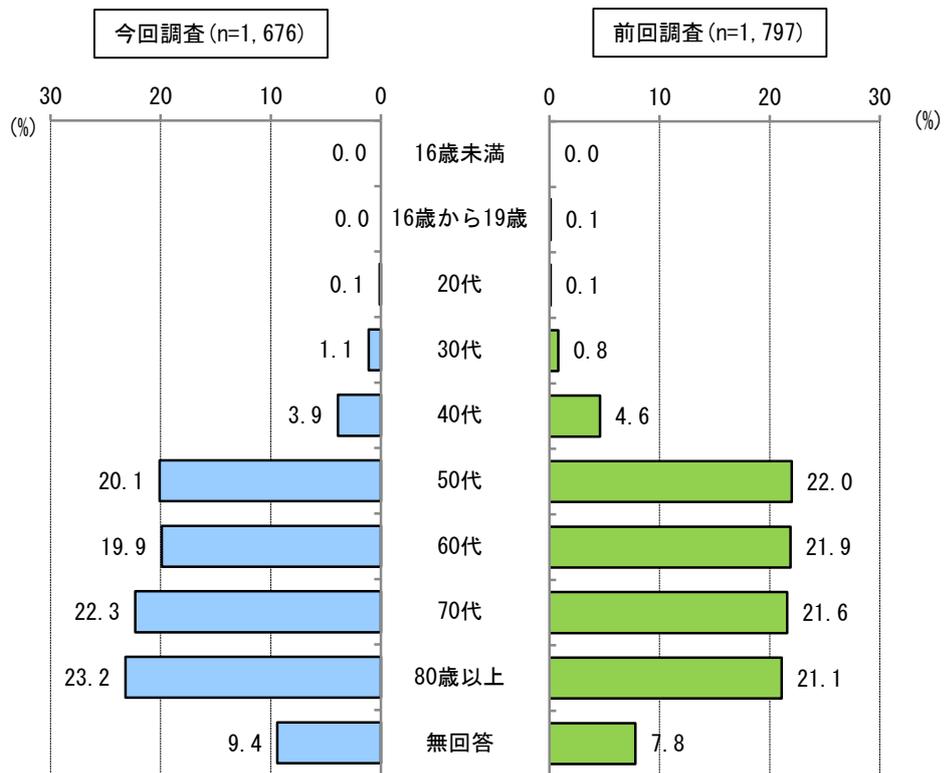
【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の年齢は、「80歳以上」の割合が23.2%で最も高く、次いで「70代」が22.3%、「50代」が20.1%となっている。

前回調査の結果同様、50代以上の年代の割合が高いことに変わりはないが、今回「50代」「60代」の割合は微減し、「70代」「80歳以上」の割合が微増している。(B問36[35](2))

< B. サービス未利用者 >

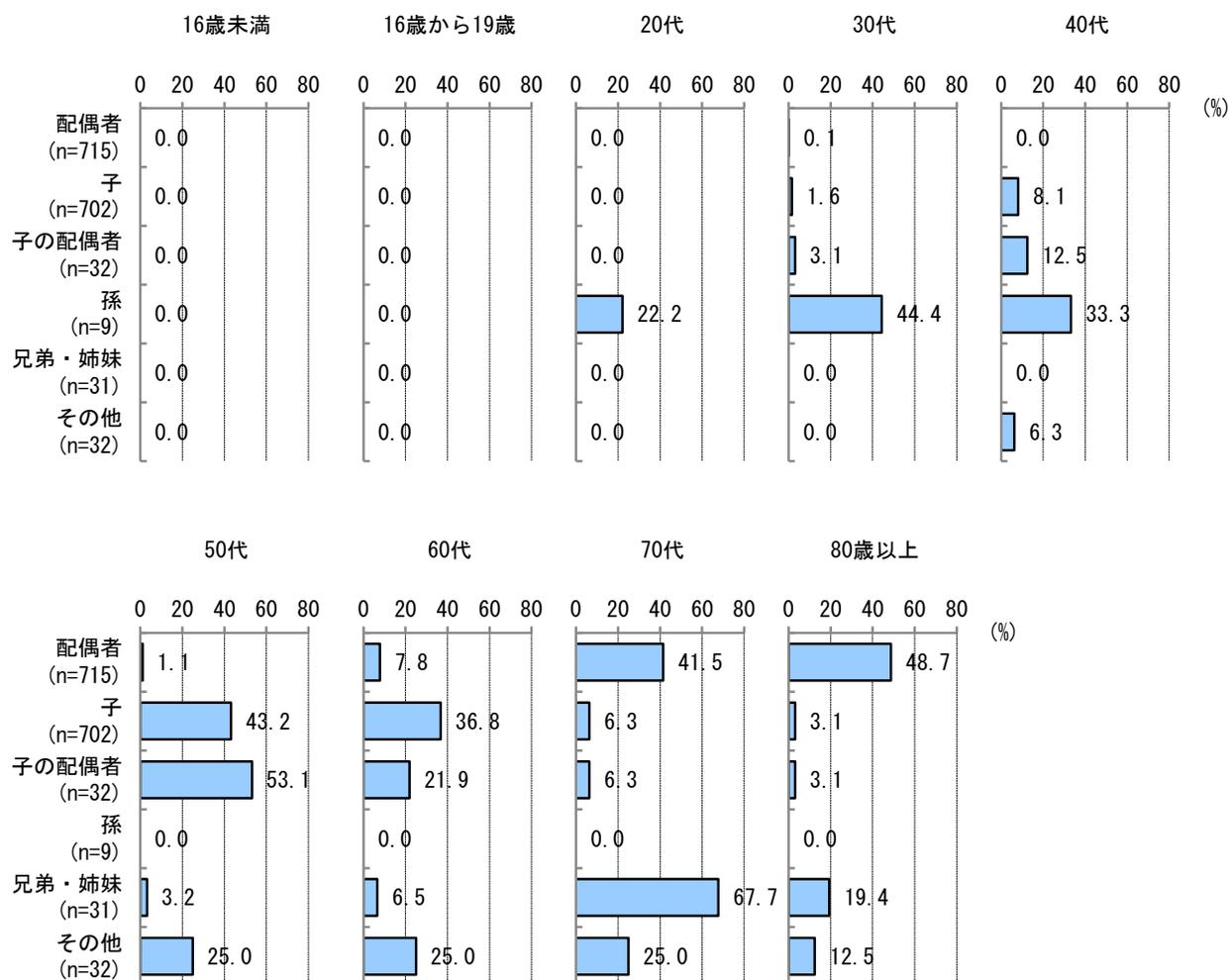
【B問36[35](2) 介護者の年齢（経年比較）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者では「80歳以上」、兄弟・姉妹では「70代」、子及び子の配偶者では「50代」の各割合が、それぞれ最も高くなっている。(B問36[35](2)-a)

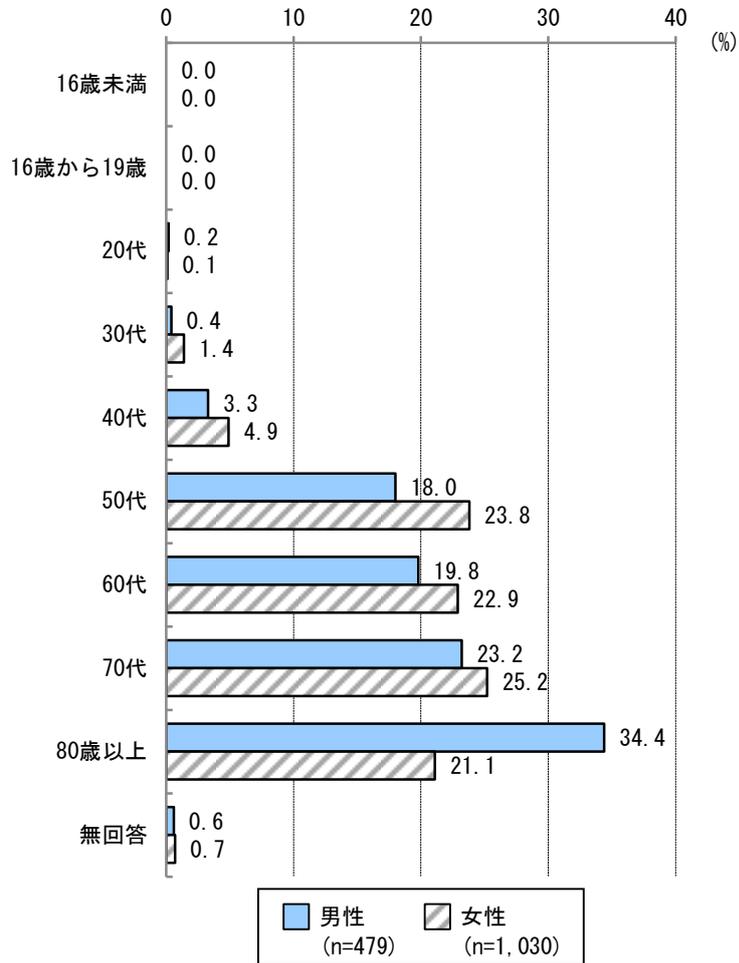
【B問36[35](2)-a 介護者の年齢（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男性の介護者は「80歳以上」の割合が34.4%で最も高くなっている。女性の介護者は「70代」の割合が25.2%で最も高くなっている。(B問36[35](2)-b)

【B問36[35](2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】



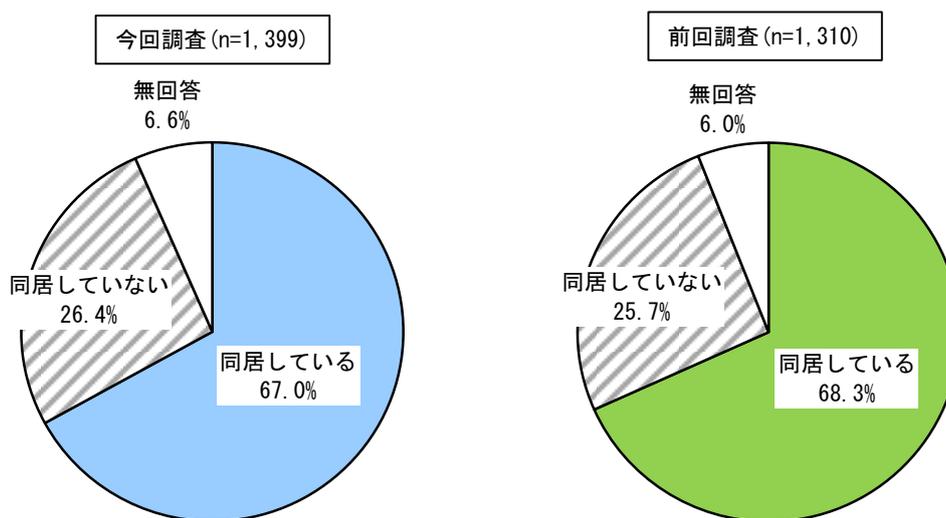
### 問36[35](3) 本人との同居の有無

サービス利用者本人と介護者が「同居している」割合が67.0%に対し、「同居していない」は26.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問36[35](3))

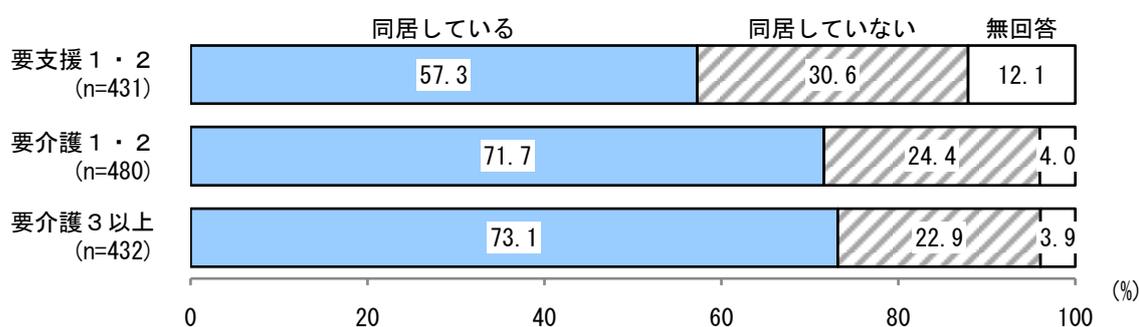
#### < A. サービス利用者 >

【A問36[35](3) 本人との同居の有無（経年比較）】



本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「同居している」割合が5～7割を占めている。(A問36[35](3)-a)

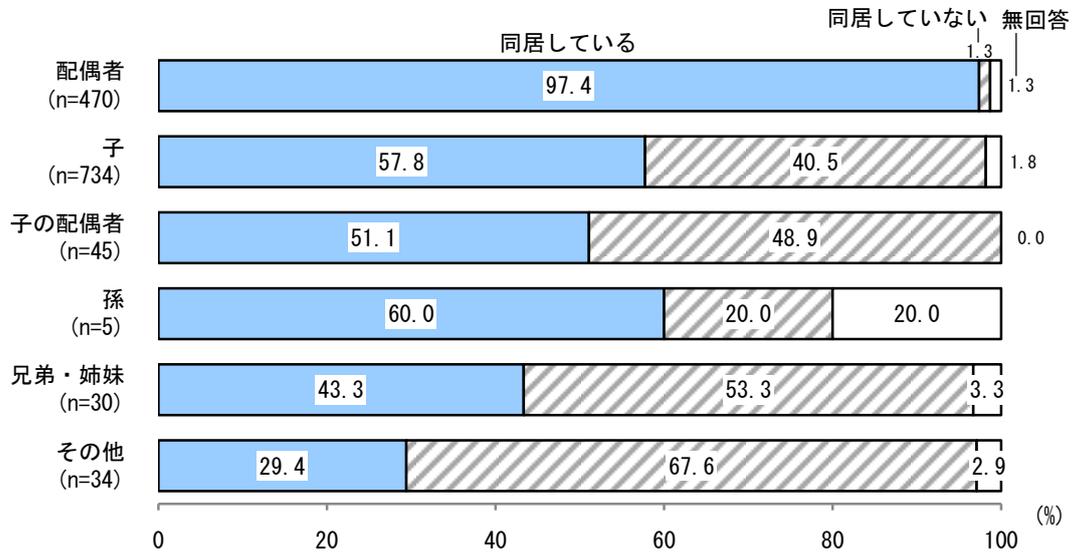
【A問36[35](3)-a 本人との同居の有無（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

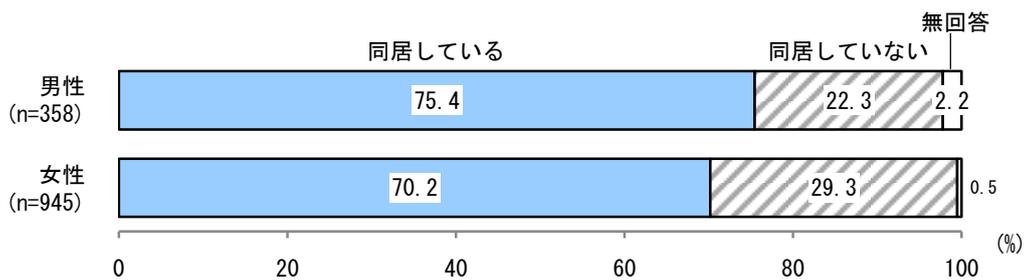
本人との関係別では、兄弟・姉妹、その他以外の介護者は「同居している」割合が5割以上を占めている。(A問36[35](3)-b)

【A問36[35](3)-b 本人との同居の有無（本人との関係別）】



介護者の性別では、男女とも「同居している」割合の方が高くなっており、男性の介護者では75.4%、女性の介護者では70.2%で、男性の介護者の方が5.2ポイント高くなっている。(A問36[35](3)-c)

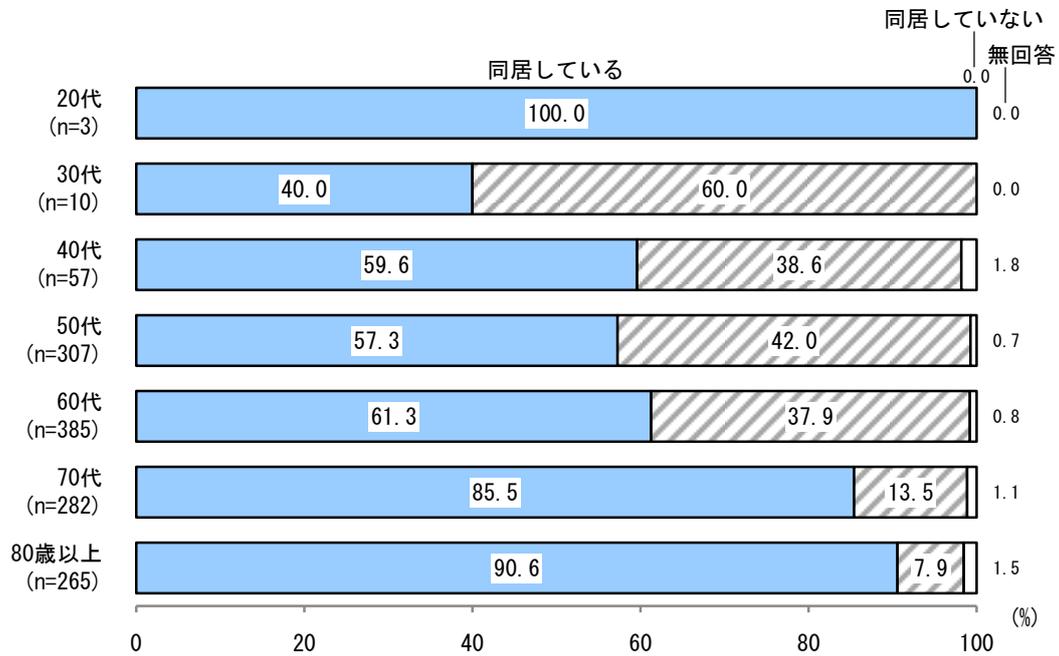
【A問36[35](3)-c 本人との同居の有無（介護者の性別）】



【介護者調査】

介護者の年齢別では、30代以外の年代の介護者で「同居している」割合の方が高くなっており、70代以上では8割を超えている。(A問36[35](3)-d)

【A問36[35](3)-d 本人との同居の有無（介護者の年齢別）】



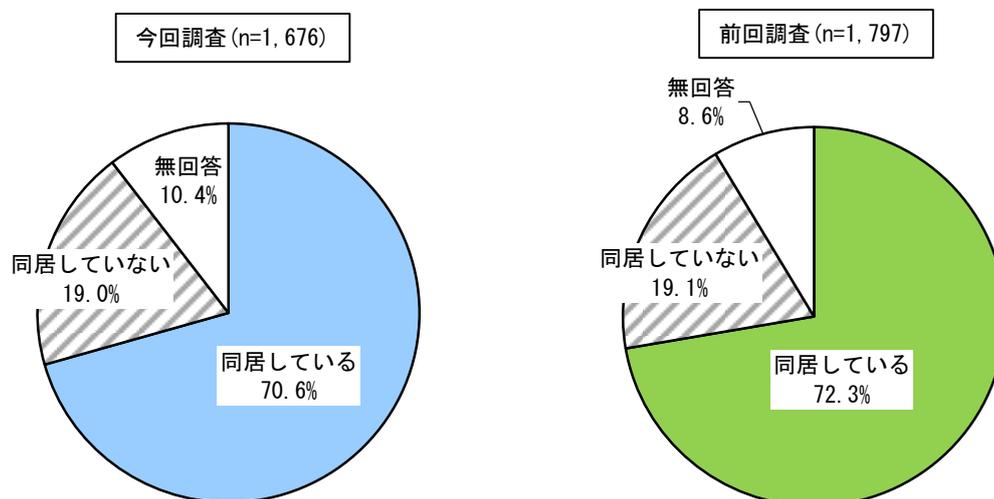
【介護者調査】

サービス未利用者本人と介護者が「同居している」割合が70.6%に対し、「同居していない」が19.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問36[35](3))

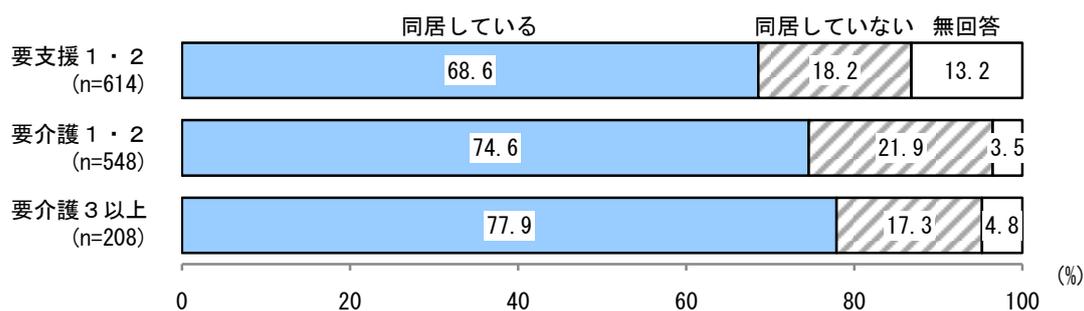
< B. サービス未利用者 >

【B問36[35](3) 本人との同居の有無（経年比較）】



本人の要介護度別では、「同居している」割合は、要介護度が重度になるとともに増加している。(B問36[35](3)-a)

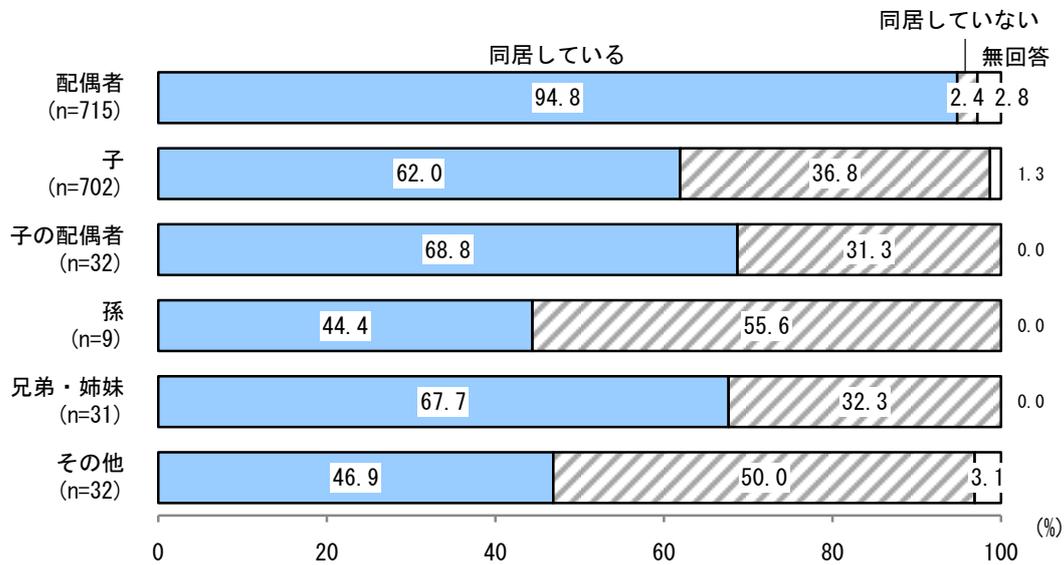
【B問36[35](3)-a 本人との同居の有無（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

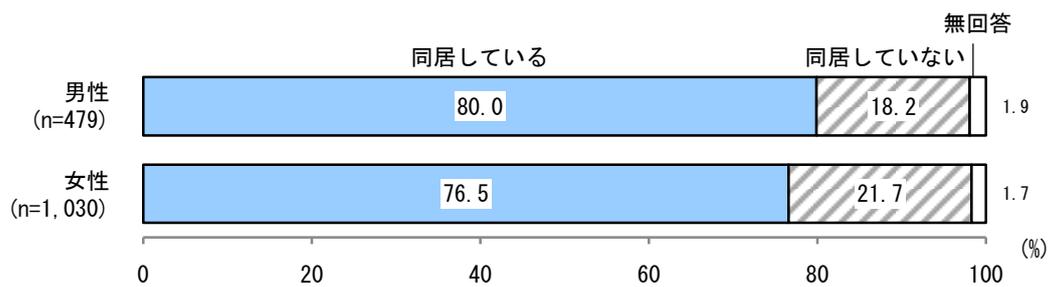
本人との関係別では、「同居している」割合は配偶者及び子、子の配偶者、兄弟・姉妹の介護者で6割以上を占めている。(B問36[35](3)-b)

【B問36[35](3)-b 本人との同居の有無 (本人との関係別)】



介護者の性別では、男女とも「同居している」割合の方が高くなっており、男性の介護者では80.0%、女性の介護者では76.5%で、男性の介護者の方が3.5ポイント高くなっている。(B問36[35](3)-c)

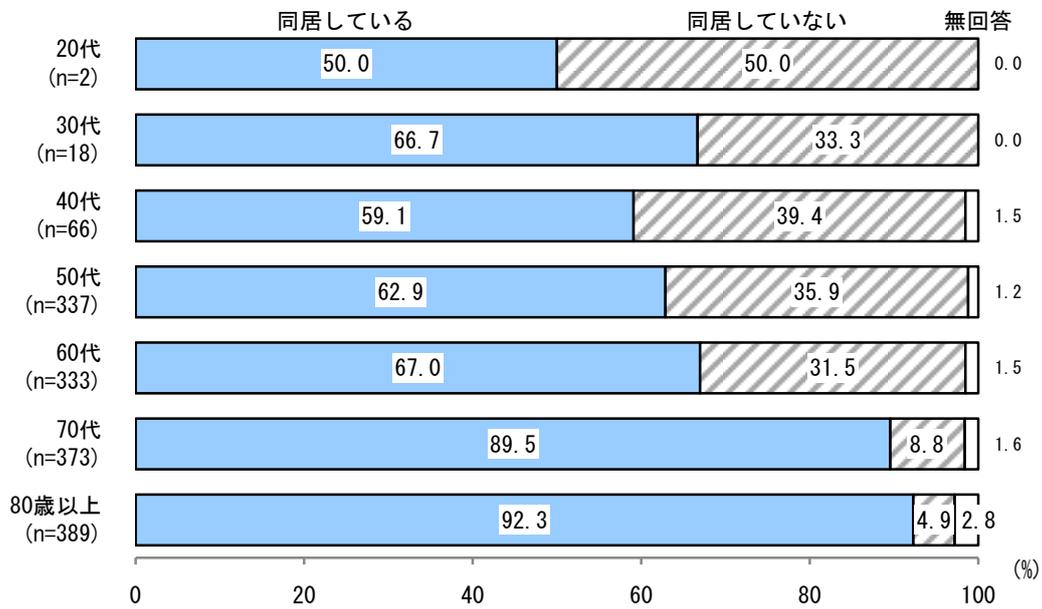
【B問36[35](3)-c 本人との同居の有無 (介護者の性別)】



【介護者調査】

介護者の年齢別では、20代を除く各年代では、「同居している」割合の方が高くなっており、70代以上では9割前後を占めている。(B問36[35](3)-d)

【B問36[35](3)-d 本人との同居の有無 (介護者の年齢別)】



### 問37[36] 介護者の健康状態

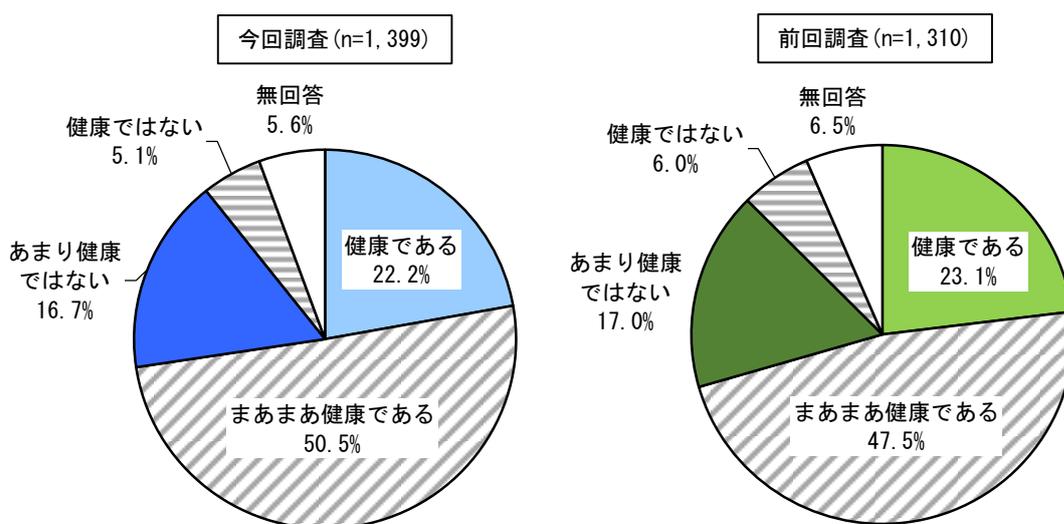
あなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

サービス利用者の介護者の健康状態は、「まあまあ健康である」の割合が50.5%で最も高く、次いで「健康である」が22.2%、「あまり健康ではない」が16.7%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問37[36])

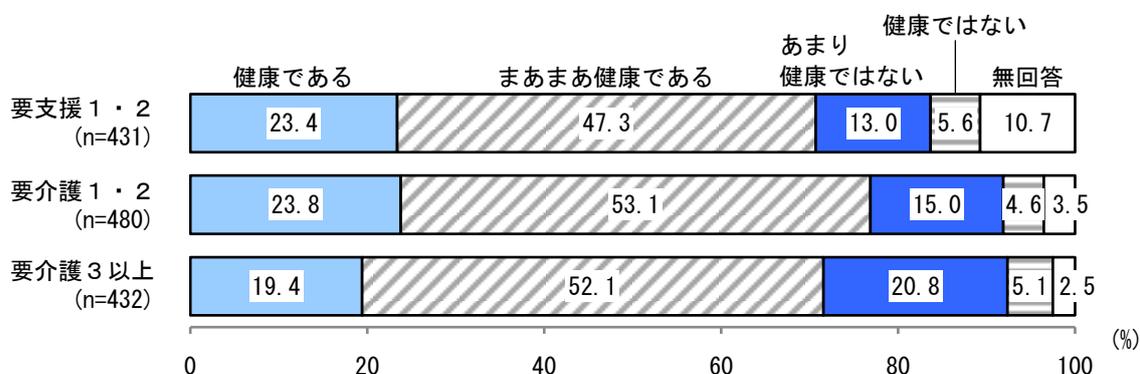
#### < A. サービス利用者 >

【A問37[36] 介護者の健康状態（経年比較）】



本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「まあまあ健康である」の割合が5割前後を占めている。(A問37[36]-a)

【A問37[36]-a 介護者の健康状態（本人の要介護度別）】

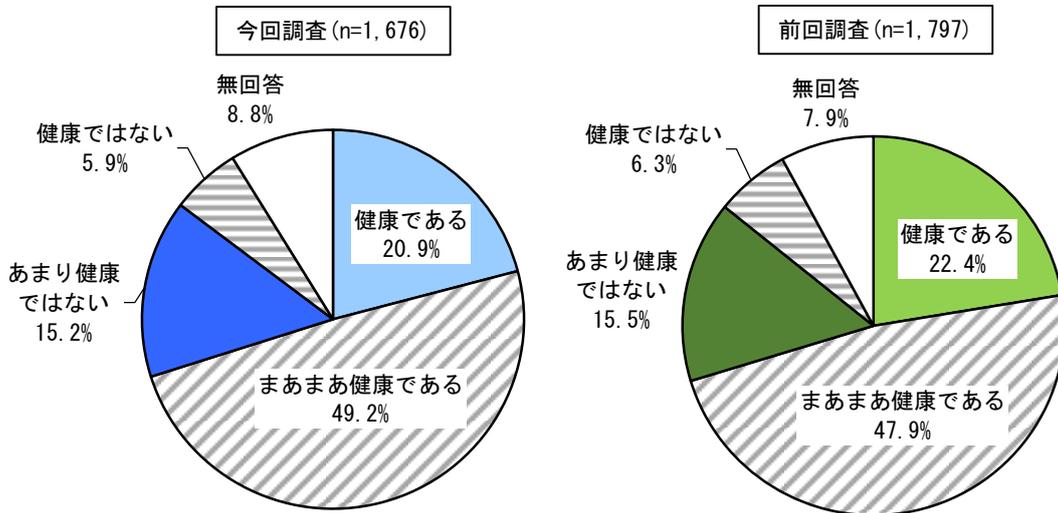


【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の健康状態は、「まあまあ健康である」の割合が49.2%で最も高く、次いで「健康である」が20.9%、「あまり健康ではない」が15.2%となっている。前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問37[36])

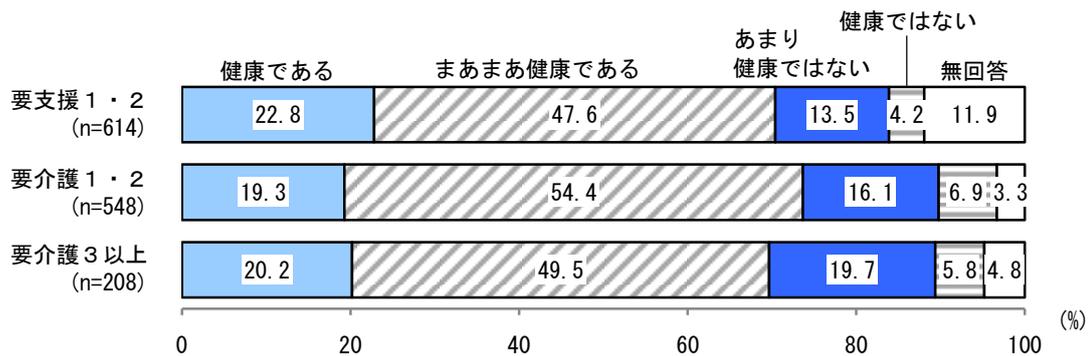
< B. サービス未利用者 >

【B問37[36] 介護者の健康状態（経年比較）】



本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「まあまあ健康である」の割合が5割前後を占めている。(B問37[36]-a)

【B問37[36]-a 介護者の健康状態（本人の要介護度別）】



(2) 介護の状況

問38[37] 介護者がよく話をする相手

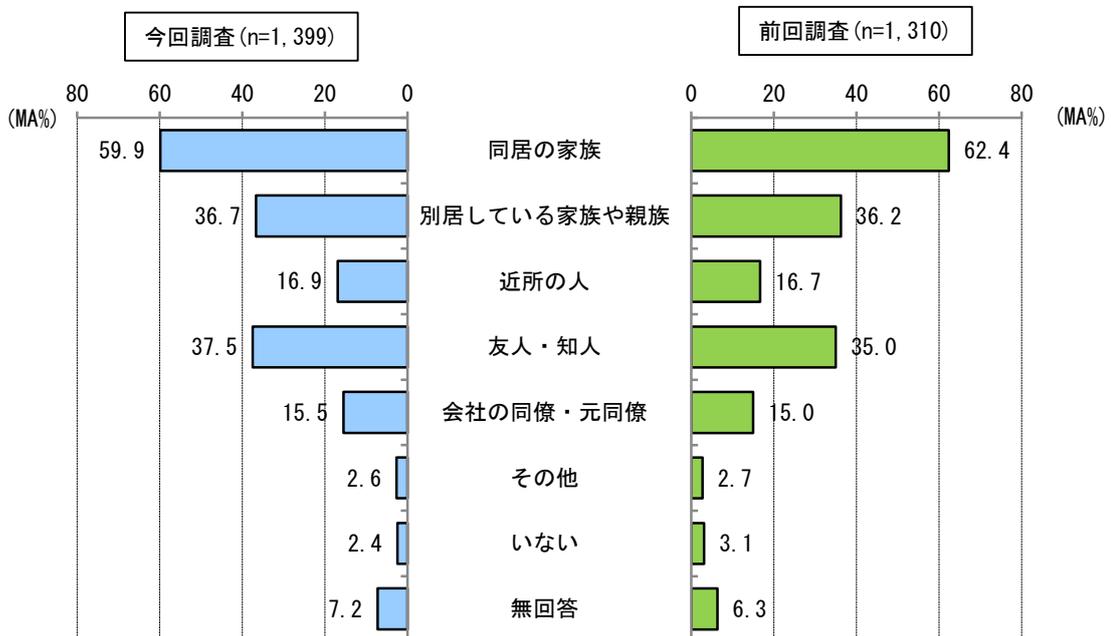
あなたがよく話をする相手は誰ですか。(○はいくつでも)

サービス利用者本人以外でよく話をする相手は、「同居の家族」の割合が59.9%で最も高く、次いで「友人・知人」が37.5%、「別居している家族や親族」が36.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「別居している家族や親族」と「友人・知人」の順位が入れ替わっている。(A問38[37])

< A. サービス利用者 >

【A問38[37] 介護者がよく話をする相手（経年比較）】



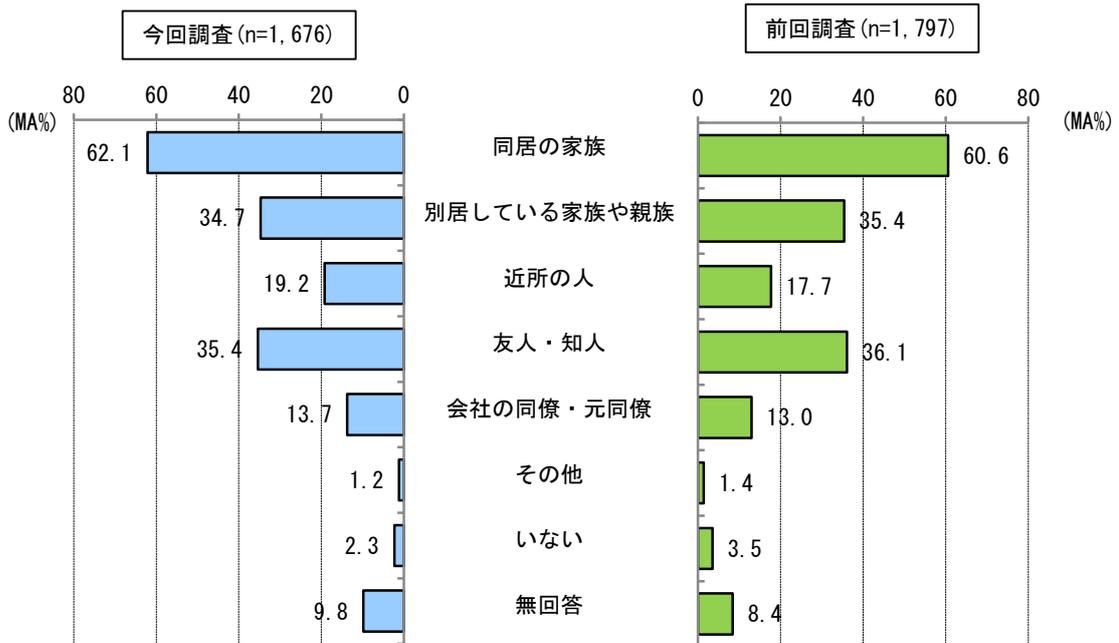
【介護者調査】

サービス未利用者本人以外でよく話をする相手は、「同居の家族」の割合が62.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が35.4%、「別居している家族や親族」が34.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、「別居している家族や親族」の割合が0.7ポイント減少している。  
(B問38[37])

< B. サービス未利用者 >

【B問38[37] 介護者がよく話をする相手（経年比較）】



問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無

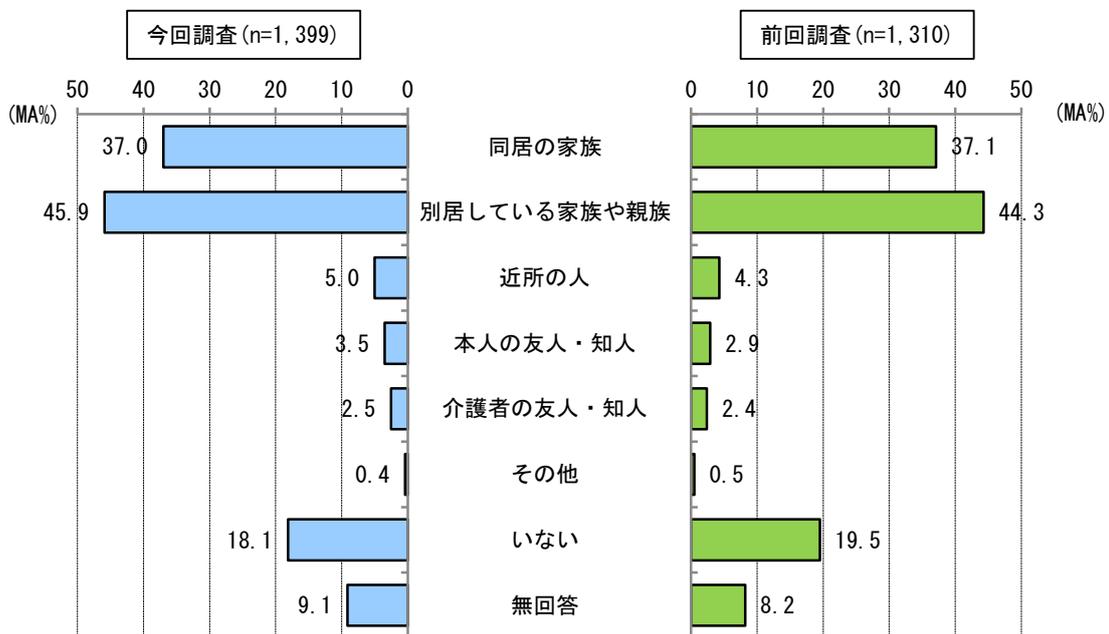
(介護保険サービス提供者以外で、) 介護を手助けしてくれる方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

サービス利用者本人の介護を手助けしてくれる人について、「別居している家族や親族」の割合が45.9%で最も高く、次いで「同居の家族」が37.0%、「近所の人」が5.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問39[38])

< A. サービス利用者 >

【A問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無 (経年比較)】



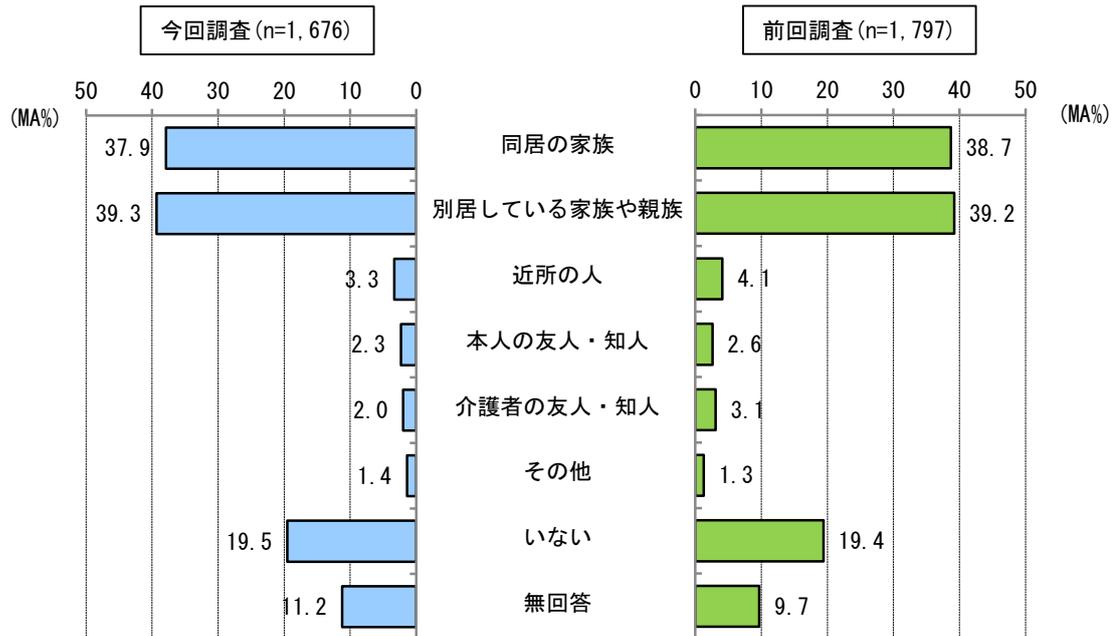
【介護者調査】

サービス未利用者本人の介護を手助けしてくれる人について、「別居している家族や親族」の割合が39.3%で最も高く、次いで「同居の家族」が37.9%、「近所の人」が3.3%、「本人の友人・知人」が2.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「本人の友人・知人」と「介護者の友人・知人」の順位に変動があるが、それ以外は大きな変化はない。(B問39[38])

< B. サービス未利用者 >

【B問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無（経年比較）】



## 問40[39] 本人の認知症の程度

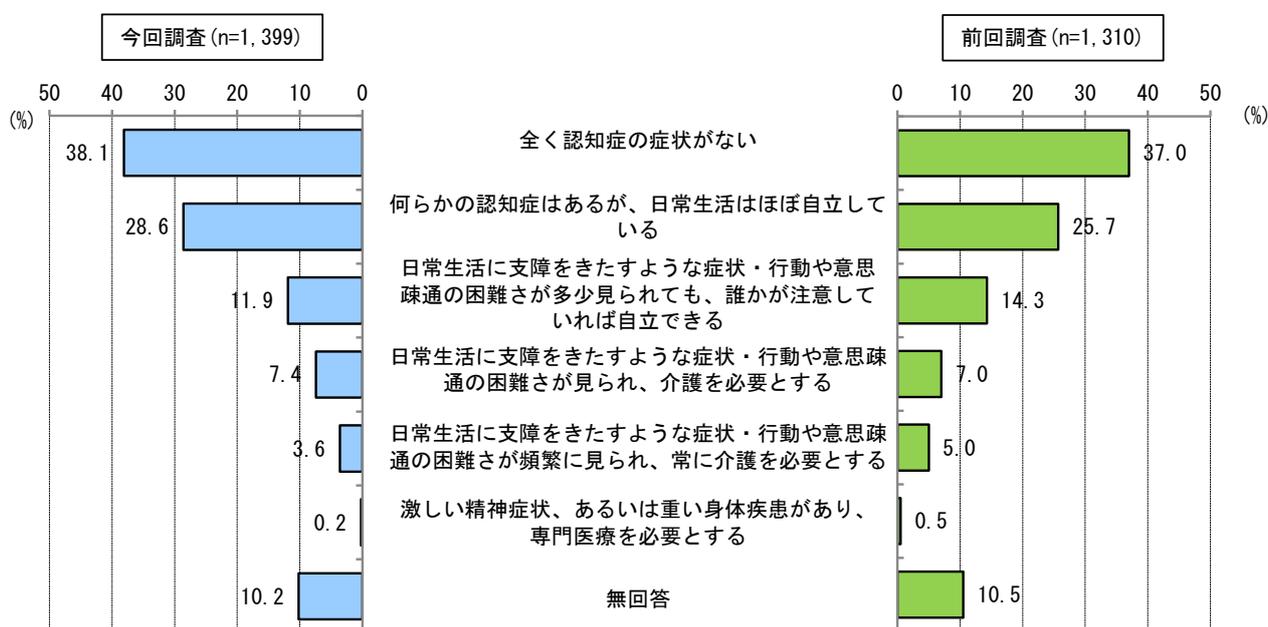
ご本人の認知症の程度について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

サービス利用者本人の認知症の程度は、「全く認知症の症状がない」の割合が38.1%で最も高く、次いで「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が28.6%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が11.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問40[39])

### < A. サービス利用者 >

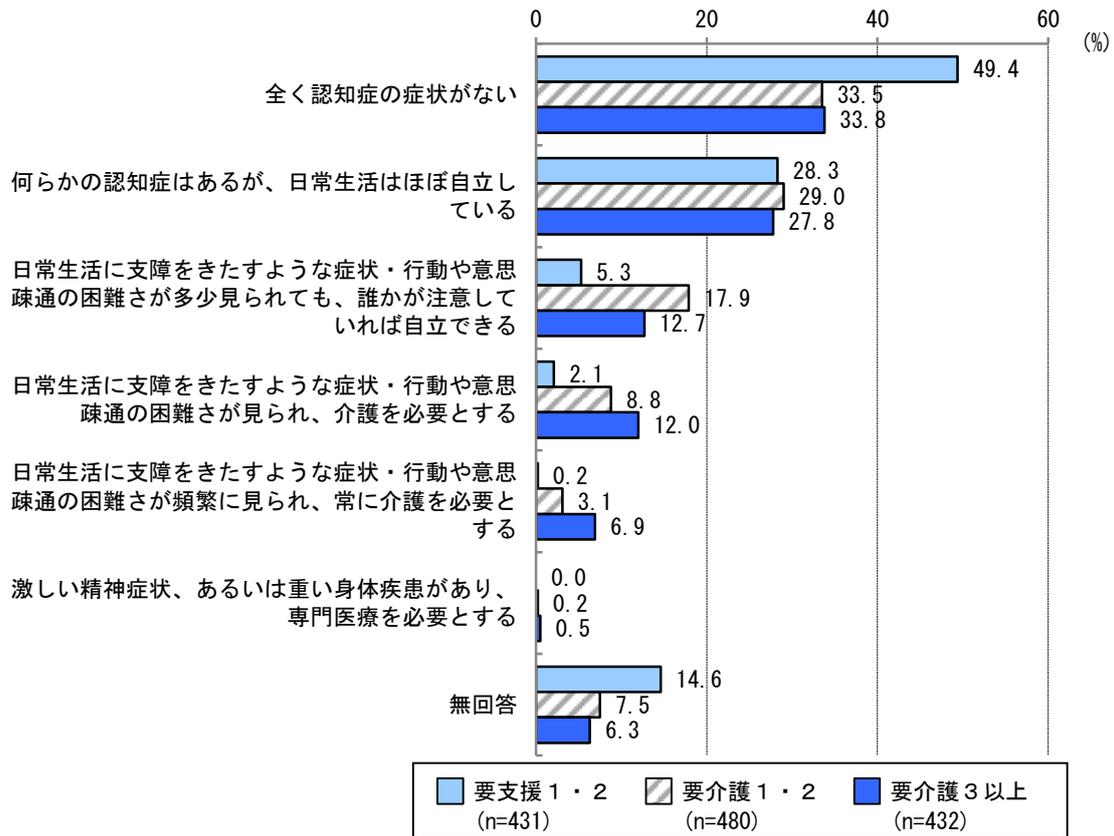
【A問40[39] 本人の認知症の程度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「全く認知症の症状がない」の割合が最も高く、特に要支援1・2の割合が高くなっている。また、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする」「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」「激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする」の各割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。(A問40[39]-a)

【A問40[39]-a 本人の認知症の程度（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

世帯状況別では、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯は「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」の割合が最も高い。それ以外の世帯では「全く認知症の症状がない」が最も高くなっている。(A問40[39]-b)

【A問40[39]-b 本人の認知症の程度（世帯状況別）】

(単位：%)

	n	全く認知症の症状がない	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	も、誰かが注意しているが、日常生活はほぼ自立している	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	無回答
単身（ひとり暮らし）	319	38.9	26.6	9.4	7.5	2.8	-	-	14.7	
夫婦のみで、配偶者が65歳以上	421	40.4	30.2	11.6	5.5	2.1	0.2	-	10.0	
夫婦のみで、配偶者が65歳未満	32	34.4	40.6	-	9.4	6.3	-	-	9.4	
息子・娘との2世帯	434	35.9	29.7	14.1	9.2	5.3	-	-	5.8	
その他の世帯	159	40.9	21.4	15.7	7.5	3.8	1.3	-	9.4	

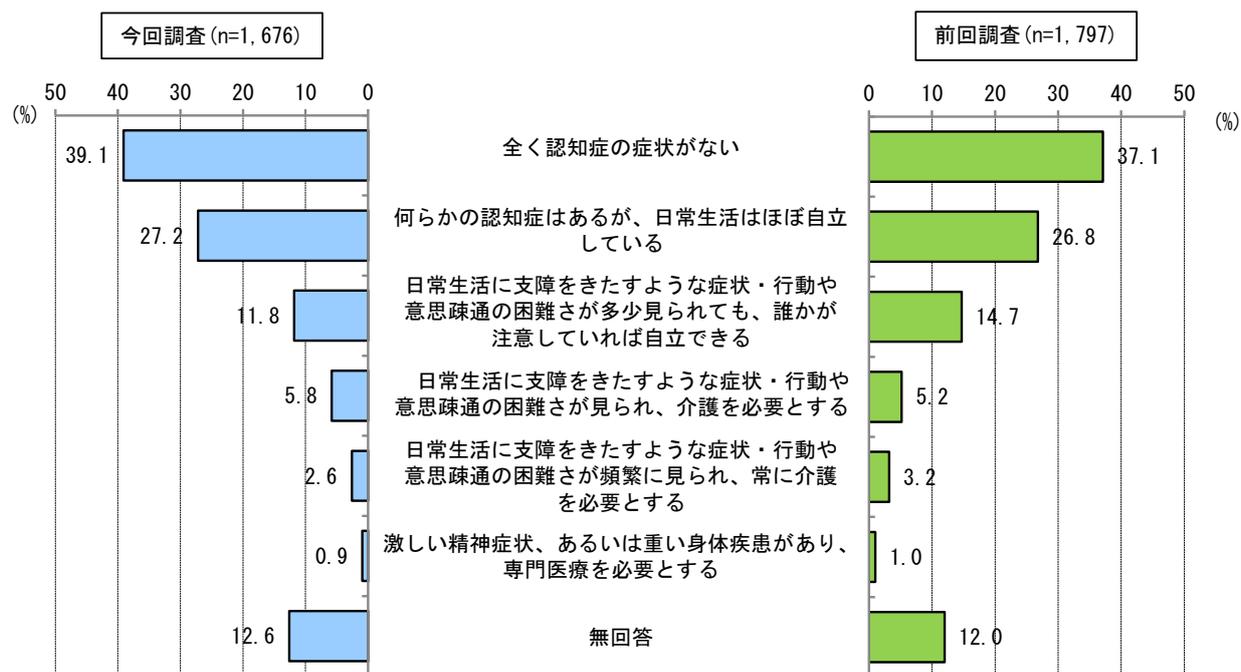
【介護者調査】

サービス未利用者本人の認知症の程度は、「全く認知症の症状がない」の割合が39.1%で最も高く、次いで「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が27.2%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が11.8%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問40[39])

< B. サービス未利用者 >

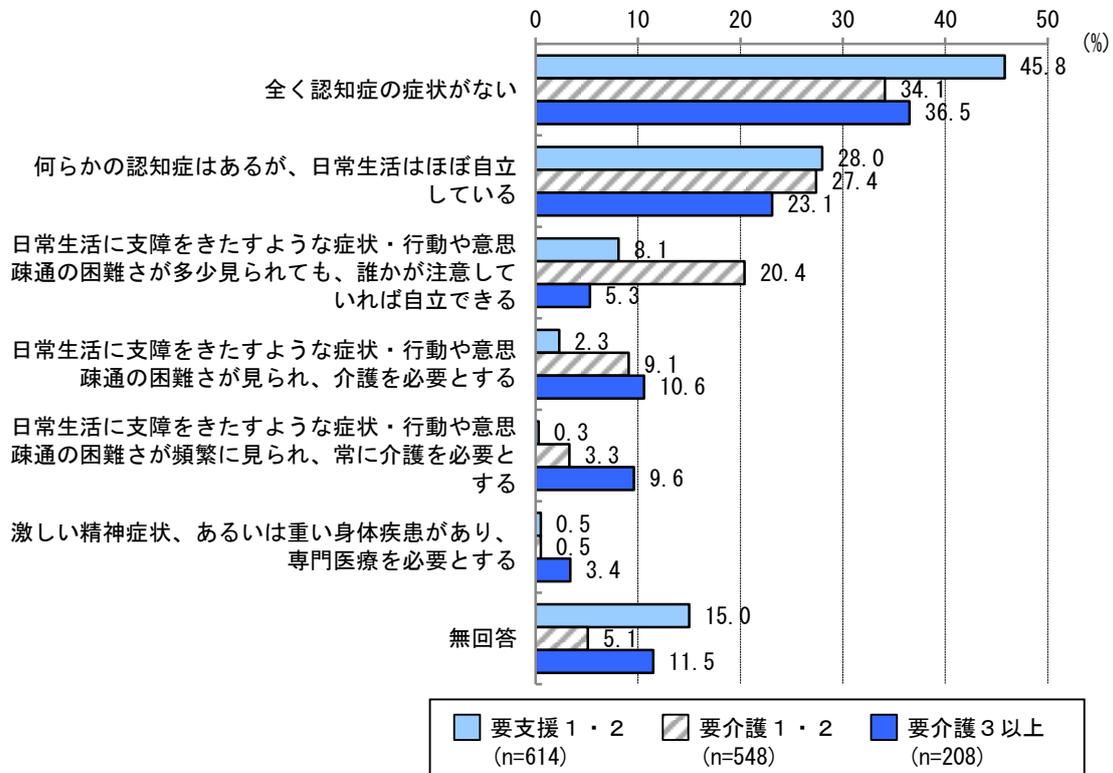
【B問40[39] 本人の認知症の程度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「全く認知症の症状がない」の割合が最も高く、特に要支援1・2の割合が最も高くなっている。また、「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」の割合は重度になるほど低くなっている。(B問40[39]-a)

【B問40[39]-a 本人の認知症の程度（本人の要介護度別）】





### 問41[40] 本人に行っている介護内容

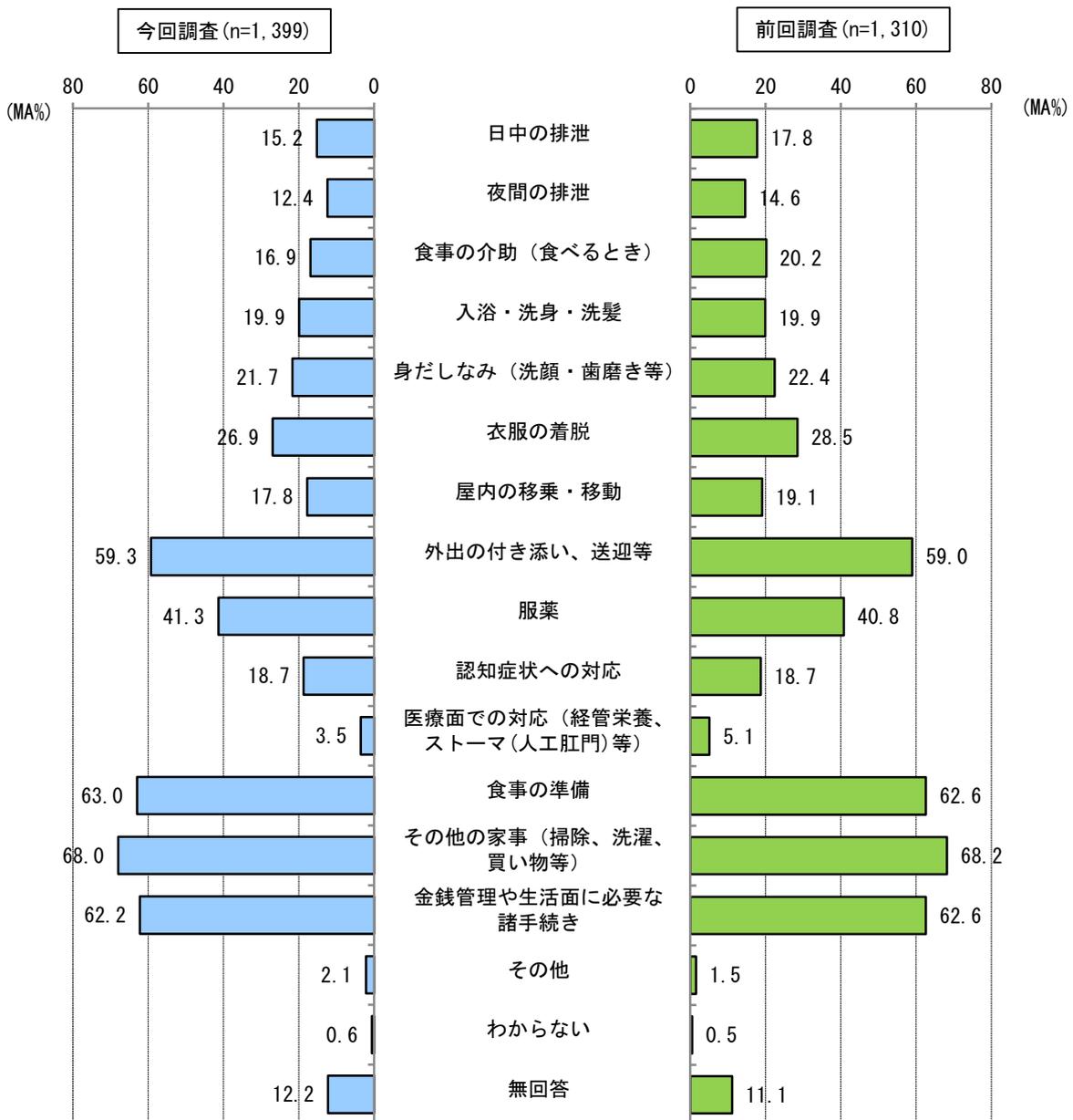
あなたは、ご本人に対し、どのような介護を行っていますか。(〇はいくつでも)

サービス利用者本人に介護者が行っている介護内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が68.0%で最も高く、次いで「食事の準備」が63.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が62.2%、「外出の付き添い、送迎等」が59.3%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問41[40])

<A. サービス利用者>

【A問41[40] 本人に行っている介護内容（経年比較）】

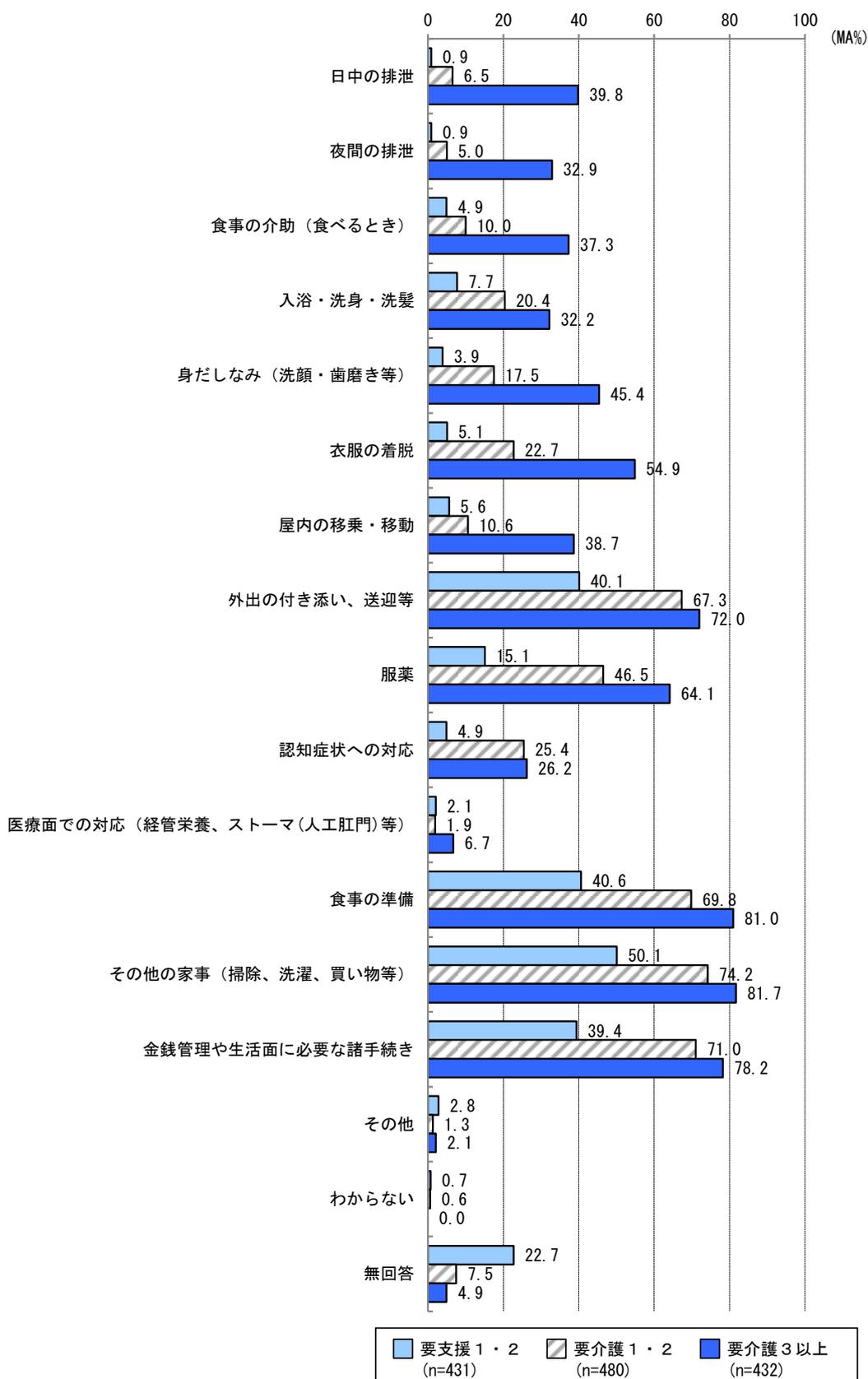


※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず、いずれの項目の割合は、重度になるほど高くなる傾向がある。(A問41[40]-a)

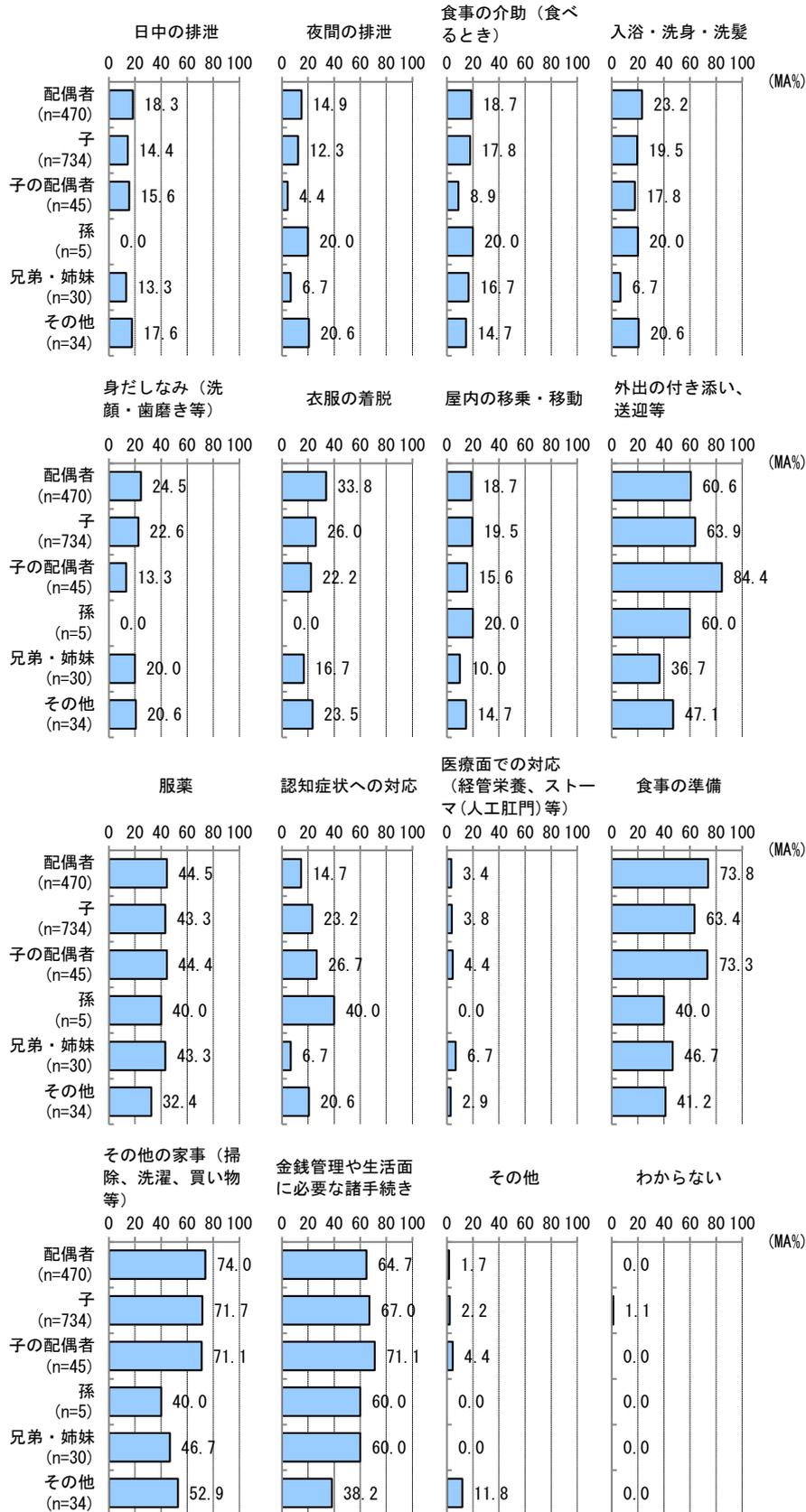
【A問41[40]-a 本人に行っている介護内容（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者及び子では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く、介護者が子の配偶者では「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高くなっている。(A問41[40]-b)

【A問41[40]-b 本人に行っている介護内容（本人との関係別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、介護内容のいずれの割合も、全般に認知症の重度化に伴って高くなる傾向にある。全く認知症の症状がない、もしくは何らかの認知症があっても自立している・自立できる人では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が、介護を必要とする症状のある人では、「食事の準備」または「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、あるいは「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、それぞれ第1位となっている。（A問41[40]-c）

【A問41[40]-c 本人に行っている介護内容（本人の認知症の程度別）】

	n	(単位：MA%)																
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べるとき）	入浴・洗身・洗髪	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	トーマ（人工肛門）等	医療面での対応（経管栄養ス	食事の準備	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない
全く認知症の症状がない	533	14.1	10.9	16.5	19.3	19.1	24.2	17.3	59.8	30.6	6.9	3.9	62.3	70.4	56.7	2.1	0.6	7.3
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	11.8	10.3	14.8	20.8	18.3	24.3	15.5	58.0	42.8	13.0	3.0	64.0	68.8	66.3	0.8	1.3	6.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	18.6	15.6	16.2	22.2	26.9	33.5	22.8	77.2	68.3	46.1	1.2	79.6	82.0	84.4	5.4	-	1.2
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難が見られ、介護を必要とする	104	29.8	26.0	30.8	28.8	46.2	52.9	31.7	82.7	69.2	54.8	3.8	89.4	82.7	88.5	3.8	-	1.0
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	40.0	32.0	44.0	34.0	56.0	58.0	42.0	74.0	78.0	72.0	12.0	84.0	92.0	90.0	4.0	-	2.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	66.7	33.3	66.7	-	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	100.0	100.0	66.7	33.3	-	-

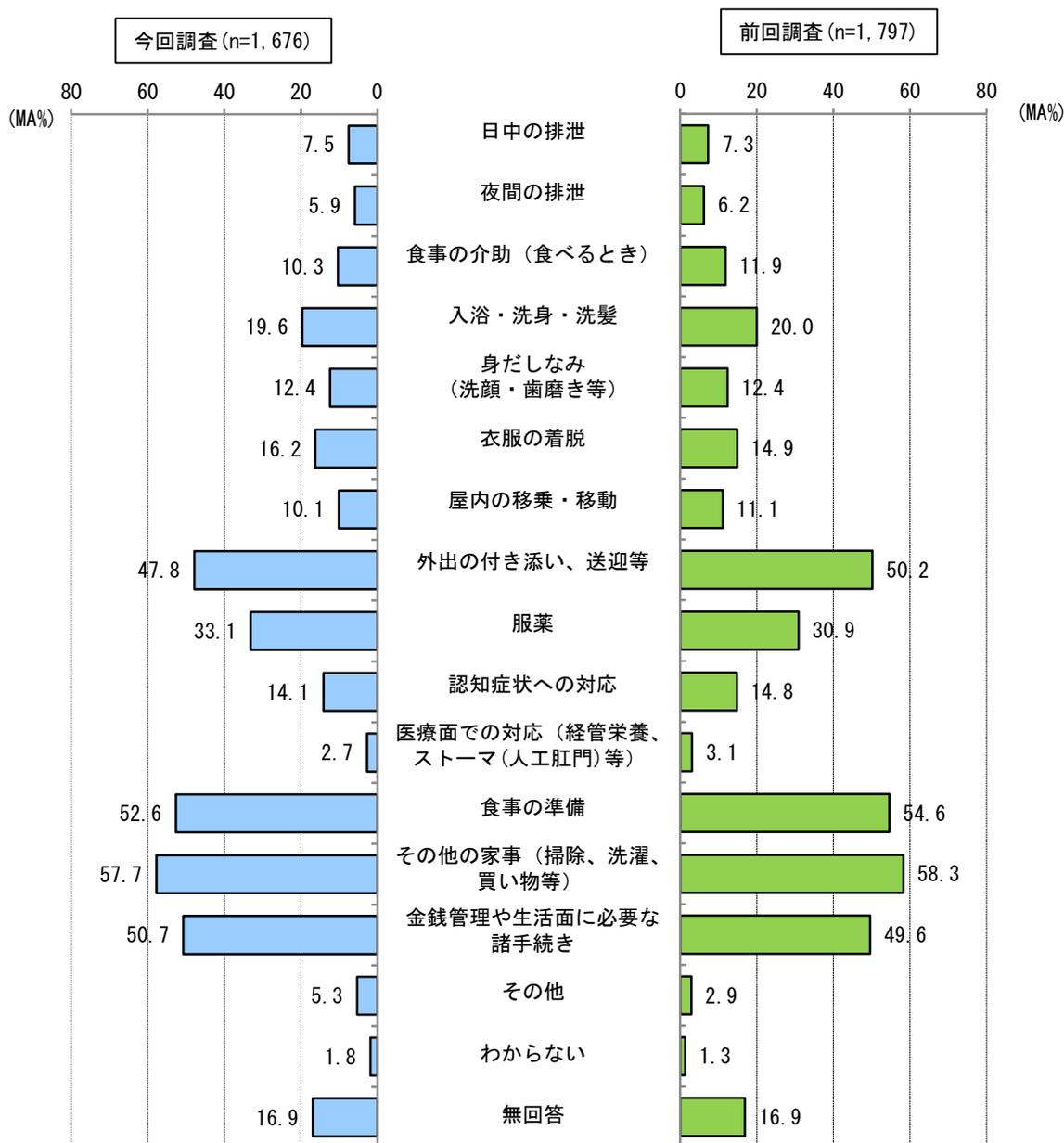
【介護者調査】

サービス未利用者本人に介護者が行っている介護内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が57.7%で最も高く、次いで「食事の準備」が52.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が50.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「外出の付き添い、送迎等」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の順位が入れ替わっている。（B問41[40]）

< B. サービス未利用者 >

【B問41[40] 本人に行っている介護内容（経年比較）】

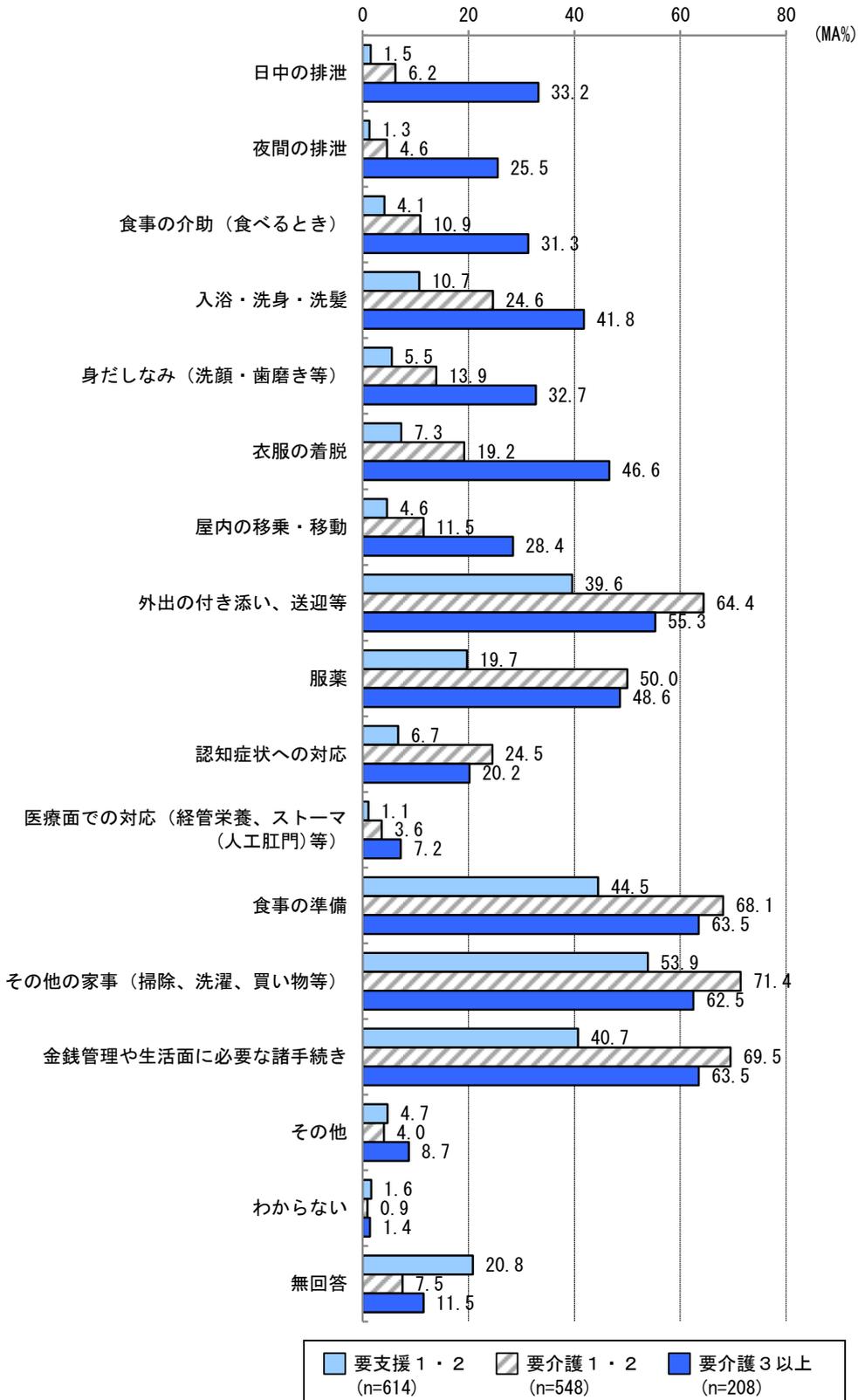


※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

【介護者調査】

本人の要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が、要介護3以上では「食事の準備」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の各割合がそれぞれ最も高くなっている。（B問41[40]-a）

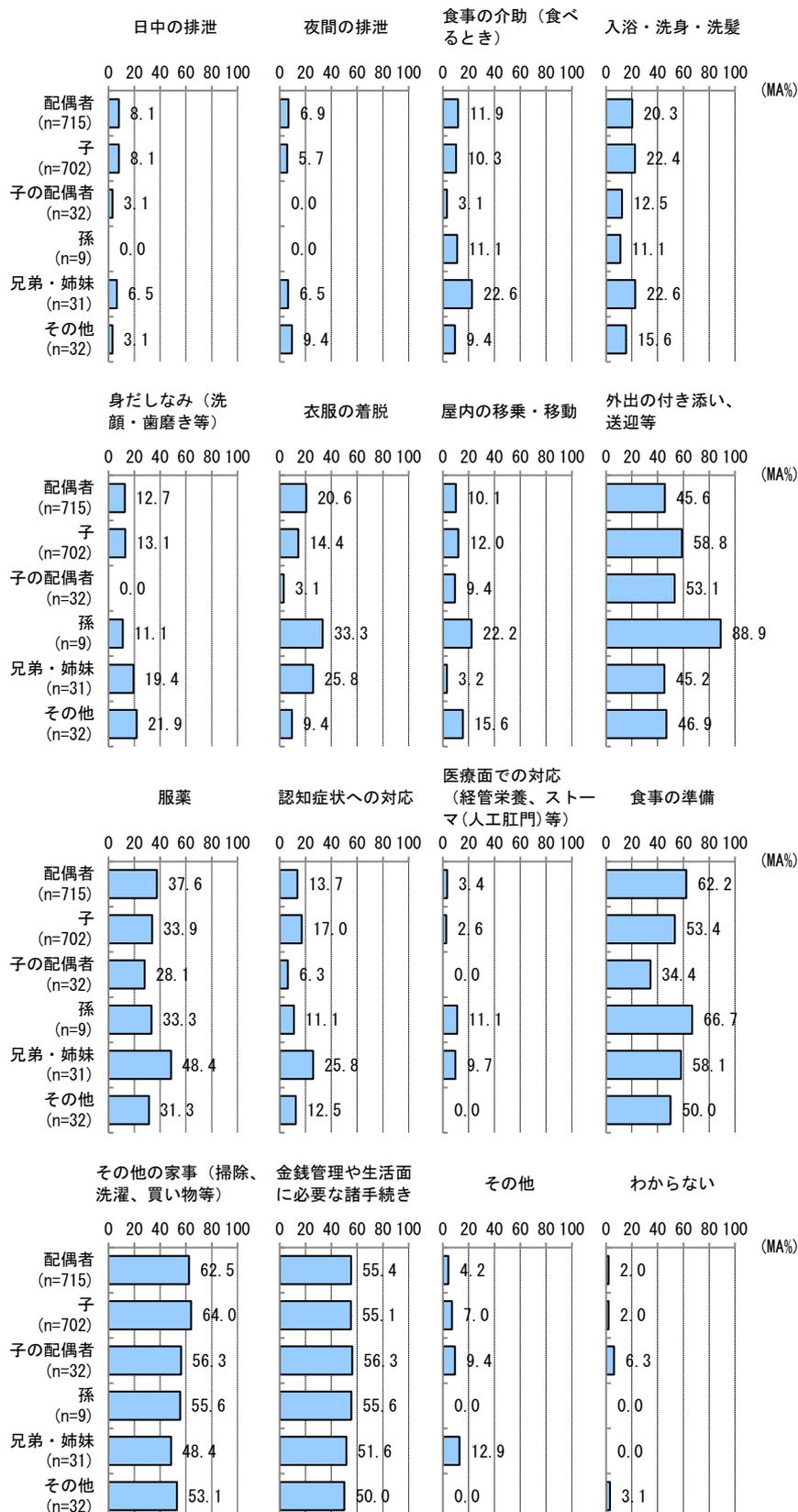
【B問41[40]-a 本人に行っている介護内容（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者、子、子の配偶者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高くなっている。子の配偶者では、同率で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」も高くなっている。（B問41[40]-b）

【B問41[40]-b 本人に行っている介護内容（本人との関係別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、各介護内容の割合は、全般に認知症の重度化に伴って高くなる傾向にある。全く認知症の症状がない、もしくは何らかの認知症があっても自立している・自立できる人では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が、介護を必要とする症状のある人では、「食事の準備」または「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、それぞれ第1位となっている。（B問41[40]-c）

【B問41[40]-c 本人に行っている介護内容（本人の認知症の程度別）】

（単位：MA%）

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べるとき）	入浴・洗身・洗髪	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ（人工肛門）等）	食事の準備	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	手続き	金銭管理や生活面に必要な諸	その他	わからない	無回答
全く認知症の症状がない	655	7.8	5.8	9.3	21.4	9.8	14.4	11.0	49.3	24.4	4.4	2.0	52.5	59.1	45.6	5.8	2.1	12.2	
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	4.6	3.9	8.1	17.1	9.4	15.1	7.9	49.6	34.9	9.2	3.3	56.4	62.7	55.3	4.6	3.1	7.9	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	5.1	6.1	11.6	18.2	18.7	18.7	12.1	67.2	63.1	37.4	2.0	67.2	73.2	74.7	5.6	-	3.0	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	15.5	10.3	19.6	39.2	32.0	34.0	18.6	66.0	60.8	60.8	3.1	78.4	76.3	79.4	6.2	-	2.1	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	43.2	29.5	43.2	40.9	50.0	54.5	27.3	68.2	75.0	65.9	11.4	86.4	86.4	88.6	13.6	-	-	
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	13.3	13.3	13.3	33.3	13.3	20.0	13.3	40.0	20.0	20.0	6.7	40.0	33.3	53.3	20.0	6.7	20.0	

### 問42[41] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの

あなたが、自宅での介護を行う上で紙おむつや尿とりパッドのほかに、次のうち、毎月もっとも必要とするものに○をつけてください。(○はひとつ)

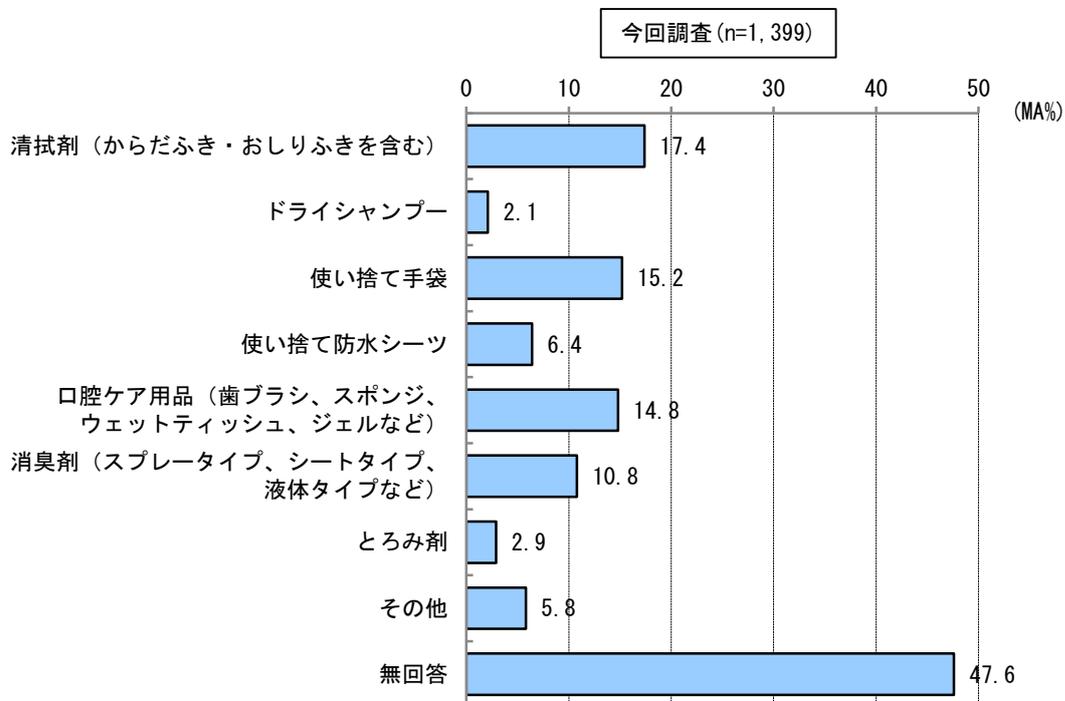
※2つ以上の回答が多かったため、複数回答に変更している。

サービス利用者本人に対し、在宅介護で毎月最も必要とするものは、「清拭剤(からだふき・おしりふきを含む)」の割合が17.4%で最も高く、次いで「使い捨て手袋」が15.2%、「口腔ケア用品(歯ブラシ、スポンジ、ウェットティッシュ、ジェルなど)」が14.8%となっている。

(A問42[41])

#### < A. サービス利用者 >

#### 【A問42[41] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの】

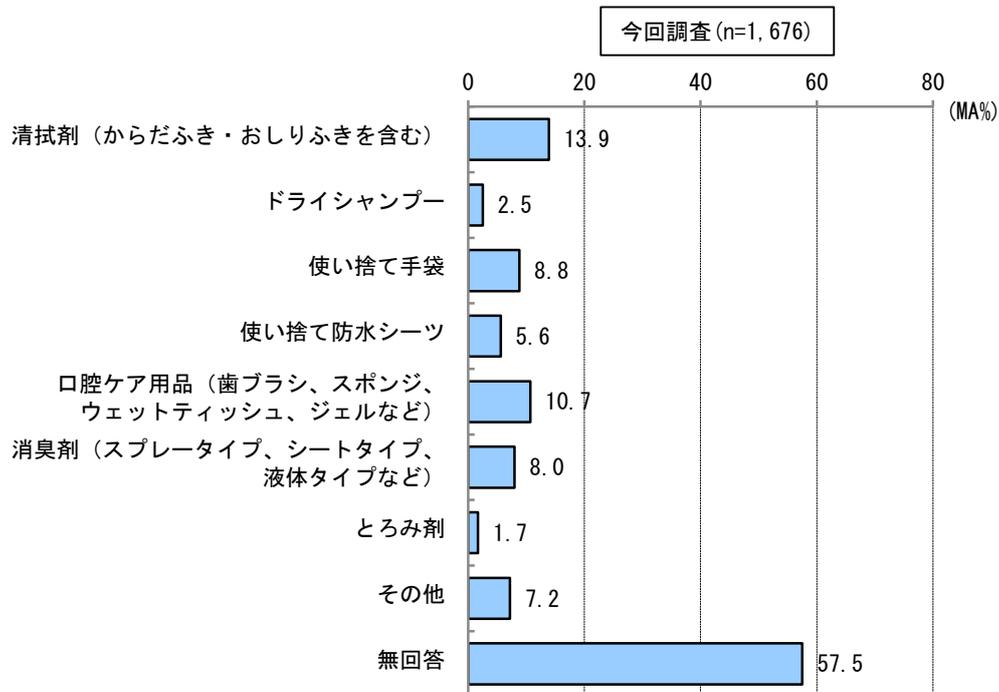


【介護者調査】

サービス未利用者本人に対し、在宅介護で毎月最も必要とするものは、「清拭剤（からだふき・おしりふきを含む）」の割合が13.9%で最も高く、次いで「口腔ケア用品（歯ブラシ、スポンジ、ウェットティッシュ、ジェルなど）」が10.7%、「使い捨て手袋」が8.8%となっている。（B問42[41]）

<B. サービス未利用者>

【B問42[41] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの】



### (3) 介護上の問題

#### 問43[42] 自宅での介護で困っていること

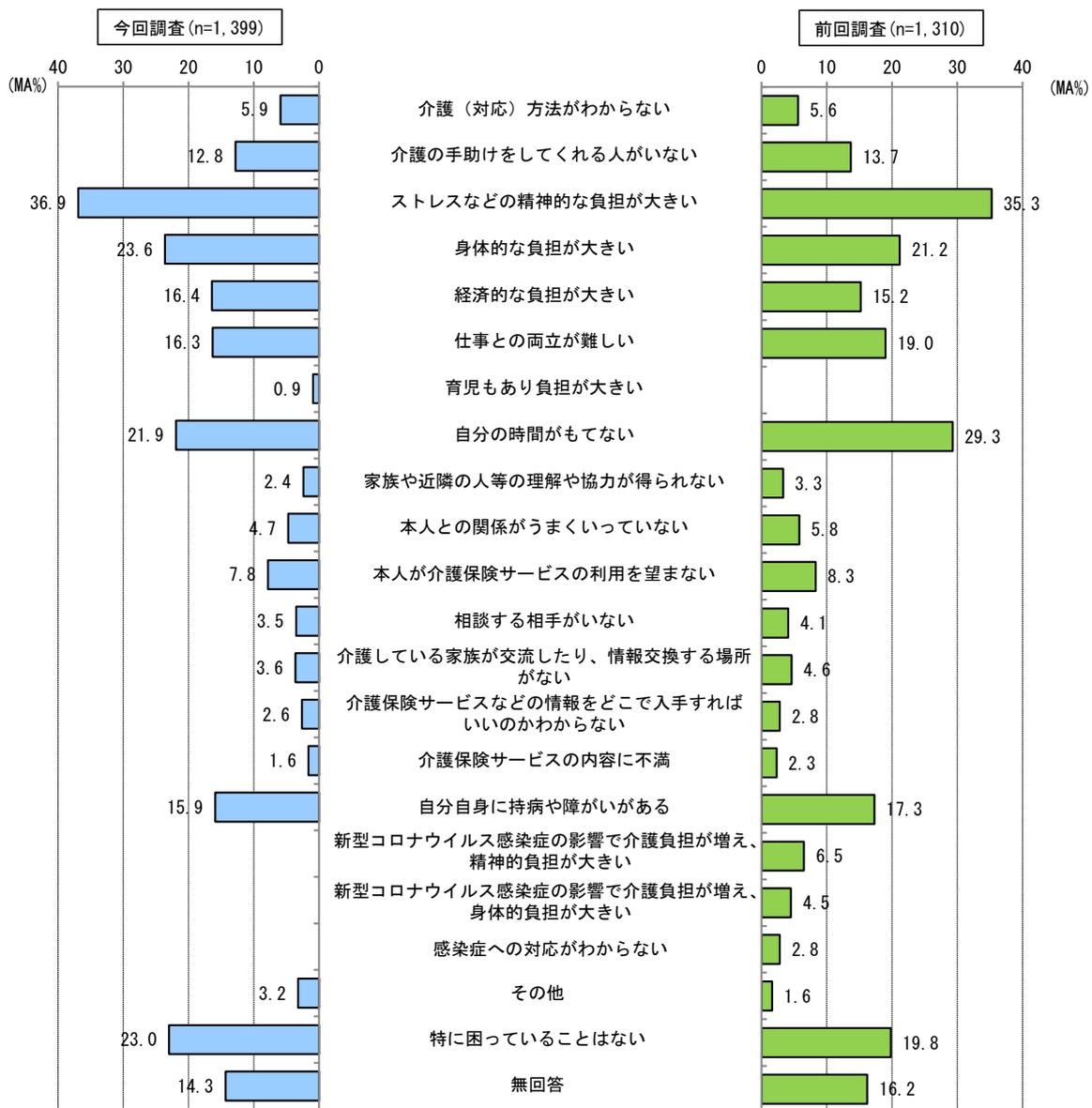
あなたが、自宅での介護を行ううえで困っていることはどのようなことですか。  
(○はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で困っていることは、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の割合が36.9%で最も多く、次いで「身体的な負担が大きい」が23.6%、「自分の時間がもてない」が21.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「身体的な負担が大きい」と「自分の時間がもてない」の順位が入れ替わっている。(A問43[42])

#### < A. サービス利用者 >

【A問43[42] 自宅での介護で困っていること（経年比較）】



※「育児もあり負担が大きい」は、今回調査の新規項目である。

※前回の「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい」「感染症への対応がわからない」は、今回調査では設けていない。

【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者は「特に困っていることはない」の割合が36.8%で最も高くなっている。認知症の症状が少しでも見られる高齢者は「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も高い。「介護（対応）方法がわからない」「介護の手助けをしてくれる人がいない」「身体的な負担が大きい」の割合は、認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向がみられる。（A問43[42]-a）

【A問43[42]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	介護（対応）方法がわからない	介護の手助けをしてくれる人がいない	ストレスなどの精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	育児もあり負担が大きい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人等の理解や協力が得られない
全く認知症の症状がない	533	3.9	9.2	24.2	19.9	14.3	12.6	1.1	17.4	1.1
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	5.8	14.0	36.5	26.0	15.3	17.0	0.5	19.8	2.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	9.0	16.2	61.7	28.7	19.2	23.4	-	36.5	4.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	104	13.5	23.1	72.1	35.6	34.6	32.7	3.8	33.7	6.7
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	14.0	24.0	64.0	42.0	34.0	22.0	2.0	56.0	6.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	-	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-

	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流したり情報交換する場所がない	介護保険サービスなどの情報がない	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることはない	無回答
全く認知症の症状がない	2.6	3.8	2.4	2.6	2.3	0.8	11.3	2.6	36.8	10.5
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	6.0	9.8	3.5	3.0	3.3	1.3	18.0	2.8	22.5	11.0
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	7.8	15.0	7.2	8.4	3.0	4.2	22.8	6.0	12.0	1.2
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	6.7	14.4	5.8	2.9	3.8	2.9	26.0	4.8	5.8	2.9
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	10.0	10.0	6.0	12.0	2.0	4.0	20.0	8.0	8.0	6.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

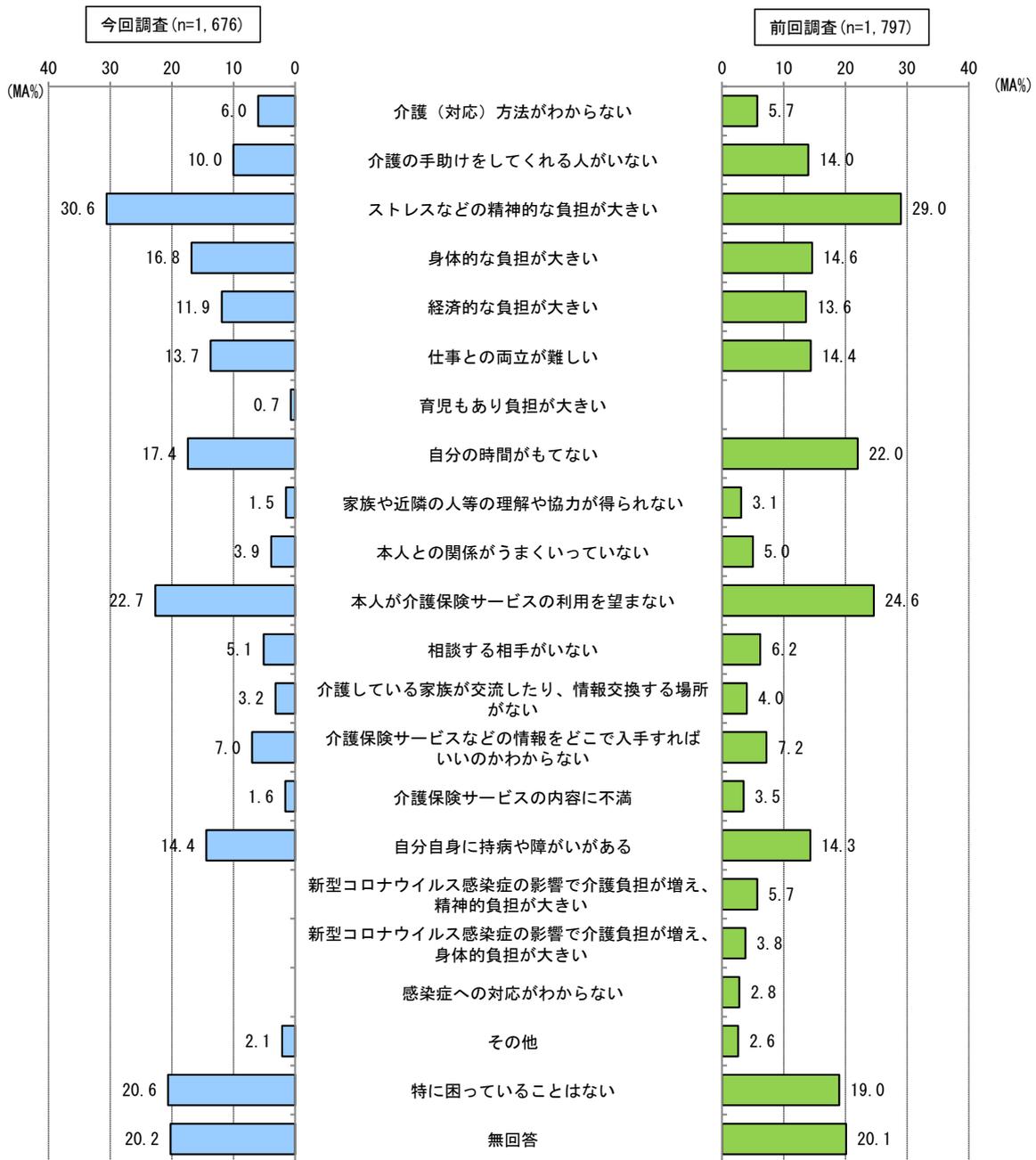
【介護者調査】

自宅でのサービス未利用者の介護で困っていることは、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の割合が30.6%で最も高く、次いで「本人が介護保険サービスの利用を望まない」が22.7%「自分の時間がもてない」が17.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問43[42])

< B. サービス未利用者 >

【B問43[42] 自宅での介護で困っていること（経年比較）】



※「育児もあり負担が大きい」は、今回調査の新規項目である。

※前回の「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい」「感染症への対応がわからない」は、今回調査では設けていない。

【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者は「特に困っていることはない」の割合が33.0%で最も高くなっている。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる高齢者では「本人が介護保険サービスの利用を望まない」の割合が最も高く、それ以外の高齢者では「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の割合が最も高くなっている。(B問43[42]-a)

【B問43[42]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	介護（対応）方法がわからない	介護の手助けをしてくれる人がいない	大きなストレスなどの精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	育児もあり負担が大きい	自分の時間がもてない	が家族や近隣の人等の理解や協力が得られない
全く認知症の症状がない	655	5.3	7.9	23.7	15.3	11.5	12.7	1.1	14.0	1.1
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	6.4	9.4	30.5	17.5	11.2	12.5	0.4	15.4	0.7
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	7.1	14.1	48.0	18.2	15.7	22.7	-	27.3	3.0
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	7.2	21.6	57.7	23.7	13.4	24.7	2.1	35.1	5.2
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	11.4	27.3	81.8	43.2	27.3	27.3	-	59.1	2.3
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	26.7	20.0	46.7	46.7	26.7	6.7	-	33.3	6.7

	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流しない	介護情報交換する場がない	どこで介護保険サービスを利用すればいいかわからない	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることはない	無回答
全く認知症の症状がない	2.6	15.4	4.6	2.0	6.1	1.7	11.9	1.1	33.0	15.4	
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	2.4	22.8	4.6	3.7	7.0	0.9	18.2	2.4	21.9	13.4	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	7.6	48.5	7.6	5.6	6.6	2.0	14.1	3.0	7.6	4.0	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	14.4	47.4	10.3	6.2	16.5	1.0	19.6	5.2	4.1	8.2	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	20.5	40.9	11.4	6.8	13.6	4.5	31.8	11.4	2.3	6.8	
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	-	-	13.3	13.3	20.0	13.3	33.3	-	-	40.0	

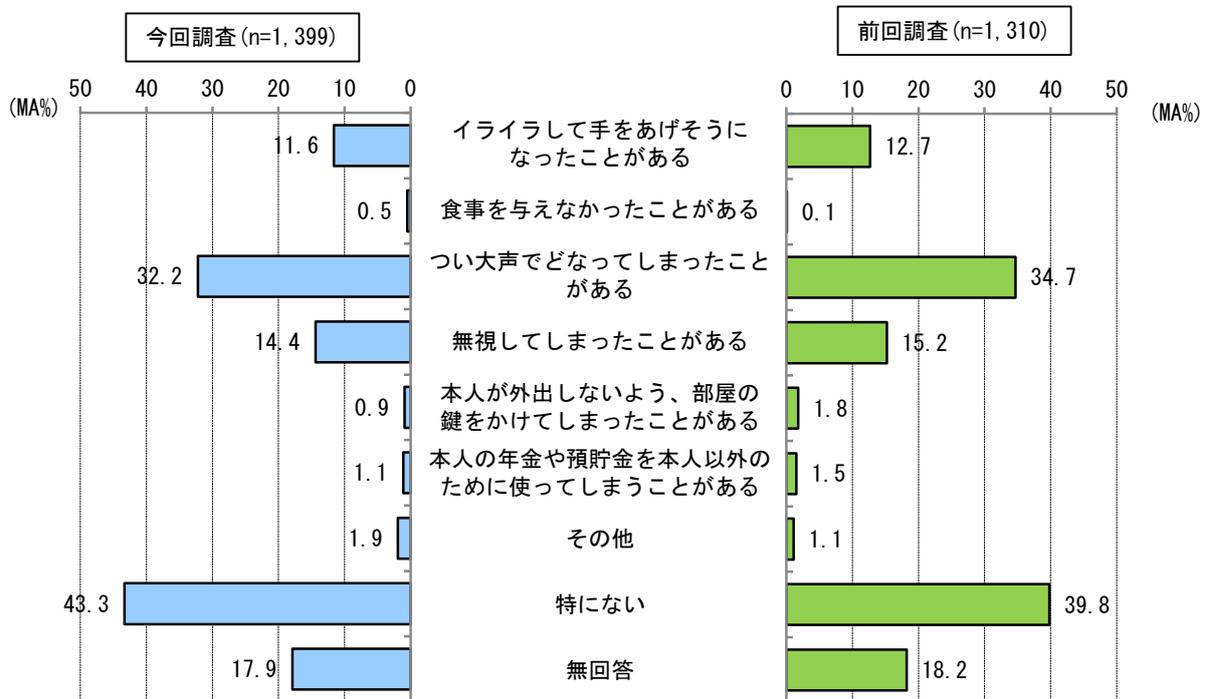
問44[43] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと

あなたが、自宅での介護を行ううえで、次のような状態になったことがありますか。  
(○はいくつでも)

自宅での介護でサービス利用者本人に対して行ってしまったことは、「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が32.2%で最も高く、次いで「無視してしまっただことがある」が14.4%、「イライラして手をあげそうになったことがある」が11.6%となっている。  
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問44[43])

< A. サービス利用者 >

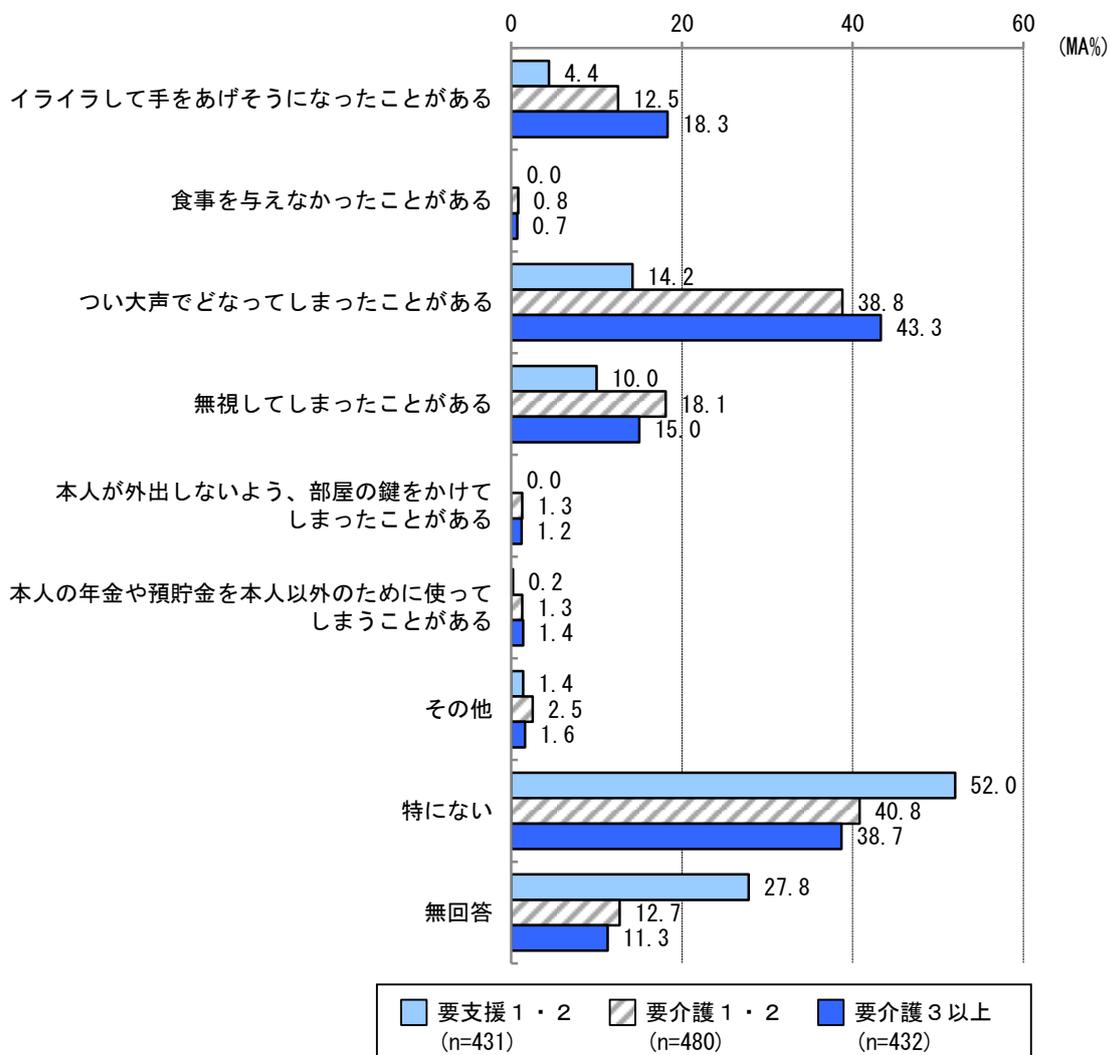
【A問44[43] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「特にない」の割合が最も高いが、要介護度が重度になるほど低くなる傾向がみられる。要介護3以上では「つい大声でどなってしまったことがある」が43.3%で最も高くなっている。(A問44[43]-a)

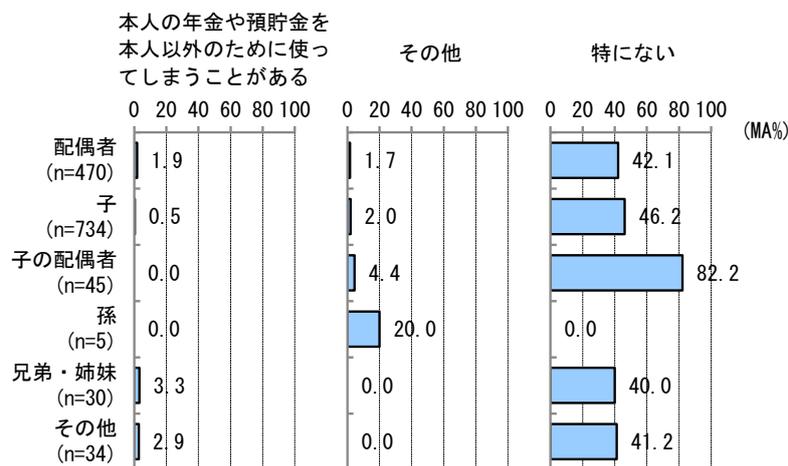
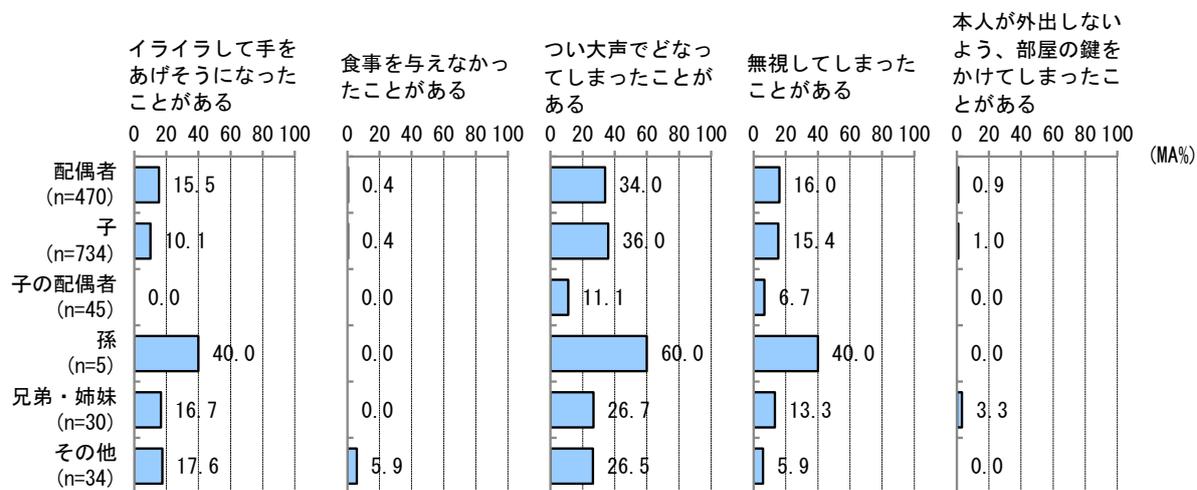
【A問44[43]-a 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、n数が少ない孫を除いて、関係性にかかわらず「特にない」の割合が最も高くなっている。(A問44[43]-b)

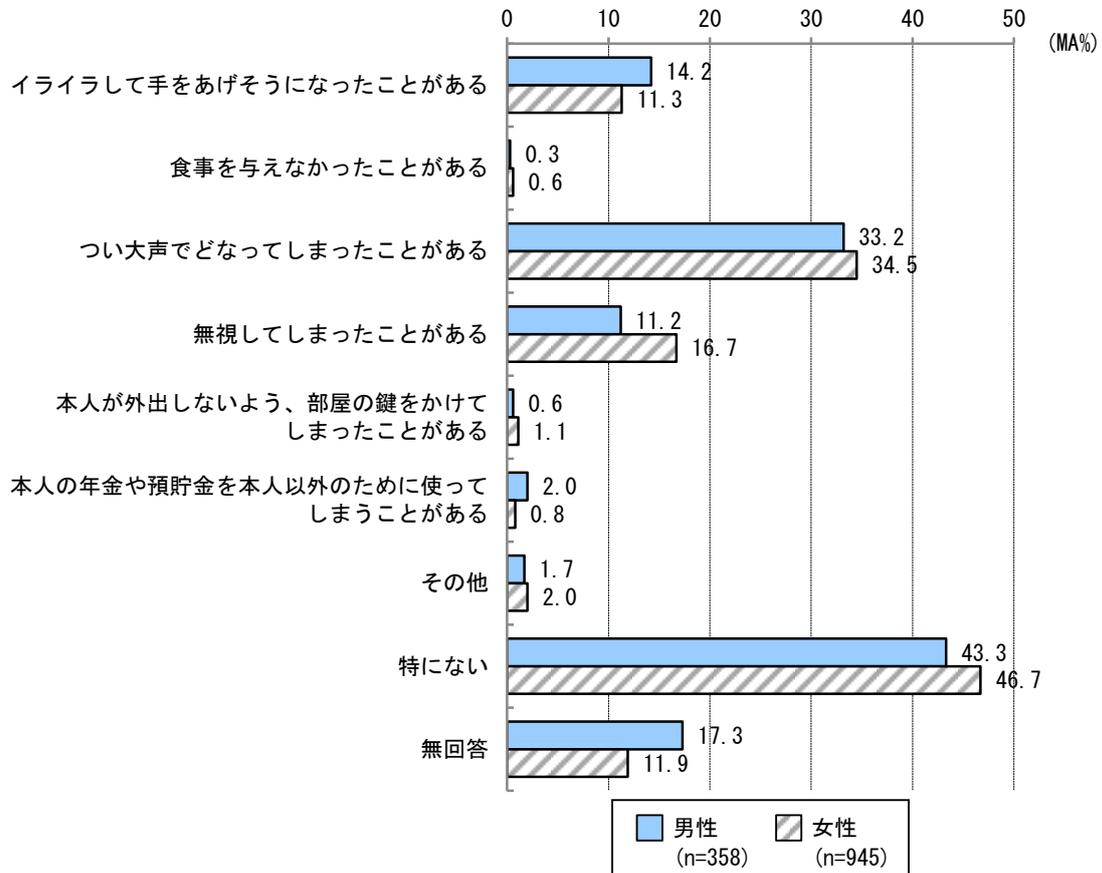
【A問44[43]-b 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男女とも「特にない」の割合が最も高く、次いで「つい大声でどなってしまったことがある」となっている。(A問44[43]-c)

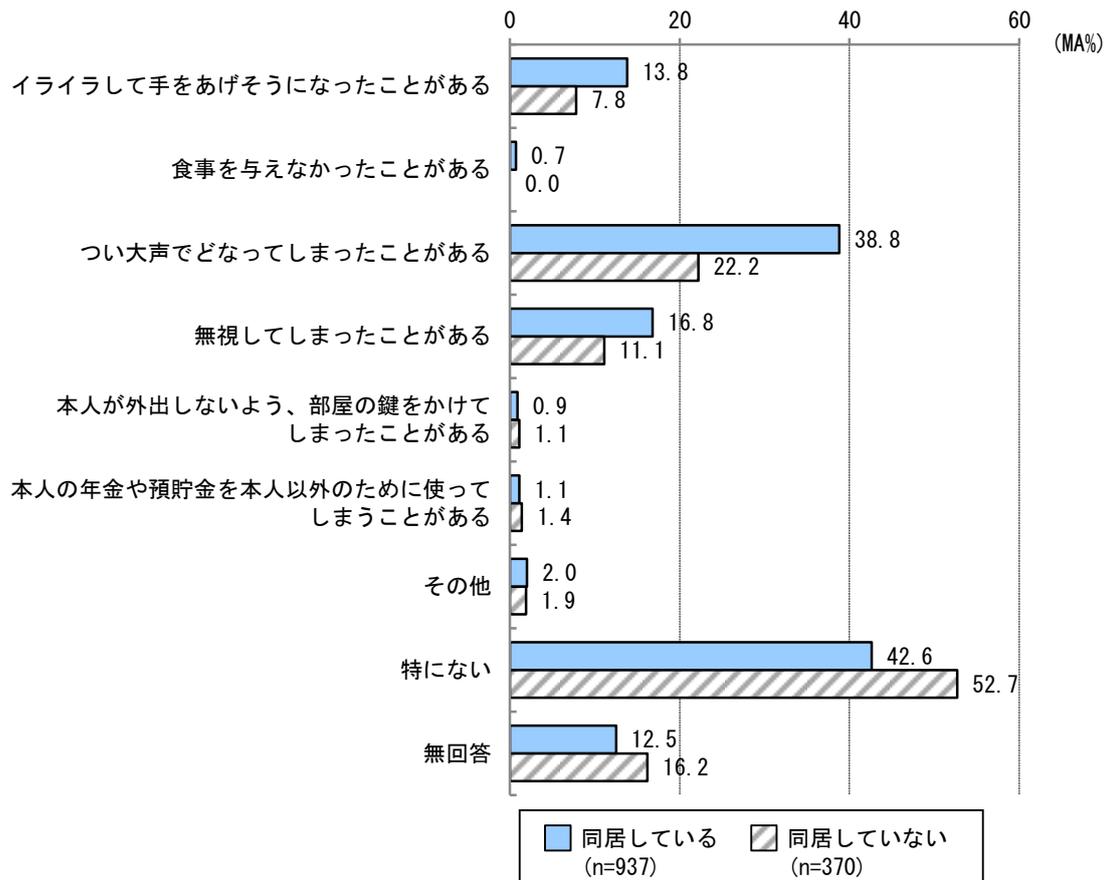
【A問44[43]-c 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（介護者の性別）】



【介護者調査】

本人との同居の有無別では、同居の有無にかかわらず「特にない」の割合が最も高い。次いで「つい大声でどなってしまったことがある」が続いており、同居していない介護者より同居している介護者の方が16.6ポイント高くなっている。本人に対して行ってしまった行為の割合は、「本人が外出しないよう、部屋の鍵をかけてしまったことがある」「本人の年金や預貯金を本人以外のために使ってしまうことがある」を除いて、同居していない介護者に比べて同居している介護者で高い傾向にある。(A問44[43]-d)

【A問44[43]-d 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者や、何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している高齢者では「特にない」の割合が最も高くなっている。認知症の症状が見られ、見守りや介護を必要とする高齢者に対しては「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が最も高くなっている。(A問44[43]-e)

【A問44[43]-e 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	イライラして手 をあげそうになっ たことがある	食事を与えなかつた ことがある	つい大声でどなつて しまったことがある	無視してしまつたこ とがある	本人が外出しないよ う、部屋の鍵	本人の年金や預貯金 を本人以外のため に使うてしまふこと がある	その他	特にな い	無回 答
全く認知症の症状がない	533	8.1	0.4	19.7	6.8	0.2	0.6	0.8	60.8	15.2
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	8.3	0.5	32.8	17.3	-	0.8	2.0	45.5	12.5
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	17.4	0.6	55.7	28.1	2.4	3.0	3.6	30.5	4.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	104	33.7	1.0	66.3	25.0	3.8	1.0	3.8	20.2	5.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	28.0	-	66.0	30.0	6.0	4.0	4.0	12.0	14.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3

【介護者調査】

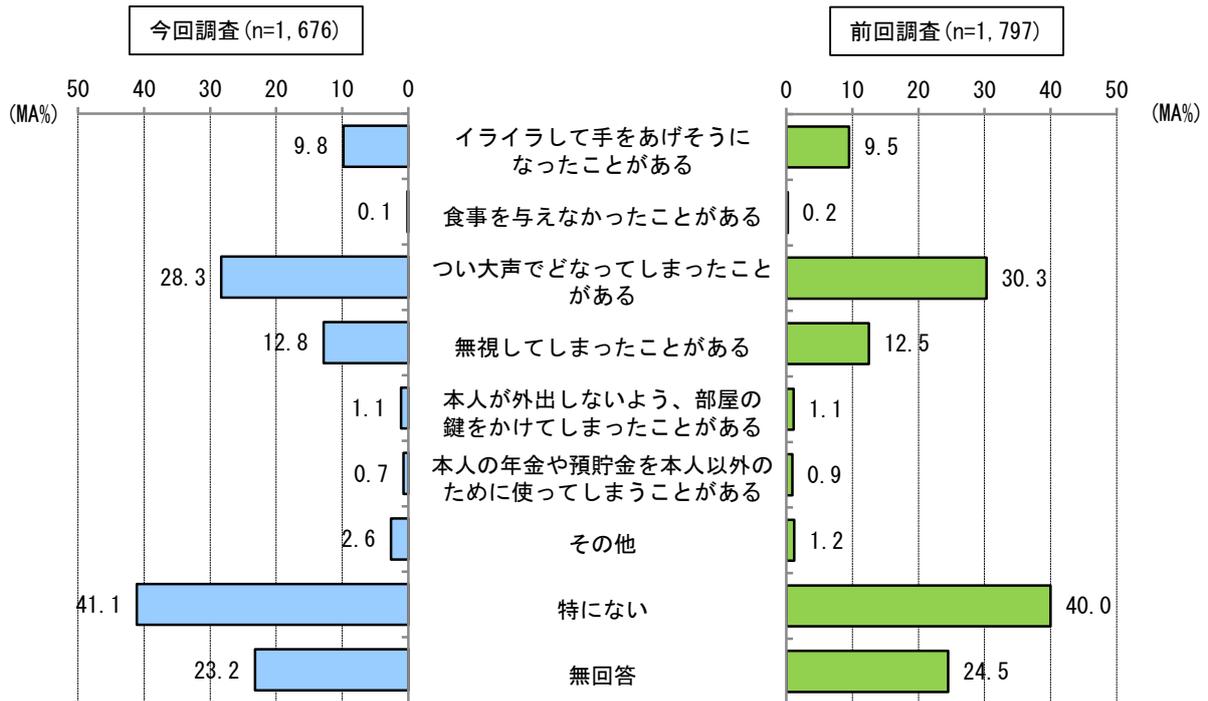
自宅での介護でサービス未利用者本人に対して行ってしまったことは、「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が28.3%で最も高く、次いで「無視してしまっただことがある」が12.8%、「イライラして手をあげそうになったことがある」が9.8%となっている。

また、「特にない」が41.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問44[43])

< B. サービス未利用者 >

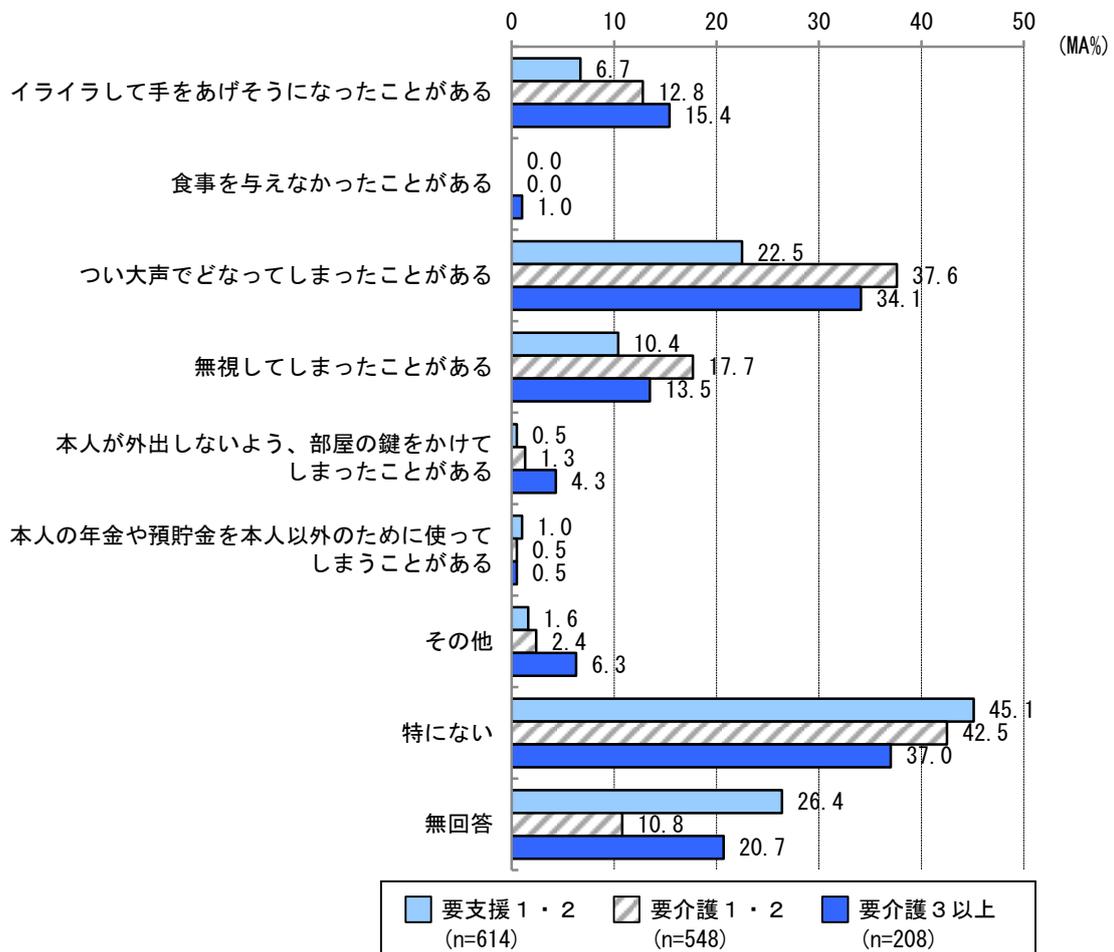
【B問44[43] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「特にない」の割合が最も高い。次いでい  
 ずれも「つい大声でどなってしまったことがある」で、要介護1・2が37.6%で最も高くなっ  
 ている。(B問44[43]-a)

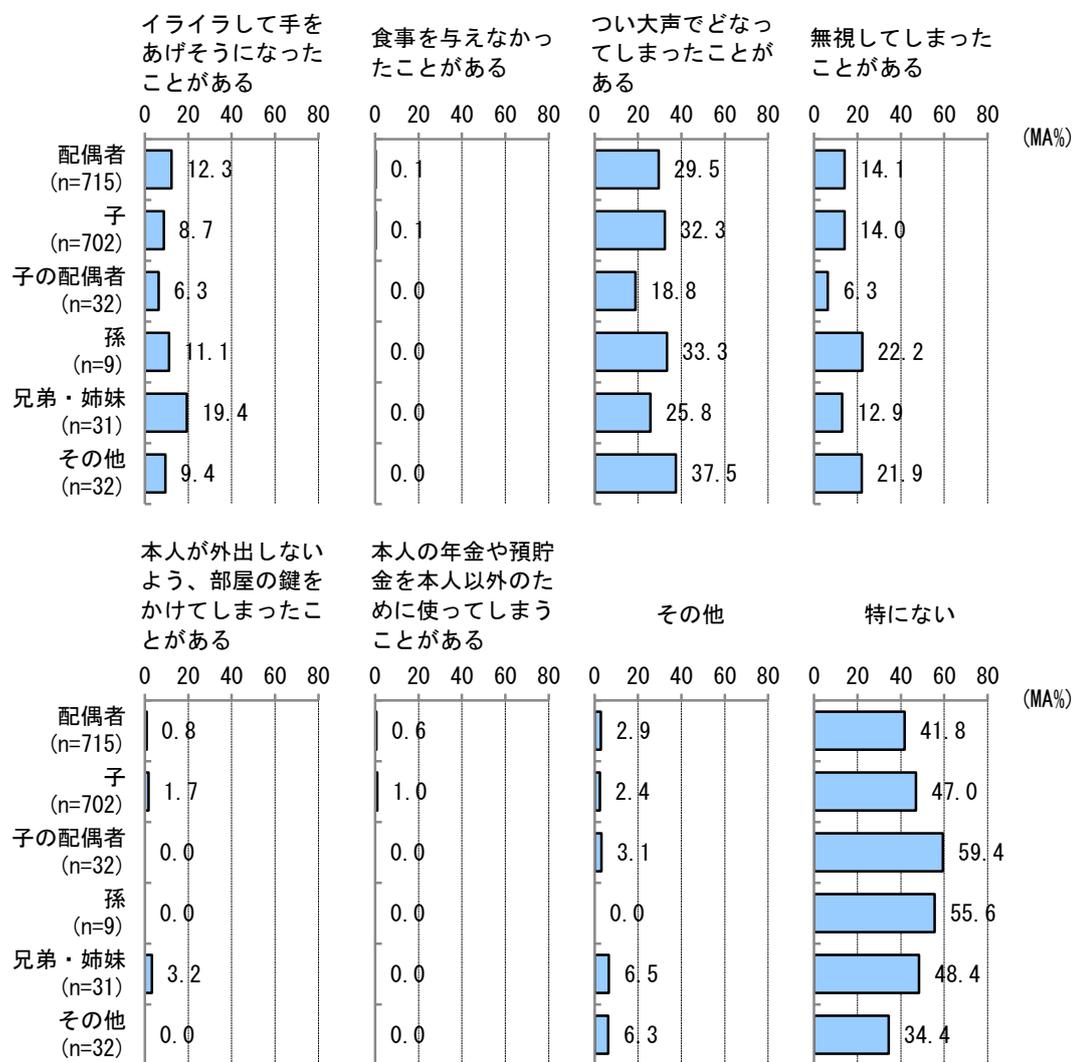
【B問44[43]-a 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、その他を除いて、関係性にかかわらず「特にない」の割合が最も高くなっている。(B問44[43]-b)

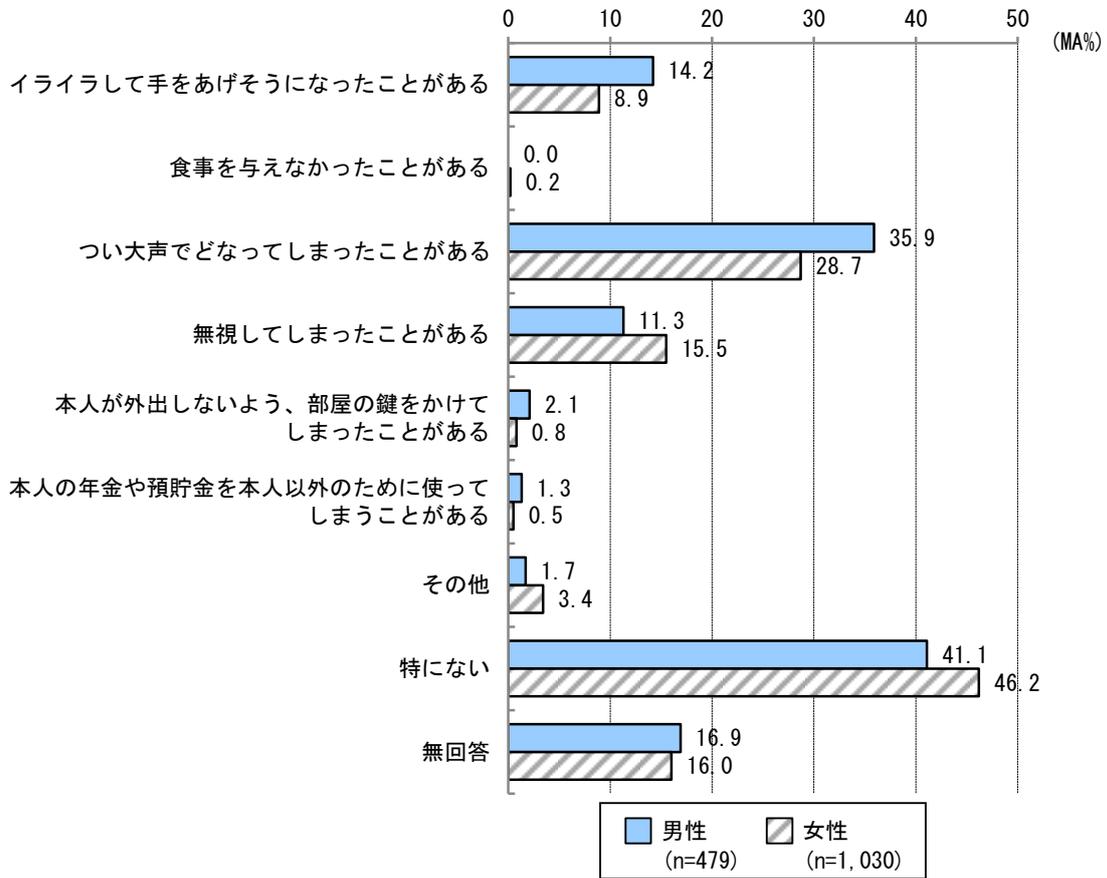
【B問44[43]-b 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男女とも「特にない」の割合が最も高い。次いで男女とも「つい大声でどなってしまったことがある」が続いている。(B問44[43]-c)

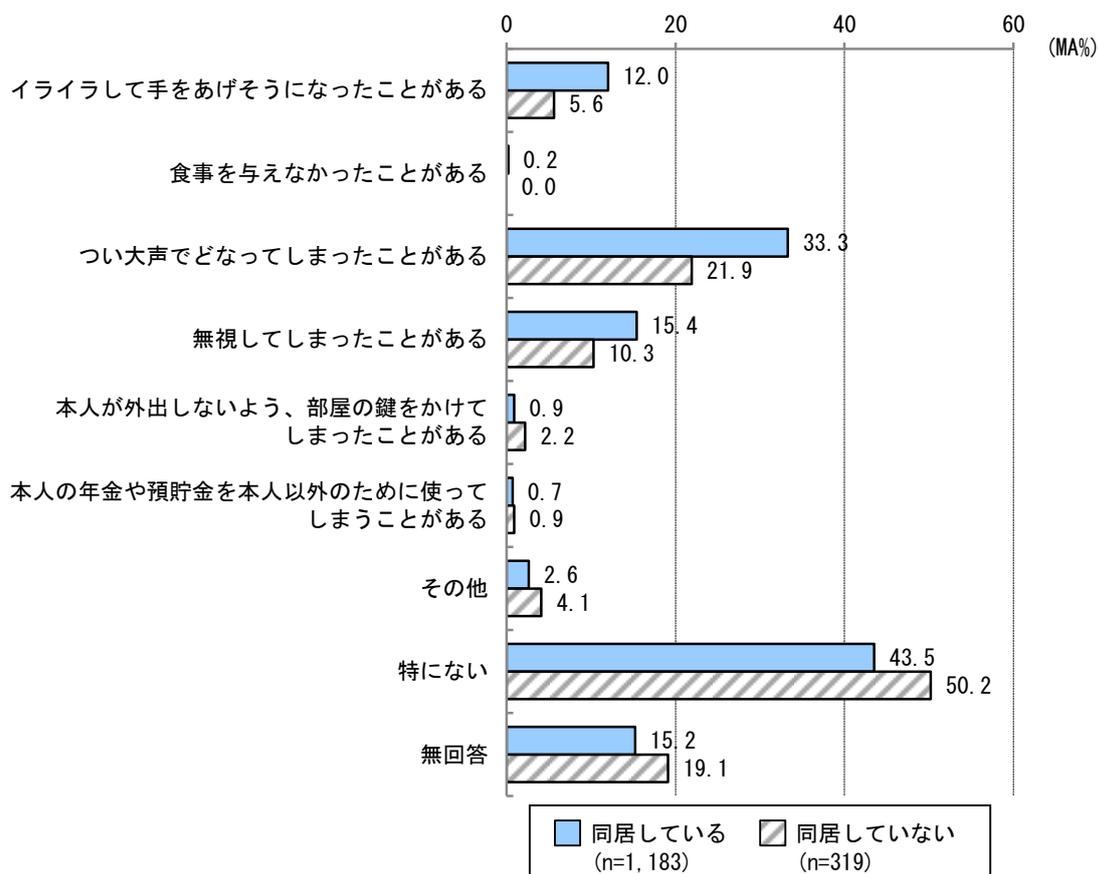
【B問44[43]-c 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（介護者の性別）】



【介護者調査】

本人との同居の有無別では、同居の有無にかかわらず「特にない」の割合が最も高く、次いで「つい大声でどなってしまったことがある」が続いている。本人に対して行ってしまった行為の割合は、「本人が外出しないよう、部屋の鍵をかけてしまったことがある」「本人の年金や預貯金を本人以外のために使ってしまうことがある」を除いて、同居していない介護者に比べて同居している介護者で高い傾向にある。(B問44[43]-d)

【B問44[43]-d 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者や、何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している高齢者は「特にない」の割合が最も高くなっている。認知症の症状が見られ、見守りや介護を必要とする高齢者に対しては「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が最も高くなっている。(B問44[43]-e)

【B問44[43]-e 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	こ イ ラ イ ア ル 手 を あ げ そ う に な っ た	食 事 を 与 え な か っ た こ と が あ る	あ つ い 大 声 で ど な っ て し ま っ た こ と が	無 視 し て し ま っ た こ と が あ る	本 人 が 外 出 し な い よ う 、 部 屋 の 鍵 を	本 人 の 年 金 や 預 貯 金 を 本 人 以 外 の た め に 使 っ て し ま う こ と が あ る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全く認知症の症状がない	655	5.2	-	19.1	8.5	0.5	0.3	2.0	56.5	18.0
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	9.6	-	26.3	11.2	0.4	1.3	2.2	48.0	17.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	13.6	0.5	54.5	26.3	2.0	1.0	3.5	26.3	7.1
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	27.8	-	66.0	33.0	5.2	-	2.1	13.4	9.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	43.2	2.3	70.5	29.5	9.1	-	13.6	13.6	9.1
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	26.7	-	33.3	13.3	6.7	-	20.0	6.7	40.0

### 問44-1[43-1] 虐待的行為が緩和される支援(自由記述)

どのような支援があれば、問44[43]のような状態が緩和されますか。ご意見などありましたら、次の欄に記入してください。

#### <A. サービス利用者>

107人から延べ115件の意見が挙がっている。

##### 【主な意見】

- ・デイサービス・ショートステイを利用できれば良い。施設入所してほしい。
- ・必要な時にスムーズにサービスを利用したい。利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・介護者のストレス解消、身近な相談窓口、共感してくれる人、交流の場がほしい。
- ・経済的支援をしてほしい。介護者に手当がほしい。
- ・現状の介護が大変である、辛い、ストレスが溜まっている。
- ・介護者が自分の時間をとれるような支援をしてほしい。ボランティアの支援を受けたい。
- ・認知症に対する理解を深める、認知症介護のアドバイスをしてほしい。
- ・コミュニケーションをとる、気持ちを切り替える、前向きに考える。

#### <B. サービス未利用者>

133人から延べ134件の意見が挙がっている。

##### 【主な意見】

- ・本人は望まないが、デイサービス・ショートステイを利用してほしい・施設入所してほしい。
- ・必要な時にスムーズにサービスを利用したい。一時的に利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・気持ちを切り替える、前向きに考える、理解・我慢するしかない、仕方がない、諦めている。
- ・経済的支援をしてほしい。介護離職をしなくて良い支援が必要である。
- ・介護者のストレス解消、身近な相談窓口、共感してくれる人、交流の場がほしい。
- ・介護者が自分の時間をとれる支援をしてほしい。誰かの手助け・協力が必要である。
- ・介護者や家族以外の人とのコミュニケーションが増えれば良い。訪問介護の回数を増やしてほしい。
- ・現状の介護が大変である、辛い、ストレスが溜まっている。介護者の精神的ケアが必要である。

### 問45[44] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度

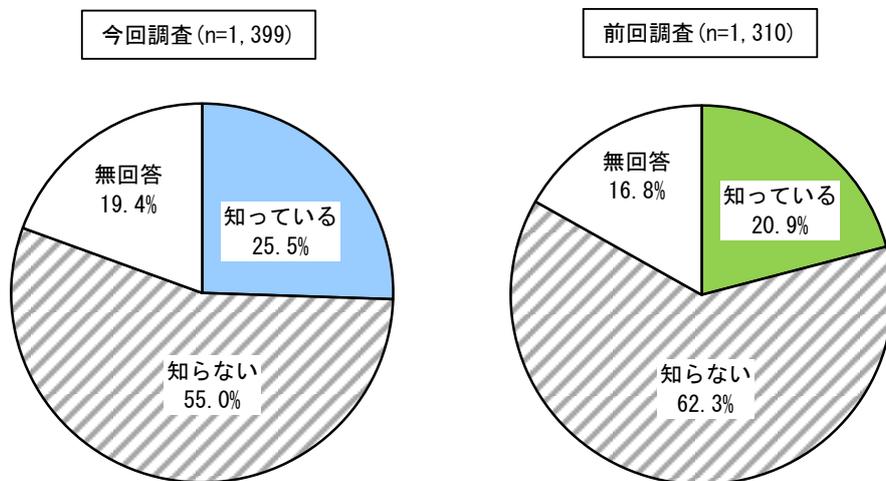
あなたは、あなたの周囲の高齢者が身近な人からの暴力や暴言、身体拘束や閉じ込め、介護や世話の放棄、年金の使い込みといった「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存じですか。(〇はひとつ)

サービス利用者本人の介護者で、高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先を「知っている」の割合は25.5%に対し、「知らない」が55.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合は4.6ポイント増加している。(A問45[44])

#### <A. サービス利用者>

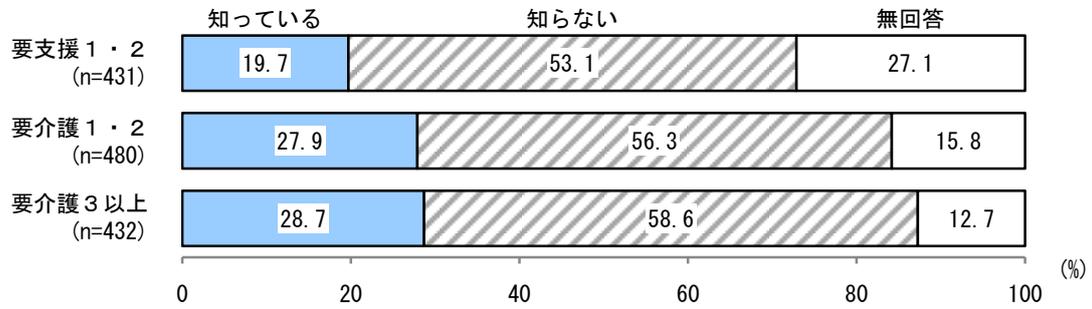
#### 【A問45[44] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、「知っている」の割合は、要介護度が重度になるほど高く、要介護3以上が28.7%で最も高くなっている。(A問45[44]-a)

【A問45[44]-a 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（本人の要介護度別）】



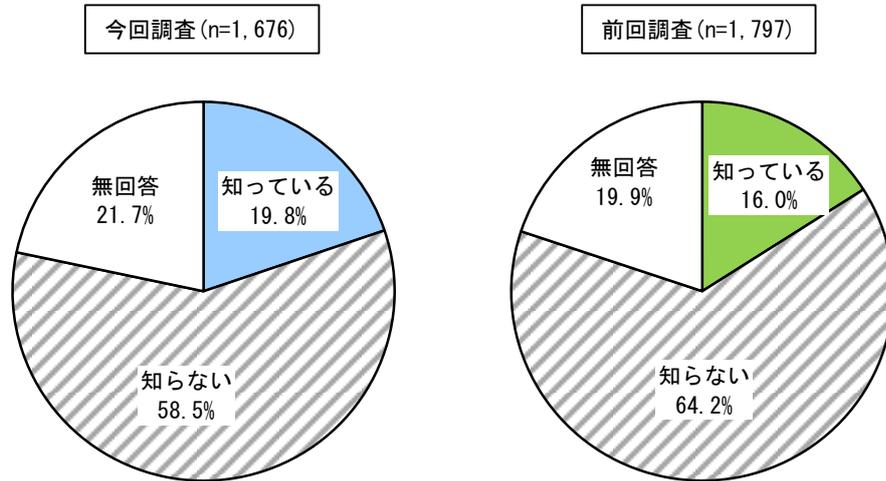
【介護者調査】

サービス未利用者本人の介護者で、高齢者虐待に対する通報・相談先を「知っている」の割合は19.8%に対し、「知らない」が58.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合は3.8ポイント増加している。(B問45[44])

< B. サービス未利用者 >

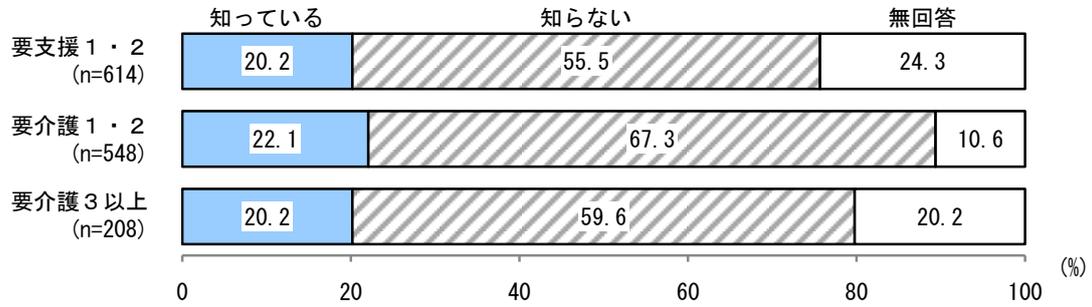
【B問45[44] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、「知っている」の割合は要介護1・2が22.1%で最も高く、「知らない」の割合も要介護1・2が67.3%で最も高くなっている。(B問45[44]-a)

【B問45[44]-a 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度(本人の要介護度別)】



### 問46 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化

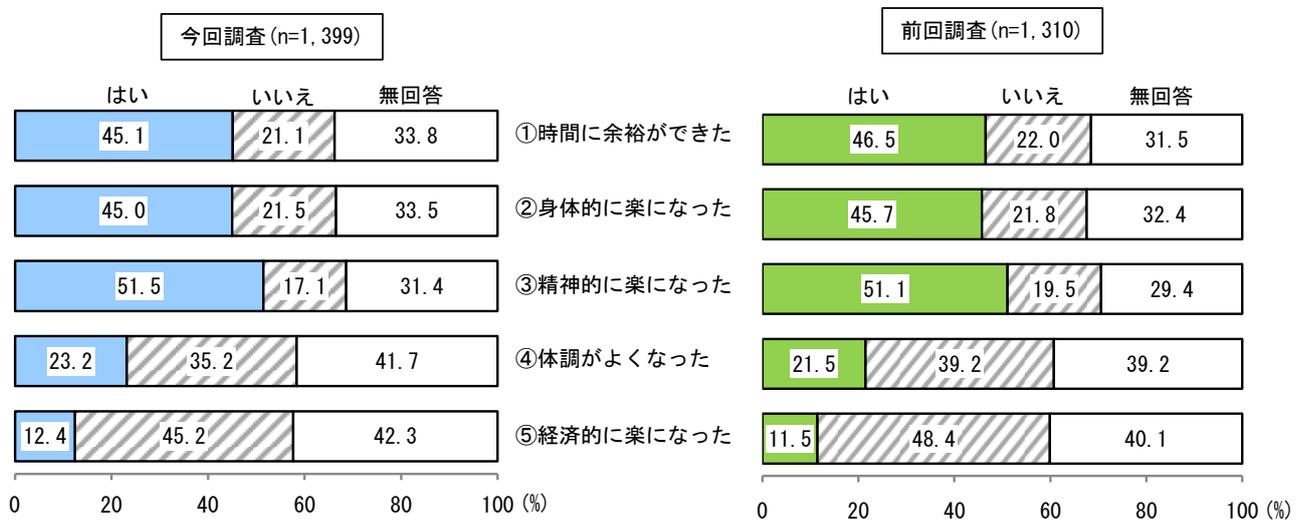
ご本人が介護保険サービスを利用することによって、あなたにどのような変化がありましたか。それぞれ「はい・いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス利用者本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の心身の変化で最も割合が高いものは、“③精神的に楽になった”（51.5%）で、次いで“①時間に余裕ができた”（45.1%）、“②身体的に楽になった”（45.0%）である。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（A問46）

#### < A. サービス利用者のみ >

【A問46 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化（経年比較）】



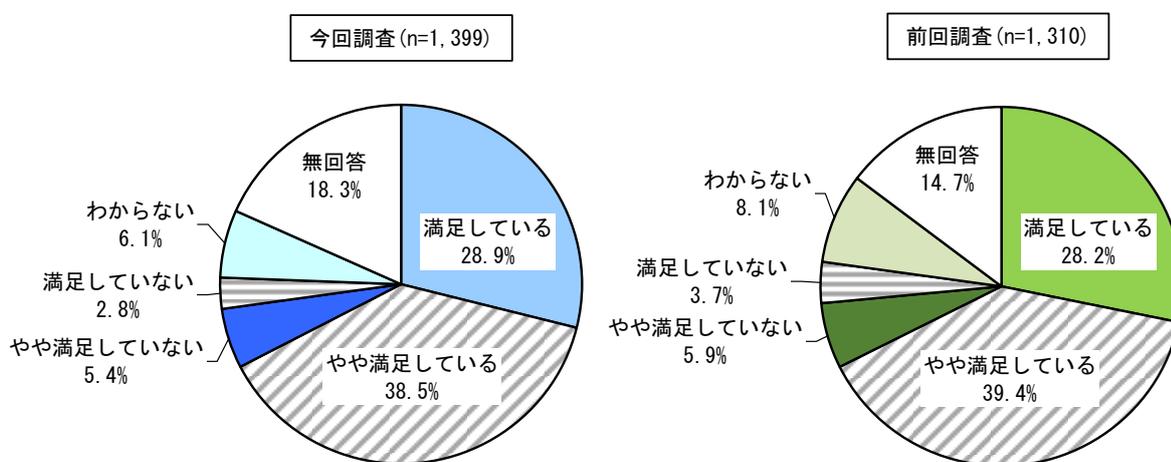
### 問47 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度

ご本人が利用している介護保険サービスについて、主な介護者の方は満足していますか。  
(○はひとつ)

サービス利用者本人が利用している介護保険サービスに対し、介護者は、「やや満足している」の割合が38.5%で最も高く、次いで「満足している」が28.9%となっている。「満足している」と「ほぼ満足している」をあわせた『満足』の割合は67.4%となっている。(A問47) 前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問47)

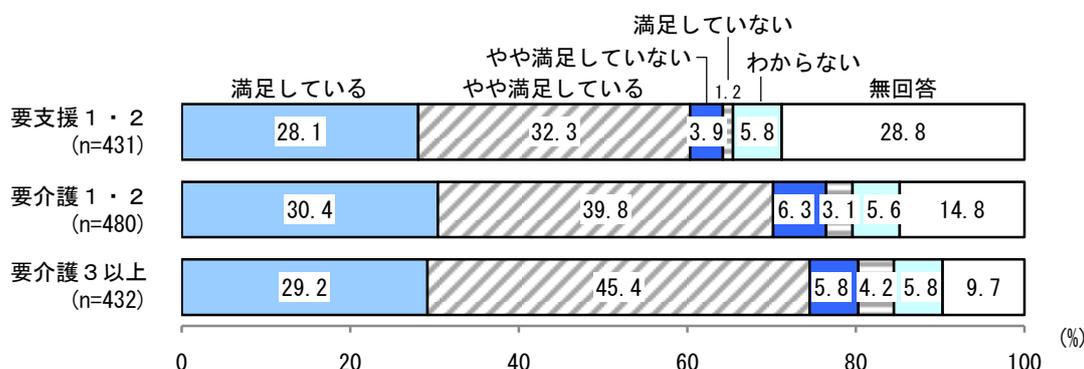
#### < A. サービス利用者のみ >

【A問47 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度（経年比較）】



本人の要介護度別では、『満足』の割合は、要介護度が重度になるほど高く、要介護3以上が74.6%で最も高い。(A問47-a)

【A問47-a 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度（本人の要介護度別）】



### 問47-1 本人利用の介護保険サービスに対する介護者の満足度の理由(自由記述)

上記を選択した具体的な理由等についてご記入ください。

#### <A. サービス利用者のみ>

355人から延べ375件の意見が挙がっている。

#### 【主な意見】

##### <満足理由>

- ・デイサービスに行くことが楽しみになっている様子である。
- ・本人が嫌がっていない、体調が良くなった。
- ・介護者の負担軽減になっている。介護者の自由時間ができて有難い。日中安心できるようになった。仕事と両立できるようになった。
- ・希望した介護や本人・家族の状況に応じたサービスを受けられている。困った時に助けてくれる。緊急時に対応してくれる。相談に乗ってもらえる。
- ・ケアマネジャーやヘルパーさんが良くしてくれる。
- ・手すり・スロープの取り付けや福祉用具を安価で利用できて助かっている。

##### <不満理由>

- ・介護者が希望していても、本人が希望していない。嫌がっている。本人の希望に合っていない。
- ・サービス提供時間が短い。サービス内容に不足がある。規制が多すぎる。希望するサービスは全て受けたい。
- ・経済的負担が大きい。
- ・もっと家族の負担を軽減したい。介護者の支援がない。結局家族の負担が増えている。

##### <どちらともいえない理由>

- ・サービスは有難いが、内容・時間・スタッフの質等に不足があり満足とはいえない。
- ・結局、家族の負担がある。

### 問[45] 本人に対する介護保険サービスの利用意向

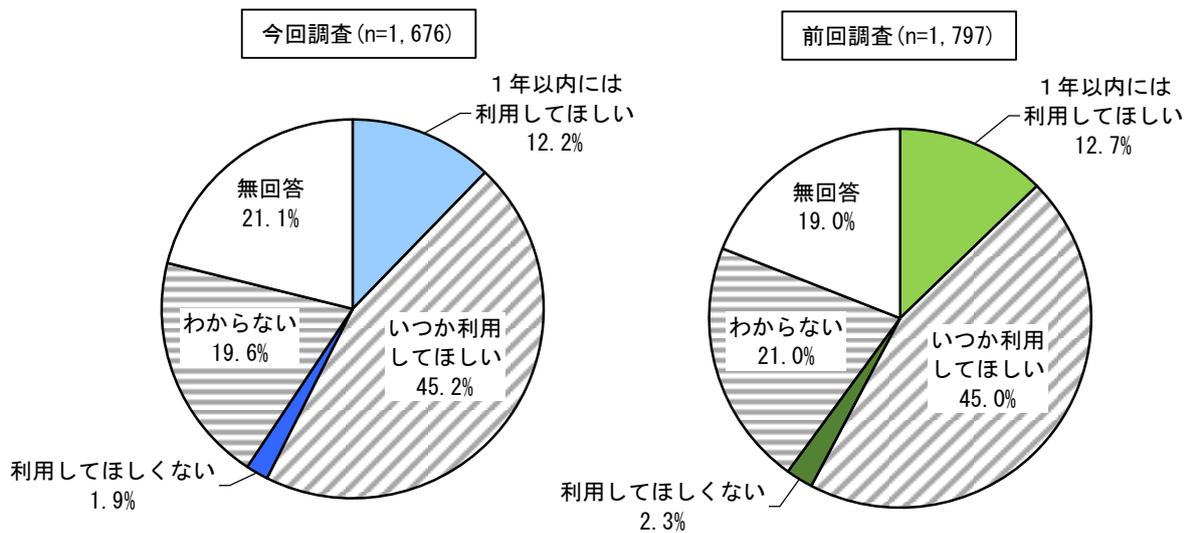
今後、ご本人に介護保険サービスの利用をしてほしいですか。(〇はひとつ)

介護者がサービス未利用者本人に介護保険サービスの利用を望むことについて、「いつか利用してほしい」の割合が45.2%で最も高く、次いで「1年以内には利用してほしい」が12.2%、「利用してほしくない」が1.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問[45])

#### < B. サービス未利用者のみ >

【B問[45] 本人に対する介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



問[46] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態

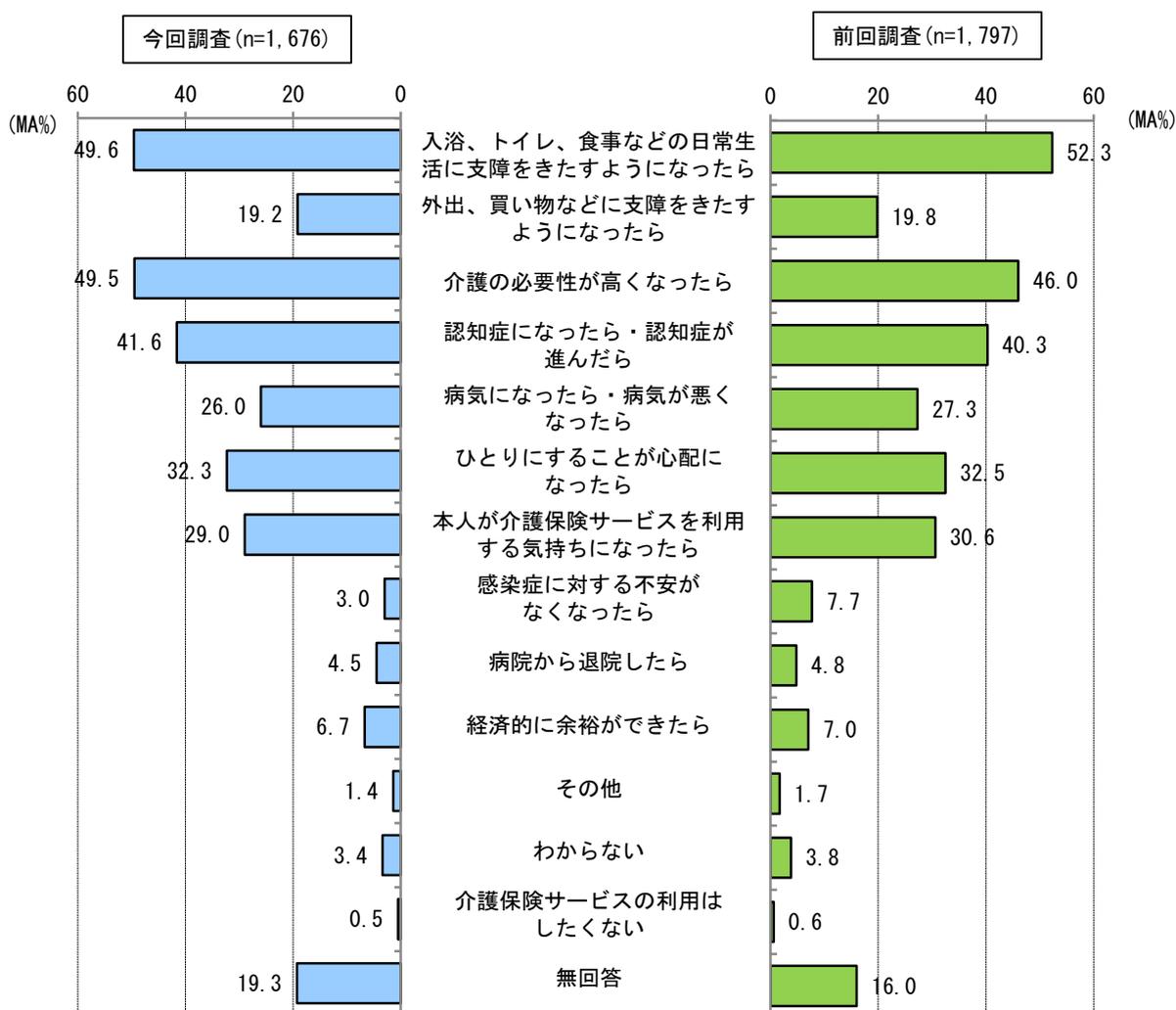
ご本人は、現在、介護保険サービスを利用していませんが、ご本人がどのような状態になれば介護保険サービスを利用しますか。(〇はいくつでも)

サービス未利用者本人が介護保険サービスを利用しようと思うようになる状態については、「入浴、トイレ、食事などの日常生活に支障をきたすようになったら」の割合が49.6%で最も高く、次いで「介護の必要性が高くなったら」が49.5%、「認知症になったら・認知症が進んだら」が41.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護の必要性が高くなったら」の割合は3.5ポイント増加している。(B問[46])

< B. サービス未利用者のみ >

【B問[46] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態 (経年比較)】



※前回調査の「新型コロナウイルス感染症に対する不安がなくなったら」は、今回調査では「感染症に対する不安がなくなったら」に変更している。

問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態

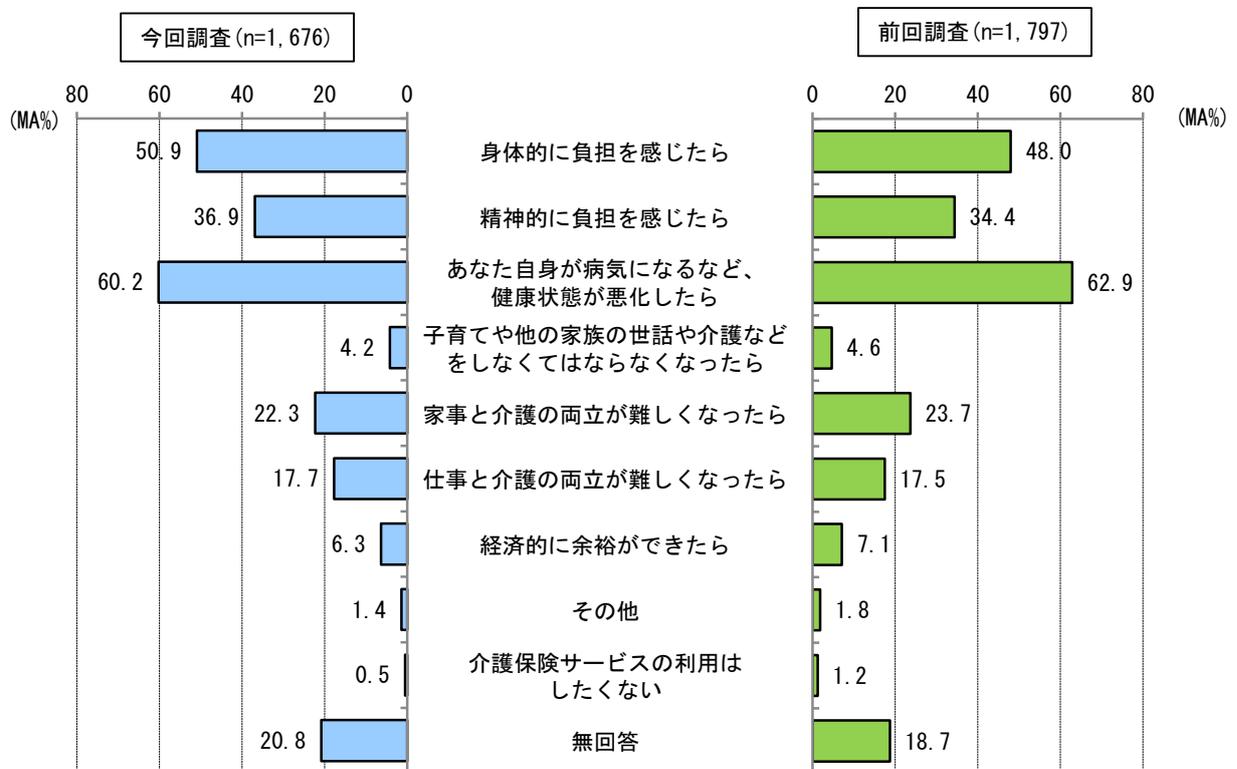
ご本人は、現在、介護保険サービスを利用していませんが、あなたがどのような状態になれば、介護保険サービスを利用しますか。(〇はいくつでも)

サービス未利用者本人が介護保険サービスを利用しようと思うようになる介護者の状態については、「あなた自身が病気になるなど、健康状態が悪化したら」の割合が60.2%で最も高く、次いで「身体的に負担を感じたら」が50.9%、「精神的に負担を感じたら」が36.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問[47])

< B. サービス未利用者のみ >

【B問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態（経年比較）】



## 問48[48] 自宅での介護で重要なこと

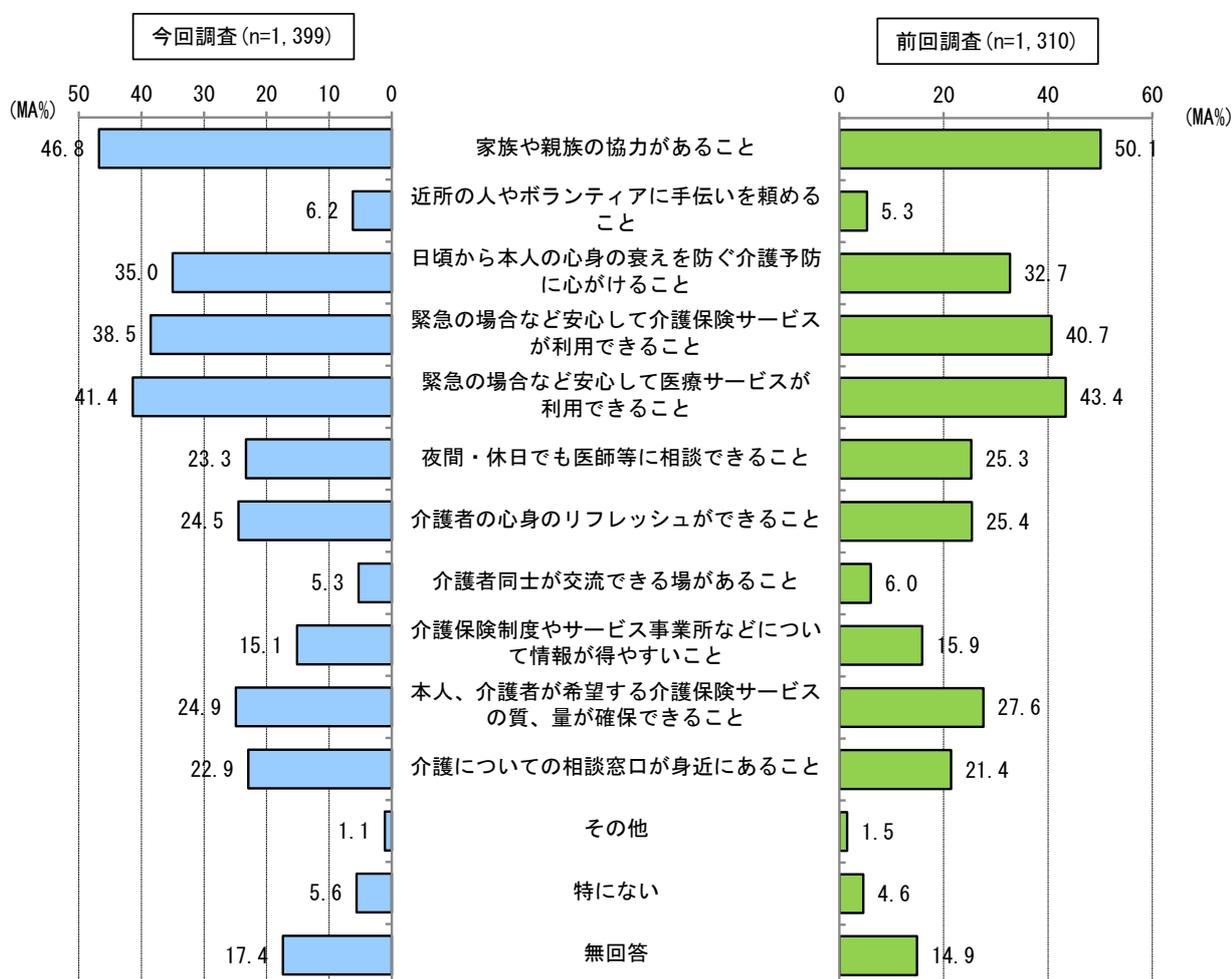
あなたにとって、自宅での介護にあたって重要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で重要なことは、「家族や親族の協力があること」の割合が46.8%で最も高く、次いで「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が41.4%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が38.5%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問48[48])

### < A. サービス利用者 >

【A問48[48] 自宅での介護で重要なこと（経年比較）】



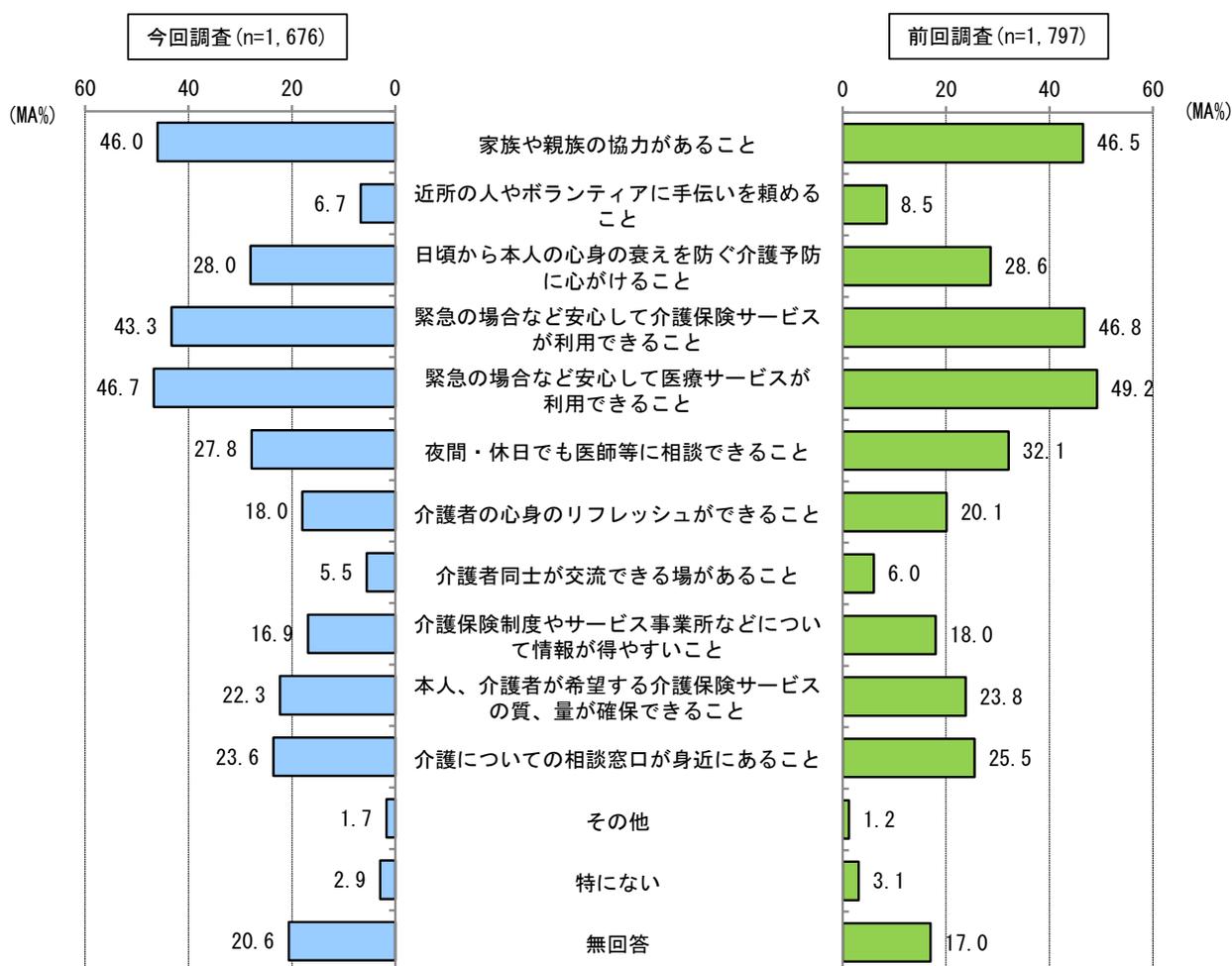
【介護者調査】

自宅でのサービス未利用者の介護で重要なことは、「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」の割合が46.7%で最も高く、次いで「家族や親族の協力があること」が46.0%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が43.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「夜間・休日でも医師等に相談できること」の割合が4.3ポイント、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」の割合が3.5ポイント、それぞれ減少している。(B問48[48])

< B. サービス未利用者 >

【B問48[48] 自宅での介護で重要なこと（経年比較）】



(4) 介護離職に関する問題

問49[49] 介護者の就業状況

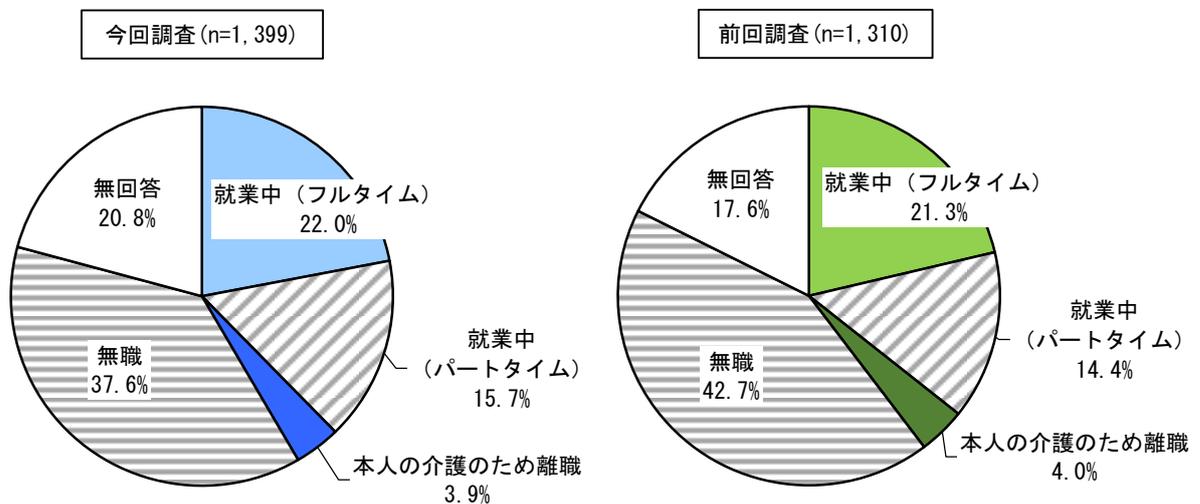
あなたの現在の就業状況についておたずねします。(○はひとつ)

サービス利用者本人の介護者の就業状況は、「無職」の割合が37.6%で最も高い。次いで「就業者(フルタイム)」が22.0%、「就業者(パートタイム)」が15.7%となっており、両者をあわせた『就業する介護者』の割合は37.7%となっている。また、「本人の介護のため離職」は3.9%である。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問49[49])

< A. サービス利用者 >

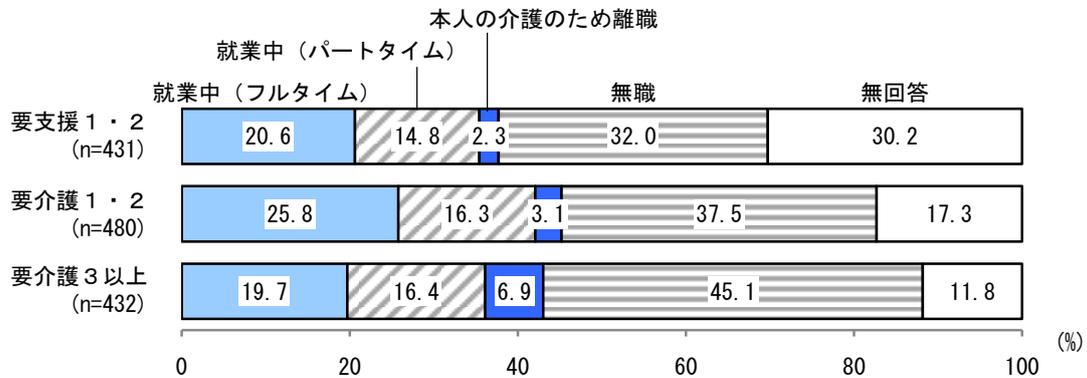
【A問49[49] 介護者の就業状況(経年比較)】



【介護者調査】

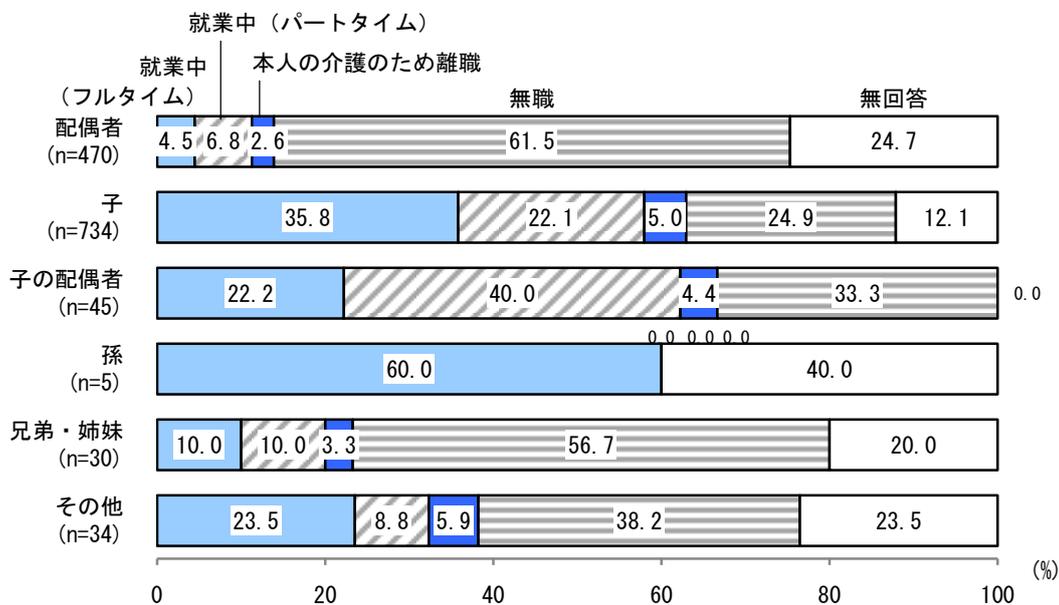
本人の要介護度別では、本人の要介護度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。『就業する介護者』の割合は、要介護1・2が42.1%で最も高く、それ以外の要介護度ではいずれも3割台となっている。(A問49[49]-a)

【A問49[49]-a 介護者の就業状況（本人の要介護度別）】



本人との関係別では、「無職」の割合は配偶者、兄弟・姉妹で5割以上と高く、『就業する介護者』の割合は子の配偶者が62.2%で最も高くなっている。(A問49[49]-b)

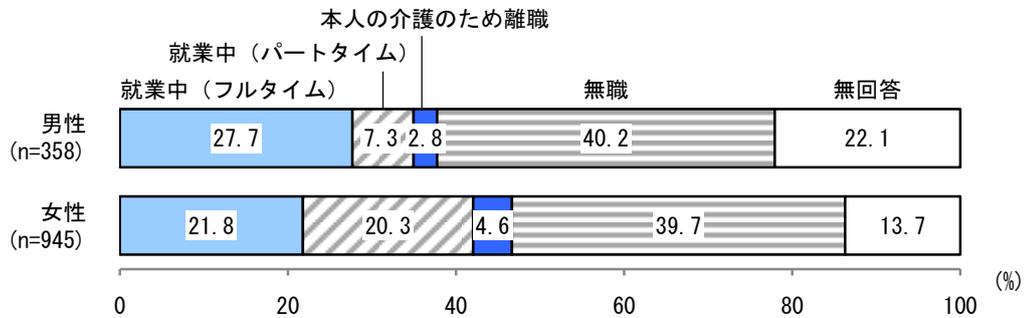
【A問49[49]-b 介護者の就業状況（本人との関係別）】



【介護者調査】

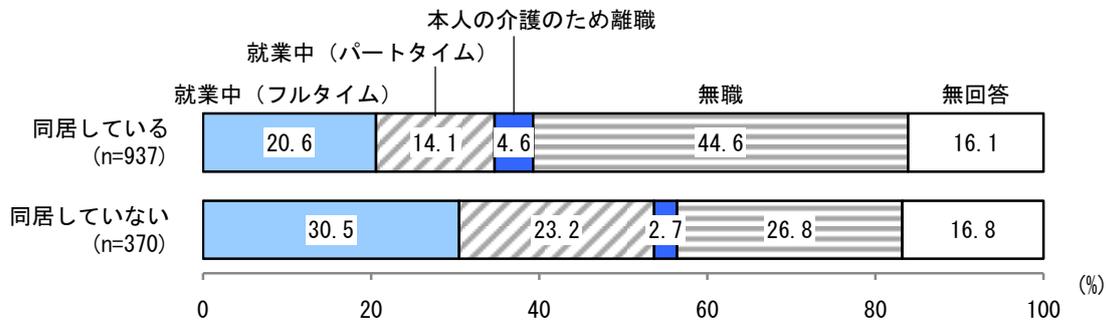
介護者の性別では、男女とも「無職」の割合が4割前後で最も高くなっている。『就業する介護者』の割合は、男性（35.0%）より女性（42.1%）の方が7.1ポイント高くなっている。（A問49[49]-c）

【A問49[49]-c 介護者の就業状況（介護者の性別）】



本人との同居の有無別では、同居している介護者は「無職」の割合が44.6%で最も高く、『就業する介護者』の割合は34.7%となっている。同居していない介護者は「就業中（フルタイム）」の割合が30.5%で最も高く、『就業する介護者』の割合は53.7%となっている。（A問49[49]-d）

【A問49[49]-d 介護者の就業状況（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症の程度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。(A問49[49]-e)

【A問49[49]-e 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】

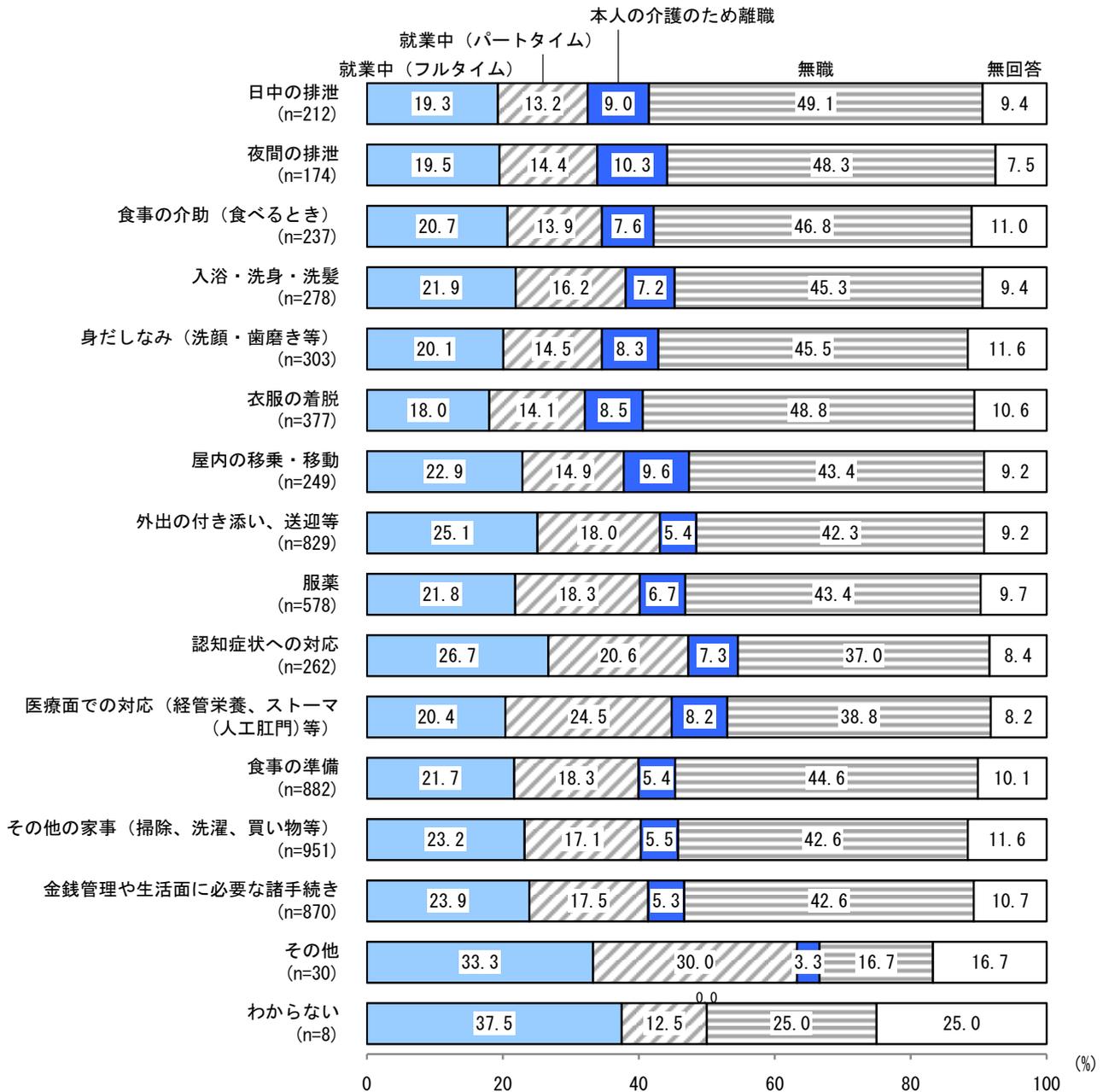
(単位：%)

	n	就 業 中 (フル タイム)	就 業 中 (パート タイム)	本 人 の 介 護 の た め 離 職	無 職	無 回 答
全く認知症の症状がない	533	22.1	18.0	3.0	41.1	15.8
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	25.5	16.5	5.0	38.3	14.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	24.0	16.8	5.4	42.5	11.4
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	104	27.9	16.3	5.8	40.4	9.6
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	26.0	12.0	6.0	50.0	6.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	-	33.3	-	33.3	33.3

【介護者調査】

本人に行っている介護内容別では、介護内容にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。「本人の介護のため離職」では、“夜間の排泄”の介護をしている介護者が10.3%で最も高く、次いで“屋内の移乗・移動”の介護をしている介護者は9.6%、“日中の排泄”の介護をしている介護者は9.0%となっている。(A問49[49]-f)

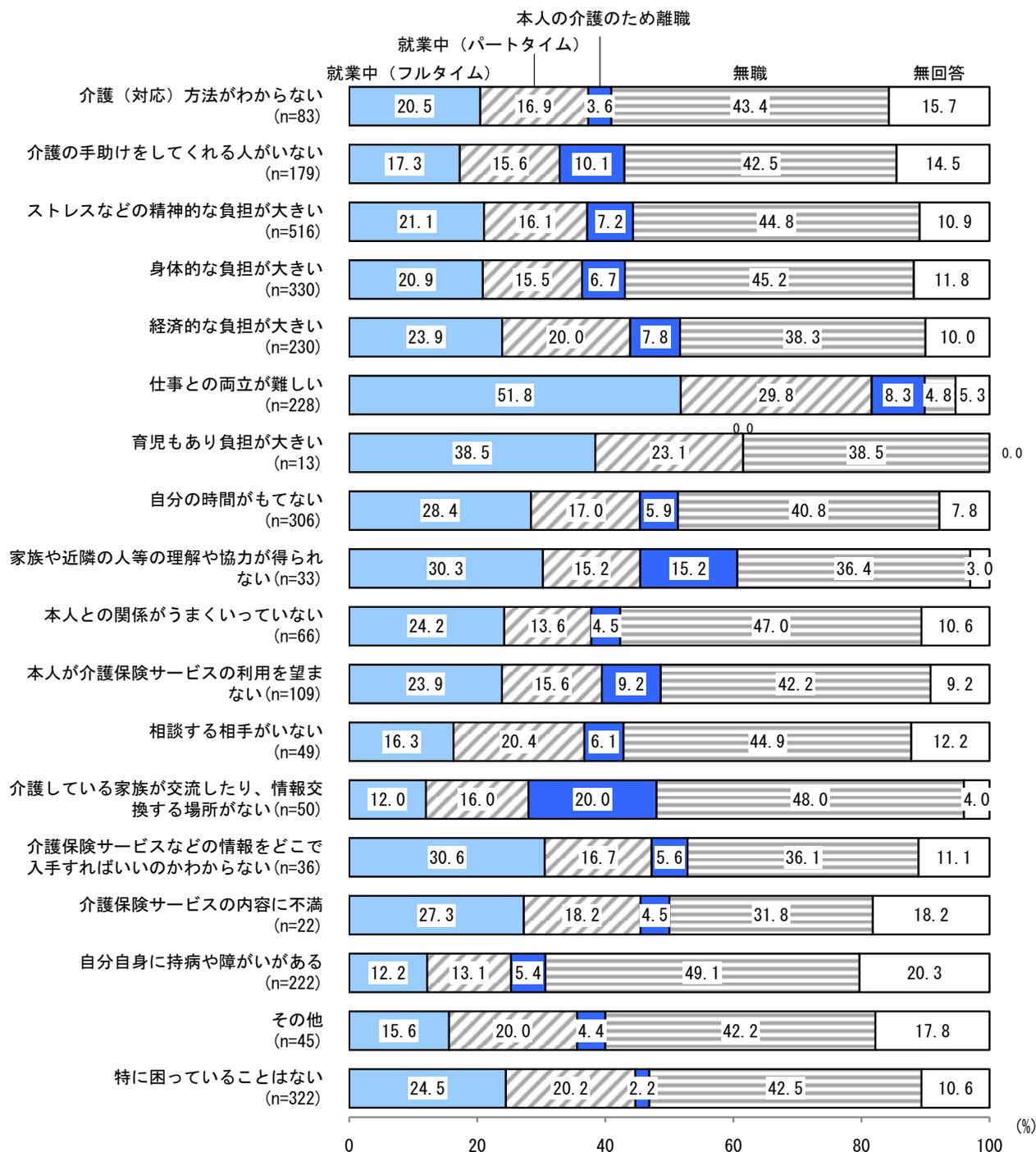
【A問49[49]-f 介護者の就業状況（本人に行っている介護内容別）】



【介護者調査】

自宅での介護で困っていること別では、「無職」の割合が高いのは、“自分自身に持病や障がいがある”が49.1%で、次いで“介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない”が48.0%となっている。就業している介護者は“仕事との両立が難しい”の割合が8割を占めている。(A問49[49]-g)

【A問49[49]-g 介護者の就業状況（自宅での介護で困っていること別）】



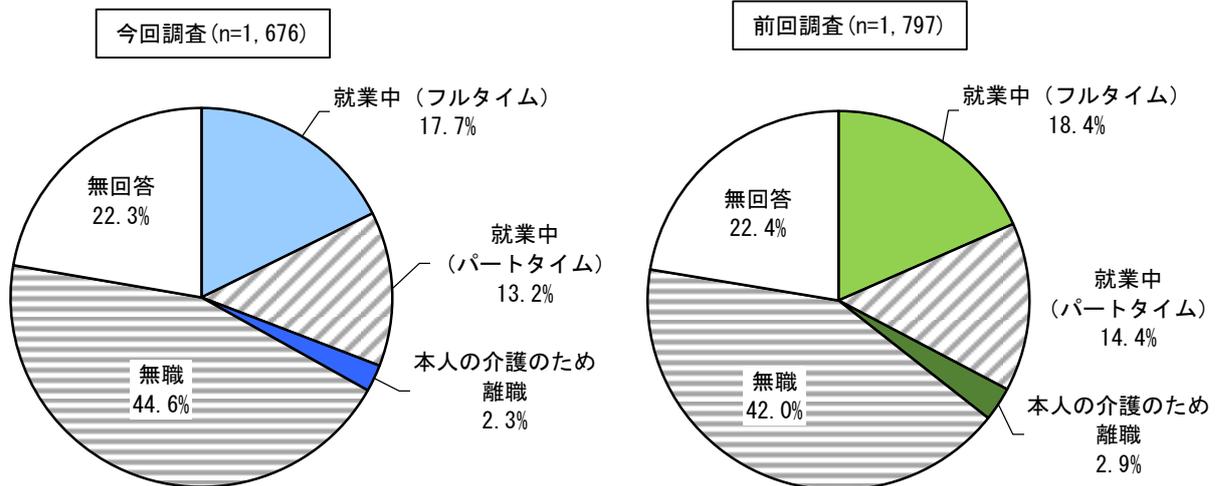
## 【介護者調査】

サービス未利用者本人の介護者の就業状況は、「無職」の割合が44.6%で最も高い。次いで「就業者（フルタイム）」が17.7%、「就業者（パートタイム）」が13.2%で、両者をあわせた『就業する介護者』の割合は30.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（B問49[49]）

### < B. サービス未利用者 >

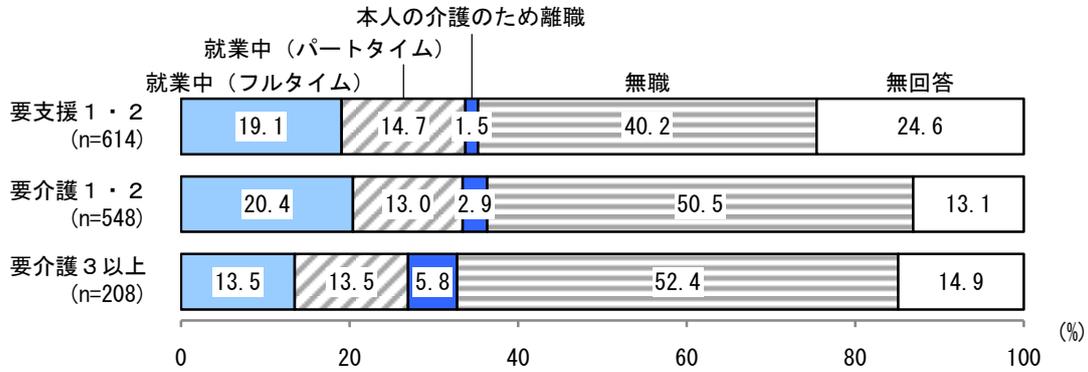
【B問49[49] 介護者の就業状況（経年比較）】



【介護者調査】

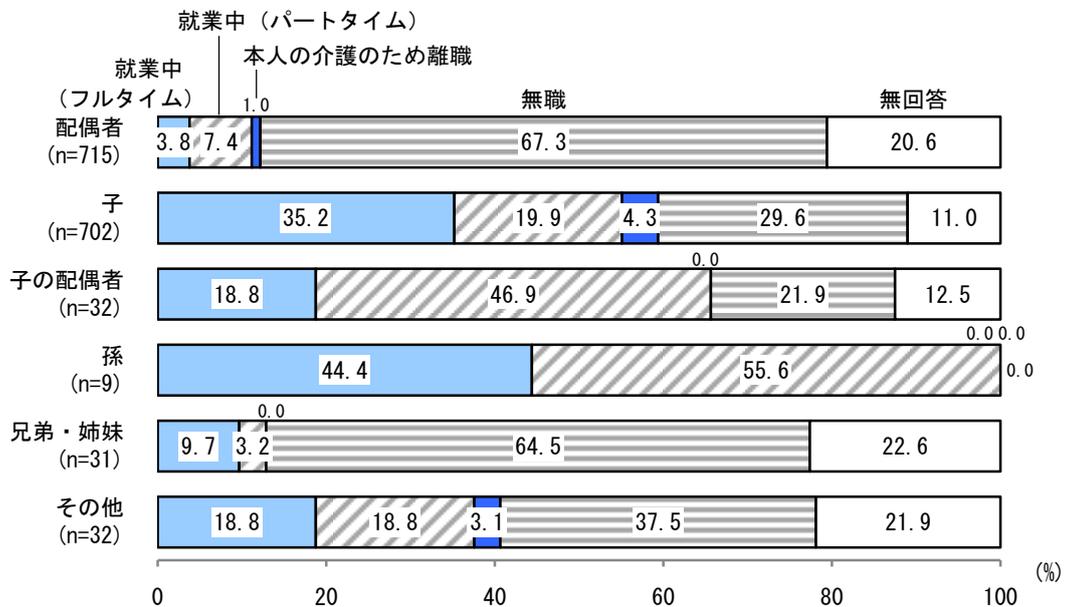
本人の要介護度別では、本人の要介護度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。『就業する介護者』の割合は、要支援1・2が33.8%で最も高く、次いで要介護1・2の33.4%となっている。(B問49[49]-a)

【B問49[49]-a 介護者の就業状況（本人の要介護度別）】



本人との関係別では、「無職」の割合は配偶者、兄弟・姉妹で6割以上と高く、『就業する介護者』の割合は、子、子の配偶者、孫が高くなっている。(B問49[49]-b)

【B問49[49]-b 介護者の就業状況（本人との関係別）】

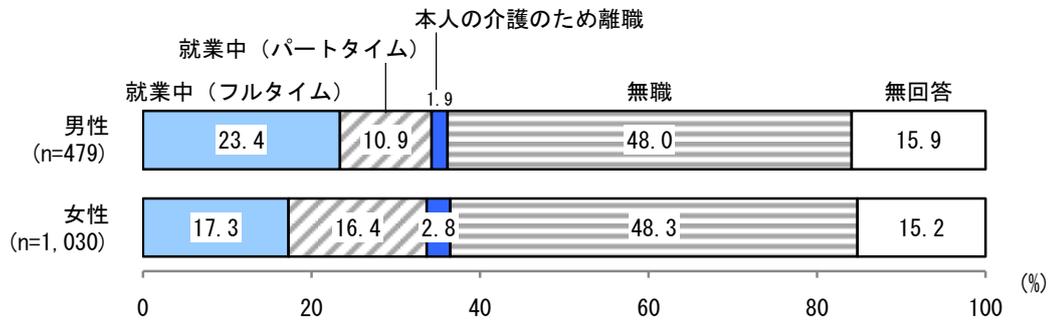


【介護者調査】

介護者の性別では、男女とも「無職」が4割台で最も高くなっている。

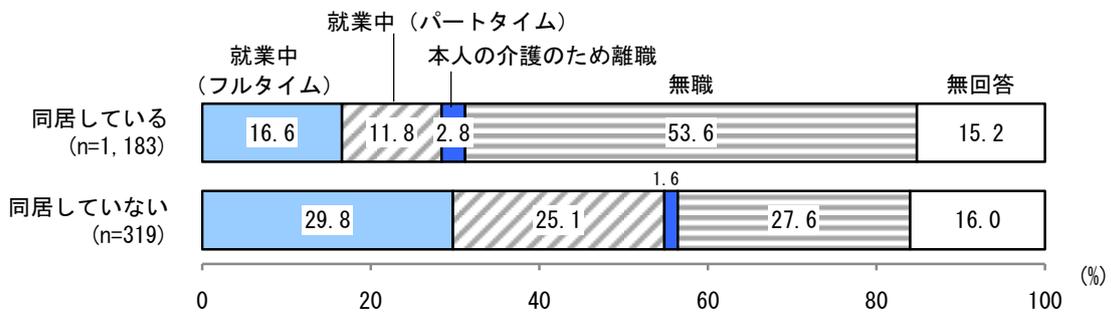
『就業する介護者』は、男女とも3割台で、大きな差はみられない。(B問49[49]-c)

【B問49[49]-c 介護者の就業状況（介護者の性別）】



本人との同居の有無別では、同居している介護者は「無職」の割合が53.6%で最も高く、『就業する介護者』の割合は28.4%となっている。同居していない介護者は「就業中 (フルタイム)」の割合が29.8%で最も高く、『就業する介護者』の割合は54.9%となっている。(B問49[49]-d)

【B問49[49]-d 介護者の就業状況（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症の程度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。(B問49[49]-e)

【B問49[49]-e 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】

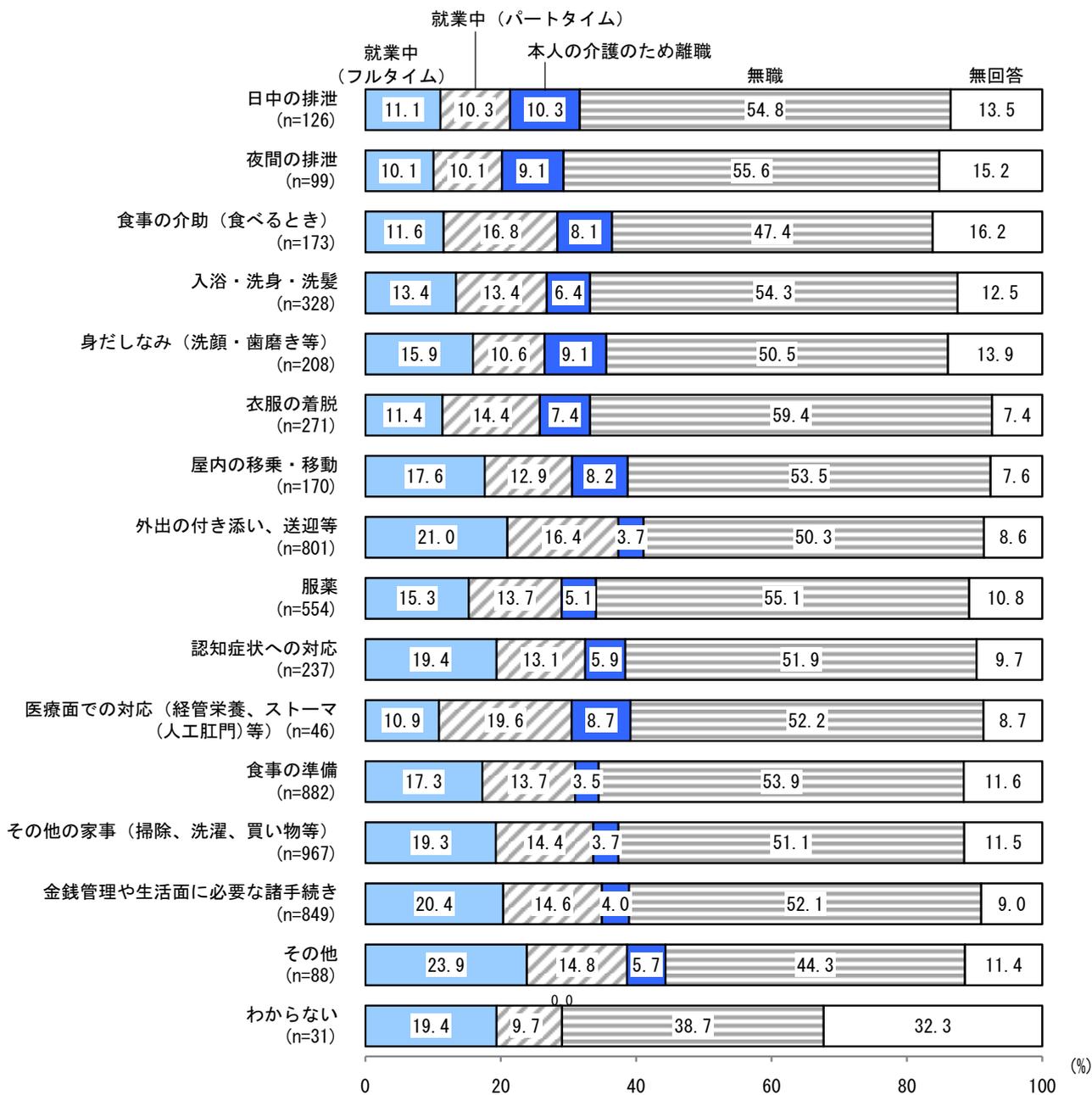
(単位：%)

	n	就 業 中 (フル タイム)	就 業 中 (パート タイム)	本 人 の 介 護 の た め 離 職	無 職	無 回 答
全く認知症の症状がない	655	19.2	16.0	2.1	47.5	15.1
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	16.9	15.1	1.8	49.1	17.1
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	25.8	12.1	2.0	46.5	13.6
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	24.7	13.4	4.1	45.4	12.4
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	22.7	9.1	13.6	50.0	4.5
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	-	13.3	6.7	53.3	26.7

【介護者調査】

本人に行っている介護内容別では、介護内容にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。「本人の介護のため離職」では、「日中の排泄」の介護をしている介護者が10.3%で最も高くなっている。(B問49[49]-f)

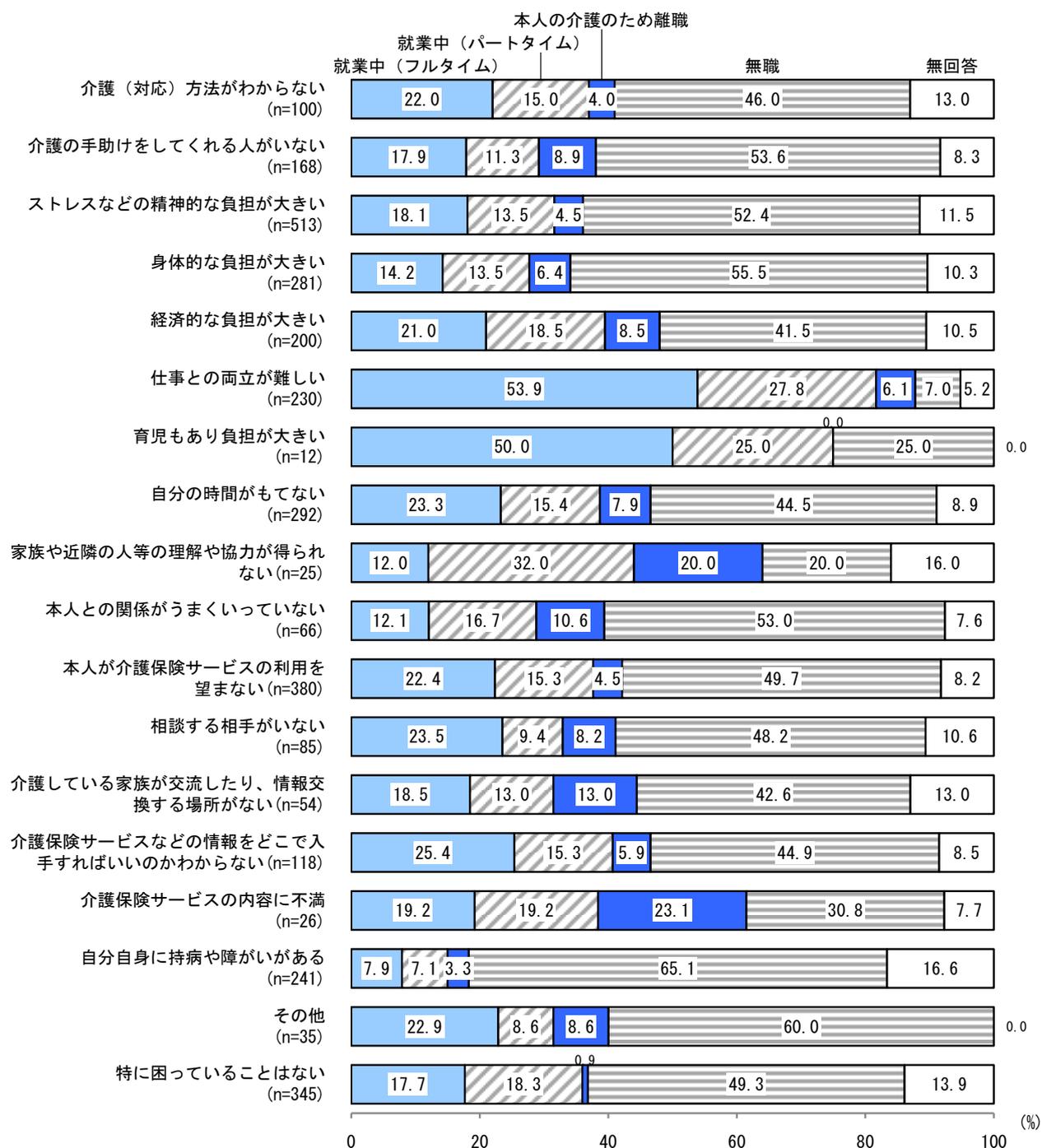
【B問49[49]-f 介護者の就業状況（本人に行っている介護内容別）】



【介護者調査】

自宅での介護で困っていること別では、「無職」は、“自分自身に持病や障がいがある”が65.1%で最も高くなっている。就業している介護者では“仕事との両立が難しい”の割合が81.7%を占めている。(B問49[49]-g)

【B問49[49]-g 介護者の就業状況（自宅での介護で困っていること別）】



問49-1[49-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整

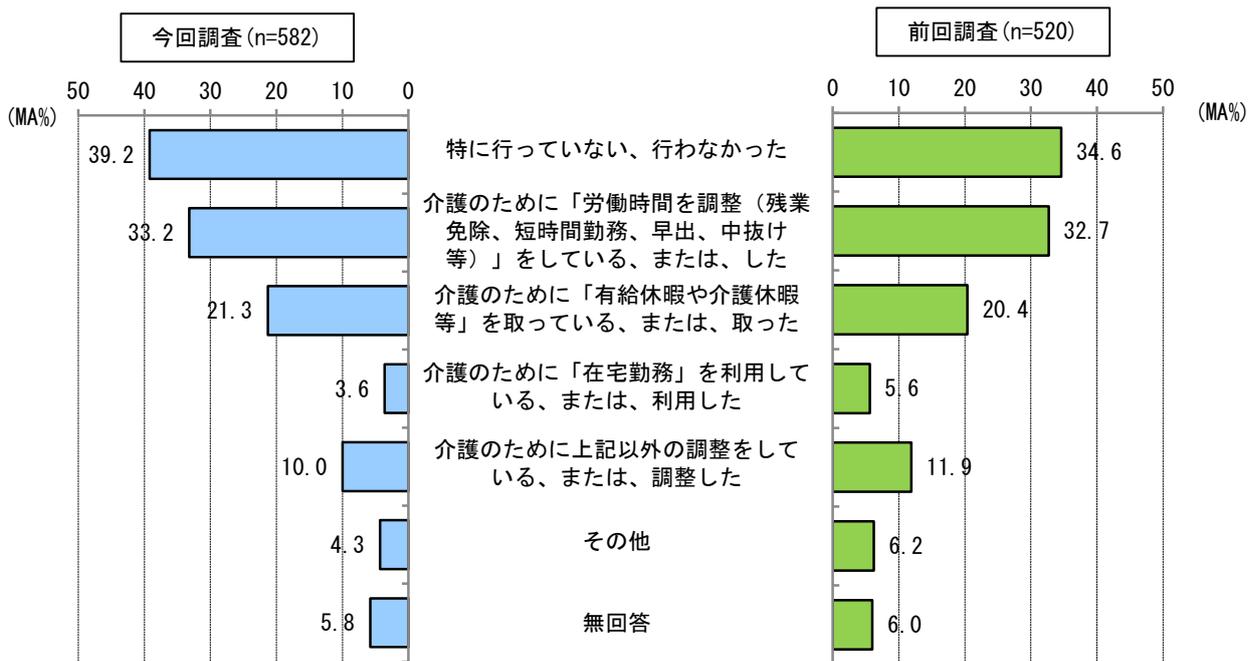
問49-1[49-1]は、問49[49]で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」、「3 本人の介護のため離職」と回答された方のみお答えください。  
 あなたは、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか、または、していましたか。（〇はいくつでも）

サービス利用者の介護をするにあたって行っている働き方の調整について、「特に行っていない、行わなかった」が39.2%で最も高く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、早出、中抜け等）」をしている、または、した」が33.2%、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、または、取った」が21.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「特に行っていない、行わなかった」が4.6ポイント増加している。  
 (A問49-1[49-1])

< A. サービス利用者 >

【A問49-1[49-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（経年比較）】



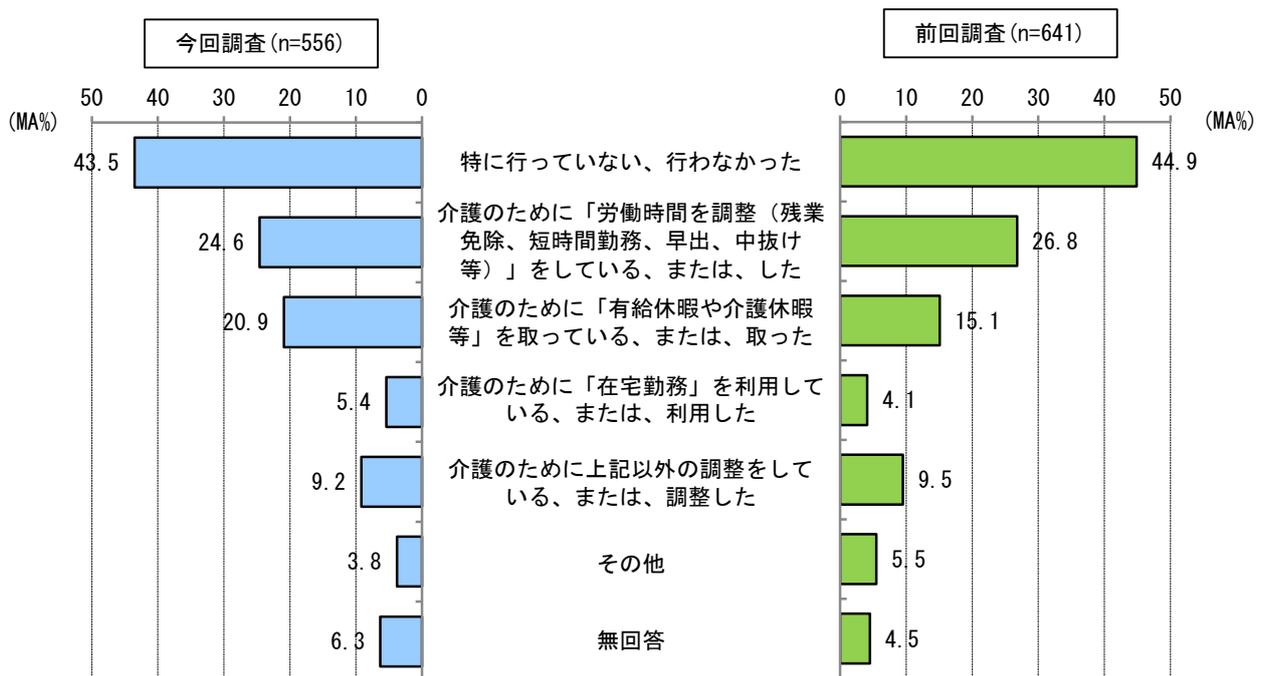
【介護者調査】

サービス未利用者の介護をするにあたって行っている働き方の調整について、「特に行っていない、行わなかった」の割合が43.5%で最も高く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、早出、中抜け等）」をしている、または、した」が24.6%、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、または、取った」が20.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、または、取った」が5.8ポイント増加している。（B問49-1[49-1]）

< B. サービス未利用者 >

【B問49-1[49-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（経年比較）】



問49-2[49-2] 働きながら介護を続けることの意向

問49-2[49-2]は、問49[49]で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」と回答された方のみお答えください。

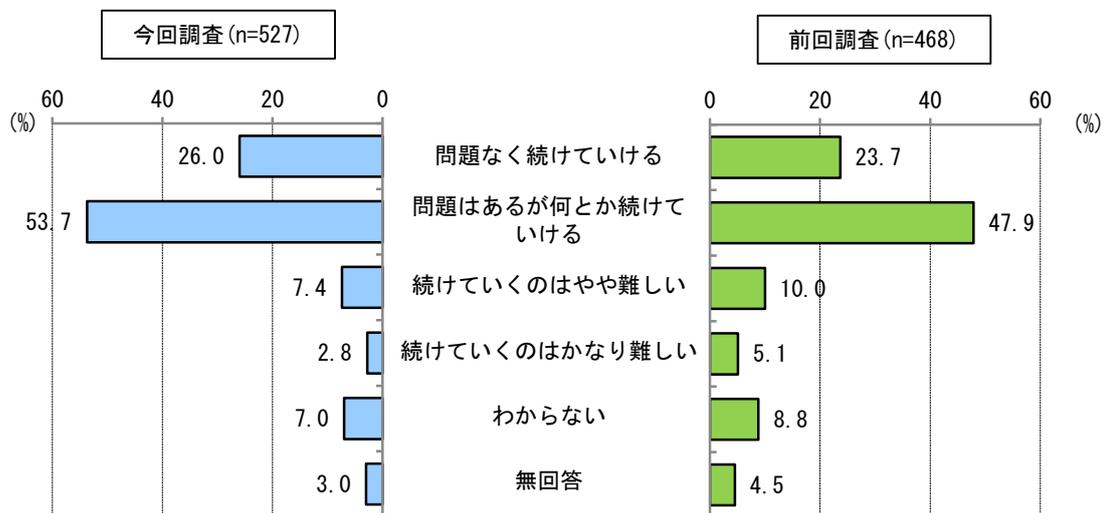
あなたは、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○はひとつ）

就業中の介護者に、働きながらサービス利用者本人の介護の継続の考えをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」の割合が53.7%で最も高く、次いで「問題なく続けていける」が26.0%、「続けていくのはやや難しい」が7.4%となっている。

前回調査の結果に比べ、「問題はあるが何とか続けていける」の割合が5.8ポイント増加している。（A問49-2[49-2]）

< A. サービス利用者 >

【A問49-2[49-2] 働きながら介護を続けることの意向（経年比較）】



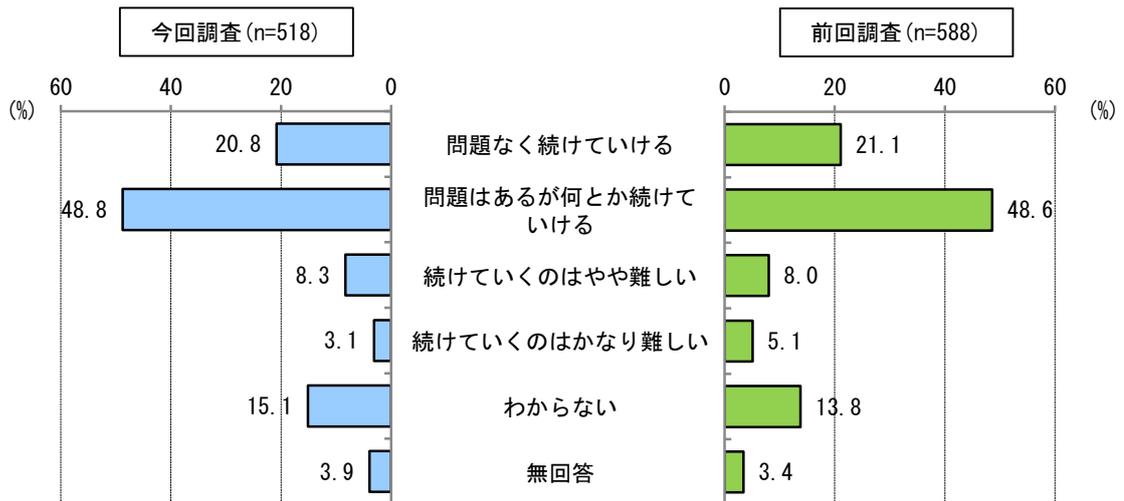
## 【介護者調査】

就業中の介護者に、働きながらサービス未利用者本人の介護の継続の考えをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」の割合が48.8%で最も高く、次いで「問題なく続けていける」が20.8%、「続けていくのはやや難しい」が8.3%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問49-2[49-2])

### < B. サービス未利用者 >

【B問49-2[49-2] 働きながら介護を続けることの意向（経年比較）】

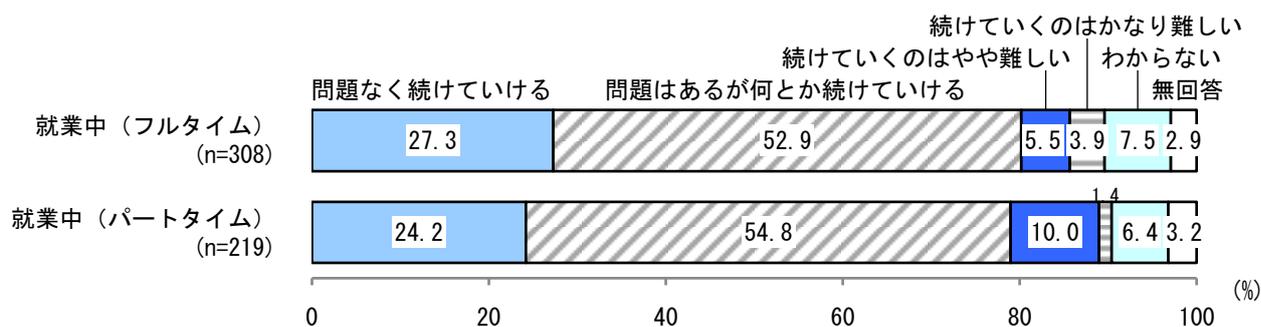


【介護者調査】

サービス利用者の就業中の介護者に対し、働きながら介護を継続することの考えをたずねると、フルタイム・パートタイムのいずれも「問題はあるが何とか続けていける」が5割を超えている。一方、パートタイムで「続けていくのはやや難しい」が10.0%と、フルタイムの5.5%に比べ高くなっている。(A問49-2[49-2]-a)

<A. サービス利用者>

【A問49-2[49-2]-a 働きながら介護を続けること意向（介護者の現在の就業状況別）】

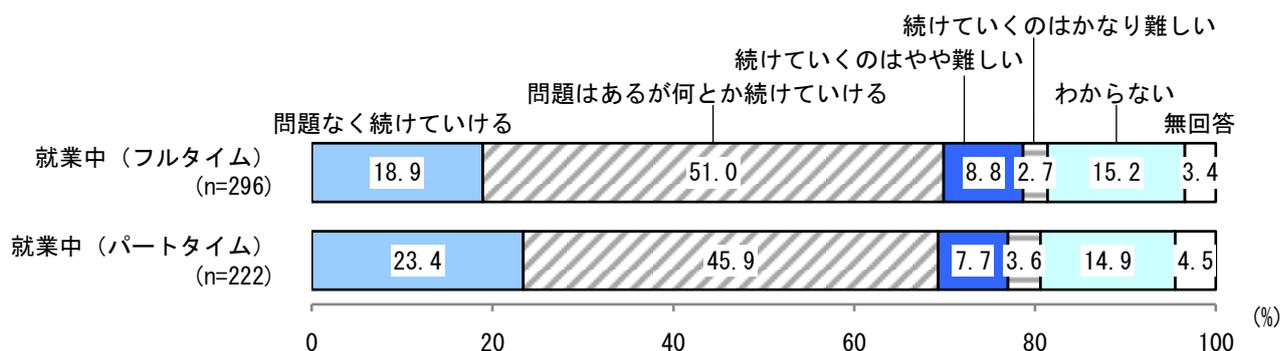


サービス未利用者の就業中の介護者に対し、働きながら介護を継続することの考えをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」の割合は、フルタイム51.0%に対し、パートタイム45.9%とパートタイムで低くなっているのに対し、「問題なく続けていける」の割合は、フルタイム18.9%に対し、パートタイム23.4%でパートタイムの方が高くなっている。

一方、「続けていくのはかなり難しい」「続けていくのはやや難しい」の各割合は、フルタイム・パートタイム間の差は小さくなっている。(B問49-2[49-2]-a)

<B. サービス未利用者>

【B問49-2[49-2]-a 働きながら介護を続けること意向（介護者の現在の就業状況別）】



問50[50] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無

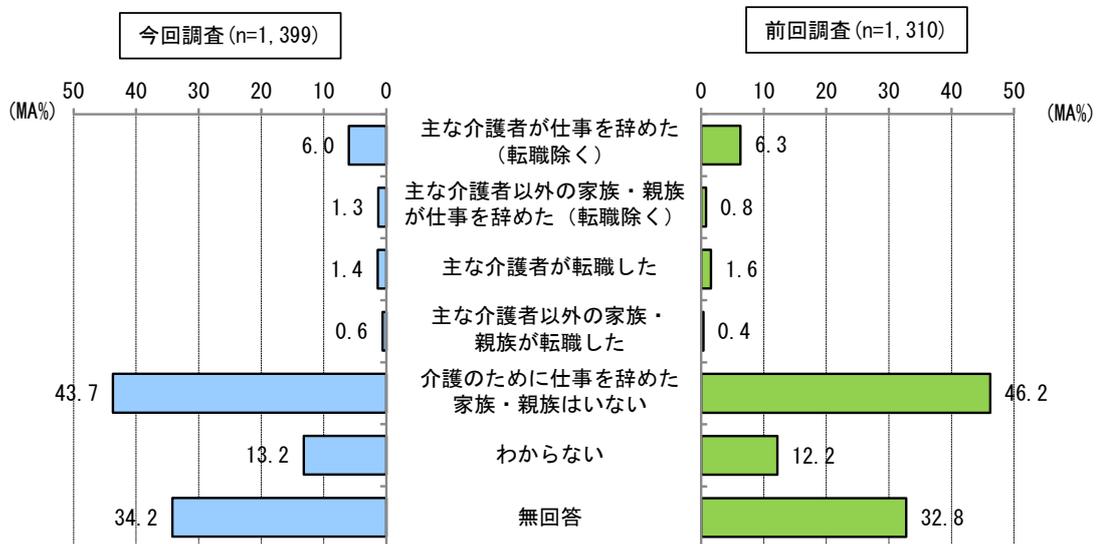
本人（要介護者）のご家族やご親族の中で、本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（フルタイム・パートタイマー等の勤務形態は問いません。また、その後再就職等により現在は働いているという方であってもご回答ください。）（○はいくつでも）

サービス利用者の介護を理由に仕事を辞めた人について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が43.7%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.0%、「主な介護者が転職した」が1.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（A問50[50]）

< A. サービス利用者 >

【A問50[50] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無（経年比較）】



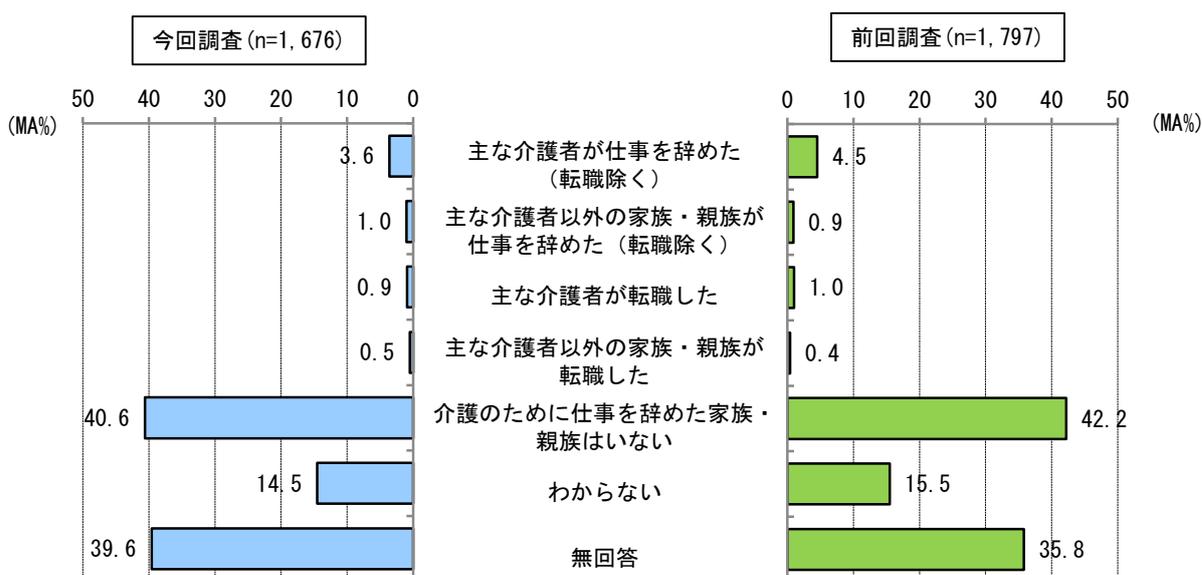
【介護者調査】

サービス未利用者の介護を理由に仕事を辞めた人について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が40.6%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.6%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、下位項目のうち、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」と「主な介護者が転職した」の順位が入れ替わっている。（B問50[50]）

< B. サービス未利用者 >

【B問50[50] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無（経年比較）】



### 問51[51] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援

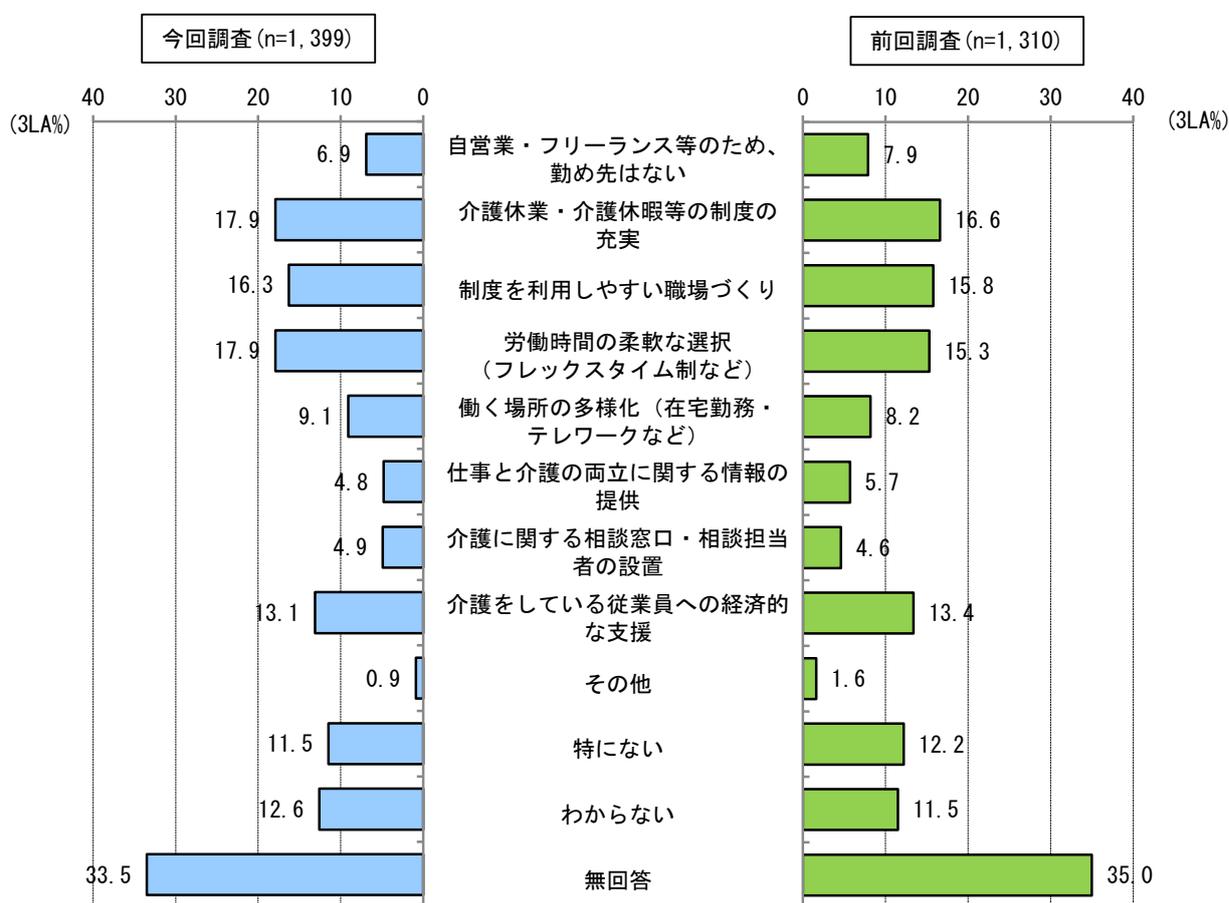
あなたは勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思われますか。(〇は3つまで)

サービス利用者の介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がそれぞれ17.9%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が16.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が13.1%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「制度を利用しやすい環境づくり」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の順位が入れ替わっている。(A問51[51])

#### < A. サービス利用者 >

【A問51[51] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援（経年比較）】



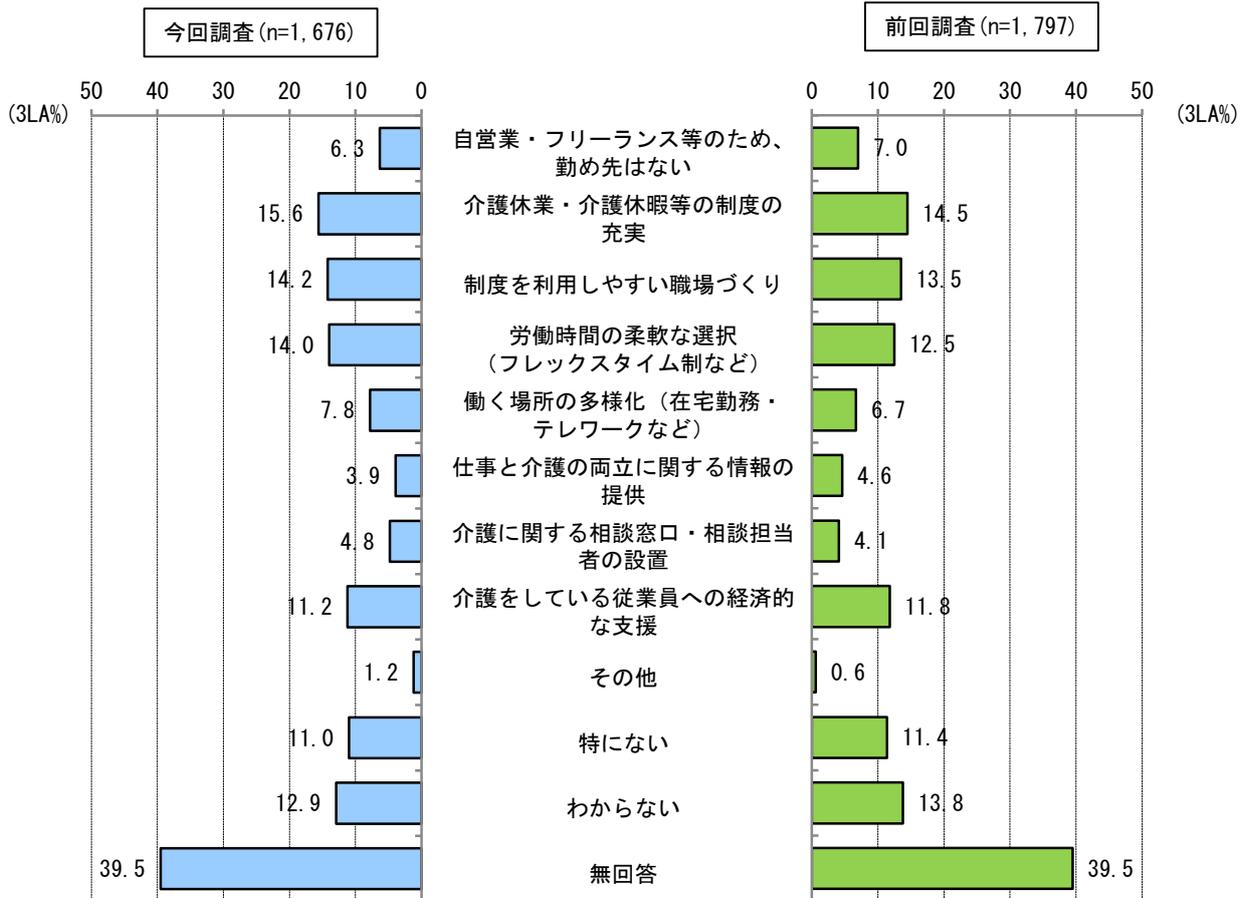
【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が15.6%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が14.2%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が14.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（B問51[51]）

< B. サービス未利用者 >

【B問51[51] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援（経年比較）】



【介護者調査】

問52[52] 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護等

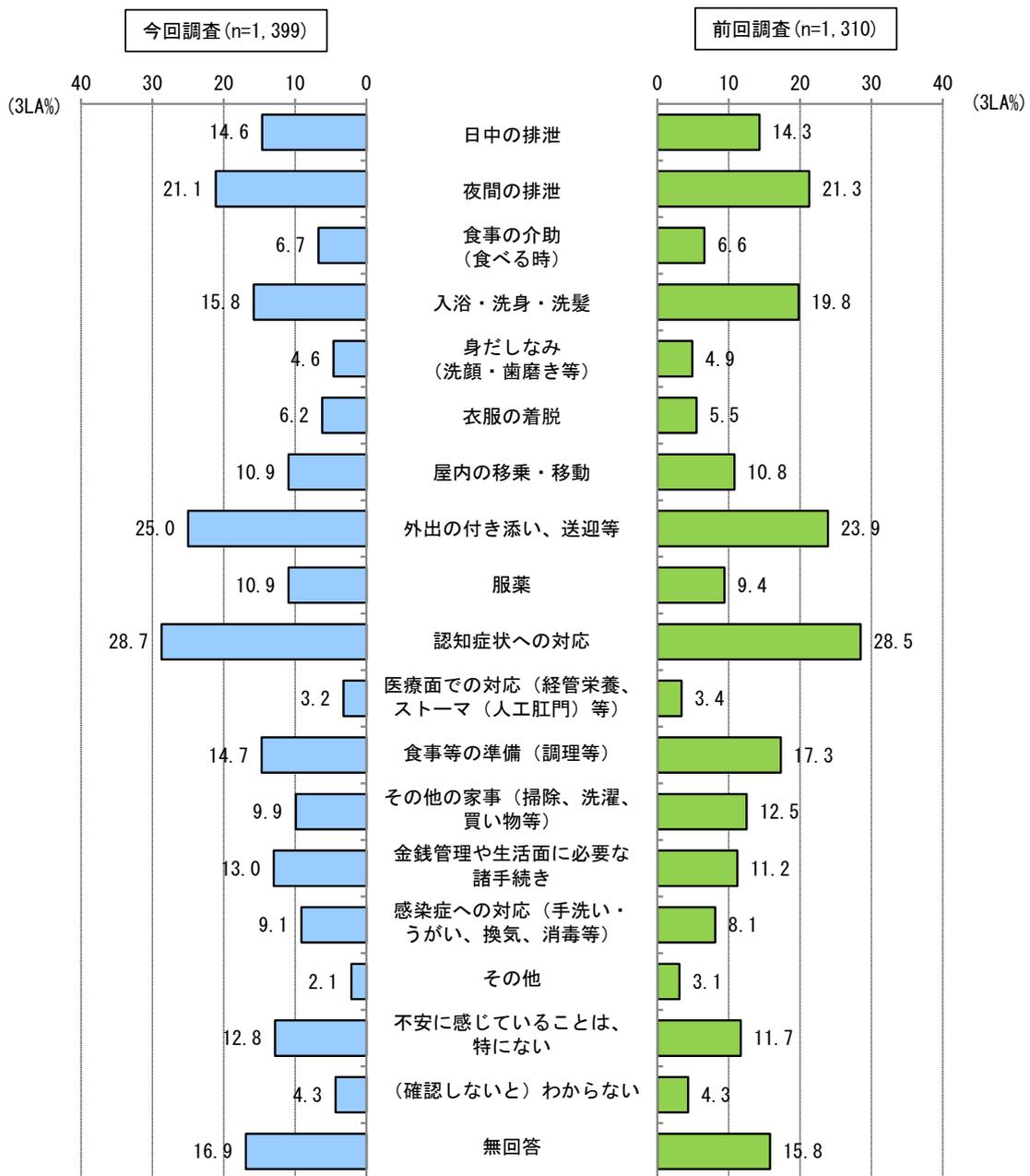
現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安を感じる介護等がありますか（介護等はどのようなことですか）。（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

現在の生活を継続していくにあたって不安を感じるサービス利用者本人への介護については、「認知症状への対応」が28.7%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が25.0%、「夜間の排泄」が21.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（A問52[52]）

< A. サービス利用者 >

【A問52[52] 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護（経年比較）】



※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

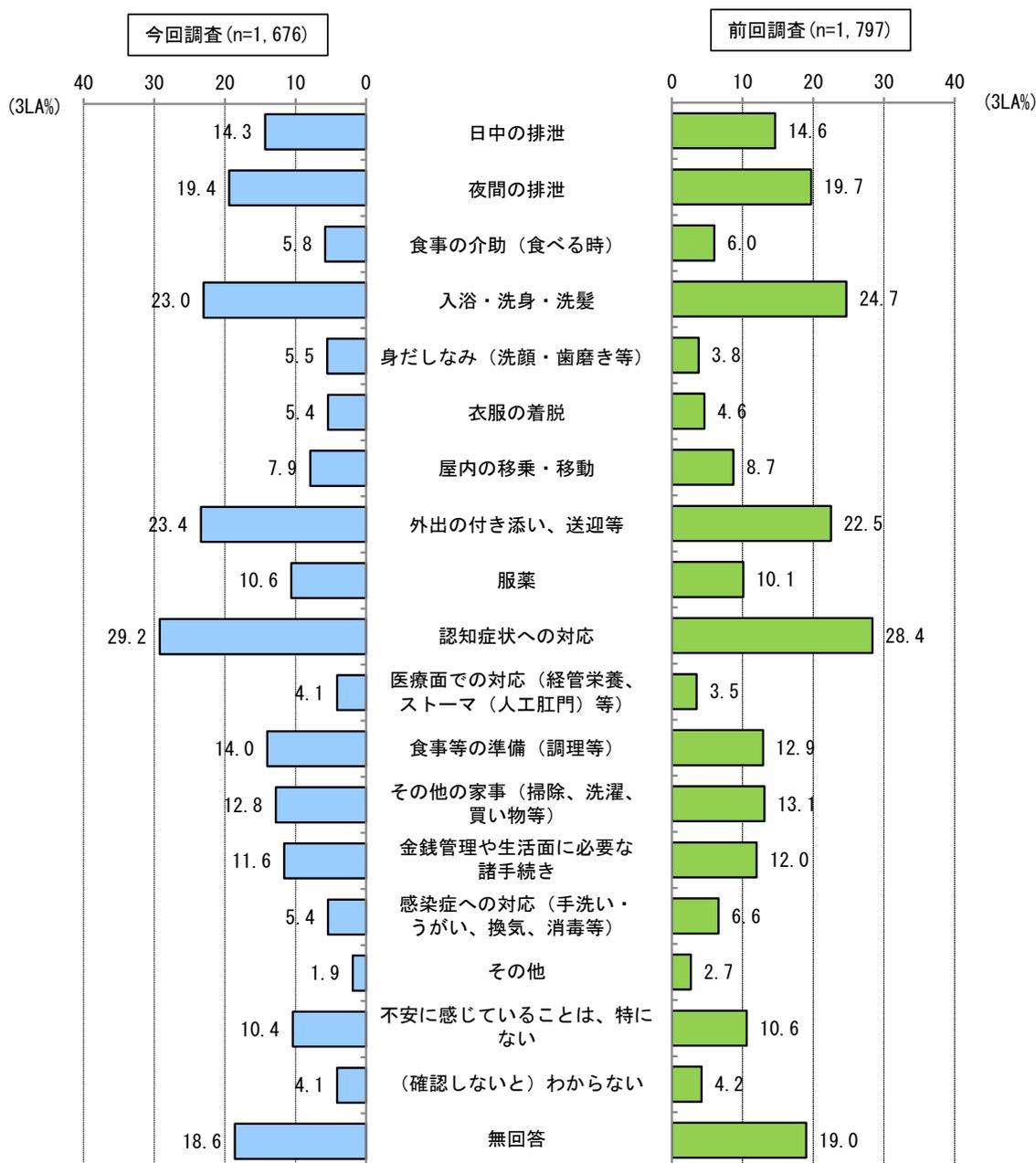
【介護者調査】

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じるサービス未利用者本人への介護については、「認知症状への対応」の割合が29.2%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が23.4%、「入浴・洗身・洗髪」が23.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「入浴・洗身・洗髪」と「外出の付き添い、送迎等」の順位が入れ替わっている。(B問52[52])

< B. サービス未利用者 >

【B問52[52] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護（経年比較）】



※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

## (5) 介護保険制度についての意見・要望等

### 問53[53] 介護保険制度について、介護者としてのご意見・ご要望等(自由記述)

介護保険制度について、介護者としてご意見・ご要望等がありましたら次の欄に記入してください。

#### <A. サービス利用者>

156人から意見があり、延べ190件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《施設サービス、介護サービスの充実》(35件)

- ・本人・家族の状況に応じたサービスを利用したい。同居家族がいても受けられるサービスを増やしてほしい。
- ・希望した時にスムーズに安価で利用できる施設を増やしてほしい。
- ・要介護度にかかわらず利用できるサービスを増やしてほしい。

##### 《介護保険制度》(34件)

- ・介護保険制度は有難い、感謝している。今後も継続してほしい。
- ・介護保険制度は複雑でわかりにくい。手続きが煩雑で面倒である。もう少し利用しやすい制度にしてほしい。
- ・介護保険制度を改善してほしい。充実させてほしい。
- ・必要な時に十分な介護が受けられる制度にしてほしい。

##### 《介護保険料・介護保険サービス利用料・経済的負担》(34件)

- ・介護保険料や利用料が高い。
- ・収入(年金)が少なく、希望するサービスが利用できない。
- ・タクシーや駐車場の無料サービス・補助がほしい。

##### 《自宅介護・家族介護者・老々介護》(31件)

- ・家族が介護離職しないように、仕事と両立ができるように支援してほしい。
- ・老々介護の支援をしてほしい。老々介護のため不安である。
- ・自宅介護・家族介護者の負担を軽減してほしい。介護者が疲れている、日々の余裕がない。

##### 《介護スタッフ》(23件)

- ・介護スタッフの待遇改善・労働環境の改善・人材確保に努めてほしい。
- ・介護スタッフの質の向上を図ってほしい。

##### 《要介護認定》(8件)

- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。
- ・個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい。
- ・介護認定がおりるまでの時間が長い。認定調査に来るのが遅い。

##### 《情報提供・相談》(5件)

- ・制度に関する情報提供が不足している。情報提供を充実させてほしい。
- ・緊急時の相談窓口が知りたい。

##### 《その他》(20件)

< B. サービス未利用者 >

---

164人から意見があり、延べ186件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

【主な意見】

《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(47件)

- ・本人や介護者の実情に応じたサービス内容を充実させてほしい。
- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満である。
- ・要支援でも利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・介護者の負担を軽減するサービスを充実させてほしい。介護者の支援・交流の場がほしい。
- ・介護タクシーを必要に応じて利用できるようにしてほしい。交通費の補助がほしい。
- ・希望する施設にすぐ入所できるようにしてほしい。安価で入所できる施設を増やしてほしい。
- ・サービスを受けていなくてもケアマネジャーに相談できるようにしてほしい。ケアマネジャーと契約していなくてもサービスが利用できるようにしてほしい。

《自身の現状についての意見》(43件)

- ・自分・家族の現状や将来に不安がある、心配がある。
- ・老々介護をしている。
- ・できる限り自力で生活したい。現状は元気である。

《介護保険制度に関する意見】》(37件)

- ・制度の仕組みや利用方法が難しい。もっと説明・資料・情報提供してほしい。
- ・申請や手続きが煩雑で難しい。簡素化してほしい。
- ・平日以外も手続きできるようにしてほしい。
- ・制度の継続・充実させてほしい。
- ・気軽にできる相談窓口の充実を図ってほしい。

《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(34件)

- ・介護保険料や利用料が高い。利用していない場合は返金・減免等してほしい。
- ・経済的支援を充実させてほしい。
- ・介護保険料に見合ったサービスが受けられるようにしてほしい。
- ・利用料金について納得がいかない、明確にしてほしい。

《訪問介護（ヘルパー）、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(9件)

- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・感謝している、安心できる。

《要介護認定に関する意見》(5件)

- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。
- ・認定調査の日程調整が困難である。
- ・認定基準を厳しくしてほしい。

《その他の意見》(11件)

---

# 資料編



■回答不可理由

調査数	現在介護サービスを利用していない	病院に入院中	本人の意思が確認できない	転居	死亡	その他	有効回答
3,488	52	80	145	-	26	39	3,146
100.0	1.5	2.3	4.2	-	0.7	1.1	90.2

問1 記入者

調査数	本人	家族、親族（主な介護者）	家族、親族（主な介護者以外）	その他	無回答
3,146	1,579	1,096	156	165	150
100.0	50.2	34.8	5.0	5.2	4.8

問2（1）本人の性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
3,146	1,014	2,076	5	51
100.0	32.2	66.0	0.2	1.6

問2（2）本人の年齢

調査数	65歳以下	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答
3,146	116	213	439	721	834	752	71
100.0	3.7	6.8	14.0	22.9	26.5	23.9	2.3

問2（3）本人の居住区

調査数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区	鶴見区
3,146	101	102	67	63	55	65	96	82	72	56	116	167	200	98	187	119	190	122
100.0	3.2	3.2	2.1	2.0	1.7	2.1	3.1	2.6	2.3	1.8	3.7	5.3	6.4	3.1	5.9	3.8	6.0	3.9

調査数	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	無回答
111	158	213	214	249	197	46	
3.5	5.0	6.8	6.8	7.9	6.3	1.5	

問3 要介護度

調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者	わからない	無回答
3146	608	542	373	463	383	323	282	1	45	126
100.0	19.3	17.2	11.9	14.7	12.2	10.3	9.0	0.0	1.4	4.0

問4 傷病状況

調査数	中脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	狭窄性心臓病、脊管狭窄症等	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、骨粗しょう症）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患を伴うもの	その他	なし	わからない	無回答
3,146	261	537	186	273	104	721	107	406	611	82	48	545	612	553	194	66	151	
100.0	8.3	17.1	5.9	8.7	3.3	22.9	3.4	12.9	19.4	2.6	1.5	17.3	19.5	17.6	6.2	2.1	4.8	

問5 世帯状況

調査数	単身（ひとり暮らし）	夫婦のみで、65歳以上、配偶者	夫婦のみで、65歳未満、配偶者	息子・娘との2世帯	その他の世帯（上記以外）	無回答
3,146	1,436	627	45	602	306	130
100.0	45.6	19.9	1.4	19.1	9.7	4.1

\*所得段階

調査数	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	不明
3,146	501	808	456	345	226	213	213	218	86	24	14	9	3	9	15	6
100.0	15.9	25.7	14.5	11.0	7.2	6.8	6.8	6.9	2.7	0.8	0.4	0.3	0.1	0.3	0.5	0.2

問6 介護者の有無

調査数	いる	いない	無回答
3,146	2,381	676	89
100.0	75.7	21.5	2.8

付問6 主な介護者

調査数	主に事業者	主に家族など	無回答
2,381	802	1,399	180
100.0	33.7	58.8	7.6

問6-1 家族や親族からの介護日数

調査数	ない	ありが、週に1日未満	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
2,381	560	206	299	129	936	251
100.0	23.5	8.7	12.6	5.4	39.3	10.5

問7 介護・介助が必要になった原因

調査数	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	腫・呼吸器の病気（肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	わからない	無回答
3,146	371	337	170	175	229	546	81	325	81	193	766	216	805	466	55	346
100.0	11.8	10.7	5.4	5.6	7.3	17.4	2.6	10.3	2.6	6.1	24.3	6.9	25.6	14.8	1.7	11.0

問7-1 介護・介助が必要になった主な原因

調査数	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	腫・呼吸器の病気（肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	わからない	無回答
3,146	253	135	91	64	117	330	57	79	33	42	446	116	387	248	41	707
100.0	8.0	4.3	2.9	2.0	3.7	10.5	1.8	2.5	1.0	1.3	14.2	3.7	12.3	7.9	1.3	22.5

問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

調査数	介護保険サービスの利用（住宅改修・福祉用具購入）のみ	介護保険サービスの利用（住宅改修・福祉用具購入）と併せて	介護保険サービスの利用（住宅改修・福祉用具購入）と併せて、その他	その他	無回答	
3,146	1,663	236	446	362	152	287
100.0	52.9	7.5	14.2	11.5	4.8	9.1

問9 直近の要介護認定で不満の有無

調査数	特になし	やや不満である	不満である	わからない	無回答
3,146	2,229	286	118	212	301
100.0	70.9	9.1	3.8	6.7	9.6

問9-1 要介護認定に不満がある理由

調査数	認定結果が思っているより軽い	認定結果が思っているより重い	認定がされるまでの日数が長い	認定の有効期間が短い	認定の理由が不明	その他	無回答
404	258	16	86	80	72	43	7
100.0	63.9	4.0	21.3	19.8	17.8	10.6	1.7

問10 現在の住まい

調査数	持ち家・賃貸住宅	高齢者向け住宅（介護付き有料老人ホーム除く）	その他	施設等に入居している	無回答
3,146	2,410	83	27	462	164
100.0	76.6	2.6	0.9	14.7	5.2

問10-1 施設等の入所（入居）の検討状況

調査数	入所・入居を検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
2,520	1,913	366	67	174
100.0	75.9	14.5	2.7	6.9

問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス

調査数	訪問介護（ホームヘルプ）	介護予防型訪問サービス（現行相当型）	生活援助型訪問サービス（基準緩和型）	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（デイサービス）	介護予防型通所サービス（現行相当型）	短時間型通所サービス（基準緩和型）	通所リハビリテーション（デイケア）	養介護（ショートステイ）	短期入所生活介護・療養介護	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	訪問巡回・随時対応型訪問サービス	訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護
2,520	929	300	92	424	381	154	897	163	216	327	149	27	1,459	498	565	40	69	10	
100.0	36.9	11.9	3.7	16.8	15.1	6.1	35.6	6.5	8.6	13.0	5.9	1.1	57.9	19.8	22.4	1.6	2.7	0.4	

問10-3 リハビリテーションサービスの利用意向

調査数	居宅介護小規模多機能型	その他	無回答	すでに利用している	将来的に利用したいが、必要なら利用しない	わからない	利用したくない	無回答
2,520	979	740	412	211	178			
100.0	38.8	29.4	16.3	8.4	7.1			

問10-5 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無

問10-4 リハビリテーションサービスを利用したくない理由

調査数	利用する状態ではない	利用する状態ではないが、利用したくない理由	利用者負担が高い	サリハビリテーションが身近でない	利用方法が分からない	手続きが面倒だから	介護保険サービス以外を利用しているから	どのようなサービスがあるかわからない	その他	無回答
211	103	25	14	5	4	5	12	14	51	9
100.0	48.8	11.8	6.6	2.4	1.9	2.4	5.7	6.6	24.2	4.3

調査数	利用した	利用していない	無回答
2,520	1,515	868	137
100.0	60.1	34.4	5.4

問10-6 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

	調査数	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
①訪問介護（ホームヘルプサービス）	1,515	754	191	167	65	37	163	138
	100.0	49.8	12.6	11.0	4.3	2.4	10.8	9.1
②訪問入浴介護	1,515	1,295	35	29	10	6	2	138
	100.0	85.5	2.3	1.9	0.7	0.4	0.1	9.1
③訪問看護	1,515	1,106	155	54	26	15	21	138
	100.0	73.0	10.2	3.6	1.7	1.0	1.4	9.1
④訪問リハビリテーション	1,515	1,110	112	100	28	15	12	138
	100.0	73.3	7.4	6.6	1.8	1.0	0.8	9.1
⑤通所介護（デイサービス）	1,515	735	162	248	122	53	57	138
	100.0	48.5	10.7	16.4	8.1	3.5	3.8	9.1
⑥通所リハビリテーション（デイケア）	1,515	1,077	114	127	37	11	11	138
	100.0	71.1	7.5	8.4	2.4	0.7	0.7	9.1
⑦夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数）	1,515	1,364	7	-	2	-	4	138
	100.0	90.0	0.5	-	0.1	-	0.3	9.1

問10-6 利用の有無

	調査数	利用していない	利用した	無回答
⑧定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,515	1,285	92	138
	100.0	84.8	6.1	9.1
⑨小規模多機能型居宅介護	1,515	1,353	24	138
	100.0	89.3	1.6	9.1
⑩看護小規模多機能型居宅介護	1,515	1,364	13	138
	100.0	90.0	0.9	9.1

問10-6 1か月あたりの利用日数

	調査数	利用していない	1日～7日程度	8日～14日程度	15日～21日程度	22日以上	無回答
①短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	1,515 100.0	1,266 83.6	63 4.2	28 1.8	6 0.4	14 0.9	138 9.1
②在宅療養管理指導	1,515 100.0	1,284 84.8	82 5.4	6 0.4	1 0.1	4 0.3	138 9.1

問10-7 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由

調査数	現状では利用するほどの状態ではない	本人（あなた）の利用の希望がない	家族が介護をするため問題ない	以前、利用していたが不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用できないサービスが身近にない	住宅改修、福祉用具貸与、購入のため	継続できない利用方法がある	感染リスクが高くなる	人との接触が増える	その他	無回答
868 100.0	426 49.1	138 15.9	107 12.3	11 1.3	39 4.5	14 1.6	51 5.9	25 2.9	17 2.0	56 6.5	186 21.4	

問11 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	・移送サービス（介護福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
2,520 100.0	204 8.1	136 5.4	518 20.6	309 12.3	245 9.7	213 8.5	157 6.2	178 7.1	52 2.1	43 1.7	979 38.8	549 21.8

問12 在宅生活継続に必要なと感じる支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	・移送サービス（介護福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
2,520 100.0	308 12.2	246 9.8	541 21.5	391 15.5	311 12.3	504 20.0	456 18.1	357 14.2	132 5.2	23 0.9	761 30.2	472 18.7

問13 入所（入居）している施設

調査数	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設	介護医療院	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	特定施設入居者生活介護（地域密着型を含む）	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	生活支援ハウス	その他の施設	無回答
462 100.0	138 29.9	57 12.3	12 2.6	46 10.0	142 30.7	8 1.7	10 2.2	5 1.1	11 2.4	33 7.1

問13-1 入所（入居）を希望した理由

調査数	い段に問題があるなど、住から	たから家族がいなかつ	ひとり暮らしなど、介	重家族の介護では負担が	かたから人が見守りを	日中や夜間	の宅サービスより経済的負担が少	な方が思ったから	十分な介護が受けられ	その他	無回答
462 100.0	114 24.7	134 29.0	242 52.4	157 34.0	14 3.0	182 39.4	25 5.4	35 7.6			

問13-2 入所施設での定住意向

調査数	このまま住み続けたい	違う施設に移りたい	その他	無回答
23 100.0	18 78.3	2 8.7	2 8.7	1 4.3

問14 医療従事者などの訪問有無

調査数	はい	いいえ	無回答
2,520	641	1,244	635
100.0	25.4	49.4	25.2

問14-1 訪問されている医療従事者

調査数	医師	歯科医師	看護師	理学療法士、作業療法士などのリハビリ専門職	薬剤師	歯科衛生士	栄養士、管理栄養士	その他	無回答
641	285	93	381	266	83	49	5	10	8
100.0	44.5	14.5	59.4	41.5	12.9	7.6	0.8	1.6	1.2

問15 介護支援専門員の満足度

	調査数	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
①相談したいときに応じてくれる	3,146	1,421	909	88	52	162	514
②希望どおりのケアプランを作ってくれる	3,146	1,175	851	74	41	256	749
③ケアプランについて説明してくれる	3,146	1,224	795	86	44	200	797
④サービス事業者と調整してくれる	3,146	1,230	721	70	23	236	866
⑤サービス日時の変更などの希望に応じてくれる	3,146	1,234	714	56	20	234	888
⑥希望したサービスを紹介してくれる	3,146	1,104	684	69	32	332	925
⑦希望する事業者を紹介してくれる	3,146	1,027	659	72	34	401	953
⑧専門知識が多いと感じる	3,146	961	736	109	42	383	915
⑨介護予防や自立に向けケアプランを作ってくれる	3,146	969	702	98	40	388	949
	100.0	30.8	22.3	3.1	1.3	12.3	30.2

問16 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度

調査数	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	わからない	無回答
3,146	1,346	1,026	113	66	196	399
100.0	42.8	32.6	3.6	2.1	6.2	12.7

問17 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

調査数	自宅で生活しながらサービスを受けたい	施設等に入所（入居）したい	みでよい	特にない（現在の利用のままでよい）	無回答
3,146	845	153	1,665	483	
100.0	26.9	4.9	52.9	15.4	

問17-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向

調査数	訪問介護（ホームヘルプ）	介護予防型訪問サービス（現行相当型）	生活援助型訪問サービス	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（デイサービス）（現行相当型）	介護予防型通所サービス（現行相当型）	短時間型通所サービス（基準緩和型）	通所リハビリテーション（デイケア）	養介護（ショートステイ）	短期入所生活介護・療養介護	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	訪問巡回・随時対応型訪問サービス	訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護
845	218	35	64	106	112	33	175	17	28	103	97	9	261	95	60	34	49	15	
100.0	25.8	4.1	7.6	12.5	13.3	3.9	20.7	2.0	3.3	12.2	11.5	1.1	30.9	11.2	7.1	4.0	5.8	1.8	

問17-2 現在利用していない施設サービスの利用意向

調査数	介護小規模多機能型居宅	その他	特にない	無回答	別居型老人福祉施設（地域密着型を含む）	介護老人保健施設	介護医療院	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	特定施設入居者生活介護等（介護付き有料老人ホーム）	無回答
4	4	129	67		153	79	18	6	12	22
0.5	0.5	15.3	7.9		100.0	51.6	11.8	3.9	7.8	10.5

問18 外出頻度

調査数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
3,146	882	468	1,181	398	217
100.0	28.0	14.9	37.5	12.7	6.9

問19 昨年と比べた外出の回数

調査数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
3,146	527	1,026	689	631	273
100.0	16.8	32.6	21.9	20.1	8.7

問20 外出を控えること

調査数	はい	いいえ	無回答
3,146	1,627	1,278	241
100.0	51.7	40.6	7.7

問20-1 外出を控えている理由

調査数	病気	遺障がない(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障がい(聞こえの問題)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
1,627	313	136	976	365	169	108	193	104	207	342	44
100.0	19.2	8.4	60.0	22.4	10.4	6.6	11.9	6.4	12.7	21.0	2.7

問21 介護予防に対する意識の程度

調査数	意識している	やや意識している	あまり意識していない	意識していない	無回答
3,146	1,016	944	558	321	307
100.0	32.3	30.0	17.7	10.2	9.8

問22①介護予防として取り組んでいること

調査数	体操や運動により体力を維持する	食事バランスのとれた食事をとる	歯磨きや入れ歯の手入れを保つ	地域の活動に参加する	趣味や学習を楽しむ	近所の人や友達と交流する	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	健康診断(検診)や保健指導を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診したりする	仕事を続ける	介護予防ポイント事業	百歳体操(いきいき・かみかみ・しやしき・しやしき)	その他	特にない	無回答
3,146	1,430	1,450	1,613	177	505	639	1,308	1,391	91	10	211	24	357	322
100.0	45.5	46.1	51.3	5.6	16.1	20.3	41.6	44.2	2.9	0.3	6.7	0.8	11.3	10.2

問22②介護予防として取り組んでみたいこと

調査数	体操や運動により体力を維持する	食事バランスのとれた食事をとる	歯磨きや入れ歯の手入れを保つ	地域の活動に参加する	趣味や学習を楽しむ	近所の人や友達と交流する	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	健康診断(検診)や保健指導を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診したりする	仕事を続ける	介護予防ポイント事業	百歳体操(いきいき・かみかみ・しやしき・しやしき)	その他	特にない	無回答
3,146	712	600	473	105	375	303	479	407	71	27	220	14	788	869
100.0	22.6	19.1	15.0	3.3	11.9	9.6	15.2	12.9	2.3	0.9	7.0	0.4	25.0	27.6

問22-1 介護予防の取組に意向がない理由

調査数	介護予防に日常生活に支障がないから	いまだに取組む必要はない	外に出るのにおっくう	か調病が悪くてできない	ういが思っている	今は取り組んでいい	一緒に取り組む人がいない	その他	無回答
857	151	113	158	226	57	37	181	72	
100.0	17.6	13.2	18.4	26.4	6.7	4.3	21.1	8.4	

問23 歯の数と入れ歯の利用状況

調査数	用上、自分の歯は2歯を本利	上、自分の歯は2歯を本利	下、自分の歯は1歯を本利	下、自分の歯は1歯を本利	無回答
3,146	314	630	1,393	506	303
100.0	10.0	20.0	44.3	16.1	9.6

問23-1 かみ合わせ

調査数	はい	いいえ	無回答
3,146	1,984	822	340
100.0	63.1	26.1	10.8

問23-2 入れ歯の手入れ

調査数	はい	いいえ	無回答
1,707	1,406	190	111
100.0	82.4	11.1	6.5

問24 かんんで食べることの可否

調査数	何でもかんで食べる	何かができる	物一部がある	いかにない	できな	無回答
3,146	1,397	1,168	301	102	178	
100.0	44.4	37.1	9.6	3.2	5.7	

問25 お茶や汁物でむせること

調査数	はい	いいえ	無回答
3,146	1,246	1,720	180
100.0	39.6	54.7	5.7

問26 健康状態

調査数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
3,146	162	1,856	819	160	149
100.0	5.1	59.0	26.0	5.1	4.7

問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無

調査数	かかりつけの医師が来てくれる	かかりつけの医師が来てくれる	かかりつけの医師が来てくれる	かかりつけの医師が来てくれる	無回答
3,146	1,093	710	894	150	299
100.0	34.7	22.6	28.4	4.8	9.5

問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

調査数	かかりつけの歯科医師が来てくれる	かかりつけの歯科医師が来てくれる	かかりつけの歯科医師が来てくれる	かかりつけの歯科医師が来てくれる	無回答
3,146	548	751	813	656	378
100.0	17.4	23.9	25.8	20.9	12.0

問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無

調査数	かかりつけの薬剤師・薬局が来てくれる	かかりつけの薬剤師・薬局が来てくれる	かかりつけの薬剤師・薬局が来てくれる	かかりつけの薬剤師・薬局が来てくれる	無回答
3,146	884	583	998	323	358
100.0	28.1	18.5	31.7	10.3	11.4

問30 地域の会・グループ等への参加頻度

	調査数	週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	3,146	8	19	21	24	12	2,295	767
	100.0	0.3	0.6	0.7	0.8	0.4	72.9	24.4
②スポーツ関係のグループやクラブ	3,146	15	55	36	24	9	2,237	770
	100.0	0.5	1.7	1.1	0.8	0.3	71.1	24.5
③趣味関係のグループ	3,146	12	44	40	114	34	2,127	775
	100.0	0.4	1.4	1.3	3.6	1.1	67.6	24.6
④学習・教養サークル	3,146	6	4	17	36	23	2,284	776
	100.0	0.2	0.1	0.5	1.1	0.7	72.6	24.7
⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場	3,146	59	79	125	49	18	2,043	773
	100.0	1.9	2.5	4.0	1.6	0.6	64.9	24.6
⑤-2 上記以外の介護予防のための通いの場	3,146	33	137	100	36	18	2,037	785
	100.0	1.0	4.4	3.2	1.1	0.6	64.7	25.0
⑥老人クラブ	3,146	4	15	11	23	42	2,278	773
	100.0	0.1	0.5	0.3	0.7	1.3	72.4	24.6
⑦町内会・自治会	3,146	8	10	15	49	116	2,173	775
	100.0	0.3	0.3	0.5	1.6	3.7	69.1	24.6
⑧収入のある仕事	3,146	35	27	6	11	11	2,279	777
	100.0	1.1	0.9	0.2	0.3	0.3	72.4	24.7

問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

調査数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	すでに参加している	無回答
3,146	121	828	1,603	77	517
100.0	3.8	26.3	51.0	2.4	16.4

問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

調査数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	すでに参加している	無回答
3,146	47	447	2,043	39	570
100.0	1.5	14.2	64.9	1.2	18.1

問31 認知症状の有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,146	999	1,894	253
100.0	31.8	60.2	8.0

問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度

調査数	はい	いいえ	無回答
3,146	1,219	1,729	198
100.0	38.7	55.0	6.3

問31-2 知っている認知症に関する相談窓口

調査数	かかりつけの医師	地域の精神科・脳神経内科などの医療機関	認知症疾患医療センター	民生委員・町会などの地域役員	介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者	地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ）	認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」）	区役所・保健福祉センター	その他	無回答
1,219	815	242	53	63	679	137	324	101	271	9	59
100.0	66.9	19.9	4.3	5.2	55.7	11.2	26.6	8.3	22.2	0.7	4.8

問31-3 認知症についての相談先

調査数	かかりつけの医師	地域の精神科・脳神経内科などの医療機関	認知症疾患医療センター	民生委員・町会などの地域役員	介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者	地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ）	認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」）	区役所・保健福祉センター	どこに相談すればいいかわからない	その他	無回答
1,219	778	185	41	24	666	104	199	54	167	14	18	70
100.0	63.8	15.2	3.4	2.0	54.6	8.5	16.3	4.4	13.7	1.1	1.5	5.7

問32 高齢者向けサービスの情報源

調査数	ご家族・友人・知人	介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者	民生委員	町会・自治会・地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体	地域ネットワーク委員・推進員や福祉活動などの調整役	地域福祉協議会	老人福祉センター	区役所・保健福祉センター	地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プランチ）	報道	「区政だより」や「くらしの便利帳」など	市のホームページ（インターネット）、メールマガジンなど	新聞・テレビ・ラジオなど	その他	特になし	無回答
3,146	1,040	1,869	36	196	53	64	61	300	206	667	94	685	31	265	253	
100.0	33.1	59.4	1.1	6.2	1.7	2.0	1.9	9.5	6.5	21.2	3.0	21.8	1.0	8.4	8.0	

問33 現在の生活の満足度

調査数	満足	やや満足	やや満足でない	満足でない	無回答
3,146	654	1,577	434	268	213
100.0	20.8	50.1	13.8	8.5	6.8



問43 自宅での介護で困っていること

調査数	介護（対応）方法がわからない	介護の手助けをしてくれない	ストレスなどの精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	育児もあり負担が大きい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人等の理解が得られない	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	所がたりない、情報交換する場がない	介護保険サービスなどの情報をどこで入手すればいいのかわからない	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることはな
1,399 100.0	83 5.9	179 12.8	516 36.9	330 23.6	230 16.4	228 16.3	13 0.9	306 21.9	33 2.4	66 4.7	109 7.8	49 3.5	50 3.6	36 2.6	22 1.6	222 15.9	45 3.2	322 23.0

問44 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと

無回答	調査数	そういらになって手をあげる	イライラして手をあげ	と食事を与えなかった	食事を与えなかった	まっつたこと	がつい大声でどなつてしまつたこと	が無視してしまつたこと	本人が外出しないよ	本人以外のため	本人の年金や預貯金を	その他	特にな	無回答
200 14.3	1,399 100.0	162 11.6	7 0.5	450 32.2	201 14.4	12 0.9	15 1.1	26 1.9	606 43.3	250 17.9				

問45 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度

調査数	知っている	知らない	無回答
1,399 100.0	357 25.5	770 55.0	272 19.4

問46 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化

	調査数	はい	いいえ	無回答
①時間に余裕ができた	1,399 100.0	631 45.1	295 21.1	473 33.8
②身体的に楽になった	1,399 100.0	630 45.0	301 21.5	468 33.5
③精神的に楽になった	1,399 100.0	721 51.5	239 17.1	439 31.4
④体調がよくなった	1,399 100.0	324 23.2	492 35.2	583 41.7
⑤経済的に楽になった	1,399 100.0	174 12.4	633 45.2	592 42.3

問47 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度

調査数	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	わからない	無回答
1,399 100.0	405 28.9	539 38.5	75 5.4	39 2.8	85 6.1	256 18.3

問48 自宅での介護に重要なこと

調査数	家族や親族の協力がある	近所の人やボランティアを頼めること	日頃から本人の心身の衰えを防ぐこと	介護保険サービスが利用できること	緊急の場合など安心して利用できること	緊急の場合など安心して利用できること	夜間・休日でも医師等に相談できること	介護者の心身のリフレッシュができること	介護者同士が交流できる場があること	介護所などについて情報が得やすいこと	介護保険制度やサービスの量が確保できること	本人、介護者が希望するサービスが利用できること	介護について相談窓口が身近にあること	その他	特にな	無回答
1,399 100.0	655 46.8	87 6.2	490 35.0	538 38.5	579 41.4	326 23.3	343 24.5	74 5.3	211 15.1	348 24.9	321 22.9	16 1.1	79 5.6			243 17.4

問49 介護者の就業状況

調査数	就業中（フルタイム）	就業中（パートタイム）	本人の介護のため離職	無職	無回答
1,399 100.0	308 22.0	219 15.7	55 3.9	526 37.6	291 20.8

問49-1 介護をするにあたって行っている働き方の調整

調査数	特に行っていない、行わない	介護のため「有給休暇や介護休業等」を取つた	介護のため「労働時間を調整（中・残業免除、短時間勤務、早退、抜替等）」をしてい	介護のため「在宅勤務」を利用している	介護のため「在宅勤務」を利用している、または、調整している、または、調整している	その他	無回答
582 100.0	228 39.2	193 33.2	124 21.3	21 3.6	58 10.0	25 4.3	34 5.8

問49-2 働きながら介護を続けることの意向

調査数	問題なく 続けていけ る	問題はあ るが何とか 続けていけ る	難しいが 何とか続け ていくのは や	続けていく のはかな り難しい	わからない	無回答
527	137	283	39	15	37	16
100.0	26.0	53.7	7.4	2.8	7.0	3.0

問50 介護を理由に仕事を辞めた人の有無

調査数	辞めた 主な理由 (転職除く)	家族 主たる 介護者 以外 の家族 が仕事を 辞めた (転職除く)	主な 介護者 が転職し た	家族 主たる 介護者 が転職し た	介護の ために 家族・ 親族は 仕事を 辞めた	わからない	無回答
1,399	84	18	20	9	612	184	479
100.0	6.0	1.3	1.4	0.6	43.7	13.2	34.2

問51 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援

調査数	自己 営業・フ リーラン スのため の勤め先	介護休 業・介護 休業の 充実	職場制 度を利用 しやすい	柔軟な 働き方 (フレク シブルな 働き方)	勤務時 間の多 様化 (在宅 勤務・テ レワーク など)	勤務場 所の多 様化	仕事と 介護の 両立に 関係す る情報 の提供	介護に 関する 相談担 当者の 相談窓 口	介護の 経済的 な支援	その他	特にな い	わから ない	無回答
1,399	96	251	228	250	127	67	68	183	12	161	176	468	
100.0	6.9	17.9	16.3	17.9	9.1	4.8	4.9	13.1	0.9	11.5	12.6	33.5	

問52 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護

調査数	日中の 排泄	夜間の 排泄	食事の 介助 (食べる 時)	入浴・ 洗身・ 洗髪	身だし なみ (洗顔・ 歯磨き 等)	衣服の 着脱	屋内の 移乗・ 移動	外出の 付き添 い、送 迎	服薬	認知症 状への 対応	医療面 での対 応 (経管 栄養、 スト ーマ 等)	食事等 の準備 (調理 等)	その他 の家事 (掃除 、洗濯 、買い 物)	必要な 諸手続 や生活 面に 関する	金銭管 理や 生活に 関する	洗剤・ 消毒液 等の 管理	感染症 への対 応 (手洗 い、換 気)	その他	不安に 感じて いるこ と	確認し ないと わか らな い
1,399	204	295	94	221	65	87	152	350	153	402	45	205	139	182	127	30	179	60		
100.0	14.6	21.1	6.7	15.8	4.6	6.2	10.9	25.0	10.9	28.7	3.2	14.7	9.9	13.0	9.1	2.1	12.8	4.3		

無回答
237
16.9

■回答不可理由

調査数	現在介護サービスを利用している	病院に入院中	本人の意思が確認できない	転居	死亡	その他	有効回答
4,579	757	562	28	5	52	15	3,160
100.0	16.5	12.3	0.6	0.1	1.1	0.3	69.0

問1 記入者

調査数	本人	家族、親族（主な介護者）	家族、親族（主な介護者以外）	その他	無回答
3,160	1,958	1,007	83	19	93
100.0	62.0	31.9	2.6	0.6	2.9

問2（1）本人の性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
3,160	1,252	1,869	3	36
100.0	39.6	59.1	0.1	1.1

問2（2）本人の年齢

調査数	65歳以下	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳以上	無回答
3,160	113	259	572	878	837	453	48
100.0	3.6	8.2	18.1	27.8	26.5	14.3	1.5

問2（3）本人の居住区

調査数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区	鶴見区
3,160	106	109	67	94	66	72	92	96	88	48	111	169	213	78	166	126	203	120
100.0	3.4	3.4	2.1	3.0	2.1	2.3	2.9	3.0	2.8	1.5	3.5	5.3	6.7	2.5	5.3	4.0	6.4	3.8

阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	無回答
137	168	210	170	284	135	32
4.3	5.3	6.6	5.4	9.0	4.3	1

問3 要介護認定の有無

調査数	受けている	受けていない	無回答
3,160	2,460	620	80
100.0	77.8	19.6	2.5

問3-1 要介護度

調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者	わからない	無回答
2460	783	526	352	363	132	121	91	1	46	45
100.0	31.8	21.4	14.3	14.8	5.4	4.9	3.7	0.0	1.9	1.8

問4 傷病状況

調査数	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	狭窄等	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを含むもの）	その他	なし	わからない	無回答
3,160	197	531	276	242	129	620	123	304	431	69	57	530	544	549	261	82	203	
100.0	6.2	16.8	8.7	7.7	4.1	19.6	3.9	9.6	13.6	2.2	1.8	16.8	17.2	17.4	8.3	2.6	6.4	

問5 世帯状況

調査数	単身（ひとり暮らし）	が夫婦のみで、65歳以上、配偶者	が夫婦のみで、65歳未満、配偶者	息子・娘との2世帯	その他の世帯（上記以外）	無回答
3,160	930	1,087	62	663	322	96
100.0	29.4	34.4	2.0	21.0	10.2	3.0



問11 介護保険サービスを利用していない理由

調査数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため問題ない	以前、サービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用できないサービスがない	利用したいサービスがある	住宅改修、福祉用具購入のため	手続きや利用方法がわからない	サービスを受けたいが、手続や利用方法がわからない	人と感染機会が増える可能性がある	その他	無回答
3,160 100.0	1,215 38.4	300 9.5	477 15.1	83 2.6	198 6.3	87 2.8	115 3.6	176 5.6	121 3.8	324 10.3	482 15.3		

問12 リハビリテーションサービスの利用意向

調査数	以前利用していた	今後、利用が必要ない状態になれば利用したい	わからない	利用したくない	無回答
3,160 100.0	137 4.3	1,542 48.8	638 20.2	420 13.3	423 13.4

問12-1 リハビリテーションサービスを利用したくない理由

調査数	以前、利用していたが、サービスに不満があった	利用したいが手続きや費用が面倒だから	利用者負担が高い	サービスが身近にない	利用方法が分からない	手続きが面倒だから	介護保険サービス以外を利用しているから	どのようなサービスがあるかわからない	その他	無回答
420 100.0	164 39.0	10 2.4	41 9.8	10 2.4	11 2.6	23 5.5	21 5.0	53 12.6	105 25.0	22 5.2

問13 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
3,160 100.0	121 3.8	53 1.7	146 4.6	112 3.5	82 2.6	135 4.3	107 3.4	113 3.6	59 1.9	59 1.9	1,576 49.9	1,088 34.4

問14 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
3,160 100.0	297 9.4	174 5.5	386 12.2	315 10.0	204 6.5	433 13.7	451 14.3	323 10.2	159 5.0	78 2.5	981 31.0	1,007 31.9

問15 医療従事者などの訪問有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,160 100.0	165 5.2	2,710 85.8	285 9.0

問15-1 訪問されている医療従事者

調査数	医師	歯科医師	看護師	理学療法士、作業療法士などの専門職	薬剤師	歯科衛生士	栄養士、管理栄養士	その他	無回答
165 100.0	82 49.7	18 10.9	73 44.2	31 18.8	8 4.8	3 1.8	1 0.6	8 4.8	8 4.8

問16 介護保険サービスの利用意向

調査数	自宅で生活しながらサービスを受けたい	施設等に入室（入居）したい	特になし	無回答
3,160 100.0	772 24.4	159 5.0	1,546 48.9	683 21.6

問16-1 利用したい居宅サービス

調査数	訪問介護（ホームヘルプ）	介護予防訪問サービス	生活援助型訪問サービス	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（デイサービス）	介護予防通所サービス	短時間型通所サービス	通所リハビリテーション（デイケア）	介護（ショートステイ）	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護	
772 100.0	214 27.7	57 7.4	78 10.1	96 12.4	89 11.5	19 2.5	189 24.5	23 3.0	54 7.0	130 16.8	58 7.5	15 1.9	268 34.7	134 17.4	114 14.8	38 4.9	59 7.6	16 2.1

問16-2 利用したい施設サービス

調査数	介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特別密着型を含む）	介護老人福祉施設（地域密着型を含む）	介護医療院	無回答
159 100.0	49 30.8	22 13.8	19 11.9	14 8.8	31 19.5

問16-3 施設等の入所（入居）の検討状況

調査数	入所・入居を検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
159 100.0	47 29.6	76 47.8	13 8.2	23 14.5



問27 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

調査数	いかかりつけの歯科医師が来てくれるか（と思う）	ないが、（と思う）	あるが、（と思う）	わからない	無回答
3,160 100.0	229 7.2	936 29.6	916 29.0	714 22.6	365 11.6

問28 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無

調査数	かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるか（と思う）	かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）	かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）	かかりつけの薬剤師・薬局がない	無回答
3,160 100.0	481 15.2	721 22.8	1,144 36.2	432 13.7	382 12.1

問29 地域の会・グループ等への参加頻度

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	3,160 100.0	7 0.2	18 0.6	13 0.4	40 1.3	28 0.9	2,099 66.4	955 30.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	3,160 100.0	32 1.0	62 2.0	46 1.5	33 1.0	11 0.3	2,010 63.6	966 30.6
③趣味関係のグループ	3,160 100.0	17 0.5	57 1.8	57 1.8	137 4.3	39 1.2	1,885 59.7	968 30.6
④学習・教養サークル	3,160 100.0	3 0.1	10 0.3	17 0.5	39 1.2	15 0.5	2,107 66.7	969 30.7
⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場	3,160 100.0	43 1.4	60 1.9	107 3.4	53 1.7	17 0.5	1,915 60.6	965 30.5
⑤-2 上記以外の介護予防のための通いの場	3,160 100.0	13 0.4	30 0.9	27 0.9	24 0.8	8 0.3	2,088 66.1	970 30.7
⑥老人クラブ	3,160 100.0	7 0.2	12 0.4	23 0.7	38 1.2	46 1.5	2,068 65.4	966 30.6
⑦町内会・自治会	3,160 100.0	13 0.4	13 0.4	27 0.9	72 2.3	174 5.5	1,896 60.0	965 30.5
⑧収入のある仕事	3,160 100.0	77 2.4	41 1.3	16 0.5	30 0.9	13 0.4	2,009 63.6	974 30.8

問29-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

調査数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	すでに参加している	無回答
3,160 100.0	129 4.1	912 28.9	1,536 48.6	96 3.0	487 15.4

問29-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

調査数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	すでに参加している	無回答
3,160 100.0	47 1.5	565 17.9	1,973 62.4	38 1.2	537 17.0

問30 認知症状の有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,160 100.0	841 26.6	1,990 63.0	329 10.4

問30-1 認知症に関する相談窓口の認知度

調査数	はい	いいえ	無回答
3,160 100.0	1,010 32.0	1,904 60.3	246 7.8

問30-2 知っている認知症に関する相談窓口

調査数	かかりつけの医師	地域などの精神科・脳神経内	認知症疾患医療センター	民生委員・町会などの地域役員	介護支援専門員（ヘルパーなど）やホームヘルパーなど	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者	地域包括支援センター（または総合相談窓口）（プラム）	認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチー	区役所・保健福祉センター	その他	無回答
1,010 100.0	641 63.5	181 17.9	41 4.1	68 6.7	276 27.3	49 4.9	367 36.3	102 10.1	299 29.6	16 1.6	56 5.5

問30-3 認知症についての相談先

調査数	かかりつけの医師	地域の精神科・脳神経内科などの医療機関	認知症疾患医療センター	民生委員・町会などの地域役員	介護支援専門員（ケアマネジャー）やヘルパーなどの介護保険事業者	介護支援専門員（ケアマネジャー）やヘルパーなどの介護保険事業者	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者	地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プラチ）	認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」）	区役所・保健福祉センター	どこに相談すればいいかわからない	その他	無回答
1,010	655	164	46	37	237	28	313	76	215	24	15	48	
100.0	64.9	16.2	4.6	3.7	23.5	2.8	31.0	7.5	21.3	2.4	1.5	4.8	

問31 高齢者向けサービスの情報源

調査数	ご家族・友人・知人	介護支援専門員（ケアマネジャー）やヘルパーなどの介護保険事業者	民生委員	町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体	地域ネットワーク委員・推進員、地域福祉活動などの調整役	区社会福祉協議会	老人福祉センター	区役所・保健福祉センター	地域包括支援センターまたは総合相談窓口（プラチ）	「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌	市のホームページ（インターネット）、メールマガジンなど	新聞・テレビ・ラジオなど	その他	特になし	無回答
3,160	1,075	505	38	276	53	79	78	376	284	819	102	778	34	515	330
100.0	34.0	16.0	1.2	8.7	1.7	2.5	2.5	11.9	9.0	25.9	3.2	24.6	1.1	16.3	10.4

問32 現在の生活の満足度

調査数	満足	やや満足	やや満足でない	満足でない	無回答
3,160	655	1,435	439	359	272
100.0	20.7	45.4	13.9	11.4	8.6

問34 本人との関係

調査数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
1,676	715	702	32	9	31	32	155
100.0	42.7	41.9	1.9	0.5	1.8	1.9	9.2

問35（1）介護者の性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
1,676	479	1,030	5	162
100.0	28.6	61.5	0.3	9.7

問35（2）介護者の年齢

調査数	16歳未満	16歳から19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
1,676	-	-	2	18	66	337	333	373	389	158
100.0	-	-	0.1	1.1	3.9	20.1	19.9	22.3	23.2	9.4

問35（3）本人との同居の有無

調査数	同居している	同居していない	無回答
1,676	1,183	319	174
100.0	70.6	19.0	10.4

問36 介護者の健康状態

調査数	健康である	まあまあ健康である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答
1,676	351	824	254	99	148
100.0	20.9	49.2	15.2	5.9	8.8

問37 介護者がよく話をする相手

調査数	同居の家族	親別居している家族や	近所の人	友人・知人	会社の同僚・元同僚	その他	いない	無回答
1,676	1,040	581	321	593	230	20	39	165
100.0	62.1	34.7	19.2	35.4	13.7	1.2	2.3	9.8

問38 介護を手助けしてくれる人の有無

調査数	同居の家族	別居している家族や親族	近所の人	本人の友人・知人	介護者の友人・知人	その他	いない	無回答
1,676	635	658	56	39	33	23	327	187
100.0	37.9	39.3	3.3	2.3	2.0	1.4	19.5	11.2

問39 本人の認知症の程度

調査数	全く認知症の症状がない	しつこく、日常の生活はほぼ自立している	何らかの認知症はありますが、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが激しい精神症状、あるいは、専門医療を必要とする	無回答	
1,676	655	456	198	97	44	15	211
100.0	39.1	27.2	11.8	5.8	2.6	0.9	12.6

問40 本人に行っている介護内容

調査数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身・洗髪	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎送等	服薬	認知症状への対応（人工肛門等）	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備	除菌・洗濯・家事（掃除等）	その他	わからない	無回答	
1,676	126	99	173	328	208	271	170	801	554	237	46	882	967	849	88	31	284
100.0	7.5	5.9	10.3	19.6	12.4	16.2	10.1	47.8	33.1	14.1	2.7	52.6	57.7	50.7	5.3	1.8	16.9

問41 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの

調査数	し清拭剤（からだふき・おしりふきを含む）	ドライシャンプー	使い捨て手袋	使い捨て防水シート	口腔ケア用品（歯ブラシ、シユンジ、ウエットティッシュ、ジェルなど）	消臭剤（スプレータイプ、タイブなど）	トイレ・トイレ、液体	とりみ剤	その他	無回答
1,676	233	42	148	94	179	134	28	121	963	
100.0	13.9	2.5	8.8	5.6	10.7	8.0	1.7	7.2	57.5	

問42 自宅での介護で困っていること

調査数	介護（対応）方法がわからない	介護の手助けをしてくれない	ストレスなどの精神的負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	育児もあり負担が大きい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人等の理解や協力が得られない	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流しづらい	介護保険サービスなどの情報をどこで入手すればいいかわからない	介護保険サービスの内容に不満	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることは
1,676	100	168	513	281	200	230	12	292	25	66	380	85	54	118	26	241	35	345	
100.0	6.0	10.0	30.6	16.8	11.9	13.7	0.7	17.4	1.5	3.9	22.7	5.1	3.2	7.0	1.6	14.4	2.1	20.6	

問43 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと

無回答	調査数	あげられている	イライラして手をあそばさうな	食事を与えなかった	つい大声でどなつてしまった	無視してしまつた	本人が外出しないよてしまつた	本人の年金や預貯金を本人以外のために使つてしまつた	その他	特にな	無回答
339	1,676	164	2	474	215	19	12	44	688	388	
20.2	100.0	9.8	0.1	28.3	12.8	1.1	0.7	2.6	41.1	23.2	

問44 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度

調査数	知っている	知らない	無回答
1,676	332	980	364
100.0	19.8	58.5	21.7

問45 本人に対する介護保険サービスの利用意向

調査数	1年以上には利用してほしくない	利用してほしくない	わからない	無回答
1,676	205	757	32	328
100.0	12.2	45.2	1.9	19.6

問46 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態

調査数	日常生活に支障をきたさず	入浴、トイレ、食事などの日常生活に支障をきたす	支障をきたす	外出、買い物などに支障をきたす	介護の必要性が高く	認知症が進んだら	認知症が進んだら	病気が悪くなつたら	心配になつたら	ひとりにすつたら	本人が介護保険サービスを利用する気が	感染症に対する不安	病院から退院したら	経済的に余裕が	その他
1,676	831	321	830	697	435	542	486	50	76	112	24				
100.0	49.6	19.2	49.5	41.6	26.0	32.3	29.0	3.0	4.5	6.7	1.4				

問47 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態

わからない	利用はしたくない	無回答	調査数	身体的に負担を感じ	精神的に負担を感じ	あなた自身が病気に	子育てや他の家族の世話や介護などをしてはならない	家事と介護の両立が	難しい	経済的に余裕が	その他	介護はしたくない	無回答
57	8	324	1,676	853	619	1,009	70	373	296	106	24	8	349
3.4	0.5	19.3	100.0	50.9	36.9	60.2	4.2	22.3	17.7	6.3	1.4	0.5	20.8

問48 自宅での介護で重要なこと

調査数	家族や親族の協力があ	近所の人やボランティアに頼める	日頃から本人の心身に	緊急の場合など安心し	緊急の場合など安心して	夜間・休日でも医師等に	介護者の心身のリフト	介護者同士が交流でき	介護保険制度やサービス	介護保険サービスの内容、	本人、介護者が希望する	介護について相談窓	その他	特にな	無回答
1,676	771	113	470	726	783	466	301	93	283	373	396	29	49	346	
100.0	46.0	6.7	28.0	43.3	46.7	27.8	18.0	5.5	16.9	22.3	23.6	1.7	2.9	20.6	

問49 介護者の就業状況

調査数	就業中（フルタイム）	就業中（パートタイム）	本人の介護のため離職	無職	無回答
1,676	296	222	38	747	373
100.0	17.7	13.2	2.3	44.6	22.3

問49-1 介護をするにあたって行っている働き方の調整

調査数	特に行っていない、行わ	介護のために「有給休暇や介護休業等」を取つた	介護のために「労働時間を調整する」を取つた	介護のために「在宅勤務」を利用している	介護のために「在宅勤務」を利用している	調整している、また	その他	無回答
556	242	137	116	30	51	21	35	
100.0	43.5	24.6	20.9	5.4	9.2	3.8	6.3	

問49-2 働きながら介護を続けることの意向

調査数	問題なく 続けていけ る	問題はあ るが何とか 続けていけ る	続けるの のはやや 難しい	続けるの のはかな り難しい	わからない	無回答
518	108	253	43	16	78	20
100.0	20.8	48.8	8.3	3.1	15.1	3.9

問50 介護を理由に仕事を辞めた人の有無

調査数	辞めた （転職除く）	主たる 家族が 仕事を 辞めた （転職除く）	主な 介護者 以外 の家族 が 仕事を 辞めた	主な 介護者 が 転職し た	主たる 家族が 転職し た	介護の ために 家族・ 親族が 仕事を 辞めた	わからない	無回答
1,676	61	16	15	9	681	243	663	
100.0	3.6	1.0	0.9	0.5	40.6	14.5	39.6	

問51 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援

調査数	自己 営業・フ リーラン ス等の ため、勤 め先	介護休 業・介護 休業の 充実	職場制 度を利用 しやすい	柔軟な 働き方 （フレク シブルな 働き方）	勤務時 間の多 様化 （在宅 勤務・テ レワーク など）	勤務場 所の多 様化	仕事と 介護の 両立に 関係す る情報 の提供	介護に 関係す る相談 担当者 の相談 窓	介護を してい る従業 員への 経済的 な支援	その他	特にな い	わから ない	無回答
1,676	105	261	238	234	131	66	80	188	20	184	216	662	
100.0	6.3	15.6	14.2	14.0	7.8	3.9	4.8	11.2	1.2	11.0	12.9	39.5	

問52 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護

調査数	日中の 排泄	夜間の 排泄	食事の 介助（食 べる時）	入浴・ 洗身・洗 髪	身だし なみ（洗 顔・歯 磨き等）	衣服の 着脱	屋内の 移乗・移 動	外出の 付き添 い、送 迎	服薬	認知症 状への 対応	医療面 での対 応（経 管栄養、 ストーマ 等）	食事等 の準備 （調理 等）	その他 の家事 （掃除、 洗濯、 買い物 等）	必要な 諸手続 や生活 面に 関する 対応	感染症 への対 応（手 洗い、 うがい、 換気、 消毒等）	その他	不安に 感じて いるこ と	（確認 しないと） わから ない
1,676	239	325	97	385	93	91	133	393	177	489	68	234	214	194	91	32	175	68
100.0	14.3	19.4	5.8	23.0	5.5	5.4	7.9	23.4	10.6	29.2	4.1	14.0	12.8	11.6	5.4	1.9	10.4	4.1

無回答
312 18.6